

建築社会情勢 Building Social Conditions				
笠井 精二 (カサイ セイジ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択必修	2

**授業概要・目的・到達目標**  
 建築を志した者が、建築業界で活躍するためには建築関係業界の実態を知ることが大変重要である。そのため最新の建築社会情勢を建築の業界毎に整理し、最新情報を提供する。講義内容としては、建築社会のルールである「建築に関する法律」の説明を中心に、その解説及び運用について勉強する。また、将来取得を目指す「一級建築士」の資格試験での「法規」を中心に勉強し、早期の取得を目指す。  
 学科の学習・教育目標との対応：[F]

**授業方法と留意点**  
 法律とテキスト(資料等)を用いた講義方式とし、法律の背景や内容の解釈を中心に、実社会において、どのように運用されているか、できるだけ具体的な事例を通じて理解・習得する。なお授業終了後に小テストと簡単なレポートを提出を求める。

**科目学習の効果(資格)**  
 一級建築士、二級建築士等の資格を目指す。また建築関連業務で活躍できる基礎的な法律の知識を得ることにより、社会人としての常識の幅を広げる。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション  
 【内容・方法等】 授業の進め方、建築業界の最近の動向について  
 【事前・事後学習課題】 レポートと小テスト (授業へのアンケートや理解度チェック)
  - 第2回 【授業テーマ】 これから予想される地震に対する建築物の対応について  
 【内容・方法等】 耐震基準、耐震診断、耐震改修などについて  
 「建築物の耐震改修の促進に関する法律」などの概要について  
 【事前・事後学習課題】 レポートと小テスト
  - 第3回 【授業テーマ】 皆が、いつでもどこでも円滑に利用できるための『バリアフリー法』について  
 【内容・方法等】 高齢者、障害者等の移動等の円滑化に関する法律の概要  
 【事前・事後学習課題】 レポートと小テスト
  - 第4回 【授業テーマ】 住宅品質確保法  
 【内容・方法等】 住宅業界の実態と住宅の品質確保の促進に関する法律の概要について  
 【事前・事後学習課題】 レポートと小テスト
  - 第5回 【授業テーマ】 建築士法  
 【内容・方法等】 高齢者、障害者等の移動等の円滑化に関する法律の概要  
 【事前・事後学習課題】 レポートと小テスト
  - 第6回 【授業テーマ】 建設業法  
 【内容・方法等】 建築物の耐震改修の促進に関する法律などの概要について  
 【事前・事後学習課題】 レポートと小テスト
  - 第7回 【授業テーマ】 都市計画法 その1  
 【内容・方法等】 都市計画法設立の経緯及び概要について  
 【事前・事後学習課題】 レポートと小テスト
  - 第8回 【授業テーマ】 都市計画 その2  
 【内容・方法等】 都市計画の各種事業手法及び各種手続きについて  
 【事前・事後学習課題】 レポートと小テスト
  - 第9回 【授業テーマ】 宅地・道路関係法  
 【内容・方法等】 宅地造成等規制法、道路法等の概要および技術的基準について  
 【事前・事後学習課題】 レポートと小テスト
  - 第10回 【授業テーマ】 景観行政について  
 【内容・方法等】 良好な景観を形成するための「景観緑3法」などの概要について  
 【事前・事後学習課題】 レポートと小テスト
  - 第11回 【授業テーマ】 宅建業法  
 【内容・方法等】 宅地建物取引業法の概要について  
 【事前・事後学習課題】 レポートと小テスト
  - 第12回 【授業テーマ】 住生活基本法  
 【内容・方法等】 住生活の安定の確保及び向上の促進に関する施策について  
 【事前・事後学習課題】 レポートと小テスト
  - 第13回 【授業テーマ】 長期優良住宅普及促進法などストック対策について  
 【内容・方法等】 ストック重視の長期優良住宅の普及の促進に関する法律などの概要について  
 【事前・事後学習課題】 レポートと小テスト
  - 第14回 【授業テーマ】 消防法

【内容・方法等】 消防法に関する留意事項及び事例紹介について  
 【事前・事後学習課題】 レポートと小テスト  
 第15回 【授業テーマ】 講義全体のまとめと定期試験、建築士試験について  
 【内容・方法等】 講義全体のまとめとして、最も重要な点についての再確認  
 定期視点、建築士受験のこれから行うべき対策について  
 【事前・事後学習課題】 レポート (アンケート調査)

**評価方法(基準)**  
 定期試験 50%、毎回 授業の最後に行う小テスト 30%、レポート 20%の割合で総合的に評価する。

**教材等**  
**教科書**…『建築関係法令集 法令編』平成26年版(総合資格学院 編)  
 なお、テーマに合わせて適宜レジュメ・資料等を配布する。  
**参考書**…特になし

**学生へのメッセージ**  
 建築社会情勢の一環として学ぶ『建築関係法規』は、建築物を建てる際の絶対条件であり、設計する際にも、その道筋を示すものでもある。  
 しかし、法律は、その正確さを期すことから一読しても理解できないもので多くある。しかし、その法律の背景や根本を知れば、常識的なものである。そこまでの道筋を知ってほしい。

**関連科目**  
 ・建築基準法を中心とした『建築法規』 また、幅広い知識を得るため、『自然科学関連科目』ほもちろん『社会科学関連科目』での学習を通じ、社会の動き、経済の動きを知る。

**担当者の研究室等**  
 7号館2階 非常勤講師室

建築ゼミIII Seminar on Architectural Sciences III				
	佐野 潤 一 (サノ ジュンイチ)			
	柳 沢 学 (ヤナギサワ マナブ)			
	木 多 彩 子 (キタ アヤコ)			
	上 谷 宏 二 (ウエタニ コウジ)			
	加 嶋 章 博 (カシマ アキヒロ)			
	大 谷 由 紀 子 (オオタニ ユキコ)			
	池 内 淳 子 (イケウチ ジュンコ)			
	小 林 健 治 (コバヤシ ケンジ)			
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択必修	2

**授業概要・目的・到達目標**  
 建築学は、計画・環境・構造系等の分野からなり、専任教員の専攻も多岐にわたる。4年次の卒業研究とも関わって、各教員の専攻分野の紹介と関連する演習を行う。専攻する分野の基礎的知識と技能を修得し、卒業研究に向けた意欲の向上と専攻分野に関心をもつことを到達目標とする。  
 学科の学習・教育目標との対応：[I]

**授業方法と留意点**  
 専攻分け(ゼミ分け)は、おおよそ各ゼミ同人数とする。その際、本人の希望が優先されるが、1、2年次の成績や修得単位数などを参考として人数調整が行われる場合があるので、日常的な勉学に励むこと。

**授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題**  
 【授業テーマ】  
 各専攻(ゼミ)ごとに異なる。卒業研究に継続する内容を含むこともある。  
 【内容】  
 教員ごとの9グループ(ゼミ)に分かれ、各教員の専攻に関連した演習を行う。  
 4年生の卒業研究中間発表会および卒業研究最終発表会を聴講する。  
 【方法】  
 ゼミ間共通課題は、4年生の卒業研究中間発表会および卒業研究最終発表会を聴講したレポート課題とする。  
 ゼミ課題は各専攻ごとに異なる。  
 【事前事後学習課題】  
 各課題、取り組み方法にあわせた事前事後の学習課題を提示する。

**評価方法・評価基準**  
 平常点30点、ゼミ間共通課題30点、ゼミ課題40点

**教材等**  
**教科書**…別途、提示する。

参考書…別途、提示する。

備考

【前もって履修しておくことが望ましい科目】  
3年前期までの必修科目

測量  
Surveying

長岡 弘 隆 (ナガオカ ヒロタカ)  
吉住 優 子 (ヨシズミ ユウコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択必修	2

授業概要・目的・到達目標

測量 (Surveying) は、地球表面の異なる点の相対的な位置関係を決定する技術であり、測量学は流域計画、都市計画、建築物・道路等の設計や施工に欠くことのできない基礎的学問である。本講義は測量に関する知識、技術、計算方法および実測方法の修得を目的としている。距離測量、角測量、水準測量を理解し基本事項を説明できること、主な測量器具の原理と構造を理解すること、測量値の情報処理と調整計算ができること、測定結果を効果的に図示および表現することを到達目標とする。  
学科の学習・教育目標との対応：[E]

授業方法と留意点

講義を中心に授業を進める他、実際に測量器具を用いた演習を、土曜日もしくは日曜日に終日かけて行う。また必要に応じてレポート提出を行い、基準に満たない場合は再提出を求めることがある。講義には関数電卓を持参すること。

科目学習の効果 (資格)

さらに残された内容を自習することによって、測量士及び測量士補の国家試験の合格が期待される。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 測量の定義  
【内容・方法 等】 測量の歴史、分類、基準、測量の現場における具体的な事項について  
【事前・事後学習課題】 復習・予習
- 第2回 【授業テーマ】 測量の基準  
【内容・方法 等】 地球の形状、実測点の位置決定法、測定時に生じる誤差について  
【事前・事後学習課題】 復習・予習
- 第3回 【授業テーマ】 基準点 (骨組) 測量における距離測定1  
【内容・方法 等】 直接距離測定法についての概要、並びに誤差の補正について  
【事前・事後学習課題】 復習・予習
- 第4回 【授業テーマ】 基準点 (骨組) 測量における距離測定2  
【内容・方法 等】 誤差の精度、光波測定器による直接距離測定について  
【事前・事後学習課題】 復習・予習
- 第5回 【授業テーマ】 基準点 (骨組) 測量における角測定1  
【内容・方法 等】 測角機器の構造及び種類、原理、水平角の測定法について  
【事前・事後学習課題】 復習・予習
- 第6回 【授業テーマ】 基準点 (骨組) 測量における角測定2  
【内容・方法 等】 トラバースの概要、種類、作業の進め方について  
【事前・事後学習課題】 復習・予習
- 第7回 【授業テーマ】 基準点 (骨組) 測量における角測定3  
【内容・方法 等】 トラバース測量の精度、生ずる誤差の処理について  
【事前・事後学習課題】 復習・予習
- 第8回 【授業テーマ】 基準点 (骨組) 測量における角測定4  
【内容・方法 等】 緯距・経距の計算、閉合誤差・閉合比について  
【事前・事後学習課題】 復習・予習
- 第9回 【授業テーマ】 基準点 (骨組) 測量における角測定5  
【内容・方法 等】 閉合誤差の調整、座標展開について  
【事前・事後学習課題】 復習・予習
- 第10回 【授業テーマ】 水準測量の方法1  
【内容・方法 等】 水準儀の種類、それら器機の構造について  
【事前・事後学習課題】 復習・予習
- 第11回 【授業テーマ】 水準測量の方法2  
【内容・方法 等】 水準測量の方法、精度・誤差の補正について  
【事前・事後学習課題】 復習・予習
- 第12回 【授業テーマ】 測量演習1  
【内容・方法 等】 踏査選点、造標  
【事前・事後学習課題】 復習・予習
- 第13回 【授業テーマ】 測量演習2  
【内容・方法 等】 水平距離、土地の高低差の測定  
【事前・事後学習課題】 復習・予習

- 第14回 【授業テーマ】 測量演習3  
【内容・方法 等】 水平交角、方位角の測定  
【事前・事後学習課題】 復習・予習
- 第15回 【授業テーマ】 測量演習4  
【内容・方法 等】 座標展開、トラバース完成  
【事前・事後学習課題】 復習・予習

評価方法 (基準)

測量演習における計算書・展開図の提出 (30%)、授業時の小レポートおよび受講態度 (20%)、期末試験 (50%) により、評価する。

教材等

教科書…配布プリント  
参考書…「改訂新版基礎測量学」長谷川昌弘・他著 電気書院 (3300円)

学生へのメッセージ

地球上の位置を、たとえばあなたが居るその位置を、どのように示すことができるのか、また、どうすれば求められるのかを知ることができます。道で目にする測量器具の扱い方も学ぶことができます。

関連科目

微積分I

担当者の研究室等

8号館3階 建築学科共通準備室

測量II  
Surveying II

長岡 弘 隆 (ナガオカ ヒロタカ)  
吉住 優 子 (ヨシズミ ユウコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択必修	2

授業概要・目的・到達目標

測量 (Surveying) は、地球表面の異なる点の相対的な位置関係を決定する技術であり、測量学は流域計画、都市計画、建築物・道路等の設計や施工に欠くことのできない基礎的学問である。本講義は測量に関する知識、技術、計算方法および実測方法の修得を目的としている。距離測量、角測量、水準測量を理解し基本事項を説明できること、主な測量器具の原理と構造を理解すること、測量値の情報処理と調整計算ができること、測定結果を効果的に図示および表現することを到達目標とする。  
学科の学習・教育目標との対応：[E]

授業方法と留意点

講義を中心に授業を進める他、実際に測量器具を用いた演習を、土曜日もしくは日曜日に終日かけて行う。また必要に応じてレポート提出を行い、基準に満たない場合は再提出を求めることがある。講義には関数電卓を持参すること。

科目学習の効果 (資格)

さらに残された内容を自習することによって、測量士及び測量士補の国家試験の合格が期待される。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 測量の定義  
【内容・方法 等】 測量の歴史、分類、基準、測量の現場における具体的な事項について  
【事前・事後学習課題】 復習・予習
- 第2回 【授業テーマ】 測量の基準  
【内容・方法 等】 地球の形状、実測点の位置決定法、測定時に生じる誤差について  
【事前・事後学習課題】 復習・予習
- 第3回 【授業テーマ】 基準点 (骨組) 測量における距離測定1  
【内容・方法 等】 直接距離測定法についての概要、並びに誤差の補正について  
【事前・事後学習課題】 復習・予習
- 第4回 【授業テーマ】 基準点 (骨組) 測量における距離測定2  
【内容・方法 等】 誤差の精度、光波測定器による直接距離測定について  
【事前・事後学習課題】 復習・予習
- 第5回 【授業テーマ】 基準点 (骨組) 測量における角測定1  
【内容・方法 等】 測角機器の構造及び種類、原理、水平角の測定法について  
【事前・事後学習課題】 復習・予習
- 第6回 【授業テーマ】 基準点 (骨組) 測量における角測定2  
【内容・方法 等】 トラバースの概要、種類、作業の進め方について  
【事前・事後学習課題】 復習・予習
- 第7回 【授業テーマ】 基準点 (骨組) 測量における角測定3  
【内容・方法 等】 トラバース測量の精度、生ずる誤差の処理について  
【事前・事後学習課題】 復習・予習
- 第8回 【授業テーマ】 基準点 (骨組) 測量における角測定4



- 【内容・方法 等】 緯距・経距の計算，閉合誤差・閉合比について
- 第9回 【事前・事後学習課題】 復習・予習  
【授業テーマ】 基準点（骨組）測量における角測定5  
【内容・方法 等】 閉合誤差の調整，座標展開について  
【事前・事後学習課題】 復習・予習
- 第10回 【授業テーマ】 水準測量の方法1  
【内容・方法 等】 水準儀の種類，それら器機の構造について。  
【事前・事後学習課題】 復習・予習
- 第11回 【授業テーマ】 水準測量の方法2  
【内容・方法 等】 水準測量の方法，精度・誤差の補正について。  
【事前・事後学習課題】 復習・予習
- 第12回 【授業テーマ】 測量演習1  
【内容・方法 等】 踏査選点，造標。  
【事前・事後学習課題】 復習・予習
- 第13回 【授業テーマ】 測量演習2  
【内容・方法 等】 水平距離，土地の高低差の測定。  
【事前・事後学習課題】 復習・予習
- 第14回 【授業テーマ】 測量演習3  
【内容・方法 等】 水平交角，方位角の測定。  
【事前・事後学習課題】 復習・予習
- 第15回 【授業テーマ】 測量演習4  
【内容・方法 等】 座標展開，トラバース完成。  
【事前・事後学習課題】 復習・予習

**評価方法（基準）**  
測量演習における計算書・展開図の提出（30%），授業時の小レポートおよび受講態度（20%），期末試験（50%）により，評価する。

**教材等**  
教科書…配布プリント  
参考書…「改訂新版基礎測量学」長谷川昌弘・他著 電気書院（3300円）

**学生へのメッセージ**  
地球上の位置を，たとえばあなたが居るその位置を，どのように示すことができるのか，また，どうすれば求められるのかを知ることができます。道で目にする測量器具の扱い方も学ぶことができます。

**関連科目**  
微積分I  
**担当者の研究室等**  
8号館3階 建築学科共通準備室

建築情報処理 Architectural Computer Science I				
趙 ミンジョン (チョウ ミンジョン)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択必修	2

**授業概要・目的・到達目標**  
コンピュータと情報通信ネットワークを利用するために必要な基礎的知識と技術を習得する。Windowsシステムをベースとして，オフィスアプリケーションの基本操作の習得と，電子メールやインターネットの利用技術，さらには数値データの収集・分析に必要な基礎技法を習得する。＜到達目標＞理工学に関連する情報処理の重要性を認識する。コンピュータの基本操作を習得し，理工学の学習・研究においてコンピュータを有効活用できるようにする。  
学科の学習・教育目標との対応：[E]

**授業方法と留意点**  
Word，ExcelおよびPowerPointを取り上げ，とくに数学的に考察する能力の向上を図ったデータ収集と分析に関する演習課題を提示し，演習を行う。また，コンピュータと情報通信ネットワークの基礎知識を習得するための資料を配付する。

**科目学習の効果（資格）**  
基本情報処理技術と技能の向上。

- 毎回の授業テーマ，内容・方法等，事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 利用システムの概説  
【内容・方法 等】 ・演習室の概要とシステム  
・授業計画と受講留意事項の説明  
【事前・事後学習課題】 情報処理室の利用手引きに目を通しておく。
- 第2回 【授業テーマ】 Windowsシステム  
【内容・方法 等】 ・Windowsの基本操作  
【事前・事後学習課題】 ファイル操作と文字入力に慣れる。（1章全般）
- 第3回 【授業テーマ】 電子文書の作成  
【内容・方法 等】 ・Wordの基本操作，レイアウト  
・ファイル入出力  
【事前・事後学習課題】 Wordの起動・終了，文書ファイルの

- 読込・保存方法を理解する。  
(2.1～2.4の演習課題)
- 第4回 【授業テーマ】 電子文書の作成  
【内容・方法 等】 ・罫線と表作成  
・オブジェクト（図）の挿入  
【事前・事後学習課題】 罫線の引き方，表と図の作成方法を整理しておく。  
(2.5～2.7の演習課題)
- 第5回 【授業テーマ】 表計算入門  
【内容・方法 等】 ・Excelの基本操作  
・セルの概念  
【事前・事後学習課題】 Excel起動・終了，表計算ファイルの読込・保存方法を理解する。  
(3.1～3.3の演習課題)
- 第6回 【授業テーマ】 表計算とグラフ  
【内容・方法 等】 ・グラフの作成  
・簡単なデータベース  
【事前・事後学習課題】 セルの相対参照と絶対参照の違いを整理する。  
(3.4～3.5の演習課題)
- 第7回 【授業テーマ】 表計算と関数  
【内容・方法 等】 ・数学関数  
・統計関数  
【事前・事後学習課題】 利用する数学関数の使い方を理解する。  
(3.6の演習課題)
- 第8回 【授業テーマ】 演習  
【内容・方法 等】 ・表計算のまとめ  
・理工学系レポート作成の基本  
【事前・事後学習課題】 レポート作成要領を理解する
- 第9回 【授業テーマ】 電子メール  
【内容・方法 等】 ・電子メールの配信の仕組み  
・課題のメール送信  
【事前・事後学習課題】 添付ファイルの送信方法を理解する。  
(4.1.4.2の練習)
- 第10回 【授業テーマ】 ネット技術と情報検索  
【内容・方法 等】 ・情報検索の方法  
・HTML入門  
【事前・事後学習課題】 インターネットの仕組みを理解する。  
(4.3と5.1の練習)
- 第11回 【授業テーマ】 演習  
【内容・方法 等】 ・情報検索とHTMLレポートのまとめ方  
【事前・事後学習課題】 レポートのまとめ方を整理する。  
(演習課題配布)
- 第12回 【授業テーマ】 プレゼンテーションソフト入門  
【内容・方法 等】 ・PowerPointの基本操作  
【事前・事後学習課題】 PowerPointの起動・終了，ファイルの読込・保存を理解する。  
(6章全般)
- 第13回 【授業テーマ】 プレゼンテーション資料の作成  
【内容・方法 等】 ・効果的なデータ提示（ヒストグラム等）  
・資料の作成方法  
【事前・事後学習課題】 Word文書の作成との違いを理解する。  
(6章全般)
- 第14回 【授業テーマ】 テクニカル・プレゼンテーション  
総合演習(1)  
【内容・方法 等】 ・プレゼンテーション資料の作成演習  
・発表の仕方  
【事前・事後学習課題】 総合演習課題
- 第15回 【授業テーマ】 総合演習(2)  
【内容・方法 等】 ・演習課題とレポート作成  
【事前・事後学習課題】 総合演習課題

**評価方法（基準）**  
平常点（30%）と演習レポート（70%）で総合的に評価する。

**教材等**  
教科書…「Office2010で学ぶコンピュータリテラシー」（小野目 如快著，実教出版，2,100円）  
参考書…必要に応じて参考資料を配付する。

**学生へのメッセージ**  
学業を遂行していく上で必須となる情報処理の基本技術を身に着けることができます。毎回実施する演習課題を着実にこなしていくことが重要です。

**関連科目**  
-  
**担当者の研究室等**  
8号館3階 A科共通準備室

建築情報処理II

Architectural Computer Science II

木多 彩子 (キタ アヤコ)  
小林 宏彰 (コバヤシ ヒロアキ)  
辻井 麻衣子 (ツジイ マイコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択必修	2

授業概要・目的・到達目標

【授業概要・目的】 建築の設計・施行に際して必要となるコンピュータを用いた製図技術 (CAD: Computer Aided Design) の修得を目的とする。本講義では2次元CADはAuto CADを利用し、3次元CADはSketchUpを用いる。本講義は情報処理室で行うが、パソコン台数と作業時間に限りがあるので、3年次学生の履修を優先する。【到達目標】 1)Auto CADで基本的な操作を覚える。2)Auto CADで一般図が作成できる。3)SketchUpでプレゼンテーション図面が作成できる。

【学科の学習・教育目標との対応】 [E]

授業方法と留意点

授業時間内に作業を進め、完了するためには、無遅刻、無欠席が必須である

科目学習の効果 (資格)

CADを用いた製図は、とりわけ透視図作成時に活用度が高い。また他のCAD・CGソフト習得時の理解が速まる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション、Auto CAD の概要  
Auto CAD 基本操作と基本コマンド 1  
【内容・方法 等】 コンピュータ利用上の説明、バックアップ体制の準備、カスタマイズ  
操作手順、拡大・縮小、入力方法、作成コマンド  
【事前・事後学習課題】 配布プリント (参考書p.24からp.55)
- 第2回 【授業テーマ】 Auto CAD基本操作と基本コマンド 2  
【内容・方法 等】 修正コマンド、文字記入、寸法記入、練習問題  
【事前・事後学習課題】 配布プリント (参考書p.56からp.88)
- 第3回 【授業テーマ】 Auto CAD 平面図作成 1  
【内容・方法 等】 通り芯、寸法の作図  
【事前・事後学習課題】 配布プリント (参考書p.90からp.116)
- 第4回 【授業テーマ】 Auto CAD 平面図作成 2  
【内容・方法 等】 柱、壁の作図  
【事前・事後学習課題】 配布プリント (参考書p.117からp.140)
- 第5回 【授業テーマ】 Auto CAD 平面図作成 3  
【内容・方法 等】 建具、設備の作図  
【事前・事後学習課題】 配布プリント (参考書p.141からp.158) ほか
- 第6回 【授業テーマ】 Auto CAD 平面図作成 4  
【内容・方法 等】 文字入力、印刷出力  
【事前・事後学習課題】 配布プリント (参考書p.159からp.186)
- 第7回 【授業テーマ】 中間作業確認  
【内容・方法 等】 AutoCAD操作修得の確認  
【事前・事後学習課題】 配布プリント
- 第8回 【授業テーマ】 SketchUpの概要 基本操作  
【内容・方法 等】 SketchUp の基本コマンド、基本操作、練習問題  
【事前・事後学習課題】 教科書 (p.27からp.70)
- 第9回 【授業テーマ】 SketchUpによる建物のモデリング 1  
【内容・方法 等】 平面図の読み込みと壁の作成  
【事前・事後学習課題】 教科書 (p.71からp.109)
- 第10回 【授業テーマ】 SketchUpによる建物のモデリング 2  
【内容・方法 等】 建具の作成  
【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第11回 【授業テーマ】 SketchUpによる建物のモデリング 3  
【内容・方法 等】 階段の作成  
【事前・事後学習課題】 教科書 (p.122からp.147)
- 第12回 【授業テーマ】 SketchUpによる建物のモデリング 4  
【内容・方法 等】 屋根の作成  
【事前・事後学習課題】 教科書 (p.110からp.121)
- 第13回 【授業テーマ】 SketchUpによる建物のモデリング 5  
【内容・方法 等】 マテリアルの表現  
【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第14回 【授業テーマ】 SketchUpによる建物のモデリング 6  
【内容・方法 等】 見せ方の工夫 出力  
【事前・事後学習課題】 図面の完成 出力
- 第15回 【授業テーマ】 期末作業確認  
【内容・方法 等】 SketchUp操作修得の確認  
【事前・事後学習課題】 配布資料
- 評価方法 (基準)  
課題点(40%)、中間作業確認 (30%)、期末作業確認 (30%)
- 教材等

教科書…「Google SketchUp パーフェクトテクニック」 (株) エクスタレッジ 2800円  
授業中に適宜プリントを配布  
参考書…「やさしく学ぶAuto CAD LT」 (株) エクスタレッジ 2800円  
授業中に適宜プリントを配布

学生へのメッセージ

私語を慎み熱心に取り組めば、授業時間内に作業を完了させることが充分にできます。もし、自宅で復習や自習をする場合にはwindowsのコンピュータが必要です。

関連科目

設計演習 I・IIa・II

担当者の研究室等

8号館3階 木多教授室

建築情報処理III

Architectural Computer Science III

辻井 麻衣子 (ツジイ マイコ)  
宮本 征一 (ミヤモト セイイチ)  
小林 健治 (コバヤシ ケンジ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択必修	2

授業概要・目的・到達目標

【建築学科学習目標】 (E) 【授業概要・目的】 企画、設計、施工という建設業務の多くでは、文書作成、表計算、プレゼンテーション能力が必要とされている。そのため、Excel、Photoshop、Illustratorを用いて、報告書の作成、簡易な表計算、プレゼンテーションの手法について実習を中心に学ぶ。そのために必要なデータの統計処理等の数学的手法について学ぶ。又、昨今の建築実務業界におけるBIMに関する基礎的な知見を得る。【到達目標】 1) Excelを用いて図表の作成と表計算ができること。2) Wordを用いて報告書を作成できること。3) PhotoshopおよびIllustratorを用いてプレゼンテーションボードが作成できること。

【学科の学習・教育目標との対応】 [E]

授業方法と留意点

始めに簡単な説明をしますが、講義の基本は自発的な演習と質問に対する回答という方法で行ないます。

科目学習の効果 (資格)

将来の実務・現場でのデータ処理やプレゼンテーション能力の基礎となる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 基本事項の説明  
【内容・方法 等】 この講義では、Windows とExcel、Word、Photoshop、Illustratorを使って講義を進めるので、Excel、Word、Photoshop、Illustratorの基本的事項を述べる。  
【事前・事後学習課題】 シラバスを熟読してくる
- 第2回 【授業テーマ】 Excel: その1  
【内容・方法 等】 統計学の基礎を学び、Excel関数などを使用して、表計算を行えるようになる。  
【事前・事後学習課題】 本日の課題をマスターしてくる
- 第3回 【授業テーマ】 Excel: その2  
【内容・方法 等】 環境工学で得られた実験データを用いて、図表を作成する。  
【事前・事後学習課題】 本日の課題をマスターしてくる
- 第4回 【授業テーマ】 Excel: その3 およびWordの操作  
【内容・方法 等】 図表をWord上に貼り付けるなどの報告書のスキルを身につける。  
【事前・事後学習課題】 本日の課題をマスターしてくる
- 第5回 【授業テーマ】 中間試験  
【内容・方法 等】 Excel・Wordの使い方についての試験。  
【事前・事後学習課題】
- 第6回 【授業テーマ】 建築写真の加工: その1  
【内容・方法 等】 色の補正、明るさの補正 (教科書pp70-85)  
【事前・事後学習課題】 本日の課題をマスターしてくる
- 第7回 【授業テーマ】 建築写真の加工: その2  
【内容・方法 等】 修復、形状の補正 (教科書pp86-102)  
【事前・事後学習課題】 本日の課題をマスターしてくる
- 第8回 【授業テーマ】 建築パースの加工: その1  
【内容・方法 等】 背景・人物の合成 (教科書pp104-123)  
【事前・事後学習課題】 本日の課題をマスターしてくる
- 第9回 【授業テーマ】 建築パースの加工: その2  
【内容・方法 等】 光と影の表現 (教科書pp124-142)  
【事前・事後学習課題】 本日の課題をマスターしてくる
- 第10回 【授業テーマ】 建築図面の加工: その1  
【内容・方法 等】 図面の着色 (教科書pp22-45)



**第11回** 【事前・事後学習課題】 本日の課題をマスターしてくること  
【授業テーマ】 建築図面の加工：その2  
【内容・方法等】 素材感、立体感の表現（教科書pp.46-68）

**第12回** 【事前・事後学習課題】 本日の課題をマスターしてくること  
【授業テーマ】 プレゼンテーションボードの作成：その1  
【内容・方法等】 ロゴの作成、画像の取り込み（教科書pp.144-173）  
テキスト読み込み、レイアウト、印刷（教科書pp.174-205）

**第13回** 【事前・事後学習課題】 本日の課題をマスターしてくること  
【授業テーマ】 プレゼンテーションボードの作成：その2  
【内容・方法等】 プレゼンテーションボードの完成と出力

**第14回** 【事前・事後学習課題】 本日の課題をマスターしてくること  
【授業テーマ】 発表会  
【内容・方法等】 各自のプレゼンテーションボードを発表する。  
【事前・事後学習課題】 プレゼンテーションで指摘を受けた内容を反映した成果品を提出すること。

**第15回** 【授業テーマ】 BIM (Building Information Modeling)  
【内容・方法等】 建築実務業界におけるBIMの現状や今後の可能性について学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 講義の聴講レポートを提出すること。

**評価方法（基準）**  
ExcelとWordの基礎的な使い方を理解しているかについて中間試験(30%)およびプレゼンテーションボード成果品(30%)発表態度(20%)で達成度を判定し、平常作業点(10%)とレポート(10%)と合わせて評価する。

**教材等**  
教科書…「建築とインテリアのためのPhotoshop+Illustratorテクニック」  
エックスナレッジ 2500円  
参考書…未定

**学生へのメッセージ**  
講義に対して積極的に取り組んでください。教科書や参考書の指定はしませんが、個々に合った本を購入して利用するようにしてください。

**関連科目**  
卒業研究

**担当者の研究室等**  
8号館3階 宮本准教授室・小林講師室

設計演習III Architectural Planning and Drawing III				
		木 多 彩 子 (キタ アヤコ)		
		香 川 貴 範 (カガワ タカノリ)		
		山 口 尚 之 (ヤマグチ ナオユキ)		
		岩 本 賀 伴 (イワモト ヨシトモ)		
		長 澤 浩 二 (ナガサワ コウジ)		
		小 林 健 治 (コバヤシ ケンジ)		
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択必修	3

**授業概要・目的・到達目標**  
これまでの設計演習の成果を基に複合的な設計課題に取組みます。第一課題は集合住宅の設計です。第二課題は、計画内容と表現方法を一定の時間内にまとめる力を訓練します。第三課題は、教育施設の設計です。いずれも、設定された敷地周辺の環境や歴史を読み解いた上で、その場に相応しい建築の有り様を提案します。到達目標は設定テーマについて、必要な構成力を有し、計画内容・アイデア等をわかりやすく美しくプレゼンテーションし、成果物として完成させることです。  
学科の学習・教育目標との対応：[F]

**授業方法と留意点**  
小人数グループでの個別指導による。演習は製図室でのエスキス、製図に留まらず、見学や調査なども積極的に行う。

**科目学習の効果（資格）**  
この科目は、建築士2次試験（実技試験）と大変に関連が深い。  
毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

**第1回** 【授業テーマ】 集合住宅の設計（第1回）  
【内容・方法等】 ・課題説明  
・グループ分けおよび作業方法の説明  
・グループ別指導  
【事前・事後学習課題】 調査・図面・模型作成  
集合住宅の事例検討

**第2回** 【授業テーマ】 集合住宅の設計（第2回）  
【内容・方法等】 グループ別個別指導など  
【事前・事後学習課題】 調査・図面・模型作成  
集合住宅の事例検討

**第3回** 【授業テーマ】 集合住宅の設計（第3回）  
【内容・方法等】 グループ別個別指導など  
【事前・事後学習課題】 調査・図面・模型作成  
集合住宅の事例検討

**第4回** 【授業テーマ】 集合住宅の設計（第4回）  
【内容・方法等】 グループ別個別指導など  
【事前・事後学習課題】 調査・図面・模型作成  
集合住宅の事例検討

**第5回** 【授業テーマ】 集合住宅の設計（第5回）  
【内容・方法等】 グループ別個別指導など  
【事前・事後学習課題】 表現手法・図面レイアウトの検討

**第6回** 【授業テーマ】 集合住宅の設計（第6回）  
【内容・方法等】 課題作品の発表と講評  
【事前・事後学習課題】 プレゼンテーションの方法を検討する。

**第7回** 【授業テーマ】 集合住宅の設計（第7回）  
【内容・方法等】 課題作品に対する提案のあり方についての検討  
【事前・事後学習課題】 プレゼンテーションの方法を検討する。  
また他者の作品に対する批評を行う。

**第8回** 【授業テーマ】 一日設計課題  
【内容・方法等】 ・課題説明  
・エスキス、設計製図  
・仕上げ作業  
【事前・事後学習課題】 一日設計課題に必要な検討事項を整理し、自身の設計からプレゼンテーションまでのプロセスを認識する。

**第9回** 【授業テーマ】 教育施設の設計（第1回）  
【内容・方法等】 ・課題説明  
・グループ分けおよび作業方法の説明  
・グループ別指導  
【事前・事後学習課題】 調査・図面・模型作成  
教育施設の事例検討

**第10回** 【授業テーマ】 教育施設の設計（第2回）  
【内容・方法等】 グループ別個別指導  
【事前・事後学習課題】 調査・図面・模型作成  
教育施設の事例検討

**第11回** 【授業テーマ】 教育施設の設計（第3回）  
【内容・方法等】 グループ別個別指導  
【事前・事後学習課題】 調査・図面・模型作成  
教育施設の事例検討

**第12回** 【授業テーマ】 教育施設の設計（第4回）  
【内容・方法等】 グループ別個別指導  
【事前・事後学習課題】 調査・図面・模型作成  
教育施設の事例検討

**第13回** 【授業テーマ】 教育施設の設計（第5回）  
【内容・方法等】 グループ別個別指導  
【事前・事後学習課題】 表現手法・図面レイアウトの検討

**第14回** 【授業テーマ】 教育施設の設計（第6回）  
【内容・方法等】 課題作品の発表と講評  
【事前・事後学習課題】 プレゼンテーションの方法を検討する。

**第15回** 【授業テーマ】 教育施設の設計（第7回）  
【内容・方法等】 課題作品に対する提案のあり方についての検討  
【事前・事後学習課題】 プレゼンテーションの方法を検討する。  
また他者の作品に対する批評を行う。

**評価方法（基準）**  
各課題ごとに作品の評価を行う。到達目標の60点以上を合格とする。

**教材等**  
教科書…川北健雄ほか『初めての建築設計ステップ・バイ・ステップ』彰国社@2600  
日本建築学会編「コンパクト建築設計資料集成」(丸善)@5040  
参考書…課題の進捗に応じて適宜紹介する。

**学生へのメッセージ**  
単体としての建築物のあり方のみならず、地域社会との関係から、いかにより多くの人々に開かれた環境を創造させるかがポイントとなります。

**関連科目**  
設計演習 I、II a、II b、III b、建築計画系科目が特に関連するが、専門科目全般が関連科目と言える。

**担当者の研究室等**  
8号館3階 木多教授室・小林講師室

建築計画 Architectural Planning				
		木 多 彩 子 (キタ アヤコ)		
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択必修	2

授業概要・目的・到達目標

【授業概要・目的】建築計画各論は、人間の活動の受け皿としての空間を、その空間の使われ方（ビルディングタイプ）に応じて知見を整理する講義である。具体的には、利用者と使用者という二つの視点からみた「建物の使われ方」、文化的背景を踏まえた「規模計画」、近年注目されている具体的な事例などをとりあげる。【到達目標】1)各種ビルディングタイプの特徴の理解 2)規模計画の基本的事項の把握 3)代表的な事例とプランタイプを理解  
学科の学習・教育目標との対応：[F]

授業方法と留意点

講義全般において建築計画上の要点をおさえつつ、近年注目される建築事例を紹介し、学生の皆さんも積極的に外に出て、講義で習った事項を実際の場所や空間で実体験するようにしてください。

科目学習の効果（資格）

設計演習Ⅱa、Ⅱb、Ⅲa、Ⅲb、および卒業設計、さらに建築士試験において必要な基礎的知識を得られる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 建築計画とは何か  
【内容・方法等】 建築計画が教えること・教えないこと 建築計画各論の目的 生活圏とコミュニティ施設、プレスト  
【事前・事後学習課題】 予習課題（1）
- 第2回 【授業テーマ】 居住施設の計画 1  
【内容・方法等】 独立住宅の計画と実例  
【事前・事後学習課題】 予習課題（2）
- 第3回 【授業テーマ】 居住施設の計画 2  
【内容・方法等】 集合住宅の計画（かたち、関係、しくみ）と実例  
【事前・事後学習課題】 予習課題（3）
- 第4回 【授業テーマ】 居住施設の計画 3  
【内容・方法等】 集合住宅の計画（住宅地、住宅関連産業）と実例  
【事前・事後学習課題】 予習課題（4）
- 第5回 【授業テーマ】 商業・業務施設の計画 1  
【内容・方法等】 店舗・SCの計画と実例  
【事前・事後学習課題】 予習課題（5）
- 第6回 【授業テーマ】 商業・業務施設の計画 2  
【内容・方法等】 オフィス・駐車場の計画と実例  
【事前・事後学習課題】 予習課題（6）
- 第7回 【授業テーマ】 商業・業務施設の計画 3  
【内容・方法等】 ホテル・宿泊研修施設の計画と実例  
【事前・事後学習課題】 予習課題（7）
- 第8回 【授業テーマ】 中間テスト  
【内容・方法等】 第1回から第7回の学習内容習得状況の確認  
【事前・事後学習課題】 試験対策
- 第9回 【授業テーマ】 学校・教育施設の計画  
【内容・方法等】 幼稚園・小学校の計画と実例  
【事前・事後学習課題】 予習課題（8）
- 第10回 【授業テーマ】 社会・文化施設の計画 1  
【内容・方法等】 ホール・劇場の設計と実例  
【事前・事後学習課題】 予習課題(9)
- 第11回 【授業テーマ】 社会・文化施設の計画 2  
【内容・方法等】 図書館の設計と実例  
【事前・事後学習課題】 予習課題(10)
- 第12回 【授業テーマ】 社会・文化施設の計画 3  
【内容・方法等】 美術館の設計と実例  
【事前・事後学習課題】 予習課題(11)
- 第13回 【授業テーマ】 医療・福祉施設の計画 1  
【内容・方法等】 病院の設計と実例  
【事前・事後学習課題】 予習課題(12)
- 第14回 【授業テーマ】 医療・福祉施設の計画 2  
【内容・方法等】 高齢者居住施設の設計と実例  
【事前・事後学習課題】 予習課題(13)
- 第15回 【授業テーマ】 多様化するデザイン概念  
【内容・方法等】 建物再生、人々によるデザイン、未完成のデザイン  
【事前・事後学習課題】 -----

評価方法（基準）

学期末試験成績（30%）、中間試験（30%）、復習・予習課題（40%）

教材等

教科書…「建築空間計画」 積田洋ほか 彰国社（3500円）  
参考書…「かたちのデータファイル」 高橋研究室編、彰国社、（2600円）

学生へのメッセージ

色々な建物や街の環境を体験し、その場所の良さや価値（問題も含めて）が、空間・人・社会・使い方・歴史などによって、どのように成立しているかを考えることが重要です。建築計画で得た知識を元に、各自が体験し、読みとった場所を、復習・予習課題を通じて報告する機会を設けます。

関連科目

「建築計画基礎」、「構造力学・構造基礎」をあらかじめ修得し

ておくこと。

担当者の研究室等

8号館3階 木多教授室

日本建築史

History of Japanese Architecture

中川 等 (ナカガワ ヒトシ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択必修	2

授業概要・目的・到達目標

【授業概要・目的】日本の建築の歴史について、有史以前から古代、中世、近世、近代にいたる形成と展開の過程を講述する。各時代の寺院、神社、住宅など代表的な建築を写真と図面により具体的に紹介し、その空間構成と構造技法、意匠材料の特徴と変遷について通史的に解説する。当時の社会的な背景と生活様式、生産技術についても言及し、幅広い視野で総合的に建築を捉えるようにつとめる。あわせて、都市や集落、町並など集住環境の歴史についても考察を加える。【到達目標】建築と集住環境の歴史及びその背景に関する総合的な理解と、歴史に基づく創造的発想の育成である。

学科の学習・教育目標との対応：[G]

授業方法と留意点

授業では、重要項目を板書して解説を行う。毎回、教科書の写真と図面に基づいて説明するので、必ず教科書を持参すること。

科目学習の効果（資格）

建築や都市に関わる者の基本素養として、また一級・二級建築士の資格を取得するために、建築史の知識は必要である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 概説  
【内容・方法等】 時代区分と基本語彙  
【事前・事後学習課題】 説明した基本語彙を習得する。
- 第2回 【授業テーマ】 堅穴住居と高床住居  
【内容・方法等】 先史・原史時代を遺跡・遺物から探る  
【事前・事後学習課題】 興味をもった遺跡・遺物について写真集等で再確認する。
- 第3回 【授業テーマ】 神社建築の諸相  
【内容・方法等】 神社建築の起源と諸形式の特徴  
【事前・事後学習課題】 興味をもった神社建築について写真集等で再確認する。
- 第4回 【授業テーマ】 仏教伝来と法隆寺  
【内容・方法等】 飛鳥・奈良時代の寺院建築とその展開  
【事前・事後学習課題】 興味をもった寺院建築について写真集等で再確認する。
- 第5回 【授業テーマ】 密教と浄土教の建築  
【内容・方法等】 平安時代の寺院建築とその展開  
【事前・事後学習課題】 興味をもった寺院建築について写真集等で再確認する。
- 第6回 【授業テーマ】 古代の都市と住宅  
【内容・方法等】 平城京・平安京の建設と宮殿・住宅  
【事前・事後学習課題】 興味をもった遺跡・建築について写真集等で再確認する。
- 第7回 【授業テーマ】 鎌倉仏教と新様式  
【内容・方法等】 伝統的な和様と大仏様・禅宗様の展開  
【事前・事後学習課題】 興味をもった寺社建築について写真集等で再確認する。
- 第8回 【授業テーマ】 座敷飾りと書院造  
【内容・方法等】 寝殿造から書院造が成立した過程  
【事前・事後学習課題】 興味をもった住宅建築について写真集等で再確認する。
- 第9回 【授業テーマ】 中世の庶民住宅  
【内容・方法等】 中世の都市・農村と庶民の住宅  
【事前・事後学習課題】 興味をもった遺跡・絵画・建築について写真集等で再確認する。
- 第10回 【授業テーマ】 城と城下町  
【内容・方法等】 近世の寺社・霊廟・城郭建築と城下町  
【事前・事後学習課題】 興味をもった建築・都市について写真集等で再確認する。
- 第11回 【授業テーマ】 茶室と数寄屋  
【内容・方法等】 茶室と数寄屋の形成とその展開  
【事前・事後学習課題】 興味をもった茶室・数寄屋建築について写真集等で再確認する。
- 第12回 【授業テーマ】 近世民家の成立  
【内容・方法等】 近世民家の地域分布と成立背景  
【事前・事後学習課題】 興味をもった民家建築について写真集等で再確認する。
- 第13回 【授業テーマ】 近代の洋風・和風建築  
【内容・方法等】 近代化の進展と洋風・和風建築の展開  
【事前・事後学習課題】 興味をもった洋風・和風建築について写真集等で再確認する。



第14回 【授業テーマ】 歴史的建造物と都市の現在  
【内容・方法 等】 文化財保護の現況と課題  
【事前・事後学習課題】 歴史的建造物と都市の現況と課題について各自で考察する。

第15回 【授業テーマ】 まとめ  
【内容・方法 等】 日本建築の特質  
【事前・事後学習課題】 日本建築の特質について各自で考察する。

評価方法 (基準)  
定期試験の結果により判断する (100%)。定期試験は自筆ノート参照可とするので、講義にしっかり出席して充実したノート作成を心がけること。

教材等  
教科書…「日本建築史図集 (新訂第三版)」日本建築学会編 彰国社 (2625円)  
参考書…授業中に適宜紹介する。

学生へのメッセージ  
日本建築史を理解するためには、歴史的な建築と環境に実際に接してその空間を体験することが大切である。京都、奈良、大阪など大学の周辺は史跡と文化財の宝庫であり、各所に伝統文化がいまも残っている。現地に足を運んで自ら感得することが望ましい。

関連科目  
通時的に解説する本科目に続いて、特論的に講述する住環境史を履修すると、日本建築史に関する理解がもっと深まる。

担当者の研究室等  
7号館2階 非常勤講師室

住環境史 History of Living Environment				
中川 等 (ナカガワ ヒトシ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択必修	2

授業概要・目的・到達目標  
[授業概要・目的]日本の伝統的な住環境の特質を論じる。1) 住宅と住環境 (1~8回)。大学の地元である大阪を事例として、住宅と住環境の歴史を実証的に考察する。ついで全国に視野を広げて、伝統的な住宅と住環境の地域性と時代性について分析し、その価値と魅力を今後の住まいづくりとまちづくりに生かす意味と手法について検討する。2) 住環境関連分野 (9~13回)。家具・建具、庭園、大工道具、設計技法、建築図面の歴史について講述する。[到達目標]伝統的な住宅と住環境の特質及びその関連分野に関する総合的な理解と、歴史に基づく創造的発想の育成である。  
学科の学習・教育目標との対応: [G]

授業方法と留意点  
授業では、重要項目を板書して解説を行う。適宜プリントを配付する。

科目学習の効果 (資格)  
建築や都市に関わる者の基本素養として、また一級・二級建築士の資格を取得するために、住環境史の知識は必要である。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 概説  
【内容・方法 等】 大阪の歴史について概説する。  
【事前・事後学習課題】 大阪を散策して、地域に残る歴史を見出し、その課題を考察する。
- 第2回 【授業テーマ】 住環境と地域基盤  
【内容・方法 等】 古地図など資料紹介を行い、大阪の住環境と地域基盤の形成過程について解説する。  
【事前・事後学習課題】 大阪を散策して、地域に残る歴史を見出し、その課題を考察する。
- 第3回 【授業テーマ】 名所図会と集落景観  
【内容・方法 等】 河内名所図会など資料紹介を行い、大阪の集落景観の特徴と変遷について解説する。  
【事前・事後学習課題】 大阪を散策して、地域に残る歴史を見出し、その課題を考察する。
- 第4回 【授業テーマ】 高層造と瓦葺き  
【内容・方法 等】 調査報告書など資料紹介を行い、大阪の民家建築の特徴と変遷について解説する。  
【事前・事後学習課題】 大阪を散策して、地域に残る歴史を見出し、その課題を考察する。
- 第5回 【授業テーマ】 伝統的な住宅と住環境の地域性  
【内容・方法 等】 各地域の住宅と住環境の特徴とその成立背景について解説する。  
【事前・事後学習課題】 興味をもった住宅と住環境について写真集等で再確認する。
- 第6回 【授業テーマ】 伝統的な住宅と住環境の時代性  
【内容・方法 等】 各時代の住宅と住環境の特徴とその変遷過程について解説する。

【事前・事後学習課題】 興味をもった住宅と住環境について写真集等で再確認する。

第7回 【授業テーマ】 伝統的な住宅と住環境の保存  
【内容・方法 等】 伝統的な住宅と住環境を保存する考え方とその制度について論じる。  
【事前・事後学習課題】 興味をもった住宅と住環境の保存事例について写真集等で再確認する。

第8回 【授業テーマ】 伝統的な住宅と住環境の再生・活用  
【内容・方法 等】 伝統的な住宅と住環境を再生・活用する考え方とその手法について論じる。  
【事前・事後学習課題】 興味をもった住宅と住環境の再生・活用事例について写真集等で再確認する。

第9回 【授業テーマ】 家具・建具の歴史  
【内容・方法 等】 家具・建具の形式と歴史について解説し、建築空間との関係を考察する。  
【事前・事後学習課題】 興味をもった家具・建具について写真集等で再確認する。

第10回 【授業テーマ】 庭園の歴史  
【内容・方法 等】 庭園の様式と歴史について解説し、建築空間との関係を考察する。  
【事前・事後学習課題】 興味をもった庭園について写真集等で再確認する。

第11回 【授業テーマ】 大工道具の歴史  
【内容・方法 等】 大工道具の編成と歴史及び継手・仕口の技法について解説する。  
【事前・事後学習課題】 興味をもった大工道具について写真集等で再確認する。

第12回 【授業テーマ】 設計技法の歴史  
【内容・方法 等】 完数制・枝割制・木割術及び構造と装飾の変遷について解説する。  
【事前・事後学習課題】 興味をもった設計技法について写真集・資料集等で再確認する。

第13回 【授業テーマ】 建築図面の歴史  
【内容・方法 等】 建築図面の作成目的及び形式・内容の歴史について解説する。  
【事前・事後学習課題】 興味をもった建築図面について写真集・資料集等で再確認する。

第14回 【授業テーマ】 まとめ1  
【内容・方法 等】 日本の伝統的な住宅と住環境の特質について論じる。  
【事前・事後学習課題】 日本の伝統的な住宅と住環境の特質について各自で考察する。

第15回 【授業テーマ】 まとめ2  
【内容・方法 等】 環境と共生し、歴史と文化を受け継ぐ、持続可能な住まいづくりとまちづくりに関して論じる。  
【事前・事後学習課題】 今後の住まいづくりとまちづくりに関して各自で考察する。

評価方法 (基準)  
定期試験の結果により判断する (100%)。定期試験は自筆ノート参照可とするので、講義にしっかり出席して充実したノート作成を心がけること。

教材等  
教科書…なし。  
参考書…授業中に適宜紹介する。

学生へのメッセージ  
建築史・環境史を理解するためには、歴史的な建築と環境に実際に接してその空間を体験することが大切である。京都、奈良、大阪など大学の周辺は史跡と文化財の宝庫であり、各所に伝統文化がいまも残っている。現地に足を運んで自ら感得することが望ましい。

関連科目  
通時的に解説する日本建築史をあらかじめ履修しておくこと、本科目の理解がもっと深まる。

担当者の研究室等  
7号館2階 非常勤講師室

建築デザイン論  
Theory of Architectural Design

佐野 潤一 (サノ ジュンイチ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択必修	2

授業概要・目的・到達目標  
建築デザインの基礎的事項や、設計思考と表現の関係について講義する。  
具体的な建築作品について考察することで、空間把握能力の向上はもとより、建築と社会の関係を発見することを目標とする。  
学科の学習・教育目標との対応: [G]

授業方法と留意点  
講義はパワーポイントと配布資料を使用。

建築史、建築デザインの知識が有るとより深く理解出来るので、図書館等を利用して積極的に復習されたい。

**科目学習の効果 (資格)**

1級建築士の試験、建築設計演習の設計思考のベースとなる。及び設計関連の仕事につくにはベーシックな素養となる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 建築の仕事  
【内容・方法等】 作品紹介  
【事前・事後学習課題】 講義の内容についての復習
- 第2回 【授業テーマ】 現代建築の設計思考1  
【内容・方法等】 具体的な建築作品を多角的に分析する  
【事前・事後学習課題】 講義の内容についての復習
- 第3回 【授業テーマ】 現代建築の設計思考2  
【内容・方法等】 具体的な建築作品を多角的に分析する  
【事前・事後学習課題】 講義の内容についての復習
- 第4回 【授業テーマ】 現代建築の設計思考3  
【内容・方法等】 具体的な建築作品を多角的に分析する  
【事前・事後学習課題】 レポート課題の提出
- 第5回 【授業テーマ】 現代建築の設計思考4  
【内容・方法等】 具体的な建築作品を多角的に分析する  
【事前・事後学習課題】 講義の内容についての復習
- 第6回 【授業テーマ】 現代建築の設計思考5  
【内容・方法等】 具体的な建築作品を多角的に分析する  
【事前・事後学習課題】 講義の内容についての復習
- 第7回 【授業テーマ】 現代建築の設計思考6  
【内容・方法等】 具体的な建築作品を多角的に分析する  
【事前・事後学習課題】 講義の内容についての復習
- 第8回 【授業テーマ】 作品紹介  
【内容・方法等】 現代の作品紹介  
【事前・事後学習課題】 感想文の提出
- 第9回 【授業テーマ】 現代建築の設計思考7  
【内容・方法等】 具体的な建築作品を多角的に分析する  
【事前・事後学習課題】 講義の内容についての復習
- 第10回 【授業テーマ】 現代建築の設計思考8  
【内容・方法等】 具体的な建築作品を多角的に分析する  
【事前・事後学習課題】 講義の内容についての復習
- 第11回 【授業テーマ】 現代建築の設計思考9  
【内容・方法等】 具体的な建築作品を多角的に分析する  
【事前・事後学習課題】 レポート課題の提出
- 第12回 【授業テーマ】 現代建築の設計思考10  
【内容・方法等】 具体的な建築作品を多角的に分析する  
【事前・事後学習課題】 講義の内容についての復習
- 第13回 【授業テーマ】 現代建築の設計思考11  
【内容・方法等】 具体的な建築作品を多角的に分析する  
【事前・事後学習課題】 講義の内容についての復習
- 第14回 【授業テーマ】 現代建築の設計思考12  
【内容・方法等】 具体的な建築作品を多角的に分析する都市  
【事前・事後学習課題】 レポート課題の提出
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ  
【内容・方法等】 これまでの内容のまとめ  
【事前・事後学習課題】 感想文の提出

**評価方法 (基準)**

上記到達目標をレポート・感想文・平常点に応じて評価する。出席点は認めない。

**教材等**

教科書…なし

参考書…なし

**学生へのメッセージ**

建築にまず興味を持って下さい。建築を志した瞬間に昨日まで見ていた街の風景が変わっていきます。設計課題と合わせてこの講義を受講することで、今後進路を決めるに当たっての指南となれば幸いです。

**関連科目**

日本・西洋・近代建築史、建築設計演習

**担当者の研究室等**

8号館3階 佐野教授室

**造形演習I**

Seminar of Formative Arts I

井村良裕 (イムラ ヨシヒロ)  
橋本紀夫 (ハシモト ミチオ)  
山崎秀昭 (ヤマサキ ヒデアキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択必修	1

**授業概要・目的・到達目標**

建築を始めとする全ゆる造形に対し、美を求めるのは、誰しもが抱く基本的欲求の一つです。本演習では広くファインアート(純粋美術)に根ざした立場から、美しい形(特に立体)を具

体的に取り扱います。当面は西洋近代の造形理念を足場にして、個人の感性から生み出される形でのトレーニングが有効です。従って学生諸君はこの演習の中で、近代から現代に至る造形の世界を良く知る事、そして、各個人の中に潜んでいる感性を、鋭く目覚めさせる事が目標となります。良く知って、鋭く蘇らせながら形を作り続けるうちに、徐々に美しい形に対する判断力が身に付いて来るでしょう。

又、建築家として必ず求められる素養の一つ、フリーハンドによって正確な形態、明・暗、質感を描く力を身に付ける為、毎授業時に鉛筆ドローイングも行います。さらに、描写の建築的実践の為学外の演習を1度行います。

学科の学習・教育目標との対応：[F]

**授業方法と留意点**

実践的な形の課題に取り組む演習が基本です。平行してスライド、配布資料等を用いた講義により、理論及び知識を伝えます。一連の内容と、マン・ツー・マンで行う各学生との対話を通じ、総合的に造形を学びます。用具、材料の忘れ物は時に致命的になるので注意する事。

**科目学習の効果 (資格)**

特別の具体的効果は示し難いが、次第に磨かれる感性と、表現力の向上が期待される。

色彩の体系、調和に関しては、建築士試験の計画として出題される事が有る。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス。  
20分ドローイング。  
平面・色彩構成I-1。  
【内容・方法等】 授業に対する基本的態度、スケジュールの説明。用具、教材についての解説。「色彩と光」の講義。  
【事前・事後学習課題】 材料、用具の手配。
- 第2回 【授業テーマ】 平面・色彩構成I-2。  
20分ドローイング。  
【内容・方法等】 「色彩の体系」の講義。小スタディー課題。  
【事前・事後学習課題】 事後：復習問題。
- 第3回 【授業テーマ】 平面・色彩構成I-3。  
20分ドローイング。  
【内容・方法等】 「色彩の調和、ムーン・スペンサーの法則」の講義。  
【事前・事後学習課題】 事後：復習問題。
- 第4回 【授業テーマ】 立体構成I-1。  
20分ドローイング。  
【内容・方法等】 量的材料(粘土)による造形1。立体に関する講義と課題提示。スタディー小課題。具体的演習及び指導。  
【事前・事後学習課題】 事後：スケッチ及び復習レポート。
- 第5回 【授業テーマ】 立体構成I-2。  
20分ドローイング。  
【内容・方法等】 量的材料(粘土)による造形2。スタディー小課題。具体的演習及び指導。完成、講評。  
【事前・事後学習課題】 事後：スケッチ及び復習レポート。
- 第6回 【授業テーマ】 立体構成I-3。  
20分ドローイング。  
【内容・方法等】 量的材料(粘土)による造形3。テーマを持った本課題の提示。スライド等を併用した立体に関する講義。制作及び指導。  
【事前・事後学習課題】 事後：スケッチ及び復習レポート。
- 第7回 【授業テーマ】 立体構成I-4。  
20分ドローイング。  
【内容・方法等】 量的材料(粘土)による造形4。本課題の制作及び指導。完成。撮影、記録。  
【事前・事後学習課題】 事後：スケッチ及び復習レポート。
- 第8回 【授業テーマ】 立体構成II-1。  
20分ドローイング。  
【内容・方法等】 線的材料(アルミ線)による造形1。講義及びスタディー小課題の制作及び指導。  
【事前・事後学習課題】 事後：スケッチ及び復習レポート。
- 第9回 【授業テーマ】 立体構成II-2。  
20分ドローイング。  
【内容・方法等】 線的材料(アルミ線)による造形。スタディー小課題の制作及び指導。完成。講評。  
【事前・事後学習課題】 事後：スケッチ及び復習レポート。
- 第10回 【授業テーマ】 立体構成II-3。  
20分ドローイング。  
【内容・方法等】 線的材料(アルミ線)による造形。スライドによる講義。テーマを持った本課題の提示、制作及び指導。  
【事前・事後学習課題】 事後：スケッチ及び復習レポート。
- 第11回 【授業テーマ】 立体構成II-4。  
20分ドローイング。  
【内容・方法等】 線的材料(アルミ線)による造形。制作及び指導。完成。撮影、講評。  
【事前・事後学習課題】 事後：スケッチ及び復習レポート。
- 第12回 【授業テーマ】 石膏立像デッサン。  
【内容・方法等】 人体デッサンに備え、基礎的、基本的描画



法を学ぶ。  
**【事前・事後学習課題】** -----  
**【授業テーマ】** 人体デッサン1。  
**【内容・方法 等】** 対象を観察によって表現しようとする時、観察がどのように深められ、表現が厳密化されてゆくかを学ぶ為、裸婦をデッサンする。  
**【事前・事後学習課題】** -----  
**【授業テーマ】** 人体デッサン2。  
**【内容・方法 等】** 1に引き続き、習熟度、完成度を高める。講評、提出、記録。  
**【事前・事後学習課題】** -----  
**【授業テーマ】** 造形演習I 締めくくり。  
**【内容・方法 等】** 教材プリント、スライドを用い、前期のまとめを行う。  
**【事前・事後学習課題】** -----  
**評価方法 (基準)**  
 各演習毎の課題(本課題約70%、補助課題約30%) 提出作品全ての完成度、質によって評価し可否を判定する。なお、演習教科なので、100%の出席及び課題提出を前提とする。  
**教材等**  
**教科書**…特に指定しない。  
 ◎教材：石塑粘土(「アーティスト・フォルモ」)、キャンソンボード他 2000円程度。  
**参考書**…西洋美術全集(集英社 他)  
**学生へのメッセージ**  
 下手だ、センスが無いと身を引くより、実際の課題制作、ヌードデッサン、学外演習等我々は共に考え、感じ、工夫しながら常に感性に刺激を与え続けます。素直に受け留め、楽しく続けていくうちに、いつの間にか磨かれている自分に気付くはずです。  
**関連科目**  
 設計演習。  
**担当者の研究室等**  
 8号館3階 建築学科造形演習準備室

**造形演習II**

Seminar of Formative Arts II

井村 良裕 (イムラ ヨシヒロ)  
 橋本 紀夫 (ハシモト ミチオ)  
 山崎 秀昭 (ヤマサキ ヒデアキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択必修	1

**授業概要・目的・到達目標**

造形演習Iとは一体のものとして完結するように組み立てられています。Iとは同じ路線上で、同じ目標に至るものですが、現実的な提案、発表(プレゼンテーション)の軸となる平面上での手作業による表現、レイアウト等にもじっくりと取り組む方針です。同時に立体での演習は、課題の提示から、発想、試行、修正、完成までの速度、密度の向上に挑戦してもらい、学生諸君の五感、第六感の、より鋭い覚醒と表現力の熟習を目指します。

また、広く美術に親しむ為、学外での美術展観覧を行います。学科の学習・教育目標との対応：【F】

**授業方法と留意点**

基本的には実践的な表現の課題に取り組む。平行してスライド、配布資料等を用いた講義により、理論及び知識を伝え、一連の内容と、マン・ツー・マンで行う各学生との対話を通じ、総合的に造形、表現を学ぶ。用具、材料の忘れ物は時に致命的になるので注意する事。

**科目学習の効果 (資格)**

感性の更なる覚醒とともに、形を創造する事に対する厳密な態度や忍耐力の向上が期待される。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

**第1回** **【授業テーマ】** ガイダンス。  
**【内容・方法 等】** 授業に対する基本的態度、スケジュールの説明。用具、教材についての解説。2回目以降の作業に備えた準備手順の指導。  
**【事前・事後学習課題】** 事後：必要な材料の手配。演習の基本である線トレース。  
**第2回** **【授業テーマ】** 彩色演習1。  
**【内容・方法 等】** 描写について、透明水彩絵の具の扱い方、「基本色」の調色。彩色の進め方の指導及び実践。  
**【事前・事後学習課題】** 事後：着彩技法の復習(グレースケール)。  
**第3回** **【授業テーマ】** 彩色演習2。  
**【内容・方法 等】** 陰・影の彩色。「基本色」によるうす塗り、重ね塗りの指導及び実践。  
**【事前・事後学習課題】** 指定段階までの着彩完了。  
**第4回** **【授業テーマ】** 彩色演習3。  
**【内容・方法 等】** 陰・影の彩色。「基本色」によるグレイ

ング、グラデーション技法の指導及び実践。完了、中間提出。  
**【事前・事後学習課題】** 事後：未了者の作業。  
**【授業テーマ】** 彩色演習、プレゼンパースの簡易的着彩技法。  
**【内容・方法 等】** 「設計演習」等のプレゼンパースの短時間着彩法。指導及び実践。  
**【事前・事後学習課題】** 事後：練習問題。  
**【授業テーマ】** 立体構成Ⅲ-1  
**【内容・方法 等】** 面的材料(ケント紙)による造形。スタディー小課題の提示、制作及び指導。  
**【事前・事後学習課題】** 事後：スケッチ及び復習レポート。  
**【授業テーマ】** 立体構成Ⅲ-2  
**【内容・方法 等】** 面的材料(ケント紙)による造形。スタディー小課題の制作及び指導。完成、講評。  
**【事前・事後学習課題】** 事後：スケッチ及び復習レポート。  
**【授業テーマ】** 立体構成Ⅲ-3  
**【内容・方法 等】** 「近現代造形、表現概念の変遷史」スライド及び資料による講義。  
 面的材料(ケント紙)による造形。テーマを持った本課題の提示、制作及び指導。  
**【事前・事後学習課題】** 事後：スケッチ及び復習レポート。  
**【授業テーマ】** 立体構成Ⅲ-4  
**【内容・方法 等】** 面的材料(ケント紙)による造形。テーマを持った本課題の制作及び指導。完成、撮影及び講評。  
 彩色演習提出物の添削指導返却。  
**【事前・事後学習課題】** 事後：スケッチ及び復習レポート。  
**【授業テーマ】** 彩色演習4。  
**【内容・方法 等】** 「固有色」彩色の指導、実践。  
**【事前・事後学習課題】** 事後：指定段階までの彩色完了。  
**【授業テーマ】** 彩色演習5。  
**【内容・方法 等】** 「固有色」彩色の指導、実践、完了。  
**【事前・事後学習課題】** 事後：指定段階までの彩色完了。  
**【授業テーマ】** 彩色演習6。  
**【内容・方法 等】** 「最暗部」彩色の指導、実践。  
**【事前・事後学習課題】** 事後：指定段階までの彩色完了。  
**【授業テーマ】** 彩色演習7。  
**【内容・方法 等】** 「最明部」彩色の指導、実践。完了、提出。  
**【事前・事後学習課題】** 事後：未了者の作業完了。  
**【授業テーマ】** 平面・色彩構成1。  
**【内容・方法 等】** 小課題。課題に基づく「平面の分割と比例」スライド、資料による講義。  
**【事前・事後学習課題】** 事後：小課題。  
**【授業テーマ】** 平面・色彩構成2。  
**【内容・方法 等】** 「平面の分割と比例」スライド、資料による講義。  
 造形演習IIのまとめ。  
**【事前・事後学習課題】** -----

**評価方法 (基準)**

各演習毎の課題(本課題約70%、補助課題約30%) 提出作品全ての完成度、質によって評価し可否を判定する。

**教材等**

**教科書**…◎教材：水彩用具一式、キャンソンボード、ケント紙他 2000円程度。  
**参考書**…西洋美術全集(集英社 他)

**学生へのメッセージ**

下手だ、センスが無いと身を引くより、実際の課題制作、ヌードデッサン、学外演習等我々は共に考え、感じ、工夫しながら常に感性に刺激を与え続けます。素直に受け留め、楽しく続けていくうちに、いつの間にか磨かれている自分に気付くはずです。

**関連科目**

設計演習。

**担当者の研究室等**

8号館3階 建築学科造形演習準備室

**ユニバーサルデザイン**

Universal Design

大谷 由紀子 (オオタニ ユキコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択必修	2

**授業概要・目的・到達目標**

すべての人にやさしく、安全・快適な生活環境をめざすユニバーサルデザインの基本的な考え方や人間工学や感性工学にもとづく、「モノ」や「空間」のデザインへの適用に関する方法や実践事例を学ぶ。バリアフリーやユニバーサルデザインに関する基本的な概念および技術・デザイン事例の理解を到達目標とする。

学科の学習・教育目標との対応：【H】

**授業方法と留意点**

デザインの考え方を示す事例等の提示を通じて、あるべきデザインの方向性を確認していくプロセスを重視する。一般的な方

法論の理解にとどまらず、実際のユニバーサルデザインへの問題意識を持つことを大切にしたい。

科目学習の効果 (資格)

1級・2級建築士・インテリアコーディネーター・インテリアプランナー・福祉住環境コーディネーターなど

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 生活環境の変化  
【内容・方法等】 社会の変化と人々の生活環境の変化  
【事前・事後学習課題】 予習または復習課題 (1)
- 第2回 【授業テーマ】 バリアフリーとユニバーサルデザイン  
【内容・方法等】 バリアの意味と種類、ユニバーサルデザインの考え方と原則  
【事前・事後学習課題】 予習または復習課題 (2)
- 第3回 【授業テーマ】 多様な人間の心身機能と建築デザイン  
【内容・方法等】 老化や病気による心身機能の変化と動作  
【事前・事後学習課題】 予習または復習課題 (3)
- 第4回 【授業テーマ】 居住空間とユニバーサルデザイン1  
【内容・方法等】 日本の住まいの問題点  
【事前・事後学習課題】 予習または復習課題 (4)
- 第5回 【授業テーマ】 居住空間とユニバーサルデザイン2  
【内容・方法等】 安心安全からみた現代の住まい  
【事前・事後学習課題】 予習または復習課題 (5)
- 第6回 【授業テーマ】 居住空間とユニバーサルデザイン3  
【内容・方法等】 高齢期の住まい  
【事前・事後学習課題】 予習または復習課題 (6)
- 第7回 【授業テーマ】 居住空間とユニバーサルデザイン4  
【内容・方法等】 様々な障害と住まい  
【事前・事後学習課題】 予習または復習課題 (7)
- 第8回 【授業テーマ】 中間テスト  
【内容・方法等】 第1回から第7回の学習内容のまとめと習得状況の確認  
【事前・事後学習課題】 これまでの内容の復習
- 第9回 【授業テーマ】 公共建築とユニバーサルデザイン1  
【内容・方法等】 多様な人々と室内空間  
【事前・事後学習課題】 予習または復習課題 (8)
- 第10回 【授業テーマ】 疑似体験  
【内容・方法等】 高齢者、妊婦、車いす等の体験  
【事前・事後学習課題】 予習または復習課題 (9)
- 第11回 【授業テーマ】 疑似体験  
【内容・方法等】 高齢者、妊婦、車いす等の体験  
【事前・事後学習課題】 予習または復習課題 (10)
- 第12回 【授業テーマ】 公共空間とユニバーサルデザイン2  
【内容・方法等】 多様な人々と情報伝達  
【事前・事後学習課題】 予習または復習課題 (11)
- 第13回 【授業テーマ】 公共空間とユニバーサルデザイン3  
【内容・方法等】 外部空間と公園  
【事前・事後学習課題】 予習または復習課題 (12)
- 第14回 【授業テーマ】 福祉のまちづくり1  
【内容・方法等】 多様な人々と生活スタイル、人間と環境の関係  
【事前・事後学習課題】 予習または復習課題 (13)
- 第15回 【授業テーマ】 福祉のまちづくり2  
【内容・方法等】 安心安全とまちづくり  
【事前・事後学習課題】 -

評価方法 (基準)

中間試験(30%)、期末試験 (40%)、復習・予習課題 (30%) の合計100点満点の60点以上を合格とする。

教材等

教科書…適宜プリントを配布  
参考書…「ユニバーサルデザインー建築・都市環境づくりの提案と実践」彰国社@2800  
「ユニバーサルサイン」(学芸出版社)@3150  
「福祉住環境コーディネーター2級公式テキスト」(東京商工会議所)  
「日本建築学会「コンパクト資料集成バリアフリー」(丸善)

学生へのメッセージ

建築物のみならず、多くの生活環境の事物や仕組みに興味を持って、これからの社会システムに関して、具体的に提案したり、様々な計画やデザインに展開していくことを期待します。

関連科目

設計演習Ⅰ、Ⅱa、Ⅱb、Ⅲa、Ⅲb、建築計画基礎、建築計画各論、インテリア概論など

担当者の研究室等

8号館3階 大谷准教授室

ユニバーサルデザインI

Universal Design I

大谷 由紀子 (オオタニ ユキコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択必修	2

授業概要・目的・到達目標

すべての人にやさしく、安全・快適な生活環境をめざすユニバーサルデザインの基本的な考え方や人間工学や感性工学にもとづく、「モノ」や「空間」のデザインへの適用に関する方法や実践事例を学ぶ。バリアフリーやユニバーサルデザインに関する基本的な概念および技術・デザイン事例の理解を到達目標とする。

学科の学習・教育目標との対応：[H]

授業方法と留意点

デザインの考え方を示す事例等の提示を通じて、あるべきデザインの方向性を確認していくプロセスを重視する。一般的な方法論の理解にとどまらず、実際のユニバーサルデザインへの問題意識を持つことを大切にしたい。

科目学習の効果 (資格)

1級・2級建築士・インテリアコーディネーター・インテリアプランナー・福祉住環境コーディネーターなど

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 生活環境の変化  
【内容・方法等】 社会の変化と人々の生活環境の変化  
【事前・事後学習課題】 予習または復習課題 (1)
- 第2回 【授業テーマ】 バリアフリーとユニバーサルデザイン  
【内容・方法等】 バリアの意味と種類、ユニバーサルデザインの考え方と原則  
【事前・事後学習課題】 予習または復習課題 (2)
- 第3回 【授業テーマ】 多様な人間の心身機能と建築デザイン  
【内容・方法等】 老化や病気による心身機能の変化と動作  
【事前・事後学習課題】 予習または復習課題 (3)
- 第4回 【授業テーマ】 居住空間とユニバーサルデザイン1  
【内容・方法等】 日本の住まいの問題点  
【事前・事後学習課題】 予習または復習課題 (4)
- 第5回 【授業テーマ】 居住空間とユニバーサルデザイン2  
【内容・方法等】 安心安全からみた現代の住まい  
【事前・事後学習課題】 予習または復習課題 (5)
- 第6回 【授業テーマ】 居住空間とユニバーサルデザイン3  
【内容・方法等】 高齢期の住まい  
【事前・事後学習課題】 予習または復習課題 (6)
- 第7回 【授業テーマ】 居住空間とユニバーサルデザイン4  
【内容・方法等】 様々な障害と住まい  
【事前・事後学習課題】 予習または復習課題 (7)
- 第8回 【授業テーマ】 中間テスト  
【内容・方法等】 第1回から第7回の学習内容のまとめと習得状況の確認  
【事前・事後学習課題】 これまでの内容の復習
- 第9回 【授業テーマ】 公共建築とユニバーサルデザイン1  
【内容・方法等】 多様な人々と室内空間  
【事前・事後学習課題】 予習または復習課題 (8)
- 第10回 【授業テーマ】 疑似体験  
【内容・方法等】 高齢者、妊婦、車いす等の体験  
【事前・事後学習課題】 予習または復習課題 (9)
- 第11回 【授業テーマ】 疑似体験  
【内容・方法等】 高齢者、妊婦、車いす等の体験  
【事前・事後学習課題】 予習または復習課題 (10)
- 第12回 【授業テーマ】 公共空間とユニバーサルデザイン2  
【内容・方法等】 多様な人々と情報伝達  
【事前・事後学習課題】 予習または復習課題 (11)
- 第13回 【授業テーマ】 公共空間とユニバーサルデザイン3  
【内容・方法等】 外部空間と公園  
【事前・事後学習課題】 予習または復習課題 (12)
- 第14回 【授業テーマ】 福祉のまちづくり1  
【内容・方法等】 多様な人々と生活スタイル、人間と環境の関係  
【事前・事後学習課題】 予習または復習課題 (13)
- 第15回 【授業テーマ】 福祉のまちづくり2  
【内容・方法等】 安心安全とまちづくり  
【事前・事後学習課題】 -

評価方法 (基準)

中間試験(30%)、期末試験 (40%)、復習・予習課題 (30%) の合計100点満点の60点以上を合格とする。

教材等

教科書…適宜プリントを配布  
参考書…「ユニバーサルデザインー建築・都市環境づくりの提案と実践」彰国社@2800  
「ユニバーサルサイン」(学芸出版社)@3150  
「福祉住環境コーディネーター2級公式テキスト」(東京商工会議所)  
「日本建築学会「コンパクト資料集成バリアフリー」(丸



善)  
**学生へのメッセージ**  
 建築物のみならず、多くの生活環境の事物や仕組みに興味を持って、これからの社会システムに関して、具体的に提案したり、様々な計画やデザインに展開していくことを期待します。

**関連科目**  
 設計演習Ⅰ、Ⅱa、Ⅱb、Ⅲa、Ⅲb、建築計画基礎、建築計画各論、インテリア概論など

**担当者の研究室等**  
 8号館3階 大谷准教授室

ユニバーサルデザインII Universal Design II				
大谷 由紀子 (オオタニ ユキコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**  
 すべての人にやさしく、安全・快適な生活環境をめざすユニバーサルデザインの基本的な考え方や人間工学や感性工学にもとづく、「モノ」や「空間」のデザインへの適用に関する方法や実践事例を学ぶ。バリアフリーやユニバーサルデザインに関する基本的な概念および技術・デザイン事例の理解を到達目標とする。  
 学科の学習・教育目標との対応：[G]

**授業方法と留意点**  
 デザインの考え方を示す事例等の提示を通じて、あるべきデザインの方向性を確認していくプロセスを重視する。一般的な方法論の理解にとどまらず、実際のユニバーサルデザインへの問題意識を持つことを大切にしたい。

**科目学習の効果（資格）**  
 1級・2級建築士・インテリアコーディネーター・インテリアプランナー・福祉住環境コーディネーターなど

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回 【授業テーマ】 生活環境の変化  
 【内容・方法 等】 社会の変化と人々の生活環境の変化  
 【事前・事後学習課題】 予習または復習課題（1）
  - 第2回 【授業テーマ】 バリアフリーとユニバーサルデザイン  
 【内容・方法 等】 バリアの意味と種類、ユニバーサルデザインの考え方と原則  
 【事前・事後学習課題】 予習または復習課題（2）
  - 第3回 【授業テーマ】 多様な人間の心身機能と建築デザイン  
 【内容・方法 等】 老化や病気による心身機能の変化と動作  
 【事前・事後学習課題】 予習または復習課題（3）
  - 第4回 【授業テーマ】 居住空間とユニバーサルデザイン1  
 【内容・方法 等】 日本の住まいの問題点  
 【事前・事後学習課題】 予習または復習課題（4）
  - 第5回 【授業テーマ】 居住空間とユニバーサルデザイン2  
 【内容・方法 等】 安心安全からみた現代の住まい  
 【事前・事後学習課題】 予習または復習課題（5）
  - 第6回 【授業テーマ】 居住空間とユニバーサルデザイン3  
 【内容・方法 等】 高齢期の住まい  
 【事前・事後学習課題】 予習または復習課題（6）
  - 第7回 【授業テーマ】 居住空間とユニバーサルデザイン4  
 【内容・方法 等】 様々な障害と住まい  
 【事前・事後学習課題】 予習または復習課題（7）
  - 第8回 【授業テーマ】 中間テスト  
 【内容・方法 等】 第1回から第7回の学習内容のまとめと習得状況の確認  
 【事前・事後学習課題】 これまでの内容の復習
  - 第9回 【授業テーマ】 公共建築とユニバーサルデザイン1  
 【内容・方法 等】 多様な人々と室内空間  
 【事前・事後学習課題】 予習または復習課題（8）
  - 第10回 【授業テーマ】 疑似体験  
 【内容・方法 等】 高齢者、妊婦、車いす等の体験  
 【事前・事後学習課題】 予習または復習課題（9）
  - 第11回 【授業テーマ】 疑似体験  
 【内容・方法 等】 高齢者、妊婦、車いす等の体験  
 【事前・事後学習課題】 予習または復習課題（10）
  - 第12回 【授業テーマ】 公共空間とユニバーサルデザイン2  
 【内容・方法 等】 多様な人々と情報伝達  
 【事前・事後学習課題】 予習または復習課題（11）
  - 第13回 【授業テーマ】 公共空間とユニバーサルデザイン3  
 【内容・方法 等】 外部空間と公園  
 【事前・事後学習課題】 予習または復習課題（12）
  - 第14回 【授業テーマ】 福祉のまちづくり1  
 【内容・方法 等】 多様な人々と生活スタイル、人間と環境の関係  
 【事前・事後学習課題】 予習または復習課題（13）
  - 第15回 【授業テーマ】 福祉のまちづくり2

【内容・方法 等】 安心安全とまちづくり  
 【事前・事後学習課題】 -  
**評価方法（基準）**  
 中間試験(30%)、期末試験（40%）、復習・予習課題（30%）の合計100点満点の60点以上を合格とする。

**教材等**  
**教科書**…適宜プリントを配布  
**参考書**…「ユニバーサルデザインー建築・都市環境づくりの提案と実践」彰国社@2800  
 「ユニバーサルサイン」(学芸出版社) @3150  
 「福祉住環境コーディネーター2級公式テキスト」(東京商工会議所)  
 「日本建築学会「コンパクト資料集成バリアフリー」(丸善)

**学生へのメッセージ**  
 建築物のみならず、多くの生活環境の事物や仕組みに興味を持って、これからの社会システムに関して、具体的に提案したり、様々な計画やデザインに展開していくことを期待します。

**関連科目**  
 設計演習Ⅰ、Ⅱa、Ⅱb、Ⅲa、Ⅲb、建築計画基礎、建築計画各論、インテリア概論など

**担当者の研究室等**  
 8号館3階 大谷准教授室

都市・環境デザイン Urban Planning and Design				
加嶋 章博 (カシマ アキヒロ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	必修	2

**授業概要・目的・到達目標**  
 都市計画や都市デザインという広い領域について、重要かつ基本的な概念、制度、歴史、事業、日本と世界の動向等を捉えながら、基礎的事項を理解することがこの授業の目的です。まず都市が作られてきた歴史を振り返ることから都市計画とは何かを考え始め、計画理論を概観し、都市の読み方を理解します。都市や地域の良好な環境形成を促すための制度や事業を理解し、これからの計画のあり方や新しい発想を提案するための手掛かりを論じます。出来るだけ身近な町づくりの事例にも目を向け、地域資源やシビックプライドといった近年着目されている「町の育て方」についての動向も見ながら、そのあり方について一緒に考えます。都市環境や町並み、生活環境を改善していくうえで重要な基礎知識を身につけ、都市に対する好奇心を拡げることが到達目標とする。学科の学習・教育目標との対応：[I]

**授業方法と留意点**  
 テキストに関係する都市計画や都市デザインの事例も随時盛り込みながら講義を進めます。毎回、講義テーマに基づいたミニレポートや課題等に取り組みます。

**科目学習の効果（資格）**  
 1級・2級建築士・宅地建物取引主任者など

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス/都市の作られ方-01  
 【内容・方法 等】 ガイダンス  
 都市の発生について学ぶ  
 【事前・事後学習課題】 教科書から関心のあるキーワードを抽出し、関心を拡げるとともに身近な都市問題を考える。
  - 第2回 【授業テーマ】 都市の作られ方-02  
 【内容・方法 等】 古典的都市計画から学ぶ  
 【事前・事後学習課題】 都市計画の歴史に関する情報をできるだけ収集する。
  - 第3回 【授業テーマ】 都市の作られ方-03  
 【内容・方法 等】 城壁都市と城下町  
 【事前・事後学習課題】 日本と西洋の都市構造の違いを意識する。
  - 第4回 【授業テーマ】 都市の作られ方-04  
 【内容・方法 等】 都市の近代化を理解する：資本主義社会と近代都市計画  
 【事前・事後学習課題】 都市の近代化とはどのようなことかを考える。
  - 第5回 【授業テーマ】 都市の読み方-01  
 【内容・方法 等】 ヨーロッパにおける都市計画理論  
 【事前・事後学習課題】 都市の空間構造について説明することを意識する。
  - 第6回 【授業テーマ】 都市の読み方-02  
 【内容・方法 等】 アメリカにおける都市計画理論  
 【事前・事後学習課題】 地域社会の空間構造について説明することを意識する。
  - 第7回 【授業テーマ】 都市を方向づける-01  
 【内容・方法 等】 近代都市計画の基本：都市のスプロールと再編

- 【事前・事後学習課題】 都市と郊外の違いについて情報を収集する。
- 第8回 【授業テーマ】 都市を方向づける-02  
【内容・方法等】 防災・復興の都市工学  
【事前・事後学習課題】 近年の都市防災や復興都市計画に関する情報を収集する。
- 第9回 【授業テーマ】 都市を方向づける-03  
【内容・方法等】 都市の文化的側面から都市共生計画を考える  
【事前・事後学習課題】 都市の文化的側面について身近な事例を集める。
- 第10回 【授業テーマ】 都市を方向づける-04  
【内容・方法等】 景観まちづくりを考える  
【事前・事後学習課題】 都市の景観がどのように守られているか、身近な事例に着目する。
- 第11回 【授業テーマ】 都市に住まう-01  
【内容・方法等】 密度と用途、道路と建物  
【事前・事後学習課題】 都市空間の物理的構成について説明することを心がける。
- 第12回 【授業テーマ】 都市に住まう-02  
【内容・方法等】 コミュニティの空間構成  
【事前・事後学習課題】 コミュニティがどのように捉えられているか身近な事例に着目する。
- 第13回 【授業テーマ】 都市に住まう-03  
【内容・方法等】 都市の性能とその分析  
【事前・事後学習課題】 都市がどのように評価されているか関連情報を収集する。
- 第14回 【授業テーマ】 まちづくりを考える-01  
【内容・方法等】 ボトムアップのまちづくり  
【事前・事後学習課題】 まちづくりに関する身近な話題を収集し、参加できるものを探してみる。
- 第15回 【授業テーマ】 まちづくりを考える-02  
【内容・方法等】 地域資源を再発見する  
【事前・事後学習課題】 身近な町のシビックプライドや地域資源を具体的に考える。

評価方法 (基準)

期末試験 (70%)、レポート課題 (30%) の合計100点満点の60点以上を合格とする。

教材等

教科書…高見沢実『初学者のための都市工学入門』鹿島出版会 (2300円+税)。その他、プリントを配布します。

参考書…饗庭伸ほか『初めて学ぶ「都市計画」』市ヶ谷出版社 (3000円+税)

学生へのメッセージ

講義の中では、基礎的な事項の理解だけではなく、身近な都市や地域に着目し、現在の状況に見いだせる課題を抽出し、それらを取り巻く多様な要素を踏まえた計画のあり方を一緒に検討したいと思います。卒業研究のテーマを模索する材料にもしてください。

関連科目

基礎科目、専門科目全般であるが、特に卒業研究・卒業設計の導入とする。

担当者の研究室等

8号館3階 加嶋准教授室

空間文化論 Theory of Human Environment				
飯田 匡 (イイタ タダス)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		後期	選択必修	2

授業概要・目的・到達目標

今日の建築や都市がおかれている状況を、主に社会的・文化的側面からとらえ、建築・都市空間の計画手法について総合的に学ぶ。具体的には持続可能性・安全安心・再生・地域環境といったトピックスに関する考察を通して、これからの建築や都市のあり方について理解を深める。到達目標は、「建築や都市の現状および未来」を読み解くために必要な基礎知識の取得である。学科の学習・教育目標との対応 [B]

授業方法と留意点

主に板書による講義とその内容確認の穴埋めプリントによって講義を進める。また講義に関連する新聞記事等を配布し、その内容に関するミニレポートを課す。

科目学習の効果 (資格)

建築・都市に関する時事問題に詳しくなり、建築・都市関連の新聞記事、メディアなどを読み解く力を養う。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション  
【内容・方法等】 授業の進め方や目標について説明する。またミニレポートにより基礎知識の確認を行う。

- 【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事等に関するミニレポートを提出する
- 第2回 【授業テーマ】 環境と個人を「結ぶ」1  
都市環境の持続可能性  
【内容・方法等】 都市部におけるヒートアイランド現象の現状と、それに対する様々な対策から都市環境の持続可能性について学ぶ  
【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事等に関するミニレポートを提出する
- 第3回 【授業テーマ】 環境と個人を「結ぶ」2  
都市の省エネルギーデザイン  
【内容・方法等】 個々の建築による対応だけでは十分とはいえない都市の省エネルギー化について、様々な手法を紹介し環境負荷の少ない都市計画について学ぶ  
【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事等に関するミニレポートを提出する
- 第4回 【授業テーマ】 環境と個人を「結ぶ」3  
省エネルギーデザインとエコロジー  
【内容・方法等】 自然エネルギーを有効に活用した省エネルギーデザインの実例を通して、環境負荷の少ない建築の計画手法について学ぶ  
【事前・事後学習課題】 講義で紹介した事例以外の事例を建築雑誌等で調べてレポートにまとめる
- 第5回 【授業テーマ】 世代と世代を「結ぶ」1  
人口減少社会のライフスタイル  
【内容・方法等】 人口減少社会、少子高齢社会における社会構造やライフスタイルの変遷、およびそれに伴い変化してきた都市や建築の状況について学ぶ  
【事前・事後学習課題】 講義中に指示した用語等について調べてレポートにまとめる
- 第6回 【授業テーマ】 世代と世代を「結ぶ」2  
人口減少社会に求められる建築・都市  
【内容・方法等】 様々な事例の分析を通して、これからの人口減少社会、少子高齢社会に求められる都市・建築のあり方について考える  
【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事等に関するミニレポートを提出する
- 第7回 【授業テーマ】 世代と世代を「結ぶ」3  
建築物の長寿命化  
【内容・方法等】 ストックの有効活用の視点から注目される既存建築物の改修 (リノベーション) や用途変更 (コンバージョン) についてその手法や問題点を学ぶ  
【事前・事後学習課題】 講義で紹介した事例の一つを取り上げその概要をレポートにまとめる
- 第8回 【授業テーマ】 世代と世代を「結ぶ」4  
長屋の町や近代建築の保存  
【内容・方法等】 中崎町や空堀など大阪市中心部の長屋の残る町の再生や、北浜界隈の近代建築のリノベーション等の事例を紹介し、建築や町における歴史性について考える  
【事前・事後学習課題】 講義で紹介した事例を見学しレポートにまとめる
- 第9回 【授業テーマ】 世代と世代を「結ぶ」5  
ニュータウン再生  
【内容・方法等】 千里ニュータウン、泉北ニュータウンなど、我が国の高度成長期に開発された大規模ニュータウンが現在抱える問題点と、その再生計画について学ぶ  
【事前・事後学習課題】 自分の住む街における取り組みを調べてレポートにまとめる
- 第10回 【授業テーマ】 人と街を「結ぶ」1  
建築・都市空間に潜む日常災害  
【内容・方法等】 設計時には見落とされがちであるが、重大な事故に繋がることもある日常災害について、その発生原因等を理解し、日常災害を防ぐ様々な手法について学ぶ  
【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事等に関するミニレポートを提出する
- 第11回 【授業テーマ】 人と街を「結ぶ」2  
犯罪のない街をつくる  
【内容・方法等】 犯罪を誘発させないことを目指す防犯環境設計の概念を学び、様々な取り組み事例から安心して暮らせる街づくりについて学ぶ  
【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事等に関するミニレポートを提出する
- 第12回 【授業テーマ】 人と街を「結ぶ」3  
バリアフリーからユニバーサルデザインへ  
【内容・方法等】 高齢者や障害者が社会のシステムづくりから参加することによって実現される都市や建築におけるユニバーサルデザインについて考える  
【事前・事後学習課題】 講義中に指示した用語等について調べてレポートにまとめる
- 第13回 【授業テーマ】 文化と文化を「結ぶ」1  
観光と街づくり  
【内容・方法等】 エコツーリズムに代表される新しい観光形態が地域に及ぼす影響や、観光を軸とした街づくりについて、実例からその手法を学ぶ



**【事前・事後学習課題】** 講義で紹介した事例の一つを取り上げその概要をレポートにまとめる

**第14回 【授業テーマ】** 文化と文化を「結ぶ」2  
**【内容・方法 等】** 文化的交流と建築デザイン  
**【事前・事後学習課題】** 配布した新聞記事等に関するミニレポートを提出する

**第15回 【授業テーマ】** まとめ  
**【内容・方法 等】** 講義全体を総括し、これからの設計者や建築家に求められる職能について考える  
**【事前・事後学習課題】** 配布した新聞記事等に関するミニレポートを提出する

**評価方法 (基準)**  
 中間試験 (25%)、期末試験 (25%)、レポート (50%) により評価する。

**教材等**  
**教科書**…特になし  
**参考書**…授業中に随時、提示する

**学生へのメッセージ**  
 授業への主体的な参加を望みます。

**関連科目**  
 建築設計、計画基礎、建築計画、都市計画、都市デザイン史

**担当者の研究室等**  
 8号館3階 (建築学科共通準備室)

建築論 Theory of Architecture				
山本 一 貴 (ヤマモト カスタカ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		前期	選択必修	2

**授業概要・目的・到達目標**  
 本講義は、空間デザインを単なる形態操作の問題として捉えるのではなく、その形態を生み出している社会的、経済的、文化的背景との関係から理解することを目的とする。また、講義では、具体的な事例を通して、空間デザインの理論と方法論を学び、情報化や環境に配慮した空間デザインなど現代社会特有の試みも合わせて紹介し、今後の可能性を展望する。  
 学科の学習・教育目標との対応：[G]

**授業方法と留意点**  
 スライドを用いる。適宜プリントを配布する。

**科目学習の効果 (資格)**  
 近現代の建築思潮の変化を説明することができる。現代建築を取り巻く社会的背景を説明することができる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

**第1回 【授業テーマ】** イントロダクション  
**【内容・方法 等】** 講義内容、進め方、評価方法等を説明する  
**【事前・事後学習課題】** テキストp.4-5

**第2回 【授業テーマ】** 建築の見かた1  
**【内容・方法 等】** 「形態」と「機能」を軸に近現代建築を考察する  
**【事前・事後学習課題】** テキストp.72-73

**第3回 【授業テーマ】** 建築の見かた2  
**【内容・方法 等】** 「スタイル (様式)」と「タイプ (型)」を軸に近現代建築を考察する  
**【事前・事後学習課題】** テキストp.18-19

**第4回 【授業テーマ】** 建築の見かた3  
**【内容・方法 等】** 「自然」と「工学」を軸に近現代建築を考察する  
**【事前・事後学習課題】** テキストp.60-61

**第5回 【授業テーマ】** 建築の見かた4  
**【内容・方法 等】** 中間まとめとレポート・プレゼンテーション (1)  
**【事前・事後学習課題】** レポート課題1 (作品論) 提出

**第6回 【授業テーマ】** 建築の見かた5  
**【内容・方法 等】** 「変化」と「成長」を軸に近現代建築を考察する  
**【事前・事後学習課題】** テキストp.144-145

**第7回 【授業テーマ】** 建築の見かた6  
**【内容・方法 等】** 「清貧」と「欲望」を軸に近現代建築を考察する  
**【事前・事後学習課題】** テキストp.220-221

**第8回 【授業テーマ】** 建築の見かた7  
**【内容・方法 等】** 「地域性」と「場所性」を軸に近現代建築を考察する  
**【事前・事後学習課題】** テキストp.202-203

**第9回 【授業テーマ】** 建築の見かた8  
**【内容・方法 等】** 「参加」と「協働」を軸に近現代建築を考

察する

**第10回 【事前・事後学習課題】** テキストp.178-179  
**【授業テーマ】** 建築の見かた9  
**【内容・方法 等】** 中間まとめとレポート・プレゼンテーション (2)

**第11回 【事前・事後学習課題】** レポート課題2 (書評) 提出  
**【授業テーマ】** 現代建築の潮流1  
**【内容・方法 等】** 現代建築にみる近代建築の解体と継承を考察する (1)

**第12回 【事前・事後学習課題】** テキストp.186-187  
**【授業テーマ】** 現代建築の潮流2  
**【内容・方法 等】** 現代建築にみる近代建築の解体と継承を考察する (2)

**第13回 【事前・事後学習課題】** テキストp.204-205  
**【授業テーマ】** 現代建築の潮流3  
**【内容・方法 等】** 近代建築の保存・再生の理論とその背景を考察する  
**【事前・事後学習課題】** テキストp.222-223

**第14回 【授業テーマ】** 現代建築の潮流4  
**【内容・方法 等】** 現代建築にみる環境意識の変化と情報化の影響を考察する  
**【事前・事後学習課題】** テキストp.216-217

**第15回 【授業テーマ】** まとめ  
**【内容・方法 等】** 全体のまとめとレポート・プレゼンテーション、今後の展望を考察する  
**【事前・事後学習課題】** レポート課題3 (建築論) 提出

**評価方法 (基準)**  
 レポート課題1 (20%)、レポート課題2 (20%)、レポート課題3 (30%)、各回の授業中に行うワークシート (30%) の合計点により評価する。レポートを3つすべて提出しなければ単位は認定しない。レポートの評価基準は、授業内容の理解度、レポートの完成度、文章表現力とする。なお、公欠などの正当な理由が示されることなく、欠席4回あるいは未提出のワークシート4つとなった者は、その時点で単位不認定となる。

建築環境工学II Architectural Environmental Engineering II				
佐藤 隆 二 (サトウ リュウジ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択必修	2

**教材等**  
**教科書**…『20世紀の空間デザイン』矢代真己、田所辰之助、濱崎良美著 彰国社 (2400円)  
**参考書**…『建築の20世紀』本田昌昭、末包伸吾編著 学芸出版社 (3570円)

**学生へのメッセージ**  
 デザインに対する理解を高めたい人、将来デザインに関わる仕事を目指す人に向けた講義です。

**関連科目**  
 西洋建築史、日本建築史、近代建築史

**担当者の研究室等**  
 7号館2階 非常勤講師室

**授業概要・目的・到達目標**  
**【授業概要・目的】** 健康で快適な生活を営む上で、重要な役割を果たす様々な環境要因の中で、日照・日射、光環境と音環境に着目して、それらと人間の生理的・心理的反応との関係を理解するとともに、建築計画や設計に際して、承知しておくべき基本的要因と、計画・設計の結果として得られる状況の解析法や評価法についての理解を深める。**【到達目標】**、日照・日射、光環境と音環境について、建築計画や設計においての必要最小限の基礎知識を身につける。  
 学科の学習・教育目標との対応：[J]

**授業方法と留意点**  
 講義の要点をまとめた資料を配布し、それに沿って講義を行う。入室時刻、受講態度 理解度等についての『受講記録』を各自が作成し、定期試験時にその提出を求める。日常生活で経験する日照・日射、光環境と音環境に関する種々の事柄に関心を持つように心掛ける。

**科目学習の効果 (資格)**  
 一級、二級建築士の学科試験の受験において、必要不可欠な最低限の知識を習得できる。インテリアコーディネーター、インテリアプランナー、照明士などの資格取得に有効である。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

**第1回 【授業テーマ】** 建築環境工学の概要  
**【内容・方法 等】** 建築学における建築環境工学の位置づけ、建築環境工学の目標と枠組み  
**【事前・事後学習課題】** 授業内容を復習し、challengeの解答を試み、キーワードを抽出して、受講記録に記載する。

**第2回 【授業テーマ】** 太陽エネルギーと太陽位置

- 【内容・方法 等】 居住環境における太陽エネルギーの効果、太陽の運行と位置の表示と算定法、時刻の表現
- 【事前・事後学習課題】 授業内容を復習し、challengeの解答を試み、キーワードを抽出して、受講記録に記載する。
- 第3回 【授業テーマ】 日照の検討  
【内容・方法 等】 日照検討の項目・内容、日影曲線・太陽位置図・日照図表による検討
- 【事前・事後学習課題】 授業内容を復習し、challengeの解答を試み、キーワードを抽出して、受講記録に記載する。
- 第4回 【授業テーマ】 日射の検討  
【内容・方法 等】 地表に到達する太陽放射の種類とそれぞれの算定法、日射熱の射入と流入
- 【事前・事後学習課題】 授業内容を復習し、challengeの解答を試み、キーワードを抽出して、受講記録に記載する。
- 第5回 【授業テーマ】 視環境と人間  
【内容・方法 等】 視環境の構成、目の構造・機能、明るさ・見やすさ、視野の輝度分布、光の方向性と立体感
- 【事前・事後学習課題】 授業内容を復習し、challengeの解答を試み、キーワードを抽出して、受講記録に記載する。
- 第6回 【授業テーマ】 視環境の解析 1  
【内容・方法 等】 光の量、基本測光量、点光源による照度、面光源による照度、立体角投射率
- 【事前・事後学習課題】 授業内容を復習し、challengeの解答を試み、キーワードを抽出して、受講記録に記載する。
- 第7回 【授業テーマ】 視環境の解析 2  
【内容・方法 等】 立体角投射率の算定、間接照度の算定、輝度の算定
- 【事前・事後学習課題】 授業内容を復習し、challengeの解答を試み、キーワードを抽出して、受講記録に記載する。
- 第8回 【授業テーマ】 照明の計画  
【内容・方法 等】 照明の変遷、光源の特性、発光原理とランプ、照明用光源の特性、人工照明設計の方法、昼光光源の種類と特徴、昼光照度、昼光率、採光計画
- 【事前・事後学習課題】 授業内容を復習し、challengeの解答を試み、キーワードを抽出して、受講記録に記載する。
- 第9回 【授業テーマ】 音環境と人間  
【内容・方法 等】 音環境計画の目標、音環境評価の枠組み、聴覚生理、聴覚心理、音環境計画の構成、建物の用途と着眼点
- 【事前・事後学習課題】 授業内容を復習し、challengeの解答を試み、キーワードを抽出して、受講記録に記載する。
- 第10回 【授業テーマ】 音の基礎  
【内容・方法 等】 音波とその性質、平面波の伝搬、波動音響と幾何音響、音場解析の基礎量
- 【事前・事後学習課題】 授業内容を復習し、challengeの解答を試み、キーワードを抽出して、受講記録に記載する。
- 第11回 【授業テーマ】 音の伝搬  
【内容・方法 等】 音の実用単位、音の伝搬過程、距離減衰、回折減衰、空気の吸収減衰
- 【事前・事後学習課題】 授業内容を復習し、challengeの解答を試み、キーワードを抽出して、受講記録に記載する。
- 第12回 【授業テーマ】 室内音場の解析  
【内容・方法 等】 室内音場の特徴、入射音と反射音の干渉、矩形室の固有振動、室内音場の波動音響学的特徴、反射音のエネルギー、拡散音場、残響時間
- 【事前・事後学習課題】 授業内容を復習し、challengeの解答を試み、キーワードを抽出して、受講記録に記載する。
- 第13回 【授業テーマ】 音場の調整  
【内容・方法 等】 吸音の定義と効果、吸音の機構と吸音特性、遮音の性能表示、遮音の機構と特性、二重構造の遮音性能
- 【事前・事後学習課題】 授業内容を復習し、challengeの解答を試み、キーワードを抽出して、受講記録に記載する。
- 第14回 【授業テーマ】 音環境の評価  
【内容・方法 等】 騒音とは、騒音の基礎評価尺度、環境騒音の評価尺度、室内音場の評価指標
- 【事前・事後学習課題】 授業内容を復習し、challengeの解答を試み、キーワードを抽出して、受講記録に記載する。
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ  
【内容・方法 等】 毎回の講義資料に記載した復習課題(challenge)について、質問に応じて、解説を行う。
- 【事前・事後学習課題】 これまでの講義、演習の内容の理解を深める
- 評価方法 (基準)  
『受講記録』に基づく自己評価結果 (10%)、期末試験 (90%)
- 教材等  
教科書…「建築環境工学教科書第二版」建築環境工学教科書研究会編著、彰国社  
参考書…「建築環境工学教材 環境編 (第3版)」日本建築学会、丸善
- 学生へのメッセージ  
卒業後の人生の幸せの基盤となる、人間力の向上を念頭に置いて、積極的また、貪欲に知識を吸収してほしい。
- 関連科目  
建築環境工学 I、建築環境工学 II、建築環境工学演習

担当者の研究室等  
なし

建築環境工学III

Architectural Environmental Engineering III

宮本 征一 (ミヤモト セイイチ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択必修	2

授業概要・目的・到達目標

【授業概要・目的】 熱環境分野、および空気環境分野の専門的内容を学習する。いずれも人間の生理的・心理的反応に着目しながら、建築計画に際して知っておくべき基本的要件と、解析法・測定法や評価法について理解を深める。【到達目標】 熱環境と空気環境に関して、問題点とそれに対する改善策や設計計画への応用が考えられる知識を得る。  
学科の学習・教育目標との対応：[J]

授業方法と留意点

教科書に沿った授業を行うため、教科書は必ず持参すること。

科目学習の効果 (資格)

一級・二級建築士資格取得のために必須である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 風土と暮らしと建築環境  
【内容・方法 等】 南北に長い日本の風土を知り、その風土に適した建築物が、どのように造られてきたのかを把握する。  
【事前・事後学習課題】 講義内容を教科書を読むなどして復習すること。
- 第2回 【授業テーマ】 建築環境制御と地球・都市環境との関係  
【内容・方法 等】 建築環境を快適に保つための建築部材や建築環境の制御についてを把握し、地球・都市環境との関わりについて大まかに把握する。  
【事前・事後学習課題】 講義内容を教科書を読むなどして復習すること。
- 第3回 【授業テーマ】 温度と熱の移動 (1)  
【内容・方法 等】 熱移動の基本原理解である熱伝導と熱対流についての基本的な知識を身につける。  
【事前・事後学習課題】 講義内容を教科書を読むなどして復習すること。
- 第4回 【授業テーマ】 温度と熱の移動 (2)  
【内容・方法 等】 熱移動の基本原理解である熱放射と熱貫流についての基本的な知識を身につける。  
【事前・事後学習課題】 講義内容を教科書を読むなどして復習すること。
- 第5回 【授業テーマ】 熱貫流・熱負荷の演習  
【内容・方法 等】 一級建築士レベルの熱貫流や熱負荷についての計算問題を解きながら、知識を身につける。  
【事前・事後学習課題】 講義内容を教科書を読むなどして復習すること。
- 第6回 【授業テーマ】 断熱・気密と結露/人間の生理心理反応  
【内容・方法 等】 結露のメカニズムについての基本的な知識を身につける。また、人間の生理・心理反応について把握する。  
【事前・事後学習課題】 講義内容を教科書を読むなどして復習すること。
- 第7回 【授業テーマ】 温熱環境 (1)  
【内容・方法 等】 人間の体温調節機能と熱環境、熱環境を評価するため測定法を把握する。  
【事前・事後学習課題】 講義内容を教科書を読むなどして復習すること。
- 第8回 【授業テーマ】 温熱環境 (2)  
【内容・方法 等】 人間の体温調節機能と熱環境、熱環境を評価するための温熱環境指標について専門知識を身につける。  
【事前・事後学習課題】 講義内容を教科書を読むなどして復習すること。
- 第9回 【授業テーマ】 太陽の動き  
【内容・方法 等】 日射・日照についての基礎知識を身につけて、熱環境の視点からの日射の利用と遮蔽について理解する。  
【事前・事後学習課題】 講義内容を教科書を読むなどして復習すること。
- 第10回 【授業テーマ】 換気と汚染物質濃度  
【内容・方法 等】 流体力学の基礎式及び換気力学についての基本的な知識を身につける。  
【事前・事後学習課題】 講義内容を教科書を読むなどして復習すること。
- 第11回 【授業テーマ】 重力換気・風力換気  
【内容・方法 等】 重力換気と風力換気の原理について理解するとともに、換気計算手法についての知識を身につける。  
【事前・事後学習課題】 講義内容を教科書を読むなどして復習すること。



**第12回** 【授業テーマ】 室内の温度分布と換気計画  
 【内容・方法 等】 気流の流れについて大まかに把握して、温度分布をイメージする。換気設備について基本的な知識を身につける。  
 【事前・事後学習課題】 講義内容を教科書を読むなどして復習すること。

**第13回** 【授業テーマ】 通風計画/気密性能と換気  
 【内容・方法 等】 通風による温熱環境の改善について基礎的な知識を身につける。また、気密性能などについて基礎的な知識を身につける。  
 【事前・事後学習課題】 講義内容を教科書を読むなどして復習すること。

**第14回** 【授業テーマ】 重力換気・風力換気の演習  
 【内容・方法 等】 一級建築士レベルの熱貫流や熱負荷についての計算問題を解きながら、知識を身につける。  
 【事前・事後学習課題】 講義内容を教科書を読むなどして復習すること。

**第15回** 【授業テーマ】 復習  
 【内容・方法 等】 復習問題を実施し、理解不十分な箇所の補足解説を行う。  
 【事前・事後学習課題】 講義内容を教科書を読むなどして復習すること。

**評価方法（基準）**  
 期末試験（60％）と授業中に実施する演習など（40％）とで総合的に評価する。

**教材等**  
 教科書…「環境工学教科書 第二版」環境工学教科書研究会編著、彰国社（3,500円税抜）  
 参考書…特になし

**学生へのメッセージ**  
 講義には毎回必ず教科書を持参し、自宅学習でも教科書を用いて予習・復習を心がけてください。

**関連科目**  
 建築環境工学Ⅰ・建築環境工学演習

**担当者の研究室等**  
 宮本准教授室

建築環境工学III				
Architectural Environmental Engineering III				
宮本 征一 (ミヤモト セイイチ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択必修	2

**授業概要・目的・到達目標**  
 [授業概要・目的] 熱環境分野、および空気環境分野の専門的内容を学習する。いずれも人間の生理的・心理的反応に着目しながら、建築計画に際して知っておくべき基本的要件と、解析法・測定法や評価法について理解を深める。[到達目標] 熱環境と空気環境に関して、問題点とそれに対する改善策や設計計画への応用が考えられる知識を得る。  
 学科の学習・教育目標との対応：[J]

**授業方法と留意点**  
 教科書に沿った授業を行うため、教科書は必ず持参すること。

**科目学習の効果（資格）**  
 一級・二級建築士資格取得のために必須である。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

**第1回** 【授業テーマ】 風土と暮らしと建築環境  
 【内容・方法 等】 南北に長い日本の風土を知り、その風土に適した建築物が、どのように造られてきたのかを把握する。  
 【事前・事後学習課題】 講義内容を教科書を読むなどして復習すること。

**第2回** 【授業テーマ】 建築環境制御と地球・都市環境との関係  
 【内容・方法 等】 建築環境を快適に保つための建築部材や建築環境の制御についてを把握し、地球・都市環境との関わりについて大まかに把握する。  
 【事前・事後学習課題】 講義内容を教科書を読むなどして復習すること。

**第3回** 【授業テーマ】 温度と熱の移動（1）  
 【内容・方法 等】 熱移動の基本原則である熱伝導と熱対流についての基本的な知識を身につける。  
 【事前・事後学習課題】 講義内容を教科書を読むなどして復習すること。

**第4回** 【授業テーマ】 温度と熱の移動（2）  
 【内容・方法 等】 熱移動の基本原則である熱放射と熱貫流についての基本的な知識を身につける。  
 【事前・事後学習課題】 講義内容を教科書を読むなどして復習すること。

**第5回** 【授業テーマ】 熱貫流・熱負荷の演習  
 【内容・方法 等】 一級建築士レベルの熱貫流や熱負荷についての計算問題を解きながら、知識を身につける。

**事前・事後学習課題** 講義内容を教科書を読むなどして復習すること。

**第6回** 【授業テーマ】 断熱・気密と結露/人間の生理心理反応  
 【内容・方法 等】 結露のメカニズムについての基本的な知識を身につける。また、人間の生理・心理反応について把握する。  
 【事前・事後学習課題】 講義内容を教科書を読むなどして復習すること。

**第7回** 【授業テーマ】 温熱環境（1）  
 【内容・方法 等】 人間の体温調節機能と熱環境、熱環境を評価するための測定法を把握する。  
 【事前・事後学習課題】 講義内容を教科書を読むなどして復習すること。

**第8回** 【授業テーマ】 温熱環境（2）  
 【内容・方法 等】 人間の体温調節機能と熱環境、熱環境を評価するための温熱環境指標についての知識を身につける。  
 【事前・事後学習課題】 講義内容を教科書を読むなどして復習すること。

**第9回** 【授業テーマ】 太陽の動き  
 【内容・方法 等】 日射・日照についての基礎知識を身につけて、熱環境の視点からの日射の利用と遮蔽について理解する。  
 【事前・事後学習課題】 講義内容を教科書を読むなどして復習すること。

**第10回** 【授業テーマ】 換気と汚染物質濃度  
 【内容・方法 等】 流体力学の基礎式及び換気力学についての基本的な知識を身につける。  
 【事前・事後学習課題】 講義内容を教科書を読むなどして復習すること。

**第11回** 【授業テーマ】 重力換気・風力換気  
 【内容・方法 等】 重力換気と風力換気の原理について理解するとともに、換気計算手法についての知識を身につける。  
 【事前・事後学習課題】 講義内容を教科書を読むなどして復習すること。

**第12回** 【授業テーマ】 室内の温度分布と換気計画  
 【内容・方法 等】 気流の流れについて大まかに把握して、温度分布をイメージする。換気設備について基本的な知識を身につける。  
 【事前・事後学習課題】 講義内容を教科書を読むなどして復習すること。

**第13回** 【授業テーマ】 通風計画/気密性能と換気  
 【内容・方法 等】 通風による温熱環境の改善について基礎的な知識を身につける。また、気密性能などについて基礎的な知識を身につける。  
 【事前・事後学習課題】 講義内容を教科書を読むなどして復習すること。

**第14回** 【授業テーマ】 重力換気・風力換気の演習  
 【内容・方法 等】 一級建築士レベルの熱貫流や熱負荷についての計算問題を解きながら、知識を身につける。  
 【事前・事後学習課題】 講義内容を教科書を読むなどして復習すること。

**第15回** 【授業テーマ】 復習  
 【内容・方法 等】 復習問題を実施し、理解不十分な箇所の補足解説を行う。  
 【事前・事後学習課題】 講義内容を教科書を読むなどして復習すること。

**評価方法（基準）**  
 期末試験（60％）と授業中に実施する演習など（40％）とで総合的に評価する。

**教材等**  
 教科書…「環境工学教科書 第二版」環境工学教科書研究会編著、彰国社（3,500円税抜）  
 参考書…特になし

**学生へのメッセージ**  
 講義には毎回必ず教科書を持参し、自宅学習でも教科書を用いて予習・復習を心がけてください。

**関連科目**  
 建築環境工学Ⅰ・建築環境工学演習

**担当者の研究室等**  
 宮本准教授室

地球環境論				
Global Environment for Architecture				
宮本 征一 (ミヤモト セイイチ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択必修	2

**授業概要・目的・到達目標**  
 [授業概要・目的] かつては地球の規模に対して人類の活動規模は小さく、人類の活動が地球環境やエネルギー・資源問題に及

ばす影響は考えられてこなかった。しかし、近年ではCO2の排出量や資源の浪費については国際的な問題となり、特に、建築業界の非効率性や資源の浪費が問いただされている。地球環境を考えた上での建築のあり方について、エネルギー・資源問題やライフサイクルという概念について講義を行う。【到達目標】今まで学んできた建築学（環境・計画・構造）の知識を再構築することによって、地球環境と建築との関係を修得。学科の学習・教育目標との対応：[J]

**授業方法と留意点**

教科書に沿った講義を主体とします。授業中にどの程度理解できているのかを把握するための要約などを課します。

**科目学習の効果（資格）**

一級・二級建築士資格取得のために有用である。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 地球環境と建築  
【内容・方法 等】 授業の概要・持続可能な社会の構築について  
【事前・事後学習課題】 授業内容の教科書を読み、復習すること。
- 第2回 【授業テーマ】 地球環境建築の基本的視点  
【内容・方法 等】 地球環境建築の2つの視点について・LCAについての要約  
【事前・事後学習課題】 授業内容の教科書を読み、復習すること。
- 第3回 【授業テーマ】 地球環境建築の基本的視点  
【内容・方法 等】 パウビオロジーと地球環境・建築憲章について  
【事前・事後学習課題】 授業内容の教科書を読み、復習すること。
- 第4回 【授業テーマ】 自然環境と地域・都市  
【内容・方法 等】 自然（生態系・風土）と都市との融合について  
【事前・事後学習課題】 授業内容の教科書を読み、復習すること。
- 第5回 【授業テーマ】 地球環境とエネルギー  
【内容・方法 等】 気候風土に適した建築物と都市化によるヒートアイランド現象について  
【事前・事後学習課題】 授業内容の教科書を読み、復習すること。
- 第6回 【授業テーマ】 地球環境とエネルギー  
【内容・方法 等】 住宅省エネルギー基準についての講義・パッシブデザインとアクティブデザインについての要約  
【事前・事後学習課題】 授業内容の教科書を読み、復習すること。
- 第7回 【授業テーマ】 地球環境と資源  
【内容・方法 等】 建築物の寿命・SI建築・資源の循環について  
【事前・事後学習課題】 授業内容の教科書を読み、復習すること。
- 第8回 【授業テーマ】 安全と健康  
【内容・方法 等】 建築空間の安全・健康について  
【事前・事後学習課題】 授業内容の教科書を読み、復習すること。
- 第9回 【授業テーマ】 地球環境と建築環境工学との関係と中間試験  
【内容・方法 等】 地球環境と建築環境工学との関係  
中間試験  
【事前・事後学習課題】 中間試験で解答できなかったところを復習すること。
- 第10回 【授業テーマ】 世代・文化の継承  
【内容・方法 等】 良き建築文化の継承について  
【事前・事後学習課題】 授業内容の教科書を読み、復習すること。
- 第11回 【授業テーマ】 建築・立地環境の評価  
【内容・方法 等】 気候風土に適した建築計画の評価法について  
【事前・事後学習課題】 授業内容の教科書を読み、復習すること。
- 第12回 【授業テーマ】 環境計画の評価  
【内容・方法 等】 建築環境性能の事前評価・事後評価について  
【事前・事後学習課題】 授業内容の教科書を読み、復習すること。
- 第13回 【授業テーマ】 社会の制度と建築専門家の役割など  
【内容・方法 等】 建築のLCと環境マネジメントなどについて  
【事前・事後学習課題】 授業内容の教科書を読み、復習すること。
- 第14回 【授業テーマ】 最近の研究紹介  
【内容・方法 等】 地球環境に関する研究を紹介し、これから、どのようなことを明らかにしていかなければならないのかを紹介する  
【事前・事後学習課題】 建築環境工学の視点からの地球環境に関することのなかで興味があることを調べる。
- 第15回 【授業テーマ】 最近の研究紹介

【内容・方法 等】 地球環境に関する研究を紹介し、これから、どのようなことを明らかにしていかなければならないのかを紹介する

【事前・事後学習課題】 建築環境工学の視点からの地球環境に関することのなかで興味があることを調べる。

**評価方法（基準）**

レポート（20%）・中間試験（20%）・期末試験（60%）により総合的に評価する。

**教材等**

教科書…「地球環境建築のすすめ」日本建築学会編 彰国社（3000円）

参考書…特に無し

**学生へのメッセージ**

地球規模の視点からのエネルギー・資源についての概論です。建築環境工学（熱環境）の知識を有しているものとして講義を進めますので、熱環境の基礎的知識は事前に得ておいて下さい。

**関連科目**

建築環境工学・建築計画学・建築構造学

**担当者の研究室等**

宮本准教授室

**建築設備学**

Building Services

宮 本 征 一（ミヤモト セイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	必修	2

**授業概要・目的・到達目標**

授業概要：建築物における建築設備の役割を説明する。給排水衛生設備・空調設備・電気設備などの内容を説明する。地球環境負荷の低減に向けての建築設備設計の役割について説明する。

目的：建築環境工学で学んだ知識を基に、地球環境への配慮した設備計画を提案できる能力を身につけること、またはそれらを理解したうえで建築計画を行なう能力を身につけることを目的とする。

到達目標：上記の内容を理解し、概略の設備計画をまとめることを目標とする。

学習・教育目標との対応：理工学部[G]、工学部[J]

**授業方法と留意点**

教科書に沿った講義を行うため、第2回の授業までに、教科書を購入して、必ず持参すること。

**科目学習の効果（資格）**

建築設備士、設備設計一級建築士、一級管工事施工管理技士、一級電気工事施工管理技士などの資格を取得するために重要な科目である。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 建築物における建築設備の役割  
【内容・方法 等】 建築設備の必要性について説明する。  
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習すること。
- 第2回 【授業テーマ】 建築設備に必要な環境工学の基礎  
【内容・方法 等】 建築設備に必要な環境工学の基礎を概説する。  
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習すること。
- 第3回 【授業テーマ】 空調設備1  
【内容・方法 等】 空調設備の概要と空調和の負荷を説明する。  
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習すること。
- 第4回 【授業テーマ】 空調設備2  
【内容・方法 等】 空調設備の方式について説明する。  
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習すること。
- 第5回 【授業テーマ】 空調設備3  
【内容・方法 等】 空調設備の方式について説明する。  
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習すること。
- 第6回 【授業テーマ】 空調設備4  
【内容・方法 等】 換気設備について説明する。  
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習すること。
- 第7回 【授業テーマ】 空調設備に関する演習  
【内容・方法 等】 一級建築士レベルの空調設備に関する問題を解答してもらい、解説する。  
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習すること。
- 第8回 【授業テーマ】 給排水衛生設備1  
【内容・方法 等】 給排水衛生設備の概要と給水設備について説明する。  
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習すること。
- 第9回 【授業テーマ】 給排水衛生設備2  
【内容・方法 等】 給湯設備と衛生器具設備について説明する。  
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習すること。
- 第10回 【授業テーマ】 給排水衛生設備3  
【内容・方法 等】 排水通気設備と消火設備について説明する。



- 第11回** 【事前・事後学習課題】 授業内容を復習すること。  
【授業テーマ】 設備機器の施工と維持保全  
【内容・方法等】 設備機器と材料、設備の施工、維持保全について説明する。
- 第12回** 【事前・事後学習課題】 授業内容を復習すること。  
【授業テーマ】 給排水衛生設備に関する演習  
【内容・方法等】 一級建築士レベルの給排水衛生設備に関する問題を解答してもらい、解説する。
- 第13回** 【事前・事後学習課題】 授業内容を復習すること。  
【授業テーマ】 電気設備1  
【内容・方法等】 電気設備の概要、電力、情報、輸送などについて説明する。
- 第14回** 【事前・事後学習課題】 授業内容を復習すること。  
【授業テーマ】 電気設備に関する演習  
【内容・方法等】 一級建築士レベルの電気設備に関する問題を解答してもらい、解説する。
- 第15回** 【事前・事後学習課題】 授業内容を復習すること。  
【授業テーマ】 建築設備学総論  
【内容・方法等】 いままでの講義内容を復習するとともに、建築設備計画の進め方について説明する。
- 【事前・事後学習課題】 授業内容を復習すること。
- 評価方法 (基準)**  
演習(40%)および期末試験(60%)で評価する。
- 教材等**  
教科書…「空調和・衛生設備の知識 (改訂3版)」空調和・衛生工学会編 オーム社(3,780円)  
参考書…特になし
- 学生へのメッセージ**  
建築設備の基本的知識を身につけるために、復習すること。教科書の図表を使用して講義を行うため、教科書を必ず持参すること。
- 関連科目**  
建築に関する専門知識が必要である。
- 担当者の研究室等**  
宮本准教授室

建築設備学 Building Services				
宮本 征一 (ミヤモト セイイチ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択必修	2

- 授業概要・目的・到達目標**  
授業概要：建築物における建築設備の役割を説明する。給排水衛生設備・空調和設備・電気設備などの内容を説明する。地球環境負荷の低減に向けての建築設備設計の役割について説明する。  
目的：建築環境工学で学んだ知識を基に、地球環境への配慮した設備計画を提案できる能力を身につけること、またはそれらを理解したうえで建築計画を行なう能力を身につけることを目的とする。  
到達目標：上記の内容を理解し、概略の設備計画をまとめることを目標とする。  
学習・教育目標との対応：理工学部[G]、工学部[J]
- 授業方法と留意点**  
教科書に沿った講義を行うため、第2回の授業までに、教科書を購入して、必ず持参すること。
- 科目学習の効果 (資格)**  
建築設備士、設備設計一級建築士、一級管工事施工管理技士、一級電気工事施工管理技士などの資格を取得するために重要な科目である。
- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回** 【授業テーマ】 建築物における建築設備の役割  
【内容・方法等】 建築設備の必要性について説明する。  
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習すること。
- 第2回** 【授業テーマ】 建築設備に必要な環境工学の基礎  
【内容・方法等】 建築設備に必要な環境工学の基礎を概説する。  
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習すること。
- 第3回** 【授業テーマ】 空調和設備1  
【内容・方法等】 空調和設備の概要と空調和の負荷を説明する。  
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習すること。
- 第4回** 【授業テーマ】 空調和設備2  
【内容・方法等】 空調和設備の方式について説明する。  
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習すること。
- 第5回** 【授業テーマ】 空調和設備3  
【内容・方法等】 空調和設備の方式について説明する。  
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習すること。
- 第6回** 【授業テーマ】 空調和設備4

- 第7回** 【内容・方法等】 換気設備について説明する。  
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習すること。  
【授業テーマ】 空調和設備に関する演習  
【内容・方法等】 一級建築士レベルの空調和設備に関する問題を解答してもらい、解説する。
- 第8回** 【事前・事後学習課題】 授業内容を復習すること。  
【授業テーマ】 給排水衛生設備1  
【内容・方法等】 給排水衛生設備の概要と給水設備について説明する。
- 第9回** 【事前・事後学習課題】 授業内容を復習すること。  
【授業テーマ】 給排水衛生設備2  
【内容・方法等】 給湯設備と衛生器具設備について説明する。  
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習すること。
- 第10回** 【授業テーマ】 給排水衛生設備3  
【内容・方法等】 排水通気設備と消火設備について説明する。  
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習すること。
- 第11回** 【授業テーマ】 設備機器の施工と維持保全  
【内容・方法等】 設備機器と材料、設備の施工、維持保全について説明する。
- 第12回** 【事前・事後学習課題】 授業内容を復習すること。  
【授業テーマ】 給排水衛生設備に関する演習  
【内容・方法等】 一級建築士レベルの給排水衛生設備に関する問題を解答してもらい、解説する。
- 第13回** 【事前・事後学習課題】 授業内容を復習すること。  
【授業テーマ】 電気設備1  
【内容・方法等】 電気設備の概要、電力、情報、輸送などについて説明する。
- 第14回** 【事前・事後学習課題】 授業内容を復習すること。  
【授業テーマ】 電気設備に関する演習  
【内容・方法等】 一級建築士レベルの電気設備に関する問題を解答してもらい、解説する。
- 第15回** 【事前・事後学習課題】 授業内容を復習すること。  
【授業テーマ】 建築設備学総論  
【内容・方法等】 いままでの講義内容を復習するとともに、建築設備計画の進め方について説明する。
- 【事前・事後学習課題】 授業内容を復習すること。
- 評価方法 (基準)**  
演習(40%)および期末試験(60%)で評価する。
- 教材等**  
教科書…「空調和・衛生設備の知識 (改訂3版)」空調和・衛生工学会編 オーム社(3,780円)  
参考書…特になし
- 学生へのメッセージ**  
建築設備の基本的知識を身につけるために、復習すること。教科書の図表を使用して講義を行うため、教科書を必ず持参すること。
- 関連科目**  
建築に関する専門知識が必要である。
- 担当者の研究室等**  
宮本准教授室

建築環境工学演習 Exercises on Architectural Environmental Engineering				
宮本 征一 (ミヤモト セイイチ) 佐藤 隆二 (サトウ リュウジ) 李明香 (リ ミョンヒャン)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	ロ	前期	選択	2

- 授業概要・目的・到達目標**  
[授業概要・目的]建築環境工学Ⅰ、建築環境工学Ⅱ、建築環境工学Ⅲで学んだ知識を基に、実務に沿った状況を想定した課題に取り組むことによって、理論と知識の理解を深める。具体的な数値を用いた演算処理を通して、各種の演算式の意味内容の理解や処理結果の考察などの実務対応能力の向上を図ることを目的とする。[到達目標]演習を通して、適正な建築環境の実現、ひいては、合理的な建築計画の実施に資する素養を身につける。  
学科の学習・教育目標との対応：[J]
- 授業方法と留意点**  
毎回、課題と資料を配布し、課題の要点を解説を行った後、課題に取り組み、授業終了時に成果物を提出する。各課題におけるキーワードについての予習と復習を欠かさぬこと。
- 科目学習の効果 (資格)**  
建築の環境工学、建築設備の実務において、処理すべきさまざまな課題に対する解決能力が身につく。また、一級、二級建築士の学科試験の取り組みにおいて、学習契機形成や学習意欲の向上を図ることができる。
- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回** 【授業テーマ】 日照検討の準備

- 第2回** 【内容・方法等】 特定地点の冬至の日の太陽位置および、単位長さの棒の先端の日影の座標を算定し、その結果に基づいて、日影曲線および、地球上の太陽軌道を描く。  
【事前・事後学習課題】 キーワード 【赤緯、時角、真太陽時、日影曲線図、太陽位置図】 の理解を深める  
【授業テーマ】 日照の検討
- 第3回** 【内容・方法等】 日影曲線図を活用して、検討建物の日影図を描き、日影の面積を算定する。また、検討建物の地球上の射影図を描き、太陽位置図を活用して、日影となる時間帯を求める。  
【事前・事後学習課題】 キーワード 【日影の範囲、日影の時間帯】 の理解を深める  
【授業テーマ】 熱移動の基礎
- 第4回** 【内容・方法等】 伝導、対流、放射による熱移動形態の違いを理解し、壁体の各部位および、壁体全体を流れる熱量の算定式を誘導する。この算定式を活用して、断熱処理の効果を検討する。  
【事前・事後学習課題】 キーワード 【伝導、対流、放射、熱伝導率、熱伝達率、熱貫流率】 の理解を深める  
【授業テーマ】 熱負荷の算定
- 第5回** 【内容・方法等】 集合住宅の住戸を対象として、屋根、壁 etc.部位ごとの貫流熱負荷を冬季（暖房負荷）と夏季（冷房負荷）のそれぞれについて算定する。冷房負荷においては、日射の効果を加味する。  
【事前・事後学習課題】 キーワード 【暖房負荷、冷房負荷、日射の等価気温】 の理解を深める  
【授業テーマ】 湿り空気線図の使い方
- 第6回** 【内容・方法等】 湿り空気線図に記載されている各種変量を理解し、空気の加熱・冷却、加湿・除湿、混合などの諸現象を図中に表現する。これらの現象における、エンタルピー、顕熱、潜熱を求める。  
【事前・事後学習課題】 キーワード 【気温、相対湿度、絶対湿度、エンタルピー、比容積、顕熱、潜熱、顕熱比】 の理解を深める  
【授業テーマ】 結露の検討
- 第7回** 【内容・方法等】 多層壁体内部の温度および、絶対湿度（水蒸気分圧）の分布を求め、表面結露、内部結露の判定を試みる。また、断熱材、防湿材の位置と結露の発生との関係を考察する。  
【事前・事後学習課題】 キーワード 【飽和水蒸気分圧、露点温度、表面結露、内部結露】 の理解を深める  
【授業テーマ】 昼光率分布の検討
- 第8回** 【内容・方法等】 矩形の高窓を持つ室の床面上の検討点における直接昼光率（立体角放射率）を、計算式及び、計算図表により算定し、床面の格子点の値に基づいて昼光率の分布図を作成する。  
【事前・事後学習課題】 キーワード 【立体角放射率、昼光率】 の理解を深める  
【授業テーマ】 人工照明の設計
- 第9回** 【内容・方法等】 光の量を表現する諸量の関係を理解した上で、点光源で照らされた紙面の輝度を算定する。また、製図室を蛍光灯器具で照度基準を充足するように照明する場合の器具配置計画を試みる。  
【事前・事後学習課題】 キーワード 【光束、光度、照度、輝度、照度基準、照明率、保守率、室指数】 の理解を深める  
【授業テーマ】 換気の検討の基礎
- 第10回** 【内容・方法等】 室内汚染質の発生量と換気量を各種の組み合わせた場合の、汚染質濃度の変化過程を算定する。また、ベルヌーイの式を理解し、開口部の圧力損失と流量の関係を誘導する。  
【事前・事後学習課題】 キーワード 【汚染質濃度、換気量、換気回数、ベルヌーイの式、圧力損失】 の理解を深める  
【授業テーマ】 換気量の検討
- 第11回** 【内容・方法等】 空気流量の算定式に基づいて、複数開口を持つ室の相当開口面積を算定する。また、重力換気と風力換気が複合する場合について、2つの開口を持つ室の換気量を算定する。  
【事前・事後学習課題】 キーワード 【開口部流量、流量係数、圧力差、重力換気、風力換気】 の理解を深める  
【授業テーマ】 騒音レベルの検討
- 第12回** 【内容・方法等】 周波数特性が既知の電車騒音の距離減衰と回折減衰を考慮して、住居の窓前における騒音レベルを予測する。  
【事前・事後学習課題】 キーワード 【音圧レベル、周波数帯域、距離減衰、回折減衰、聴感補正、騒音レベル】 の理解を深める  
【授業テーマ】 室内音場の設計
- 第13回** 【内容・方法等】 電車による窓前騒音の周波数特性を条件として、目標の室内騒音レベルを充足する、外壁と窓の遮音性能および室内の吸音性能を決定する。  
【事前・事後学習課題】 キーワード 【透過率、吸音率、透過損失、吸音力、遮音、吸音】 の理解を深める  
【授業テーマ】 残響時間の検討

- 第14回** 【内容・方法等】 内装仕上げの面積と吸音率が既知である、簡単な舞台と平土間の客席を持つ集会室の残響時間を予測する。  
【事前・事後学習課題】 キーワード 【残響時間、吸音率、吸音力】 の理解を深める  
【授業テーマ】 総合問題①
- 第15回** 【内容・方法等】 二級建築士試験の過去問から抽出した、環境工学及び設備に関する基本問題の解答を試みる。  
【事前・事後学習課題】 これまでの講義、演習の内容の理解を深める  
【授業テーマ】 総合問題②
- 第15回** 【内容・方法等】 一級建築士試験の過去問から抽出した、環境工学及び設備に関する基本問題の解答を試みる。  
【事前・事後学習課題】 これまでの講義、演習の内容の理解を深める

**評価方法（基準）**  
各課題に対する成果物を総合的に評価する。定期試験は実施しない。3回以上欠席の場合は不合格とする。10分以上の遅刻は欠席と扱う。

**教材等**  
教科書…「建築環境工学教科書第二版」建築環境工学教科書研究会編著、彰国社  
参考書…「建築環境工学教材 環境編（第3版）」日本建築学会、丸善

**学生へのメッセージ**  
受講に際して準備するもの：建築環境工学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの授業における教科書、配布資料、ノート、関数機能付き電卓、20cm程度の三角定規1組、A4判レポート用紙

**関連科目**  
建築環境工学Ⅰ、建築環境工学Ⅱ、建築環境工学Ⅲ

**担当者の研究室等**  
宮本准教授室

建築材料I Building Materials I				
柳 沢 学 (ヤナギサワ マナブ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	必修	2

**授業概要・目的・到達目標**  
[授業概要・目的]建築材料には、柱、はり、耐力壁、基礎など建物の骨組を構成する構造材料がある。これらの材料を使用して建築物を設計する時、あらかじめ材料の長所、短所あるいは材質など基礎的知識と応用を熟知し適材を適所に用いる方法を間違えないことが大切である。 [到達目標] 1)建築材料で用いる用語の理解 2)フレッシュコンクリートの性能の理解 3)硬化コンクリートの性能の理解 4)鋼材の性能の理解  
学科の学習・教育目標との対応：[K]

**授業方法と留意点**  
教科書を中心とした講義とするが、関連する重要な、あるいは最新の情報をプリントにまとめて講義する場合もある。

**科目学習の効果（資格）**  
一級建築士および二級建築士学科試験の「構造」および「材料・施工」部門に関係する。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回** 【授業テーマ】 授業内容これから学ぶ建築材料 建築材料の基本的性質  
【内容・方法等】 スケジュール、注意事項、評価方法 建築材料学の概説 建築材料学を学ぶ目的 建築材料の分類、性能、性質  
物理的性質 力学的性質 機械的性質  
【事前・事後学習課題】 シラバス熟読
- 第2回** 【授業テーマ】 コンクリート1 概説 セメント  
【内容・方法等】 コンクリートの種類 コンクリートの性質 セメントの分類 諸性質  
【事前・事後学習課題】 教科書 p 57～p 70
- 第3回** 【授業テーマ】 コンクリート2 骨材  
【内容・方法等】 種類 品質 アルカリ骨材反応 粒度分布 実積率 含水状態と比重  
【事前・事後学習課題】 教科書 p 70～p 77
- 第4回** 【授業テーマ】 コンクリート3 フレッシュコンクリートの性質  
【内容・方法等】 ワークビリティー 分離 プリージング レイタンス  
【事前・事後学習課題】 教科書 p 92～p 95
- 第5回** 【授業テーマ】 コンクリート4 硬化コンクリートの性質 おさらい演習1  
【内容・方法等】 強度に影響する因子 水セメント比 空隙 混練時間 骨材 セメント 養生方法



- 【事前・事後学習課題】** 教科書 p 96～p 100  
1回～4回のプリント
- 第6回** **【授業テーマ】** コンクリート5 コンクリート強度  
**【内容・方法等】** 強度試験方法及各種強度 力学的性質  
**【事前・事後学習課題】** 教科書 p 101～p 104
- 第7回** **【授業テーマ】** コンクリート6 強度以外の諸性質  
**【内容・方法等】** 重量 体積変化 火・熱に対する性質 水密生 耐久性  
**【事前・事後学習課題】** 教科書 p 104～p 108
- 第8回** **【授業テーマ】** コンクリート7 軽量コンクリート  
混和材料  
**【内容・方法等】** 軽量コンクリートの種類、強度、耐久性  
A E 剤 減水剤 A E 減水剤 混和材  
**【事前・事後学習課題】** 教科書 p 77～p 80
- 第9回** **【授業テーマ】** コンクリート8 コンクリートの調合  
**【内容・方法等】** 調合強度 スランプ値 水セメント比 単  
位水量 単位セメント量 細骨材率 空気量 混和材料  
計画調合の表し方  
**【事前・事後学習課題】** 教科書 p 82～p 91
- 第10回** **【授業テーマ】** コンクリート9 コンクリート製品  
**【内容・方法等】** コンクリートブロック プレファブコン  
クリート プレキャストコンクリート プレストレストコン  
クリート その他の製品  
**【事前・事後学習課題】** 教科書 p 146～p 148  
教科書 p 203  
教科書にない情報を提供
- 第11回** **【授業テーマ】** 金属1 鉄、鋼類 おさらい演習2  
**【内容・方法等】** 鉄鉄と鋼 製造 製鋼 鋼材の性質  
**【事前・事後学習課題】** 教科書 p 113～p 120  
5回～10回のプリント
- 第12回** **【授業テーマ】** 金属2 鉄・鋼  
**【内容・方法等】** 鋼材の品質 普通鋼 高張力鋼 調質鋼  
ステンレス鋼 鋳鉄と鋳鋼  
**【事前・事後学習課題】** 教科書 p 120～p 121
- 第13回** **【授業テーマ】** 金属3 非鉄金属  
**【内容・方法等】** 銅とその合金 アルミニウムとその合金  
金属の腐食と防食  
**【事前・事後学習課題】** 教科書 p 127～p 130  
教科書 p 121～p 122
- 第14回** **【授業テーマ】** 金属4 金属製品  
**【内容・方法等】** 圧延鋼材、準構造用鋼材 種類と製品  
**【事前・事後学習課題】** 教科書 p 122～p 127
- 第15回** **【授業テーマ】** おさらい演習3  
全体 まとめ  
**【内容・方法等】** 全体的なまとめ  
**【事前・事後学習課題】** 11回～14回プリント
- 評価方法 (基準)**  
平常点 (10%) と、演習・小テスト・レポートなど (30%)  
定期試験 (60%) の割合で評価する。60%以上を合格とする。  
平常点では授業への積極的な参加態度を評価する。
- 教材等**  
教科書…「建築材料第7版」、菊池雅史・小山明男著、オーム社、  
(3200円)  
参考書…「建築材料用教材」、日本建築学会、(1900円)
- 学生へのメッセージ**  
多くの建築材料の特性を知り、その使用用途や使用適正個所へ  
の判断を誤らないような知識の習得が重要である。主に構造材  
料に時間を割いている。はば広く知識を得ることを希望する。  
授業中は私語を慎み、集中して授業内容の理解に努めて下さい。
- 関連科目**  
鉄筋コンクリート構造 I, II  
鋼構造 I, II
- 担当者の研究室等**  
8号館3階 柳沢教授室

建築材料 Building Materials I				
柳 沢 学 (ヤナギサワ マナブ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択必修	2

**授業概要・目的・到達目標**  
[授業概要・目的] 建築材料には、柱、はり、耐力壁、基礎など建  
物の骨組を構成する構造材料がある。これらの材料を使用して  
建築物を設計する時、あらかじめ材料の長所、短所あるいは材  
質など基礎的知識と応用を熟知し適材を適所に用いる方法を問  
違えないことが大切である。 [到達目標] 1) 建築材料で用いる用  
語の理解 2) フレッシュコンクリートの性能の理解 3) 硬化コン  
クリートの性能の理解 4) 鋼材の性能の理解  
学科の学習・教育目標との対応：[K]

- 授業方法と留意点**  
教科書を中心とした講義とするが、関連する重要な、あるいは  
最新の情報をプリントにまとめて講義する場合もある。
- 科目学習の効果 (資格)**  
一級建築士および二級建築士学科試験の「構造」および「材料・  
施工」部門に関係する。
- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回** **【授業テーマ】** 授業内容これから学ぶ建築材料  
建築材料の基本的性質  
**【内容・方法等】** スケジュール、注意事項、評価方法 建築  
材料学の概説 建築材料学を学ぶ目的 建築材料の種類、性  
能、性質  
物理的性質 力学的性質 機械的性質  
**【事前・事後学習課題】** シラバス熟読  
**【授業テーマ】** コンクリート1 概説  
セメント  
**【内容・方法等】** コンクリートの種類 コンクリートの性質  
セメントの種類 諸性質  
**【事前・事後学習課題】** 教科書 p 57～p 70
- 第2回** **【授業テーマ】** コンクリート2 骨材  
**【内容・方法等】** 種類 品質 アルカリ骨材反応 粒度分布  
実積率 含水状態と比重  
**【事前・事後学習課題】** 教科書 p 70～p 77
- 第3回** **【授業テーマ】** コンクリート3 フレッシュコンクリートの  
性質  
**【内容・方法等】** ワークビリティ 分離 プリージング  
レイトランス  
**【事前・事後学習課題】** 教科書 p 92～p 95
- 第4回** **【授業テーマ】** コンクリート4 硬化コンクリートの性質  
おさらい演習1  
**【内容・方法等】** 強度に影響する因子 水セメント比 空隙  
混練時間 骨材 セメント 養生方法  
**【事前・事後学習課題】** 教科書 p 96～p 100  
1回～4回のプリント
- 第5回** **【授業テーマ】** コンクリート5 コンクリート強度  
**【内容・方法等】** 強度試験方法及各種強度 力学的性質  
**【事前・事後学習課題】** 教科書 p 101～p 104
- 第6回** **【授業テーマ】** コンクリート6 強度以外の諸性質  
**【内容・方法等】** 重量 体積変化 火・熱に対する性質 水  
密生 耐久性  
**【事前・事後学習課題】** 教科書 p 104～p 108
- 第7回** **【授業テーマ】** コンクリート7 軽量コンクリート  
混和材料  
**【内容・方法等】** 軽量コンクリートの種類、強度、耐久性  
A E 剤 減水剤 A E 減水剤 混和材  
**【事前・事後学習課題】** 教科書 p 77～p 80
- 第8回** **【授業テーマ】** コンクリート8 コンクリートの調合  
**【内容・方法等】** 調合強度 スランプ値 水セメント比 単  
位水量 単位セメント量 細骨材率 空気量 混和材料  
計画調合の表し方  
**【事前・事後学習課題】** 教科書 p 82～p 91
- 第9回** **【授業テーマ】** コンクリート9 コンクリート製品  
**【内容・方法等】** コンクリートブロック プレファブコン  
クリート プレキャストコンクリート プレストレストコン  
クリート その他の製品  
**【事前・事後学習課題】** 教科書 p 146～p 148  
教科書 p 203  
教科書にない情報を提供
- 第10回** **【授業テーマ】** 金属1 鉄、鋼類 おさらい演習2  
**【内容・方法等】** 鉄鉄と鋼 製造 製鋼 鋼材の性質  
**【事前・事後学習課題】** 教科書 p 113～p 120  
5回～10回のプリント
- 第11回** **【授業テーマ】** 金属2 鉄・鋼  
**【内容・方法等】** 鋼材の品質 普通鋼 高張力鋼 調質鋼  
ステンレス鋼 鋳鉄と鋳鋼  
**【事前・事後学習課題】** 教科書 p 120～p 121
- 第12回** **【授業テーマ】** 金属3 非鉄金属  
**【内容・方法等】** 銅とその合金 アルミニウムとその合金  
金属の腐食と防食  
**【事前・事後学習課題】** 教科書 p 127～p 130  
教科書 p 121～p 122
- 第13回** **【授業テーマ】** 金属4 金属製品  
**【内容・方法等】** 圧延鋼材、準構造用鋼材 種類と製品  
**【事前・事後学習課題】** 教科書 p 122～p 127
- 第14回** **【授業テーマ】** おさらい演習3  
全体 まとめ  
**【内容・方法等】** 全体的なまとめ  
**【事前・事後学習課題】** 11回～14回プリント
- 第15回** **【授業テーマ】** おさらい演習3  
全体 まとめ  
**【内容・方法等】** 全体的なまとめ  
**【事前・事後学習課題】** 11回～14回プリント
- 評価方法 (基準)**  
平常点 (10%) と、演習・小テスト・レポートなど (30%)  
定期試験 (60%) の割合で評価する。60%以上を合格とする。  
平常点では授業への積極的な参加態度を評価する。
- 教材等**  
教科書…「建築材料第7版」、菊池雅史・小山明男著、オーム社、

(3200円)

参考書…「建築材料用教材」、日本建築学会、(1900円)  
**学生へのメッセージ**

多くの建築材料の特性を知り、その使用用途や使用適正箇所への判断を誤らないような知識の習得が重要である。主に構造材料に時間を割いている。はば広く知識を得ることを希望する。授業中は私語を慎み、集中して授業内容の理解に努めて下さい。

**関連科目**

鉄筋コンクリート構造Ⅰ、Ⅱ  
 鋼構造Ⅰ、Ⅱ

**担当者の研究室等**

8号館3階 柳沢教授室

**建築材料II**

Building Materials II

高木 恭子 (タカギ キョウコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択必修	2

**授業概要・目的・到達目標**

■授業概要目的

建築物を基礎、柱、梁、床、壁等の部位ごとにその構成を理解すると共に、各部が要求する性能に応じた材料の長所・短所について学び、建物の設計、積算、施工といった過程を縦断する基礎的知識を得る。

■到達目標

- ①建築物を構成する部位ごとの材料特性を理解する。
- ②木構造の構成と各部位における木材の長所・短所を理解する。
- ③建築物の各部位の仕上げ材料の要求性能を理解する。

■学科の学習・教育目標との対応：[K]

**授業方法と留意点**

教科書を用い、併せて各講義に関連する資料を配布する。

**科目学習の効果（資格）**

一級・二級建築士資格取得のために必須である。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス  
 【内容・方法等】 授業の目的と概要、評価基準と注意事項。建物各部の構成概要の説明。  
 【事前・事後学習課題】 建築材料Ⅰの復習（基礎）
- 第2回 【授業テーマ】 木構造①：木構造の概要  
 【内容・方法等】 事例から木構造構成部材を把握する  
 【事前・事後学習課題】 事例から構造部材をリストアップする
- 第3回 【授業テーマ】 木構造②：木構造の構成  
 【内容・方法等】 各部分の名称、構法  
 【事前・事後学習課題】 事例から柱、梁をリストアップする
- 第4回 【授業テーマ】 木構造③：木材の特徴  
 【内容・方法等】 部位ごとの特徴と要求性能  
 【事前・事後学習課題】 事例から床、屋根材をリストアップする
- 第5回 【授業テーマ】 木構造に関するまとめ  
 【内容・方法等】 構造部材の種類と数量のまとめ  
 【事前・事後学習課題】 木構造に関するレポートの作成
- 第6回 【授業テーマ】 建築物の各部位について（外装と内装）  
 【内容・方法等】 建築物を構成する部位と工事種目  
 【事前・事後学習課題】 事例から工事種目別材料をリストアップする
- 第7回 【授業テーマ】 外装材①：屋根材料（防水材）  
 【内容・方法等】 屋根の機能と要求性能、屋根葺き材、屋根勾配、防水材  
 【事前・事後学習課題】 事例から屋根の仕上げ材をリストアップする
- 第8回 【授業テーマ】 外装材②：外壁材料  
 【内容・方法等】 外壁の機能と要求性能  
 【事前・事後学習課題】 事例から外装材をリストアップする
- 第9回 【授業テーマ】 外装材③：開口部と接合材料（外部の開口部）  
 【内容・方法等】 ガラス、枠材、シーリング材の要求性能  
 【事前・事後学習課題】 事例から開口部材をリストアップする
- 第10回 【授業テーマ】 部位別建築材料に関するまとめ1（外装材）  
 【内容・方法等】 外装材の種類と数量のまとめ  
 【事前・事後学習課題】 外装材に関するレポートの作成
- 第11回 【授業テーマ】 内装材①：床材料  
 【内容・方法等】 床の機能と要求性能  
 【事前・事後学習課題】 事例から床材をリストアップする
- 第12回 【授業テーマ】 内装材②：内壁・天井材料  
 【内容・方法等】 内壁・天井の機能と要求性能  
 【事前・事後学習課題】 事例から内壁材、天井材をリストアップする
- 第13回 【授業テーマ】 内装材③：開口部と接合材料（内部の開口部）  
 【内容・方法等】 建具の要求性能  
 【事前・事後学習課題】 事例から建具をリストアップする

第14回 【授業テーマ】 部位別建築材料に関するまとめ2（内装材）  
 【内容・方法等】 内装材の種類と数量のまとめ  
 【事前・事後学習課題】 内装材に関するレポートの作成

第15回 【授業テーマ】 総括  
 【内容・方法等】 建物を構成する要素のまとめ  
 【事前・事後学習課題】 レポートのまとめ

**評価方法（基準）**

平常点（15%）、演習・レポート等（40%）定期試験（45%）により総合的に判断する。

**教材等**

教科書…「建築材料第7版」菊池雅史・小山明男著 オーム社(3200円)  
 参考書…「初学者の建築講座 建築材料」橋高義典・小山明男・中村成春著 市ヶ谷出版社 (2800円)  
 「入門／木造住宅の積算実務」阿部正行著 彰国社 (3600円)  
 「新版 図解木造建築の積算」奥田幸司・岡本幸夫・杉浦光義・山本茂著 東洋書店 (2300円)

**学生へのメッセージ**

建築物には多くの建築材料が使用されています。それらを建物を構成する部材として理解していくことは、建物の設計、積算、施工といった過程の具体的な把握へとつながることと考えます。授業を通し、一つの建物を完成させていく過程の把握を目指します。主に木造と仕上げ材料に関して学ぶので、建築材料Ⅰの学習内容はよく理解しておいて下さい。

**関連科目**

設計演習関連科目、建築材料Ⅱ、鉄筋コンクリート構造、鉄筋コンクリート構造Ⅱ、鋼構造Ⅰ、鋼構造Ⅱ

**担当者の研究室等**

8号館3階 建築学科共通準備室

**建築施工I**

Construction Method of Buildings I

下野 直人 (シモノ ナオト)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	必修	2

**授業概要・目的・到達目標**

【授業概要・目的】「実学」をモットーに今実際に建設現場で実施されている最も新しい施工管理手法を講義して、将来社会に貢献できる優秀な建築エンジニアの育成を目的とする。

【到達目標】1. 建築施工全般と建築工事計画を理解する能力を身につけることができる 2. 躯体工事の生産過程を理解し管理能力を身につけることができる  
 学科の学習・教育目標との対応：[K]

**授業方法と留意点**

教科書と配布資料を中心に授業を進め、講義内容に関連した「ビデオ」「実物」を示して講義する。

**科目学習の効果（資格）**

一級建築士、及び一級建築施工管理技士の資格取得に関連する学科試験「施工」部門の学力を身につけることができる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス  
 【内容・方法等】 授業内容、授業の進め方、評価基準等に関して説明する  
 【事前・事後学習課題】
- 第2回 【授業テーマ】 建設業の現状と今後の展望  
 【内容・方法等】 建設業及び施工技術の変遷を説明する  
 【事前・事後学習課題】 次回授業の予習と出題した課題に関するレポート提出
- 第3回 【授業テーマ】 請負契約と見積  
 【内容・方法等】 請負契約内容と見積作成方法に関して説明する  
 【事前・事後学習課題】 次回授業の予習と見積作成に関する宿題の回答書提出
- 第4回 【授業テーマ】 工事計画 工程管理 1  
 【内容・方法等】 工事計画及び工程管理手法について説明する  
 【事前・事後学習課題】 工事計画に関する練習問題の回答書提出
- 第5回 【授業テーマ】 工事計画 工程管理 2  
 【内容・方法等】 工事計画及び工程管理手法について説明する  
 【事前・事後学習課題】 工程管理に関する練習問題の回答書提出
- 第6回 【授業テーマ】 仮設工事  
 【内容・方法等】 仮設工事計画の基本説明  
 仮設建物工作物、工用施設の基本計画方法を説明する  
 【事前・事後学習課題】 仮設計画に関する練習問題の回答書提出



第7回 【授業テーマ】 地盤調査、土工事  
【内容・方法 等】 地盤調査の必要性和土工事に関する工法説明をする  
【事前・事後学習課題】 地盤調査と土工事に関する練習問題の回答書提出

第8回 【授業テーマ】 山留工事、基礎工事  
【内容・方法 等】 山留工事、基礎工事の工法説明をする  
【事前・事後学習課題】 山留工事に関する練習問題の回答書提出

第9回 【授業テーマ】 鉄筋工事1  
【内容・方法 等】 鉄筋工事の施工管理説明をする  
【事前・事後学習課題】 山留工事に関する強度計算書の提出

第10回 【授業テーマ】 鉄筋工事2  
【内容・方法 等】 鉄筋工事の施工管理説明をする  
【事前・事後学習課題】 鉄筋工事に関する練習問題の回答書提出

第11回 【授業テーマ】 型枠工事  
【内容・方法 等】 型枠工事管理ポイントの説明  
型枠、支保工の強度計算方法の解説  
【事前・事後学習課題】 型枠工事に関する練習問題の回答書提出。

第12回 【授業テーマ】 コンクリート工事1  
【内容・方法 等】 コンクリート打設方法の解説と管理ポイントの解説  
【事前・事後学習課題】 コンクリート工事に関するレポート提出

第13回 【授業テーマ】 コンクリート工事2  
【内容・方法 等】 コンクリートの品質管理手法の解説  
【事前・事後学習課題】 前回のレポートを訂正して再提出すること

第14回 【授業テーマ】 ALC板、Pca板工事  
【内容・方法 等】 ALC工事の管理方法説明とPca板の組み立て説明  
【事前・事後学習課題】 ALC板、Pca板の関する練習問題の回答書提出

第15回 【授業テーマ】 講義の総括  
【内容・方法 等】 授業全体のまとめ  
建築施工管理方法についてのディスカッションを行う  
【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_

評価方法 (基準)  
中間試験と期末試験の成績を評価対象とする。(中間試験50%、期末試験50%を目安とする)

教材等  
教科書…「建築施工テキスト」 兼歳昌直 著 井上書院 (本体 3,300円)  
参考書…なし

学生へのメッセージ  
「建築施工」とはその技術力の優劣によって建築品質の良否に大きな影響を与える重要な「学問」であることを理解し、建築をつくっていく喜びを感じられるようになってほしい。

関連科目  
建築施工Ⅱ・Ⅲ 建築材料Ⅰ・Ⅱ その他構造関連科目

担当者の研究室等  
7号館2階 非常勤講師室

第3回 【授業テーマ】 請負契約と見積  
【内容・方法 等】 請負契約内容と見積作成方法に関して説明する  
【事前・事後学習課題】 次回授業の予習と見積作成に関する宿題の回答書提出

第4回 【授業テーマ】 工事計画 工程管理 1  
【内容・方法 等】 工事計画及び工程管理手法について説明する  
【事前・事後学習課題】 工事計画に関する練習問題の回答書提出

第5回 【授業テーマ】 工事計画 工程管理 2  
【内容・方法 等】 工事計画及び工程管理手法について説明する  
【事前・事後学習課題】 工程管理に関する練習問題の回答書提出

第6回 【授業テーマ】 仮設工事  
【内容・方法 等】 仮設工事計画の基本説明  
仮設建物工作物、工事用施設の基本計画方法を説明する  
【事前・事後学習課題】 仮設計画に関する練習問題の回答書提出

第7回 【授業テーマ】 地盤調査、土工事  
【内容・方法 等】 地盤調査の必要性和土工事に関する工法説明をする  
【事前・事後学習課題】 地盤調査と土工事に関する練習問題の回答書提出

第8回 【授業テーマ】 山留工事、基礎工事  
【内容・方法 等】 山留工事、基礎工事の工法説明をする  
【事前・事後学習課題】 山留工事に関する練習問題の回答書提出

第9回 【授業テーマ】 鉄筋工事1  
【内容・方法 等】 鉄筋工事の施工管理説明をする  
【事前・事後学習課題】 山留工事に関する強度計算書の提出

第10回 【授業テーマ】 鉄筋工事2  
【内容・方法 等】 鉄筋工事の施工管理説明をする  
【事前・事後学習課題】 鉄筋工事に関する練習問題の回答書提出

第11回 【授業テーマ】 型枠工事  
【内容・方法 等】 型枠工事管理ポイントの説明  
型枠、支保工の強度計算方法の解説  
【事前・事後学習課題】 型枠工事に関する練習問題の回答書提出。

第12回 【授業テーマ】 コンクリート工事1  
【内容・方法 等】 コンクリート打設方法の解説と管理ポイントの解説  
【事前・事後学習課題】 コンクリート工事に関するレポート提出

第13回 【授業テーマ】 コンクリート工事2  
【内容・方法 等】 コンクリートの品質管理手法の解説  
【事前・事後学習課題】 前回のレポートを訂正して再提出すること

第14回 【授業テーマ】 ALC板、Pca板工事  
【内容・方法 等】 ALC工事の管理方法説明とPca板の組み立て説明  
【事前・事後学習課題】 ALC板、Pca板の関する練習問題の回答書提出

第15回 【授業テーマ】 講義の総括  
【内容・方法 等】 授業全体のまとめ  
建築施工管理方法についてのディスカッションを行う  
【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_

評価方法 (基準)  
中間試験と期末試験の成績を評価対象とする。(中間試験50%、期末試験50%を目安とする)

教材等  
教科書…「建築施工テキスト」 兼歳昌直 著 井上書院 (本体 3,300円)  
参考書…なし

学生へのメッセージ  
「建築施工」とはその技術力の優劣によって建築品質の良否に大きな影響を与える重要な「学問」であることを理解し、建築をつくっていく喜びを感じられるようになってほしい。

関連科目  
建築施工Ⅱ・Ⅲ 建築材料Ⅰ・Ⅱ その他構造関連科目

担当者の研究室等  
7号館2階 非常勤講師室

建築施工 Construction Method of Buildings I				
下野直人 (シモノ ナオト)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択必修	2

授業概要・目的・到達目標  
【授業概要・目的】「実学」をモットーに今実際に建設現場で実施されている最も新しい施工管理手法を講義して、将来社会に貢献できる優秀な建築エンジニアの育成を目的とする。  
【到達目標】1. 建築施工全般と建築工事計画を理解する能力を身につけることができる 2. 躯体工事の生産過程を理解し管理能力を身につけることができる  
学科の学習・教育目標との対応：[K]

授業方法と留意点  
教科書と配布資料を中心に授業を進め、講義内容に関連した「ビデオ」「実物」を示して講義する。

科目学習の効果 (資格)  
一級建築士、及び一級建築施工管理技士の資格取得に関連する学科試験「施工」部門の学力を身につけることができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 ガイダンス  
【内容・方法 等】 授業内容、授業の進め方、評価基準等に関して説明する  
【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_

第2回 【授業テーマ】 建設業の現状と今後の展望

第3回 【授業テーマ】 請負契約と見積  
【内容・方法 等】 請負契約内容と見積作成方法に関して説明する  
【事前・事後学習課題】 次回授業の予習と見積作成に関する宿題の回答書提出

第4回 【授業テーマ】 工事計画 工程管理 1  
【内容・方法 等】 工事計画及び工程管理手法について説明する  
【事前・事後学習課題】 工事計画に関する練習問題の回答書提出

第5回 【授業テーマ】 工事計画 工程管理 2  
【内容・方法 等】 工事計画及び工程管理手法について説明する  
【事前・事後学習課題】 工程管理に関する練習問題の回答書提出

第6回 【授業テーマ】 仮設工事  
【内容・方法 等】 仮設工事計画の基本説明  
仮設建物工作物、工事用施設の基本計画方法を説明する  
【事前・事後学習課題】 仮設計画に関する練習問題の回答書提出

第7回 【授業テーマ】 地盤調査、土工事  
【内容・方法 等】 地盤調査の必要性和土工事に関する工法説明をする  
【事前・事後学習課題】 地盤調査と土工事に関する練習問題の回答書提出

第8回 【授業テーマ】 山留工事、基礎工事  
【内容・方法 等】 山留工事、基礎工事の工法説明をする  
【事前・事後学習課題】 山留工事に関する練習問題の回答書提出

第9回 【授業テーマ】 鉄筋工事1  
【内容・方法 等】 鉄筋工事の施工管理説明をする  
【事前・事後学習課題】 山留工事に関する強度計算書の提出

第10回 【授業テーマ】 鉄筋工事2  
【内容・方法 等】 鉄筋工事の施工管理説明をする  
【事前・事後学習課題】 鉄筋工事に関する練習問題の回答書提出

第11回 【授業テーマ】 型枠工事  
【内容・方法 等】 型枠工事管理ポイントの説明  
型枠、支保工の強度計算方法の解説  
【事前・事後学習課題】 型枠工事に関する練習問題の回答書提出。

第12回 【授業テーマ】 コンクリート工事1  
【内容・方法 等】 コンクリート打設方法の解説と管理ポイントの解説  
【事前・事後学習課題】 コンクリート工事に関するレポート提出

第13回 【授業テーマ】 コンクリート工事2  
【内容・方法 等】 コンクリートの品質管理手法の解説  
【事前・事後学習課題】 前回のレポートを訂正して再提出すること

第14回 【授業テーマ】 ALC板、Pca板工事  
【内容・方法 等】 ALC工事の管理方法説明とPca板の組み立て説明  
【事前・事後学習課題】 ALC板、Pca板の関する練習問題の回答書提出

第15回 【授業テーマ】 講義の総括  
【内容・方法 等】 授業全体のまとめ  
建築施工管理方法についてのディスカッションを行う  
【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_

評価方法 (基準)  
中間試験と期末試験の成績を評価対象とする。(中間試験50%、期末試験50%を目安とする)

教材等  
教科書…「建築施工テキスト」 兼歳昌直 著 井上書院 (本体 3,300円)  
参考書…なし

学生へのメッセージ  
「建築施工」とはその技術力の優劣によって建築品質の良否に大きな影響を与える重要な「学問」であることを理解し、建築をつくっていく喜びを感じられるようになってほしい。

関連科目  
建築施工Ⅱ・Ⅲ 建築材料Ⅰ・Ⅱ その他構造関連科目

担当者の研究室等  
7号館2階 非常勤講師室

**建築施工II**  
Construction Method of Buildings II

下野直人(シモノ ナオト)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択必修	2

**授業概要・目的・到達目標**

【授業概要・目的】 「実学」をモットーに今実際に建築現場で実施されている最も新しい施工管理手法を講義して、将来建築施工現場において正しい判断で施工管理ができる優秀な建築エンジニアの養成を目的とする。

【到達目標】 1. 躯体工事の生産過程を理解し管理能力を身につけることができる 2. 仕上工事の生産過程を理解し管理能力を身につけることができる  
学科の学習・教育目標との対応：[K]

**授業方法と留意点**

教科書と配布するサブ資料を中心とした授業を行い、講義内容に関連した「ビデオ」や「実物」を用いて講義する。

**科目学習の効果(資格)**

将来建築エンジニアとしての基礎知識を養うことができる。一級建築士、一級建築施工管理技士の資格取得に関連する学科試験「施工」部門の学力を養うことができる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス  
【内容・方法等】 授業の目的と概要説明  
評価基準の説明  
【事前・事後学習課題】 鉄骨工事に関する予習とガイダンスに対するレポート提出
- 第2回 【授業テーマ】 鉄骨工事1  
【内容・方法等】 工場で作成中の鉄骨品質検査方法の解説  
【事前・事後学習課題】 鉄骨工事(工場製作)に関する予習と練習問題の回答書提出
- 第3回 【授業テーマ】 鉄骨工事2  
【内容・方法等】 鉄骨建方計画の作成方法を説明する  
建方品質の管理方法説明  
【事前・事後学習課題】 鉄骨工事(現場施工)に関する予習と練習問題の回答書提出
- 第4回 【授業テーマ】 木工事1  
【内容・方法等】 木構造設計規準の解説  
【事前・事後学習課題】 木工事に関する予習と練習問題の回答書提出
- 第5回 【授業テーマ】 木工事2  
【内容・方法等】 施工管理の重点ポイントを解説する  
【事前・事後学習課題】 木工事に関する予習と練習問題の回答書提出
- 第6回 【授業テーマ】 左官工事  
【内容・方法等】 工法説明と施工管理ポイントを解説する  
【事前・事後学習課題】 左官工事に関する予習と練習問題の回答書提出
- 第7回 【授業テーマ】 屋根工事  
【内容・方法等】 材料の種類と施工時の施工管理ポイントの説明  
【事前・事後学習課題】 屋根工事に関する予習と練習問題の回答書提出
- 第8回 【授業テーマ】 塗装工事、吹き付工事、カーテンウォール工事  
【内容・方法等】 材料の種類と施工時の施工管理ポイントの説明  
【事前・事後学習課題】 塗装工事、吹き付工事、カーテンウォール工事に関する予習と練習問題の回答書提出
- 第9回 【授業テーマ】 内装工事、建具工事、ガラス工事  
【内容・方法等】 材料の種類と施工時の施工管理ポイントの説明  
【事前・事後学習課題】 内装工事、建具工事、ガラス工事に関する予習と練習問題の回答書提出
- 第10回 【授業テーマ】 ユニット工事、外構工事、付帯設備工事  
【内容・方法等】 各工事における施工時の施工管理ポイントの説明  
【事前・事後学習課題】 ユニット工事、外構工事、付帯設備工事に関する予習と練習問題の回答書提出
- 第11回 【授業テーマ】 防水工事  
【内容・方法等】 防水工事の工法説明  
防水施工時の管理ポイントを解説する  
【事前・事後学習課題】 防水工事に関する予習と練習問題の回答書提出
- 第12回 【授業テーマ】 建物維持管理の要点と目的  
建物改修工事の要点と目的  
【内容・方法等】 建物維持管理のための手法についてと、建物リニューアル手法についての説明  
【事前・事後学習課題】 建物維持管理に関する予習と練習問題の回答書提出
- 第13回 【授業テーマ】 建築維持管理の要点と目的

【内容・方法等】 建物維持管理手法について説明する

【事前・事後学習課題】 授業中に実施した小テストの回答内容の把握

第14回 【授業テーマ】 建築設計図書の内容を理解する

【内容・方法等】 建築設計図から鉄筋、型枠数を積算する  
【事前・事後学習課題】 授業中に実施した小テストの回答内容の把握

第15回 【授業テーマ】 まとめ

【内容・方法等】 授業全般のまとめと建築施工管理に関するディスカッションを行う  
【事前・事後学習課題】

**評価方法(基準)**

中間試験と期末試験の成績を評価する。(中間試験50%、期末試験50%を目安とする)

**教材等**

教科書…「建築施工テキスト」 兼歳昌直 著 井上書院 (本体 3,300円)

参考書…なし

**学生へのメッセージ**

優秀な建築エンジニアを目指す学生は、この講義から「建築施工管理技術」を学び取って欲しい。

**関連科目**

建築施工I 建築施工III 建築材料I・II その他構造関連科目

**担当者の研究室等**

7号館2階 非常勤講師室

**建築施工III**  
Construction Method of Buildings III

下野直人(シモノ ナオト)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

【授業概要・目的】 建物に生じる主な欠陥とその原因、設計・施工プロセスにおける欠陥の予防方法や竣工建物の改修・再生方法の概要を講述するとともに、身の周りにある欠陥の調査を通じて、未然に欠陥を防ぐ意識と技術の研鑽を促す。

【到達目標】 1.建物に生じる主な欠陥とその原因を理解できる 2.主な欠陥の未然防止策や改修方法を理解できる  
学科の学習・教育目標との対応：[K]

**授業方法と留意点**

講義は建物の欠陥事例を説明する。受講生はその建物欠陥の発生原因を知ることにより「施工管理」の重要ポイントを理解していく。又受講生自身が建物調査を実施し、その建物の欠陥原因を「建物調査報告書」として提出することを講義内容の重点課題とする。

**科目学習の効果(資格)**

一級・二級建築士資格取得の為の学科試験「施工」部門の学力を養うことができる。特に一級建築士学科試験では改修分野の学力を養うことができる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス  
【内容・方法等】 授業の目的と概要、評価基準と注意事項、レポート課題説明  
【事前・事後学習課題】 ガイダンスに関するレポート提出
- 第2回 【授業テーマ】 建物調査  
【内容・方法等】 摂南大学寝屋川校舎の建物調査を行う  
【事前・事後学習課題】 次回授業の予習と建物調査報告書の作成
- 第3回 【授業テーマ】 漏水対策1  
【内容・方法等】 外壁の欠陥と対策 その1  
【事前・事後学習課題】 次回授業の予習と建物調査報告書の作成
- 第4回 【授業テーマ】 漏水対策2  
【内容・方法等】 外壁の欠陥と対策その2  
【事前・事後学習課題】 次回授業の予習と建物調査報告書の作成と練習問題の回答書提出
- 第5回 【授業テーマ】 漏水対策3  
【内容・方法等】 屋根パラペット、ドレン周りの欠陥と対策  
【事前・事後学習課題】 次回授業の予習と建物調査報告書の作成と練習問題の回答書提出
- 第6回 【授業テーマ】 漏水対策4  
【内容・方法等】 屋根防水の欠陥と対策  
【事前・事後学習課題】 漏水対策に関する練習問題の回答書提出
- 第7回 【授業テーマ】 剥離・剥落対策1  
【内容・方法等】 外壁タイル、外装塗装の欠陥と対策  
【事前・事後学習課題】 剥離・剥落対策に関する練習問題の回答書提出



- 第8回 【授業テーマ】 剥離・剥落対策2  
【内容・方法等】 コンクリートの欠陥と対策  
【事前・事後学習課題】 建物調査報告書の中間提出
- 第9回 【授業テーマ】 剥離・剥落対策3  
【内容・方法等】 内装材料の欠陥と対策  
【事前・事後学習課題】 次回授業の予習と建物調査報告書の作成
- 第10回 【授業テーマ】 レポート課題の中間報告  
【内容・方法等】 提出されたレポート課題に基づく中間報告会  
【事前・事後学習課題】 次回授業の予習と建物調査報告書の修正
- 第11回 【授業テーマ】 沈下、浮き上がり、結露対策  
【内容・方法等】 沈下、浮き上がり、結露による欠陥と対策  
【事前・事後学習課題】 次回授業の予習と建物調査報告書の修正
- 第12回 【授業テーマ】 遮音、騒音、汚れ、臭い対策  
【内容・方法等】 遮音、騒音、汚れ、臭いによる欠陥と対策  
【事前・事後学習課題】 次回授業の予習と建物調査報告書の修正
- 第13回 【授業テーマ】 その他の欠陥と対策  
【内容・方法等】 アルミサッシ、網入りガラス、現場発泡ウレタン、軒天井材の欠陥と対策  
【事前・事後学習課題】 次回授業の予習と遮音工事に関する練習問題の回答書提出
- 第14回 【授業テーマ】 改修工事  
【内容・方法等】 建物のリニューアル、耐震改修、建物の用途変更に関する説明  
【事前・事後学習課題】 次回授業の予習と耐震改修工事に関する練習問題の回答書提出
- 第15回 【授業テーマ】 総括  
【内容・方法等】 「建物調査報告書」の発表会  
【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_

**評価方法 (基準)**

1. 期末試験成績評価
2. 学生各自が作成した「建物調査報告書」の内容評価  
上記項目を成績評価の対象とする。  
(期末試験成績評価を50%、学生各自が作成した「建物調査報告書」の内容評価を50%を目安とする。)

**教材等**

教科書…「建築携帯ブック クレーム 第一版」 建築業協会 施工部会 編 井上書院 (本体 2,000円)  
参考書…建築施工Ⅰ・Ⅱで使用するテキスト 建築材料Ⅰ・Ⅱで使用するテキスト

**学生へのメッセージ**

今後の日本の建設需要は新築が減少し、改修のウェイトが増加すると予想されている。来るべき時代に備えて、欠陥の予防や改修・再生の基本を学習しておくことをすすめる。

**関連科目**

建築材料Ⅰ・Ⅱ 建築施工Ⅰ・Ⅱ  
その他構造関連科目

**担当者の研究室等**

7号館2階非常勤講師室

構造力学Ia Structural Mechanics Ia				
		池内 淳子 (イケウチ ジュンコ) 加藤 潤一 (カトウ ジュンイチ)		
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期(30回)	必修	3

**授業概要・目的・到達目標**

【授業概要・目的】  
建築物の構造的安全性を確保するための構造上の基礎的知識を修得する。他の構造関係の科目を学習する上で必要な重要科目である。構造材料の力学的性質、静力学の基礎的事項を述べ、静定骨組構造の力学的解析法について解説する。静定梁、静定ラーメン、静定トラスなど簡単な構造要素について構造物の支点反力や内部に生ずる断面力を正確に求め、断面力図を描くための演習を行う。

【到達目標】  
1) 静定骨組構造の断面力を求める、2) 断面力図を描く、3) 静定トラス構造の断面力を求める  
【学科の学習・教育目標との対応】: F

**授業方法と留意点**

講義形式による解説と演習を繰り返ししながら進める。よって遅刻・欠席などないようにすること。  
欠席した場合のプリントの再配布は行わない。また、欠席した場合の授業内容については、自己責任において回復すること。

**科目学習の効果 (資格)**

一級建築士・二級建築士資格取得のために必須である。  
本講義については、単位修得のために取り組むのではなく、将来の一級建築士・二級建築士受験時をみすえて取り組むこと

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス・反力算定(1)  
【内容・方法等】 授業の目的と概要、評価基準と注意事項、専門関連科目との関係、反力算定の確認・復習  
【事前・事後学習課題】 (事前) 構造力学・構造基礎で学んだ反力算定の復習  
(事後) 本日解いた問題を再解答する
- 第2回 【授業テーマ】 反力算定(2)  
【内容・方法等】 反力算定の確認・復習  
【事前・事後学習課題】 (事前) 構造力学・構造基礎で学んだ反力算定の復習  
(事後) 本日解いた問題を再解答する
- 第3回 【授業テーマ】 静定梁の応力 (1)  
【内容・方法等】 応力とは?  
【事前・事後学習課題】 (事前) 教科書 5.1の該当箇所を読む  
(事後) 本日解いた問題を再解答する
- 第4回 【授業テーマ】 静定梁の応力 (2)  
【内容・方法等】 集中荷重の応力、応力図  
【事前・事後学習課題】 (事前) 教科書 5.2の該当箇所を読む  
(事後) 本日解いた問題を再解答する
- 第5回 【授業テーマ】 静定梁の応力 (3)  
【内容・方法等】 分布荷重の応力、応力図  
【事前・事後学習課題】 (事前) 教科書 5.2の該当箇所を読む  
(事後) 本日解いた問題を再解答する
- 第6回 【授業テーマ】 静定梁の応力 (4)  
【内容・方法等】 片持ち梁の応力、応力図  
【事前・事後学習課題】 (事前) 教科書 5.2の該当箇所を読む  
(事後) 本日解いた問題を再解答する
- 第7回 【授業テーマ】 静定梁の応力 (5)  
【内容・方法等】 応力図の意味と符号の確認=力の流れを意識する=  
【事前・事後学習課題】 (事前) 教科書 5.2の該当箇所を読む  
(事後) 本日解いた問題を再解答する
- 第8回 【授業テーマ】 静定梁の応力 (6)  
【内容・方法等】 さまざまな静定梁の応力  
【事前・事後学習課題】 (事前) 教科書 5.2の該当箇所を読む  
(事後) 本日解いた問題を再解答する
- 第9回 【授業テーマ】 静定ラーメン(1)  
【内容・方法等】 静定ラーメンの応力、応力図  
【事前・事後学習課題】 (事前) 教科書 5.3の該当箇所を読む  
(事後) 本日解いた問題を再解答する
- 第10回 【授業テーマ】 静定ラーメン(2)  
【内容・方法等】 静定ラーメンの応力図の意味と符号の確認=力の流れを意識する=  
【事前・事後学習課題】 (事前) 教科書 5.3の該当箇所を読む  
(事後) 本日解いた問題を再解答する
- 第11回 【授業テーマ】 静定ラーメン (3)  
【内容・方法等】 さまざまな静定ラーメンの応力  
【事前・事後学習課題】 (事前) 教科書 5.3の該当箇所を読む  
(事後) 本日解いた問題を再解答する
- 第12回 【授業テーマ】 静定ラーメン (4)  
【内容・方法等】 3ヒンジラーメンの反力と応力  
【事前・事後学習課題】 (事前) 教科書 5.4の該当箇所を読む  
(事後) 本日解いた問題を再解答する
- 第13回 【授業テーマ】 静定ラーメン (5)  
【内容・方法等】 3ヒンジラーメンの応力、応力図  
【事前・事後学習課題】 (事前) 教科書 5.4の該当箇所を読む  
(事後) 本日解いた問題を再解答する
- 第14回 【授業テーマ】 静定ラーメン (6)  
【内容・方法等】 ゲルバー梁の反力と応力、応力図  
【事前・事後学習課題】 (事前) 教科書 5.4の該当箇所を読む  
(事後) 本日解いた問題を再解答する
- 第15回 【授業テーマ】 静定トラス(1)  
【内容・方法等】 トラスとは? トラスの種類  
【事前・事後学習課題】 (事前) 教科書 6.1の該当箇所を読む  
(事後) 本日解いた問題を再解答する
- 第16回 【授業テーマ】 静定トラス(2)  
【内容・方法等】 トラスの解法 (節点法)

- 【事前・事後学習課題】** (事前) 教科書 6.2の該当箇所を読む  
(事後) 本日解いた問題を再解答する
- 第17回 **【授業テーマ】** 静定トラス(3)  
**【内容・方法等】** トラスの解法(節点法-数式解法)  
**【事前・事後学習課題】** (事前) 教科書 6.2の該当箇所を読む  
(事後) 本日解いた問題を再解答する
- 第18回 **【授業テーマ】** 静定トラス(3)  
**【内容・方法等】** トラスの解法(切断法(1))  
**【事前・事後学習課題】** (事前) 教科書 6.3の該当箇所を読む  
(事後) 本日解いた問題を再解答する
- 第19回 **【授業テーマ】** 静定トラス(4)  
**【内容・方法等】** トラスの解法(切断法(2)、接点法との違い)  
**【事前・事後学習課題】** (事前) 教科書 6.3の該当箇所を読む  
(事後) 本日解いた問題を再解答する
- 第20回 **【授業テーマ】** 静定力学のまとめ  
**【内容・方法等】** 反力算定から応力算定まで、力の流れ  
**【事前・事後学習課題】** (事前) これまでの学習内容について総復習する  
(事後) 本日解いた問題を再解答する
- 第21回 **【授業テーマ】** 中間テスト  
**【内容・方法等】** -----  
**【事前・事後学習課題】** (事前) これまでの学習内容について総復習する  
(事後) 本日解いたテスト問題を再解答する
- 第22回 **【授業テーマ】** 断面力算定復習  
**【内容・方法等】** 断面力算定手法の確認・復習  
**【事前・事後学習課題】** (事前) 断面力算定の復習  
(事後) 本日解いた問題を再解答する
- 第23回 **【授業テーマ】** 応力の定義、応力ブロック  
**【内容・方法等】** 断面力と断面力に作用する応力(応力ブロック)  
**【事前・事後学習課題】** (事前) 教科書 6.1の該当箇所を読む  
(事後) 本日解いた問題を再解答する
- 第24回 **【授業テーマ】** 軸方向力のみを受ける梁要素  
**【内容・方法等】** 軸方向力のみをうける梁要素の応力度算定手法  
**【事前・事後学習課題】** (事前) 教科書 6.2の該当箇所を読む  
(事後) 本日解いた問題を再解答する
- 第25回 **【授業テーマ】** 断面係数(1)  
**【内容・方法等】** 断面1次モーメント・断面2次モーメントについて  
**【事前・事後学習課題】** (事前) 教科書 6.3の該当箇所を読む  
(事後) 本日解いた問題を再解答する
- 第26回 **【授業テーマ】** 断面係数(2)  
**【内容・方法等】** 断面2次モーメント・断面係数について  
**【事前・事後学習課題】** (事前) 教科書 6.3の該当箇所を読む  
(事後) 本日解いた問題を再解答する
- 第27回 **【授業テーマ】** 断面に作用する応力(1)  
**【内容・方法等】** 軸方向力と曲げモーメントが作用する場合の応力算定(1)  
**【事前・事後学習課題】** (事前) 教科書 6.3の該当箇所を読む  
(事後) 本日解いた問題を再解答する
- 第28回 **【授業テーマ】** 断面に作用する応力(2)  
**【内容・方法等】** 軸方向力と曲げモーメントが作用する場合の応力算定(2)、符号の考え方と設計へのアプローチ  
**【事前・事後学習課題】** (事前) 教科書 6.3の該当箇所を読む  
(事後) 本日解いた問題を再解答する
- 第29回 **【授業テーマ】** 断面に作用する応力(3)  
**【内容・方法等】** 軸方向力と2方向の曲げをうける梁要素の応力  
**【事前・事後学習課題】** (事前) 教科書 6.4の該当箇所を読む  
(事後) 本日解いた問題を再解答する
- 第30回 **【授業テーマ】** 総括  
**【評価方法(基準)】** 講義内に実施する中間テスト(1回)と期末試験の成績を合計して70%、また、講義内で行う確認テストや確認レポート(合計5回程度)の成績を30%とし、あわせて100%で評価を行い、60%以上を合格とする。
- 教材等**  
教科書…「図説 構造力学入門」豊田正敏、島村和夫共著 東洋書店(2233円+税)  
参考書…配布資料  
**学生へのメッセージ**

建築の構造安全性を考える上で、重要な基礎科目である。この科目を履修するためには、構造力学・構造基礎で履修した知識を必要とする。特に、構造力学・構造基礎で学んだ反力の算定はもう一度復習すること。毎回の講義で行う演習問題を復習していくと、理解が一層進む。

**関連科目**

構造力学Ⅰb、構造力学Ⅱ、構造力学Ⅲ、その他建築構造関係の全科目

**担当者の研究室等**

8号館3階 池内 准教授室

**備考**

加藤先生・・・火曜5限担当  
高田先生・・・木曜2限担当

**構造力学II**

Structural Mechanics IIc

上 谷 宏 二 (ウエタニ コウジ)

林 和 宏 (ハヤシ カズヒロ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	必修	2

**授業概要・目的・到達目標**

建築骨組は一般に不静定構造として設計される。構造力学Ⅰで学んだ静定構造物は力の釣合式だけを用いて応力(断面力)を算出できた。しかし不静定構造物の応力や変形を計算するには、力の釣合式に加えて変位とひずみに関する適合条件式を用いなければならない。この講義では不静定構造物の代表的な解法である、たわみ角法、変位法(剛性法)、モーメント分配法、応力法について学ぶ。

[到達目標]としては、(1)解法の原理の理解、(2)簡単な骨組について、方程式を立て、応力を計算できる能力の習得。

学科の学習・教育目標との対応：[K]

**授業方法と留意点**

指定教科書「構造力学図説・演習」と配布資料を用い、講義+演習の形式で授業を進める。適宜演習を課す授業なので100%の出席を前提とする。やむを得ず欠席する場合は文書で届け出る。また、欠席した授業内容は自己責任で補充すること。

**科目学習の効果(資格)**

一級・二級建築士資格取得のための必須科目である。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 **【授業テーマ】** たわみ角法(1)  
**【内容・方法等】** たわみ角法公式、節点方程式の復習。講義+演習  
**【事前・事後学習課題】** 第2章 2.1-2.2、講義プリントの要点を復習し、演習課題を次週までに解答する
- 第2回 **【授業テーマ】** たわみ角法(2)  
**【内容・方法等】** 節点移動がある場合の変位と変形。講義+演習  
**【事前・事後学習課題】** 第2章 2.3-2.4、講義プリントの要点を復習し、演習課題を次週までに解答する
- 第3回 **【授業テーマ】** たわみ角法(3)  
**【内容・方法等】** 層方程式、一層骨組。講義+演習  
**【事前・事後学習課題】** 第2章 2.3-2.4、講義プリントの要点を復習し、演習課題を次週までに解答する
- 第4回 **【授業テーマ】** たわみ角法(4)  
**【内容・方法等】** 層方程式、多層骨組。講義+演習  
**【事前・事後学習課題】** 第2章全般、中間テストに備えてこれまでの演習問題を復習する
- 第5回 **【授業テーマ】** 中間テスト  
**【内容・方法等】** たわみ角法  
**【事前・事後学習課題】** 中間試験準備：たわみ角法の力学原理を良く理解し、演習問題を十分に復習しておくこと
- 第6回 **【授業テーマ】** モーメント分配法(1)  
**【内容・方法等】** 基本仮定、解法の原理、単純な問題の求解。講義+演習  
**【事前・事後学習課題】** 第2章 全般、講義プリントの要点を復習し、演習課題を次週までに解答する
- 第7回 **【授業テーマ】** モーメント分配法(2)  
**【内容・方法等】** 節点の回転拘束と単位回転角を与える材端モーメント。講義+演習  
**【事前・事後学習課題】** 第3章、講義プリントの要点を復習し、演習課題を次週までに解答する
- 第8回 **【授業テーマ】** モーメント分配法(3)  
**【内容・方法等】** モーメントの分配則と伝達モーメント。講義+演習  
**【事前・事後学習課題】** 第3章、講義プリントの要点を復習し、演習課題を次週までに解答する
- 第9回 **【授業テーマ】** モーメント分配法(4)  
**【内容・方法等】** 複数節点のモーメント解放。講義+演習



- 第10回** 【事前・事後学習課題】 第3章、講義プリントの要点を復習し、演習課題を次週までに解答する  
【授業テーマ】 モーメント分配法（5）  
【内容・方法等】 モーメント分配法の総復習、講義+演習  
【事前・事後学習課題】 第3章、中間テストに備えてこれまでの演習問題を復習する
- 第11回** 【授業テーマ】 中間テスト  
【内容・方法等】 モーメント分配法  
【事前・事後学習課題】 中間試験準備：変位法<剛性法>の力学原理を良く理解し、演習問題を十分に復習しておくこと
- 第12回** 【授業テーマ】 変位法<剛性法>（1）  
【内容・方法等】 トラス部材を直列に繋いだ直線棒モデルを用いて基本仮定、解法の原理を説明。単純な問題の求解手続きを演習する。講義+演習  
【事前・事後学習課題】 第5章、講義プリントの要点を復習し、演習課題を次週までに解答する
- 第13回** 【授業テーマ】 変位法<剛性法>（2）  
【内容・方法等】 トラス部材の部材剛性方程式、全体座標系と部材座標系、部材剛性方程式の座標変換、重ね合わせ手続き、講義+演習  
【事前・事後学習課題】 第5章、講義プリントの要点を復習し、演習課題を次週までに解答する
- 第14回** 【授業テーマ】 変位法<剛性法>（3）  
【内容・方法等】 曲げ・せん断と軸力を受ける部材の剛性方程式、講義+演習  
【事前・事後学習課題】 第5章、講義プリントの要点を復習し、演習課題を次週までに解答する
- 第15回** 【授業テーマ】 変位法<剛性法>（4）  
【内容・方法等】 曲げを受ける部材の剛性行列の座標変換、中間荷重、骨組解析、講義+演習  
【事前・事後学習課題】 第5章、講義プリントの要点を復習し、演習課題を次週までに解答する

**評価方法（基準）**

2回の中間試験成績（60%）および期末試験成績（40%）の総計で評価する。

**教材等**

教科書…建築構造力学 図説・演習Ⅱ  
編著：中村恒善  
出版：丸善株式会社

参考書…特になし

**学生へのメッセージ**

必ずしも簡単な内容ではありませんが、授業に毎回出席し、講義にしっかりと耳を傾け、演習課題を納得がいくまで繰り返し反芻すれば、将来役立つ知識や能力を必ず身に付けることができます。

**関連科目**

常に構造力学Ⅰを復習しながら進むこと。構造力学Ⅱの演習では、解析解を得たら必ず構造力学Ⅰで学んだ方法により断面力図と変形の略図を描くこと。

**担当者の研究室等**

8号館3階 上谷教授室

構造力学Ⅱb Structural Mechanics II				
池内 淳子 (イケウチ ジュンコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択必修	2

**授業概要・目的・到達目標**

[授業概要・目的] 力と変位の組み合わせによって仕事を考えることが基本となる。仮想仕事の原理、カスティリアーノの原理は構造力学の重要な基本的事項である。その原理と応用例を学習する。また、構造物に作用する荷重が増大したとき、どのようなことが生じるのかを学ぶ。素材の塑性化を基本とした時、梁の降伏を考えた極限解析、骨組みの崩壊した状態を想定し仮想仕事の原理を適用して崩壊荷重を求める。

[到達目標] 1)仮想仕事の原理と応用。2)カスティリアーノの原理と応用。3)極限解析の簡単な骨組みへの適用。これらを用いることを目標とする。

学科の学習・教育目標との対応：[F]

**授業方法と留意点**

毎回配布資料がある。（ファイルしておくこと）  
原則として毎回演習を行い、演習状況の確認を持って出欠確認を行う。

**科目学習の効果（資格）**

1級建築士

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 ガイダンス 仮想仕事の原理の概要  
【内容・方法等】 ガイダンス、仮想仕事の原理とは何か。  
【事前・事後学習課題】 仮想仕事の原理のイメージの把握

- 第2回** 【授業テーマ】 仮想仕事の原理の適用（1）  
【内容・方法等】 簡単なトラスへの応用、演習  
【事前・事後学習課題】 例題の問題把握、仮想仕事の原理の使い方、演習の点検
- 第3回** 【授業テーマ】 仮想仕事の原理の適用（2）  
【内容・方法等】 簡単な曲げ材（梁）への応用、演習  
【事前・事後学習課題】 単純梁、キャンチレバー梁の応力と変形、演習の点検
- 第4回** 【授業テーマ】 単位仮想荷重法  
【内容・方法等】 単位仮想荷重法等について習熟し、仮想仕事の原理の理解を深める。演習  
【事前・事後学習課題】 いままでの復習、例題の理解、演習の点検
- 第5回** 【授業テーマ】 カスティリアーノの定理（1）  
【内容・方法等】 部材の軸力、曲げ、せん断の歪エネルギーについての理解。  
【事前・事後学習課題】 部材の軸力、曲げ、せん断の歪エネルギーとは何か。
- 第6回** 【授業テーマ】 カスティリアーノの定理（2）  
【内容・方法等】 カスティリアーノの第2定理、部材のひずみエネルギーの梁の変形問題への応用、演習  
【事前・事後学習課題】 部材の軸変形、曲げ変形、せん断変形の理解とひずみエネルギー、演習の点検
- 第7回** 【授業テーマ】 カスティリアーノの定理（3）  
【内容・方法等】 カスティリアーノの第1定理の応用、第2定理、演習  
【事前・事後学習課題】 部材の軸変形、曲げ変形、せん断変形の理解とひずみエネルギー。演習の点検
- 第8回** 【授業テーマ】 カスティリアーノの定理（4）  
【内容・方法等】 仮想仕事の原理、カスティリアーノの定理  
【事前・事後学習課題】 復習と整理
- 第9回** 【授業テーマ】 塑性変形、全塑性モーメント、完全弾塑性モデル  
【内容・方法等】 梁の全塑性モーメントと塑性曲げ、完全弾塑性モデル 演習  
【事前・事後学習課題】 梁の塑性曲げと全塑性モーメント等の用語の理解。演習の点検
- 第10回** 【授業テーマ】 梁の崩壊機構（1）  
【内容・方法等】 荷重の増大に伴って不静定梁が全塑性モーメントに達し、梁の崩壊機構に至ることの理解。演習  
【事前・事後学習課題】 塑性ヒンジの用語の理解、塑性崩壊の概念の理解。演習の点検
- 第11回** 【授業テーマ】 梁の崩壊機構（2）  
【内容・方法等】 塑性崩壊の概念の理解。演習  
【事前・事後学習課題】 講義の例題をよく復習すること。演習の点検
- 第12回** 【授業テーマ】 梁の崩壊機構（3）  
【内容・方法等】 全塑性モーメントと梁の崩壊機構  
【事前・事後学習課題】 復習と整理
- 第13回** 【授業テーマ】 架構の崩壊機構（1）  
【内容・方法等】 鉛直荷重による架構の崩壊機構と極限解析。演習  
【事前・事後学習課題】 鉛直荷重による架構の崩壊機構の理解。演習の点検
- 第14回** 【授業テーマ】 架構の崩壊機構（2）  
【内容・方法等】 水平荷重と鉛直荷重を受ける架構の崩壊機構の理解。演習  
【事前・事後学習課題】 水平荷重と鉛直荷重を受ける架構の崩壊機構の理解。演習の点検
- 第15回** 【授業テーマ】 総括  
【内容・方法等】 総括  
【事前・事後学習課題】 いままでの復習をしておくこと。

**評価方法（基準）**

講義内のテスト、レポート、演習問題の成績を40%、期末試験60%とし、合計して100%中60%を合格とする

**教材等**

教科書…特に指定しない。資料を配布する。  
参考書…建築構造力学図説・演習Ⅱ (3605円), (建築構造力学図説・演習Ⅰ)  
構造力学（仮想仕事の原理を通して）田村武 朝倉書店 2900円  
構造力学入門 高橋武雄 培風館 2369円  
建築の力学〔塑性論とその応用〕桑村仁 井上書院 2500円

**学生へのメッセージ**

構造力学の基本ができていないと単位を取得することは困難である。  
例題、演習は簡単な構造物を使って行うので、構造力学の原理、解法の原理等、まずイメージを作って理解すること。次に、手計算で解いてみて、原理を体感すること。構造力学Ⅰa、構造力学Ⅰb、構造力学Ⅱの範囲を復習しておくこと

**関連科目**

単純な構造物を例題として講義するので、常に構造力学Ⅰa、構造力学Ⅰb、構造力学Ⅱの範囲を復習しながら進むこと。

担当者の研究室等  
8号館3階 池内准教授室

**鋼構造I**  
Steel Structures I

谷 口 与史也 (タニグチ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択必修	2

**授業概要・目的・到達目標**

【授業概要】鋼構造建築物の構造設計をするうえで基礎となる構造解析理論をもとに鋼材の材料、接合法、各構造部材の特性を理解し、鋼構造における新しい工法、施工技術や構造設計の基本的事項を学習する。

【到達目標】自由で合理的な鋼構造建築物を提案できる能力を修得することを目標とする。

【学科の学習・教育目標との対応】 「F」「K」

**授業方法と留意点**

教科書、配布資料に沿って要点を板書して説明する。小テストを複数回実施し、レポート課題を適宜出題する。

**科目学習の効果（資格）**

一級建築士、構造設計、現場技術者、技術士

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 序論  
【内容・方法 等】 ガイダンス、鋼構造の歴史・種類  
【事前・事後学習課題】 教科書1.1.1・4、配布資料
- 第2回 【授業テーマ】 材料  
【内容・方法 等】 鋼構造の特徴、鋼材の性質  
【事前・事後学習課題】 教科書1.1.3、1.2
- 第3回 【授業テーマ】 設計の基本  
【内容・方法 等】 設計の基本事項、構造用鋼材  
【事前・事後学習課題】 教科書1.3、1.4
- 第4回 【授業テーマ】 各種製品  
【内容・方法 等】 構造用鋼材、ボルトの種類  
【事前・事後学習課題】 教科書1.5-1.9、配布資料
- 第5回 【授業テーマ】 引張材  
【内容・方法 等】 有効断面積  
【事前・事後学習課題】 教科書2.1
- 第6回 【授業テーマ】 引張材  
【内容・方法 等】 引張実験結果  
【事前・事後学習課題】 教科書2.1
- 第7回 【授業テーマ】 圧縮材  
【内容・方法 等】 弾性座屈、非弾性座屈、許容圧縮応力度  
【事前・事後学習課題】 教科書2.2
- 第8回 【授業テーマ】 圧縮材  
【内容・方法 等】 有効座屈長さ、演習  
【事前・事後学習課題】 教科書2.2、配布資料
- 第9回 【授業テーマ】 中間試験  
【内容・方法 等】 中間試験のまとめ  
【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第10回 【授業テーマ】 曲げ材  
【内容・方法 等】 せん断応力度、せん断中心  
【事前・事後学習課題】 配布資料、教科書2.3
- 第11回 【授業テーマ】 曲げ材  
【内容・方法 等】 横座屈、曲げ材の検定、演習  
【事前・事後学習課題】 配布資料、教科書2.3
- 第12回 【授業テーマ】 局部座屈  
【内容・方法 等】 板要素の局部座屈、幅厚比制限  
【事前・事後学習課題】 教科書2.4、配布資料
- 第13回 【授業テーマ】 接合の基本  
【内容・方法 等】 ファスナー接合  
【事前・事後学習課題】 教科書3.1、3.2
- 第14回 【授業テーマ】 接合の基本  
【内容・方法 等】 溶接接合、仕口の種類  
【事前・事後学習課題】 教科書3.3、配布資料
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ  
【内容・方法 等】 地震被害例を通して各部設計の重要性を認識する  
【事前・事後学習課題】 配布資料

**評価方法（基準）**

小テスト・レポート課題（40%）、中間試験（30%）、期末試験（30%）

**教材等**

教科書…鋼構造【第2版】嶋津孝之編著 森北出版  
参考書…配布プリント

**学生へのメッセージ**

各種記事に掲載されている鋼構造に関する設計詳細をよく観ることが講義内容の理解に役立つ。

**関連科目**

建築材料学、構造力学、鋼構造2

担当者の研究室等

建築学科共通準備室（8号館）

**鋼構造II**  
Steel Structures II

上 谷 宏 二 (ウエタニ コウジ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期(30回)	選択必修	3

**授業概要・目的・到達目標**

鋼は重量に比して強度と変形能力に優れた構造材料であり、低層建築から高層建築まで幅広い建物に用いられている。鋼構造の設計において重要な基本事項について学び、その設計に関する具体的手法を演習交えて習得する。

【到達目標】 1) 耐震設計法と構造計画の基本的な考え方 2) 梁材・柱材・トラス・プレースの設計法 3) 接合部の設計法 4) 柱脚の設計法

【学科の学習・教育目標との対応】：[K]

**授業方法と留意点**

指定教科書「建築鋼構造－その理論と設計－」と配布資料を用い、講義形式で授業を進める。適宜、演習問題を課す。演習では数値の計算も行うので、電卓を持参する。

**科目学習の効果（資格）**

構造設計、一級建築士

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション  
【内容・方法 等】 科目の位置付け、内容の概説、授業の進め方  
【事前・事後学習課題】 教科書の入手を確認
- 第2回 【授業テーマ】 様々な鋼構造建築、鋼構造の地震被害  
【内容・方法 等】 パワーポイントを用いて説明  
【事前・事後学習課題】 インターネットなどで最近の地震による建物被害を調べる
- 第3回 【授業テーマ】 製鉄技術の歴史  
【内容・方法 等】 D V D 鋼の製造（和鋼風土記、鉄-地球の記憶・地球の未来）  
【事前・事後学習課題】 第1部 2章
- 第4回 【授業テーマ】 鋼材の性質  
【内容・方法 等】 D V D（鋼材の材料試験編）、鋼材の応力ひずみ関係  
【事前・事後学習課題】 第1部 3章
- 第5回 【授業テーマ】 鋼構造骨組の概要（軸組と接合部）  
【内容・方法 等】 断面性能：断面2次モーメント、全塑性モーメントなど  
【事前・事後学習課題】 第1部 4章
- 第6回 【授業テーマ】 部材の耐力と骨組の挙動1  
【内容・方法 等】 単純トラスの強さ  
【事前・事後学習課題】 第1部 5章
- 第7回 【授業テーマ】 部材の耐力と骨組の挙動2  
【内容・方法 等】 静定梁の強さ：片持梁と単純梁  
【事前・事後学習課題】 第1部 5章
- 第8回 【授業テーマ】 部材の耐力と骨組の挙動3  
【内容・方法 等】 肘形ラーメン、ロ形ラーメン  
【事前・事後学習課題】 第1部 5章
- 第9回 【授業テーマ】 中間試験（1）  
【内容・方法 等】 部材、骨組の剛性と耐力  
【事前・事後学習課題】 ここまでの範囲について、演習課題を含めて良く復習すること。
- 第10回 【授業テーマ】 せん断応力とせん断変形  
【内容・方法 等】 H形鋼、箱型鋼管のせん断強さ  
【事前・事後学習課題】 第2部 6章
- 第11回 【授業テーマ】 接合部パネルのせん断応力と耐力  
【内容・方法 等】 パネル内のせん断応力  
【事前・事後学習課題】 第2部 6章
- 第12回 【授業テーマ】 中心圧縮柱の座屈  
【内容・方法 等】 座屈荷重、座屈長さ、塑性の影響  
【事前・事後学習課題】 第3部 5～8章
- 第13回 【授業テーマ】 薄肉断面材のねじれ  
【内容・方法 等】 ねじれ剛性  
【事前・事後学習課題】 第3部 1章
- 第14回 【授業テーマ】 梁の横座屈  
【内容・方法 等】 H形鋼梁の曲げねじれ座屈、近似設計式  
【事前・事後学習課題】 第3部 5.1、5.2
- 第15回 【授業テーマ】 中間試験（2）  
【内容・方法 等】 せん断、座屈の設計  
【事前・事後学習課題】 ここまでの範囲について、演習課題を含めて良く復習すること。
- 第16回 【授業テーマ】 鉄骨構造物の設計概論  
【内容・方法 等】 設計ルート、設計荷重、耐震設計  
【事前・事後学習課題】 建物区分と設計ルートとの関係をもう一度よく復習しておく



- 第17回 【授業テーマ】 梁の設計1  
【内容・方法 等】 小梁の設計  
【事前・事後学習課題】 第4部 2.3
- 第18回 【授業テーマ】 梁の設計2  
【内容・方法 等】 大梁の設計  
【事前・事後学習課題】 第4部 2.3
- 第19回 【授業テーマ】 柱の設計1  
【内容・方法 等】 柱の許容応力度設計  
【事前・事後学習課題】 第4部 2.4
- 第20回 【授業テーマ】 柱の設計2  
【内容・方法 等】 柱の終局強度設計  
【事前・事後学習課題】 第4部 2.4
- 第21回 【授業テーマ】 中間試験(3)  
【内容・方法 等】 梁と柱の設計  
【事前・事後学習課題】 ここまでの範囲について、演習課題を含めて良く復習すること。
- 第22回 【授業テーマ】 接合部の概説  
【内容・方法 等】 DVD接合部  
【事前・事後学習課題】 第4部 3章
- 第23回 【授業テーマ】 接合部パネルの設計  
【内容・方法 等】 接合部パネルに作用する力と設計式の意味  
【事前・事後学習課題】 第4部 2.5
- 第24回 【授業テーマ】 溶接接合1  
【内容・方法 等】 隅肉溶接の設計  
【事前・事後学習課題】 第4部 3章
- 第25回 【授業テーマ】 溶接接合2  
【内容・方法 等】 溶込み溶接の設計  
【事前・事後学習課題】 第4部 3章
- 第26回 【授業テーマ】 高力ボルト接合1  
【内容・方法 等】 摩擦接合、引張接合  
【事前・事後学習課題】 第4部 4章
- 第27回 【授業テーマ】 高力ボルト接合2  
【内容・方法 等】 梁継手の設計  
【事前・事後学習課題】 第4部 4章
- 第28回 【授業テーマ】 柱脚  
【内容・方法 等】 柱脚の設計  
【事前・事後学習課題】 第4部 5章
- 第29回 【授業テーマ】 中間試験(4)  
【内容・方法 等】 接合部設計  
【事前・事後学習課題】 ここまでの範囲について、演習課題を含めて良く復習すること。
- 第30回 【授業テーマ】 復習課題  
評価方法 (基準)  
4回の中間試験成績(60%)および期末試験成績(40%)の総計で評価する。
- 教材等  
教科書…「建築鋼構造-その理論と設計」  
著者：井上一朗、吹田啓一郎  
出版社：鹿島出版会  
参考書…教科書・建築構造力学 図説・演習 I, II  
編著：中村恒善  
出版：丸善株式会社
- 学生へのメッセージ  
必ずしも簡単な内容ではありませんが、授業に毎回出席し、講義にしっかりと耳を傾け、演習課題を納得がいくまで繰り返し反芻すれば、将来役立つ知識や能力を必ず身に付けることができます。
- 関連科目  
構造力学 I a, I b, 構造力学 II の授業内容をよく理解していること。
- 担当者の研究室等  
8号館3階 上谷教室

鉄筋コンクリート構造 I Reinforced Concrete Structures I				
		柳 沢 学 (ヤナギサワ マナブ)		
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	必修	2

**授業概要・目的・到達目標**  
 [授業概要・目的] 鉄筋コンクリート構造は、コンクリートの圧縮強さと、コンクリートが引張り力に弱い欠点のところに、引張り力に強い鉄筋を挿入し、そして、鉄筋が防火性、防錆性に弱い欠点をコンクリートが防ぐという、互いの短所を補い長所を活かした複合構造である。このように全くの異質の材料を一体として設計するところに巧妙な設計法が用いられている。[到達目標]以下の項目の理解。1)鉄筋コンクリート構造の基礎知識 2)構造形式の理解 3)許容応力度設計法の基礎知識 4)構造材料と許容応力度の基礎知識 5)梁の曲げ設計の基礎知識 6)柱の曲げ設計の基礎知識 7)梁および柱の実用設計

学科の学習・教育目標との対応：[K]  
**授業方法と留意点**  
 教科書を中心とした授業です。教科書に出てくる例題や演習をほぼ毎回行います(除中間テスト)。また、授業を受けるにあたり事前の学習が望まれます。授業では講義メモ(ノート)をとってもらい(返却する)、これを重視して受講態度や平常点を考慮します。

**科目学習の効果(資格)**  
 一級建築士および二級建築士学科試験の「構造」部門に関係する。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

第1回 【授業テーマ】 授業内容 受講注意事項 評価方法  
 鉄筋コンクリート構造概要  
 【内容・方法 等】 履修の心構え  
 鉄筋コンクリートの意義 鉄筋コンクリートの歴史 鉄筋コンクリート構造の利点と欠点  
 【事前・事後学習課題】 シラバスを熟読してここと教科書 p.8~

第2回 【授業テーマ】 鉄筋によるコンクリートの補強  
 鉄筋とコンクリートの協働作用  
 【内容・方法 等】 鉄筋とコンクリートの付着力など  
 【事前・事後学習課題】 教科書 p.8~12

第3回 【授業テーマ】 鉄筋に対するかぶり厚さ  
 【内容・方法 等】 かぶり厚さ、鉄筋間隔・あき  
 【事前・事後学習課題】 教科書 p.12~14

第4回 【授業テーマ】 材料の力学的特性  
 【内容・方法 等】 部材の受ける力と抵抗  
 コンクリート、鉄筋の材料特性、定数  
 【事前・事後学習課題】 教科書 p.16~24

第5回 【授業テーマ】 曲げと軸力に対する抵抗  
 【内容・方法 等】 曲げひび割れモーメント  
 曲げ終局耐力  
 【事前・事後学習課題】 教科書 p.24~29

第6回 【授業テーマ】 設計法と荷重・外力  
 【内容・方法 等】 許容応力度設計法、地震力  
 【事前・事後学習課題】 教科書 p.60~78

第7回 【授業テーマ】 許容応力度設計法に基づく部材の設計  
 材料の選定と許容応力度  
 【内容・方法 等】 コンクリートと鉄筋の選定、許容応力度  
 【事前・事後学習課題】 教科書 p.80~86

第8回 【授業テーマ】 中間試験および解説  
 【内容・方法 等】 第1回から第7回までの内容の確認  
 【事前・事後学習課題】 試験内容を再度復習すること

第9回 【授業テーマ】 曲げモーメントに対する設計(1)  
 【内容・方法 等】 基本仮定、軸力のつり合い式、ヤング係数比、許容軸力の算定  
 【事前・事後学習課題】 教科書 p.86~89

第10回 【授業テーマ】 曲げモーメントに対する設計(2)  
 【内容・方法 等】 長方形断面梁の許容曲げモーメント  
 【事前・事後学習課題】 教科書 p.89~94

第11回 【授業テーマ】 梁の設計(1)  
 【内容・方法 等】 梁の実用設計 構造規定 設計法(設計手順) 断面算定  
 【事前・事後学習課題】 教科書 p.94~97

第12回 【授業テーマ】 梁の設計(2)  
 【内容・方法 等】 梁の実用設計、演習  
 【事前・事後学習課題】 教科書 p.97~101

第13回 【授業テーマ】 柱の設計(1)  
 【内容・方法 等】 断面内の力のつり合い 中立軸位置(断面内、断面外) 断面算定 存在応力と許容応力度  
 【事前・事後学習課題】 教科書 p.109~113

第14回 【授業テーマ】 柱の設計(2)  
 【内容・方法 等】 柱の実用設計 構造規定 設計法(設計手順) 演習  
 【事前・事後学習課題】 教科書 p.113~117

第15回 【授業テーマ】 施工を含む全体のまとめ  
 【内容・方法 等】 鉄筋工事 型枠工事 コンクリート工事 全体のまとめ  
 【事前・事後学習課題】 今までの総復習をしておくこと

**評価方法(基準)**  
 平常点(10%)、演習、レポート等(30%)、中間および期末試験(60%)で評価し60%以上を合格とする。平常点では事前学習や講義メモの見直し、授業への積極的な参加態度を評価する。

**教材等**  
 教科書…「鉄筋コンクリート構造の基本と部材の設計」、永坂具也・柳沢学、彰国社(2700円)  
 参考書…「鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説」、日本建築学会、(5600円)

**学生へのメッセージ**  
 現在、身の回りにある多くの建物が鉄筋コンクリート構造で建設されており、その構造を知ることは建築の意匠・計画にも重要である。構造系希望者はもとより、計画系を希望する学生も本授業を履修することを薦める。授業中は私語を慎み、授業に集中すること。

関連科目

鉄筋コンクリート構造Ⅱ  
建築ゼミⅢ、卒業研究（構造系）、建築施工Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ  
担当者の研究室等  
8号館3階 柳沢教授室

鉄筋コンクリート構造Ⅱ

Reinforced Concrete Structures Ⅱ

柳 沢 学 (ヤナギサワ マナブ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択必修	3

授業概要・目的・到達目標

【授業概要・目的】鉄筋コンクリート構造は、コンクリートの圧縮強さと、コンクリートが引張り力に弱い欠点のところに、引張り力に強い鉄筋を挿入し、そして、鉄筋が防火性、防錆性に弱い欠点をコンクリートが防ぐという、互いの短所を補い長所を活かした複合構造である。このように全くの異質の材料を一体として設計するところに巧みな設計法が用いられている。【到達目標】以下の項目の理解。1)鉄筋コンクリート構造せん断設計の基礎知識 2)梁のせん断設計 3)柱のせん断設計 4)鉄筋コンクリート構造基礎の設計 5)床スラブの設計 6)耐震壁の設計  
学科の学習・教育目標との対応：[K]

授業方法と留意点

教科書を中心とした授業です。教科書に出てくる例題や演習をほぼ毎回行います（除中間テスト）。また、授業を受けるにあたり事前の学習が望まれます。授業では講義メモ（ノート）をとってもらい（返却する）、これを重視して受講態度や平常点を考慮します。

科目学習の効果（資格）

一級建築士および二級建築士学科試験の「構造」部門に関係する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 講義概要  
せん断（1）  
せん断力に対する抵抗  
【内容・方法等】 受講注意事項、評価方法、耐震設計の遍歴、耐震設計法、過去の地震被害、破壊機構、せん断抵抗因子  
【事前・事後学習課題】 シラバスを熟読してくること  
教科書p.29～37
- 第2回 【授業テーマ】 せん断（2）  
せん断力に対する抵抗  
【内容・方法等】 せん断補強筋の働き  
【事前・事後学習課題】 教科書p.29～37
- 第3回 【授業テーマ】 せん断（3）  
部材のせん断ひび割れ耐力とせん断耐力  
【内容・方法等】 せん断ひび割れ耐力とせん断ひび割れ耐力算定式  
せん断耐力とせん断耐力算定式  
【事前・事後学習課題】 教科書p.37～42
- 第4回 【授業テーマ】 せん断（4）  
せん断力に対する設計  
【内容・方法等】 梁のせん断設計（あばら筋の算定）  
【事前・事後学習課題】 教科書p.101～108
- 第5回 【授業テーマ】 せん断（5）  
せん断力に対する設計  
【内容・方法等】 柱のせん断設計（帯筋の算定）  
【事前・事後学習課題】 教科書p.117～124
- 第6回 【授業テーマ】 中間試験および解説  
【内容・方法等】 せん断設計の意義、部材のせん断設計など  
【事前・事後学習課題】 1～5回までをよく復習して中間試験に臨むこと
- 第7回 【授業テーマ】 床スラブ（1）  
【内容・方法等】 床スラブに作用する荷重と応力、変形  
【事前・事後学習課題】 教科書p.124～129
- 第8回 【授業テーマ】 床スラブ（2）  
【内容・方法等】 スラブの設計  
【事前・事後学習課題】 教科書p.129～133
- 第9回 【授業テーマ】 柱・梁接合部（1）  
【内容・方法等】 柱と梁の接合部のせん断抵抗  
【事前・事後学習課題】 教科書p.42～45
- 第10回 【授業テーマ】 柱・梁接合部（2）  
【内容・方法等】 許容せん断力、短期設計用せん断力  
【事前・事後学習課題】 教科書p.150～154
- 第11回 【授業テーマ】 耐震壁（1）  
【内容・方法等】 耐震壁のせん断抵抗  
【事前・事後学習課題】 教科書p.45～51
- 第12回 【授業テーマ】 耐震壁（2）  
【内容・方法等】 耐震壁の設計  
【事前・事後学習課題】 教科書p.154～163
- 第13回 【授業テーマ】 基礎（1）

【内容・方法等】 直接基礎の設計  
【事前・事後学習課題】 教科書p.164～169  
【授業テーマ】 基礎（2）

【内容・方法等】 杭基礎の設計  
【事前・事後学習課題】 教科書p.170～175  
【授業テーマ】 構造設計

まとめ  
【内容・方法等】 構造体に要求されるもの  
地震被害よりみた耐震対策  
鉄筋の付着、定着 など  
【事前・事後学習課題】 今までの総復習をしておくこと

評価方法（基準）  
平常点（授業への積極態度：10%）、演習、レポート等（30%）、中間試験（30%）および期末試験（30%）の割合で評価し、到達目標の理解度を含め総合的に判定する。

教材等

教科書…「鉄筋コンクリート構造の基本と部材の設計」、永坂具也・柳沢学、彰国社（2700円）

参考書…「鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説」、日本建築学会、(5600円)

学生へのメッセージ

現在、身の回りにある多くの建物が鉄筋コンクリート構造で建設されており、その構造を知ることは建築の意匠・計画にも重要である。構造系希望者はもとより、計画系を希望する学生も本授業を履修することを薦める。  
授業中は私語を慎み、授業に集中すること。

関連科目

鉄筋コンクリート構造Ⅰ 建築ゼミⅢ、卒業研究（構造系）  
建築施工Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ

担当者の研究室等

8号館3階 柳沢教授室

構造実験

Experiments of Structural Elements

柳 沢 学 (ヤナギサワ マナブ)

上 谷 宏 二 (ウエタニ コウジ)

池 内 淳 子 (イケウチ ジュンコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

【授業概要・目的】建築物を構成する主要な構造要素・材料の力学的特性および物理・化学的特性の試験・実験法とその特性を下記の実験を通じて学ぶ。ただし、天候等によって、順番、内容を一部変更することもある。  
【到達目標】1)毎回出席して実験を肌で感じる。2)実験で使用する器具や機器を覚えること。3)結果を一般解と比較して考察できること。4)コンクリートの調査設計ができること。  
学科の学習・教育目標との対応：[K]

授業方法と留意点

班毎にまとも作業する。毎回、講義室で実験概要を説明し実験室にて実験する。翌日、観察、養生する場合もある。実験後レポートを作成し提出する。

科目学習の効果（資格）

構造実験は建築士受験資格のある指定学科では必要科目となっている。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス、班分け  
【内容・方法等】 構造実験概要  
安全マニュアルの熟読  
【事前・事後学習課題】 シラバスを熟読してくること  
安全マニュアルの理解
- 第2回 【授業テーマ】 セメント比重試験  
【内容・方法等】 セメントの比重の計測方法を理解し、その比重を市販品の値と比較して評価する。  
【事前・事後学習課題】 教科書 p.8
- 第3回 【授業テーマ】 セメント凝結試験  
【内容・方法等】 セメントの凝結試験方法を理解し凝結時間を計測し硬化状況を確認する。  
【事前・事後学習課題】 教科書 p.9
- 第4回 【授業テーマ】 セメント強度試験のための供試体作製  
【内容・方法等】 セメント強度試験のための供試体を作製する。  
【事前・事後学習課題】 教科書 p.9～p.11
- 第5回 【授業テーマ】 骨材比重試験  
【内容・方法等】 細骨材および粗骨材の比重を計測し地域別の値と比較する。  
【事前・事後学習課題】 教科書 p.18～p.21
- 第6回 【授業テーマ】 コンクリート調査設計



- 【内容・方法 等】** コンクリートの調査設計の仕方を理解し、翌週のコンクリート打設のための調査計画を行う。
- 【事前・事後学習課題】** 教科書 p 36～p 45
- 【授業テーマ】** コンクリート強度試験のための供試体作製
- 【内容・方法 等】** コンクリートを構成する、水、セメント、細骨材、粗骨材および混和剤を計量し、練り混ぜ後、スランプ試験の実施と供試体を3本を作製する。
- 【事前・事後学習課題】** 教科書 p 45～p 51
- 【授業テーマ】** 骨材粒度分布試験
- 【内容・方法 等】** コンクリートを構成する骨材のふるい分け試験を行い、f<sub>m</sub>値算出と粒度分布曲線を求めJIS規格範囲と比較・検討する。
- 【事前・事後学習課題】** 教科書 p 13～p 16
- 【授業テーマ】** セメント強度試験
- 【内容・方法 等】** セメントの強度試験を行い、曲げ強度および圧縮強度を算出し、評価・検討する。
- 【事前・事後学習課題】** 教科書 p 9～p 11
- 【授業テーマ】** 細骨材中の有機不純物、塩化物の定量分析
- 【内容・方法 等】** 有機不純物試験方法を理解し、実験を行い評価する。塩化物の定量分析を行いコンクリート用骨材として使用できるかを検討する。
- 【事前・事後学習課題】** 教科書 p 25～p 26
- 【授業テーマ】** コンクリート強度試験、鋼材引張試験
- 【内容・方法 等】** コンクリート強度試験（圧縮および割裂）の実施。鋼材の引張試験により、降伏強度、引張強度および伸びを計測し規格値と比較する。
- 【事前・事後学習課題】** 教科書 p 51～p 54  
教科書 p 86～p 88
- 【授業テーマ】** 鉄骨はりの曲げ実験 試験体製作
- 【内容・方法 等】** 鉄骨はりの曲げ実験を理解し、鉄骨はりの曲げ耐力を推定する。また、翌週実験する試験体にひずみゲージを貼付して実験準備をする。
- 【事前・事後学習課題】** 教科書 p 94～p 97
- 【授業テーマ】** 鉄骨はりの曲げ実験 実験実施
- 【内容・方法 等】** 鉄骨はりの曲げ実験を行い諸荷重等を計算値と比較する。
- 【事前・事後学習課題】** 教科書 p 94～p 97
- 【授業テーマ】** 鉄筋コンクリートはりの曲げせん断実験 耐力算定
- 【内容・方法 等】** 鉄筋コンクリートはりの曲げせん断実験を理解し、鉄筋コンクリートはりの諸耐力、諸剛性を算出する。
- 【事前・事後学習課題】** 教科書 p 70～p 72
- 【授業テーマ】** 鉄筋コンクリートはりの曲げせん断実験 実験実施
- 【内容・方法 等】** 鉄筋コンクリートはりの曲げせん断実験を行い諸荷重等を計算値と比較する。
- 【事前・事後学習課題】** 教科書 p 70～p 72

**評価方法（基準）**  
実験教科であり、100%の出席を前提とする。レポート課題点（60%）および平常点（40%）の成績を総合し、到達目標の達成度に応じて可否を判定する。平常点は積極的に実験に参加し材料特性や構造性能を理解しようとする態度に基づいて評価する。

**教材等**  
教科書…「建築材料実験用教材」、日本建築学会、(1900円)  
参考書…特になし

**学生へのメッセージ**  
原則として実験資材は大学で用意するが、作業服・靴は用意しない。作業服・靴を購入する必要はないが、実験の内容により砂・セメント・油などで衣服が汚れる場合、足下が悪い場合がある。授業中は私語を慎み集中して授業内容の理解に努めること。

**関連科目**  
鉄筋コンクリート構造Ⅰ、Ⅱ  
鋼構造Ⅰ、Ⅱ

**担当者の研究室等**  
8号館3階 各教授室、准教授室  
【共同担当者】 上谷宏二・池内淳子

地盤工学 Geotechnical Engineering				
細野久幸 (ホソノ ヒサユキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択必修	2

**授業概要・目的・到達目標**  
【授業概要・目的】  
建物を地盤の上に安全に支持させるためには、その地盤特性を把握し、上部構造の力学的特性を踏まえて、建物を地盤に適合させていかなければならない。地盤特性を知るために、土の基礎的な力学的性状（土質力学）を理解し、それをもとに、建物の基礎の設計と施工（基礎工学）について応用していきける「地盤

工学」力を身につける。  
授業は地盤の成り立ち、建物と地盤の相性を考え、考えるために必要な基礎的な土質力学、基本的な建物基礎（直接基礎、杭基礎）の設計方法を学ぶ。ある地盤に建設する建物が問題となるのはどこか、考える演習を設計事例、現場事例を踏まえながら行なう。

**【到達目標】**  
基礎的な土質力学を理解し、建築基礎工学への応用方法についての基礎能力を取得する。  
学科の学習・教育目標との対応：「F」「K」

**授業方法と留意点**  
配布資料をもとにスライド（パワーポイント）を使用して授業を行う。毎回の授業後半に学んだことを実践する即日レポートを実施し、レポート提出を出席とする。

**科目学習の効果（資格）**  
基礎的な土質力学の理解、建物基礎の設計と施工である基礎工学に活用していきける基礎的な「地盤工学」力を身につける。構造設計者、現場技術者、一級建築士、技術士で必要とされる「地盤工学」の基礎能力を取得する。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回** **【授業テーマ】** 地盤工学ガイダンス 概論  
**【内容・方法 等】** ガイダンス 土質工学と基礎工学の概論  
地盤の成り立ちと、地盤上に建てることについての概論  
**【事前・事後学習課題】** 講義時に配布するテキストの演習を行ない、次講義に提出すること。
- 第2回** **【授業テーマ】** 地盤と建物の相性  
**【内容・方法 等】** 建物と地盤のマクロな挙動  
静的・動的の建物と地盤の相互作用  
**【事前・事後学習課題】** 前回の講義時に配布されるテキストを読んでおくこと。即日レポートで回答できなかったところは次回レポートを再提出すること。
- 第3回** **【授業テーマ】** 土の分類と粘土・砂の基本特性  
**【内容・方法 等】** 土の分類と基本量、試験方法、粘土と砂の基本特性  
**【事前・事後学習課題】** 前回の講義時に配布されるテキストを読んでおくこと。即日レポートで回答できなかったところは次回レポートを再提出すること。
- 第4回** **【授業テーマ】** 土と水、地表荷重と地中応力  
**【内容・方法 等】** 地下水と土、有効圧と中立圧、上載圧  
災害事例を踏まえた土と水の関係  
**【事前・事後学習課題】** 前回の講義時に配布されるテキストを読んでおくこと。即日レポートで回答できなかったところは次回レポートを再提出すること。
- 第5回** **【授業テーマ】** 地下水の水理学、土の透水性  
**【内容・方法 等】** 地中での水頭差、土の透水係数  
砂のポイリング、液状化現象  
**【事前・事後学習課題】** 前回の講義時に配布されるテキストを読んでおくこと。即日レポートで回答できなかったところは次回レポートを再提出すること。
- 第6回** **【授業テーマ】** 土の圧縮性と圧密  
**【内容・方法 等】** 土の圧縮性状、土内の水が排出される圧密理論、絞り出し破壊  
**【事前・事後学習課題】** 前回の講義時に配布されるテキストを読んでおくこと。即日レポートで回答できなかったところは次回レポートを再提出すること。
- 第7回** **【授業テーマ】** 土のせん断強さ  
**【内容・方法 等】** Coulombの式と土のせん断破壊  
**【事前・事後学習課題】** 前回の講義時に配布されるテキストを読んでおくこと。即日レポートで回答できなかったところは次回レポートを再提出すること。
- 第8回** **【授業テーマ】** 土圧  
**【内容・方法 等】** 建物に作用する受動土圧、主動土圧、静止土圧  
**【事前・事後学習課題】** 前回の講義時に配布されるテキストを読んでおくこと。即日レポートで回答できなかったところは次回レポートを再提出すること。
- 第9回** **【授業テーマ】** 地盤の調査と試験（1）静的  
**【内容・方法 等】** 標準貫入試験と土質柱状図、室内土質試験概要  
**【事前・事後学習課題】** 前回の講義時に配布されるテキストを読んでおくこと。即日レポートで回答できなかったところは次回レポートを再提出すること。
- 第10回** **【授業テーマ】** 地盤の調査と試験（2）動的  
**【内容・方法 等】** 孔内水平載荷試験、液状化算定、土の動的性質、表層地盤の増幅特性  
**【事前・事後学習課題】** 前回の講義時に配布されるテキストを読んでおくこと。即日レポートで回答できなかったところは次回レポートを再提出すること。
- 第11回** **【授業テーマ】** 直接基礎の設計（1）鉛直  
**【内容・方法 等】** 支持力、地盤の沈下と不同沈下  
**【事前・事後学習課題】** 前回の講義時に配布されるテキストを読んでおくこと。即日レポートで回答できなかったところは次回レポートを再提出すること。
- 第12回** **【授業テーマ】** 直接基礎の設計（2）鉛直・水平

【内容・方法等】地盤改良，地盤形状に応じた基礎検討，地震時の水平抵抗  
**【事前・事後学習課題】** 前回の講義時に配布されるテキストを読んでおくこと。即日レポートで回答できなかったところは次回レポートを再提出すること。  
**第13回 【授業テーマ】** 杭基礎の設計（1）鉛直  
**【内容・方法等】** 杭の種類と工法概要  
 杭の支持力（先端支持力，摩擦力）  
**【事前・事後学習課題】** 前回の講義時に配布されるテキストを読んでおくこと。即日レポートで回答できなかったところは次回レポートを再提出すること。  
**第14回 【授業テーマ】** 杭基礎の設計（2）水平  
**【内容・方法等】** 杭の水平抵抗，引抜き抵抗  
 支持杭，摩擦杭，パイルドラフトなどの特徴  
**【事前・事後学習課題】** 前回の講義時に配布されるテキストを読んでおくこと。即日レポートで回答できなかったところは次回レポートを再提出すること。  
**第15回 【授業テーマ】** 擁壁と山留め壁の設計  
**【内容・方法等】** 擁壁の種類と検討事項  
 山留め壁の種類と検討事項  
**【事前・事後学習課題】** 前回の講義時に配布されるテキストを読んでおくこと。即日レポートで回答できなかったところは次回レポートを再提出すること。

**評価方法（基準）**

平常点（即日レポート）：40％  
 期末試験：60％

**教材等**

**教科書**…毎回の配布資料をテキストとして利用する。  
**参考書**…1)山肩邦男，永井興史郎，富永見司，伊藤淳志 著 「新版建築基礎工学」(朝倉書店)(3,800円)  
 2)藤井衛，若命善雄，真島正人，河村壮一 著 「建築家のための土質と基礎新ザ・ソイル」(建築技術)(2,400円)

**学生へのメッセージ**

斜面に建つ建物，海を埋め立てたところに建つ建物，どのようにして建っているのだろう。傾けた板の上に箱を置く，ゼリーの上に箱を置くとき，どうすればその位置に止められるだろうか。地震国である我が国では避けて通ることのできない地震による建物被害，最近では地盤の特性が大きく影響していることが分かっている。固い物の上に箱，柔らかい物の上に箱を置き，下から揺らしてみようだろうか。  
 身近な物に置き換えて動きを考え，それは簡単な力学式で表わすことができることを知り，実際の建物がどのようにして建っているか，今後，設計，施工を行なう上でどんなことを考える必要があるのか，まずは地盤工学の基礎，そして基礎の応用の仕方について習得してほしい。

**関連科目**

構造力学，鋼構造，鉄筋コンクリート構造，建築施工，耐震工学

**担当者の研究室等**

建築学科共通準備室

地盤工学 Geotechnical Engineering I				
細野久幸 (ホソノ ヒサユキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択必修	2

**授業概要・目的・到達目標**

**【授業概要・目的】**  
 建物を地盤の上に安全に支持させるためには，その地盤特性を把握し，上部構造の力学的特性を踏まえて，建物を地盤に適合させていかなければならない。地盤特性を知るために，土の基礎的な力学性状（土質力学）を理解し，それをもとに，建物の基礎の設計と施工（基礎工学）について応用していきける「地盤工学」力を身につける。  
 授業は地盤の成り立ち，建物と地盤の相性を考え，考えるために必要な基礎的な土質力学，基本的な建物基礎（直接基礎，杭基礎）の設計方法を学ぶ。ある地盤に建設する建物が問題となるのはどこか，考える演習を設計事例，現場事例を踏まえながら行なう。

**【到達目標】**

基礎的な土質力学を理解し，建築基礎工学への応用方法についての基礎能力を取得する。

学科の学習・教育目標との対応：「F」「K」

**授業方法と留意点**

配布資料をもとにスライド（パワーポイント）を使用して授業を行う。毎回の授業後半に学んだことを実践する即日レポートを実施し，レポート提出を出席とする。

**科目学習の効果（資格）**

基礎的な土質力学の理解，建物基礎の設計と施工である基礎工学に活用していきける基礎的な「地盤工学」力を身につける。構造設計者，現場技術者，一級建築士，技術士で必要とされる「地盤工学」の基礎能力を取得する。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】** 地盤工学ガイダンス 概論  
**【内容・方法等】** ガイダンス 土質工学と基礎工学の概論  
 地盤の成り立ちと，地盤上に建てることについての概論  
**【事前・事後学習課題】** 講義時に配布するテキストの演習を行ない，次講義に提出すること。  
**第2回 【授業テーマ】** 地盤と建物の相性  
**【内容・方法等】** 建物と地盤のマクロな挙動  
 静的・動的の建物と地盤の相互作用  
**【事前・事後学習課題】** 前回の講義時に配布されるテキストを読んでおくこと。即日レポートで回答できなかったところは次回レポートを再提出すること。  
**第3回 【授業テーマ】** 土の分類と粘土・砂の基本特性  
**【内容・方法等】** 土の分類と基本量，試験方法，粘土と砂の基本特性  
**【事前・事後学習課題】** 前回の講義時に配布されるテキストを読んでおくこと。即日レポートで回答できなかったところは次回レポートを再提出すること。  
**第4回 【授業テーマ】** 土と水，地表荷重と地中応力  
**【内容・方法等】** 地下水と土，有効圧と中立圧，上載圧  
 災害事例を踏まえた土と水の関係  
**【事前・事後学習課題】** 前回の講義時に配布されるテキストを読んでおくこと。即日レポートで回答できなかったところは次回レポートを再提出すること。  
**第5回 【授業テーマ】** 地下水の水理学，土の透水性  
**【内容・方法等】** 地中での水頭差，土の透水係数  
 砂のボーリング，液状化現象  
**【事前・事後学習課題】** 前回の講義時に配布されるテキストを読んでおくこと。即日レポートで回答できなかったところは次回レポートを再提出すること。  
**第6回 【授業テーマ】** 土の圧縮性と圧密  
**【内容・方法等】** 土の圧縮性状，土内の水が排出される圧密理論，絞り出し破壊  
**【事前・事後学習課題】** 前回の講義時に配布されるテキストを読んでおくこと。即日レポートで回答できなかったところは次回レポートを再提出すること。  
**第7回 【授業テーマ】** 土のせん断強さ  
**【内容・方法等】** Coulombの式と土のせん断破壊  
**【事前・事後学習課題】** 前回の講義時に配布されるテキストを読んでおくこと。即日レポートで回答できなかったところは次回レポートを再提出すること。  
**第8回 【授業テーマ】** 土圧  
**【内容・方法等】** 建物に作用する受動土圧，主動土圧，静止土圧  
**【事前・事後学習課題】** 前回の講義時に配布されるテキストを読んでおくこと。即日レポートで回答できなかったところは次回レポートを再提出すること。  
**第9回 【授業テーマ】** 地盤の調査と試験（1）静的  
**【内容・方法等】** 標準貫入試験と土質柱状図，室内土質試験概要  
**【事前・事後学習課題】** 前回の講義時に配布されるテキストを読んでおくこと。即日レポートで回答できなかったところは次回レポートを再提出すること。  
**第10回 【授業テーマ】** 地盤の調査と試験（2）動的  
**【内容・方法等】** 孔内水平載荷試験，液状化算定，土の動的性質，表層地盤の増幅特性  
**【事前・事後学習課題】** 前回の講義時に配布されるテキストを読んでおくこと。即日レポートで回答できなかったところは次回レポートを再提出すること。  
**第11回 【授業テーマ】** 直接基礎の設計（1）鉛直  
**【内容・方法等】** 支持力，地盤の沈下と不同沈下  
**【事前・事後学習課題】** 前回の講義時に配布されるテキストを読んでおくこと。即日レポートで回答できなかったところは次回レポートを再提出すること。  
**第12回 【授業テーマ】** 直接基礎の設計（2）鉛直・水平  
**【内容・方法等】** 地盤改良，地盤形状に応じた基礎検討，地震時の水平抵抗  
**【事前・事後学習課題】** 前回の講義時に配布されるテキストを読んでおくこと。即日レポートで回答できなかったところは次回レポートを再提出すること。  
**第13回 【授業テーマ】** 杭基礎の設計（1）鉛直  
**【内容・方法等】** 杭の種類と工法概要  
 杭の支持力（先端支持力，摩擦力）  
**【事前・事後学習課題】** 前回の講義時に配布されるテキストを読んでおくこと。即日レポートで回答できなかったところは次回レポートを再提出すること。  
**第14回 【授業テーマ】** 杭基礎の設計（2）水平  
**【内容・方法等】** 杭の水平抵抗，引抜き抵抗  
 支持杭，摩擦杭，パイルドラフトなどの特徴  
**【事前・事後学習課題】** 前回の講義時に配布されるテキストを



読んでおくこと。即日レポートで回答できなかったところは次回レポートを再提出すること。  
**第15回** 【授業テーマ】 擁壁と山留め壁の設計  
 【内容・方法等】 擁壁の種類と検討事項  
 山留め壁の種類と検討事項  
 【事前・事後学習課題】 前回の講義時に配布されるテキストを読んでおくこと。即日レポートで回答できなかったところは次回レポートを再提出すること。

**評価方法 (基準)**  
 平常点 (即日レポート) : 40%  
 期末試験 : 60%

**教材等**  
**教科書**…毎回の配布資料をテキストとして利用する。  
**参考書**…1)山肩邦男, 永井興太郎, 富永晃司, 伊藤淳志 著 「新版建築基礎工学」(朝倉書店)(3,800円)  
 2)藤井衛, 若命善雄, 真島正人, 河村壮一 著 「建築家のための土質と基礎新ザ・ソイル」(建築技術)(2,400円)

**学生へのメッセージ**  
 斜面に建つ建物, 海を埋め立てたところに建つ建物, どのようにして建っているのだろうか。傾けた板の上に箱を置く, ゼリーの上に箱を置くとき, どうすればその位置に止められるだろうか。地震国である我が国では避けて通ることのできない地震による建物被害, 最近では地盤の特性が大きく影響していることが分かってきている。固い物の上に箱, 柔らかい物の上に箱を置き, 下から揺らしてみるとどうなるだろうか。身近な物に置き換えて動きを考え, それは簡単な力学式で表わすことができることを知り, 実際の建物がどのようにして建っているか, 今後, 設計, 施工を行なう上でどんなことを考える必要があるのか, まずは地盤工学の基礎, そして基礎の応用の仕方について習得してほしい。

**関連科目**  
 構造力学, 鋼構造, 鉄筋コンクリート構造, 建築施工, 耐震工学

**担当者の研究室等**  
 建築学科共通準備室

地盤工学II Geotechnical Engineering II				
柳 沢 学 (ヤナギサワ マナブ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		前期	選択必修	2

**授業概要・目的・到達目標**  
 [授業概要・目的]建物の基礎計画を立てるためには, 建設地の地盤をよく知る必要がある。地盤の知識を幅広くもち, また地盤調査結果から適切な基礎計画を立案しなければならない。まず, 地盤と基礎設計について概要を実例をあげて解説する。次に建物と地形ごとの地盤調査について解説する。地盤と建物との関係から, 支持力, 圧密沈下, 液状化を考慮した設計が必要となる。これらを踏まえて, 直接基礎, 杭基礎, 擁壁等の設計, 地下の構造設計と施工計画について述べる。 [到達目標]地盤一般と大阪地盤の知識の習得, 圧密, 液状化の実例と対策を学び, 各種の基礎工法の設計と施工の基本的知識の習得  
 学科の学習・教育目標との対応: (F),(K)

**授業方法と留意点**  
 毎回, 配布資料がある。スライド (パワーポイント) で説明する。実際の設計例と現場実例を紹介しながら講義を進める。毎回, 即日レポートがある。これが出欠となる。

**科目学習の効果 (資格)**  
 将来, 建築設計, 現場技術者, 建築関係の仕事の技術者, 一級建築士, 技術士等を目指す。

**毎回の授業テーマ, 内容・方法等, 事前・事後学習課題**  
**第1回** 【授業テーマ】 地盤と建築基礎の概論  
 【内容・方法等】 ガイダンス, 地盤の成り立ち, 地盤と基礎構造について実施例, 失敗例, 成功例をとりあげ, 基礎設計, 地盤工学の重要性を解説する。  
 【事前・事後学習課題】 配布資料の整理  
**第2回** 【授業テーマ】 地盤と基礎計画  
 建物と地盤調査 (1)  
 地盤調査の要点  
 【内容・方法等】 基礎の設計は, 地盤によって異なる。地形は特に都市部のように自然地形が変容したところでは分かりにくくなっている。大阪の地盤, 地盤調査の要点についても解説する。  
 【事前・事後学習課題】 キーワードの予習復習, 配布資料の整理  
**第3回** 【授業テーマ】 建物と地盤調査 (2)  
 液状化と建物の設計  
 【内容・方法等】 液状化と基礎構造, 液状化の実例と対策に

ついて実例をあげて解説。また, 液状化に対する地盤調査について解説する。

**【事前・事後学習課題】** キーワードの予習復習, 配布資料の整理  
**第4回** 【授業テーマ】 建物と地盤調査 (3)  
 圧密沈下と建物の設計  
 【内容・方法等】 圧密沈下の実例と対策について実例をあげて解説。また, 圧密沈下に対する地盤調査について解説する。  
 【事前・事後学習課題】 キーワードの予習復習, 配布資料の整理  
**第5回** 【授業テーマ】 直接基礎の設計 (1)  
 【内容・方法等】 直接基礎の設計, 演習  
 【事前・事後学習課題】 キーワードの予習復習, 配布資料の整理  
**第6回** 【授業テーマ】 直接基礎の設計 (2)  
 【内容・方法等】 布基礎, ベタ基礎の設計, 演習  
 【事前・事後学習課題】 キーワードの予習復習, 配布資料の整理, 演習の点検  
**第7回** 【授業テーマ】 復習と演習  
 【内容・方法等】 第1回~第5回の復習, 演習  
 【事前・事後学習課題】 キーワードの予習復習, 配布資料の整理, 演習の点検  
**第8回** 【授業テーマ】 中間試験  
 【内容・方法等】 中間試験  
 【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_  
**第9回** 【授業テーマ】 杭基礎の設計 (1)  
 杭工法の概要  
 【内容・方法等】 杭の種類と各種杭工法について, 施工法概要と設計。  
 【事前・事後学習課題】 キーワードの予習復習, 配布資料の整理  
**第10回** 【授業テーマ】 杭基礎の設計 (2)  
 鉛直支持力  
 【内容・方法等】 杭基礎の鉛直支持力と設計  
 【事前・事後学習課題】 キーワードの予習復習, 配布資料の整理  
**第11回** 【授業テーマ】 杭基礎の設計 (3)  
 圧密沈下とネガティブフリクション  
 【内容・方法等】 圧密沈下とネガティブフリクションと杭の設計  
 【事前・事後学習課題】 キーワードの予習復習, 配布資料の整理  
**第12回** 【授業テーマ】 杭基礎の設計 (4)  
 地震時の杭の水平抵抗と引き抜き抵抗  
 【内容・方法等】 杭基礎の地震力に対する設計  
 【事前・事後学習課題】 キーワードの予習復習, 配布資料の整理  
**第13回** 【授業テーマ】 復習と演習  
 【内容・方法等】 いままでの復習と演習  
 【事前・事後学習課題】 キーワードの予習復習, 配布資料の整理, 演習の点検  
**第14回** 【授業テーマ】 擁壁の設計, 基礎の掘削工法, 山留め工法  
 【内容・方法等】 擁壁の設計, 現場での基礎の掘削工法, 山留め工法について解説する。  
 【事前・事後学習課題】 キーワードの予習復習, 配布資料の整理  
**第15回** 【授業テーマ】 総括  
 【内容・方法等】 総括  
 【事前・事後学習課題】 キーワードの予習復習, 配布資料の整理  
**評価方法 (基準)**  
 平常点 (授業に対する姿勢, 即日レポート) : 50%  
 中間試験 : 20%  
 期末試験 : 30%

**教材等**  
**教科書**…毎回の配布資料 (ファイルしておくこと)  
**参考書**…近畿高校土木会編 「土質力学」(オーム社)(1900円)  
 山肩・永井・富永・伊藤著「新版・建築基礎工学」(朝倉書店)(3800円)  
 「基礎と地盤の手ほどき」 建築技術選書17 中堀和英 日本建築協会  
**学生へのメッセージ**  
 将来, 建築設計, 現場技術者, 建築関係の仕事に従事する学生諸君は, この講義から, 基礎, 地盤工学の基礎を学び, 見識を広めること。  
**関連科目**  
 構造力学 I a, I b, 地盤工学 I  
**担当者の研究室等**  
 8号館3階 柳沢教授室

構造力学III  
Structural Mechanics III

上 谷 宏 二 (ウエタニ コウジ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		前期	選択必修	2

授業概要・目的・到達目標

【授業概要】建築構造物の耐震安全性は、構成部材の強さ（耐力）のバランスのとれた配置に左右される。部材や構造物の耐力を支配するのは全塑性耐力と座屈耐力である。本講義では、これらの耐力を算出するための基礎的考え方と方法について学ぶ。

【到達目標】以下の項目について理解し、具体的な計算能力を身につける。

(1) 梁や柱の弾塑性曲げモーメント-曲率関係と全塑性モーメント (2) 塑性極限解析の上・下界の定理 (3) 簡単なトラスやラーメンの塑性崩壊荷重の計算法 (4) 中心圧縮柱の曲げ座屈、梁の横座屈などの、簡単な骨組の座屈  
学科の学習・教育目標との対応：[K]

授業方法と留意点

指定教科書「建築鋼構造-その理論と設計-」と配布資料を用い、講義形式で授業を進める。適宜、演習問題を課す。

科目学習の効果（資格）

構造設計者・施工管理技術者を旨とするものにとって必須の教科である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション  
【内容・方法 等】 この授業内容の位置付け、概説、授業の進め方  
【事前・事後学習課題】 第2部 2.1.1
- 第2回 【授業テーマ】 トラスの塑性崩壊  
【内容・方法 等】 単純なトラスの強さと変形  
【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第3回 【授業テーマ】 断面の全塑性モーメント(1)  
【内容・方法 等】 長方形断面、T形断面  
【事前・事後学習課題】 第2部 2.2
- 第4回 【授業テーマ】 断面の全塑性モーメント(2)  
【内容・方法 等】 H型断面、箱形断面  
【事前・事後学習課題】 第2部 2.2
- 第5回 【授業テーマ】 断面の全塑性モーメント(3)  
【内容・方法 等】 軸力の影響  
【事前・事後学習課題】 第2部 2.3
- 第6回 【授業テーマ】 中間試験 (1)  
【内容・方法 等】 (範囲) トラスの塑性崩壊、断面の全塑性モーメント  
【事前・事後学習課題】 ここまでの範囲について、演習課題を含めて良く復習すること
- 第7回 【授業テーマ】 梁の塑性崩壊 (1)  
【内容・方法 等】 静定梁の塑性崩壊； 単純梁、片持梁  
【事前・事後学習課題】 第2部 3.1
- 第8回 【授業テーマ】 梁の塑性崩壊 (2)  
【内容・方法 等】 不静定梁の塑性崩壊； 下界定理による方法  
【事前・事後学習課題】 第2部 3.2-3.3
- 第9回 【授業テーマ】 梁の塑性崩壊 (3)  
【内容・方法 等】 不静定梁の塑性崩壊； 上界定理による方法  
【事前・事後学習課題】 第2部 3.2-3.3
- 第10回 【授業テーマ】 骨組の塑性崩壊 (1)  
【内容・方法 等】 1層1スパンの塑性崩壊  
【事前・事後学習課題】 第2部 3.4, 5.1-5.3
- 第11回 【授業テーマ】 骨組の塑性崩壊 (2)  
【内容・方法 等】 2層1スパンの塑性崩壊  
【事前・事後学習課題】 第2部 5.1-5.3
- 第12回 【授業テーマ】 中間試験 (2)  
【内容・方法 等】 (範囲) 梁の塑性崩壊、骨組の塑性崩壊  
【事前・事後学習課題】 ここまでの範囲について、演習課題を含めて良く復習すること
- 第13回 【授業テーマ】 部材の座屈 (1)  
【内容・方法 等】 座屈概説、オイラー座屈  
【事前・事後学習課題】 第3部 2.1
- 第14回 【授業テーマ】 部材の座屈 (2)  
【内容・方法 等】 境界条件の違い、座屈長さ、横座屈、局部座屈、骨組座屈  
【事前・事後学習課題】 第3部 2.2, 3.2-3.3, 5.3
- 第15回 【授業テーマ】 復習課題  
【内容・方法 等】 授業範囲全般  
【事前・事後学習課題】 これまでの授業範囲全般を通して、理解が不十分と思うところを、もう一度復習しておくこと。
- 評価方法（基準）  
2回の中試験成績（60%）および期末試験成績（40%）の総計で評価する。
- 教材等

教科書…「建築鋼構造-その理論と設計-」

著者：井上一朗、吹田啓一郎

出版社：鹿島出版会

参考書…教科書・建築構造力学 図説・演習 I, II

編著：中村恒善

出版：丸善株式会社

学生へのメッセージ

必ずしも簡単な内容ではありませんが、授業に毎回出席し、講義にしっかりと耳を傾け、演習課題を納得がいくまで繰り返し反芻すれば、将来役立つ知識や能力を必ず身につけることができます。

関連科目

構造力学 I a, I b 構造力学 II の授業内容をよく理解していること。

担当者の研究室等

8号館3階 上谷教授室

備考

特になし

耐震工学

Earthquake Engineering

足 立 博 之 (アダチ ヒロユキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		前期	選択必修	2

授業概要・目的・到達目標

[授業の目的] 地震国であるわが国では、特に1995年の阪神大震災、2011年の東日本大震災以降、地震に対する社会的関心が増加している。授業では地震時における建物の基礎的な動的挙動を把握し、安全確保に必要な耐震設計手法の概要を学習する。また将来、更に技術を発展・展開させるために基礎となるフーリエ解析などの概要も併せて学習する。 [到達目標] 地震に関する基礎知識、建築構造物の地震時挙動および耐震設計の概要把握  
学科の学習・教育目標との対応：[K]

授業方法と留意点

プリントを主に、教科書と併用して行う。毎回出す宿題では復習に重点をおき、テキスト例題のトレース（自分で理解度を確認しながら作成する）と授業の理解を助けるための課題を行いながら、重要な部分は授業にて補足説明をする。

科目学習の効果（資格）

地震時の建物の挙動を理解することにより、地震に対する建築物の安全性確保の考え方や設計法を理解できる。建築士資格試験での構造分野の一部である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 地震・耐震工学の概要  
【内容・方法 等】 地震の発生・伝搬や過去の地震、現在の耐震工学の概要  
【事前・事後学習課題】 基礎数学の復習（三角関数・複素数・行列など）
- 第2回 【授業テーマ】 1自由度系の振動  
【内容・方法 等】 運動方程式の作成、減衰・非減衰自由振動  
【事前・事後学習課題】 テキスト例題のトレース
- 第3回 【授業テーマ】 1自由度系の振動  
【内容・方法 等】 非減衰自由振動・減衰自由振動  
【事前・事後学習課題】 テキスト例題のトレース
- 第4回 【授業テーマ】 1自由度系の振動  
【内容・方法 等】 調和外力応答・調和地動応答  
【事前・事後学習課題】 課題（演習問題ほか）
- 第5回 【授業テーマ】 1自由度系の振動  
【内容・方法 等】 種々の過渡応答（パルス・任意外乱応答）・応答スペクトル  
【事前・事後学習課題】 課題（演習問題ほか）
- 第6回 【授業テーマ】 1自由度系の振動  
【内容・方法 等】 振動とエネルギー  
【事前・事後学習課題】 テキスト例題のトレース
- 第7回 【授業テーマ】 多自由度系の振動  
【内容・方法 等】 多自由度系の振動方程式・固有振動の性質  
【事前・事後学習課題】 テキスト例題のトレース
- 第8回 【授業テーマ】 多自由度系の振動  
【内容・方法 等】 非減衰系・減衰系の自由振動  
【事前・事後学習課題】 テキスト例題のトレース
- 第9回 【授業テーマ】 多自由度系の振動  
【内容・方法 等】 減衰系の強制振動  
【事前・事後学習課題】 テキスト例題のトレース
- 第10回 【授業テーマ】 多自由度系の振動  
【内容・方法 等】 多自由度系の例題を通しての確認  
【事前・事後学習課題】 課題（演習問題ほか）
- 第11回 【授業テーマ】 計算手法（数値計算）  
【内容・方法 等】 モーダルアナリシスと時刻歴応答解析（数値計算）  
【事前・事後学習課題】 テキスト例題のトレース



第12回 【授業テーマ】 フーリエ解析  
 【内容・方法 等】 地震波形とフーリエ解析の概要  
 【事前・事後学習課題】 テキスト例題のトレース

第13回 【授業テーマ】 統計と確率  
 【内容・方法 等】 地震発生確率についての概要  
 【事前・事後学習課題】 課題（演習問題ほか）

第14回 【授業テーマ】 地盤振動  
 【内容・方法 等】 地震時の地盤挙動  
 【事前・事後学習課題】 課題（演習問題ほか）

第15回 【授業テーマ】 耐震設計法とまとめ  
 【内容・方法 等】 耐震設計の現状と今後の課題  
 【事前・事後学習課題】 課題（レポートほか）

評価方法（基準）  
 期末試験の結果（65%）の他に、宿題の課題やレポート（35%）によって、到達目標の理解度を総合的に判断し可否を判定する。

教材等  
 教科書…柴田明徳著：最新耐震構造解析、森北出版（¥3,885 - H26.1月現在）  
 参考書…特になし

学生へのメッセージ  
 地震と建物の挙動を、物理・数学を通して工学的に理解し、耐震工学の基礎知識を身につけて、将来、設計や研究に役立てるとともに、さらに、制振・免震などの分野へも発展させる動機となることを願っている。同時に、地震に対して人命・財産を守るという社会的使命の理解にも役立てていただきたい。

関連科目  
 構造力学、鋼構造、鉄筋コンクリート構造等の構造系科目および基礎数学

担当者の研究室等  
 7号館2階 非常勤講師室

卒業研究 Graduation Thesis				
上 谷 宏 二 (ウエタニ コウジ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	6

**授業概要・目的・到達目標**  
 建築学は、計画・環境・構造系等の分野からなり、専任教員の専攻も多岐にわたる。摂南大学工学部建築学科で学んできた学習内容を活用し、各々が取り組む課題・テーマを基に研究を行う。到達目標は、各専門分野の基礎知識の習得と課題解決能力の向上である。  
 学習教育目標との対応：[D][E][I]

**授業方法と留意点**  
 専任教員の指導の下、ゼミ方式および個別指導方式とし、中間発表会および卒業論文発表会を実施する。自分のテーマに対し積極的に取り組み、他人のテーマにも関心を持つことで、分析能力や考察能力を向上することが重要である。

**授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題**  
 【研究テーマ】  
 構造最適設計法に、生産・施工に関する条件を取り入れるための基礎研究  
 【内容】  
 建設に際し生産・施工の現場での作業が円滑に行えなければ、健全な建物を建てることができない。今まで開発してきた構造最適設計法は強力な手段であるが、この点に関して未だ不十分である。この研究では、作業性、施工性に関する条件を調査・分析し、それを最適設計法に取り入れる方法について研究する。  
 【研究テーマ】  
 1000mタワーの設計に関する研究  
 【内容】  
 ■最適ラチス部材の設計。  
 ■様々な部材の組み方について最適設計の観点から有利な組み方を考究する。  
 ■形状と鋼材量の関係について最適設計の観点から研究する  
 【研究テーマ】  
 施工性を考慮した重層構造骨組の最適設計に関する研究  
 【内容】  
 ■鉄骨構造物の接合部施工性  
 ■RC構造物の鉄筋の納まりについて（接合部の納まり、付着・定着）  
 ■部材断面のグルーピングについて

**評価方法・評価基準**  
 卒業論文および卒業設計の完成度、梗概の完成度、中間発表会および最終発表会に対する評価点を基に総合的に判断する。60点を合格とする。

**教材等**  
 教科書…別途、提示する。  
 参考書…別途、提示する。

**備考**  
 【前もって履修しておくことが望ましい科目】  
 構造系の科目をしっかり習得していることが望ましい。研究テーマによっては計画系、生産系の基礎知識が求められる場合がある。その他、コンピュータを使いこなす能力が特に求められる。

卒業研究 Graduation Thesis				
佐 野 潤 一 (サノ ジュンイチ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	6

**授業概要・目的・到達目標**  
 建築学は、計画・環境・構造系等の分野からなり、専任教員の専攻も多岐にわたる。摂南大学工学部建築学科で学んできた学習内容を活用し、各々が取り組む課題・テーマを基に研究を行う。到達目標は、各専門分野の基礎知識の習得と課題解決能力の向上である。  
 学習教育目標との対応：[D][E][I]

**授業方法と留意点**  
 専任教員の指導の下、ゼミ方式および個別指導方式とし、中間発表会および卒業論文発表会を実施する。自分のテーマに対し積極的に取り組み、他人のテーマにも関心を持つことで、分析能力や考察能力を向上することが重要である。

**授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題**  
 【研究テーマ】  
 建築計画に関する研究  
 【内容】  
 ・現代の建築・都市デザインに関する文献(特にサステナブル建築に関する書籍等)の学習  
 ・現代の建築・都市デザインの諸問題を探求、各自テーマを決定する。資料や実例、関連文献を研究の上、課題などを設定。独創的な解決策を考案し表現方法を学習、図面や模型などを作成し、プレゼンテーションする  
 【事前事後学習課題】  
 各自のテーマ・取り組み方法にあわせた課題を提示する。

**評価方法・評価基準**  
 卒業論文および卒業設計の完成度、梗概の完成度、中間発表会、および最終発表会に対する主査・副査の評価点を基に総合的に判断する。60点を合格とする。

**教材等**  
 教科書…別途、提示する。  
 参考書…別途、提示する。

**備考**  
 【前もって履修しておくことが望ましい科目】  
 造形演習・計画関連科目・建築史・設計演習科目など

卒業研究 Graduation Thesis				
宮 本 征 一 (ミヤモト セイイチ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	6

**授業概要・目的・到達目標**  
 建築学は、計画・環境・構造系等の分野からなり、専任教員の専攻も多岐にわたる。摂南大学工学部建築学科で学んできた学習内容を活用し、各々が取り組む課題・テーマを基に研究を行う。到達目標は、各専門分野の基礎知識の習得と課題解決能力の向上である。  
 学習教育目標との対応：[D][E][I]

**授業方法と留意点**  
 専任教員の指導の下、ゼミ方式および個別指導方式とし、中間発表会および卒業論文発表会を実施する。自分のテーマに対し積極的に取り組み、他人のテーマにも関心を持つことで、分析能力や考察能力を向上することが重要である。

**授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題**  
 【研究テーマ】  
 気流を用いた暑熱環境の緩和に関する研究  
 接触部の温冷感が温熱的快適性に及ぼす影響に関する研究  
 人体各部位における温冷感覚の感度に関する研究  
 不均一・非定常な温熱環境下における温熱的快適感の認知モデルに関する研究  
 【内容】  
 被験者実験などを行い、それぞれの温熱環境下における生理・心理反応を測定する。得られた生理・心理データを伝熱学、生理学、心理学など幅広い知識を用いて分析し、快適な温熱環境

を提案する。

【方法】

生理・心理データの取得するための被験者  
伝熱学、生理学、心理学の基礎知識を修得するゼミ  
既往の研究のレビューおよび統計学などを用いた分析

【事前事後学習課題】

ゼミの予習・復習を行い、ゼミ発表資料を作成すること

評価方法・評価基準

卒業論文および卒業設計の完成度、梗概の完成度、中間発表会  
および最終発表会に対する評価点を基に総合的に判断する。60  
点を合格とする。

教材等

教科書…別途、提示する。  
参考書…別途、提示する。

備考

【前もって履修しておくことが望ましい科目】  
建築環境工学

卒業研究

Graduation Thesis

加 嶋 章 博 (カシマ アキヒロ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	6

授業概要・目的・到達目標

建築学は、計画・環境系、構造・生産系等の分野からなり、専  
任教員の専攻も多岐にわたる。摂南大学工学部建築学科で学ん  
できた学習内容を活用し、各々が取り組む課題・テーマを基に  
研究を行う。到達目標は、各専門分野の基礎知識の習得と課題  
解決能力の向上である。

学習教育目標との対応：[D][E][I]

授業方法と留意点

専任教員の指導の下、ゼミ方式および個別指導方式とし、中間  
発表会および卒業論文発表会を実施する。自分のテーマに対し  
積極的に取り組み、他人のテーマにも関心を持つことで、分析  
能力や考察能力を向上することが重要である。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

【研究フィールド1】都市共生計画に関して

「都市計画遺産」「地域資源」という視点から都市の特性を分  
析します。都市計画遺産・都市計画史・建築遺産・地域資源に  
関する調査研究およびプロジェクト提案。

【研究フィールド2】都市の歴史に関して

都市史、都市形成史、都市社会史、都市拡張、宅地開発、イン  
フラ整備、観光資源、地域資源等に着目ながら、都市の歴史  
の変遷について研究します。

【研究フィールド3】建築の歴史とデザインに関して

建築・都市に関する歴史的事例や現存する作品の特徴分析を  
通して諸問題を考察します。空間造形に対する各自のまなざし  
を整理・表現する訓練を経て、社会との結びつきを考えながら、  
地域や利用者にとっての新たな場の提案を探ります。課題解決  
策と表現方法を考察し、図面や模型等によるプレゼンテーショ  
ンを行います。

評価方法・評価基準

卒業論文および卒業設計の完成度、梗概の完成度、中間発表会  
および最終発表会に対する評価点を基に総合的に判断する。60  
点を合格とする。

教材等

教科書…課題に応じて、別途、提示する。  
参考書…課題に応じて、別途、提示する。

備考

【前もって履修しておくことが望ましい科目】  
専門科目全般・外国語

卒業研究

Graduation Thesis

大 谷 由 紀 子 (オオタニ ユキコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	6

授業概要・目的・到達目標

建築学は、計画・環境・構造系等の分野からなり、専任教員の  
専攻も多岐にわたる。摂南大学工学部建築学科で学んできた学  
習内容を活用し、各々が取り組む課題・テーマを基に研究を行う。  
到達目標は、各専門分野の基礎知識の習得と課題解決能力の向  
上である。

学習教育目標との対応：[D][E][I]

授業方法と留意点

専任教員の指導の下、ゼミ方式および個別指導方式とし、中間  
発表会および卒業論文発表会を実施する。自分のテーマに対し  
積極的に取り組み、他人のテーマにも関心を持つことで、分析  
能力や考察能力を向上することが重要である。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

【研究テーマ】

人々の生活と空間との関係性について研究

【内容】

都市における人々の生活と諸問題について、空間計画の視点から  
問題を提起し、安心して暮らせる生活圏のあり方を検討する。  
具体的には下記のキーワードを中心に、先進的事例や実践事例  
を取り上げ調査・分析を行うことで諸問題に対する改善策を考  
察する。

- 1.都心居住
- 2.住環境計画
- 3.ライフスタイル
- 4.まちづくり

評価方法・評価基準

卒業論文および卒業設計の完成度、梗概の完成度、中間発表会  
および最終発表会に対する評価点を基に総合的に判断する。60  
点を合格とする。

教材等

教科書…別途、提示する。  
参考書…別途、提示する。

備考

【前もって履修しておくことが望ましい科目】  
専門科目全般、教養科目、特に人文・社会関連科目



## 基礎数学演習

Basic Mathematics Tutorials

小林 俊 公 (コバヤシ トシマサ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	ハ	前期(30回)	選択	2

### 授業概要・目的・到達目標

この講義は微積分学への準備となるように意図されている。微積分の講義では説明が省略されるか簡単に済まされるものに対して詳しい説明と演習を行う。微積分学は瞬間の変化を記述し、微小なものを足し合わせる方法を教えている。その動機付けとなるような問題も扱いたいと思っている。そのため物理からの簡単な応用問題も取り上げたいと思っている。主な目標は(1)種々の量を文字式で表現できる。(2)初等関数の性質を利用した計算ができる。(3)平行移動、対称移動を利用して関数のグラフが描ける。

学科の学習・教育目標との対応：[C]

### 授業方法と留意点

教科書に基づく講義と演習を中心に進める。これと並行して、各単元の内容の演習を演習教材(ワークブック)を用いて次のサイクルで実施する：

(1) 授業で指定された演習問題に解答し、(2) 教員の評価を受けること。正解するまでやり直し、(3) その単元の全問題に正答した時点で、教員から検印を貰う。

### 科目学習の効果(資格)

微積分、線形代数のための基礎を身につけて、専門科目で用いられる数式理解に役立てる。

### 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 整数・有理数・無理数  
【内容・方法等】 ・オリエンテーション  
・整数・有理数・無理数の諸性質  
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第1.1~1.4章 レポート課題
- 第2回 【授業テーマ】 複素数・無理数  
【内容・方法等】 ・複素数の四則演算  
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第1.5~1.6章 レポート課題
- 第3回 【授業テーマ】 複素平面と極形式  
【内容・方法等】 ・複素数の極形式表示  
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第1.7章 レポート課題
- 第4回 【授業テーマ】 文字式  
【内容・方法等】 ・文字式の展開・因数分解  
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第2.1~2.3章 レポート課題
- 第5回 【授業テーマ】 2次方程式  
【内容・方法等】 ・解の公式等による2次方程式の解法  
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第2.4章 レポート課題
- 第6回 【授業テーマ】 高次方程式  
【内容・方法等】 ・因数定理を用いた高次方程式の解法  
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第2.4章 レポート課題
- 第7回 【授業テーマ】 1次関数(1)  
【内容・方法等】 ・直線の式、直交条件  
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第3.1章 レポート課題
- 第8回 【授業テーマ】 1次関数(2)  
【内容・方法等】 ・1次関数の応用  
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第3.1章 レポート課題
- 第9回 【授業テーマ】 2次関数  
【内容・方法等】 ・グラフ  
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第3.2章 レポート課題
- 第10回 【授業テーマ】 無理関数  
【内容・方法等】 ・グラフ  
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第3.2章 レポート課題
- 第11回 【授業テーマ】 分数式  
【内容・方法等】 ・計算・部分分数分解  
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第4.1-4.2章 レポート課題
- 第12回 【授業テーマ】 分数式  
【内容・方法等】 ・グラフ  
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第4.2章
- 第13回 【授業テーマ】 三角比(1)  
【内容・方法等】 ・一般角、三平方の定理とその応用  
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第5.1章 レポート課題
- 第14回 【授業テーマ】 三角比(2)  
【内容・方法等】 ・三角関数の定義、グラフ  
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第5.2章 レポート課題
- 第15回 【授業テーマ】 三角比(3)  
【内容・方法等】 ・三角比の計算、余弦定理  
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第5.2~5.3章 レポート課題
- 第16回 【授業テーマ】 絶対値(1)  
【内容・方法等】 ・絶対値の基本的性質  
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第6.1章 レポート課題

- 第17回 【授業テーマ】 絶対値(2)  
【内容・方法等】 ・絶対値付きの方程式の解法、グラフ  
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第6.2~6.3章 レポート課題
- 第18回 【授業テーマ】 指数関数(1)  
【内容・方法等】 ・指数法則  
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第7.1章 レポート課題
- 第19回 【授業テーマ】 指数関数(2)  
【内容・方法等】 ・指数関数のグラフ、方程式の解法  
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第7.1章 レポート課題
- 第20回 【授業テーマ】 対数関数(1)  
【内容・方法等】 ・対数の定義、底の変換公式  
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第7.2章 レポート課題
- 第21回 【授業テーマ】 対数関数(2)  
【内容・方法等】 ・対数関数を含む方程式  
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第7.2章 レポート課題
- 第22回 【授業テーマ】 対数関数(3)  
【内容・方法等】 ・対数関数のグラフ  
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第7.2章 レポート課題
- 第23回 【授業テーマ】 三角関数(1)  
【内容・方法等】 ・加法定理  
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第8.1章 レポート課題
- 第24回 【授業テーマ】 三角関数(2)  
【内容・方法等】 ・加法定理を用いた計算問題  
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第8.1章 レポート課題
- 第25回 【授業テーマ】 三角関数(3)  
【内容・方法等】 ・加法定理から導かれる種々の公式  
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第8.2章 レポート課題
- 第26回 【授業テーマ】 三角関数(4)  
【内容・方法等】 ・加法定理を用いた三角関数のグラフの描き方  
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第8.3章 レポート課題
- 第27回 【授業テーマ】 数列  
【内容・方法等】 ・等差数列、等比数列  
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第9.1~9.3章 レポート課題
- 第28回 【授業テーマ】 和の公式  
【内容・方法等】 ・等差数列、等比数列の和、シグマ記号に慣れる  
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第9.2~9.4章 レポート課題
- 第29回 【授業テーマ】 数学的帰納法  
【内容・方法等】 ・数学的帰納法を用いた証明  
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第9.5章 レポート課題
- 第30回 【授業テーマ】 総合演習  
評価方法(基準)

全単元の検印を受けて演習教材(ワークブック)を完遂した者のみを成績評価の対象とし、演習、小テスト、演習教材(ワークブック)で30%、定期テスト(中間、期末)で70%の割合で判定し評価する。

### 教材等

教科書…数学の基礎(基礎理工学機構編) 日々の演習(基礎理工学機構編)  
参考書…関連の本が沢山出版されている。図書館に所蔵されている他、数学研究室にも多数あり貸し出し可。

### 学生へのメッセージ

教科書の問題を自分で何度も解いて数式を扱う経験を十分に積むよう努力してください。演習は必ず自分で解こうと努力し、わからないところは質問する積極的な姿勢を望みます。

### 関連科目

数式を用いるすべての科目、特に微積分。

### 担当者の研究室等

3号館3階 数学研究室

## 微積分 Calculus I

中津 了 勇 (ナカツ トシオ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期(30回)	選択必修	4

### 授業概要・目的・到達目標

整式、有理式、無理関数、3角、指数、対数関数などの基本的な関数について、微積分の計算法、テイラー展開の求め方、不定積分の計算法を習得する。・到達目標1)基本的な関数の微分ができる。2)関数の挙動を求めグラフが描ける3)基本的な関数の不定積分ができる。

学科の学習・教育目標との対応：[C]

### 授業方法と留意点

進捗の具合により講義と演習を適宜配分。左に挙げた内容を解説し、演習で理解を深める。専門学科で必要とされる微積分の

素養、計算能力を身につけるために授業には必ず出席し、予習復習も励行すること。試験は中間、期末の計2回

**科目学習の効果(資格)**  
次の科目の講義は微積分Iの知識とスキルを前提にして授業が進められます：  
微積分II, 工業数学I, 工業数学II, 代数学, 幾何学II, 解析学, 統計学。  
上記科目を受講する予定の学生は微積分Iを履修すること。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 関数とそのグラフ(1)  
【内容・方法等】 ・座標平面・点の表示・点の移動の表示  
【事前・事後学習課題】 第1章の間、問題 課題レポート
  - 第2回 【授業テーマ】 関数とそのグラフ(2)  
【内容・方法等】 ・関数に関する用語・簡単な関数のグラフ  
【事前・事後学習課題】 第1章の間、問題 課題レポート
  - 第3回 【授業テーマ】 関数の極限  
【内容・方法等】 ・実数の性質・極限の定義・極限の計算方法  
【事前・事後学習課題】 第1章の間、問題 課題レポート
  - 第4回 【授業テーマ】 関数の連続性  
【内容・方法等】 ・連続性の定義・連続関数の性質  
【事前・事後学習課題】 第1章の間、問題 課題レポート
  - 第5回 【授業テーマ】 微分係数  
【内容・方法等】 ・微分係数の定義・接線の方程式  
【事前・事後学習課題】 第2章の間、問題 課題レポート
  - 第6回 【授業テーマ】 導関数  
【内容・方法等】 ・導関数の定義・導関数の求め方・整式の導関数  
【事前・事後学習課題】 第2章の間、問題 課題レポート
  - 第7回 【授業テーマ】 導関数の計算方法  
【内容・方法等】 ・積、商の導関数  
【事前・事後学習課題】 第2章の間、問題 課題レポート
  - 第8回 【授業テーマ】 合成関数の微分高次導関数  
【内容・方法等】 ・合成の方法・合成関数の微分の計算  
【事前・事後学習課題】 第2章の間、問題 課題レポート
  - 第9回 【授業テーマ】 逆関数の微分  
【内容・方法等】 ・逆関数の定義・逆関数の微分の計算  
【事前・事後学習課題】 第2章の間、問題 課題レポート
  - 第10回 【授業テーマ】 指数関数  
【内容・方法等】 ・指数法則・ネイピアの数 e・指数関数の定義  
【事前・事後学習課題】 第3章の間、問題 課題レポート
  - 第11回 【授業テーマ】 指数関数の微分  
【内容・方法等】 ・ $x=0$ での微分係数・指数関数の微分  
【事前・事後学習課題】 第3章の間、問題 課題レポート
  - 第12回 【授業テーマ】 対数関数  
【内容・方法等】 ・自然対数の定義・対数の性質  
【事前・事後学習課題】 第3章の間、問題 課題レポート
  - 第13回 【授業テーマ】 対数関数の微分  
【内容・方法等】 ・ $x=1$ での微分係数・導関数の求め方・対数微分法  
【事前・事後学習課題】 第3章の間、問題 課題レポート
  - 第14回 【授業テーマ】 3角関数  
【内容・方法等】 ・弧度法・3角関数の定義・諸性質と公式  
【事前・事後学習課題】 第4章の間、問題 課題レポート
  - 第15回 【授業テーマ】 3角関数・逆3角関数の微分  
【内容・方法等】 ・ $\sin x$ の微分・3角関数の微分・逆3角関数の微分  
【事前・事後学習課題】 第4章の間、問題 課題レポート
  - 第16回 【授業テーマ】 高次導関数(1)  
【内容・方法等】 ・高次導関数の定義・多項式の高次導関数  
【事前・事後学習課題】 第5章の間、問題 課題レポート
  - 第17回 【授業テーマ】 高次導関数(2)  
【内容・方法等】 ・指数、対数、3角関数の高次導関数・ライプニッツの公式  
【事前・事後学習課題】 第5章の間、問題 課題レポート
  - 第18回 【授業テーマ】 平均値の定理  
【内容・方法等】 ・ロルの定理・平均値の定理  
【事前・事後学習課題】 第6章の間、問題 課題レポート
  - 第19回 【授業テーマ】 関数の挙動(1)  
【内容・方法等】 ・関数の増減・極大、極小  
【事前・事後学習課題】 第6章の間、問題 課題レポート
  - 第20回 【授業テーマ】 関数の挙動(2)  
【内容・方法等】 ・グラフの凹凸・変曲点  
【事前・事後学習課題】 第6章の間、問題 課題レポート
  - 第21回 【授業テーマ】 関数の展開(1)  
【内容・方法等】 ・テイラー展開・マクローリン展開  
【事前・事後学習課題】 第6章の間、問題 課題レポート
  - 第22回 【授業テーマ】 関数の展開(2)  
【内容・方法等】 ・指数関数、3角関数、対数関数の展開・2項定理の一般化  
【事前・事後学習課題】 第6章の間、問題 課題レポート
  - 第23回 【授業テーマ】 原始関数(1)  
【内容・方法等】 微分の逆演算としての不定積分

- 第24回 【事前・事後学習課題】 第7章の間、問題 課題レポート  
【授業テーマ】 原始関数(2)  
【内容・方法等】 ・整式、有理式の不定積分  
【事前・事後学習課題】 第7章の間、問題 課題レポート
- 第25回 【授業テーマ】 原始関数(3)  
【内容・方法等】 ・3角関数の不定積分  
【事前・事後学習課題】 第7章の間、問題 課題レポート
- 第26回 【授業テーマ】 原始関数(4)  
【内容・方法等】 ・指数関数、対数関数の不定積分  
【事前・事後学習課題】 第7章の間、問題 課題レポート
- 第27回 【授業テーマ】 不定積分の計算法(1)  
【内容・方法等】 ・置換積分  
【事前・事後学習課題】 第7章の間、問題 課題レポート
- 第28回 【授業テーマ】 不定積分の計算法(2)  
【内容・方法等】 ・部分積分  
【事前・事後学習課題】 第7章の間、問題 課題レポート
- 第29回 【授業テーマ】 不定積分の計算法(3)  
【内容・方法等】 ・分数関数の不定積分・無理関数の不定積分  
【事前・事後学習課題】 第7章の間、問題 課題レポート
- 第30回 【授業テーマ】 不定積分の計算法(4)  
評価方法(基準)  
演習,小テストで30%、定期テスト(中間、期末)で70%判定し評価する。

**教材等**  
教科書…微積分の基礎(数学研究室編)  
参考書…関連の本が沢山出版されている。図書館に所蔵されている他、数学研究室にも多数あり貸し出し可。

**学生へのメッセージ**  
講義内容に関することはどんな事でも遠慮なく質問すること。いつでも親切に答えるようにしています。参考書を貸し出しますので相談に来て下さい。また、チューデントアワー(月・金の5限目)には3号館3階準備室に数学教員がいますので数学、自然科学に関するどんな質問でも気楽においで下さい。

**関連科目**  
微積分 II; 線形代数I・II; 工業数学I; 工業数学II; 代数学; 幾何学II; 解析学; 統計学  
**担当者の研究室等**  
3号館3階 数学研究室

微積分I Calculus I				
田畑謙二(タバタ ケンジ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期(30回)	選択必修	4

**授業概要・目的・到達目標**  
整式、有理式、無理関数、3角、指数、対数関数などの基本的な関数について、微分の計算法、テイラー展開の求め方、不定積分の計算法を習得する。・到達目標1)基本的な関数の微分ができる2)関数の挙動を求めグラフが描ける3)基本的な関数の不定積分ができる。  
学科の学習・教育目標の対応：[C]

**授業方法と留意点**  
進捗の具合により講義と演習を適宜配分。左に挙げた内容を解説し、演習で理解を深める。専門学科で必要とされる微積分の素養、計算能力を身につけるために授業には必ず出席し、予習復習も励行すること。試験は中間、期末の計2回

**科目学習の効果(資格)**  
次の科目の講義は微積分Iの知識とスキルを前提にして授業が進められます：  
微積分II, 工業数学I, 工業数学II, 代数学, 幾何学II, 解析学, 統計学。  
上記科目を受講する予定の学生は微積分Iを履修すること。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 関数とそのグラフ(1)  
【内容・方法等】 ・座標平面・点の表示・点の移動の表示  
【事前・事後学習課題】 第1章の間、問題 課題レポート
  - 第2回 【授業テーマ】 関数とそのグラフ(2)  
【内容・方法等】 ・関数に関する用語・簡単な関数のグラフ  
【事前・事後学習課題】 第1章の間、問題 課題レポート
  - 第3回 【授業テーマ】 関数の極限  
【内容・方法等】 ・実数の性質・極限の定義・極限の計算方法  
【事前・事後学習課題】 第1章の間、問題 課題レポート
  - 第4回 【授業テーマ】 関数の連続性  
【内容・方法等】 ・連続性の定義・連続関数の性質  
【事前・事後学習課題】 第1章の間、問題 課題レポート
  - 第5回 【授業テーマ】 微分係数  
【内容・方法等】 ・微分係数の定義・接線の方程式  
【事前・事後学習課題】 第2章の間、問題 課題レポート



- 第6回 【授業テーマ】 導関数  
【内容・方法 等】 ・導関数の定義・導関数の求め方・整式の導関数  
【事前・事後学習課題】 第2章の間, 問題 課題レポート
- 第7回 【授業テーマ】 導関数の計算方法  
【内容・方法 等】 ・積, 商の導関数  
【事前・事後学習課題】 第2章の間, 問題 課題レポート
- 第8回 【授業テーマ】 合成関数の微分高次導関数  
【内容・方法 等】 ・合成の方法・合成関数の微分の計算  
【事前・事後学習課題】 第2章の間, 問題 課題レポート
- 第9回 【授業テーマ】 逆関数の微分  
【内容・方法 等】 ・逆関数の定義・逆関数の微分の計算  
【事前・事後学習課題】 第2章の間, 問題 課題レポート
- 第10回 【授業テーマ】 指数関数  
【内容・方法 等】 ・指数法則・ネピアの数  $e$ ・指数関数の定義  
【事前・事後学習課題】 第3章の間, 問題 課題レポート
- 第11回 【授業テーマ】 指数関数の微分  
【内容・方法 等】 ・ $x=0$ での微分係数・指数関数の微分  
【事前・事後学習課題】 第3章の間, 問題 課題レポート
- 第12回 【授業テーマ】 対数関数  
【内容・方法 等】 ・自然対数の定義・対数の性質  
【事前・事後学習課題】 第3章の間, 問題 課題レポート
- 第13回 【授業テーマ】 対数関数の微分  
【内容・方法 等】 ・ $x=1$ での微分係数・導関数の求め方・対数微分法  
【事前・事後学習課題】 第3章の間, 問題 課題レポート
- 第14回 【授業テーマ】 3角関数  
【内容・方法 等】 ・弧度法・3角関数の定義・諸性質と公式  
【事前・事後学習課題】 第4章の間, 問題 課題レポート
- 第15回 【授業テーマ】 3角関数・逆3角関数の微分  
【内容・方法 等】 ・ $\sin x$  の微分・3角関数の微分・逆3角関数の微分  
【事前・事後学習課題】 第4章の間, 問題 課題レポート
- 第16回 【授業テーマ】 高次導関数(1)  
【内容・方法 等】 ・高次導関数の定義・多項式の高次導関数  
【事前・事後学習課題】 第5章の間, 問題 課題レポート
- 第17回 【授業テーマ】 高次導関数(2)  
【内容・方法 等】 ・指数, 対数, 3角関数の高次導関数・ライプニッツの公式  
【事前・事後学習課題】 第5章の間, 問題 課題レポート
- 第18回 【授業テーマ】 平均値の定理  
【内容・方法 等】 ・ロルの定理・平均値の定理  
【事前・事後学習課題】 第6章の間, 問題 課題レポート
- 第19回 【授業テーマ】 関数の挙動(1)  
【内容・方法 等】 ・関数の増減・極大, 極小  
【事前・事後学習課題】 第6章の間, 問題 課題レポート
- 第20回 【授業テーマ】 関数の挙動(2)  
【内容・方法 等】 ・グラフの凹凸・変曲点  
【事前・事後学習課題】 第6章の間, 問題 課題レポート
- 第21回 【授業テーマ】 関数の展開(1)  
【内容・方法 等】 ・テイラー展開・マクローリン展開  
【事前・事後学習課題】 第6章の間, 問題 課題レポート
- 第22回 【授業テーマ】 関数の展開(2)  
【内容・方法 等】 ・指数関数, 3角関数, 対数関数の展開・2項定理の一般化  
【事前・事後学習課題】 第6章の間, 問題 課題レポート
- 第23回 【授業テーマ】 原始関数(1)  
【内容・方法 等】 微分の逆演算としての不定積分  
【事前・事後学習課題】 第7章の間, 問題 課題レポート
- 第24回 【授業テーマ】 原始関数(2)  
【内容・方法 等】 ・整式, 有理式的不定積分  
【事前・事後学習課題】 第7章の間, 問題 課題レポート
- 第25回 【授業テーマ】 原始関数(3)  
【内容・方法 等】 ・3角関数の不定積分  
【事前・事後学習課題】 第7章の間, 問題 課題レポート
- 第26回 【授業テーマ】 原始関数(4)  
【内容・方法 等】 ・指数関数, 対数関数の不定積分  
【事前・事後学習課題】 第7章の間, 問題 課題レポート
- 第27回 【授業テーマ】 不定積分の計算法(1)  
【内容・方法 等】 ・置換積分  
【事前・事後学習課題】 第7章の間, 問題 課題レポート
- 第28回 【授業テーマ】 不定積分の計算法(2)  
【内容・方法 等】 ・部分積分  
【事前・事後学習課題】 第7章の間, 問題 課題レポート
- 第29回 【授業テーマ】 不定積分の計算法(3)  
【内容・方法 等】 ・分数関数の不定積分・無理関数の不定積分  
【事前・事後学習課題】 第7章の間, 問題 課題レポート
- 第30回 【授業テーマ】 不定積分の計算法(4)  
【内容・方法 等】 演習, 小テストで約30%, 定期テスト(中間, 期末)で約70%判定し評価する。
- 教材等

教科書…微積分基礎 寺本恵昭(共立出版) 2,310円(税込)  
参考書…関連の本が沢山出版されている。図書館に所蔵されている他、数学研究室にも多数あり貸し出し可。

#### 学生へのメッセージ

講義内容に関することはどんな事でも遠慮なく質問すること。いつでも親切に答えるようにしています。参考書を貸し出ししますので相談に来て下さい。また、スチューデントアワー(月・金の5限目)には3号館3階準備室に数学教員がいますので数学、自然科学に関するどんな質問でも気楽においで下さい。

#### 関連科目

微積分 II; 線形代数I; II; 工業数学I; 工業数学II; 代数学; 幾何学II; 解析学; 統計学

#### 担当者の研究室等

3号館3階 数学研究室

専門  
関連  
科目

#### 微積分I Calculus I

伊 東 恵 一 (イトウ ケイイチ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期(30回)	選択必修	4

#### 授業概要・目的・到達目標

整式, 有理式, 無理関数, 3角, 指数, 対数関数などの基本的な関数について, 微分の計算法, テイラー展開の求め方, 不定積分の計算法を習得する。・到達目標1)基本的な関数の微分ができる2)関数の挙動を求めグラフが描ける3)基本的な関数の不定積分ができる。

学科の学習・教育目標の対応: [C]

#### 授業方法と留意点

進捗の具合により講義と演習を適宜配分。左に挙げた内容を解説し, 演習で理解を深める。専門学科で必要とされる微積分の素養, 計算能力を身につけるために授業には必ず出席し, 予習復習も励行すること。試験は中間, 期末の計2回

#### 科目学習の効果(資格)

次の科目の講義は微積分Iの知識とスキルを前提にして授業が進められます:

微積分II, 工業数学I, 工業数学II, 代数学, 幾何学II, 解析学, 統計学。

上記科目を受講する予定の学生は微積分Iを履修すること。

#### 毎回の授業テーマ, 内容・方法等, 事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 関数とそのグラフ(1)  
【内容・方法 等】 ・座標平面・点の表示・点の移動の表示  
【事前・事後学習課題】 第1章の間, 問題 課題レポート
- 第2回 【授業テーマ】 関数とそのグラフ(2)  
【内容・方法 等】 ・関数に関する用語・簡単な関数のグラフ  
【事前・事後学習課題】 第1章の間, 問題 課題レポート
- 第3回 【授業テーマ】 関数の極限  
【内容・方法 等】 ・実数の性質・極限の定義・極限の計算方法  
【事前・事後学習課題】 第1章の間, 問題 課題レポート
- 第4回 【授業テーマ】 関数の連続性  
【内容・方法 等】 ・連続性の定義・連続関数の性質  
【事前・事後学習課題】 第1章の間, 問題 課題レポート
- 第5回 【授業テーマ】 微分係数  
【内容・方法 等】 ・微分係数の定義・接線の方程式  
【事前・事後学習課題】 第2章の間, 問題 課題レポート
- 第6回 【授業テーマ】 導関数  
【内容・方法 等】 ・導関数の定義・導関数の求め方・整式の導関数  
【事前・事後学習課題】 第2章の間, 問題 課題レポート
- 第7回 【授業テーマ】 導関数の計算方法  
【内容・方法 等】 ・積, 商の導関数  
【事前・事後学習課題】 第2章の間, 問題 課題レポート
- 第8回 【授業テーマ】 合成関数の微分高次導関数  
【内容・方法 等】 ・合成の方法・合成関数の微分の計算  
【事前・事後学習課題】 第2章の間, 問題 課題レポート
- 第9回 【授業テーマ】 逆関数の微分  
【内容・方法 等】 ・逆関数の定義・逆関数の微分の計算  
【事前・事後学習課題】 第2章の間, 問題 課題レポート
- 第10回 【授業テーマ】 指数関数  
【内容・方法 等】 ・指数法則・ネピアの数  $e$ ・指数関数の定義  
【事前・事後学習課題】 第3章の間, 問題 課題レポート
- 第11回 【授業テーマ】 指数関数の微分  
【内容・方法 等】 ・ $x=0$ での微分係数・指数関数の微分  
【事前・事後学習課題】 第3章の間, 問題 課題レポート
- 第12回 【授業テーマ】 対数関数  
【内容・方法 等】 ・自然対数の定義・対数の性質  
【事前・事後学習課題】 第3章の間, 問題 課題レポート
- 第13回 【授業テーマ】 対数関数の微分

- 【内容・方法等】  $\cdot x=1$ での微分係数・導関数の求め方・対数微分法
- 第14回 【事前・事後学習課題】 第3章の間, 問題 課題レポート  
【授業テーマ】 3角関数  
【内容・方法等】  $\cdot$  弧度法  $\cdot$  3角関数の定義・諸性質と公式
- 第15回 【事前・事後学習課題】 第4章の間, 問題 課題レポート  
【授業テーマ】 3角関数  $\cdot$  逆3角関数の微分  
【内容・方法等】  $\cdot \sin x$  の微分  $\cdot$  3角関数の微分  $\cdot$  逆3角関数の微分
- 第16回 【事前・事後学習課題】 第4章の間, 問題 課題レポート  
【授業テーマ】 高次導関数(1)  
【内容・方法等】  $\cdot$  高次導関数の定義  $\cdot$  多項式の高次導関数
- 第17回 【事前・事後学習課題】 第5章の間, 問題 課題レポート  
【授業テーマ】 高次導関数(2)  
【内容・方法等】  $\cdot$  指数, 対数, 3角関数の高次導関数  $\cdot$  ライブニッツの公式
- 第18回 【事前・事後学習課題】 第5章の間, 問題 課題レポート  
【授業テーマ】 平均値の定理  
【内容・方法等】  $\cdot$  ロルの定理  $\cdot$  平均値の定理
- 第19回 【事前・事後学習課題】 第6章の間, 問題 課題レポート  
【授業テーマ】 関数の挙動(1)  
【内容・方法等】  $\cdot$  関数の増減  $\cdot$  極大, 極小
- 第20回 【事前・事後学習課題】 第6章の間, 問題 課題レポート  
【授業テーマ】 関数の挙動(2)  
【内容・方法等】  $\cdot$  グラフの凹凸  $\cdot$  変曲点
- 第21回 【事前・事後学習課題】 第6章の間, 問題 課題レポート  
【授業テーマ】 関数の展開(1)  
【内容・方法等】  $\cdot$  テイラー展開  $\cdot$  マクローリン展開
- 第22回 【事前・事後学習課題】 第6章の間, 問題 課題レポート  
【授業テーマ】 関数の展開(2)  
【内容・方法等】  $\cdot$  指数関数, 3角関数, 対数関数の展開  $\cdot$  2項定理の一般化
- 第23回 【事前・事後学習課題】 第6章の間, 問題 課題レポート  
【授業テーマ】 原始関数(1)  
【内容・方法等】 微分の逆演算としての不定積分
- 第24回 【事前・事後学習課題】 第7章の間, 問題 課題レポート  
【授業テーマ】 原始関数(2)  
【内容・方法等】  $\cdot$  整式, 有理式的不定積分
- 第25回 【事前・事後学習課題】 第7章の間, 問題 課題レポート  
【授業テーマ】 原始関数(3)  
【内容・方法等】  $\cdot$  3角関数の不定積分
- 第26回 【事前・事後学習課題】 第7章の間, 問題 課題レポート  
【授業テーマ】 原始関数(4)  
【内容・方法等】  $\cdot$  指数関数, 対数関数の不定積分
- 第27回 【事前・事後学習課題】 第7章の間, 問題 課題レポート  
【授業テーマ】 不定積分の計算法(1)  
【内容・方法等】  $\cdot$  置換積分
- 第28回 【事前・事後学習課題】 第7章の間, 問題 課題レポート  
【授業テーマ】 不定積分の計算法(2)  
【内容・方法等】  $\cdot$  部分積分
- 第29回 【事前・事後学習課題】 第7章の間, 問題 課題レポート  
【授業テーマ】 不定積分の計算法(3)  
【内容・方法等】  $\cdot$  分数関数の不定積分  $\cdot$  無理関数の不定積分
- 第30回 【事前・事後学習課題】 第7章の間, 問題 課題レポート  
【授業テーマ】 不定積分の計算法(4)

評価方法 (基準)  
演習小テストで約30%、定期テスト(中間、期末)で約70%判定し評価する。

教材等  
教科書…微積分の基礎(数学研究室編)  
参考書…関連の本が沢山出版されている。図書館に所蔵されている他、数学研究室にも多数あり貸し出し可。

学生へのメッセージ  
講義内容に関することはどんな事でも遠慮なく質問すること。いつでも親切に答えるようにしています。参考書を貸し出しますので相談に来て下さい。また、スチューデントアワー(月・金の5限目)には3号館3階準備室に数学教員がいますので数学、自然科学に関するどんな質問でも気楽においで下さい。

関連科目  
微積分 II; 線形代数 I; II; 工業数学 I; 工業数学 II; 代数学; 幾何学 II; 解析学; 統計学

担当者の研究室等  
3号館3階 数学研究室

微積分II Calculus II				
島田 伸一 (シマダ シンイチ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期(30回)	選択必修	4

授業概要・目的・到達目標  
定積分の概念と計算法, 2変数関数の偏微分の計算とそのグラフの把握, 重積分の概念と計算法, 以上を説明する。  
 $\cdot$  到達目標(1)基本的な関数の積分ができる  
(2)偏微分の計算ができる  
(3)2変数関数の挙動がわかる  
(4)重積分の計算ができる。  
到達目標: 専門基礎で用いられる数学的表現を理解すること。  
学科の学習・教育目標の対応: [C]

授業方法と留意点  
挙げた内容を具体的な計算例を中心にできるだけ平易に解説し, 理解の程度を演習により確かめる。受講者はその厳選された平易な内容を確実に自分のものとするよう心掛けて頂きたい。そのため、欠席をせず授業の前30分でも良いから復習を重ねること。

科目学習の効果 (資格)  
本講義の内容は、工業数学及び諸々の専門科目の習得に引き継がれる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 定積分の定義  
【内容・方法等】  $\cdot$  面積と定積分  $\cdot$  定積分の定義  $\cdot$  定積分の性質
- 第2回 【事前・事後学習課題】 第8章の問題  
【授業テーマ】 簡単な定積分  
【内容・方法等】  $\cdot$  定数関数, 1次, 2次関数の定積分  $\cdot$  不定積分と定積分  $\cdot$  基本的な関数の定積分
- 第3回 【事前・事後学習課題】 第8章の問題  
【授業テーマ(1)】 定積分の計算法(1)  
【内容・方法等】  $\cdot$  微積分の基本定理  $\cdot$  不定積分と定積分
- 第4回 【事前・事後学習課題】 第8章の問題  
【授業テーマ】 定積分の計算法(2)  
【内容・方法等】  $\cdot$  置換積分
- 第5回 【事前・事後学習課題】 第8章の問題  
【授業テーマ】 定積分の計算法(3)  
【内容・方法等】  $\cdot$  部分積分
- 第6回 【事前・事後学習課題】 第8章の問題  
【授業テーマ(4)】 定積分の計算法(4)  
【内容・方法等】  $\cdot$  指数関数, 三角関数の定積分
- 第7回 【事前・事後学習課題】 第8章の問題  
【授業テーマ(5)】 定積分の計算法(5)  
【内容・方法等】  $\cdot$  有理関数, 無理関数の定積分
- 第8回 【事前・事後学習課題】 第8章の問題  
【授業テーマ】 定積分の応用(1)  
【内容・方法等】  $\cdot$  曲線が囲む面積の計算
- 第9回 【事前・事後学習課題】 第8章の問題  
【授業テーマ】 定積分の応用(2)  
【内容・方法等】  $\cdot$  体積の計算
- 第10回 【事前・事後学習課題】 第8章の問題  
【授業テーマ】 定積分の応用(3)  
【内容・方法等】  $\cdot$  回転体の体積
- 第11回 【事前・事後学習課題】 第8章の問題  
【授業テーマ】 定積分の応用(4)  
【内容・方法等】  $\cdot$  広義積分
- 第12回 【事前・事後学習課題】 第8章の問題  
【授業テーマ】 2変数の関数(1)  
【内容・方法等】  $\cdot$  2変数関数の例  $\cdot$  xy平面内の領域と関数の定義域
- 第13回 【事前・事後学習課題】 第9章の問題  
【授業テーマ】 2変数関数のグラフ(1)  
【内容・方法等】  $\cdot$  グラフとしての曲面  $\cdot$  グラフ上の曲線
- 第14回 【事前・事後学習課題】 第9章の問題  
【授業テーマ】 2変数の関数(2)  
【内容・方法等】  $\cdot$  2変数関数の極限  $\cdot$  2変数関数の連続性
- 第15回 【事前・事後学習課題】 第9章の問題  
【授業テーマ】 2変数関数のグラフ(2)  
【内容・方法等】  $\cdot$  グラフ上の曲線の接線  $\cdot$  接平面の導入
- 第16回 【事前・事後学習課題】 第9章の問題  
【授業テーマ】 偏微分  
【内容・方法等】  $\cdot$  偏微分の定義
- 第17回 【事前・事後学習課題】 第9章の問題  
【授業テーマ(1)】 偏微分の計算(1)  
【内容・方法等】  $\cdot$  偏導関数の定義  $\cdot$  偏導関数の計算法
- 第18回 【事前・事後学習課題】 第9章の問題  
【授業テーマ(2)】 偏微分の計算(2)  
【内容・方法等】  $\cdot$  偏微分可能性  $\cdot$  全微分可能性
- 第19回 【事前・事後学習課題】 第9章の問題  
【授業テーマ】 合成関数の偏微分  
【内容・方法等】  $\cdot$  2変数関数の合成と偏微分の計算
- 第20回 【事前・事後学習課題】 第9章の問題  
【授業テーマ】 高次偏導関数(1)  
【内容・方法等】  $\cdot$  2次偏導関数の定義  $\cdot$  偏微分の順序交換
- 第21回 【事前・事後学習課題】 第9章の問題  
【授業テーマ(2)】 高次偏導関数(2)  
【内容・方法等】  $\cdot$  合成の高次偏微分  $\cdot$  偏微分作用素の表示



第22回 【事前・事後学習課題】 第9章の問題  
【授業テーマ】 高次偏導関数(3)  
【内容・方法等】 ・2変数のテイラー展開・マクローリン展開

第23回 【事前・事後学習課題】 第9章の問題  
【授業テーマ】 偏微分の応用(1)  
【内容・方法等】 ・2変数関数の極値問題

第24回 【事前・事後学習課題】 第9章の問題  
【授業テーマ】 偏微分の応用(2)  
【内容・方法等】 ・陰関数定理・条件付き極値問題

第25回 【授業テーマ】 重積分の定義(1)  
【内容・方法等】 ・体積と重積分・長方形領域上での重積分

第26回 【事前・事後学習課題】 第10章の問題  
【授業テーマ】 重積分の定義(2)  
【内容・方法等】 ・長方形上での逐次積分

第27回 【事前・事後学習課題】 第10章の問題  
【授業テーマ】 重積分の計算法(1)  
【内容・方法等】 ・曲線で囲まれた領域上での重積分

第28回 【事前・事後学習課題】 第10章の問題  
【授業テーマ】 重積分の計算法(2)  
【内容・方法等】 ・逐次積分への帰着

第29回 【事前・事後学習課題】 第10章の問題  
【授業テーマ】 重積分の計算法(3)  
【内容・方法等】 ・重積分と立体の体積

第30回 【事前・事後学習課題】 第10章の問題  
【授業テーマ】 重積分の計算法(4)

評価方法 (基準)  
演習,小テスト,宿題で20%、中間試験25%、期末試験55%で評価する。

教材等  
教科書…微積分基礎—理工系学生に向けて—(ISBN:978-4320110274) 2,310円  
参考書…関連の本が沢山出版されている。図書館に所蔵されている他、数学研究室にも多数あり貸し出し可。

学生へのメッセージ  
3号館3階に数学教員がいますので数学、自然科学に関するどんな質問でも気楽においで下さい。

関連科目  
以下の科目の講義は微積分IIの知識とスキルを前提にして授業が進められます：  
工業数学I,工業数学II,代数学,幾何学II,解析学,統計学  
上記科目を受講する予定の学生は微積分IIを履修すること。

担当者の研究室等  
3号館3階 数学研究室

微積分II Calculus II				
東 武 大 (アスマ タケヒロ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期(30回)	選択必修	4

授業概要・目的・到達目標  
定積分の概念と計算法, 2変数関数の偏微分の計算とそのグラフの把握, 重積分の概念と計算法, 以上を説明する。  
・到達目標(1)基本的な関数の積分ができる  
(2)偏微分の計算ができる  
(3)2変数関数の挙動がわかる  
(4)重積分の計算ができる。  
到達目標：専門基礎で用いられる数学的表現を理解すること。  
学科の学習・教育目標の対応：[C]

授業方法と留意点  
挙げた内容を具体的な計算例を中心にできるだけ平易に解説し、理解の程度を演習により確かめる。受講者はその厳選された平易な内容を確実に自分のものとするよう心掛けて頂きたい。そのためには、欠席をせず授業の前30分でも良いから復習を重ねること。

科目学習の効果 (資格)  
本講義の内容は、工業数学及び諸々の専門科目の習得に引き継がれる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 定積分の定義  
【内容・方法等】 ・面積と定積分・定積分の定義・定積分の性質  
【事前・事後学習課題】 第8章の問題

第2回 【授業テーマ】 簡単な定積分  
【内容・方法等】 ・定数関数, 1次, 2次関数の定積分・不定積分と定積分・基本的な関数の定積分  
【事前・事後学習課題】 第8章の問題

第3回 【授業テーマ】 定積分の計算法(1)

第4回 【内容・方法等】 ・微積分の基本定理・不定積分と定積分  
【事前・事後学習課題】 第8章の問題  
【授業テーマ】 定積分の計算法(2)  
【内容・方法等】 ・置換積分

第5回 【事前・事後学習課題】 第8章の問題  
【授業テーマ】 定積分の計算法(3)  
【内容・方法等】 ・部分積分

第6回 【事前・事後学習課題】 第8章の問題  
【授業テーマ】 定積分の計算法(4)  
【内容・方法等】 ・指数関数, 三角関数の定積分

第7回 【事前・事後学習課題】 第8章の問題  
【授業テーマ】 定積分の計算法(5)  
【内容・方法等】 ・有理関数, 無理関数の定積分

第8回 【事前・事後学習課題】 第8章の問題  
【授業テーマ】 定積分の応用(1)  
【内容・方法等】 ・曲線が囲む面積の計算

第9回 【事前・事後学習課題】 第8章の問題  
【授業テーマ】 定積分の応用(2)  
【内容・方法等】 ・体積の計算

第10回 【事前・事後学習課題】 第8章の問題  
【授業テーマ】 定積分の応用(3)  
【内容・方法等】 ・回転体の体積

第11回 【事前・事後学習課題】 第8章の問題  
【授業テーマ】 定積分の応用(4)  
【内容・方法等】 ・広義積分

第12回 【事前・事後学習課題】 第8章の問題  
【授業テーマ】 2変数の関数(1)  
【内容・方法等】 ・2変数関数の例・xy平面内の領域と関数の定義域  
【事前・事後学習課題】 第9章の問題

第13回 【授業テーマ】 2変数関数のグラフ(1)  
【内容・方法等】 ・グラフとしての曲面・グラフ上の曲線

第14回 【事前・事後学習課題】 第9章の問題  
【授業テーマ】 2変数の関数(2)  
【内容・方法等】 ・2変数関数の極限・2変数関数の連続性

第15回 【事前・事後学習課題】 第9章の問題  
【授業テーマ】 2変数関数のグラフ(2)  
【内容・方法等】 ・グラフ上の曲線の接線・接平面の導入

第16回 【事前・事後学習課題】 第9章の問題  
【授業テーマ】 偏微分  
【内容・方法等】 ・偏微分の定義

第17回 【事前・事後学習課題】 第9章の問題  
【授業テーマ】 偏微分の計算(1)  
【内容・方法等】 ・偏導関数の定義・偏導関数の計算法

第18回 【事前・事後学習課題】 第9章の問題  
【授業テーマ】 偏微分の計算(2)  
【内容・方法等】 ・偏微分可能性・全微分可能性

第19回 【事前・事後学習課題】 第9章の問題  
【授業テーマ】 合成関数の偏微分  
【内容・方法等】 ・2変数関数の合成と偏微分の計算

第20回 【事前・事後学習課題】 第9章の問題  
【授業テーマ】 高次偏導関数(1)  
【内容・方法等】 ・2次偏導関数の定義・偏微分の順序交換

第21回 【事前・事後学習課題】 第9章の問題  
【授業テーマ】 高次偏導関数(2)  
【内容・方法等】 ・合成の高次偏微分・偏微分作用素の表示

第22回 【事前・事後学習課題】 第9章の問題  
【授業テーマ】 高次偏導関数(3)  
【内容・方法等】 ・2変数のテイラー展開・マクローリン展開

第23回 【事前・事後学習課題】 第9章の問題  
【授業テーマ】 偏微分の応用(1)  
【内容・方法等】 ・2変数関数の極値問題

第24回 【事前・事後学習課題】 第9章の問題  
【授業テーマ】 偏微分の応用(2)  
【内容・方法等】 ・陰関数定理・条件付き極値問題

第25回 【事前・事後学習課題】 第9章の問題  
【授業テーマ】 重積分の定義(1)  
【内容・方法等】 ・体積と重積分・長方形領域上での重積分

第26回 【事前・事後学習課題】 第10章の問題  
【授業テーマ】 重積分の定義(2)  
【内容・方法等】 ・長方形上での逐次積分

第27回 【事前・事後学習課題】 第10章の問題  
【授業テーマ】 重積分の計算法(1)  
【内容・方法等】 ・曲線で囲まれた領域上での重積分

第28回 【事前・事後学習課題】 第10章の問題  
【授業テーマ】 重積分の計算法(2)  
【内容・方法等】 ・逐次積分への帰着

第29回 【事前・事後学習課題】 第10章の問題  
【授業テーマ】 重積分の計算法(3)  
【内容・方法等】 ・重積分と立体の体積

第30回 【事前・事後学習課題】 第10章の問題  
【授業テーマ】 重積分の計算法(4)

評価方法 (基準)

小テストで30%、習熟度確認テストで35%、期末テストで35%で判定し評価する。

**教材等**  
**教科書**…微積分基礎 一理工系学生に向けて一(ISBN:978-4320110274) 2,310円  
**参考書**…関連の本が沢山出版されている。図書館に所蔵されている他、数学研究室にも多数あり貸し出し可。

**学生へのメッセージ**  
 3号館3階に数学教員がいますので数学、自然科学に関するどんな質問でも気楽においで下さい。

**関連科目**  
 以下の科目の講義は微積分IIの知識とスキルを前提にして授業が進められます：  
 工業数学I 工業数学II, 代数学, 幾何学II, 解析学, 統計学  
 上記科目を受講する予定の学生は微積分IIを履修すること。

**担当者の研究室等**  
 3号館3階 数学研究室

線形代数I Linear Algebra I				
西脇 純一(ニシワキ ジュンイチ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	I	前期	選択必修	2

**授業概要・目的・到達目標**  
 線形代数は、幾何ベクトルや連立1次方程式の取り扱い方を一般化してできた理論で、理工系学生に欠くことのできない数学的教養である。到達目標1)行列の計算ができる2)ベクトルの内積・外積を理解する3)基本変形で連立1次方程式を解く4)基本変形で逆行列を求める。  
 学科の学習・教育目標との対応：[C]

**授業方法と留意点**  
 前半60分を講義、後半30分を演習、を基本とするが、進行状況により変更することもある。(1)演習は前半の講義内容から出題、終了時に回収し次回に返却する。(2)期末試験の出題内容は授業中の演習問題レベルとする。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 行列の定義(1)  
 【内容・方法等】 ・和、スカラー倍  
 【事前・事後学習課題】 第1章の間、演習問題 レポート
- 第2回** 【授業テーマ】 行列の定義(2)  
 【内容・方法等】 ・積の定義・転置行列  
 【事前・事後学習課題】 第1章の間、演習問題 レポート
- 第3回** 【授業テーマ】 正方行列(1)  
 【内容・方法等】 ・単位行列・正則行列の定義  
 【事前・事後学習課題】 第1章の間、演習問題 レポート
- 第4回** 【授業テーマ】 正方行列(2)  
 【内容・方法等】 ・正則行列の性質  
 【事前・事後学習課題】 第1章の間、演習問題 レポート
- 第5回** 【授業テーマ】 2次正方行列  
 【内容・方法等】 ・逆行列の計算  
 【事前・事後学習課題】 第1章の間、演習問題 レポート
- 第6回** 【授業テーマ】 いろいろな行列  
 【内容・方法等】 ・対称行列・交代行列・ベキ零行列  
 【事前・事後学習課題】 第1章の間、演習問題 レポート
- 第7回** 【授業テーマ】 連立1次方程式(1)  
 【内容・方法等】 ・消去法  
 【事前・事後学習課題】 第2章の間、演習問題 レポート
- 第8回** 【授業テーマ】 連立1次方程式(2)  
 【内容・方法等】 ・連立1次方程式の行列表示・基本変形・階数  
 【事前・事後学習課題】 第2章の間、演習問題 レポート
- 第9回** 【授業テーマ】 連立1次方程式(3)  
 【内容・方法等】 ・基本変形の正則行列表示・掃き出し法による逆行列の求め方  
 【事前・事後学習課題】 第2章の間、演習問題 レポート
- 第10回** 【授業テーマ】 連立1次方程式(4)  
 【内容・方法等】 ・基本解・特殊解  
 【事前・事後学習課題】 第2章の間、演習問題 レポート
- 第11回** 【授業テーマ】 連立1次方程式(5)  
 【内容・方法等】 ・同次連立1次方程式・正則行列となる条件  
 【事前・事後学習課題】 第2章の間、演習問題 レポート
- 第12回** 【授業テーマ】 空間のベクトル(1)  
 【内容・方法等】 ・空間のベクトルの定義・和とスカラー倍  
 【事前・事後学習課題】 第3章の間、演習問題 レポート
- 第13回** 【授業テーマ】 空間のベクトル(2)  
 【内容・方法等】 ・内積・距離  
 【事前・事後学習課題】 第3章の間、演習問題 レポート
- 第14回** 【授業テーマ】 空間のベクトル(3)

**第15回** 【内容・方法等】 ・外積・スカラー三重積  
 【事前・事後学習課題】 第3章の間、演習問題 レポート  
 【授業テーマ】 空間のベクトル(4)  
 【内容・方法等】 ・直線の方程式・平面の方程式  
 【事前・事後学習課題】 第3章の間、演習問題 レポート

**評価方法(基準)**  
 演習小テストで約30%、定期テスト(中間、期末)で約70%判定し評価する。

**教材等**  
**教科書**…線形代数(摂南大学数学研究室) 共立出版  
**参考書**…関連の本が沢山出版されている。図書館に所蔵されている他、数学研究室にも多数あり貸し出し可。

**学生へのメッセージ**  
 疑問に思ったことがあれば遠慮なく質問してください。いかなる質問も大歓迎です。大学の数学は簡単ではありませんが些細なことにこだわらずに最終目標をいつも頭において勉強してください。

**関連科目**  
 以下の科目の講義は線形代数Iの知識とスキルを前提にして授業が進められます：  
 工業数学I 工業数学II, 統計学, 代数学, 幾何学II, 解析学  
 上記科目を受講する予定の学生は線形代数Iを履修すること。

**担当者の研究室等**  
 3号館3階 数学研究室

線形代数I Linear Algebra I				
黒木 和雄(クロキ カズオ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	ロ	前期	選択必修	2

**授業概要・目的・到達目標**  
 線形代数は、幾何ベクトルや連立1次方程式の取り扱い方を一般化してできた理論で、理工系学生に欠くことのできない数学的教養である。到達目標1)行列の計算ができる2)ベクトルの内積・外積を理解する3)基本変形で連立1次方程式を解く4)基本変形で逆行列を求める。  
 学科の学習・教育目標との対応：[C]

**授業方法と留意点**  
 前半60分を講義、後半30分を演習、を基本とするが、進行状況により変更することもある。(1)演習は前半の講義内容から出題、終了時に回収し次回に返却する。(2)期末試験の出題内容は授業中の演習問題レベルとする。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 行列の定義(1)  
 【内容・方法等】 ・和、スカラー倍  
 【事前・事後学習課題】 第1章の間、演習問題 レポート
- 第2回** 【授業テーマ】 行列の定義(2)  
 【内容・方法等】 ・積の定義・転置行列  
 【事前・事後学習課題】 第1章の間、演習問題 レポート
- 第3回** 【授業テーマ】 正方行列(1)  
 【内容・方法等】 ・単位行列・正則行列の定義  
 【事前・事後学習課題】 第1章の間、演習問題 レポート
- 第4回** 【授業テーマ】 正方行列(2)  
 【内容・方法等】 ・正則行列の性質  
 【事前・事後学習課題】 第1章の間、演習問題 レポート
- 第5回** 【授業テーマ】 2次正方行列  
 【内容・方法等】 ・逆行列の計算  
 【事前・事後学習課題】 第1章の間、演習問題 レポート
- 第6回** 【授業テーマ】 いろいろな行列  
 【内容・方法等】 ・対称行列・交代行列・ベキ零行列  
 【事前・事後学習課題】 第1章の間、演習問題 レポート
- 第7回** 【授業テーマ】 連立1次方程式(1)  
 【内容・方法等】 ・消去法  
 【事前・事後学習課題】 第2章の間、演習問題 レポート
- 第8回** 【授業テーマ】 連立1次方程式(2)  
 【内容・方法等】 ・連立1次方程式の行列表示・基本変形・階数  
 【事前・事後学習課題】 第2章の間、演習問題 レポート
- 第9回** 【授業テーマ】 連立1次方程式(3)  
 【内容・方法等】 ・基本変形の正則行列表示・掃き出し法による逆行列の求め方  
 【事前・事後学習課題】 第2章の間、演習問題 レポート
- 第10回** 【授業テーマ】 連立1次方程式(4)  
 【内容・方法等】 ・基本解・特殊解  
 【事前・事後学習課題】 第2章の間、演習問題 レポート
- 第11回** 【授業テーマ】 連立1次方程式(5)  
 【内容・方法等】 ・同次連立1次方程式・正則行列となる条件  
 【事前・事後学習課題】 第2章の間、演習問題 レポート



- 第12回 【授業テーマ】 空間のベクトル(1)  
【内容・方法等】 ・空間のベクトルの定義・和とスカラー倍  
【事前・事後学習課題】 第3章の間、演習問題 レポート
- 第13回 【授業テーマ】 空間のベクトル(2)  
【内容・方法等】 ・内積・距離  
【事前・事後学習課題】 第3章の間、演習問題 レポート
- 第14回 【授業テーマ】 空間のベクトル(3)  
【内容・方法等】 ・外積・スカラー3重積  
【事前・事後学習課題】 第3章の間、演習問題 レポート
- 第15回 【授業テーマ】 空間のベクトル(4)  
【内容・方法等】 ・直線の方程式・平面の方程式  
【事前・事後学習課題】 第3章の間、演習問題 レポート

評価方法 (基準)  
演習、小テストで約30%、定期テスト(中間、期末)で約70%判定し評価する。

教材等  
教科書…線形代数(摂南大学数学研究室)共立出版  
参考書…関連の本が沢山出版されている。図書館に所蔵されている他、数学研究室にも多数あり貸し出し可。

学生へのメッセージ  
疑問に思ったことがあれば遠慮なく質問してください。いかなる質問も大歓迎です。大学の数学は簡単ではありませんが些細なことにこだわらずに最終目標をいつも頭において勉強してください。

関連科目  
以下の科目の講義は線形代数Iの知識とスキルを前提にして授業が進められます：  
工業数学I、工業数学II、統計学、代数学、幾何学II、解析学、統計学  
上記科目を受講する予定の学生は線形代数Iを履修すること。

担当者の研究室等  
3号館3階 数学研究室

線形代数II Linear Algebra II				
黒木和雄(クロキ カズオ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	イ	後期	選択必修	2

授業概要・目的・到達目標  
行列式の計算法と行列の固有値と固有ベクトルの求め方が本講義の目的である。・到達目標(1)行列式の計算(2)固有値と固有ベクトル(3)行列の3角化と対角化  
学科の学習・教育目標との対応：[C]

授業方法と留意点  
授業ではテーマに掲げた内容を出来るだけ平易に説明する。基本的には授業の前半の60分を講義に充て、後半の30分を演習の時間に充てる。(1)演習問題は授業の前半に講義した内容から出題する。(2)期末試験の出題内容は授業中の演習問題レベルとする。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 行列式(1)  
【内容・方法等】 ・置換の定義・置換の積・置換の符号  
【事前・事後学習課題】 第4章の間、演習問題 レポート
- 第2回 【授業テーマ】 行列式(2)  
【内容・方法等】 ・行列式の定義・多重線形性・交代性  
【事前・事後学習課題】 第4章の間、演習問題 レポート
- 第3回 【授業テーマ】 行列式(3)  
【内容・方法等】 ・2次正方行列の行列式・3次正方行列の行列式  
【事前・事後学習課題】 第4章の間、演習問題 レポート
- 第4回 【授業テーマ】 行列式(4)  
【内容・方法等】 ・行列式の余因子展開  
【事前・事後学習課題】 第4章の間、演習問題 レポート
- 第5回 【授業テーマ】 行列式(5)  
【内容・方法等】 ・行列の積と行列式・逆行列をもつ条件  
【事前・事後学習課題】 第4章の間、演習問題 レポート
- 第6回 【授業テーマ】 行列式(6)  
【内容・方法等】 ・余因子行列・逆行列  
【事前・事後学習課題】 第4章の間、演習問題 レポート
- 第7回 【授業テーマ】 行列式(7)  
【内容・方法等】 ・クラメールの公式  
【事前・事後学習課題】 第4章の間、演習問題 レポート
- 第8回 【授業テーマ】 固有値と固有ベクトル(1)  
【内容・方法等】 ・固有値・固有ベクトルの計算(1)  
【事前・事後学習課題】 第5章の間、演習問題 レポート
- 第9回 【授業テーマ】 固有値と固有ベクトル(2)  
【内容・方法等】 ・固有値・固有ベクトルの計算(2)  
【事前・事後学習課題】 第5章の間、演習問題 レポート
- 第10回 【授業テーマ】 固有値と固有ベクトル(3)

- 【内容・方法等】 ・正方行列の3角化  
【事前・事後学習課題】 第5章の間、演習問題 レポート
- 第11回 【授業テーマ】 固有値と固有ベクトル(4)  
【内容・方法等】 ・フロベニウスの定理・ハミルトン・ケリーの定理  
【事前・事後学習課題】 第5章の間、演習問題 レポート

- 第12回 【授業テーマ】 固有値と固有ベクトル(5)  
【内容・方法等】 ・正方行列の対角化  
【事前・事後学習課題】 第6章の間、演習問題 レポート
- 第13回 【授業テーマ】 固有値と固有ベクトル(6)  
【内容・方法等】 ・実対称行列の対角化・直交行列  
【事前・事後学習課題】 第6章の間、演習問題 レポート

- 第14回 【授業テーマ】 固有値と固有ベクトル(7)  
【内容・方法等】 ・2次形式への応用・2次形式の符号  
【事前・事後学習課題】 第6章の間、演習問題 レポート
- 第15回 【授業テーマ】 固有値と固有ベクトル(8)  
【内容・方法等】 ・2次曲線、曲面の例  
【事前・事後学習課題】 第6章の間、演習問題 レポート

評価方法 (基準)  
演習、小テストで約30%、定期テスト(中間、期末)で約70%判定し評価する。

教材等  
教科書…線形代数(摂南大学数学研究室)共立出版  
参考書…関連の本が沢山出版されている。図書館に所蔵されている他、数学研究室にも多数あり貸し出し可。

学生へのメッセージ  
疑問に思ったことがあれば遠慮なく質問してください。いかなる質問も大歓迎です。大学の数学は簡単ではありませんが些細なことにこだわらずに最終目標をいつも頭において勉強してください。

関連科目  
以下の科目の講義は線形代数IIの知識とスキルを前提にして授業が進められます：  
工業数学I、工業数学II、統計学、代数学、幾何学II、解析学  
上記科目を受講する予定の学生は線形代数IIを履修すること。

担当者の研究室等  
3号館3階 数学研究室

線形代数II Linear Algebra II				
西脇純一(ニシワキ ジュンイチ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	ロ	後期	選択必修	2

授業概要・目的・到達目標  
線形代数は、幾何ベクトルや連立1次方程式の取り扱い方を一般化してできた理論で、理工系学生に欠くことのできない数学的教養である。到達目標1)行列の計算ができる2)ベクトルの内積・外積を理解する3)基本変形で連立1次方程式を解く4)基本変形で逆行列を求める。  
学科の学習・教育目標との対応：[C]

授業方法と留意点  
前半60分を講義、後半30分を演習、を基本とするが、進行状況により変更することもある。(1)演習は前半の講義内容から出題、終了時に回収し次回に返却する。(2)期末試験の出題内容は授業中の演習問題レベルとする。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 行列の定義(1)  
【内容・方法等】 ・和、スカラー倍  
【事前・事後学習課題】 第1章の間、演習問題 レポート
- 第2回 【授業テーマ】 行列の定義(2)  
【内容・方法等】 ・積の定義・転置行列  
【事前・事後学習課題】 第1章の間、演習問題 レポート
- 第3回 【授業テーマ】 正方行列(1)  
【内容・方法等】 ・単位行列・正則行列の定義  
【事前・事後学習課題】 第1章の間、演習問題 レポート
- 第4回 【授業テーマ】 正方行列(2)  
【内容・方法等】 ・正則行列の性質  
【事前・事後学習課題】 第1章の間、演習問題 レポート
- 第5回 【授業テーマ】 2次正方行列  
【内容・方法等】 ・逆行列の計算  
【事前・事後学習課題】 第1章の間、演習問題 レポート
- 第6回 【授業テーマ】 いろいろな行列  
【内容・方法等】 ・対称行列・交代行列・ベキ零行列  
【事前・事後学習課題】 第1章の間、演習問題 レポート
- 第7回 【授業テーマ】 連立1次方程式(1)  
【内容・方法等】 ・消去法  
【事前・事後学習課題】 第2章の間、演習問題 レポート
- 第8回 【授業テーマ】 連立1次方程式(2)  
【内容・方法等】 ・連立1次方程式の行列表示・基本変形・

- 階数
- 第9回 【事前・事後学習課題】 第2章の間、演習問題 レポート  
【授業テーマ】 連立1次方程式(3)  
【内容・方法等】 ・基本変形の正則行列表示・掃き出し法による逆行列の求め方
- 第10回 【事前・事後学習課題】 第2章の間、演習問題 レポート  
【授業テーマ】 連立1次方程式(4)  
【内容・方法等】 ・基本解・特殊解
- 第11回 【事前・事後学習課題】 第2章の間、演習問題 レポート  
【授業テーマ】 連立1次方程式(5)  
【内容・方法等】 ・同次連立1次方程式・正則行列となる条件
- 第12回 【事前・事後学習課題】 第2章の間、演習問題 レポート  
【授業テーマ】 空間のベクトル(1)  
【内容・方法等】 ・空間のベクトルの定義・和とスカラー倍
- 第13回 【事前・事後学習課題】 第3章の間、演習問題 レポート  
【授業テーマ】 空間のベクトル(2)  
【内容・方法等】 ・内積・距離
- 第14回 【事前・事後学習課題】 第3章の間、演習問題 レポート  
【授業テーマ】 空間のベクトル(3)  
【内容・方法等】 ・外積・スカラー3重積
- 第15回 【事前・事後学習課題】 第3章の間、演習問題 レポート  
【授業テーマ】 空間のベクトル(4)  
【内容・方法等】 ・直線の方程式・平面の方程式  
【事前・事後学習課題】 第3章の間、演習問題 レポート

**評価方法 (基準)**

演習、小テストで約30%、定期テスト(中間、期末)で約70%判定し評価する。

**教材等**

教科書…線形代数(摂南大学数学研究室)共立出版

参考書…関連の本が沢山出版されている。図書館に所蔵されている他、数学研究室にも多数あり貸し出し可。

**学生へのメッセージ**

疑問に思ったことがあれば遠慮なく質問してください。いかなる質問も大歓迎です。大学の数学は簡単ではありませんが些細なことにこだわらずに最終目標をいつも頭において勉強してください。

**関連科目**

以下の科目の講義は線形代数IIの知識とスキルを前提にして授業が進められます：

工業数学I、工業数学II、統計学、代数学、幾何学II、解析学

上記科目を受講する予定の学生は線形代数IIを履修すること。

**担当者の研究室等**

3号館3階 数学研究室

**工業数学I**

Applied Mathematics for Engineers I

東 武 大 (アスマ タケヒロ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

工学の分野では、法則は微分方程式で定式化され、解は積分で表現される場合が多い。また積分は種々の物理量の計算に用いられる。この講義では、まずはじめにベクトルの内積・外積等について復習及び工学への応用について学習するとともに、幾何学的な感覚を養う。そして、微分に関する話題を復習しながら、速度、加速度、典型的な物理現象に触れる。また、積分については重心・慣性モーメントを中心にその定義の物理的意味と計算技法を学ぶ。このように、物理の言葉が数学にどのように翻訳されるかを学び、数学の計算から物理現象を理解できるのだという、ささやかな経験を積むことを目標とする。

到達目標：専門基礎で用いられる数学的表現を理解すること。  
学科の学習・教育目標との対応：[C]

**授業方法と留意点**

比較的平易な内容に限定し容易に理解出来るものであるため、確実に自分のものとするよう心掛けて頂きたい。そのためには、第一に欠席をせず、毎回授業の前には復習をしておくこと、第二にどんなに些細でも不明なことは質問すること。

**科目学習の効果 (資格)**

本講義の内容は、工業数学II及び諸々の専門科目の習得に引き継がれる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 関数のグラフ  
【内容・方法等】 ・微分の図形的意味、増減凹凸表、最大最小値の計算  
【事前・事後学習課題】 演習問題
- 第2回 【授業テーマ】 最大値、最小値の計算  
【内容・方法等】 ・微分を用いた最大最小値の計算及び工学への応用

- 第3回 【事前・事後学習課題】 演習問題  
【授業テーマ】 関数の積分  
【内容・方法等】 ・種々の関数の積分の計算方法
- 第4回 【事前・事後学習課題】 演習問題  
【授業テーマ】 ベクトル(1)  
【内容・方法等】 ・ベクトルの内積の図形的意味
- 第5回 【事前・事後学習課題】 演習問題  
【授業テーマ】 ベクトル(2)  
【内容・方法等】 ・ベクトルの外積の図形的意味
- 第6回 【事前・事後学習課題】 演習問題  
【授業テーマ】 行列式の計算  
【内容・方法等】 ・種々の行列式の計算方法
- 第7回 【事前・事後学習課題】 演習問題  
【授業テーマ】 行列式の応用  
【内容・方法等】 ・平行6面体の体積の計算
- 第8回 【事前・事後学習課題】 演習問題  
【授業テーマ】 速度・加速度(1)  
【内容・方法等】 ・微分・積分を用いた速度、加速度の定義、運動方程式の記述
- 第9回 【事前・事後学習課題】 演習問題  
【授業テーマ】 速度・加速度(2)  
【内容・方法等】 ・ポテンシャル、エネルギー保存則、単振動と三角関数
- 第10回 【事前・事後学習課題】 演習問題  
【授業テーマ】 ベクトルを用いた物理量(1)  
【内容・方法等】 ・直線上の運動、投げ上げ、斜方投射への応用
- 第11回 【事前・事後学習課題】 演習問題  
【授業テーマ】 ベクトルを用いた物理量(2)  
【内容・方法等】 ・外積を用いた、角運動量と力のモーメントの記述
- 第12回 【事前・事後学習課題】 演習問題  
【授業テーマ】 重積分の計算(1)  
【内容・方法等】 ・重積分の逐次積分法
- 第13回 【事前・事後学習課題】 演習問題  
【授業テーマ】 重積分の計算(2)  
【内容・方法等】 ・ヤコビ行列を用いた変数変換
- 第14回 【事前・事後学習課題】 演習問題  
【授業テーマ】 重心と慣性モーメント(1)  
【内容・方法等】 ・重積分を用いた定義とその物理的意味
- 第15回 【事前・事後学習課題】 演習問題  
【授業テーマ】 重心と慣性モーメント(2)  
【内容・方法等】 ・種々の立体の重心と慣性モーメント、平行軸の定理

**評価方法 (基準)**

演習、小テストで30%、習熟度確認テストで35%、期末テストで35%判定し評価する。

**教材等**

教科書…「工業数学の基礎」(基礎理工学機構編)

参考書…微積分、線形代数、物理数学に関連するものは多くある。また、物理への応用については古典力学の範囲を中心に扱うので、力学の教科書も参考になると思われる。

**学生へのメッセージ**

3号館3階に数学教員がいますので数学、自然科学に関するどんな質問でも気楽においで下さい。

**関連科目**

授業は以下の科目を履修していることを前提にして進めます：  
微積分I、微積分II、線形代数I、線形代数II

**担当者の研究室等**

3号館3階 数学研究室

**工業数学II**

Applied Mathematics for Engineers II

東 武 大 (アスマ タケヒロ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

工学の分野では微分方程式はもっとも頻繁に使われている数学の1つである。講義の前半は、1階の常微分方程式の解法及び工学・自然現象への応用について学習する。そして講義の後半では2階の定数係数常微分方程式の解法・応用、及び微分方程式の数値的な解法について学習する。

到達目標は、主に質点の運動方程式を微分方程式で表して解くなど、専門科目の学習で出会う微分方程式の扱い方や解法を習得することである。

到達目標：専門基礎で用いられる数学的表現を理解すること。  
学科の学習・教育目標との対応：[C]

**授業方法と留意点**



比較的平易な内容に限定し容易に理解出来るものであるため、確実に自分のものとするよう心掛けて頂きたい。そのためには、第一に欠席をせず、毎回授業の前には復習をしておくこと、第二にどんなに些細でも不明なことは質問すること。

#### 科目学習の効果 (資格)

本講義の内容は、諸々の専門科目の習得に引き継がれる。

#### 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 微分方程式の解  
【内容・方法等】 ・微分方程式とは何か、原始関数(不定積分)と微分方程式  
【事前・事後学習課題】 教科書の演習問題
- 第2回 【授業テーマ】 1階常微分方程式(1)  
【内容・方法等】 ・変数分離形1階微分方程式の解法  
【事前・事後学習課題】 教科書の演習問題
- 第3回 【授業テーマ】 1階常微分方程式(2)  
【内容・方法等】 ・定数変化法による1階線形微分方程式の解法  
【事前・事後学習課題】 教科書の演習問題
- 第4回 【授業テーマ】 1階常微分方程式(3)  
【内容・方法等】 ・微分方程式を用いた運動方程式の記述  
【事前・事後学習課題】 教科書の演習問題
- 第5回 【授業テーマ】 1階常微分方程式(4)  
【内容・方法等】 ・空気抵抗中の運動など物理への応用  
【事前・事後学習課題】 教科書の演習問題
- 第6回 【授業テーマ】 2階定数線形微分方程式(1)  
【内容・方法等】 ・基本解・解の表示  
【事前・事後学習課題】 教科書の演習問題
- 第7回 【授業テーマ】 2階定数線形微分方程式(2)  
【内容・方法等】 ・未定係数法(1)  
【事前・事後学習課題】 教科書の演習問題
- 第8回 【授業テーマ】 2階定数線形微分方程式(3)  
【内容・方法等】 ・未定係数法(2)  
【事前・事後学習課題】 教科書の演習問題
- 第9回 【授業テーマ】 2階定数線形微分方程式(4)  
【内容・方法等】 ・未定係数法(3)  
【事前・事後学習課題】 教科書の演習問題
- 第10回 【授業テーマ】 2階定数線形微分方程式の応用(1)  
【内容・方法等】 ・2階微分方程式を用いた、単振動の運動方程式  
【事前・事後学習課題】 教科書の演習問題
- 第11回 【授業テーマ】 2階定数線形微分方程式の応用(2)  
【内容・方法等】 ・強制振動など物理への応用  
【事前・事後学習課題】 教科書の演習問題
- 第12回 【授業テーマ】 数値計算(1)  
【内容・方法等】 ・差分を用いた微分の記述、オイラー法による微分方程式の解法  
【事前・事後学習課題】 教科書の演習問題
- 第13回 【授業テーマ】 数値計算(2)  
【内容・方法等】 ・ルンゲ・クッタ法による微分方程式の解法  
【事前・事後学習課題】 教科書の演習問題
- 第14回 【授業テーマ】 総合演習  
【内容・方法等】 ・応用問題  
【事前・事後学習課題】 教科書の演習問題
- 第15回 【授業テーマ】 総合演習  
【内容・方法等】 ・応用問題  
【事前・事後学習課題】 教科書の演習問題

#### 評価方法 (基準)

演習、小テストで30%、習熟度確認テストで35%、期末テストで35%判定し評価する。

#### 教材等

教科書…「微分方程式の基礎」(基礎理工学機構編) 800円  
参考書…微積分、線形代数、微分方程式に関連するものは多くある。また、微分方程式の工学・自然現象への応用に関しては、力学の教科書も参考になると思われる。

#### 学生へのメッセージ

3号館3階に数学教員がいますので数学、自然科学に関するどんな質問でも気楽においで下さい。

#### 関連科目

授業は以下の科目を履修していることを前提に進めます：  
微積分I、微積分II、線形代数I、線形代数II、工業数学I

#### 担当者の研究室等

3号館3階 数学研究室

### 代数学 Algebra

中津了勇 (ナカツ トシオ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

#### 授業概要・目的・到達目標

抽象代数系である「群」、「環」、「体」の知識は最近の電子社会の発展に伴い、その必要性が増している。抽象代数学においては、単純な公理から驚くほどの豊富な理論が展開されるが、そのなかであって、「群」は最も基本的な代数的構造であり、自然現象のなかに現れる「対称性」を記述するのに重要な概念である。この講義では、代数的構造がどのようにして捉えられ、記述されるか、その方法を学ぶことを目的とする。「群」の定義を理解し、部分群、剰余類、正規部分群、商群、準同型定理、可換群の構造定理、群の表現について説明できることを目標とする。  
学科の学習・教育目標との対応：[C]

#### 授業方法と留意点

授業は以下の科目を履修していることを前提にして進める：

線形代数I、線形代数II、微積分I、微積分II  
毎時間の講義の内容を復習し、自分で納得するまで手と頭を動かすことを習慣づけること。授業時間の倍以上の自主学習が必要である。やむを得ず欠席した場合のフォローアップは、各自が責任をもって行うこと。

#### 科目学習の効果 (資格)

代数的構造がどのようにして捉えられ、記述される方法がわかる。

#### 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 代数的構造  
【内容・方法等】 講義内容の概略、論理、集合、写像  
【事前・事後学習課題】 教科書の予習
- 第2回 【授業テーマ】 群の定義  
【内容・方法等】 群の定義、問題演習  
【事前・事後学習課題】 教科書の予習・授業の復習課題
- 第3回 【授業テーマ】 群の例  
【内容・方法等】 対称群、巡回群、2面体群など  
【事前・事後学習課題】 教科書の予習・授業の復習課題
- 第4回 【授業テーマ】 部分群  
【内容・方法等】 部分群の定義、問題演習  
【事前・事後学習課題】 教科書の予習・授業の復習課題
- 第5回 【授業テーマ】 部分群と剰余類  
【内容・方法等】 剰余の同値律、左剰余類と右剰余類  
【事前・事後学習課題】 教科書の予習・授業の復習課題
- 第6回 【授業テーマ】 群の作用と対称性  
【内容・方法等】 2面体群(D4)の部分群と4辺形の種類、問題演習  
【事前・事後学習課題】 教科書の予習・授業の復習課題
- 第7回 【授業テーマ】 群の同型  
【内容・方法等】 同型写像、自己同型群、問題演習  
【事前・事後学習課題】 教科書の予習・授業の復習課題
- 第8回 【授業テーマ】 群の準同型  
【内容・方法等】 準同型写像、正規部分群、商群、問題演習  
【事前・事後学習課題】 教科書の予習・授業の復習課題
- 第9回 【授業テーマ】 準同型定理  
【内容・方法等】 準同型定理  
【事前・事後学習課題】 教科書の予習・授業の復習課題
- 第10回 【授業テーマ】 対称群の定義  
【内容・方法等】 対称群の定義、問題演習  
【事前・事後学習課題】 教科書の予習・授業の復習課題
- 第11回 【授業テーマ】 対称群の構造  
【内容・方法等】 対称群の共役類、問題演習  
【事前・事後学習課題】 教科書の予習・授業の復習課題
- 第12回 【授業テーマ】 可換群の構造  
【内容・方法等】 巡回群の構造、群の直積、問題演習  
【事前・事後学習課題】 教科書の予習・授業の復習課題
- 第13回 【授業テーマ】 可換群の構造定理  
【内容・方法等】 可換群の構造定理  
【事前・事後学習課題】 教科書の予習・授業の復習課題
- 第14回 【授業テーマ】 同型定理  
【内容・方法等】 同型定理とその応用  
【事前・事後学習課題】 教科書の予習・授業の復習課題
- 第15回 【授業テーマ】 群の表現  
【内容・方法等】 表現の指標、指標群、問題演習  
【事前・事後学習課題】 教科書の予習・授業の復習課題

#### 評価方法 (基準)

期末試験 60%、小テストとレポート 40% で評価する。

#### 教材等

教科書…遠山啓著「代数的構造」(ちくま学芸文庫) 1,300円  
参考書…岩永恭雄著「代数学の基礎」OD版 (日評数学選書) 3,360円 など。  
その他、関連の本が沢山出版されている。

#### 学生へのメッセージ

こまめに考え、調べ、質問して、疑問点を溜めないように心がけること。中途半端な学習では何も身に付きません。「数学」教員を目指す学生は覚悟をして受講してほしいと思います。

#### 関連科目

線形代数I、線形代数II、微積分I、微積分II

#### 担当者の研究室等

3号館3階 数学研究室

**幾何学I**  
Geometry I

小林 俊 公 (コバヤシ トシマサ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

幾何学は、公理と公準から正しい推論により導かれる命題の体系として確立された最初の学問である。三角形、四辺形、円などの図形の性質を学ぶとともに、古典幾何の形成をたどりながら、論理的に述べられた文章を理解し、論理的に考え、論理的に記述することができるようになることを目標とする。  
学科の学習・教育目標との対応：[C]

**授業方法と留意点**

講義を中心に行います。授業中は集中して、論理的な文章の理解の仕方、記述の仕方等を掴んでいってください。また毎回の課題レポートは、時間をかけて取り組むようにしましょう。論理的な文章が書けるように、練習を積んでください。

**科目学習の効果（資格）**

数学における論理を平面幾何を通じて学ぶことは、内容の異なる代数学や解析学の理解にもつながる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 推論と証明(1)  
【内容・方法等】 命題、三段論法、背理法  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第2回 【授業テーマ】 推論と証明(2)  
【内容・方法等】 命題の逆、対偶、必要十分条件  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第3回 【授業テーマ】 平面幾何の諸定理(1)  
【内容・方法等】 合同の概念、線分と角の合同  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第4回 【授業テーマ】 平面幾何の諸定理(2)  
【内容・方法等】 三角形の合同定理  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第5回 【授業テーマ】 平面幾何の諸定理(3)  
【内容・方法等】 直角の存在、垂線の存在  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第6回 【授業テーマ】 平面幾何の諸定理(4)  
【内容・方法等】 三角不等式、線分の中点、角の2等分線  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第7回 【授業テーマ】 平面幾何の諸定理(5)  
【内容・方法等】 三角形の外心、内心、重心、垂心  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第8回 【授業テーマ】 平面幾何の諸定理(6)  
【内容・方法等】 円に内接する4角形  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第9回 【授業テーマ】 平行線の公理(1)  
【内容・方法等】 三角形の内角の和  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第10回 【授業テーマ】 平行線の公理(2)  
【内容・方法等】 平行4辺形の性質、長方形の存在  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第11回 【授業テーマ】 平面幾何学の公理系(1)  
【内容・方法等】 点と直線、無定義の用語、公理  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第12回 【授業テーマ】 平面幾何学の公理系(2)  
【内容・方法等】 あらためて平行線の公理、直角仮説  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第13回 【授業テーマ】 平面幾何学の公理系(3)  
【内容・方法等】 非ユークリッド幾何  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第14回 【授業テーマ】 平面上の曲線  
【内容・方法等】 2次曲線、媒介変数表示  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第15回 【授業テーマ】 複素数平面  
【内容・方法等】 複素数による図形表示、ド・モアブルの定理  
【事前・事後学習課題】 課題レポート

**評価方法（基準）**

レポート、演習、小テストで30%、定期テストで70%の割合で判定し評価する。

**教材等**

教科書…各回ごとに数学研究室作成のプリントを配る。  
参考書…関連の本が沢山出版されている。図書館に所蔵されている他、数学研究室にも多数あり貸し出し可。

**学生へのメッセージ**

授業の中でわからないことがあれば遠慮なく質問してください。また、毎回の課題レポートでは難しいものもあるかもしれませんが、まずは「考えることに意義がある」と思って、じっくり取り組んでください。そしてできるだけ欠かさず提出することを心がけましょう。

**関連科目**

微積分 I・II、線形代数 I・II など。

担当者の研究室等  
3号館3階 数学研究室

**幾何学II**  
Geometry II

島田 伸 一 (シマダ シンイチ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

微分幾何学の見地で、日常によくみる曲面、曲線がいかに分類されているのか、その理解を目標とする。その応用として惑星の軌道が一つの平面内の2次曲線であることの定式化とその証明を行い、エネルギーとの関係を論ずる。  
学科の学習・教育目標との対応：[C]

**授業方法と留意点**

授業は以下の科目を履修していることを前提にして進める：  
線形代数I、線形代数II、微積分I、微積分II  
講義を基本とし理解度をみるため適宜演習をおこなう。また他者に説明できるまで授業内容を把握しているかもみるので出席を重視する。

**科目学習の効果（資格）**

教職科目なので教員の資格を得るためには取る事が望ましい。空間の理解に役に立ち、線形代数・微積分のみごとな応用を見る事ができる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 2次曲線 (1)  
【内容・方法等】 放物線、グラフ、標準形、準線、焦点、極形式  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第2回 【授業テーマ】 2次曲線 (2)  
【内容・方法等】 放物線の焦点の性質、接線(接空間)、微分方程式を立てて解く。  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第3回 【授業テーマ】 2次曲線 (3)  
【内容・方法等】 楕円、標準形、準線、焦点、極形式  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第4回 【授業テーマ】 2次曲線 (4)  
【内容・方法等】 楕円の焦点の性質、接線(接空間)、パラメータ表示、面積  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第5回 【授業テーマ】 2次曲線 (5)  
【内容・方法等】 双曲線、標準形、準線、焦点、極形式  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第6回 【授業テーマ】 2次曲線 (6)  
【内容・方法等】 双曲線の焦点の性質、接線(接空間)、パラメータ表示、微分方程式を立てて解く。  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第7回 【授業テーマ】 2次曲線 (7)  
【内容・方法等】 座標軸の回転と固有値  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第8回 【授業テーマ】 2次曲線 (8)  
【内容・方法等】 固有値による2次曲線の分類  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第9回 【授業テーマ】 平面の曲線 (1)  
【内容・方法等】 弧長、曲率  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第10回 【授業テーマ】 平面の曲線 (2)  
【内容・方法等】 曲率円  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第11回 【授業テーマ】 平面曲線 (3)  
【内容・方法等】 曲率と平面曲線の特徴付け、フルネセレーの公式  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第12回 【授業テーマ】 空間内の曲面 (1)  
【内容・方法等】 陰関数表示、パラメータ表示、接平面  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第13回 【授業テーマ】 空間内の曲面 (2)  
【内容・方法等】 曲面積分、曲面積、重心  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第14回 【授業テーマ】 空間内の曲面 (3)  
【内容・方法等】 平均曲率、ガウス曲率(1)  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第15回 【授業テーマ】 空間内の曲面 (4)  
【内容・方法等】 平均曲率、ガウス曲率(2)  
【事前・事後学習課題】 課題レポート

**評価方法（基準）**

レポート(宿題)で45%、期末試験55%で評価する。

**教材等**



教科書…各回ごとに数学研究室作成のプリントを配る。  
参考書…関連の本が沢山出版されている。図書館に所蔵されている他、数学研究室にも多数あり貸し出し可。

**学生へのメッセージ**

講義内容に関することはどんな事でも遠慮なく質問すること。いつでも親切に答えるようにしています。参考書を貸し出ししますので相談に来て下さい。また、スチューデントアワー(月-金の5限目)には3号館3階準備室に数学教員がいますので数学、自然科学に関するどんな質問でも気楽においで下さい。

**関連科目**

微積分Ⅰ・Ⅱ、線形代数Ⅰ・Ⅱ、幾何学Ⅰ、解析学、代数学

**担当者の研究室等**

3号館3階 数学研究室

解析学 Analysis				
伊 東 恵 一 (イトウ ケイイチ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

微積分学の厳密な展開を目標にする。理工学部初年度の微積分では計算技法の習得に主眼がおかれ、その基礎となる実数についての理解は直感にたよっている。この授業では、実数を厳密に構成しそれに基づいて連続、収束の概念の明確な理解をめざす。そして連続関数、微分可能関数のもつ重要な性質の理解、また関数の集合が与えられたときの関数族としてもつ性質についての理解を目標にする。

学科の学習・教育目標との対応：[C]

**授業方法と留意点**

授業は以下の科目を履修していることを前提にして進める：

線形代数Ⅰ、線形代数Ⅱ、微積分Ⅰ、微積分Ⅱ

講義を基本とし理解度をみるため適宜演習をおこなう。また他者に説明できるまで授業内容を把握しているかもみるので出席を重視する。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 実数の構成と性質(1)  
【内容・方法等】 論証の用語、和集合、共通部分  
有理数と実数  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第2回 【授業テーマ】 実数の構成と性質(2)  
【内容・方法等】 無限集合、濃度の比較、  
有理数の可算性と実数の非可算性  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第3回 【授業テーマ】 実数の構成と性質(3)  
【内容・方法等】 実数の連続性、実数の作る集合の性質  
限・下限、上極限・下極限、  
数列の極限、 $\varepsilon$ - $N$  論法  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第4回 【授業テーマ】 実数の構成と性質(4)  
【内容・方法等】 コーシー列、実数の完備性、  
ボルツァーノ・ワイエルシュトラスの定理  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第5回 【授業テーマ】 関数の性質(1)  
【内容・方法等】 関数の定義、関数の極限、  
関数の連続性と  $\varepsilon$ - $\delta$  論法、  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第6回 【授業テーマ】 関数の性質(2)  
【内容・方法等】 中間値の定理、最大値・最小値の存在  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第7回 【授業テーマ】 連続関数  
【内容・方法等】 逆関数の定義、合成関数の連続性、  
一様連続性、  
リプシッツ・ヘルダー連続性  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第8回 【授業テーマ】 微分と積分(1)  
【内容・方法等】 微分係数の定義、導関数の定義  
微分可能な関数の作る空間  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第9回 【授業テーマ】 微分と積分(2)  
【内容・方法等】 リーマン積分可能性と定積分、  
微積分の基本定理  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第10回 【授業テーマ】 平均値の定理とテラー展開(1)  
【内容・方法等】 ロルの定理、コーシーの平均値の定理、  
有限増分の公式  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第11回 【授業テーマ】 平均値の定理とテラー展開(2)  
【内容・方法等】 ベキ級数の収束と収束半径  
多項式近似定理

- 第12回 【事前・事後学習課題】 課題レポート  
【授業テーマ】 関数列  
【内容・方法等】 数列の収束と関数列の収束  
一様収束と各点収束、

- 第13回 【事前・事後学習課題】 課題レポート  
【授業テーマ】 関数空間  
【内容・方法等】 関数の作る空間、ノルム区間と完備性、  
アスコリ・アルツェラの定理、

- 第14回 【事前・事後学習課題】 課題レポート  
【授業テーマ】 関数方程式と関数空間(1)  
【内容・方法等】 関数方程式と関数空間  
縮小写像の原理と不動点定理

- 第15回 【事前・事後学習課題】 課題レポート  
【授業テーマ】 関数方程式と関数空間(2)  
【内容・方法等】 色々な関数方程式と解の存在  
【事前・事後学習課題】 課題レポート

**評価方法(基準)**

レポートで約30%、定期テスト(期末)で約70%判定し評価する。

**教材等**

教科書…数学研究室作成のプリントを授業ごとに配布

参考書…関連の本が沢山出版されている。図書館に所蔵されている他、数学研究室にも多数あり貸し出し可。

**学生へのメッセージ**

講義内容に関することはどんな事でも遠慮なく質問すること。いつでも親切に答えるようにしています。参考書を貸し出ししますので相談に来て下さい。また、スチューデントアワー(月-金の5限目)には3号館3階準備室に数学教員がいますので数学、自然科学に関するどんな質問でも気楽においで下さい。

**関連科目**

微積分Ⅰ・Ⅱ、線形代数Ⅰ・Ⅱ、力学、物理学など。特に微積分Ⅰ・Ⅱの修得は不可欠。

**担当者の研究室等**

3号館3階 数学研究室

物理学I Physics I				
長 島 健 (ナガシマ タケシ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

物理学は力学とともに理工系大学教育において、極めて重要な基礎科目である。授業はさまざまな物理現象を基本原理から丁寧に講義する。

物理学Ⅰでは熱、光を軸として、力学や電磁気とも関連した物理学の基礎を総合的に学ぶ。

到達目標：熱および光の性質を基本原理から習得する。

学科の学習・教育目標との対応：[C]

**授業方法と留意点**

教科書とプリントを用いて授業を行なう。また理解を深めるため、簡単な実験を行うこともある。毎回小テストを行なうが、小テストは友達と相談したり、教科書を参照してもよいので、最後まであきらめずに考えて解くこと。

**科目学習の効果(資格)**

理工系専門科目において必要不可欠な工学の基礎であり、専門で出てくる物理量の意味や相互関係の理解に役立つ。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス  
【内容・方法等】 身近なところで活躍する物理学  
【事前・事後学習課題】
- 第2回 【授業テーマ】 力とエネルギー  
【内容・方法等】 いろいろな力と力のつりあい  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題1
- 第3回 【授業テーマ】 力学と熱  
【内容・方法等】 運動とエネルギー(ジュールの実験)  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題2
- 第4回 【授業テーマ】 熱の基本的性質  
【内容・方法等】 熱の移動 比熱  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題3
- 第5回 【授業テーマ】 熱膨張  
【内容・方法等】 ボイル・シャルルの法則  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題4
- 第6回 【授業テーマ】 熱というエネルギー (1)  
【内容・方法等】 熱力学第一法則  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題5
- 第7回 【授業テーマ】 熱というエネルギー (2)  
【内容・方法等】 いろいろな熱源  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題6
- 第8回 【授業テーマ】 エネルギー

専門関連科目

- 【内容・方法等】 明るさと熱  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題7  
【授業テーマ】 光の屈折
- 第9回
- 【内容・方法等】 光ファイバーの性質  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題8  
【授業テーマ】 分光と光の干渉  
【内容・方法等】 光の色  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題9
- 第10回
- 【内容・方法等】 鏡の性質  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題10  
【授業テーマ】 光と電磁波  
【内容・方法等】 光と電磁波  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題11  
【授業テーマ】 光と電磁気学  
【内容・方法等】 家庭用電源と電池(直流と交流)  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題12
- 第11回
- 【内容・方法等】 電力の効率化とエネルギー  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題13
- 第12回
- 【授業テーマ】 まとめ  
【内容・方法等】 \_\_\_\_\_  
【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_
- 第13回
- 第14回
- 第15回

評価方法 (基準)

定期試験と小テストにより行う。  
定期試験70%、小テスト30%

教材等

教科書…「やさしい基礎物理」(森北出版) 潮秀樹、上村 洸  
(2520円):力学I・II、物理学IIと共通

参考書…

学生へのメッセージ

この授業内容は、中学や高校における「試験用の物理」とは全く異なる「専門につながる基礎」なので、苦手意識をもたずに授業にのぞんでください。

関連科目

物理学II、力学I、物理学実験

担当者の研究室等

8号館2階 長島研究室

物理学II Physics II				
前田 純一郎(マエダ ジュニイチロウ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

物理学は自然現象や理工系学部の専門科目を理解する上で、極めて重要な基礎科目であり、現代の科学技術の基礎をなしている。本講義では身近な物理現象の紹介とその成り立ちについて基本的な法則から説明する。特に、力学、熱学、光学および電磁気学に関する物理学の基本的原理や法則の相互関係を概説し、物理現象を総合的にかつ定量的に取り扱う方法を学ぶ。  
学科の学習・教育目標との対応: [C]

授業方法と留意点

教科書とプリントを用いて授業を行なう。また理解を深めるため、簡単な実験を行うこともある。毎回小テストを行なうが、小テストは友達と相談したり、教科書を参照してもよいので、最後まであきらめずに考えて解くこと。

科目学習の効果 (資格)

理工系専門科目において必要不可欠な工学の基礎であり、専門で出てくる物理量の意味や相互関係の理解に役立つ。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 身の周りの現象と物理学  
【内容・方法等】 身近なところで活躍する物理学  
【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_
- 第2回 【授業テーマ】 運動の法則  
【内容・方法等】 運動の三法則  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題1
- 第3回 【授業テーマ】 剛体の力学  
【内容・方法等】 力のモーメント  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題2
- 第4回 【授業テーマ】 電荷と力  
【内容・方法等】 力学と電気の関係:クーロンの法則  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題3
- 第5回 【授業テーマ】 電荷の運動(質点の力学)  
【内容・方法等】 ミリカンの実験・ブラウン管における電荷の運動  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題4
- 第6回 【授業テーマ】 直流と交流  
【内容・方法等】 家庭用電源と電池の原理と役割、簡単な回

- 路  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題5  
【授業テーマ】 電流と電圧(簡単な回路)  
【内容・方法等】 電圧、電流、抵抗及び消費電力について説明する  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題6
- 第7回
- 【内容・方法等】 電磁誘導(磁石と力)  
【授業テーマ】 磁石と力、モーターと発電機、剛体の運動  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題7
- 第8回
- 【授業テーマ】 電気エネルギーと熱エネルギー  
【内容・方法等】 電気エネルギーと熱エネルギーの関係および熱力学の法則  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題8
- 第9回
- 【授業テーマ】 電気・熱エネルギーと物質変化  
【内容・方法等】 電気・熱エネルギーによる物質の変化と状態の方程式  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題9
- 第10回
- 【授業テーマ】 電気・熱エネルギー変換と熱機関  
【内容・方法等】 電気・磁気と熱サイクル  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題10
- 第11回
- 【授業テーマ】 光の性質:電磁波  
【内容・方法等】 折れ曲がる電磁波と光  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題11
- 第12回
- 【授業テーマ】 光の性質:粒子  
【内容・方法等】 光の粒子性とエネルギー  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題12
- 第13回
- 【授業テーマ】 物理学とエネルギー  
【内容・方法等】 エネルギーの変換と効率化(力学、電磁気、熱、光の融合)  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題13
- 第14回
- 【授業テーマ】 原子物理とまとめ  
【内容・方法等】 原子物理の概要と物理学IIのまとめ  
【事前・事後学習課題】 復習課題14
- 第15回

評価方法 (基準)

期末試験と小テストにより行う。  
定期試験70%、小テスト30%

教材等

教科書…「やさしい基礎物理」(森北出版) 潮秀樹、上村 洸  
(2520円)

参考書…なし

学生へのメッセージ

数学や物理は単に「試験問題」と考えると難しく思われがちですが、自然現象や経験をもとに考えると難しくありません。この授業は、中学や高校における「試験用の物理」とは全く異なる「専門につながる基礎」なので、苦手意識をもたずに授業にのぞんでください。

関連科目

物理学I、物理学実験

担当者の研究室等

8号館2階 物理準備室

物理学実験 Experiments in Physics				
東 谷 篤 志(ヒガシヤ アツシ) 亀 野 晶 子(カメノ アキコ) 粟 田 功(アワタ イサオ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

この実験科目は、自然科学の基本である「物理学」を、実際の測定やデータ解析を通して理解し、さらに物理現象をより深く観察・認識する科目である。よって、いろいろな装置を活用して、一連の内容の基本的演習および計測方法を学ぶ。到達目標:以下の項目の理解を目標とする。1) 国際単位系(SI), 2) 各テーマの物理的内容, 3) 物理計測機器の取り扱い法, 4) 物理測定方法, 5) 誤差の考え方と取り扱い方。  
学科の学習・教育目標との対応: [C]

授業方法と留意点

2~3人で1つの班が編成されるが、各班は順番表に従って週に1回(2時間)の実験を行い、レポートを提出する。

科目学習の効果 (資格)

この科目では、事実・現象・測定等の実体験を通して、すじ道を立てて考える科学的な思考法を養う。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 物理学実験に向けて  
【内容・方法等】 「実験」に関するガイダンス、および有効数字、誤差についての講義を行う。  
【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_



- 第2回 【授業テーマ】 サールの装置によるヤング率の測定  
【内容・方法 等】 サールの装置を用いて、2本の針金（真ちゅう線・ピアノ線）のヤング率を求める。  
【事前・事後学習課題】 事前報告書およびレポート課題
- 第3回 【授業テーマ】 熱の仕事当量Jの測定  
【内容・方法 等】 電流の発熱作用により、熱量計の中の水の温度上昇から熱の仕事当量Jを求める。  
【事前・事後学習課題】 事前報告書およびレポート課題
- 第4回 【授業テーマ】 電子の比電荷の測定  
【内容・方法 等】 電子が磁場内で円運動する状態を観察し、電子の比電荷e/mの値を求める。  
【事前・事後学習課題】 事前報告書およびレポート課題
- 第5回 【授業テーマ】 分光実験  
【内容・方法 等】 分光計を用いて、葉緑素の光吸収スペクトルを求める。  
【事前・事後学習課題】 事前報告書およびレポート課題
- 第6回 【授業テーマ】 プランク定数の測定  
【内容・方法 等】 光電効果の現象を通して、光量子の概念を理解し、プランク（Planck）定数hの値を測定する。  
【事前・事後学習課題】 事前報告書およびレポート課題
- 第7回 【授業テーマ】 ボルダの振り子による重力加速度の測定  
【内容・方法 等】 ボルダの振り子を用いて、当実験室での重力加速度の値を求める。  
【事前・事後学習課題】 事前報告書およびレポート課題
- 第8回 【授業テーマ】 直流回路と交流回路  
【内容・方法 等】 簡単な直流回路と交流回路を通じて、その動作原理を理解し、未知の抵抗の抵抗値を求める。  
【事前・事後学習課題】 事前報告書およびレポート課題
- 第9回 【授業テーマ】 低温の世界  
【内容・方法 等】 低温では物質の性質が劇的に変化する。本実験では低温におけるさまざまな現象について体験を通して理解する。  
【事前・事後学習課題】 事前報告書およびレポート課題
- 第10回 【授業テーマ】 光の回折の実験  
【内容・方法 等】 レーザーと回折格子を用いて、回折格子の間隔と回折角との関係を調べ、回折格子の間隔の値を求める。  
【事前・事後学習課題】 事前報告書およびレポート課題
- 第11回 【授業テーマ】 ねじれ振り子による剛性率の測定  
【内容・方法 等】 ねじれ振り子の周期、金属製円環のサイズ、ピアノ線の直径等を測定し、これらの測定結果からピアノ線の剛性率を求める。  
【事前・事後学習課題】 事前報告書およびレポート課題
- 第12回 【授業テーマ】 コールラウシュブリッジによる電解質溶液の抵抗測定  
【内容・方法 等】 コールラウシュブリッジを用い、電気伝導率が既知の電解質溶液から容器定数を求め、未知の電解質溶液の電気伝導率を測定する。  
【事前・事後学習課題】 事前報告書およびレポート課題
- 第13回 【授業テーマ】 電磁波の実験  
【内容・方法 等】 電磁波に関する種々の基本的測定から、電磁波の周波数や偏向特性を調べる。  
【事前・事後学習課題】 事前報告書およびレポート課題
- 第14回 【授業テーマ】 レンズの焦点距離の測定  
【内容・方法 等】 凸レンズおよび凹レンズの焦点距離の測定法を学び、レンズの特性を理解する。  
【事前・事後学習課題】 事前報告書およびレポート課題
- 第15回 【授業テーマ】 速度と加速度  
【内容・方法 等】 ストロボ撮影により、自由落下現象を観察し、速度と加速度を理解し、重力加速度を求める。  
【事前・事後学習課題】 事前報告書およびレポート課題

#### 評価方法 (基準)

- 1) 実験は講義と異なり、皆出席を前提とする。2) レポートの提出がない場合、実験をしていないものとみなすので必ず提出すること。3) レポートの内容と理解度(50%)、測定態度と試験実験の結果(50%)の総合的な観点から評価する。

#### 教材等

教科書…物理学実験指導書  
参考書…潮秀樹、上村洗著「やさしい基礎物理」・原康夫著「第3版 物理学基礎」(学術図書出版)

#### 学生へのメッセージ

- 1) 実験は自然科学の基本です。この物理学実験でおおいに物理学を実体験して下さい。2) 質問がある場合、担当の先生に遠慮なく質問して下さい。3) 授業時間外の場合は、担当の先生の研究室へ訪ねてみて下さい。

#### 関連科目

基礎力学演習、物理学Ⅰ・Ⅱ、力学Ⅰ・Ⅱ

#### 担当者の研究室等

1号館2階 物性物理研究室(2)

## 化学実験 (Y片川、Y柳田)

Experiment in Chemistry

片川 純一(カタカワ ジュンイチ)

柳田 一夫(ヤナダ カズオ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

#### 授業概要・目的・到達目標

この化学実験は、物質を分子レベルにまで遡り、その構造や性質および化学的变化について実践的に取り扱う自然科学の基盤となる部分である。化学分野の中から、分析化学、合成化学、界面化学、化学平衡、無機化学などに関する実例を取り上げ、化学的手法に機器を取り入れて実験を行う。これにより、化学知識を深め、実験操作の方法や化学的・物理的な実験データのまとめ方および考察の仕方などを修得することを目的とする。学科の学習・教育目標との対応：[C]

#### 授業方法と留意点

配布する実験書を使って、その日の内容や実験上の注意点などを講義したのち、引き続き、講義に沿った実験をおこなう。使う機器：天秤、ホットプレート付スターラー、真空ポンプ、赤外分光光度計、紫外・可視分光光度計、屈折率計、pHメーター、遠心機、融点測定器、顕微鏡など

#### 科目学習の効果 (資格)

実験をとおして、物質に起こる変化や事象を化学の面から捉え、取り扱う技術や思考する能力を養う。

#### 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス・導入講義  
【内容・方法 等】 実験書、器具を配布し、使用する器具や試薬の名称と使用上の注意事項および実験室での心構えを説明する。  
【事前・事後学習課題】 化学を復習しておくこと。
- 第2回 【授業テーマ】 混合物の分離(1)  
【内容・方法 等】 クロマトグラフィーの原理を理解し、薄層クロマトグラフ法を用いて混合色素や混合アミノ酸を各成分に分離する方法と分離した成分を確認する方法を習得する。  
【事前・事後学習課題】 クロマトグラフィーの原理を理解する。
- 第3回 【授業テーマ】 混合物の分離(2)  
【内容・方法 等】 カラムクロマトグラフィーを用いて混合色素の分離と分取の方法を習得する。  
【事前・事後学習課題】 クロマトグラフィーについてレポートにまとめる。
- 第4回 【授業テーマ】 界面活性剤の合成  
【内容・方法 等】 植物油のけん化反応による石けんの作り方と医薬(外)品や化粧品材料として使われる高級アルコール洗剤(SDS)の合成法を習得する。  
【事前・事後学習課題】 界面活性剤の種類と合成法を学ぶ
- 第5回 【授業テーマ】 界面活性剤の性質  
【内容・方法 等】 分光光度計を用いて臨界ミセル濃度を求め、界面活性剤の洗浄効果を探る。  
【事前・事後学習課題】 界面活性剤について、レポートにまとめる。
- 第6回 【授業テーマ】 香りをつくる  
【内容・方法 等】 エステル化反応を使った香料の合成法を習得する。  
【事前・事後学習課題】 エステル化反応と香りについて学ぶ。
- 第7回 【授業テーマ】 香料の精製と確認  
【内容・方法 等】 香料を精製し、精製した香料の構造を分光光度計で確認する。  
【事前・事後学習課題】 香料についてレポートにまとめる。
- 第8回 【授業テーマ】 色をつくる  
【内容・方法 等】 クロミック材料として、注目されるアゾ色素の合成と構造の確認をする方法を学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 アゾ色素の合成法を学ぶ。
- 第9回 【授業テーマ】 色の構造と性質  
【内容・方法 等】 光照射や液性の違いで色変化を起こす化合物について、分光光度計を用いて、色変化を確認する。  
【事前・事後学習課題】 構造変化がおよぼす色の変化について、レポートにまとめる。
- 第10回 【授業テーマ】 中和滴定法を用いて溶液に溶けているものの量を求める。  
【内容・方法 等】 試液の調製と指示薬を用いる滴定  
【事前・事後学習課題】 酸や塩基の溶液および緩衝液を調製し、指示薬を使い溶液の濃度を求める。
- 第11回 【授業テーマ】 pHメーターの調整と滴定曲線の作成  
【内容・方法 等】 pH曲線の作製法、中和点の求め方、定量法などを実験から習得する。  
【事前・事後学習課題】 滴定曲線を使った定量分析法をレポートにまとめる。
- 第12回 【授業テーマ】 果物の成分分析

- 【内容・方法等】成分分析の応用として、中和滴定法を使って果物の酸度および屈折率から糖度を求める。  
**【事前・事後学習課題】** 糖度や酸度の検量線を作製し、果物の味についてレポートにまとめる。  
**第13回** 【授業テーマ】 無機定性分析  
**【内容・方法等】** よく知られている無機イオンの定性分析を行い、それらの化学的性質を学ぶ。  
**【事前・事後学習課題】** 無機イオンの化学的性質をまとめる。  
**第14回** 【授業テーマ】 無機合成実験とその確認  
**【内容・方法等】** 日常よく見かける金属を原料に錯化合物や複塩などを合成し、その性質を実験から学ぶ。  
**【事前・事後学習課題】** 無機物質についてレポートを作成する。  
**第15回** 【授業テーマ】 実験報告書の作成  
**【内容・方法等】** 実験操作や実験データの解析の仕方やまとめ方および考察の仕方などを習得する。  
**【事前・事後学習課題】** 全項目の実験報告書を完成し、提出する。

**評価方法（基準）**

全項目を実験するのを前提として、実験成果と態度を60%、レポートの内容を40%で総合的に評価し、その合計の60%以上を合格とする。  
 実験不履行の項目がある場合は評価できませんので、やむなく欠席した場合は、速やかに欠席届を提出し、期間内に補講実験を実施してもらいます。

**教材等**

教科書…「化学実験」のテキスト  
 参考書…「実験を安全に行うために」化学同人編集部編著 化学同人

**学生へのメッセージ**

化学実験は常に危険を伴うので、毎回実験を行う前にその日の実験内容や操作方法や危険な箇所などの実験上の注意点を説明します。これに遅刻することなく参加し、実験に際しては、教員の指示に従って行動してください。

**関連科目**

化学

**担当者の研究室等**

枚方キャンパス：1号館3階（薬品物性化学研究室）、枚方キャンパス：1号館2階（薬学教育研究室）

生物学I Biology I				
尾崎 清和 (オザキ キヨカズ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

人体の構造、機能および病気とともに、ヒトを含む生物の多様性、分類および生態系に関して概説する。社会人として知っておくべき生物学的な常識を身につけることを目的とする。  
 学科の学習・教育目標との対応：[C]

**授業方法と留意点**

ノート・講義方式。教科書およびビデオ教材を用い、ビジュアルに解りやすくやっていきたい。授業中に理解してしまえば、特に新たな勉強は必要ない。

**科目学習の効果（資格）**

一般教養の充実。生物・医学関連に関する記事あるいは専門書を読む際の助けとなるような知識の向上をめざす。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 オリエンテーション  
**【内容・方法等】** 授業中のルール説明・試験方法について内臓とその位置に関する理解度チェック  
**【事前・事後学習課題】** \_\_\_\_\_  
**第2回** 【授業テーマ】 体の成分、細胞の組成の理解  
**【内容・方法等】** 人の体の基礎知識  
**【事前・事後学習課題】** 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと  
**第3回** 【授業テーマ】 遺伝子の理解  
**【内容・方法等】** 遺伝子とその働き基礎知識  
**【事前・事後学習課題】** 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと  
**第4回** 【授業テーマ】 遺伝子の理解  
**【内容・方法等】** ビデオ「人体 生命の暗号を解説せよ」  
**【事前・事後学習課題】** 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと  
**第5回** 【授業テーマ】 がんの理解  
**【内容・方法等】** 腫瘍に関する基礎知識  
**【事前・事後学習課題】** 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと  
**第6回** 【授業テーマ】 がんの理解  
**【内容・方法等】** ビデオ「人体 突き止めよ、がん発生の謎」

- 【事前・事後学習課題】** 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと  
**第7回** 【授業テーマ】 循環器、体液の理解  
**【内容・方法等】** 心臓の構造と機能の基礎知識  
**【事前・事後学習課題】** 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと  
**第8回** 【授業テーマ】 循環器系の理解  
**【内容・方法等】** ビデオ「人体・心臓」  
**【事前・事後学習課題】** 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと  
**第9回** 【授業テーマ】 泌尿生殖器系の理解  
**【内容・方法等】** 尿の生成、男女の生殖器の基礎知識  
**【事前・事後学習課題】** 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと  
**第10回** 【授業テーマ】 泌尿生殖器系の理解  
**【内容・方法等】** ビデオ「人体生命誕生」  
**【事前・事後学習課題】** 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと  
**第11回** 【授業テーマ】 皮膚、感覚器系の理解  
**【内容・方法等】** 目、耳、鼻、皮膚の基礎知識  
**【事前・事後学習課題】** 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと  
**第12回** 【授業テーマ】 生物の多様性の理解  
**【内容・方法等】** 生物の系統、分類の基礎知識  
**【事前・事後学習課題】** 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと  
**第13回** 【授業テーマ】 生態系の理解  
**【内容・方法等】** 生態系、物質の循環の基礎知識  
**【事前・事後学習課題】** 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと  
**第14回** 【授業テーマ】 総括質問  
**【内容・方法等】** すべての授業内容に関する質問に答えるとともに、難解だった部分の解説を行う。  
**【事前・事後学習課題】** 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと  
**第15回** 【授業テーマ】 習熟度試験  
**【内容・方法等】** 習熟度を確認する。  
**【事前・事後学習課題】** \_\_\_\_\_

**評価方法（基準）**

小テストを50%、習熟度試験を40%および受講態度10%により判断する

**教材等**

教科書…ニューステージ「新生物図表」浜島書店（¥860）

参考書…なし

**学生へのメッセージ**

社会人としての一般教養の幅を広げる授業です。次週に小テストを実施するので十分に復習してください。

**関連科目**

なし

**担当者の研究室等**

枚方・薬学部6号館3階病理学研究室1

**備考**

なし

生物学II Biology II				
竹内 健治 (タケウチ ケンジ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

生物学は身近な学問です。生物学IIでは、細胞分裂や分化、さらにはがん化や遺伝子疾患などについて解説します。新聞やテレビニュースで報じられる生物関連の話題が理解できるように、基礎的な知識を身につけてください。  
 学科の学習・教育目標との対応：[C]

**授業方法と留意点**

教科書やプロジェクター、プリントを用いて、モデル図や写真を中心に解説します。

**科目学習の効果（資格）**

日常生活に関わりの深い生物学的学術用語に対応できる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 「生物学II」の概要  
**【内容・方法等】** 授業の方針・学習目標と、生物学IIの概略について。  
**【事前・事後学習課題】** なし  
**第2回** 【授業テーマ】 生命を支える細胞分裂  
**【内容・方法等】** 一個の受精卵からヒトの生命は出発する。  
**【事前・事後学習課題】** 授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。



- 第3回** 【授業テーマ】 細胞の分化  
 【内容・方法 等】 多細胞生物を構成する細胞は独立した役割を持つ。  
 【事前・事後学習課題】 授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
- 第4回** 【授業テーマ】 細胞のがん化  
 【内容・方法 等】 がん発生の仕組みとその原因。  
 【事前・事後学習課題】 授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
- 第5回** 【授業テーマ】 生殖の仕組み  
 【内容・方法 等】 生殖の仕組みを細胞レベルで解説します。  
 【事前・事後学習課題】 授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
- 第6回** 【授業テーマ】 アポトーシスと個体の老化  
 【内容・方法 等】 細胞数を減少させる仕組み。  
 【事前・事後学習課題】 授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
- 第7回** 【授業テーマ】 多細胞生物の自己維持機構  
 【内容・方法 等】 恒常性維持の仕組み。  
 【事前・事後学習課題】 授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
- 第8回** 【授業テーマ】 生体防御機構  
 【内容・方法 等】 免疫の仕組みと働きの基礎  
 【事前・事後学習課題】 授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
- 第9回** 【授業テーマ】 遺伝の仕組み  
 【内容・方法 等】 遺伝の仕組みと遺伝子疾患。  
 【事前・事後学習課題】 授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
- 第10回** 【授業テーマ】 ヒトの遺伝子疾患  
 【内容・方法 等】 遺伝の仕組みと遺伝子疾患。  
 【事前・事後学習課題】 授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
- 第11回** 【授業テーマ】 生物と環境が作る生態系  
 【内容・方法 等】 ヒトと環境とのかかわりの大切さ。  
 【事前・事後学習課題】 授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
- 第12回** 【授業テーマ】 環境問題  
 【内容・方法 等】 ヒトと環境とのかかわりの大切さ。  
 【事前・事後学習課題】 授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
- 第13回** 【授業テーマ】 生物の誕生と進化  
 【内容・方法 等】 種概念と生物の分類体系。  
 【事前・事後学習課題】 授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
- 第14回** 【授業テーマ】 生物の多様性  
 【内容・方法 等】 種概念と生物の分類体系。  
 【事前・事後学習課題】 授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
- 第15回** 【授業テーマ】 生命科学技術と社会  
 【内容・方法 等】 生命科学技術の概要と基礎的知識。  
 【事前・事後学習課題】 授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。

**評価方法 (基準)**

学期末試験 (60%)、小テストと課題 (25%)、授業態度 (15%) で評価する。

**教材等**

教科書…やさしい基礎生物学 南雲 保/編 羊土社 2,900円 + 税  
 参考書…適宜紹介する。

**学生へのメッセージ**

生物学IIを理解するためには、生物学Iで学んだ知識が必要です。

**関連科目**

生物学I

**担当者の研究室等**

枚方学舎 1 号館5階

力学 Dynamics I				
東 谷 篤 志 (ヒガシヤ アツシ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	X・Y	前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

物理学は現在の科学技術において基礎となる学問である。この物理学の基礎分野の大きな柱の一つである力学は、理工学部のものづくりを基本とする専門科目を理解するための必要不可欠なものとなる。力学Iでは物体の形や大きさを考慮しない質点系の運動について講義を行う。  
 到達目標：運動の記述におけるニュートンの運動方程式と運動

量・エネルギー保存則を理解する。  
 学科の学習・教育目標との対応：[C]

**授業方法と留意点**

講義は主として教科書に沿って行い、授業後にはプリントを配布する。プリントは教科書と授業を参照すれば理解できるので最後まであきらめずに考えて解くこと。

**科目学習の効果 (資格)**

今後の専門科目で出てくる物理量の意味や色々な物理量の相互関係の理解に役立つ。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 力学とは  
 【内容・方法 等】 自然科学とは何だろうかを身近な例をとって分かりやすく説明する。力学に必要な物理量や単位と次元についての説明を行う。  
 【事前・事後学習課題】 課題プリント1: 単位と次元
- 第2回** 【授業テーマ】 ベクトルの基礎  
 【内容・方法 等】 ベクトルの和・積、そして分解・合成について説明を行う。  
 【事前・事後学習課題】 課題プリント2: ベクトルと位置
- 第3回** 【授業テーマ】 ベクトルの座標表示とスカラー積  
 【内容・方法 等】 ベクトルを表示するために直交座標を導入する。そしてベクトルのスカラー積についての説明を行う。  
 【事前・事後学習課題】 課題プリント3: ベクトルとスカラー積
- 第4回** 【授業テーマ】 微分とベクトルに対する微分  
 【内容・方法 等】 力学に必要な数学的な微分を説明し、それをベクトルに拡張する。そして位置ベクトルの時間微分についての説明を行う。  
 【事前・事後学習課題】 課題プリント4: 微分
- 第5回** 【授業テーマ】 位置ベクトルの微分と速度ベクトル  
 【内容・方法 等】 平均の速度と瞬間の速度との違いを示し、位置ベクトルの微分と速度の関係の説明をする。また、速さと速度の違いについて説明を行う。  
 【事前・事後学習課題】 課題プリント5: 速度
- 第6回** 【授業テーマ】 加速度と運動の法則  
 【内容・方法 等】 速度ベクトルの微分が瞬間の加速度であることを理解するために、速度の時間的変化についての説明を行う。  
 【事前・事後学習課題】 課題プリント6: 加速度と位置ベクトル
- 第7回** 【授業テーマ】 重力  
 【内容・方法 等】 運動の三つの法則についての説明を行い、ニュートンの万有引力の法則について説明する。  
 【事前・事後学習課題】 課題プリント7: 力と重力と万有引力と重力
- 第8回** 【授業テーマ】 運動方程式  
 【内容・方法 等】 自由落下や放物線運動を基礎としてニュートンの第二法則である運動方程式の作り方を説明する。  
 【事前・事後学習課題】 課題プリント8: 運動方程式
- 第9回** 【授業テーマ】 垂直抗力と摩擦  
 【内容・方法 等】 垂直抗力と摩擦について説明し、釣り合っている状態での運動方程式を理解する。  
 【事前・事後学習課題】 中間確認プリント
- 第10回** 【授業テーマ】 ばねからの力と単振動  
 【内容・方法 等】 ばねによる単振動、さらに円運動と単振り子について説明を行う。  
 【事前・事後学習課題】 課題プリント9: 円運動と単振動
- 第11回** 【授業テーマ】 運動量と力積  
 【内容・方法 等】 運動量を定義し、衝撃力による物体の運動を理解するために、物体の運動量変化と力積についての説明を行う。また、運動量の保存則を説明する。  
 【事前・事後学習課題】 課題プリント10: 運動量と力積
- 第12回** 【授業テーマ】 仕事とエネルギー  
 【内容・方法 等】 空間と力の内積から仕事(エネルギー)を定義し、仕事移動経路に依存することを示す。  
 【事前・事後学習課題】 課題プリント11: 仕事とエネルギー
- 第13回** 【授業テーマ】 運動エネルギーと位置エネルギー  
 【内容・方法 等】 運動エネルギーと位置エネルギーについて説明を行う。さらにポテンシャルエネルギー(位置エネルギー)について説明を行う。  
 【事前・事後学習課題】 課題プリント12: 運動エネルギーと位置エネルギー
- 第14回** 【授業テーマ】 エネルギー保存則  
 【内容・方法 等】 運動エネルギーと位置エネルギーの和が保存することを説明する。  
 【事前・事後学習課題】 課題プリント13: 運動量とエネルギー保存則
- 第15回** 【授業テーマ】 まとめ  
 【内容・方法 等】 講義のまとめ  
 【事前・事後学習課題】

**評価方法 (基準)**

評価は期末試験と小テストにて行う。  
 定期試験70%、小テスト30%

**教材等**

教科書…「やさしい基礎物理」(森北出版) 潮 秀樹/上村 洸 (2520)

円)  
参考書…なし  
学生へのメッセージ  
力学Ⅰの考え方や物事の捉え方は、これから学ぶ専門科目で役に立ちますので、できるだけ授業に集中してください。また、力学Ⅰでは微分・積分の知識も必要となりますが、授業で力学Ⅰに必要な微分・積分について簡単に講義しますので、数学の苦手な方も不安にならずに履修してください。

関連科目  
微積分Ⅰ・Ⅱ、線形代数Ⅰ・Ⅱ、力学Ⅱ、物理学実験  
担当者の研究室等  
1号館2階 物性物理研究室(2)

力学Ⅱ Dynamics II				
松尾 純子 (マツオ ジュンコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標  
近代の科学技術の基礎には物理学があり、さらにその基礎には力学がある。力学は工学の基盤となる科目であり、工学部専門科目を理解する上で必要不可欠である。力学Ⅱでは、剛体の力学について学ぶ。到達目標：剛体の取り扱い方を学ぶ。  
学科の学習・教育目標との対応：[C]

授業方法と留意点  
教科書とプリントを用いて授業を行なう。また理解を深めるため、簡単な実験を行うこともある。毎回小テストを行なうが、小テストは友達と相談したり、教科書を参照してもよいので、最後まであきらめずに考えて解くこと。

科目学習の効果（資格）  
工学の基礎として、専門に出てくる物理量の意味や色々な物理量の相互関係の理解に役立つ。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 力学Ⅰの復習  
【内容・方法 等】 質点の力学について復習する。  
【事前・事後学習課題】
- 第2回 【授業テーマ】 力のモーメントの基礎  
【内容・方法 等】 てこの原理について学ぶ  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題1
- 第3回 【授業テーマ】 力のモーメントのつりあい  
【内容・方法 等】 シーソー、天秤のつりあいについて学ぶ  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題2
- 第4回 【授業テーマ】 力のモーメントと並進・回転運動  
【内容・方法 等】 並進、回転運動の静止条件から物体のつりあいについて考える  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題3
- 第5回 【授業テーマ】 重心とモーメント  
【内容・方法 等】 重心の意味を理解し、様々な図形の重心の位置を求める  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題4
- 第6回 【授業テーマ】 数学的準備(1)  
【内容・方法 等】 回転運動を表現する上で重要なラジアン表記、角速度、角加速度について学ぶ  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題5
- 第7回 【授業テーマ】 数学的準備(2)  
【内容・方法 等】 回転運動を表現する上で重要な外積について学ぶ  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題6
- 第8回 【授業テーマ】 角運動量  
【内容・方法 等】 角運動量保存則について学ぶ  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題7
- 第9回 【授業テーマ】 慣性モーメントの基礎  
【内容・方法 等】 慣性モーメントについて定性的に理解をし、慣性モーメントと角運動量の関係について学ぶ  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題8
- 第10回 【授業テーマ】 棒の慣性モーメント  
【内容・方法 等】 棒状の慣性モーメントについて説明する  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題9
- 第11回 【授業テーマ】 板の慣性モーメント  
【内容・方法 等】 板状の慣性モーメントについて説明する  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題10
- 第12回 【授業テーマ】 円盤の慣性モーメント  
【内容・方法 等】 円盤状の慣性モーメントについて説明する  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題11
- 第13回 【授業テーマ】 平行軸の定理、直行軸の定理  
【内容・方法 等】 慣性モーメントの便利な計算方法について説明する  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題12
- 第14回 【授業テーマ】 剛体の平面運動

【内容・方法 等】 剛体の一般的な運動について考える  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題13  
【授業テーマ】 剛体の力学のまとめ  
【内容・方法 等】 剛体の運動についてのまとめ  
【事前・事後学習課題】

評価方法（基準）  
評価は期末試験と小テストにて行う。  
定期試験70%、その他30%

教材等  
教科書…「やさしい基礎物理」(森北出版) 潮秀樹、上村 洸  
(2520円)：力学Ⅰと共通

参考書…なし  
学生へのメッセージ  
数学や物理は単に「試験問題」と考えると難しく思われがちですが、自然現象や経験をもとに考えると難しくありません。この授業は、中学や高校における「試験用の物理」とは全く異なる「専門につながる基礎」なので、苦手意識をもたずに授業にのぞんでください。

関連科目  
微積分Ⅰ、線形代数Ⅰ、力学Ⅰ、物理学実験  
担当者の研究室等  
8号館2階 物理準備室



英語 I a  
English I a

黒川 尚彦 (クロカワ ナオヒコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

前期に引き続き、TOEICのスコアアップの基盤作りとして、文法を中心に授業を進めます。文法が分かれば、TOEICのスコアアップにつながるだけでなく、英文を正しく理解する武器になります。そのことにより、基本的な英文を作れるようになり、英文を読むスピードを速くすることができるようになります。授業は基礎の基礎から行うので、これを機に文法を自分のものにしませう。

学科の学習・教育目標との対応：[D]

授業方法と留意点

授業では、まず基本的な文法に関する知識を学びます。次に練習問題を解いたり、英文を読むことでその知識の定着をはかります。授業の留意点として、受動的に講義を受けるのではなく、積極的に取り組むことを心がけることです。とりわけ、自分が何を理解していて、何を理解していないかを考えるようにしてください。そして、課された予習や課題にしっかり取り組んでください。

科目学習の効果 (資格)

TOEIC (特にリーディングパート) のスコアアップ

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 Course Introduction  
【内容・方法等】 授業の方針、授業の進め方、評価方法の説明など。  
【事前・事後学習課題】 単語テストの勉強
- 第2回 【授業テーマ】 Unit 8 Detective Story (1)  
【内容・方法等】 進行形  
リスニングや練習問題を通して、文法事項を理解する。  
【事前・事後学習課題】 単語テストの勉強  
文法問題の復習
- 第3回 【授業テーマ】 Unit 8 Detective Story (2)  
【内容・方法等】 進行形  
リーディングやライティングを通して、文法事項を理解する。  
【事前・事後学習課題】 単語テストの勉強  
リーディングの復習
- 第4回 【授業テーマ】 Unit 9 Career (1)  
【内容・方法等】 現在完了形  
リスニングや練習問題を通して、文法事項を理解する。  
【事前・事後学習課題】 単語テストの勉強  
文法問題の復習
- 第5回 【授業テーマ】 Unit 9 Career (2)  
【内容・方法等】 現在完了形  
リーディングやライティングを通して、文法事項を理解する。  
【事前・事後学習課題】 単語テストの勉強  
リーディングの復習
- 第6回 【授業テーマ】 Unit 10 Parties (1)  
【内容・方法等】 未来表現  
リスニングや練習問題を通して、文法事項を理解する。  
【事前・事後学習課題】 単語テストの勉強  
文法問題の復習
- 第7回 【授業テーマ】 Unit 10 Parties (2)  
【内容・方法等】 未来表現  
リーディングやライティングを通して、文法事項を理解する。  
【事前・事後学習課題】 単語テストの勉強  
リーディングの復習
- 第8回 【授業テーマ】 Unit 11 Rules and Regulations (1)  
【内容・方法等】 助動詞  
リスニングや練習問題を通して、文法事項を理解する。  
【事前・事後学習課題】 単語テストの勉強  
文法問題の復習
- 第9回 【授業テーマ】 Unit 11 Rules and Regulations (2)  
【内容・方法等】 助動詞  
リーディングやライティングを通して、文法事項を理解する。  
【事前・事後学習課題】 単語テストの勉強  
リーディングの復習
- 第10回 【授業テーマ】 Unit 12 Invention & Discovery (1)  
【内容・方法等】 受動態  
リスニングや練習問題を通して、文法事項を理解する。  
【事前・事後学習課題】 単語テストの勉強  
文法問題の復習
- 第11回 【授業テーマ】 Unit 12 Invention & Discovery (2)  
【内容・方法等】 受動態  
リーディングやライティングを通して、文法事項を理解する。

- る。  
【事前・事後学習課題】 単語テストの勉強  
リーディングの復習
- 第12回 【授業テーマ】 Unit 13 Movie Reviews  
【内容・方法等】 形容詞・副詞  
リスニングや練習問題を通して、文法事項を理解する。  
リーディングやライティングを通して、文法事項を理解する。  
【事前・事後学習課題】 単語テストの勉強  
文法問題の復習  
リーディングの復習
- 第13回 【授業テーマ】 Unit 14 World Records  
【内容・方法等】 比較級・最上級  
リスニングや練習問題を通して、文法事項を理解する。  
リーディングやライティングを通して、文法事項を理解する。  
【事前・事後学習課題】 単語テストの勉強  
文法問題の復習  
リーディングの復習
- 第14回 【授業テーマ】 Unit 15 Future Dream (1)  
【内容・方法等】 不定詞・動名詞  
リスニングや練習問題を通して、文法事項を理解する。  
【事前・事後学習課題】 単語テストの勉強  
文法問題の復習
- 第15回 【授業テーマ】 Unit 15 Future Dream (2)  
【内容・方法等】 不定詞・動名詞  
リーディングやライティングを通して、文法事項を理解する。  
【事前・事後学習課題】 単語テストの勉強  
リーディングの復習

評価方法 (基準)

統一英語単語テスト (20%)  
定期試験 (45%)、単語試験 (10%)、授業態度 (発表や取り組み姿勢など) (25%) の割合で総合的に評価する。

教材等

教科書…「English Ace」山本厚子 他 著 (成美堂, 1900円)  
「The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test」(成美堂, 1700円)  
参考書…随時指示する。

学生へのメッセージ

この授業を機に、文法を基礎からやり直しましょう！文法が分かれば、リーディングが簡単になり、スピーキングにも応用できます。何度も読んだり、書いたりことがいちばんの近道です。TOEICスコア450点以上を (まずは) 目指して、自分自身を鍛えていきましょう！

関連科目

...

担当者の研究室等

7号館2階 (非常勤講師室)

英語 I a  
English I a

ジェフリー ロバート ベル

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	B	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

この授業は英会話の基礎的スキルの向上を目的としている。授業では、日常生活や身のまわりにあるトピックを用いて、それらについて英語で意見を述べたり、自身の体験を表現する。学科の学習・教育目標との対応：「D」

授業方法と留意点

授業を欠席しないことと積極的な授業参加、これら2点が合格に要求される。授業は全て英語で行う。

科目学習の効果 (資格)

TOEIC、英検、英会話能力

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 Introduction (自己紹介)  
【内容・方法等】 オリエンテーションと自己紹介  
【事前・事後学習課題】 授業に向けて語彙と文法を勉強しておくこと。  
The 1500 Core Vocabulary p.2-p.3
- 第2回 【授業テーマ】 Textbook Unit 1: Introductions. (ユニット1: 自己紹介)  
【内容・方法等】 挨拶や自身の情報を相手に伝える会話練習を行う。文法やリスニングも行う。  
【事前・事後学習課題】 授業に向けて語彙と文法を勉強しておくこと。  
The 1500 Core Vocabulary p.4-p.5

- 第3回 【授業テーマ】 Unit 1 cont'd. (ユニット1を引き続き行う)  
【内容・方法等】 ユニット1のレビューを通じて、スピーキングだけでなく、リスニング・語彙力・読解力・ライティングスキルの向上を図る。  
【事前・事後学習課題】 授業に向けて語彙と文法を勉強しておくこと。  
The 1500 Core Vocabulary p.6 -p.7
- 第4回 【授業テーマ】 Unit 2. Focus on Daily Routine/Student Life. (ユニット2：日常生活、学生生活について)  
【内容・方法等】 what、whenなどのwhを用いた疑問文表現の練習。日常生活で使う語彙を学び、それらの語彙を用いて大学生活について話す。  
【事前・事後学習課題】 授業に向けて語彙と文法を勉強しておくこと。  
The 1500 Core Vocabulary p.8 -p.9
- 第5回 【授業テーマ】 Unit 2 cont'd. (ユニット2を引き続き行う)  
【内容・方法等】 ユニット2のレビューを通じて、スピーキングだけでなく、リスニング・語彙力・読解力・ライティングスキルの向上を図る。  
【事前・事後学習課題】 授業に向けて語彙と文法を勉強しておくこと。  
The 1500 Core Vocabulary p.10 -p.11
- 第6回 【授業テーマ】 Unit 3. Social Life & Leisure Activities. (ソーシャルライフや娯楽について)  
【内容・方法等】 可能表現 (Can/Can't) とlike+動詞の使い方の練習。スポーツに関する語彙を学び、会話する。  
【事前・事後学習課題】 授業に向けて語彙と文法を勉強しておくこと。  
The 1500 Core Vocabulary p.12 -p.13
- 第7回 【授業テーマ】 Unit 3 cont'd. (ユニット3を引き続き行う)  
【内容・方法等】 ユニット3のレビューを通じて、スピーキングだけでなく、リスニング・語彙力・読解力・ライティングスキルの向上を図る。  
【事前・事後学習課題】 授業に向けて語彙と文法を勉強しておくこと。  
The 1500 Core Vocabulary p.14 -p.15
- 第8回 【授業テーマ】 Units 1-3 Review Game. (ユニット1～3のレビュー)  
Unit 4 Hometowns & Neighborhoods. (ユニット4：ホームタウン&近所)  
【内容・方法等】 リスニングと言葉のチェック。形容詞の使い方を学ぶ。スピーキングの練習を行う。  
【事前・事後学習課題】 授業に向けて語彙と文法を勉強しておくこと。  
The 1500 Core Vocabulary p.16 -p.17
- 第9回 【授業テーマ】 Unit 4 cont'd. (ユニット4を引き続き行う)  
【内容・方法等】 ユニット4のレビューを通じて、スピーキングだけでなく、リスニング・語彙力・読解力・ライティングスキルの向上を図る。  
【事前・事後学習課題】 授業に向けて語彙と文法を勉強しておくこと。  
The 1500 Core Vocabulary p.18 -p.19
- 第10回 【授業テーマ】 Unit 5. Getting Around Town. (町を移動する)  
【内容・方法等】 道を尋ねる、教える方法を学ぶ。お店に関する語彙を学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 授業に向けて語彙と文法を勉強しておくこと。  
The 1500 Core Vocabulary p.20 -p.21
- 第11回 【授業テーマ】 Unit 5 cont'd. (ユニット5を引き続き行う)  
【内容・方法等】 ユニット5のレビューを通じて、スピーキングだけでなく、リスニング・語彙力・読解力・ライティングスキルの向上を図る。  
【事前・事後学習課題】 授業に向けて語彙と文法を勉強しておくこと。  
The 1500 Core Vocabulary p.22 -p.23
- 第12回 【授業テーマ】 Unit 6. Shopping. (ショッピング)  
【内容・方法等】 値段を調べる方法を学ぶ (How much is...?), お店に関する質問 (How do you spend your money?)  
【事前・事後学習課題】 授業に向けて語彙と文法を勉強しておくこと。  
The 1500 Core Vocabulary p.24 -p.25
- 第13回 【授業テーマ】 Unit 6 cont'd. (ユニット6を引き続き行う)  
【内容・方法等】 ユニット6のレビューを通じて、スピーキングだけでなく、リスニング・語彙力・読解力・ライティングスキルの向上を図る。  
【事前・事後学習課題】 授業に向けて語彙と文法を勉強しておくこと。  
The 1500 Core Vocabulary p.26 -p.27
- 第14回 【授業テーマ】 Units 4-6 Review Game. (ユニット4～6のレビュー)  
【内容・方法等】 リスニングとスピーキングのチェック。最終授業で行うテストの準備  
【事前・事後学習課題】 授業に向けて語彙と文法を勉強しておく

- くこと。  
第15回 【授業テーマ】 Test of units 1 - 6 (ユニット1～6のテスト)  
【内容・方法等】 Test of units 1 - 6 (ユニット1～6のテスト)  
【事前・事後学習課題】 前期末テストの勉強  
評価方法 (基準)  
統一英語単語テスト20%、定期試験や平常点80%
- 教材等  
教科書…教科書・Breakthrough: Success With English (Macmillan) ISBN 978-4-7773-6128-1  
参考書…辞書
- 学生へのメッセージ  
この授業は日常生活で英語を使うことができる手助けとなるでしょう。
- 関連科目  
なし
- 担当者の研究室等  
7号館2階 非常勤講師室

英語Ⅱ  
English I

黒川尚彦(クロカワ ナオヒコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

前期に引き続き、TOEICのスコアアップの基盤作りとして、文法を中心に授業を進めます。文法が分かれば、TOEICのスコアアップにつながるだけでなく、英文を正しく理解する武器になります。そのことにより、基本的な英文を作れるようになり、英文を読むスピードを速くすることができるようになります。授業は基礎の基礎から行うので、これを機に文法を自分のものにしましょう。  
学科の学習・教育目標との対応：[D]

授業方法と留意点

授業では、まず基本的な文法に関する知識を学びます。次に練習問題を解いたり、英文を読むことでその知識の定着をはかります。授業の留意点として、受動的に講義を受けるのではなく、積極的に取り組むことを心がけることです。とりわけ、自分が何を理解していて、何を理解していないかを考えるようにしてください。そして、課された予習や課題にしっかり取り組んでください。

科目学習の効果(資格)

TOEIC (特にリーディングパート) のスコアアップ

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 Course Introduction  
【内容・方法等】 授業の方針、授業の進め方、評価方法の説明など。  
【事前・事後学習課題】 単語テストの勉強
- 第2回 【授業テーマ】 Unit 8 Detective Story (1)  
【内容・方法等】 進行形  
リスニングや練習問題を通して、文法事項を理解する。  
【事前・事後学習課題】 単語テストの勉強  
文法問題の復習
- 第3回 【授業テーマ】 Unit 8 Detective Story (2)  
【内容・方法等】 進行形  
リーディングやライティングを通して、文法事項を理解する。  
【事前・事後学習課題】 単語テストの勉強  
リーディングの復習
- 第4回 【授業テーマ】 Unit 9 Career (1)  
【内容・方法等】 現在完了形  
リスニングや練習問題を通して、文法事項を理解する。  
【事前・事後学習課題】 単語テストの勉強  
文法問題の復習
- 第5回 【授業テーマ】 Unit 9 Career (2)  
【内容・方法等】 現在完了形  
リーディングやライティングを通して、文法事項を理解する。  
【事前・事後学習課題】 単語テストの勉強  
リーディングの復習
- 第6回 【授業テーマ】 Unit 10 Parties (1)  
【内容・方法等】 未来表現  
リスニングや練習問題を通して、文法事項を理解する。  
【事前・事後学習課題】 単語テストの勉強  
文法問題の復習
- 第7回 【授業テーマ】 Unit 10 Parties (2)  
【内容・方法等】 未来表現  
リーディングやライティングを通して、文法事項を理解する。



- 【事前・事後学習課題】** 単語テストの勉強  
リーディングの復習
- 第8回** **【授業テーマ】** Unit 11 Rules and Regulations (1)  
**【内容・方法 等】** 助動詞  
リスニングや練習問題を通して、文法事項を理解する。  
**【事前・事後学習課題】** 単語テストの勉強  
文法問題の復習
- 第9回** **【授業テーマ】** Unit 11 Rules and Regulations (2)  
**【内容・方法 等】** 助動詞  
リーディングやライティングを通して、文法事項を理解する。  
**【事前・事後学習課題】** 単語テストの勉強  
リーディングの復習
- 第10回** **【授業テーマ】** Unit 12 Invention & Discovery (1)  
**【内容・方法 等】** 受動態  
リスニングや練習問題を通して、文法事項を理解する。  
**【事前・事後学習課題】** 単語テストの勉強  
文法問題の復習
- 第11回** **【授業テーマ】** Unit 12 Invention & Discovery (2)  
**【内容・方法 等】** 受動態  
リーディングやライティングを通して、文法事項を理解する。  
**【事前・事後学習課題】** 単語テストの勉強  
リーディングの復習
- 第12回** **【授業テーマ】** Unit 13 Movie Reviews  
**【内容・方法 等】** 形容詞・副詞  
リスニングや練習問題を通して、文法事項を理解する。  
リーディングやライティングを通して、文法事項を理解する。  
**【事前・事後学習課題】** 単語テストの勉強  
文法問題の復習  
リーディングの復習
- 第13回** **【授業テーマ】** Unit 14 World Records  
**【内容・方法 等】** 比較級・最上級  
リスニングや練習問題を通して、文法事項を理解する。  
リーディングやライティングを通して、文法事項を理解する。  
**【事前・事後学習課題】** 単語テストの勉強  
文法問題の復習  
リーディングの復習
- 第14回** **【授業テーマ】** Unit 15 Future Dream (1)  
**【内容・方法 等】** 不定詞・動名詞  
リスニングや練習問題を通して、文法事項を理解する。  
**【事前・事後学習課題】** 単語テストの勉強  
文法問題の復習
- 第15回** **【授業テーマ】** Unit 15 Future Dream (2)  
**【内容・方法 等】** 不定詞・動名詞  
リーディングやライティングを通して、文法事項を理解する。  
**【事前・事後学習課題】** 単語テストの勉強  
リーディングの復習

**評価方法 (基準)**  
統一英語単語テスト (20%)  
定期試験 (45%)、単語試験 (10%)、授業態度 (発表や取り組み姿勢など) (25%) の割合で総合的に評価する。

**教材等**  
**教科書**…『English Ace』山本厚子 他 著 (成美堂, 1900円)  
『The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test』(成美堂, 1700円)  
**参考書**…随時指示する。

**学生へのメッセージ**  
この授業を機に、文法を基礎からやり直しましょう！文法が分かれば、リーディングが簡単になり、スピーキングにも応用できます。  
何度も読んで、書いたりことがいちばんの近道です。TOEICスコア450点以上を (まずは) 目指して、自分自身を鍛えていきましょう！

**関連科目**  
・・・

**担当者の研究室等**  
7号館2階 (非常勤講師室)

英語I b English I				
ジェフリー ロバート ベル				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	B	後期	選択	1

**授業概要・目的・到達目標**  
この授業は英会話の基礎的スキルの向上を目的としている。授

業では、日常生活や身のまわりにあるトピックを用いて、それらについて英語で意見を述べたり、自身の体験を表現する。学科の学習・教育目標との対応：「D」

**授業方法と留意点**  
授業を欠席しないことと積極的な授業参加、これら2点が合格に要求される。授業は全て英語で行う。

**科目学習の効果 (資格)**  
TOEIC, 英検, 英会話能力

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

**第1回** **【授業テーマ】** Introduction (自己紹介)  
**【内容・方法 等】** オリエンテーションと自己紹介  
**【事前・事後学習課題】** 授業に向けて語彙と文法を勉強しておくこと。

The 1500 Core Vocabulary p.2 -p.3  
**第2回** **【授業テーマ】** Textbook Unit 1: Introductions. (ユニット1: 自己紹介)  
**【内容・方法 等】** 挨拶や自身の情報を相手に伝える会話練習を行う。文法やリスニングも行う。  
**【事前・事後学習課題】** 授業に向けて語彙と文法を勉強しておくこと。

The 1500 Core Vocabulary p.4 -p.5  
**第3回** **【授業テーマ】** Unit 1 cont'd. (ユニット1を引き続き行う)  
**【内容・方法 等】** ユニット1のレビューを通じて、スピーキングだけでなく、リスニング・語彙力・読解力・ライティングスキルの向上を図る。  
**【事前・事後学習課題】** 授業に向けて語彙と文法を勉強しておくこと。

The 1500 Core Vocabulary p.6 -p.7  
**第4回** **【授業テーマ】** Unit 2. Focus on Daily Routine/Student Life. (ユニット2: 日常生活、学生生活について)  
**【内容・方法 等】** what, whenなどのwhを用いた疑問文表現の練習。日常生活で使う語彙を学び、それらの語彙を用いて大学生活について話す。  
**【事前・事後学習課題】** 授業に向けて語彙と文法を勉強しておくこと。

The 1500 Core Vocabulary p.8 -p.9  
**第5回** **【授業テーマ】** Unit 2 cont'd. (ユニット2を引き続き行う)  
**【内容・方法 等】** ユニット2のレビューを通じて、スピーキングだけでなく、リスニング・語彙力・読解力・ライティングスキルの向上を図る。  
**【事前・事後学習課題】** 授業に向けて語彙と文法を勉強しておくこと。

The 1500 Core Vocabulary p.10 -p.11  
**第6回** **【授業テーマ】** Unit 3. Social Life & Leisure Activities. (ソーシャルライフや娯楽について)  
**【内容・方法 等】** 可能表現 (Can/Can't) とlike+動詞の使い方の練習。スポーツに関する語彙を学び、会話する。  
**【事前・事後学習課題】** 授業に向けて語彙と文法を勉強しておくこと。

The 1500 Core Vocabulary p.12 -p.13  
**第7回** **【授業テーマ】** Unit 3 cont'd. (ユニット3を引き続き行う)  
**【内容・方法 等】** ユニット3のレビューを通じて、スピーキングだけでなく、リスニング・語彙力・読解力・ライティングスキルの向上を図る。  
**【事前・事後学習課題】** 授業に向けて語彙と文法を勉強しておくこと。

The 1500 Core Vocabulary p.14 -p.15  
**第8回** **【授業テーマ】** Units 1-3 Review Game. (ユニット1~3のレビュー)  
Unit 4 Hometowns & Neighborhoods. (ユニット4: ホームタウン&近所)  
**【内容・方法 等】** リスニングと言葉のチェック。形容詞の使い方を学ぶ。スピーキングの練習を行う。  
**【事前・事後学習課題】** 授業に向けて語彙と文法を勉強しておくこと。

The 1500 Core Vocabulary p.16 -p.17  
**第9回** **【授業テーマ】** Unit 4 cont'd. (ユニット4を引き続き行う)  
**【内容・方法 等】** ユニット4のレビューを通じて、スピーキングだけでなく、リスニング・語彙力・読解力・ライティングスキルの向上を図る。  
**【事前・事後学習課題】** 授業に向けて語彙と文法を勉強しておくこと。

The 1500 Core Vocabulary p.18 -p.19  
**第10回** **【授業テーマ】** Unit 5. Getting Around Town. (町を移動する)  
**【内容・方法 等】** 道を尋ねる、教える方法を学ぶ。お店に関する語彙を学ぶ。  
**【事前・事後学習課題】** 授業に向けて語彙と文法を勉強しておくこと。

The 1500 Core Vocabulary p.20 -p.21  
**第11回** **【授業テーマ】** Unit 5 cont'd. (ユニット5を引き続き行う)  
**【内容・方法 等】** ユニット5のレビューを通じて、スピーキングだけでなく、リスニング・語彙力・読解力・ライティングスキルの向上を図る。  
**【事前・事後学習課題】** 授業に向けて語彙と文法を勉強しておくこと。

- くこと。  
The 1500 Core Vocabulary p.22 -p.23
- 第12回 【授業テーマ】 Unit 6. Shopping. (ショッピング)  
【内容・方法 等】 値段を調べる方法を学ぶ (How much is...?), お店に関する質問 (How do you spend your money?)  
【事前・事後学習課題】 授業に向けて語彙と文法を勉強しておくこと。
- The 1500 Core Vocabulary p.24 -p.25
- 第13回 【授業テーマ】 Unit 6 cont'd. (ユニット6を引き続き行う)  
【内容・方法 等】 ユニット6のレビューを通じて、スピーキングだけでなく、リスニング・語彙力・読解力・ライティングスキルの向上を図る。  
【事前・事後学習課題】 授業に向けて語彙と文法を勉強しておくこと。
- The 1500 Core Vocabulary p.26 -p.27
- 第14回 【授業テーマ】 Units 4-6 Review Game. (ユニット4～6のレビュー)  
【内容・方法 等】 リスニングとスピーキングのチェック。最終授業で行うテストの準備  
【事前・事後学習課題】 授業に向けて語彙と文法を勉強しておくこと。
- 第15回 【授業テーマ】 Test of units 1 - 6 (ユニット1～6のテスト)  
【内容・方法 等】 Test of units 1 - 6 (ユニット1～6のテスト)  
【事前・事後学習課題】 前期末テストの勉強
- 評価方法 (基準)  
統一英語単語テスト20%、定期試験や平常点80%
- 教材等  
教科書…教科書・Breakthrough: Success With English (Macmillan) ISBN 978-4-7773-6128-1  
参考書…辞書
- 学生へのメッセージ  
この授業は日常生活で英語を使うことができる手助けとなるでしょう。
- 関連科目  
なし
- 担当者の研究室等  
7号館2階 非常勤講師室

英語I d  
English I d

玉木 晋太 (タマキ シンタ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

この授業の目的は、読解力、語彙、英作の基礎力を身につけることです。毎回スポーツやテクノロジーなど幅広いトピックについて書かれた英文を読んでいきます。これを通して、英文の内容を楽しむと同時に構文や文法をチェックし、徐々に読解力を身につけるようにしましょう。高校レベルの文法、TOEIC Bridgeレベルの読解力の修得を到達目標とします。  
学科の学習・教育目標との対応：[D]

授業方法と留意点

毎回最初に単語集から単語テストを行います。構文やイディオムをチェックしながら本文を精読します。個人個人にあてて訳をしていくので、必ず予習しておくことが大切です。また授業で説明する構文やイディオムは、必ずメモを取り復習に役立ててください。

科目学習の効果 (資格)

読解、文法、語彙の基礎力をつけることでTOEICなどのテストに対応できるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション  
【内容・方法 等】 授業の進め方・注意事項の説明  
【事前・事後学習課題】 テキストを入手しておくこと。  
次回授業の準備 (特に単語調べ) をしておくこと。
- 第2回 【授業テーマ】 Unit 4, 5  
【内容・方法 等】 文型 (第1・2・3・4)  
単語テストの範囲：(201-215)-以下( )内に示す  
【事前・事後学習課題】 同上
- 第3回 【授業テーマ】 Unit 8, 9  
【内容・方法 等】 文型 (第5)  
(216-230)  
【事前・事後学習課題】 同上
- 第4回 【授業テーマ】 Unit 6  
【内容・方法 等】 進行相  
(231-245)  
【事前・事後学習課題】 同上

- 第5回 【授業テーマ】 Unit 7  
【内容・方法 等】 受動態  
(246-260)  
【事前・事後学習課題】 同上
- 第6回 【授業テーマ】 Unit 10  
【内容・方法 等】 完了相  
(261-275)  
【事前・事後学習課題】 同上
- 第7回 【授業テーマ】 Unit 11  
【内容・方法 等】 動名詞  
(276-290)  
【事前・事後学習課題】 同上
- 第8回 【授業テーマ】 Unit 12  
【内容・方法 等】 不定詞I  
(291-305)  
【事前・事後学習課題】 同上
- 第9回 【授業テーマ】 Unit 13  
【内容・方法 等】 不定詞II  
(306-320)  
【事前・事後学習課題】 同上
- 第10回 【授業テーマ】 Unit 14  
【内容・方法 等】 分詞  
(321-335)  
【事前・事後学習課題】 同上
- 第11回 【授業テーマ】 Unit 16  
【内容・方法 等】 分詞構文  
(336-350)  
【事前・事後学習課題】 同上
- 第12回 【授業テーマ】 Unit 17  
【内容・方法 等】 関係代名詞  
(351-365)  
【事前・事後学習課題】 同上  
統一単語テストに向けて今までの復習をしっかりとしておくこと
- 第13回 【授業テーマ】 Unit 18  
【内容・方法 等】 関係副詞  
(366-380)  
【事前・事後学習課題】 同上  
統一単語テストに向けて今後の範囲の予習をしっかりとしておくこと
- 第14回 【授業テーマ】 Unit 21  
【内容・方法 等】 仮定法  
(381-395)  
【事前・事後学習課題】 同上
- 第15回 【授業テーマ】 復習  
【内容・方法 等】 対試験用復習  
(396-400)  
【事前・事後学習課題】 同上
- 評価方法 (基準)  
TOEIC Bridge 20%、統一英語単語テスト10%、平常点(小テスト、授業態度、発表)30%、定期試験40%で総合的に評価する。
- 教材等  
教科書…First Voyage From Grammar to Reading (南雲堂)  
The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test (成美堂)  
参考書…英和・和英辞書 (電子辞書)
- 学生へのメッセージ  
毎回予習しておくことが大切です。ぜひ積極的にTOEICを受験してみましょう。副読本付随のe-learning教材を活用して自習にも努めてください。
- 関連科目  
すべての英語科目
- 担当者の研究室等  
7号館2階(非常勤講師室)

英語I d  
English I d

西 美都子 (ニシ ミツコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	B	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

大学初年度の学生が必ず身につけておくべき基本的な語彙力、読解力を養います。「英語を知っている」と、「英語が使える」ことは別物です。今まで習った中高レベルの復習を行いながら、使える英語の習得を目指します。最初の授業で次回の予習や単語テスト範囲、授業の進め方を説明するので履修を考えている人は出席すること  
学科の学習・教育目標との対応：「D」

授業方法と留意点



教科書の他にプリントを用いながら英語の定着を図っていきます。  
 単語集の中から毎週、単語テストを行います。  
 リスニングができるようになるためには、音と意味が一致しなければなりません。そのため、毎回音読活動を取り入れます。

**科目学習の効果（資格）**

英検・TOEICテストのスコアアップなど

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 本講義に関するガイダンス  
 【内容・方法 等】 注意事項、授業に関する説明。  
 【事前・事後学習課題】 指定のテキストを購入しておくこと  
 単語範囲: 201-240
- 第2回 【授業テーマ】 人を迎える時の表現について  
 【内容・方法 等】 単語テスト、文法、リスニング演習、音読  
 【事前・事後学習課題】 単語範囲: 241-280、復習
- 第3回 【授業テーマ】 人を紹介するときの表現について  
 【内容・方法 等】 単語テスト、文法、リスニング演習、音読  
 【事前・事後学習課題】 単語範囲: 281-320、復習
- 第4回 【授業テーマ】 仕事を尋ねる表現について  
 【内容・方法 等】 単語テスト、文法、リスニング演習、音読  
 【事前・事後学習課題】 単語範囲: 321-360、復習
- 第5回 【授業テーマ】 説明する表現について  
 【内容・方法 等】 単語テスト、文法、リスニング演習、音読  
 【事前・事後学習課題】 単語範囲: 361-400、復習
- 第6回 【授業テーマ】 謝罪する表現について  
 【内容・方法 等】 単語テスト、文法、リスニング演習、音読  
 【事前・事後学習課題】 単語範囲: 201-400、復習
- 第7回 【授業テーマ】 意向を尋ねる表現について  
 【内容・方法 等】 単語テスト、文法、リスニング演習、音読  
 【事前・事後学習課題】 単語範囲: 201-240、復習
- 第8回 【授業テーマ】 自己紹介の中間発表  
 【内容・方法 等】 単語テスト、文法、リスニング演習、音読  
 【事前・事後学習課題】 単語範囲: 241-280、復習
- 第9回 【授業テーマ】 場所や時間を尋ねる表現について  
 【内容・方法 等】 単語テスト、文法、リスニング演習、音読  
 【事前・事後学習課題】 単語範囲: 281-320、復習
- 第10回 【授業テーマ】 依頼する表現について  
 【内容・方法 等】 単語テスト、文法、リスニング演習、音読  
 【事前・事後学習課題】 単語範囲: 321-360、復習
- 第11回 【授業テーマ】 使い方を説明する表現について  
 【内容・方法 等】 単語テスト、文法、リスニング演習、音読  
 【事前・事後学習課題】 単語範囲: 361-400、復習
- 第12回 【授業テーマ】 相談する表現について  
 【内容・方法 等】 単語テスト、文法、リスニング演習、音読  
 【事前・事後学習課題】 単語範囲: 201-400、復習
- 第13回 【授業テーマ】 励ます表現について  
 【内容・方法 等】 単語テスト、文法、リスニング演習、音読  
 【事前・事後学習課題】 復習
- 第14回 【授業テーマ】 電話で聞き返す/確認する表現について  
 【内容・方法 等】 単語テスト、文法、リスニング演習、音読  
 【事前・事後学習課題】 復習
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ  
 【内容・方法 等】 これまでの復習や質問など  
 【事前・事後学習課題】 定期試験に向けて勉強

**評価方法（基準）**

共通試験 = 30% (TOEICブリッジ20%、単語試験10%)  
 平常点、単語テスト、定期試験を総合的に評価する (70%)

**教材等**

教科書…「Let's Read Aloud & Learn English」(成美堂)  
 2200円+税  
 「The Core Vocabulary for the TOEIC Test」(成美堂)  
 1700円、プリント

参考書…参考書・英和辞典あるいは電子辞書持参が望ましい。

**学生へのメッセージ**

何事も日々の努力の積み重ねによって成せるものです。全ての授業が終わって、何をえられるのかは、個人個人の努力量によって異なります。できる限り多くのものが得られるようにしましょう。

**関連科目**

すべての英語科目

**担当者の研究室等**

7号館2階 非常勤講師室

英語 Ie English Ie				
玉木 晋太 (タマキ シンタ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A	後期	選択	1

**授業概要・目的・到達目標**

この授業の目的は、読解力、語彙、英作の基礎力を身につけることです。毎回幅広いトピックについて書かれた英文を読んでいきます。これを通して、英文の内容を楽しむと同時に構文や文法をチェックし、徐々に読解力を身につけるようにしましょう。高校レベルの文法、TOEIC Bridgeレベルの読解力の修得を到達目標とします。

学科の学習・教育目標との対応: [D]

**授業方法と留意点**

毎回最初に単語集から単語テストを行います。授業は、構文やイディオムをチェックしながら本文を精読します。本文訳は学生個人個人にってもらうので、必ず予習しておくことが大切です。また授業で説明する構文やイディオムは、必ずメモを取り復習に役立ててください。

**科目学習の効果（資格）**

読解、文法、語彙の基礎力を身につけることでTOEICなどのテストに対応できるようになる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション  
 【内容・方法 等】 授業の進め方・注意事項の説明  
 【事前・事後学習課題】 テキストを購入しておくこと  
 次回の授業範囲の単語を調べておくこと
- 第2回 【授業テーマ】 Unit 1  
 【内容・方法 等】 Cruelty of Strangers  
 単語テストの範囲: (601-615)-以下( )内に示す  
 【事前・事後学習課題】 同上
- 第3回 【授業テーマ】 Unit 2  
 【内容・方法 等】 Fertility Now  
 (616-630)  
 【事前・事後学習課題】 同上
- 第4回 【授業テーマ】 Unit 3  
 【内容・方法 等】 Crime and Punishment  
 (631-645)  
 【事前・事後学習課題】 同上
- 第5回 【授業テーマ】 Unit 4  
 【内容・方法 等】 Gambling  
 (646-660)  
 【事前・事後学習課題】 同上
- 第6回 【授業テーマ】 Unit 5  
 【内容・方法 等】 Education  
 (661-675)  
 【事前・事後学習課題】 同上
- 第7回 【授業テーマ】 Unit 6  
 【内容・方法 等】 The Disabled  
 (676-690)  
 【事前・事後学習課題】 同上
- 第8回 【授業テーマ】 Unit 7  
 【内容・方法 等】 Marriage  
 (691-705)  
 【事前・事後学習課題】 同上
- 第9回 【授業テーマ】 Unit 8  
 【内容・方法 等】 Immigrants  
 (706-720)  
 【事前・事後学習課題】 同上
- 第10回 【授業テーマ】 Unit 9  
 【内容・方法 等】 Gender  
 (721-735)  
 【事前・事後学習課題】 同上
- 第11回 【授業テーマ】 Unit 10  
 【内容・方法 等】 Globalization  
 (736-750)  
 【事前・事後学習課題】 同上
- 第12回 【授業テーマ】 Unit 11  
 【内容・方法 等】 Sex Education  
 (751-765)  
 【事前・事後学習課題】 同上  
 統一単語テストに向けて今までの範囲の復習をしっかりとすること
- 第13回 【授業テーマ】 Unit 12  
 【内容・方法 等】 Cults  
 (766-780)  
 【事前・事後学習課題】 同上  
 統一単語テストに向けて今後の範囲の予習をしっかりとすること
- 第14回 【授業テーマ】 Unit 13  
 【内容・方法 等】 Prostitution  
 (781-795)  
 【事前・事後学習課題】 同上
- 第15回 【授業テーマ】 Unit 14  
 【内容・方法 等】 Strange Brains  
 (796-800)  
 【事前・事後学習課題】 同上

**評価方法（基準）**

統一英語単語テスト20%、平常点(小テスト、授業態度、発表)40%、定期試験40%で総合的に評価する。

教材等

教科書…Burnig Issues (松柏社)  
The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test(成美堂)

参考書…英和辞書 (電子辞書)

学生へのメッセージ

毎回予習しておくことが大切です。ぜひ積極的にTOEICを受験してみましょう。副読本付随のe-learning教材を活用して自習にも努めてください。

関連科目

すべての英語科目

担当者の研究室等

7号館2階(非常勤講師室)

英語I e English Ie				
西 美都子 (ニシ ミツコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	B	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

前期に引き続き、大学初年度の学生が必ず身につけておくべき基本的な語彙力、読解力を養います。「英語を知っている」と、「英語が使える」とは別物です。今まで習った中高レベルの復習を行いながら、使える英語の習得を目指します。最初の授業で次回の予習や単語テスト範囲、授業の進め方を説明するので履修を考えている人は出席すること。学科の学習・教育目標との対応：[D]

授業方法と留意点

教科書の他にプリントを用いながら英語の定着を図っていきます。単語集の中から毎週、単語テストを行います。リスニングができるようになるためには、音と意味が一致しなければなりません。そのため、毎回音読活動を取り入れます。

科目学習の効果 (資格)

英検・TOEICテストのスコアアップなど

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 本講義に関するガイダンス  
【内容・方法等】 注意事項、授業に関する説明。  
【事前・事後学習課題】 指定のテキストを購入しておくこと  
単語範囲：601-640
- 第2回 【授業テーマ】 指示する表現について  
【内容・方法等】 単語テスト、文法、リスニング演習、音読  
【事前・事後学習課題】 単語範囲：641-680、復習
- 第3回 【授業テーマ】 確認するときの表現について  
【内容・方法等】 単語テスト、文法、リスニング演習、音読  
【事前・事後学習課題】 単語範囲：681-720、復習
- 第4回 【授業テーマ】 場所を説明する表現について  
【内容・方法等】 単語テスト、文法、リスニング演習、音読  
【事前・事後学習課題】 単語範囲：721-760、復習
- 第5回 【授業テーマ】 感謝する表現について  
【内容・方法等】 単語テスト、文法、リスニング演習、音読  
【事前・事後学習課題】 単語範囲：761-800、復習
- 第6回 【授業テーマ】 比較する表現について  
【内容・方法等】 単語テスト、文法、リスニング演習、音読  
【事前・事後学習課題】 単語範囲：601-800、復習
- 第7回 【授業テーマ】 詳細を尋ねる表現について  
【内容・方法等】 単語テスト、文法、リスニング演習、音読  
【事前・事後学習課題】 単語範囲：601-640、復習
- 第8回 【授業テーマ】 経済事情などの解説文の中間発表  
【内容・方法等】 単語テスト、文法、リスニング演習、音読  
【事前・事後学習課題】 単語範囲：641-680、復習
- 第9回 【授業テーマ】 依頼する表現について  
【内容・方法等】 単語テスト、文法、リスニング演習、音読  
【事前・事後学習課題】 単語範囲：681-720、復習
- 第10回 【授業テーマ】 希望を述べる表現について  
【内容・方法等】 単語テスト、文法、リスニング演習、音読  
【事前・事後学習課題】 単語範囲：721-760、復習
- 第11回 【授業テーマ】 人を誘う表現について  
【内容・方法等】 単語テスト、文法、リスニング演習、音読  
【事前・事後学習課題】 単語範囲：761-800、復習
- 第12回 【授業テーマ】 頻度を尋ねる表現について  
【内容・方法等】 単語テスト、文法、リスニング演習、音読  
【事前・事後学習課題】 単語範囲：601-800、復習
- 第13回 【授業テーマ】 経験・予定を尋ねる表現について  
【内容・方法等】 単語テスト、文法、リスニング演習、音読  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第14回 【授業テーマ】 計画・理由を尋ねる表現について  
【内容・方法等】 単語テスト、文法、リスニング演習、音読  
【事前・事後学習課題】 復習

第15回 【授業テーマ】 まとめ

【内容・方法等】 これまでの復習と質問など  
【事前・事後学習課題】 定期試験に向けての勉強

評価方法 (基準)

統一英語単語テスト (20%)  
小テスト、予習、授業参加度、提出物で総合的に評価 (80%)

教材等

教科書…「Let's Read Aloud & Learn English」(成美堂)  
2200円+税  
「The Core Vocabulary for the TOEIC Test」(成美堂)  
1700円、プリント

参考書…参考書・英和辞典あるいは電子辞書持参が望ましい。

学生へのメッセージ

何事も日々の努力の積み重ねによって成せるものです。全ての授業が終わって、何を求められるのかは、個人個人の努力量によって異なります。できる限り多くのものが得られるようにしましょう。

関連科目

すべての英語科目

担当者の研究室等

7号館2階 非常勤講師室

英語II a English Iia				
岡 あゆみ (オカ アユミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	A	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

この授業では、文法に関する知識、語彙力、読解力、聴解力など広く英語力の底上げを行い、TOEIC 300点以上の実力(TOEICブリッジ換算約120点)を目指す。また、分量が多いTOEIC Testをできるだけストレスを感じずに受験できるような(もしくは長時間英語に触れる状況においてもストレスでいれるような)英語に対する耐性も身につける。学科の学習・教育目標との対応：[D]

授業方法と留意点

教科書は2冊あり、1冊はTOEICテストを受験する学生を対象に作られたもの(「TOEICテスト総合実践演習」)を、もう1冊は単語集(「学校語彙で学ぶTOEICテスト[単語集]」)を使用する。また、補助プリントも使用する。基本的に2回の授業で「TOEICテスト総合実践演習」の1課分を進む。各回の授業の冒頭では、「学校語彙で学ぶTOEICテスト[単語集]」を使用した単語テストも行う。また、授業の間や終了前には質疑応答時間を設けるので積極的に質問をしてほしい。授業計画に沿った円滑な進行を実現するため、必ず予習した上で授業に臨んでほしい。具体的な復習・予習の内容については毎回の授業時に通知する。授業には辞書も持参すること。

科目学習の効果 (資格)

TOEICテストでのスコアアップ。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション、Unit1 Shopping  
【内容・方法等】 オリエンテーション、写真描写、応答、会話問題  
【事前・事後学習課題】 事後学習・・・Unit1の復習
- 第2回 【授業テーマ】 単語テスト、Unit1 Shopping  
【内容・方法等】 単語テスト(番号800-820)、説明文、短文穴埋め語彙・文法問題  
【事前・事後学習課題】 事前学習・・・単語集の番号800-820を覚える。Unit1の予習。事後学習・・・Unit1の復習
- 第3回 【授業テーマ】 単語テスト、Unit1 Shopping  
【内容・方法等】 単語テスト(番号821-840)、長文穴埋め、読解問題  
【事前・事後学習課題】 事前学習・・・単語集の番号821-840を覚える。Unit1の予習。事後学習・・・Unit1の復習
- 第4回 【授業テーマ】 単語テスト、Unit2 Restaurant  
【内容・方法等】 単語テスト(番号841-860)、写真描写、応答、会話、説明文問題  
【事前・事後学習課題】 事前学習・・・単語集の番号841-860を覚える。Unit2の予習。事後学習・・・Unit2の復習
- 第5回 【授業テーマ】 単語テスト、Unit2 Restaurant  
【内容・方法等】 単語テスト(番号861-880)、短文穴埋め語彙・文法問題、長文穴埋め、読解問題  
【事前・事後学習課題】 事前学習・・・単語集の番号861-880を覚える。Unit2の予習。事後学習・・・Unit2の復習



- 第6回 【授業テーマ】 単語テスト、Unit3 Entertainment  
【内容・方法 等】 単語テスト (番号881-900)、写真描写、応答、会話、説明文問題  
【事前・事後学習課題】 事前学習・・・単語集の番号881-900を覚える。Unit3の予習。事後学習・・・Unit3の復習
- 第7回 【授業テーマ】 単語テスト、Unit3 Entertainment  
【内容・方法 等】 単語テスト (番号901-920)、短文穴埋め語彙・文法問題、長文穴埋め、読解問題  
【事前・事後学習課題】 事前学習・・・単語集の番号901-920を覚える。Unit3の予習。事後学習・・・Unit3の復習
- 第8回 【授業テーマ】 中間試験、総括  
【内容・方法 等】 試験と振り返り  
【事前・事後学習課題】 事前学習・・・Unit1～3の復習。事後学習・・・Unit1～3の復習
- 第9回 【授業テーマ】 単語テスト、Unit4 Job Hunting  
【内容・方法 等】 単語テスト (番号921-940)、写真描写、応答、会話、説明文問題  
【事前・事後学習課題】 事前学習・・・単語集の番号921-940を覚える。Unit4の予習。事後学習・・・Unit4の復習
- 第10回 【授業テーマ】 単語テスト、Unit4 Job Hunting  
【内容・方法 等】 単語テスト (番号941-960)、短文穴埋め語彙・文法問題、長文穴埋め、読解問題  
【事前・事後学習課題】 事前学習・・・単語集の番号941-960を覚える。Unit4の予習。事後学習・・・Unit4の復習
- 第11回 【授業テーマ】 単語テスト、Unit5 Hotel Stay  
【内容・方法 等】 単語テスト (番号961-980)、写真描写、応答、会話、説明文問題  
【事前・事後学習課題】 事前学習・・・単語集の番号961-980を覚える。Unit5の予習。事後学習・・・Unit5の復習
- 第12回 【授業テーマ】 単語テスト、Unit5 Hotel Stay  
【内容・方法 等】 単語テスト (番号981-1000)、短文穴埋め語彙・文法問題、長文穴埋め、読解問題  
【事前・事後学習課題】 事前学習・・・単語集の番号981-1000を覚える。Unit5の予習。事後学習・・・Unit5の復習
- 第13回 【授業テーマ】 Unit6 Business  
【内容・方法 等】 写真描写、応答、会話問題  
【事前・事後学習課題】 事前学習・・・Unit6の予習。事後学習・・・Unit6の復習
- 第14回 【授業テーマ】 Unit6 Business  
【内容・方法 等】 説明文、短文穴埋め語彙・文法問題  
【事前・事後学習課題】 事前学習・・・Unit6の予習。事後学習・・・Unit6の復習
- 第15回 【授業テーマ】 Unit6 Business、総括  
【内容・方法 等】 長文穴埋め、読解問題、振り返り  
【事前・事後学習課題】 事前学習・・・Unit6の予習。事後学習・・・Unit4～6の復習

評価方法 (基準)

下記の評価項目を総合して最終的な成績を算出する。  
TOEIC bridge・・・20点  
統一英語単語テスト・・・10点  
単語テスト・・・20点  
中間試験・・・25点  
期末試験・・・25点  
成績評価に関するその他の詳細については第1回の授業で解説する。

教材等

教科書・・・塩見佳代子、Richard Silver、滝田尚広「TOEICテスト総合実践演習」(2000円)、西谷恒志「学校語彙で学ぶTOEICテスト [単語集]」(1700円)

参考書・・・特になし

学生へのメッセージ

積極的な授業態度を期待します。  
効率的な単語学習のためにeラーニング教材「リングホルタ」や単語帳の音声データを使用することをお勧めします。  
また、学内で実施されるTOEIC IP 試験を受験して結果を残していきましょう。

関連科目

他の英語科目

担当者の研究室等

7号館2階 (非常勤講師室)

英語II a  
English Ila

中野華子 (ナカノ ハナコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	B	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

文法等の復習を行いながら、単語力・リスニング力をつけて、TOEICブリッジ・TOEICのスコアアップを目指す。  
学科の学習・教育目標との対応：[D]

授業方法と留意点

授業の初めに前回の授業内容の小テストを行う。

科目学習の効果 (資格)

TOEIC300点以上の実力を目指す。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション  
【内容・方法 等】 授業内容・評価方法についての詳しい説明  
共通単語テストの勉強方法・ミニテスト  
【事前・事後学習課題】 共通単語テストにむけての学習
- 第2回 【授業テーマ】 Unit1 交通と情報案内：リーディングセクション  
【内容・方法 等】 テーマに沿った実践問題に取り組み解説する。  
【事前・事後学習課題】 授業内容の小テスト予習  
TOEIC単語801-820学習
- 第3回 【授業テーマ】 Unit1 交通と情報案内：リスニングセクション  
【内容・方法 等】 テーマに沿った実践問題に取り組み解説する。  
【事前・事後学習課題】 授業内容の小テスト予習  
TOEIC単語821-840学習
- 第4回 【授業テーマ】 Unit2 指示と説明：リーディングセクション  
【内容・方法 等】 テーマに沿った実践問題に取り組み解説する。  
【事前・事後学習課題】 授業内容の小テスト予習  
TOEIC単語841-860学習
- 第5回 【授業テーマ】 Unit2 指示と説明：リスニングセクション  
【内容・方法 等】 テーマに沿った実践問題に取り組み解説する。  
【事前・事後学習課題】 授業内容の小テスト予習  
TOEIC単語861-880学習
- 第6回 【授業テーマ】 Unit3 飲食：リーディングセクション  
【内容・方法 等】 テーマに沿った実践問題に取り組み解説する。  
【事前・事後学習課題】 授業内容の小テスト予習  
TOEIC単語881-900学習
- 第7回 【授業テーマ】 Unit3 飲食：リスニングセクション  
【内容・方法 等】 テーマに沿った実践問題に取り組み解説する。  
【事前・事後学習課題】 授業内容の小テスト予習  
TOEIC単語901-920学習
- 第8回 【授業テーマ】 Unit4 ビジネス：リーディングセクション  
【内容・方法 等】 テーマに沿った実践問題に取り組み解説する。  
【事前・事後学習課題】 授業内容の小テスト予習  
TOEIC単語921-940学習
- 第9回 【授業テーマ】 Unit4 ビジネス：リスニングセクション  
【内容・方法 等】 テーマに沿った実践問題に取り組み解説する。  
【事前・事後学習課題】 授業内容の小テスト予習  
TOEIC単語941-960学習
- 第10回 【授業テーマ】 Unit5 通信・コミュニケーション：リーディングセクション  
【内容・方法 等】 テーマに沿った実践問題に取り組み解説する。  
【事前・事後学習課題】 授業内容の小テスト予習  
TOEIC単語961-980学習
- 第11回 【授業テーマ】 Unit5 通信・コミュニケーション：リスニングセクション  
【内容・方法 等】 テーマに沿った実践問題に取り組み解説する。  
【事前・事後学習課題】 授業内容の小テスト予習  
TOEIC単語981-1000学習
- 第12回 【授業テーマ】 Unit6 社交：リーディングセクション  
【内容・方法 等】 テーマに沿った実践問題に取り組み解説する。  
【事前・事後学習課題】 授業内容の小テスト予習
- 第13回 【授業テーマ】 Unit6 社交：リスニングセクション  
【内容・方法 等】 テーマに沿った実践問題に取り組み解説する。  
【事前・事後学習課題】 授業内容の小テスト予習
- 第14回 【授業テーマ】 Unit7 招待・案内：リーディングセクション

**【内容・方法 等】** テーマに沿った実践問題に取り組み解説する。  
**【事前・事後学習課題】** 授業内容の小テスト予習  
**【授業テーマ】** TOEICBridgeハーフテスト  
**【内容・方法 等】** TOEIC Bridgeハーフテストを行い、実践に備える。  
**【事前・事後学習課題】** ハーフテスト復習  
**評価方法 (基準)**  
 TOEICブリッジ20% 共通単語試験10%、定期試験20%、小テスト・課題20%、授業参加30%の割合で総合的に判断する。  
**教材等**  
**教科書**…Start-up Course for the TOEIC Test-TOEICへのファーストステップ：北山長貴、Bill Benfield著、成美堂、2,000円  
 The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test-学校語彙で学ぶTOEICテスト：西谷恒志著、成美堂、1,700円  
**参考書**…特になし  
**学生へのメッセージ**  
 練習を重ねることにより、TOEICのスコアは確実に伸びます。読解能力や文法知識を高めるとともに、TOEICの頻出テーマや特徴を学び、スコアアップを目指しましょう。授業には必ず辞書を持参すること。  
**関連科目**  
 実践英語中級、英語Ⅱ  
**担当者の研究室等**  
 7号館2階 (非常勤講師室)

<b>英語II b</b> English II				
<b>岡 あゆみ (オカ アユミ)</b>				
配当年度	クラス	学期	履修区分	単位数
2	A	後期	選択	1

**授業概要・目的・到達目標**  
 この授業では、文法に関する知識、語彙力、読解力、聴解力など広く総合英語力の底上げを行い、TOEIC 400 点以上の実力 (TOEIC ブリッジ換算約140 点) を目指す。  
 また、分量が多いTOEIC Testをできるだけストレスを感じずに受験できるような (もしくは長時間英語に触れる状況においてもストレスでいれるような) 英語に対する耐性も身につける。学科の学習・教育目標との対応：[D]  
**授業方法と留意点**  
 教科書は2冊あり、1冊はTOEICテストを受験する学生を対象に作られたもの (「TOEICテスト総合実践演習」) を、もう1冊は単語集 (「学校語彙で学ぶTOEICテスト [単語集]」) を使用する。また、補助プリントも使用する。  
 基本的に2回の授業で「TOEICテスト総合実践演習」の1課分を進む。各回の授業の冒頭では、「学校語彙で学ぶTOEICテスト [単語集]」を使用した単語テストも行う。また、授業の間や終了前には質疑応答時間を設けるので積極的に質問をしてほしい。  
 授業計画に沿った円滑な進行を実現するため、必ず予習した上で授業に臨んでほしい。具体的な復習・予習の内容については毎回の授業時に通知する。  
 授業には辞書も持参すること。

**科目学習の効果 (資格)**  
 TOEICテストでのスコアアップ。  
**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**  
**第1回** **【授業テーマ】** オリエンテーション、振り返り  
**【内容・方法 等】** オリエンテーション、Unit1~6の振り返り  
**【事前・事後学習課題】** 事後学習・・・Unit1~6の復習  
**第2回** **【授業テーマ】** 単語テスト、Unit7 Sports  
**【内容・方法 等】** 単語テスト (番号1201-1230)、写真描写、応答、会話、説明文問題  
**【事前・事後学習課題】** 事前学習・・・単語集の番号1201-1230を覚える。Unit7の予習。  
 事後学習・・・Unit7の復習  
**第3回** **【授業テーマ】** 単語テスト、Unit7 Sports  
**【内容・方法 等】** 単語テスト (番号1231-1260)、短文穴埋め・語彙・文法問題、長文穴埋め、読解問題  
**【事前・事後学習課題】** 事前学習・・・単語集の番号1231-1260を覚える。Unit7の予習。  
 事後学習・・・Unit7の復習  
**第4回** **【授業テーマ】** 単語テスト、Unit8 Education  
**【内容・方法 等】** 単語テスト (番号1261-1290)、写真描写、応答、会話、説明文問題  
**【事前・事後学習課題】** 事前学習・・・単語集の番号1261-1290を覚える。Unit8の予習。  
 事後学習・・・Unit8の復習  
**第5回** **【授業テーマ】** 単語テスト、Unit8 Education  
**【内容・方法 等】** 単語テスト (番号1291-1320)、短文穴埋め・

語彙・文法問題、長文穴埋め、読解問題  
**【事前・事後学習課題】** 事前学習・・・単語集の番号1291-1320を覚える。Unit8の予習。  
 事後学習・・・Unit8の復習  
**第6回** **【授業テーマ】** 単語テスト、Unit9 Services  
**【内容・方法 等】** 単語テスト (番号1321-1350)、写真描写、応答、会話、説明文問題  
**【事前・事後学習課題】** 事前学習・・・単語集の番号1321-1350を覚える。Unit9の予習。  
 事後学習・・・Unit9の復習  
**第7回** **【授業テーマ】** 単語テスト、Unit9 Services  
**【内容・方法 等】** 単語テスト (番号1351-1380)、短文穴埋め・語彙・文法問題、長文穴埋め、読解問題  
**【事前・事後学習課題】** 事前学習・・・単語集の番号1351-1380を覚える。Unit9の予習。  
 事後学習・・・Unit9の復習  
**第8回** **【授業テーマ】** 中間試験、総括  
**【内容・方法 等】** 試験と振り返り  
**【事前・事後学習課題】** 事前学習・・・Unit7~9の復習  
 事後学習・・・Unit7~9の復習  
**第9回** **【授業テーマ】** 単語テスト、Unit10 Housing  
**【内容・方法 等】** 単語テスト (番号1381-1410)、写真描写、応答、会話、説明文問題  
**【事前・事後学習課題】** 事前学習・・・単語集の番号1381-1410を覚える。Unit10の予習。  
 事後学習・・・Unit10の復習  
**第10回** **【授業テーマ】** 単語テスト、Unit10 Housing  
**【内容・方法 等】** 単語テスト (番号1411-1440)、短文穴埋め・語彙・文法問題、長文穴埋め、読解問題  
**【事前・事後学習課題】** 事前学習・・・単語集の番号1411-1440を覚える。Unit10の予習。  
 事後学習・・・Unit10の復習  
**第11回** **【授業テーマ】** 単語テスト、Unit11 Environment  
**【内容・方法 等】** 単語テスト (番号1441-1470)、写真描写、応答、会話、説明文問題  
**【事前・事後学習課題】** 事前学習・・・単語集の番号1441-1470を覚える。Unit11の予習。  
 事後学習・・・Unit11の復習  
**第12回** **【授業テーマ】** 単語テスト、Unit11 Environment  
**【内容・方法 等】** 単語テスト (番号1471-1500)、短文穴埋め・語彙・文法問題、長文穴埋め、読解問題  
**【事前・事後学習課題】** 事前学習・・・単語集の番号1471-1500を覚える。Unit11の予習。  
 事後学習・・・Unit11の復習  
**第13回** **【授業テーマ】** Unit12 Vacation  
**【内容・方法 等】** 写真描写、応答、会話問題  
**【事前・事後学習課題】** 事前学習・・・Unit12の予習。  
 事後学習・・・Unit12の復習  
**第14回** **【授業テーマ】** Unit12 Vacation  
**【内容・方法 等】** 説明文、短文穴埋め・語彙・文法問題  
**【事前・事後学習課題】** 事前学習・・・Unit12の予習。  
 事後学習・・・Unit12の復習  
**第15回** **【授業テーマ】** Unit12 Vacation、総括  
**【内容・方法 等】** 長文穴埋め、読解問題、振り返り  
**【事前・事後学習課題】** 事前学習・・・Unit12の予習  
 事後学習・・・Unit10~12の復習

**評価方法 (基準)**  
 下記の評価項目を総合して最終的な成績を算出する。  
 統一英語単語テスト・・・20点  
 単語テスト・・・20点  
 中間試験・・・30点  
 期末試験・・・30点  
 成績評価に関するその他の詳細については第1回の授業で解説する。

**教材等**  
**教科書**…塩見佳代子、Richard Silver、滝田尚広「TOEICテスト総合実践演習」(2000円)、西谷恒志「学校語彙で学ぶTOEICテスト [単語集]」(1700円)  
**参考書**…特になし  
**学生へのメッセージ**  
 積極的な授業態度を期待します。  
 効率的な単語学習のためにeラーニング教材「リンガポルタ」や単語帳の音声データを使用することをお勧めします。  
 また、学内で実施されるTOEIC IP 試験を受験して結果を残していきましょう。  
**関連科目**  
 他の英語科目  
**担当者の研究室等**  
 7号館2階 (非常勤講師室)



英語II b  
English II

中野華子(ナカノ ハナコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	B	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

文法等の復習を行いながら、単語力・リスニング力をつけて、TOEICブリッジ・TOEICのスコアアップを目指す。  
学科の学習・教育目標との対応：[D]

授業方法と留意点

授業の初めに前回の授業内容の小テストを行う。

科目学習の効果(資格)

TOEIC400点以上の実力を目指す。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション  
【内容・方法 等】 授業内容・評価方法についての詳しい説明  
共通単語テストの勉強方法・ミニテスト  
【事前・事後学習課題】 共通単語テストにむけての学習
- 第2回 【授業テーマ】 Unit8 医療・保険：リーディングセクション  
【内容・方法 等】 テーマに沿った実践問題に取り組み解説する。  
【事前・事後学習課題】 授業内容の小テスト予習  
TOEIC単語1201-1230学習
- 第3回 【授業テーマ】 Unit8 医療・保険：リスニングセクション  
【内容・方法 等】 テーマに沿った実践問題に取り組み解説する。  
【事前・事後学習課題】 授業内容の小テスト予習  
TOEIC単語1231-1260学習
- 第4回 【授業テーマ】 Unit9 文化・娯楽：リーディングセクション  
【内容・方法 等】 テーマに沿った実践問題に取り組み解説する。  
【事前・事後学習課題】 授業内容の小テスト予習  
TOEIC単語1261-1290学習
- 第5回 【授業テーマ】 Unit9 文化・娯楽：リスニングセクション  
【内容・方法 等】 テーマに沿った実践問題に取り組み解説する。  
【事前・事後学習課題】 授業内容の小テスト予習  
TOEIC単語1291-1320学習
- 第6回 【授業テーマ】 Unit10 買い物：リーディングセクション  
【内容・方法 等】 テーマに沿った実践問題に取り組み解説する。  
【事前・事後学習課題】 授業内容の小テスト予習  
TOEIC単語1321-1350学習
- 第7回 【授業テーマ】 Unit10 買い物：リスニングセクション  
【内容・方法 等】 テーマに沿った実践問題に取り組み解説する。  
【事前・事後学習課題】 授業内容の小テスト予習  
TOEIC単語1351-1380学習
- 第8回 【授業テーマ】 Unit11 運動・フィットネス：リーディングセクション  
【内容・方法 等】 テーマに沿った実践問題に取り組み解説する。  
【事前・事後学習課題】 授業内容の小テスト予習  
TOEIC単語1381-1410学習
- 第9回 【授業テーマ】 Unit11 運動・フィットネス：リスニングセクション  
【内容・方法 等】 テーマに沿った実践問題に取り組み解説する。  
【事前・事後学習課題】 授業内容の小テスト予習  
TOEIC単語1411-1440学習
- 第10回 【授業テーマ】 Unit12 トラブル・申請：リーディングセクション  
【内容・方法 等】 テーマに沿った実践問題に取り組み解説する。  
【事前・事後学習課題】 授業内容の小テスト予習  
TOEIC単語1441-1470学習
- 第11回 【授業テーマ】 Unit12 トラブル・申請：リスニングセクション  
【内容・方法 等】 テーマに沿った実践問題に取り組み解説する。  
【事前・事後学習課題】 授業内容の小テスト予習  
TOEIC単語1471-1500学習
- 第12回 【授業テーマ】 Unit7 招待・案内：リスニングセクション  
【内容・方法 等】 テーマに沿った実践問題に取り組み解説する。  
【事前・事後学習課題】 授業内容の小テスト予習
- 第13回 【授業テーマ】 Unit13 TOEIC全般テーマ(1)  
【内容・方法 等】 テーマに沿った実践問題に取り組み解説する。  
【事前・事後学習課題】 授業内容の小テスト予習
- 第14回 【授業テーマ】 Unit14 TOEIC全般テーマ(2)

【内容・方法 等】 テーマに沿った実践問題に取り組み解説する。

【事前・事後学習課題】 授業内容の小テスト予習  
【授業テーマ】 TOEICショートテスト

【内容・方法 等】 TOEICのショートテストを行い、実践に備える。

【事前・事後学習課題】 TOEICショートテスト復習

評価方法(基準)

共通単語試験20%、定期試験25%、小テスト・課題25%、授業参加30%の割合で総合的に判断する。

教材等

教科書…Start-up Course for the TOEIC Test-TOEICへのファーストステップ：北山長貴、Bill Benfield著、成美堂、2,000円

The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test-学校図書で学ぶTOEICテスト：西谷恒志著、成美堂、1,700円

参考書…特になし

学生へのメッセージ

練習を重ねることにより、TOEICのスコアは確実に伸びます。読解能力や文法知識を高めるとともに、TOEICの頻出テーマや特徴を学び、スコアアップを目指しましょう。

授業には必ず辞書を持参すること。

関連科目

実践英語入門・実践英語上級

担当者の研究室等

7号館2階(非常勤講師室)

英語II c  
English IIc

高橋章夫(タカハシ アキオ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	A	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

TOEICブリッジの試験に慣れスコアを上げるために必要な力をつけることを到達目標とする。2冊の教科書(TOEICブリッジ対策のテキスト、単語集)を用い、リスニングとリーディングを出発点とし、そこからスピーキングライティングに発展させ、総合的な英語力を向上させる。毎回授業の始めに単語テストを行う。

学科の学習・教育目標との対応：[D]

授業方法と留意点

毎回、最初に単語テストを行う。その後、TOEICブリッジ対策のテキストの解答と解説を中心に演習形式で進めていく。予め、各自で問題を解いておく必要があるので、単語テストの勉強と合わせて、必ず予習をしてくること。

科目学習の効果(資格)

TOEICブリッジテストのスコアアップ

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 イントロダクション  
【内容・方法 等】 授業方針、評価方法、小テストの説明。  
TOEICブリッジ形式の練習問題に取り組み。  
【事前・事後学習課題】 練習問題の復習
- 第2回 【授業テーマ】 Introducing Yourself  
【内容・方法 等】 数えられる/数えられない名詞、聴き逃し  
やすい複数形のs  
単語テスト1  
【事前・事後学習課題】 単語学習範囲：1001-1020  
教科書の予習、復習
- 第3回 【授業テーマ】 Eating Out  
【内容・方法 等】 時制と誤りやすい自動詞・他動詞 語尾の子音の発音と聴き取り  
単語テスト2  
【事前・事後学習課題】 単語学習範囲：1021-1040  
教科書の予習、復習
- 第4回 【授業テーマ】 Going Shopping  
【内容・方法 等】 5文型の見直し 音の連続によって変化する音と聴こえなくなる音  
単語テスト3  
【事前・事後学習課題】 単語学習範囲：1041-1060  
教科書の予習、復習
- 第5回 【授業テーマ】 Having Fun  
【内容・方法 等】 とても大事な疑問詞 WH-words 聴き取りにくい弱い母音  
単語テスト4  
【事前・事後学習課題】 単語学習範囲：1061-1080  
教科書の予習、復習
- 第6回 【授業テーマ】 Holding a Party  
【内容・方法 等】 使用法を誤りやすい形容詞・副詞 違いに気がつかない弱い母音

- 単語テスト5  
**【事前・事後学習課題】** 単語学習範囲：1081-1100  
 教科書の予習、復習
- 第7回 **【授業テーマ】** Traveling  
**【内容・方法 等】** 時間・場所を表す前置詞 カタカナ英語とは音が異なる二重母音  
 単語テスト6  
**【事前・事後学習課題】** 単語学習範囲：1101-1120  
 教科書の予習、復習
- 第8回 **【授業テーマ】** Corresponding  
**【内容・方法 等】** 助動詞：can, may, must, have to 少しの違いで意味が異なってしまう母音  
 単語テスト7  
**【事前・事後学習課題】** 単語学習範囲：1121-1140  
 教科書の予習、復習
- 第9回 **【授業テーマ】** Telephoning  
**【内容・方法 等】** 行為者をはっきりさせなくてよい場合の受動態 隣り合うことで同化する音  
 単語テスト8  
**【事前・事後学習課題】** 単語学習範囲：1141-1160  
 教科書の予習、復習
- 第10回 **【授業テーマ】** Staying Healthy  
**【内容・方法 等】** 比較の表現「G」ではない gの音  
 単語テスト9  
**【事前・事後学習課題】** 単語学習範囲：1161-1180  
 教科書の予習、復習
- 第11回 **【授業テーマ】** Finding a Place to Live  
**【内容・方法 等】** 不定詞の名詞的・形容詞的・副詞的の用法 言いにくい・聴き取りにくい語尾の /l/の音  
 単語テスト10  
**【事前・事後学習課題】** 単語学習範囲：1181-1200  
 教科書の予習、復習
- 第12回 **【授業テーマ】** Banking  
**【内容・方法 等】** 2つの文をつなぐ関係代名詞 言うのも聴くのも苦手な thの音  
 単語テスト11  
**【事前・事後学習課題】** 単語学習範囲：1001-1200  
 教科書の予習、復習
- 第13回 **【授業テーマ】** Getting a Jo  
**【内容・方法 等】** 現実や過去の事実と違うことを表す仮定法 単語レベルのアクセント：母音の長さの違い  
**【事前・事後学習課題】** 教科書の予習、復習
- 第14回 **【授業テーマ】** Talking about the Weather  
**【内容・方法 等】** 動名詞をとる動詞、不定詞をとる動詞 単語レベルのアクセント：はっきりしたアクセント  
**【事前・事後学習課題】** 教科書の予習、復習
- 第15回 **【授業テーマ】** Getting Around  
**【内容・方法 等】** 動詞を中心とした熟語 フレーズレベルのアクセント：内容語と機能語  
**【事前・事後学習課題】** 教科書の予習、復習

**評価方法 (基準)**  
 共通試験30%(TOEICブリッジ20%、単語試験10%)、定期試験30%、小テスト30%、授業中に取り組む課題10%の割合で、総合的に評価する。

**教材等**  
 教科書…西谷恒志『The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test』成美堂 (1700円+税)  
 ホートン広瀬恵美子(他)『TOEIC Bridgeテストで始める資格試験対策』(Cross Over the TOEIC Bridge Test) 金星堂 (2100円)

**参考書**…なし  
**学生へのメッセージ**  
 e-learningの活用、学内TOEICテストの受験などを通し、積極的に英語に触れる機会を増やしていきましょう。

**関連科目**  
 他の英語科目  
**担当者の研究室等**  
 7号館2階 (非常勤講師室)

英語IIc English IIC				
松浦茂寿 (マツウラ シゲトシ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	B	前期	選択	1

**授業概要・目的・到達目標**  
 今までに学んできた基本文法知識を確認し、皆さんが受けるTOEICブリッジ受験に必要な解法テクニック、特に普段の努力を積み必ず伸びる文法力及び読解力の更なる向上を目標とする。又、授業に平行してテスト受験に欠かせない語彙力向上も

目指す。また、授業計画は進度によって変わる場合がある。学科の学習・教育目標との対応：[D]

**授業方法と留意点**  
 毎週、授業時に単語帳から単語テストを行う予定。今まで習ってきた語彙や文法知識を駆使し、一つでも多くの問題が解けることを望む。予習として次に進む分の練習問題を解いて授業に臨もう。特に4択問題は今まで習った知識を駆使し、「この選択肢はこう間違っているから違う」と分かる様になればしめたもの。授業で出てきた新しい単語や学んだ内容をくり返して覚えるのが上達への早道です！

**科目学習の効果 (資格)**  
 TOEICブリッジ受験に必要な基本的事項の復習及び知識の養成。  
**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 **【授業テーマ】** オリエンテーション  
**【内容・方法 等】** 授業方法、提出物、評価方法についての説明  
**【事前・事後学習課題】** 次回の第一回単語テスト範囲、1001～1025番を勉強する事。
- 第2回 **【授業テーマ】** Unit 1 Eating Out 文法：動詞  
**【内容・方法 等】** 文法、語彙の各問題演習、答え合わせ  
**【事前・事後学習課題】** 教科書p.1-8、次回の第二回単語テスト範囲、1026～1050番を勉強する事。
- 第3回 **【授業テーマ】** Unit 2 Travel 文法：動詞の時制(1)  
**【内容・方法 等】** 文法、語彙の各問題演習、答え合わせ  
**【事前・事後学習課題】** 教科書p.9-16、次回の第三回単語テスト範囲、1051～1075番を勉強する事。
- 第4回 **【授業テーマ】** Unit 3 Amusement 文法：動詞の時制(2)  
**【内容・方法 等】** 文法、語彙の各問題演習、答え合わせ  
**【事前・事後学習課題】** 教科書p.17-24、次回の第四回単語テスト範囲、1076～1100番を勉強する事。
- 第5回 **【授業テーマ】** Unit 4 Meetings 文法：代名詞  
**【内容・方法 等】** 文法、語彙の各問題演習、答え合わせ  
**【事前・事後学習課題】** 教科書p.25-32、次回の第五回単語テスト範囲、1101～1125番を勉強する事。
- 第6回 **【授業テーマ】** Unit 5 Personnel 文法：不定詞  
**【内容・方法 等】** 文法、語彙の各問題演習、答え合わせ  
**【事前・事後学習課題】** 教科書p.33-40、次回の第六回単語テスト範囲、1126～1150番を勉強する事。
- 第7回 **【授業テーマ】** Unit 6 Shopping 文法：動名詞  
**【内容・方法 等】** 文法、語彙の各問題演習、答え合わせ  
**【事前・事後学習課題】** 教科書p.41-48、次回の第七回単語テスト範囲、1151～1175番を勉強する事。
- 第8回 **【授業テーマ】** Unit 7 Advertisement 文法：冠詞、名詞(1)  
**【内容・方法 等】** 文法、語彙の各問題演習、答え合わせ  
**【事前・事後学習課題】** 教科書p.49-56、次回の第八回単語テスト範囲、1176～1200番を勉強する事。
- 第9回 **【授業テーマ】** Unit 8 Daily Life 文法：冠詞、名詞(2)  
**【内容・方法 等】** 文法、語彙の問題演習、答え合わせ  
**【事前・事後学習課題】** 教科書p.57-64、次回の第九回単語テスト範囲(追って指示します)を勉強する事。
- 第10回 **【授業テーマ】** Unit 9 Office Work 文法：仮定法  
**【内容・方法 等】** 文法、語彙の各問題演習、答え合わせ  
**【事前・事後学習課題】** 教科書p.65-72、次回の第十回単語テスト範囲(追って指示します)を勉強する事。
- 第11回 **【授業テーマ】** Unit 10 Business 文法：分詞  
**【内容・方法 等】** 文法、語彙の各問題演習、答え合わせ  
**【事前・事後学習課題】** 教科書p.73-82、次回の第十一回単語テスト範囲(追って指示します)を勉強する事。
- 第12回 **【授業テーマ】** Unit 11 Traffic 文法：関係詞  
**【内容・方法 等】** 文法、語彙の各問題演習、答え合わせ  
**【事前・事後学習課題】** 教科書p.83-92、次回の第十二回単語テスト範囲(追って指示します)を勉強する事。
- 第13回 **【授業テーマ】** Unit 12 Finance and Banking 文法：接続詞  
**【内容・方法 等】** 文法、語彙の各問題演習、答え合わせ  
**【事前・事後学習課題】** 教科書p.93-100、次回の第十三回単語テスト範囲(追って指示します)を勉強する事。
- 第14回 **【授業テーマ】** Unit 13 Media 文法：前置詞  
**【内容・方法 等】** 文法、語彙の各問題演習、答え合わせ  
**【事前・事後学習課題】** 教科書p.101-108、次回の第十四回単語テスト範囲(追って指示します)を勉強する事。
- 第15回 **【授業テーマ】** 総合復習  
**【内容・方法 等】** 試験に向けた復習  
**【事前・事後学習課題】** 教科書など前期範囲一通り

**評価方法 (基準)**  
 定期試験(45%)、提出物(15%)、単語小テスト(5%)、平常点(5%)の合計70%に共通試験30% (TOEICブリッジ20%、統一英語単語テスト10%)を足して総合評価します。TOEICブリッジ及び単語テストを受験しなかった人は評価に大きく影響します。また、日頃の授業態度も重視します。

**教材等**  
 教科書…教科書・「Step-up Skills for the TOEIC Test」北尾泰幸、西田晴美、林姿穂、Brian Covert 編著 朝日出版(1800円+税)、The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test 成美堂(1700円+税)



参考書…辞書を用意しましょう。新出単語が沢山出ますよ！  
**学生へのメッセージ**  
 「明るく、元気で、感動と発見を与える授業に！」私語をせず、マナーを守り、積極的に参加してクラス全体が一つになる様に、各自協力してもらいたい。また折角、授業中に学んだことを暗記したままではすぐに忘れてしまいます。例えば英語で書かれた看板のメッセージ等を見ただけで指示が読めるように授業外で繰り返し学習するのが英語上達への早道です。教える側も学ぶ側も仲良く、楽しく、実りある半期になる事を祈る！

**関連科目**  
なし  
**担当者の研究室等**  
7号館2階非常勤講師室  
**備考**  
なし

英語III a English IIIa				
大江 麻里子 (オオエ マリコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	1

**授業概要・目的・到達目標**  
 2年次までに学んだ文法と読解の知識を基に、弱点の克服と総合英語力の向上を目指す。上位学生はTOEIC 500点レベルの英語力を目指す。  
 学習・教育目標： 【D】  
**授業方法と留意点**  
 文法事項を確認しながら、それに即したTOEIC形式の問題を解いていく。予習は不可欠であり、また辞書を携帯して、即座に英単語を調べられるように準備しておくこと。

**科目学習の効果 (資格)**  
 TOEICのスコアアップ  
**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**  
**第1回** 【授業テーマ】 オリエンテーション  
 【内容・方法 等】 テキストの進め方、評価方法などについて詳しく説明する。  
 【事前・事後学習課題】 特になし。  
**第2回** 【授業テーマ】 Unit 1, 2  
 【内容・方法 等】 テキストの解説を読みながら、問題に取り組む  
 単語テスト (1201-1225)  
 【事前・事後学習課題】 テキストの予習  
 単語テストの準備  
**第3回** 【授業テーマ】 Unit 3, 4  
 【内容・方法 等】 テキストの解説を読みながら、問題に取り組む  
 単語テスト (1226-1250)  
 【事前・事後学習課題】 テキストの予習  
 単語テストの準備  
**第4回** 【授業テーマ】 Unit 5, 6  
 【内容・方法 等】 テキストの解説を読みながら、問題に取り組む  
 単語テスト (1251-1275)  
 【事前・事後学習課題】 テキストの予習  
 単語テストの準備  
**第5回** 【授業テーマ】 Unit 7, 8  
 【内容・方法 等】 テキストの解説を読みながら、問題に取り組む  
 単語テスト (1276-1300)  
 【事前・事後学習課題】 テキストの予習  
 単語テストの準備  
**第6回** 【授業テーマ】 Unit 9, 10  
 【内容・方法 等】 テキストの解説を読みながら、問題に取り組む  
 単語テスト (1301-1325)  
 【事前・事後学習課題】 テキストの予習  
 単語テストの準備  
**第7回** 【授業テーマ】 Unit 11, 12  
 【内容・方法 等】 テキストの解説を読みながら、問題に取り組む  
 単語テスト (1326-1350)  
 【事前・事後学習課題】 テキストの予習  
 単語テストの準備  
**第8回** 【授業テーマ】 Unit 13, 14  
 【内容・方法 等】 テキストの解説を読みながら、問題に取り組む  
 単語テスト (1351-1375)  
 【事前・事後学習課題】 テキストの予習  
 単語テストの準備

**第9回** 【授業テーマ】 Unit 15, 16  
 【内容・方法 等】 テキストの解説を読みながら、問題に取り組む  
 単語テスト (1376-1400)  
 【事前・事後学習課題】 テキストの予習  
 単語テストの準備  
**第10回** 【授業テーマ】 Unit 17, 18  
 【内容・方法 等】 テキストの解説を読みながら、問題に取り組む  
 単語テスト ((1401-1425)  
 【事前・事後学習課題】 テキストの予習  
 単語テストの準備  
**第11回** 【授業テーマ】 Unit 19, 20  
 【内容・方法 等】 テキストの解説を読みながら、問題に取り組む  
 単語テスト (1426-1450)  
 【事前・事後学習課題】 テキストの予習  
 単語テストの準備  
**第12回** 【授業テーマ】 Unit 21, 22  
 【内容・方法 等】 テキストの解説を読みながら、問題に取り組む  
 単語テスト (1451-1475)  
 【事前・事後学習課題】 テキストの予習  
 単語テストの準備  
**第13回** 【授業テーマ】 Unit 23, 24  
 【内容・方法 等】 テキストの解説を読みながら、問題に取り組む  
 単語テスト (1476-1500)  
 【事前・事後学習課題】 テキストの予習  
 単語テストの準備  
**第14回** 【授業テーマ】 TOEIC 模擬試験  
 【内容・方法 等】 テキストを学習することで、どの程度、英語力が強化されたかを確認する。  
 【事前・事後学習課題】 これまでにやったテキストを見直しておく。  
**第15回** 【授業テーマ】 総復習  
 【内容・方法 等】 定期試験の内容の説明、勉強法について説明する。  
 【事前・事後学習課題】 疑問点や質問事項をまとめておく。  
**評価方法 (基準)**  
 平常点 (20%)、単語テストの得点 (10%)、および定期試験の成績 (70%) を総合して評価する。  
**教材等**  
**教科書**…The TOIC Test Practice with Core Vocabulary Book 1 (成美堂、2000円)  
 The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test (成美堂、1700円)  
**参考書**…特になし  
**学生へのメッセージ**  
 TOEICの得点を上げるためには、地道で継続的な学習が必要である。できるだけ授業を休まずに出席すること。辞書を毎回持ってくること。  
**関連科目**  
他の英語関連科目  
**担当者の研究室等**  
7号館2階(非常勤講師室)  
**備考**  
授業計画は進度によって多少変更する場合がある。

英語基礎会話 a Basic English Conversation a				
スコット ライリー				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		前期	選択	1

**授業概要・目的・到達目標**  
 この授業では、楽しく、人を引きつけるような話し方を学ぶ。学科の学習・教育目標との対応：[D]  
**授業方法と留意点**  
 教員による指導の下、教科書の内容に沿って授業を進める。様々な表現を使い、ペアワーク (2人1組) で会話を練習する。  
**科目学習の効果 (資格)**  
 この授業の目的は、学生がスピーキングに対する自信をつけ、より上手に英語を扱えるレベルに到達することである。  
**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**  
**第1回** 【授業テーマ】 Class introductions. (クラス紹介)  
 【内容・方法 等】 Introduction Game. (ゲームを通じて自己紹介を行う)  
 【事前・事後学習課題】 教科書に出てくる単語レビューと難しい表現については辞書を使って事前に調べてくること。

- 第2回 【授業テーマ】 Greeting People (挨拶)  
【内容・方法 等】 初めて会う人に趣味などを通じて簡単な挨拶をする。また、クラスメートへのインタビューを行う。  
【事前・事後学習課題】 教科書に出てくる単語レビューと難しい表現については辞書を使って事前に調べてくること。
- 第3回 【授業テーマ】 Describing Clothing (衣服に関する表現)  
【内容・方法 等】 服装について話す。色やパターンに関する語彙を身につけ、自分の好みの服について話す。  
【事前・事後学習課題】 教科書に出てくる単語レビューと難しい表現については辞書を使って事前に調べてくること。
- 第4回 【授業テーマ】 How do you stay healthy (どのようにして健康を保つか)  
【内容・方法 等】 健康的な生活習慣(ジムに通う等)について話す。幸せについてのアドバイスを与える。  
【事前・事後学習課題】 教科書に出てくる単語レビューと難しい表現については辞書を使って事前に調べてくること。
- 第5回 【授業テーマ】 How do I get there(どうやってそこに行くか)  
【内容・方法 等】 地図を使って、道を尋ねる、教える、の練習。自分の住む町について話す。  
【事前・事後学習課題】 教科書に出てくる単語レビューと難しい表現については辞書を使って事前に調べてくること。
- 第6回 【授業テーマ】 What's that? (それは何)  
【内容・方法 等】 物やギフトを表現する方法を学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 教科書に出てくる単語レビューと難しい表現については辞書を使って事前に調べてくること。
- 第7回 【授業テーマ】 What's your dream (あなたの夢は何ですか)  
【内容・方法 等】 将来の夢や目標について話す。  
【事前・事後学習課題】 教科書に出てくる単語レビューと難しい表現については辞書を使って事前に調べてくること。
- 第8回 【授業テーマ】 中間テスト  
【内容・方法 等】 ...  
【事前・事後学習課題】 ...
- 第9回 【授業テーマ】 How much do you know? (どれくらい知っている)  
【内容・方法 等】 動物や自然について話す。自分の飼うペットについて話し合う。  
【事前・事後学習課題】 教科書に出てくる単語レビューと難しい表現については辞書を使って事前に調べてくること。
- 第10回 【授業テーマ】 She can really sing.(彼女は本当に歌がうまい)  
【内容・方法 等】 人の能力を現す動詞を学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 教科書に出てくる単語レビューと難しい表現については辞書を使って事前に調べてくること。
- 第11回 【授業テーマ】 What do you like to do? (何がしたい?)  
【内容・方法 等】 「好き」「嫌い」の表現を学ぶ。遊びに誘う表現を学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 教科書に出てくる単語レビューと難しい表現については辞書を使って事前に調べてくること。
- 第12回 【授業テーマ】 Talking about rules (規則について話す)  
【内容・方法 等】 規則、規則を表す助詞 (can, will, shall等)について学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 教科書に出てくる単語レビューと難しい表現については辞書を使って事前に調べてくること。
- 第13回 【授業テーマ】 What happened next? (次に何が起る?)  
【内容・方法 等】 ストーリーを聞く、話す。映画について自分の意見を述べる。  
【事前・事後学習課題】 教科書に出てくる単語レビューと難しい表現については辞書を使って事前に調べてくること。
- 第14回 【授業テーマ】 Contents Review and Comprehension games (全体レビューと理解度チェックゲーム)  
【内容・方法 等】 全体レビューと理解度チェックゲーム。  
【事前・事後学習課題】 教科書に出てくる単語レビューと難しい表現については辞書を使って事前に調べてくること。
- 第15回 【授業テーマ】 Final Test (テスト)  
【内容・方法 等】 テストはこれまでに学んだことから出題、学生のスピーキング能力を測るものである。  
【事前・事後学習課題】 テスト勉強をしておくこと。
- 評価方法 (基準)  
出席は単位取得の必要条件とする。最終的な成績は、単語テスト20%、授業への参加度合い及び宿題40%、定期試験40%を目安に評価する。
- 教材等  
教科書…Smart Choice 1 2nd Edition. Wilson, K. Oxford. ISBN 978-0-19-440737-3  
参考書…『The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test Word Book (学校語彙で学ぶTOEICテスト 単語集)』成美堂 (1,700円+税)
- 学生へのメッセージ  
オーラルコミュニケーションについて学ぶ。楽しく、積極的に授業に参加してください。
- 関連科目  
なし
- 担当者の研究室等  
7号館2階 (非常勤講師室)

英語基礎会話 b  
Basic English Conversation

ジェーン パーメンター				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		後期	選択	1

**授業概要・目的・到達目標**  
基礎英会話の習得を目標とする。テキストは日常的に使っている英文を扱っており、しっかり学習すれば、リスニング、スピーキングの力も確実に向上する。会話の習得を目的とする授業であるから、学生が中心になり、学生によって進められていくべきであることは言うまでもない。  
学科の学習・教育目標との対応：[D]

**授業方法と留意点**  
学生主導の授業である。ペアワークなど、躊躇することなく積極的に参加すること。

**科目学習の効果 (資格)**  
英語を使っているコミュニケーション能力が付き、今後遭遇すると思われるさまざまなシチュエーションで役に立つ。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 授業ガイダンス、現在進行中の事柄の会話  
【内容・方法 等】 ~しているところです。の会話  
教科書を使い、リスニング、ディクテーション、ペアワークなど  
【事前・事後学習課題】 U7の復習、予習
- 第2回 【授業テーマ】 現在進行中の事柄の会話  
【内容・方法 等】 ~しているところです。の会話  
教科書を使い、リスニング、ディクテーション、ペアワークなど  
【事前・事後学習課題】 U7の復習、U8の予習
- 第3回 【授業テーマ】 人物を描写する会話  
【内容・方法 等】 ~のようにみえる、~のようです。の会話  
教科書を使い、リスニング、ディクテーション、ペアワークなど  
【事前・事後学習課題】 U8の復習、予習
- 第4回 【授業テーマ】 人物を描写する会話  
【内容・方法 等】 ~のようにみえる、~のようです。の会話  
教科書を使い、リスニング、ディクテーション、ペアワークなど  
【事前・事後学習課題】 U8の復習、U9の予習
- 第5回 【授業テーマ】 近い計画、招待の会話  
【内容・方法 等】 進行形で計画、招待の会話  
教科書を使い、リスニング、ディクテーション、ペアワークなど  
【事前・事後学習課題】 U9の復習、予習
- 第6回 【授業テーマ】 近い計画、招待の会話  
【内容・方法 等】 進行形で計画、招待の会話  
教科書を使い、リスニング、ディクテーション、ペアワークなど  
【事前・事後学習課題】 U9の復習
- 第7回 【授業テーマ】 U7~9の見直し、復習  
【内容・方法 等】 教科書を使い、リスニング、ディクテーション、ペアワークなど  
【事前・事後学習課題】 U10の予習
- 第8回 【授業テーマ】 休暇の会話  
【内容・方法 等】 過去形の疑問文、肯定文で休暇の会話  
教科書を使い、リスニング、ディクテーション、ペアワークなど  
【事前・事後学習課題】 U10の復習、予習
- 第9回 【授業テーマ】 休暇の会話  
【内容・方法 等】 過去形の疑問文、肯定文で休暇の会話  
教科書を使い、リスニング、ディクテーション、ペアワークなど  
【事前・事後学習課題】 U10の復習、U11の予習
- 第10回 【授業テーマ】 これまでの人生の会話  
【内容・方法 等】 これまでの出来事の会話  
教科書を使い、リスニング、ディクテーション、ペアワークなど  
【事前・事後学習課題】 U11の復習、予習
- 第11回 【授業テーマ】 これまでの人生の会話  
【内容・方法 等】 これまでの出来事の会話  
教科書を使い、リスニング、ディクテーション、ペアワークなど  
【事前・事後学習課題】 U11の復習、U12の予習
- 第12回 【授業テーマ】 夢を語る会話  
【内容・方法 等】 ~したい。の会話  
教科書を使い、リスニング、ディクテーション、ペアワークなど  
【事前・事後学習課題】 U12の復習、予習
- 第13回 【授業テーマ】 夢を語る会話  
【内容・方法 等】 ~したい。の会話  
教科書を使い、リスニング、ディクテーション、ペアワーク



- クなど
- 第14回 【事前・事後学習課題】 U12の復習  
【授業テーマ】 U10～12の見直し、復習  
【内容・方法等】 教科書を使い、リスニング、ディクテーション、ペアワークなど
- 第15回 【事前・事後学習課題】 U10～12の復習  
【授業テーマ】 テーマは自由に選択、ペアでロールプレイを行う。  
【内容・方法等】 授業でペアを組み会話を実演  
【事前・事後学習課題】 U7～12の復習

**評価方法 (基準)**

出席は必ずすること。3週間ごとにスピーキングクイズを行う。授業前の準備(単語・文法の使い方)も、評価に反映する。やる気があるかどうかをみていきます。評価割合は「授業前準備20%、授業態度30%、スピーキングクイズやテスト50%」とします。

**教材等**

教科書…Miles Craven「Breakthrough Success with English 1」Macmillan

参考書…辞書を持参のこと(発音機能付きの電子辞書が望ましい)

**学生へのメッセージ**

私は、このクラスの生徒のすべてが、真剣に英語でのコミュニケーションスキルを向上することを願っています。私は、学生のクラスでの最善の努力を見てみたい。

**関連科目**

他の英語のクラスすべて

**担当者の研究室等**

7号館2階(非常勤講師室)

**海外語学研修**

Overseas Language Training

齋 藤 安以子 (サイトウ アイコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

この研修は、語学力(英語力)の向上と研修地の歴史・文化およびそこで生活する人々に触れ、国際的な知識と理解を深め、広範囲な国の人々と協力し合える国際感覚を身につけることを目的とする。研修先での授業は、月曜日から金曜日に実施し、語学力別に分けたクラス内で行われる。宿泊はホームステイ形式である。費用は40万円前後を予定(為替レートにより変動の可能性あり)。

\*詳細は、3月～4月の募集ガイダンスで周知する。

学科の学習・教育目標との対応:「D」

**授業方法と留意点**

- ・研修前に3回の事前ガイダンスを行う(6月～8月)
- ・研修先では、語学学習を中心とした授業を受講する。授業を担当する先生やホームステイ先の家族を含め、授業内外を問わず現地の人と交流する積極的な行動が求められる。2週間、3週間という短い滞在期間を有意義に過ごすためにも、研修計画を前もって立て、事前学習を怠らないことが大切である。
- ・研修後に他の参加者と共に成果報告会で研修成果をプレゼンテーションする。

**授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題**

3月上旬～4月下旬

募集ガイダンス(日時等の詳細はポータルおよび掲示で連絡する)、事前学習としては事前のガイダンス出席が義務づけられている。また、事後には成果報告およびレポート提出を要請されている。

5月

申込書の提出

5月下旬

派遣学生の決定および履修申請

6月～8月

事前ガイダンスを実施(全3回)

8月上旬

結団式

研修スケジュール>

[2週間コース]

8月中旬～8月下旬(予定)

[3週間コース]

8月中旬～9月上旬(予定)

9月

成果報告書の提出

9月中旬

成果報告会

**評価方法・評価基準**

帰国後に提出する成果報告書(20%)および研修先での成績(80%)を基に評価する。

**教材等**

教科書…事前ガイダンスでは、その都度プリントを配布。研修先では受入大学が指定するもの。

参考書…・研修先の国、地域の観光局等のホームページ  
・そのほか、ガイダンスや事前研修授業で紹介されるもの

**備考**

- ・参加学生は事前ガイダンスに必ず出席すること。欠席の場合は、事前に国際交流センターへ連絡をしてください。
- ・事前に参加申込みをし、参加許可を得た者に限り履修申請をすることができる。通常の履修申請とは方法が異なるので注意。
- ・各学部の期末試験等のスケジュールを確認の上、履修を検討すること。学部・学年によっては、今年度は受講できない場合もあります。

**スポーツ科学実習I**

Practice of Sports Science I

河 瀬 泰 治 (カワセ ヤスハル)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	1

**授業概要・目的・到達目標**

スポーツ活動を通じて知的水準に応じた健康・体力観を育成し、身体能力の獲得およびスポーツをする楽しさを理解する。また、自らの生活習慣の中にスポーツ・身体能力を実践する能力を育成することを目的とする。本授業では、数種目の競技のルール・技術を身につけさらにグループの中でゲーム進行などコミュニケーション能力を向上させる。

《到達目標》

- ①運動技術の向上
  - ②競技ルールの理解
  - ③学生相互のコミュニケーション能力の向上
- 学科の学習・教育目標との対応: [A]

**授業方法と留意点**

実技形式で行う。(雨天の場合、講義形式を行う場合がある。) ※ただし、各種目の人数が多すぎる場合は、少ない種目に移動してもらうことがあります。また、少なすぎる場合も移動、もしくは開講しないことがあります。原則として、スポーツ科学実習IとIIで同じ種目を履修することはできない。

**科目学習の効果(資格)**

生活していくうえでの個人における基礎体力の養成、健康の保持・増進および運動技術の獲得である。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス  
【内容・方法等】 ガイダンス(履修上の注意やコース種目分け)  
【事前・事後学習課題】 ルールの理解
- 第2回 【授業テーマ】 体力測定①  
【内容・方法等】 屋外種目  
【事前・事後学習課題】 測定記録評価
- 第3回 【授業テーマ】 体力測定②  
【内容・方法等】 屋内種目  
【事前・事後学習課題】 測定記録評価
- 第4回 【授業テーマ】 バレー  
【内容・方法等】 基本技術(パス)  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第5回 【授業テーマ】 バレー  
【内容・方法等】 基本技術(トス)  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第6回 【授業テーマ】 バレー  
【内容・方法等】 応用練習(ミニゲーム)  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第7回 【授業テーマ】 バレー  
【内容・方法等】 応用練習(ミニゲーム)  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第8回 【授業テーマ】 バトミントン  
【内容・方法等】 基本技術(レシーブ)  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第9回 【授業テーマ】 バトミントン  
【内容・方法等】 基本技術(スマッシュ)  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第10回 【授業テーマ】 バトミントン  
【内容・方法等】 応用練習(ミニゲーム)  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第11回 【授業テーマ】 バトミントン  
【内容・方法等】 応用練習(ミニゲーム)  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第12回 【授業テーマ】 バスケットボール  
【内容・方法等】 基本技術(ドリブル)

- 第13回 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ  
【授業テーマ】 バスケットボール  
【内容・方法 等】 基本技術（パス）
- 第14回 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ  
【授業テーマ】 バスケットボール  
【内容・方法 等】 応用練習（ミニゲーム）  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第15回 【授業テーマ】 バスケットボール  
【内容・方法 等】 応用練習（ミニゲーム）  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 評価方法（基準）  
平常点50%、態度点25%、技能点25%として、総合評価する。
- 教材等  
教科書…使用しません  
参考書…使用しません
- 学生へのメッセージ  
授業への質問などは授業前後の休憩時間または昼休みに総合体育館1Fスポーツ振興センター事務室にきてください。
- 関連科目  
生涯スポーツ実習・健康論
- 担当者の研究室等  
総合体育館 河瀬研究室

**スポーツ科学実習I**  
Practice of Sports Science I

内部 昭彦 (ウチベ アキヒコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	1

**授業概要・目的・到達目標**

ラグビーを通じて、体力や運動能力の維持、増進を図ることで、健康についての知識を深める。ラグビーは、通常のラグビーと違いタックルなどの身体接触がなく、複雑なルールや高度な技術を必要としない為、運動能力の個人差や男女差が顕在化しない特徴も持っている。また、鬼遊びの要素を持ったゲームで、スポーツの楽しさと、チームプレーによるコミュニケーション能力を養うことができ、学生間の交流や、社会での適応力を高めることを到達目標とする。

学科の学習・教育目標との対応：「A」

**授業方法と留意点**

実技形式で行う。（雨天の場合、講義形式を行う場合がある）  
※ただし、各種目の人数が多すぎる場合は、少ない種目に移動してもらうことがあります。また、少なすぎる場合も移動、もしくは開講しないことがあります。

原則として、スポーツ科学実習IとIIで同じ種目を履修することはできない。

**科目学習の効果（資格）**

個人としての基礎体力の養成、健康の保持・増進および運動技術の獲得、及び団体競技における協調性を養う。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス  
【内容・方法 等】 ガイダンス（履修上の注意やコース種目分け）  
【事前・事後学習課題】 ルールの理解
- 第2回 【授業テーマ】 体力測定①  
【内容・方法 等】 屋外種目  
【事前・事後学習課題】 測定記録評価
- 第3回 【授業テーマ】 体力測定②  
【内容・方法 等】 屋内種目  
【事前・事後学習課題】 測定記録評価
- 第4回 【授業テーマ】 タグラグビー  
【内容・方法 等】 競技説明（ルールの説明）及び基本技術（ランニング・パス）  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第5回 【授業テーマ】 タグラグビー  
【内容・方法 等】 基本技術（タグを使用して、基本的なアタック&ディフェンス練習）  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第6回 【授業テーマ】 タグラグビー  
【内容・方法 等】 基本技術（タグを使用して、基本的なアタック&ディフェンス練習）  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第7回 【授業テーマ】 タグラグビー  
【内容・方法 等】 基本技術、応用練習（タグを使った簡易ゲーム）  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第8回 【授業テーマ】 タグラグビー  
【内容・方法 等】 基本技術、応用練習（タグを使った簡易ゲーム）

- 第9回 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ  
【授業テーマ】 タグラグビー  
【内容・方法 等】 基本技術、応用練習（タグを使った簡易ゲーム）  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第10回 【授業テーマ】 タグラグビー  
【内容・方法 等】 基本技術、応用練習、ミニゲーム（実際の試合のルールに慣れる）  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第11回 【授業テーマ】 タグラグビー  
【内容・方法 等】 基本技術、応用練習、ミニゲーム（実際の試合のルールに慣れる）  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第12回 【授業テーマ】 タグラグビー  
【内容・方法 等】 試合（成績記録）  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第13回 【授業テーマ】 タグラグビー  
【内容・方法 等】 試合（成績記録）  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第14回 【授業テーマ】 タグラグビー  
【内容・方法 等】 試合（成績記録）  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第15回 【授業テーマ】 タグラグビー  
【内容・方法 等】 試合（成績記録）  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 評価方法（基準）  
平常点50%、態度点25%、技能点25%として、総合評価する。

**教材等**

教科書…特になし  
参考書…特になし

**学生へのメッセージ**

授業への質問などは授業前後の休憩時間または昼休みに総合体育館1Fスポーツ振興センター事務室に来ること。  
実施場所は、第1グラウンド（人工芝）で行う。  
服装はスポーツウェア及びスポーツシューズを準備すること。

**関連科目**

スポーツ指導者論・生涯スポーツ実習

**担当者の研究室等**

体育館1F 内部助教室  
セミナー室

**備考**

特になし

**スポーツ科学実習II**  
Practice of Sports Science II

河瀬 泰治 (カワセ ヤスハル)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	1

**授業概要・目的・到達目標**

スポーツ活動を通じて知的水準に応じた健康・体力観を育成し、身体能力の獲得およびスポーツをする楽しさを理解する。また、自らの生活習慣の中にスポーツ・身体能力を実践する能力を育成することを目的とする。本授業では、数種目の競技のルール・技術を身につけさらにグループの中でゲーム進行などコミュニケーション能力を向上させる。

《到達目標》  
①運動技術の向上  
②競技ルールの理解  
③学生相互のコミュニケーション能力の向上  
学科の学習・教育目標との対応：「A」

**授業方法と留意点**

実技形式で行う。（雨天の場合、講義形式を行う場合がある。）  
※ただし、各種目の人数が多すぎる場合は、少ない種目に移動してもらうことがあります。また、少なすぎる場合も移動、もしくは開講しないことがあります。

原則として、スポーツ科学実習IとIIで同じ種目を履修することはできない。

**科目学習の効果（資格）**

生活していくうえでの個人における基礎体力の養成、健康の保持・増進および運動技術の獲得である。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス  
【内容・方法 等】 ガイダンス（履修上の注意やコース種目分け）  
【事前・事後学習課題】 ルールの理解
- 第2回 【授業テーマ】 バレー  
【内容・方法 等】 基本技術（パス）  
【事前・事後学習課題】 測定記録評価



- 第3回 【授業テーマ】 バレー  
【内容・方法 等】 基本技術（トス）  
【事前・事後学習課題】 測定記録評価
- 第4回 【授業テーマ】 バレー  
【内容・方法 等】 応用練習（ミニゲーム）  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第5回 【授業テーマ】 バレー  
【内容・方法 等】 応用練習（ミニゲーム）  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第6回 【授業テーマ】 バレー  
【内容・方法 等】 応用練習（ミニゲーム）  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第7回 【授業テーマ】 バトミントン  
【内容・方法 等】 基本技術（レシーブ）  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第8回 【授業テーマ】 バトミントン  
【内容・方法 等】 基本技術（スマッシュ）  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第9回 【授業テーマ】 バトミントン  
【内容・方法 等】 応用練習（ミニゲーム）  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第10回 【授業テーマ】 バトミントン  
【内容・方法 等】 応用練習（ミニゲーム）  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第11回 【授業テーマ】 バトミントン  
【内容・方法 等】 応用練習（ミニゲーム）  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第12回 【授業テーマ】 バスケットボール  
【内容・方法 等】 基本技術（ドリブル）  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第13回 【授業テーマ】 バスケットボール  
【内容・方法 等】 基本技術（パス）  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第14回 【授業テーマ】 バスケットボール  
【内容・方法 等】 応用練習（ミニゲーム）  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第15回 【授業テーマ】 バスケットボール  
【内容・方法 等】 応用練習（ミニゲーム）  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

評価方法（基準）  
平常点50%、態度点25%、技能点25%として、総合評価する。

教材等  
教科書…使用しません  
参考書…使用しません

学生へのメッセージ  
授業への質問などは授業前後の休憩時間または昼休みに総合体育館1Fスポーツ振興センター事務室にきてください。

関連科目  
生涯スポーツ実習・健康論

担当者の研究室等  
総合体育館 河瀬研究室

スポーツ科学実習II Practice of Sports Science II				
内部 昭彦 (ウチベ アキヒコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	1

**授業概要・目的・到達目標**  
ラグビーを通じて、体力や運動能力の維持、増進を図ること、健康についての知識を深める。ラグビーは、通常のラグビーと違いタックルなどの身体接触がなく、複雑なルールや高度な技術を必要としない為、運動能力の個人差や男女差が顕在化しない特徴をもっている。また、鬼遊びの要素を持ったゲームで、スポーツの楽しさと、チームプレーによるコミュニケーション能力を養うことができ、学生間の交流や、社会での適応力を高めることを到達目標とする。  
学科の学習・教育目標との対応：「A」

**授業方法と留意点**  
実技形式で行う。（雨天の場合、講義形式を行う場合がある）  
※ただし、各種目の人数が多すぎる場合は、少ない種目に移動してもらうことがあります。また、少なすぎる場合も移動、もしくは開講しないことがあります。  
原則として、スポーツ科学実習ⅠとⅡで同じ種目を履修することはできない。

**科目学習の効果（資格）**  
個人としての基礎体力の養成、健康の保持・増進および運動技術の獲得、及び団体競技における協調性を養う。  
毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス  
【内容・方法 等】 ガイダンス（履修上の注意やコース種目分け）  
【事前・事後学習課題】 ルールの理解
- 第2回 【授業テーマ】 タグラグビー  
【内容・方法 等】 競技説明（ルールの説明）及び基本技術（ランニング・パス）  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第3回 【授業テーマ】 タグラグビー  
【内容・方法 等】 基本技術（タグを使用して、基本的なアタック&ディフェンス練習）  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第4回 【授業テーマ】 タグラグビー  
【内容・方法 等】 基本技術（タグを使用して、基本的なアタック&ディフェンス練習）  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第5回 【授業テーマ】 タグラグビー  
【内容・方法 等】 基本技術、応用練習（タグを使った簡易ゲーム）  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第6回 【授業テーマ】 タグラグビー  
【内容・方法 等】 基本技術、応用練習（タグを使った簡易ゲーム）  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第7回 【授業テーマ】 タグラグビー  
【内容・方法 等】 基本技術、応用練習（タグを使った簡易ゲーム）  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第8回 【授業テーマ】 タグラグビー  
【内容・方法 等】 基本技術、応用練習、ミニゲーム（実際の試合のルールに慣れる）  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第9回 【授業テーマ】 タグラグビー  
【内容・方法 等】 基本技術、応用練習、ミニゲーム（実際の試合のルールに慣れる）  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第10回 【授業テーマ】 タグラグビー  
【内容・方法 等】 基本技術、応用練習、ミニゲーム（実際の試合のルールに慣れる）  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第11回 【授業テーマ】 タグラグビー  
【内容・方法 等】 試合（成績記録）  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第12回 【授業テーマ】 タグラグビー  
【内容・方法 等】 試合（成績記録）  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第13回 【授業テーマ】 タグラグビー  
【内容・方法 等】 試合（成績記録）  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第14回 【授業テーマ】 タグラグビー  
【内容・方法 等】 試合（成績記録）  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第15回 【授業テーマ】 タグラグビー  
【内容・方法 等】 試合（成績記録）  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

評価方法（基準）  
平常点50%、態度点25%、技能点25%として、総合評価する。

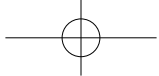
教材等  
教科書…特になし  
参考書…特になし

学生へのメッセージ  
授業への質問などは授業前後の休憩時間または昼休みに総合体育館1Fスポーツ振興センター事務室に来ること。  
実施場所は、第1グラウンド（人工芝）で行う。  
服装はスポーツウェア及びスポーツシューズを準備すること。

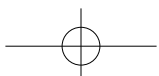
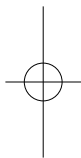
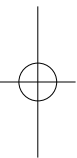
関連科目  
生涯スポーツ実習

担当者の研究室等  
体育館1F 内部助教室  
セミナー室

備考  
特になし



基礎科目





哲学  
Philosophy I

柿本佳美(カキモト ヨシミ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

この授業では、ものづくりの専門家としての技術者のありかた  
と技術に関わる思想をたどり、技術者が身につけておくべき職  
業倫理について学びます。

人間は、生活のなかの大変な作業を楽にしようとさまざまな技  
術を生み出し、生活をより快適にするためにそれらを発展させ  
ました。技術は、力を持った人間のために多くの人が苦しんだ  
社会から辛い作業をなくし、どの人も自由で豊かな生活を送る  
ことのできる社会をつくり出す原動力にもなったのです。とい  
え、科学技術も他の専門知と同じく社会のなかで作られるの  
です。科学技術に対する社会の影響について考える必要があ  
ります。

ここでは、私たちの社会のなかで技術と技術者のあり方を支え  
てきた考え方について学んでいきましょう。

到達目標：日本社会における自然と技術観を理解し、共生社会  
を目指す持続可能な技術のあり方を考えることができる。

学科の学習・教育目標との対応：[A]

授業方法と留意点

講義形式で進めますが、人数によってはディスカッションも取  
り入れます。

科目学習の効果(資格)

科学技術をめぐる歴史をたどることで、人間の知的営みとして  
の技術のあり方について考えることができる。

日本社会における技術観・自然観を学び、これらを技術全体の  
歴史のなかに置くことで、日本が生み出した技術の特徴を知る  
ことができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 はじめに：科学技術と私たち  
【内容・方法等】 授業説明と導入。建築家ユニットSANAA  
に見る日本の技術への海外の評価  
【事前・事後学習課題】 とくになし。
- 第2回 【授業テーマ】 世界史のなかの技術：古代から近世へ  
【内容・方法等】 石器の使用、古代文明、中国およびイスラ  
ム圏での発展、近代的な科学技術の誕生  
【事前・事後学習課題】 予習 高校地理を復習し、世界の河  
川・海洋および気候を確認する。
- 第3回 【授業テーマ】 世界史のなかの技術：近世から現代へ  
【内容・方法等】 科学革命、産業革命、現代の科学技術  
【事前・事後学習課題】 予習 太陽系の仕組みを確認しておく。
- 第4回 【授業テーマ】 日本史のなかの技術：古代から近世へ  
【内容・方法等】 技術という視点から見た日本の歴史  
【事前・事後学習課題】 予習 近世までの日本の歴史を見てお  
く。
- 第5回 【授業テーマ】 日本史のなかの技術：近世から現代へ  
【内容・方法等】 江戸期の技術革新、明治期の近代化、高度  
成長期から現代  
【事前・事後学習課題】 予習 江戸時代の寺子屋について調べ  
る。
- 第6回 【授業テーマ】 日本の組織倫理を支える思想：『論語』と朱子  
学  
【内容・方法等】 日本社会における『論語』の受容  
【事前・事後学習課題】 予習 『論語』を読んでおく。
- 第7回 【授業テーマ】 生活文化の基礎：茶道と禅  
【内容・方法等】 岡倉天心『茶の本』を読み、茶道と禅が生  
活文化にもたらした影響を知る。  
【事前・事後学習課題】 予習 テキストにある岡倉天心『茶の  
本』の抜粋を読んでおく。
- 第8回 【授業テーマ】 日本の思想：仏教と神道  
【内容・方法等】 仏教と神道の自然観を学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 予習 テキストにある法然『一念義停  
止起請文』、親鸞『教行信証』、佐藤信綱『経済要略下』の  
抜粋を読んでおく。
- 第9回 【授業テーマ】 日本の思想：心学と町衆文化  
【内容・方法等】 町衆文化に根付いた学問および技術観  
【事前・事後学習課題】 予習 金子務『江戸人物科学史』(中  
公新書、2005)に目を通しておく。
- 第10回 【授業テーマ】 日本の思想：福沢諭吉と文明開化  
【内容・方法等】 西洋技術の導入と近代化  
【事前・事後学習課題】 予習 青空文庫にある福沢諭吉『学問  
のすゝめ』([http://www.aozora.gr.jp/cards/000296/  
files/47061\\_29420.html](http://www.aozora.gr.jp/cards/000296/files/47061_29420.html))を読んでおく。
- 第11回 【授業テーマ】 日本の自然観：南方熊楠と曼荼羅  
【内容・方法等】 日本社会における共生の思想  
【事前・事後学習課題】 予習 青空文庫にある南方熊楠『神社  
合祀に関する意見』([http://www.aozora.gr.jp/  
cards/000093/card525.html](http://www.aozora.gr.jp/cards/000093/card525.html))と、テキストにある南方熊楠

- 『トーテムと命名』を読んでおく。
- 第12回 【授業テーマ】 日本の自然観：和辻哲郎『風土』  
【内容・方法等】 自然環境と文化との関係  
【事前・事後学習課題】 予習 高校地理の地形と気候について  
復習しておく。
- 第13回 【授業テーマ】 技術者倫理：倫理綱領と技術者  
【内容・方法等】 技術の社会的・道徳的問題  
【事前・事後学習課題】 事前学習 日本技術士会「技術者倫理  
綱領」を読んでおくこと。
- 第14回 【授業テーマ】 技術者倫理：国境を超える科学技術  
【内容・方法等】 グローバル化と技術者倫理  
【事前・事後学習課題】 予習 海外への技術移転について調べ  
ておくこと。
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ：日本の「技術者の夢」  
【内容・方法等】 市民としての技術者のあり方  
【事前・事後学習課題】 予習 中村圭子『科学者が人間である  
こと』(岩波新書、2013)を読んでおくこと。

評価方法(基準)

定期試験60%、平常点(コメントペーパー、受講態度、出席状況)  
40%の割合で総合的に評価する。

教材等

教科書…吉本隆明『思想のアンソロジー』、ちくま学芸文庫、  
2013  
「技術士倫理綱領の解説」(公益社団法人日本技術士会  
HP [http://www.engineer.or.jp/c\\_topics/000/  
attached/attach\\_25\\_3.pdf](http://www.engineer.or.jp/c_topics/000/attached/attach_25_3.pdf))をプリントアウトしておく  
こと。

参考書…金子務『江戸人物科学史』、中公新書、2005  
中村圭子『科学者が人間であること』、岩波新書、2013

学生へのメッセージ

日本社会における技術の位置づけと技術に携わる人々のあり方  
にも触れていきますので、技術に携わる者としての考えを深め  
るように。

遅刻、途中退回はしないこと。私語、携帯電話の使用等、授業  
態度が悪い場合、平常点をゼロとし、退室を命じることがあり  
ます。

関連科目

哲学 II

担当者の研究室等

非常勤講師室

哲学  
Philosophy I

島田喜行(シマダ ヨシユキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

本講義では、現代の日本人が持っている行動規範の源流を辿り  
直すことから、専門技術者を目指す者が身につけておくべき職  
業観と倫理観を学ぶ。

具体的には、今日の産業社会を考える際のキーワードの一つで  
ある「持続可能性sustainability」について、江戸時代の様々な  
思想を通じて理解する。また、柳宗悦の「民藝」思想を通じて  
職人の手仕事、匠の技の卓越性と工芸の用と美に触れる。さらに、  
三木清の「技術哲学」から「技術」の思想とその理論的背景を  
理解し、自然と人間とがより善く共生できる社会の実現を目指  
す技術者のマナーと倫理を学ぶ。

到達目標：以下の項目の理解を到達目標とする。1.sustainability  
と技術 2.民藝思想にみる職人の技と矜持 3.自然との共生を目指  
す技術者倫理

学科の学習と教育目標との対応：「A」

授業方法と留意点

ノート講義形式

講義内容の理解を問う小テストを数回行う

講義内容と密接に関係する問題に対する小レポート(1200~  
1600字)を1回課す

科目学習の効果(資格)

日本の伝統的な職業観と思想に触れることから、現代の技術者  
が身につけるべきことは何か、見習うべきことは何かという問  
いに対して自主的に取り組めるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション  
【内容・方法等】 講義の説明  
【事前・事後学習課題】 とくになし
- 第2回 【授業テーマ】 科学と技術の基礎(1)  
【内容・方法等】 自然科学の源流  
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第3回 【授業テーマ】 科学と技術の基礎(2)  
【内容・方法等】 フランシス・ベーコンの思想

- 【事前・事後学習課題】 予習 フランシス・ベーコンについて調べる
- 第4回 【授業テーマ】 科学と技術の基礎 (3)  
【内容・方法等】 ハンソン「理論負荷性」とは何か
- 第5回 【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習  
【授業テーマ】 江戸時代の思想 (1)  
【内容・方法等】 sustainabilityとは何か、環境破壊と人間性  
の問題
- 第6回 【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習  
【授業テーマ】 江戸時代の思想 (2)  
【内容・方法等】 中江藤樹の思想
- 第7回 【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習  
【授業テーマ】 江戸時代の思想 (3)  
【内容・方法等】 熊沢蕃山の思想
- 第8回 【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習  
【授業テーマ】 江戸時代の思想 (4)  
【内容・方法等】 荻生徂徠の思想
- 第9回 【事前・事後学習課題】 予習 荻生徂徠について調べる  
【授業テーマ】 江戸時代の思想 (5)  
【内容・方法等】 石田梅岩と貝原益軒の思想
- 第10回 【事前・事後学習課題】 予習 貝原益軒について調べる  
【授業テーマ】 柳宗悦の思想 (1)  
【内容・方法等】 現代社会と道具
- 第11回 【事前・事後学習課題】 予習 柳宗悦について調べる  
【授業テーマ】 柳宗悦の思想 (2)  
【内容・方法等】 民藝と手仕事、匠の技と品物の性質
- 第12回 【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習  
【授業テーマ】 三木清の思想  
【内容・方法等】 技術の本質
- 第13回 【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習  
【授業テーマ】 社会と技術  
【内容・方法等】 技術者にとって技術とは何か  
【事前・事後学習課題】 予習 「技術者倫理綱領」の解説を読む
- 第14回 【授業テーマ】 科学技術がもたらす社会的倫理的問題  
【内容・方法等】 生命にかかわる技術と倫理
- 第15回 【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習  
【授業テーマ】 まとめ  
【内容・方法等】 講義のふりかえり  
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習

評価方法 (基準)

定期試験60%、平常点 (1200~1600字の小レポート、小テスト、受講態度、出席状況) 40%の割合で総合的に評価する。

教材等

教科書…公益社団法人日本技術士会のホームページにある「技術者倫理綱領」の解説をダウンロードしておくこと  
参考書…田尻祐一郎『江戸の思想史 人物・方法・連環』中公新書、2011年。  
柳宗悦『民藝とは何か』講談社学術文庫、2006年。その他、講義中に適宜紹介する。

学生へのメッセージ

日本の伝統的な「ものの見方」と「立ち居振る舞い方」に触れ、現代社会を主体的に生きていくためのヒントを発見してください。  
私語、携帯電話の使用等で講義を妨害する行為を行った者は、平常点評価をゼロとする。大学生にふさわしい態度で講義に臨むことを求めます。

関連科目

哲学から学ぶ

担当者の研究室等

非常勤講師室

哲学II Philosophy II				
柿本佳美 (カキモト ヨシミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

この授業では、ものづくりの専門家としての技術者のありかた  
と技術に関わる思想をたどり、技術者が身につけておくべき職  
業倫理について学びます。  
人間は、生活のなかの大変な作業を楽にしようとさまざまな技  
術を生み出し、生活をより快適にするためにそれらを発展させ  
ました。技術は、力を持った人間のために多くの人が苦しんだ  
社会から辛い作業をなくし、どの人も自由で豊かな生活を送る  
ことのできる社会をつくり出す原動力にもなったのです。とは  
いえ、科学技術も他の専門知と同じく社会のなかで作られるの  
ですから、科学技術に対する社会の影響について考える必要が  
あります。

ここでは、私たちの社会のなかで技術と技術者のあり方を支え  
てきた考え方について学んでいきましょう。  
到達目標：日本社会における自然と技術観を理解し、共生社会  
を目指す持続可能な技術のあり方を考えることができる。  
学科の学習・教育目標との対応：[A]

授業方法と留意点

講義形式で進めますが、人数によってはディスカッションも取  
り入れます。

科目学習の効果 (資格)

科学技術をめぐる歴史をたどることで、人間の知的営みとして  
の技術のあり方について考えることができる。  
日本社会における技術観・自然観を学び、これらを技術全体の  
歴史のなかに置くことで、日本が生み出した技術の特徴を知る  
ことができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 はじめに：科学技術と私たち  
【内容・方法等】 授業説明と導入。建築家ユニットSANAA  
に見る日本の技術への海外の評価  
【事前・事後学習課題】 とくになし。
- 第2回 【授業テーマ】 世界史のなかの技術：古代から近世へ  
【内容・方法等】 石器の使用、古代文明、中国およびイスラ  
ム圏での発展、近代的な科学技術の誕生  
【事前・事後学習課題】 予習 高校地理を復習し、世界の河  
川・海洋および気候を確認する。
- 第3回 【授業テーマ】 世界史のなかの技術：近世から現代へ  
【内容・方法等】 科学革命、産業革命、現代の科学技術  
【事前・事後学習課題】 予習 太陽系の仕組みを確認しておく。
- 第4回 【授業テーマ】 日本史のなかの技術：古代から近世へ  
【内容・方法等】 技術という視点から見た日本の歴史  
【事前・事後学習課題】 予習 近世までの日本の歴史を見てお  
く。
- 第5回 【授業テーマ】 日本史のなかの技術：近世から現代へ  
【内容・方法等】 江戸期の技術革新、明治期の近代化、高度  
成長期から現代  
【事前・事後学習課題】 予習 江戸時代の寺子屋について調べ  
る。
- 第6回 【授業テーマ】 日本の組織倫理を支える思想：『論語』と朱子  
学  
【内容・方法等】 日本社会における『論語』の受容  
【事前・事後学習課題】 予習 『論語』を読んでおく。  
【授業テーマ】 生活文化の基礎：茶道と禅  
【内容・方法等】 岡倉天心『茶の本』を読み、茶道と禅が生  
活文化にもたらした影響を知る。  
【事前・事後学習課題】 予習 テキストにある岡倉天心『茶の  
本』の抜粋を読んでおく。
- 第8回 【授業テーマ】 日本の思想：仏教と神道  
【内容・方法等】 仏教と神道の自然観を学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 予習 テキストにある法然『一念義停  
止起請文』、親鸞『教行信証』、佐藤信綱『経済要略下』の  
抜粋を読んでおく。
- 第9回 【授業テーマ】 日本の思想：心学と町衆文化  
【内容・方法等】 町衆文化に根付いた学問および技術観  
【事前・事後学習課題】 予習 金子務『江戸人物科学史』(中  
公新書、2005)に目を通しておく。
- 第10回 【授業テーマ】 日本の思想：福沢諭吉と文明開化  
【内容・方法等】 西洋技術の導入と近代化  
【事前・事後学習課題】 予習 青空文庫にある福沢諭吉『学問  
のすゝめ』([http://www.aozora.gr.jp/cards/000296/  
files/47061\\_29420.html](http://www.aozora.gr.jp/cards/000296/files/47061_29420.html))を読んでおく。
- 第11回 【授業テーマ】 日本の自然観：南方熊楠と曼荼羅  
【内容・方法等】 日本社会における共生の思想  
【事前・事後学習課題】 予習 青空文庫にある南方熊楠『神社  
合祀に関する意見』([http://www.aozora.gr.jp/  
cards/000093/card525.html](http://www.aozora.gr.jp/cards/000093/card525.html))と、テキストにある南方熊楠  
『トーマと命名』を読んでおく。
- 第12回 【授業テーマ】 日本の自然観：和辻哲郎『風土』  
【内容・方法等】 自然環境と文化との関係  
【事前・事後学習課題】 予習 高校地理の地形と気候について  
復習しておく。
- 第13回 【授業テーマ】 技術者倫理：倫理綱領と技術者  
【内容・方法等】 技術の社会的・道徳的問題  
【事前・事後学習課題】 事前学習 日本技術士会「技術者倫理  
綱領」を読んでおくこと。
- 第14回 【授業テーマ】 技術者倫理：国境を超える科学技術  
【内容・方法等】 グローバル化と技術者倫理  
【事前・事後学習課題】 予習 海外への技術移転について調べ  
ておくこと。
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ：日本の「技術者の夢」  
【内容・方法等】 市民としての技術者のあり方  
【事前・事後学習課題】 予習 中村圭子『科学者が人間である  
こと』(岩波新書、2013)を読んでおくこと。

評価方法 (基準)

定期試験60%、平常点 (コメントペーパー、受講態度、出席状況)  
40%の割合で総合的に評価する。



**教材等**

教科書…吉本隆明『思想のアンソロジー』、ちくま学芸文庫、2013  
 「技術士倫理綱領の解説」（公益社団法人日本技術士会 HP [http://www.engineer.or.jp/c\\_topics/000/attached/attach\\_25\\_3.pdf](http://www.engineer.or.jp/c_topics/000/attached/attach_25_3.pdf)）をプリントアウトしておくこと。  
 参考書…金子務『江戸人物科学史』、中公新書、2005  
 中村圭子『科学者が人間であること』、岩波新書、2013

**学生へのメッセージ**

日本社会における技術の位置づけと技術に携わる人々のあり方にも触れていきますので、技術に携わる者としての考えを深めるように。  
 遅刻、途中退席はしないこと。私語、携帯電話の使用等、授業態度が悪い場合、平常点をゼロとし、退室を命じることがあります。

**関連科目**

哲学 II

担当者の研究室等  
 非常勤講師室

哲学II Philosophy II				
島田 喜行 (シマダ ヨシユキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

わたしたちは環境としての世界のなかで、できるだけ善く生きるために、あるいはできるだけ有効に活動するために、世界のあり方を知らうとする。こうしたわたしたちの世界を知らうとする努力が哲学という営為の根本にある。本講義では、世界を知らうとする哲学の起源である古代哲学を通じて「世界の見方」を学び直すことで常識を突破する知的興奮を学ぶ。そのなかで、どのような仕方でも古代の思想が現代社会を生きるわたしたちの指針となりうるか、という問いについて考えてみたい。  
 到達目標：哲学の源流であるギリシア思想を学ぶことから、社会人にとって必要な教養と多角的視点を身につけることができる。

学科の学習と教育目標との対応：「A」

**授業方法と留意点**

ノート講義方式  
 講義内容の理解を問う小テストを数回行う  
 講義内容と密接に関係する問題に対する小レポート（1200～1600字）を1回課す

**科目学習の効果（資格）**

古典哲学から哲学的思考法の基本構造を学び、現代の社会構造や現代人の生き方を新たな視点から捉え直す能力が獲得できる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション  
 【内容・方法 等】 講義の説明  
 【事前・事後学習課題】 とくになし
- 第2回 【授業テーマ】 哲学とは何か  
 【内容・方法 等】 古代哲学者の末路について  
 【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第3回 【授業テーマ】 古代ギリシア哲学の始まり (1)  
 【内容・方法 等】 古代神話における神の死と哲学の始まり  
 【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第4回 【授業テーマ】 古代ギリシア哲学の始まり (2)  
 【内容・方法 等】 世界の見方、ミュートスとロゴスについて  
 【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第5回 【授業テーマ】 タレスの思想 (1)  
 【内容・方法 等】 水の哲学  
 【事前・事後学習課題】 予習 タレスについて調べる。
- 第6回 【授業テーマ】 タレスの思想 (2)  
 【内容・方法 等】 水の哲学についての三つの解釈  
 【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第7回 【授業テーマ】 ヘラクレイトスの思想 (1)  
 【内容・方法 等】 火の哲学  
 【事前・事後学習課題】 予習 ヘラクレイトスについて調べる
- 第8回 【授業テーマ】 ヘラクレイトスの思想 (2)  
 【内容・方法 等】 逆理論法について  
 【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第9回 【授業テーマ】 選別エチカの思想 (1)  
 【内容・方法 等】 二分法による世界の見方について  
 【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第10回 【授業テーマ】 選別エチカの思想 (2)  
 【内容・方法 等】 「人生は子どもの遊びである」ということについて  
 【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習

- 第11回 【授業テーマ】 ソクラテスの思想 (1)  
 【内容・方法 等】 神託と無知の知  
 【事前・事後学習課題】 予習 ソクラテスについて調べる。
  - 第12回 【授業テーマ】 ソクラテスの思想 (2)  
 【内容・方法 等】 ブッダとの対比  
 【事前・事後学習課題】 予習 ブッダについて調べる。
  - 第13回 【授業テーマ】 ストア派の思想  
 【内容・方法 等】 ストイックな生き方とは何か  
 【事前・事後学習課題】 予習 M.アウレリウスについて調べる。
  - 第14回 【授業テーマ】 古代哲学と現代の諸問題  
 【内容・方法 等】 矛盾やパラドクスによって世界を把握することについて  
 【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
  - 第15回 【授業テーマ】 まとめ  
 【内容・方法 等】 これまでの講義のふりかえり  
 【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 評価方法（基準）  
 定期試験60%、平常点（1200～1600字の小レポート、小テスト、受講態度、出席状況）40%の割合で総合的に評価する。

**教材等**

教科書…なし  
 参考書…古東哲明『現代思想としてのギリシア哲学』講談社、1998年。  
 その他は、授業中に適宜指示する。

**学生へのメッセージ**

一見、現代の生活スタイルには関係ないと思われる古典哲学としての位置づけや、実は身近なところで生きているということをも自分の目で確かめてください。  
 私語、携帯電話の使用等で講義を妨害する行為を行った者は、平常点評価をゼロとする。大学生にふさわしい態度で講義に臨むことを求めます。

**関連科目**

実践の思想  
 担当者の研究室等  
 非常勤講師室

文学I Literature I				
細川 知佐子 (ホソカワ チサコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

この講義では『百人一首』を読んでいきます。まず、文学作品としての位置づけを行ったうえで、和歌の鑑賞を通して、我々現代人が忘れてしまった自然と共生する力や方法、また今も昔も変わらない心情などを学びましょう。古典作品は断絶した遠い過去の遺物ではありません。自ら作品に近づき親しむことにより、現代の文学作品と同様に多くの知見や感動を得ることができます。和歌の断片的な知識ではなく、作品としての総合的な理解が目標です。  
 学科の学習・教育目標との対応：「A」

**授業方法と留意点**

講義形式です。不定期に小テストを行い、平常点（出席点）とします。

**科目学習の効果（資格）**

大学生として必要最低限の「古典文学」の知識を身につけることができます。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス  
 【内容・方法 等】 授業の目的、方法の説明  
 【事前・事後学習課題】 『百人一首』を読む
- 第2回 【授業テーマ】 作品としての『百人一首』 1  
 【内容・方法 等】 『百人一首』の成立と謎  
 【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第3回 【授業テーマ】 作品としての『百人一首』 2  
 【内容・方法 等】 江戸時代を中心にした、『百人一首』の後世の受容  
 【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第4回 【授業テーマ】 作品としての『百人一首』 3  
 【内容・方法 等】 『百人一首』の構成と和歌を読むための基礎知識  
 【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第5回 【授業テーマ】 四季歌を読む 春 1  
 【内容・方法 等】 春の歌を読みます  
 【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第6回 【授業テーマ】 四季歌を読む 春 2  
 【内容・方法 等】 桜の歌を読みます  
 【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第7回 【授業テーマ】 四季歌を読む 夏

【内容・方法等】夏の歌を読みます  
**【事前・事後学習課題】** 配布プリントを読む  
**【授業テーマ】** 四季歌を読む 秋1  
 第8回  
 【内容・方法等】秋の歌を読みます  
**【事前・事後学習課題】** 配布プリントを読む  
 第9回  
**【授業テーマ】** 四季歌を読む 秋2  
 【内容・方法等】秋の月の歌を読みます  
**【事前・事後学習課題】** 配布プリントを読む  
 第10回  
**【授業テーマ】** 四季歌を読む 冬  
 【内容・方法等】冬の歌を読みます  
**【事前・事後学習課題】** 配布プリントを読む  
 第11回  
**【授業テーマ】** 恋歌  
 【内容・方法等】名所（歌枕）を用いた恋歌を読みます  
**【事前・事後学習課題】** 配布プリントを読む  
 第12回  
**【授業テーマ】** 雑歌1  
 【内容・方法等】友情をテーマにした歌を読みます  
**【事前・事後学習課題】** 配布プリントを読む  
 第13回  
**【授業テーマ】** 雑歌2  
 【内容・方法等】旅の歌を読みます  
**【事前・事後学習課題】** 配布プリントを読む  
 第14回  
**【授業テーマ】** 雑歌2  
 【内容・方法等】人生をテーマにした歌を読みます  
**【事前・事後学習課題】** 配布プリントを読む  
 第15回  
**【授業テーマ】** 授業の総括  
 【内容・方法等】『百人一首』の意義と他の文学作品との関わり  
**【事前・事後学習課題】** 配布プリントを読む  
**評価方法（基準）**  
 平常点（主に小テスト）と試験によって、総合的に評価します。（平常点30%、定期試験70%）  
**教材等**  
 教科書…資料を配付します。  
 参考書…適宜、講義のなかで紹介いたします。  
**学生へのメッセージ**  
 和歌が持つ美しいリズムを味わい、千年前の人々からのメッセージを受け取りましょう。  
**関連科目**  
 日本語読解  
**担当者の研究室等**  
 7号館2階(非常勤講師室)

文学II  
Literature II

細川 知佐子 (ホソカワ チサコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

この講義では明治以降現代までの新聞小説を、朝日新聞を中心に読んでいきます。時代順に読むことにより、新聞小説が持つ役割の変化を考えましょう。時代の中における文学としての役割、新聞紙上での役割など、複数の視点で捉えるようになることが目標です。

学科の学習・教育目標との対応：「A」

授業方法と留意点

講義形式ですが、不定期に復習テストを行います。また、授業で紹介した新聞小説を最低1冊は読むこと。感想文を提出した場合、平常点に加えます。

科目学習の効果（資格）

大学生として最低限の教養を身につけることができます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 **【授業テーマ】** オリエンテーション  
**【内容・方法等】** 本講義に臨むための基本姿勢と注意点について説明します  
**【事前・事後学習課題】** 特になし
- 第2回 **【授業テーマ】** 新聞小説とは何か  
**【内容・方法等】** 新聞小説の始まりと歴史について学びます  
**【事前・事後学習課題】** 配布資料を読む
- 第3回 **【授業テーマ】** 明治時代の新聞小説1  
**【内容・方法等】** 黎明期（明治30年まで）の新聞小説について  
 尾崎紅葉『金色夜叉』を中心に  
**【事前・事後学習課題】** 配布資料と作品を読む
- 第4回 **【授業テーマ】** 明治時代の新聞小説2  
**【内容・方法等】** 明治31年以降の新聞小説を読みます  
 夏目漱石『虞美人草』を中心に  
**【事前・事後学習課題】** 配布資料と作品を読む
- 第5回 **【授業テーマ】** 明治時代の新聞小説3  
**【内容・方法等】** 夏目漱石『坑夫』を読みます  
**【事前・事後学習課題】** 配布資料と作品を読む

- 第6回 **【授業テーマ】** 大正時代の新聞小説1  
**【内容・方法等】** 中勘助『銀の匙』を読みます  
**【事前・事後学習課題】** 配布資料と作品を読む
- 第7回 **【授業テーマ】** 大正時代の新聞小説2  
**【内容・方法等】** 菊池寛『真珠夫人』、谷崎潤一郎『痴人の愛』を読みます  
**【事前・事後学習課題】** 配布資料と作品を読む
- 第8回 **【授業テーマ】** 大正時代の新聞小説3  
**【内容・方法等】** 江戸川乱歩『一寸法師』を中心に  
**【事前・事後学習課題】** 配布資料と作品を読む
- 第9回 **【授業テーマ】** 昭和初期の新聞小説  
**【内容・方法等】** 川端康成『浅草紅団』を読みます  
**【事前・事後学習課題】** 配布資料と作品を読む
- 第10回 **【授業テーマ】** 戦中の新聞小説  
**【内容・方法等】** 戦中の新聞小説の特色を考え、作品を読みます。  
 火野葦平『花と兵隊』を中心に  
**【事前・事後学習課題】** 配布資料と作品を読む
- 第11回 **【授業テーマ】** 戦後の新聞小説  
**【内容・方法等】** 戦後の新聞小説の特色と作品を読みます  
 石坂洋次郎『青い山脈』を中心に  
**【事前・事後学習課題】** 配布資料と作品を読む
- 第12回 **【授業テーマ】** 現代の新聞小説1  
**【内容・方法等】** 松本清張『砂の器』を読みます  
**【事前・事後学習課題】** 配布資料と作品を読む
- 第13回 **【授業テーマ】** 現代の新聞小説2  
**【内容・方法等】** 有吉佐和子『複合汚染』を読みます  
**【事前・事後学習課題】** 配布資料と作品を読む
- 第14回 **【授業テーマ】** 現代の新聞小説3  
**【内容・方法等】** 宮部みゆき『理由』を中心に  
**【事前・事後学習課題】** 配布資料と作品を読む
- 第15回 **【授業テーマ】** 本講義のまとめ  
**【内容・方法等】** 講義で取り上げた新聞小説を振り返り、時代との関わりを考えます  
**【事前・事後学習課題】** 配布資料を読む
- 評価方法（基準）**  
 平常点と試験によって、総合的に評価します。（平常点30%、定期試験70%）
- 教材等**  
 教科書…資料を配付します。  
 参考書…適宜、講義のなかで紹介いたします。
- 学生へのメッセージ**  
 新聞小説というジャンルを認識することで、社会と文学との関わりを考えてみよう。文学が時代を反映していることや社会に与える影響を、新聞小説を通して理解してもらいたい。
- 関連科目**  
 日本語読解  
**担当者の研究室等**  
 7号館2階(非常勤講師室)

歴史学I  
History I

村上 司樹 (ムラカミ モトキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

歴史は暗記科目ではない。過去に生きた人びとの具体的な経験から思考力を培う営みである。理工学部を対象とするこの授業では、中世ヨーロッパの歴史を、自然と技術の2つの視点から読み直す。具体的には(1)機械による労働、(2)建築家と技術者、(3)自然科学の社会的利用が誕生した状況を知ることができる。理学と工学のいずれにとっても大きな転換点であった中世ヨーロッパについて、具体的に中味のある基礎知識を身につけよう。

学科の学習・教育目標との対応：「A」

授業方法と留意点

毎回プリントを配布し、図像資料も交えながら授業を進める。宿題は毎回のプリントを、①授業の当日、②次回授業の前日の、最低2回読み返すこと。つまり復習。なぜならこの授業では、毎回の授業開始時に、「前回どのような話をしたか」語ることは一切しないから。前回とその回の授業内容のつながり、話の流れを追うことは自分でする必要がある。そのための2度の読み返し。そもそも勉強とは復習である。

科目学習の効果（資格）

文化という視点を得て、理学・工学をより深く、より幅広く理解するための教養を培う。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 **【授業テーマ】** はじめに  
**【内容・方法等】** 授業のルール・方針・全体計画  
**【事前・事後学習課題】** 最低2回は資料を読み返す



- 第2回 【授業テーマ】 機械からみた中世 I  
【内容・方法 等】 中世の産業革命  
【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
- 第3回 【授業テーマ】 機械からみた中世 I I  
【内容・方法 等】 中世の産業革命 (続)  
【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
- 第4回 【授業テーマ】 機械からみた中世 I I I  
【内容・方法 等】 領主と農民のエネルギー利用  
【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
- 第5回 【授業テーマ】 機械からみた中世 I V  
【内容・方法 等】 領主と農民のエネルギー利用 (続)  
【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
- 第6回 【授業テーマ】 機械からみた中世 V  
【内容・方法 等】 教会と技術  
【事前・事後学習課題】 小レポート
- 第7回 【授業テーマ】 建築からみた中世 I  
【内容・方法 等】 教会と建築  
【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
- 第8回 【授業テーマ】 建築からみた中世 I I  
【内容・方法 等】 教会と建築 (続)  
【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
- 第9回 【授業テーマ】 建築からみた中世 I I I  
【内容・方法 等】 教会と建築 (続々)  
【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
- 第10回 【授業テーマ】 建築からみた中世 I V  
【内容・方法 等】 修道院と石造り  
【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
- 第11回 【授業テーマ】 建築からみた中世 I V  
【内容・方法 等】 修道院と石造り (続)  
【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
- 第12回 【授業テーマ】 建築からみた中世 V  
【内容・方法 等】 大聖堂と石造り  
【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
- 第13回 【授業テーマ】 自然からみた中世 I  
【内容・方法 等】 奇蹟と魔術の自然学  
【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
- 第14回 【授業テーマ】 自然からみた中世 I I  
【内容・方法 等】 奇蹟と魔術の自然学 (続)  
【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
- 第15回 【授業テーマ】 自然からみた中世 I I I  
【内容・方法 等】 奇蹟と魔術の自然学 (続々)  
【事前・事後学習課題】 テストの準備

**評価方法 (基準)**

暗記は必要ない。減点主義もとらない。具体的には、①定期試験 (40%)、②小レポート (30%)、③レスポンスペーパー (30%) の3つで評価する。①～③すべてに共通する評価基準は、「具体的に書けているかどうか」である。

**教材等**

教科書…参考資料を適宜配布する。  
参考書…授業中に適宜紹介する。

**学生へのメッセージ**

一方通行にならない授業、集中しやすい授業を心がけています。レスポンス・ペーパー、小レポート、そして試験答案を書いてもらいますが、「やることが多い」などとネガティブに考えず、「単位取得のチャンスが多い」とポジティブに捉えることをお勧めします。それにものごとを説明したり、説得的な文章を作成する経験と能力は、他のあらゆる学問にも、さらに大学卒業後の長い人生にも欠かせません。積極的に取り組んで、「単位以上のもの」を得てほしいと思います。

**担当者の研究室等**

7号館2階 (非常勤講師室)

<b>歴史学 I</b> History I				
佐伯智広 (サエキ トモヒロ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

目的・到達目標：近代日本の成立についての歴史的な基礎知識を身に付け、その特質を理解する。  
概要：私たちは、日本という「国」に暮らしていることを、当たり前のごとく自然なことだと思っています。ですが、もしもそれが「自然ではないこと」だと言われたら…ちょっと「えっ？」と思いませんか？現在の私たちが暮らす「国」とは何なのか。それが誰によって、何のために、どのように作られたのか。この講義では、そうした国の成り立ちの歴史について学びます。それは、単なる歴史ではなく、現代社会について理解することにつながるでしょう。学科の学習・教育目標との対応：「A」

**授業方法と留意点**

板書講義形式です。プリントを利用します。教科書はありません。参考図書は講義内で適宜示します。

**科目学習の効果 (資格)**

近代日本という国の起源・変遷・特色についての、歴史的な基礎知識と、それを説明する能力を身につけることができます。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション 「国」とは何か  
【内容・方法 等】 私たちが現在暮らす「国」とは何なのかについて説明します。  
【事前・事後学習課題】 なし
- 第2回 【授業テーマ】 開国  
【内容・方法 等】 幕末の開国について、江戸時代の鎖国と比較して考えます。  
【事前・事後学習課題】 予習として、「開国」という語について辞書的な意味を調べる。
- 第3回 【授業テーマ】 廃藩置県  
【内容・方法 等】 廃藩置県について、江戸時代の幕藩体制と比較して考えます。  
【事前・事後学習課題】 予習として、「廃藩置県」という語について辞書的な意味を調べる。
- 第4回 【授業テーマ】 徴兵令  
【内容・方法 等】 徴兵令について、江戸時代の武士と比較して考えます。  
【事前・事後学習課題】 予習として、「徴兵令」という語について辞書的な意味を調べる。
- 第5回 【授業テーマ】 文明開化  
【内容・方法 等】 文明開化について、江戸時代の蘭学・国学と比較して考えます。  
【事前・事後学習課題】 予習として、「文明開化」という語について辞書的な意味を調べる。
- 第6回 【授業テーマ】 自由民権運動  
【内容・方法 等】 自由民権運動について、現代の政治制度と比較して考えます。  
【事前・事後学習課題】 予習として、「自由民権運動」という語について辞書的な意味を調べる。
- 第7回 【授業テーマ】 大日本帝国憲法  
【内容・方法 等】 大日本帝国憲法について、日本国憲法と比較して考えます。  
【事前・事後学習課題】 予習として、「大日本帝国憲法」という語について辞書的な意味を調べる。
- 第8回 【授業テーマ】 条約改正  
【内容・方法 等】 不平等条約の改正について考えます。  
【事前・事後学習課題】 予習として、「条約改正」という語について辞書的な意味を調べる。
- 第9回 【授業テーマ】 日清戦争・日露戦争  
【内容・方法 等】 日清戦争・日露戦争について、前後の時代の戦争と比較して考えます。  
【事前・事後学習課題】 予習として、「日清戦争」「日露戦争」という語について辞書的な意味を調べる。
- 第10回 【授業テーマ】 第一次世界大戦  
【内容・方法 等】 第一次世界大戦について、前後の時代の戦争と比較して考えます。  
【事前・事後学習課題】 予習として、「第一次世界大戦」という語について辞書的な意味を調べる。
- 第11回 【授業テーマ】 ワシントン体制  
【内容・方法 等】 ワシントン体制について、現代の戦争問題と比較して考えます。  
【事前・事後学習課題】 予習として、「ワシントン体制」という語について辞書的な意味を調べる。
- 第12回 【授業テーマ】 大正デモクラシー  
【内容・方法 等】 大正デモクラシーについて、現代の政治制度と比較して考えます。  
【事前・事後学習課題】 予習として、「大正デモクラシー」という語について辞書的な意味を調べる。
- 第13回 【授業テーマ】 世界恐慌  
【内容・方法 等】 世界恐慌について、現代の経済問題と比較して考えます。  
【事前・事後学習課題】 予習として、「世界恐慌」という語について辞書的な意味を調べる。
- 第14回 【授業テーマ】 第二次世界大戦  
【内容・方法 等】 第二次世界大戦について、前後の時代の戦争と比較して考えます。  
【事前・事後学習課題】 予習として、「第二次世界大戦」という語について辞書的な意味を調べる。
- 第15回 【授業テーマ】 そして現代へ  
【内容・方法 等】 第二次世界大戦後の日本について、現代と比較して考えます。  
【事前・事後学習課題】 予習として、「日本国憲法」という語について辞書的な意味を調べる。

**評価方法 (基準)**

予習シート30%、定期試験70%

**教材等**

教科書…ありません。

参考書…講義内で適宜示します。

### 学生へのメッセージ

教科書で勉強する高校の日本史とは違って、大学での講義はきゅうくつな枠組みはありません。ただ過去の歴史を追うのではなく、現在に残る遺跡・遺物・建築・美術工芸品などを紹介したり、歴史を題材にした文学作品・マンガを取り上げたりしながら、現代の私達にとって歴史が持つ意味についても、自由に考えていきましょう！また、最新の学説なども紹介していくので、研究の最先端で教科書が書き換わっていく面白さも知ってもらいたいと考えています。

### 関連科目

ありません。

### 担当者の研究室等

7号館2階非常勤講師室

国語学I Japanese Language I				
松尾佳津子 (マツオ カヅコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

### 授業概要・目的・到達目標

日々、何を読んでいますか？ また、日々、何をしていますか？ 何を学ぶにせよ、また学生であれ社会人であれ、「文章を読む」ということを避けて通るわけにはいきません。仲間内だけ通じる会話や話し言葉でなく、書き言葉を通じてしか手に入らないものがあります。それをぜひ身につけてほしいと願っています。さまざまなジャンルの文章を素材として語句や表現を学び、自分なりの感想を持ちそれを発信する、というトレーニングを積んでみましょう。

語句の知識を増やして定着させること、表現に着目した読解トレーニングを積むこと、読解した内容に対して自分なりの考えを表現できること。この三つの力を磨くことを目標とします。学科の学習・教育目標との対応：[A]

### 授業方法と留意点

◇毎回、語句チェックを通じて語彙力を磨きます（授業前半）。また毎回、素材となる文章を配布し、プリント形式で読解授業を進めます（授業後半）。

◇授業中に随時課題を提示しますので、それらに取り組むことで積極的な取り組みをあなたに要求します。友人の回答の引き写しなど、課題に取り組む態度に不備のある場合は、出席と認めません。

### 科目学習の効果（資格）

「日本語文章能力検定」などの公的資格もありますが、自分のことばに自覚的である感性を養うことが何よりの学習効果です。文章を味読し、自分の考えを文章化し、他者に発信するトレーニングは、積極的に取り組むことで、日々のレポート作成や、就職活動のための種々の文章作成の下地作りにもなるでしょう。

### 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 エッセイ（1）  
【内容・方法 等】 叙情的、軽妙洒脱など、さまざまなタイプの作品に触れる。  
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第2回 【授業テーマ】 エッセイ（2）  
【内容・方法 等】 叙情的、軽妙洒脱など、さまざまなタイプの作品に触れる。  
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第3回 【授業テーマ】 エッセイ（3）  
【内容・方法 等】 叙情的、軽妙洒脱など、さまざまなタイプの作品に触れる。  
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第4回 【授業テーマ】 文語的な文章（1）  
【内容・方法 等】 やや古めかしい言い回しに触れて独特の雰囲気を楽しむ。  
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第5回 【授業テーマ】 文語的な文章（2）  
【内容・方法 等】 やや古めかしい言い回しに触れて独特の雰囲気を楽しむ。  
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第6回 【授業テーマ】 文語的な文章（3）  
【内容・方法 等】 やや古めかしい言い回しに触れて独特の雰囲気を楽しむ。  
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。

- 第7回 【授業テーマ】 近代の小説（1）  
【内容・方法 等】 有名作品の一部を読み、梗概や時代背景に触れる。  
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第8回 【授業テーマ】 近代の小説（2）  
【内容・方法 等】 有名作品の一部を読み、梗概や時代背景に触れる。  
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第9回 【授業テーマ】 近代の小説（3）  
【内容・方法 等】 有名作品の一部を読み、梗概や時代背景に触れる。  
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第10回 【授業テーマ】 実用的な文章（1）  
【内容・方法 等】 手紙文やビジネス文書を「読解」してみる。  
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第11回 【授業テーマ】 実用的な文章（2）  
【内容・方法 等】 手紙文やビジネス文書を「読解」してみる。  
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第12回 【授業テーマ】 実用的な文章（3）  
【内容・方法 等】 手紙文やビジネス文書を「読解」してみる。  
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第13回 【授業テーマ】 韻文（1）  
【内容・方法 等】 身近な歌の「歌詞」を作品として「読解」してみる。  
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第14回 【授業テーマ】 韻文（2）  
【内容・方法 等】 身近な歌の「歌詞」を作品として「読解」してみる。  
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第15回 【授業テーマ】 韻文（3）  
【内容・方法 等】 身近な歌の「歌詞」を作品として「読解」してみる。  
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。

### 評価方法（基準）

- ◇講義中に作成する小レポートが出席確認を兼ねます。近年散見する代筆提出については、代筆者・被代筆者共、成績処理時に大幅減点します。
- ◇最終成績は、定期試験の結果7割と小レポートの回答状況3割とを合わせて判断します。
- ◇私語・飲食・頻繁な離席・他授業の課題作成・居眠りなど、受講態度の著しく悪い学生には退室を指示して当日の出席は無効とし、さらに状況に応じてマイナス評価を下します。また、回収した小レポートの回答状況が著しく悪い場合も、当日の出席は無効とします。
- ◇出席不良者は、原則として成績評価を行いません。

### 教材等

教科書…プリント授業です。  
参考書…毎回のプリントの中で提示していきます。

### 学生へのメッセージ

「本を読むのはキライ」という気持ちを捨てて講義に臨んで下さい。私があなたに求めているのは「今までの知識の積み重ね」ではなく、「自分のことばに自覚的になること、自分のことばで考えること」です。正解のない世界で「自分の答え」を手探りしてみましょう。

### 関連科目

こういった方面に興味のある人は、他に「文学から学ぶ」や「日本語表現」などを学ぶことで、より理解を深めることができるでしょう。

### 担当者の研究室等

7号館2階（非常勤講師室）

国語学II Japanese Language II				
松繁弘之 (マツシゲ ヒロユキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

### 授業概要・目的・到達目標

授業の内容は要約文および小論文の作成です。文章の構成法を学びながら、要約文と小論文を作成する練習をします。それによって的確な文章を作成することができるようになることが目



標です。また、常用漢字の練習も行います。  
 学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**

講義と演習によって行います。

**科目学習の効果（資格）**

レポートでの文章表現や就職活動での小論文に不安がなくなります。また、漢字検定2級の漢字が習得できます。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 導入  
 【内容・方法 等】 授業についての説明  
 【事前・事後学習課題】 教科書の前書きと目次を読む
- 第2回 【授業テーマ】 パラグラフの構造（1）  
 【内容・方法 等】 中心文と支持文（1）  
 【事前・事後学習課題】 漢字の復習
- 第3回 【授業テーマ】 パラグラフの構造（2）  
 【内容・方法 等】 中心文と支持文（2）  
 【事前・事後学習課題】 漢字の復習
- 第4回 【授業テーマ】 パラグラフの構造（3）  
 【内容・方法 等】 中心文と支持文（3）  
 【事前・事後学習課題】 漢字の復習
- 第5回 【授業テーマ】 文章の構成（1）  
 【内容・方法 等】 意見文（1）  
 【事前・事後学習課題】 漢字の復習
- 第6回 【授業テーマ】 文章の構成（2）  
 【内容・方法 等】 意見文（2）  
 【事前・事後学習課題】 漢字の復習
- 第7回 【授業テーマ】 文章の構成（3）  
 【内容・方法 等】 意見文（3）  
 【事前・事後学習課題】 漢字の復習
- 第8回 【授業テーマ】 表記法  
 【内容・方法 等】 文字と記号のルール  
 【事前・事後学習課題】 漢字の復習
- 第9回 【授業テーマ】 小論文によく使う表現  
 【内容・方法 等】 助詞と接続詞  
 【事前・事後学習課題】 漢字の復習
- 第10回 【授業テーマ】 文体（1）  
 【内容・方法 等】 常体と敬体（1）  
 【事前・事後学習課題】 漢字の復習
- 第11回 【授業テーマ】 文体（2）  
 【内容・方法 等】 常体と敬体（2）  
 【事前・事後学習課題】 漢字の復習
- 第12回 【授業テーマ】 引用（1）  
 【内容・方法 等】 引用のルール（1）  
 【事前・事後学習課題】 漢字の復習
- 第13回 【授業テーマ】 引用（2）  
 【内容・方法 等】 引用のルール（2）  
 【事前・事後学習課題】 漢字の復習
- 第14回 【授業テーマ】 引用（3）  
 【内容・方法 等】 引用のルール（3）  
 【事前・事後学習課題】 漢字の復習
- 第15回 【授業テーマ】 総括  
 【内容・方法 等】 復習と確認  
 【事前・事後学習課題】 漢字の復習

**評価方法（基準）**

漢字練習(40%)、提出課題(50%)、授業態度(10%)

**教材等**

教科書…吉岡友治『論文試験の頻出テーマのまとめ方』実務教育出版社（1400円）

参考書…必要に応じて授業で紹介いたします。

**学生へのメッセージ**

何事も練習しなければ上達しません。

**関連科目**

日本語表現 I

**担当者の研究室等**

7号館2階 非常勤講師室

<b>地理学 I</b> Geography I				
<b>笠原俊則</b> (カサハラ トシノリ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

『環境』ということばはいろいろの分野でよく使われているが、地理学では最も重要な術語の一つである。そして近年人間活動にともなってこの環境に著しい変化が生じている。本講義では、最近の地理的環境問題の例をいくつか取り上げて説明し、受講生諸君が現代社会について考える一助にしてもらいたいと考えている。最終的には、受講者全員が現代の環境問題について興味を持ち、理解し、考え方を確立してくれることを期待している。

これら3点をクリアできれば、この科目を受講した事が諸君の今後の人生に大いに役立つであろう。 学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**

講義形式で行う。テキストに掲載されている図表だけでは不足するような場合、講義中に適宜プリントを配布する。

**科目学習の効果（資格）**

人間活動が、我々を取り巻く環境にいかなる影響を与えているかを、身近に感じ取ることができるようになる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 地理学とは？  
 【内容・方法 等】 ・地理学の歴史  
 ・地理学の定義  
 【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。
- 第2回 【授業テーマ】 地理学と環境  
 【内容・方法 等】 ・人類による環境への働きかけの歴史（過去から現在まで）  
 【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第3回 【授業テーマ】 生活の舞台としての地形－その1－  
 【内容・方法 等】 ・扇状地の地形と土地利用  
 ・台地の発達と土地利用  
 【事前・事後学習課題】 配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第4回 【授業テーマ】 生活の舞台としての地形－その2－  
 【内容・方法 等】 ・自然堤防帯における生活と土地利用  
 【事前・事後学習課題】 配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第5回 【授業テーマ】 ため池の多面的機能  
 【内容・方法 等】 ・ため池の持つ多面的な機能とその利用  
 【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第6回 【授業テーマ】 ダム建設とそれにともなう環境の変化－その1－  
 【内容・方法 等】 ・世界のダムと日本のダムの歴史  
 ・ダム堆砂  
 ・ダム上流における河床上昇とその影響  
 【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第7回 【授業テーマ】 ダム建設とそれにともなう環境の変化－その2－  
 【内容・方法 等】 ・ダム下流における河床の低下  
 ・日本における海岸侵食の状況  
 【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第8回 【授業テーマ】 離島における地下ダムの建設  
 【内容・方法 等】 ・宮古島における地下ダムの建設  
 【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第9回 【授業テーマ】 都市化にともなう水環境の変化  
 【内容・方法 等】 ・都市化にともなう流出および水質の変化  
 【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第10回 【授業テーマ】 都市化にともなう水災害の変化  
 【内容・方法 等】 ・都市化地域における水害と下水道整備  
 ・農業地域における都市化と中小河川の変化  
 【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第11回 【授業テーマ】 干拓地の自然的特性  
 【内容・方法 等】 ・干拓地の地形  
 ・干拓地の水環境  
 【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第12回 【授業テーマ】 すみわけられた都市社会空間  
 【内容・方法 等】 ・エスニックマイノリティー社会  
 ・インナーシティ問題  
 【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第13回 【授業テーマ】 ニュータウンの高齢化  
 【内容・方法 等】 ・日本におけるニュータウンの成立  
 ・千里ニュータウンの高齢化  
 【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第14回 【授業テーマ】 都市商業の盛衰と多様化  
 【内容・方法 等】 ・都市商業の発展と社会環境の変化  
 ・都市中心部の空洞化と都市商業の変化  
 【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第15回 【授業テーマ】 伝統工業の地域構成  
 【内容・方法 等】 ・伝統工業の発展とその系譜  
 【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を各自で確認しておいて下さい。

**評価方法（基準）**

教養科目

定期試験を実施する。さらに前期中頃に小テストも実施する。評価の割合は、定期試験70%、小テスト20%、授業参加点として10%である。授業参加点は、参加状況を把握するため、時々、コミュニケーションペーパーなどを配布してチェックする。

**教材等**

**教科書**…「人間活動と環境変化」吉越昭久編, 古今書院 (2400円+税)  
**参考書**…「ダムと日本(岩波新書716)」天野礼子, 岩波書店(700円)  
 「川と国土の危機 水害と社会(岩波新書1387)」高橋裕, 岩波書店(700円)

**学生へのメッセージ**

地理学には地図が付きものである。講義中に出てくる地名を地図帳で確認すれば、内容がより理解しやすくなるであろう。最近の高校教育では地理が選択になっているため、履修していない人もいると思われるが、もし高校時代に使用した地図帳があれば、講義中に持参して欲しい。

**関連科目**

「環境関連科学」等

**担当者の研究室等**

7号館2階 非常勤講師室

**法学入門**

Jurisprudence

大 仲 淳 介 (オオナカ アツヨシ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

授業概要：私たちの日常生活は多くの法律と関わります。この講義では、法学の基礎から始め、身近な具体的事例をとりあげ、民法、商法、会社法、民事訴訟法などの基礎を解説します。目的：日常生活から生じる法律問題を通して、法律学の基礎的な知識を修得してもらうこと。目標：日常生活において必要・有益な法律の知識を得て、身近な法律問題を法的な立場から考えるようになることを目指します。

学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**

教科書と配布プリントを用いて講義形式で行います。なお小テストは授業中に、適宜、行います。また小テストを行った回の授業を欠席した者のための再試験は行いませんので注意して下さい。

**科目学習の効果(資格)**

各種公的資格試験の法学科目の基礎知識の取得になると考えます。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 **【授業テーマ】** 法学の基礎1  
**【内容・方法 等】** 法とは何か。法の種類、法の優劣関係について説明します。  
**【事前・事後学習課題】** 事前に教科書234頁から238頁と241頁から242頁を読んで下さい。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。
- 第2回 **【授業テーマ】** 法学の基礎2  
**【内容・方法 等】** 法律の条文の構造、法律の解釈について説明します。  
**【事前・事後学習課題】** 事前に教科書239頁から240頁を読んで下さい。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。
- 第3回 **【授業テーマ】** 日常生活と契約1  
**【内容・方法 等】** 民法の特徴、契約の成立について説明します。  
**【事前・事後学習課題】** 事前に教科書1頁から8頁を読んで下さい。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。
- 第4回 **【授業テーマ】** 日常生活と契約2  
**【内容・方法 等】** 意思表示と契約の主体について説明します。  
**【事前・事後学習課題】** 事前に教科書8頁から17頁を読んで下さい。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。
- 第5回 **【授業テーマ】** 日常生活と契約3  
**【内容・方法 等】** 契約自由原則、契約の種類について説明します。  
**【事前・事後学習課題】** 事前に教科書18頁から24頁を読んで下さい。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。
- 第6回 **【授業テーマ】** 日常生活と契約4  
**【内容・方法 等】** 不動産取引と民法について説明します。  
**【事前・事後学習課題】** 教科書24頁から30頁を読んで下さい。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。
- 第7回 **【授業テーマ】** 日常生活とアクシデント

**【内容・方法 等】** 交通事故、欠陥商品による被害、医療事故について説明します。

- 第8回 **【授業テーマ】** 家族関係1  
**【内容・方法 等】** 結婚、離婚と民法について説明します。  
**【事前・事後学習課題】** 事前に教科書42頁から60頁を読んで下さい。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。
  - 第9回 **【授業テーマ】** 家族関係2  
**【内容・方法 等】** 親子、扶養と民法について説明します。  
**【事前・事後学習課題】** 事前に教科書128頁から142頁を読んで下さい。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。
  - 第10回 **【授業テーマ】** 家族関係3  
**【内容・方法 等】** 相続と民法について説明します。  
**【事前・事後学習課題】** 事前に教科書143頁から151頁を読んで下さい。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。
  - 第11回 **【授業テーマ】** 企業と法1  
**【内容・方法 等】** 商法・会社法を手がかりに企業とはどのようなものかについて説明します。  
**【事前・事後学習課題】** 事前に教科書152頁から164頁を読んで下さい。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。
  - 第12回 **【授業テーマ】** 企業と法2  
**【内容・方法 等】** 企業の所有と経営の分離と株式会社について説明します。  
**【事前・事後学習課題】** 事前に教科書165頁から200頁を読んで下さい。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。
  - 第13回 **【授業テーマ】** 紛争の解決1  
**【内容・方法 等】** 日常生活で生じる紛争と裁判について説明します。  
**【事前・事後学習課題】** 事前に教科書201頁から212頁を読んで下さい。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。
  - 第14回 **【授業テーマ】** 紛争の解決2  
**【内容・方法 等】** 裁判のしくみ、裁判以外の紛争の解決について説明します。  
**【事前・事後学習課題】** 事前に教科書212頁から233頁を読んで下さい。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。
  - 第15回 **【授業テーマ】** まとめ  
**【内容・方法 等】** 授業全体のまとめ  
**【事前・事後学習課題】** 第1回から第14回までの配付プリントの問題を確認して下さい。
- 評価方法(基準)**  
 定期試験(60%)と小テスト(40%)の割合で評価します。小テストは、適宜、授業中に行います。
- 教材等**  
**教科書**…池田真朗、犬伏由子、野川忍、大塚英明、長谷部由紀子「法の世界へ」(第5版)  
 有斐閣アルマ(1700+税)  
**参考書**…授業中に、適宜、紹介します。
- 学生へのメッセージ**  
 授業中に生じた疑問は必ず質問して下さい。
- 関連科目**  
 日本国憲法
- 担当者の研究室等**  
 11号館5階 法学部資料室(法学部非常勤講師室)

**日本国憲法**

The Japanese Constitutional Law

大 仲 淳 介 (オオナカ アツヨシ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

概要：日本国憲法の基本的な内容を理解できるように、授業テーマと関連する憲法上の問題をとりあげ、これと関わりのある基本事項、判例、学説を解説・検討します。目的：身近に生じる憲法上の問題を通して憲法の基本的な考え方を理解してもらうこと。目標：憲法の基本的な知識を修得し、身近に生じる憲法上の問題を憲法の視点から考えるようになることを目指します。

学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**

教科書と配布プリントを用いて講義形式で行います。小テスト



は授業中に、適宜、行います。なお小テストを実施した回に欠席した者のための再試験は行いませんので注意して下さい。  
**科目学習の効果（資格）**  
 各種公的資格試験の法学科目の基礎知識の取得になると思えます。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 日本国憲法とは  
 【内容・方法等】 憲法の意味、憲法の最高法規性、違憲審査制などについて説明します。  
 【事前・事後学習課題】 事前に教科書9頁から18頁を読んでおいてください。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。
- 第2回** 【授業テーマ】 基本的人権の保障 1  
 【内容・方法等】 人権の歴史、人権の分類、人権の限界について説明します。  
 【事前・事後学習課題】 事前に教科書19頁から25頁を読んでおいてください。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。
- 第3回** 【授業テーマ】 基本的人権の保障 2  
 【内容・方法等】 人権の享有主体について説明します。  
 【事前・事後学習課題】 事前に教科書25頁から38頁を読んでおいて下さい。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。
- 第4回** 【授業テーマ】 基本的人権の保障 3  
 【内容・方法等】 人権規定の私人間効力について説明します。  
 【事前・事後学習課題】 事前に教科書39頁から46頁を読んでおいて下さい。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。
- 第5回** 【授業テーマ】 基本的人権の保障 4  
 【内容・方法等】 幸福追求権と法の下での平等について説明します。  
 【事前・事後学習課題】 事前に教科書47頁から66頁を読んでおいてください。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。
- 第6回** 【授業テーマ】 基本的人権の保障 5  
 【内容・方法等】 信教の自由と政教分離について説明します。  
 【事前・事後学習課題】 事前に教科書67頁から78頁を読んでおいてください。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。
- 第7回** 【授業テーマ】 基本的人権の保障 6  
 【内容・方法等】 表現の自由の保障とその限界について説明します。  
 【事前・事後学習課題】 事前に教科書79頁から90頁を読んでおいてください。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。
- 第8回** 【授業テーマ】 基本的人権の保障 7  
 【内容・方法等】 表現活動の規制（検閲と事前抑制）について説明します。  
 【事前・事後学習課題】 事前に教科書91頁から100頁を読んでおいてください。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。
- 第9回** 【授業テーマ】 基本的人権の保障 8  
 【内容・方法等】 職業選択の自由とその規制を中心に経済的自由権について説明します。  
 【事前・事後学習課題】 事前に教科書101頁から110頁を読んでおいてください。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。
- 第10回** 【授業テーマ】 基本的人権の保障 9  
 【内容・方法等】 生存権を中心に社会権について説明します。  
 【事前・事後学習課題】 事前に教科書111頁から129頁を読んでおいてください。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。
- 第11回** 【授業テーマ】 基本的人権の保障 10  
 【内容・方法等】 刑罰、刑事手続と憲法について説明します。  
 【事前・事後学習課題】 事前に教科書131頁から140頁を読んでおいてください。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。
- 第12回** 【授業テーマ】 統治機構 1  
 【内容・方法等】 立法の委任を中心に国会と立法権について説明します。  
 【事前・事後学習課題】 事前に155頁から166頁を読んでおいてください。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。
- 第13回** 【授業テーマ】 統治機構 2  
 【内容・方法等】 議院内閣制、内閣の組織と権能について説明します。  
 【事前・事後学習課題】 事前に教科書167頁から178頁を読んでおいてください。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。
- 第14回** 【授業テーマ】 統治機構 3  
 【内容・方法等】 司法権、違憲立法審査権について説明します。  
 【事前・事後学習課題】 事前に教科書179頁から200頁を読んでおいてください。事後においては、配付プリントの問題を

解いて下さい。

- 第15回** 【授業テーマ】 統治機構 4  
 【内容・方法等】 地方自治の本旨、条例制定権、住民投票について説明します。  
 【事前・事後学習課題】 事前に教科書201頁から210頁を読んでおいてください。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。

**評価方法（基準）**  
 定期試験（60%）、小テスト（40%）の割合で評価します。小テストは、適宜、行います。

**教材等**  
 教科書…中村陸男、岩本一郎、大島佳代子、木下和朗、齊藤正彰、佐々木雅寿、寺島壽一「はじめての憲法学」（第2版）三省堂  
 参考書…授業中に、適宜、紹介します。

**学生へのメッセージ**  
 授業で生じた疑問は必ず質問して下さい。

**関連科目**  
 法学入門  
**担当者の研究室等**  
 11号館5階 法学部資料室（法学部非常勤講師室）

経済学 I Economics I				
伊藤正純 (イトウ マサズミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**  
 授業の到達目標は工学部・理工学部の学生諸君にとっても、新聞の経済記事が少しは理解できるようにすることである。そのため、新聞によく登場するマクロ経済学（その中心は国民所得）およびミクロ経済学（その中心は市場）の基礎概念（基本用語）をできるだけわかりやすく解説する。ただし、一般常識の範囲である。  
 学科の学習・教育目標との対応：「A」

**授業方法と留意点**  
 主としてプリントと板書を用いて講義する。授業の最後で授業の感想を書いてもらう。それを読んで次回の授業のやり方を工夫する。

**科目学習の効果（資格）**  
 マクロ経済学の諸概念を学び、経済新聞の記事における経済専門用語を理解できるようになる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 経済主体と経済循環  
 【内容・方法等】 経済主体（家計、企業、政府）。生産と支出（消費+投資）の経済循環。  
 マクロ経済学とミクロ経済学との関係。  
 【事前・事後学習課題】 プリントをみて復讐すること。次回の講義資料を配布する。
- 第2回** 【授業テーマ】 生産物市場 市場とは何か(1)  
 【内容・方法等】 需要・供給・価格決定論。財貨・サービスの市場。  
 【事前・事後学習課題】 プリントをみて復讐すること。次回の講義資料を配布する。
- 第3回** 【授業テーマ】 労働市場 その1 市場とは何か(2)  
 【内容・方法等】 労働需要と労働供給。賃金の決定と失業の発生。雇用慣行。就職。  
 【事前・事後学習課題】 プリントをみて復讐すること。次回の講義資料を配布する。
- 第4回** 【授業テーマ】 労働市場 その2 市場とは何か(2)続  
 【内容・方法等】 雇用形態の流動化。正規雇用と非正規雇用。労働者派遣法の変遷と雇用状況の変化。総額人件費抑制と「春闘」の形骸化。  
 【事前・事後学習課題】 プリントをみて復讐すること。次回の講義資料を配布する。
- 第5回** 【授業テーマ】 金融市場、株式市場 市場とは何か(3)  
 【内容・方法等】 直接金融と間接金融。自己資本と他人資本。株式会社とは何か。株価。  
 【事前・事後学習課題】 プリントをみて復讐すること。次回の講義資料を配布する。
- 第6回** 【授業テーマ】 国民所得と経済成長率  
 【内容・方法等】 フローとストックの違い。国民所得とは何か。GNP(国民総生産)とGDP(国内総生産)の違い。経済成長率(GDP増加率)。名目成長率。実質成長率。  
 【事前・事後学習課題】 プリントをみて復讐すること。次回の講義資料を配布する。
- 第7回** 【授業テーマ】 円高・円安 為替レート  
 【内容・方法等】 ドルを基準に考える。円高と円安はどっちが得？ 実効為替レート。

- 【事前・事後学習課題】** プリントをみて復讐すること。次回の講義資料を配布する。
- 第8回** **【授業テーマ】** 国際収支  
**【内容・方法等】** 輸出、輸入。経常収支（貿易収支、貿易外収支）、資本収支など。
- 【事前・事後学習課題】** プリントをみて復讐すること。次回の講義資料を配布する。
- 第9回** **【授業テーマ】** インフレ・デフレ  
**【内容・方法等】** 物価上昇、物価下落。消費者物価指数、企業物価指数。賃金デフレ。
- 【事前・事後学習課題】** プリントをみて復讐すること。次回の講義資料を配布する。
- 第10回** **【授業テーマ】** 好況・不況  
**【内容・方法等】** 景気循環、有効需要。政府による景気対策。
- 【事前・事後学習課題】** プリントをみて復讐すること。次回の講義資料を配布する。
- 第11回** **【授業テーマ】** 貯蓄・投資バランス  
**【内容・方法等】** 所得＝消費＋貯蓄、所得＝消費＋投資、ゆえに、貯蓄＝投資。家計と企業と政府の動向。家計の貯蓄減少（賃金デフレと高齢化）。貯蓄し投資しない企業。政府の財政赤字。
- 【事前・事後学習課題】** プリントをみて復讐すること。次回の講義資料を配布する。
- 第12回** **【授業テーマ】** 国民負担率と政府の役割  
**【内容・方法等】** 租税負担率＋社会保障負担率。大きな政府か小さな政府か。消費税増税による「税と社会保障の一体改革」。所得再分配機能。
- 【事前・事後学習課題】** プリントをみて復讐すること。次回の講義資料を配布する。
- 第13回** **【授業テーマ】** デフレの罨  
**【内容・方法等】** グローバリゼーションと総額人件費抑制策。価格破壊と賃下げ。労働分配率の低下。経済格差と貧困。消費不況の長期化。
- 【事前・事後学習課題】** プリントをみて復讐すること。次回の講義資料を配布する。
- 第14回** **【授業テーマ】** 超低金利政策  
**【内容・方法等】** なぜ超低金利政策なのか？ 円キャリートレードと世界の過剰流動性。見えない成長戦略。
- 【事前・事後学習課題】** 全体の復習をし、疑問点があれば次回質問すること。
- 第15回** **【授業テーマ】** 成長戦略は？ まとめと復習  
**【内容・方法等】** 先決事項は、賃金デフレ解消と企業投資の復活、そのための政府の役割。
- 【事前・事後学習課題】** 小テストで答えられなかった点をもう一度復習すること。

**評価方法（基準）**

定期試験（筆記試験）50%、小テスト40%、毎回の授業での提出物10%。無断欠席が4回以上ある場合は成績評価をしない。

**教材等**

教科書…なし

参考書…吉本佳生『日本経済の奇妙な常識』講談社現代新書、740円＋税。  
吉本佳生『日本の景気は賃金が決める』講談社現代新書、800円＋税。

**学生へのメッセージ**

ちょっと難しいが、吉本佳生さんの『日本の景気は賃金が決める』を事前に読んでおいてほしい。そうすれば、日本経済が置かれている状況がイメージしやすくなり、授業中に説明する経済学の基礎用語の意味が理解しやすくなる。

**関連科目**

なし

**担当者の研究室等**

非常勤講師室（7号館2階）

**経済学I**  
Economics I

久保 広 正 (クボ ヒロマサ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

本授業は、経済学の知識がない学生が、マクロ経済学の基礎理論を身につけることを目的とする。株式市場、外国為替、国民所得、デフレ・インフレ、生産物市場等、主要な経済用語を理解し、新聞の経済記事を読めるようになることを到達目標とする。入社試験・公務員試験・資格試験にも役立つように、演習問題（課題）を提示する。学科の学習・教育目標との対応：「A」

**授業方法と留意点**

授業は、基本的に、前回の課題の解説（復習）、本日の授業テーマの解説、授業内容に対応する課題の提示の順序で進めていく。

**科目学習の効果（資格）**

マクロ経済学の基礎概念を学び、新聞記事の経済基礎用語を理解できるようになる。入社試験・公務員試験・資格試験に役立つ知識が身につく。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** **【授業テーマ】** イントロダクション  
**【内容・方法等】** マクロ経済学とはどのような学問かについて解説する。
- 【事前・事後学習課題】** 授業後、アンケートの実施
- 第2回** **【授業テーマ】** 国民経済計算  
**【内容・方法等】** 付加価値、GDPとGNPの相違、三面等価の原則、名目値と実質値（GDPデフレタ）について解説する。
- 【事前・事後学習課題】** 授業後、課題の提出
- 第3回** **【授業テーマ】** 生産物市場  
**【内容・方法等】** 消費と貯蓄の理論（ケインズ型消費関数と貯蓄関数）について解説する。
- 【事前・事後学習課題】** 授業後、課題の提出
- 第4回** **【授業テーマ】** 生産物市場(II)  
**【内容・方法等】** 投資の理論（ケインズの限界効率理論）について解説する。
- 【事前・事後学習課題】** 授業後、課題の提出
- 第5回** **【授業テーマ】** 国民所得の決定理論  
**【内容・方法等】** 有効需要と乗数理論について解説する。
- 【事前・事後学習課題】** 授業後、課題の提出
- 第6回** **【授業テーマ】** 金融市場  
**【内容・方法等】** 貨幣の役割、株式市場における株価について解説する。
- 【事前・事後学習課題】** 授業後、課題の提出
- 第7回** **【授業テーマ】** 中央銀行と金融政策  
**【内容・方法等】** 流動性選好理論（利率の決定）と中央銀行の役割について解説する。
- 【事前・事後学習課題】** 授業後、課題の提出
- 第8回** **【授業テーマ】** 財政金融政策の有効性  
**【内容・方法等】** IS-LM分析と経済政策の有効性について解説する。
- 【事前・事後学習課題】** 授業後、課題の提出
- 第9回** **【授業テーマ】** まとめと中間試験  
**【内容・方法等】** 8回までの講義のまとめを行ったうえで、中間試験を実施する。
- 【事前・事後学習課題】** 事前に、8回までの内容を復習すること
- 第10回** **【授業テーマ】** デフレとインフレ  
**【内容・方法等】** 物価の変動を考慮した分析とデフレ・インフレの発生要因を解説する。
- 【事前・事後学習課題】** 授業後、課題の提出
- 第11回** **【授業テーマ】** 労働市場  
**【内容・方法等】** 失業とフィリップス曲線について解説する。
- 【事前・事後学習課題】** 授業後、課題の提出
- 第12回** **【授業テーマ】** 国際マクロ経済  
**【内容・方法等】** 貿易と国際収支について解説する。
- 【事前・事後学習課題】** 授業後、課題の提出
- 第13回** **【授業テーマ】** 国際マクロ経済(II)  
**【内容・方法等】** 外国為替レートについて解説する。
- 【事前・事後学習課題】** 授業後、課題の提出
- 第14回** **【授業テーマ】** 国際マクロ経済(III)  
**【内容・方法等】** 経常収支の決定理論について解説する。
- 【事前・事後学習課題】** 授業後、課題の提出
- 第15回** **【授業テーマ】** 経済成長  
**【内容・方法等】** 経済成長理論について解説する。
- 【事前・事後学習課題】** 授業後、課題の提出

**評価方法（基準）**

中間試験30%、期末試験50%、授業での課題提出及び授業態度20%の割合で総合的に評価する。ただし、無断欠席が4回以上ある場合には、成績評価しない。

**教材等**

教科書…飯田・中里『コンパクト マクロ経済学』（2008）新世社（1,800円＋税）

参考書…講義中に指示する。

**学生へのメッセージ**

工学部・理工学部の学生にとって、マクロ経済学で使用するグラフの読み方は決して難しいものではないと思います。本授業を通じて、一般教養としてのマクロ経済学の基礎知識を習得しましょう。

**関連科目**

特になし

**担当者の研究室等**

1号館7階 久保教授室（経済学部）



経済学II  
Economics II

北尾 隆夫 (キタオ タカオ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

大学での学業を終えられた学生諸氏は、社会人として必ず企業との関わりを持たれます。就職する会社や、自らが経営する会社が、何を指し、何に悩み、何に生き甲斐を求めているのかを、事例を通じ理解を深めて戴きます。ステークホルダーとの関わりの中で、企業が果たすべき役割りを考えると共に、企業経営者に求められる素養や判断すべき内容、企業組織の在り方、更にはCSRで代表される企業の社会的責任に言及します。産業資本主義と金融資本主義との狭間で揺れ動く企業経営の実態と今後の企業経営の展望を一緒に考える授業です。

＜到達目標＞

- ①会社形態、組織形態とその運営への理解
- ②ビジネスの目的と意義への理解
- ③アントレプレナーの目的や意義の理解
- ④起業の方法や留意事項への理解
- ⑤株式会社が生み出す経済活動と社会的責任への理解

学科の学習・教育目標との対応：[A]

授業方法と留意点

教師からの一方的な講義ではなく、学生自身による主体的な参画方式の授業のため、レポートや発表を多く取り入れたものにします。授業全体を通じ、その時々々の社会情勢を中心に、プリントやパワーポイントにより新しい動向を紹介し、全員で考えながら授業を進めます。

科目学習の効果(資格)

企業経営の観点だけでなく、企業での就業の意味や目的を、更には自らの起業や経営の在り方について、経営的観点から理解を深めていただく効果を期待します。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 はじめに - 企業のはじまりの歴史の意味 -  
【内容・方法 等】 ・講師自己紹介、授業ガイダンス  
・企業(株式会社)の発祥の歴史の経緯や社会的意味、意義を解説します。  
【事前・事後学習課題】 シラバスをよく読んできてください。
- 第2回 【授業テーマ】 「法人」の定義 と 「起業」の意義・目的  
【内容・方法 等】 企業や団体が「法人」と定義される意味と、その形態を分類整理します。また、企業が事業目的を遂行するために必要とする業務内容とその相互の関連性について解説すると共に、事業を起こすこと(起業)の目的や意義を、企業業務に関連づけて説明します。  
【事前・事後学習課題】 法人という定義を事前に調べてください。
- 第3回 【授業テーマ】 企業の経済活動  
【内容・方法 等】 企業は、消費財の提供に伴う経済活動だけでなく、資本や資金の調達、利益の配分などの複雑な経済活動を行っています。その経済活動の種類や目的について解説します。  
【事前・事後学習課題】 株式などの有価証券の意味を事前に学習してください。
- 第4回 【授業テーマ】 企業とステークホルダーの関係とその活動  
【内容・方法 等】 企業は消費財を提供することによる消費者との関係だけでなく、種々の社会構造や社会機能との関わりを持っています。企業の社会との関わりについて解説し、身近な事象についての討議を行います。  
【事前・事後学習課題】 ステークホルダーの意味を調べておいてください。
- 第5回 【授業テーマ】 企業の活動目標と組織運営  
【内容・方法 等】 企業は、その活動目標を達成するために組織を形成し、役割分担や責任体制を明確化しています。企業における組織の在り方と目標設定の意義について解説します。  
【事前・事後学習課題】 企業が持つべき業務機能について考えておいてください。
- 第6回 【授業テーマ】 分業の意義と問題点  
【内容・方法 等】 目的を共有する複数の人が集まり、組織を形成することにより発生する分業について解説し、分業が持つ効果と問題点を整理します。また、ディスカッションにより、具体的な認識を高めていただきます。  
【事前・事後学習課題】 分業という言葉の定義を調べておいてください。
- 第7回 【授業テーマ】 経済情勢と企業経営の方向性  
= 新たなビジネスの探索 =  
【内容・方法 等】 リーマンショック、東日本大震災、原発事故以降の世界的経済情勢の変化に触れ、「モノづくり」中心の日本産業の直面する課題を整理し、その打開策を学生諸氏と共に考え、これからの企業の在り方の探索や起業分野を考える一助に供します。

- 【事前・事後学習課題】 2008年に発生した世界的な経済問題であるリーマンショックについて、その概要を調べておいてください。
- 第8回 【授業テーマ】 情報化社会の意味と我々の生活  
【内容・方法 等】 あらゆる局面で「情報化社会」という言葉が使われているが、その定義と我々の生活に与える変化、また我々が対応すべき事柄などを解説します。  
【事前・事後学習課題】 情報化社会に関連する新聞記事やインターネット情報を事前に調べ、持参してください。
- 第9回 【授業テーマ】 企業戦略とそのアプローチ方法 I  
【内容・方法 等】 企業は自らの目的を達成するために、事前に調査、分析、戦略立案を行います。その経営戦略の枠組みと、経営資源とは何かを論理的に解説します。  
【事前・事後学習課題】 どのような企業でも、持っている目的とは何かを事前に考えておいてください。
- 第10回 【授業テーマ】 企業戦略とそのアプローチ方法 II  
【内容・方法 等】 企業は自らの目的を達成するため行う事前の調査、分析、戦略立案のアプローチ方法を整理し、それぞれの適用ケースを解説します。また、経営者が持つべき戦略的思考についても併せて解説します。  
【事前・事後学習課題】 松下幸之助の経営哲学に関する情報を事前に学習してください。
- 第11回 【授業テーマ】 企業活動における情報活用の目的  
【内容・方法 等】 企業経営においては、物理的な資源以外に「情報」というものの経営資源としての価値が取り上げられ、その活用方法が企業戦略の命運を左右すると言われていました。その理由や背景を判り易く解説します。  
【事前・事後学習課題】 企業経営が必要とする「情報」を事前に考えてみてください。
- 第12回 【授業テーマ】 経営意思決定とそのアプローチ  
= 「起業趣旨」と「起業手続き」を踏まえて =  
【内容・方法 等】 経営意思決定は、経営者の独断に依存するのではなく、戦略要因の定量的分析と取捨選択の的確性により支えられます。「起業の趣旨」を幹に据えた意思決定アプローチについて、「起業の手続き」を交えて、具体的に解説します。  
【事前・事後学習課題】 経営意思決定の成功例を事前に調査してください。
- 第13回 【授業テーマ】 CSR - 企業の社会的責任 - I  
【内容・方法 等】 企業は、消費財の供給だけでなく、企業活動が及ぼす社会的影響が問題視されています。企業が活動を行う上で、考慮しなければならない側面を解説すると同時に、皆さんの考えを整理して戴きます。  
【事前・事後学習課題】 環境問題などの事例を調査してください。
- 第14回 【授業テーマ】 CSR - 企業の社会的責任 - II  
【内容・方法 等】 企業の社会的責任の中でも、経営資源としても挙げられる「情報」の取り扱いを、情報セキュリティの観点から解説します。企業だけでなく、我々に日常生活に於ける情報漏洩などの問題点も併せて説明します。  
【事前・事後学習課題】 情報漏洩事件などのニュースを事前に調べておいてください。
- 第15回 【授業テーマ】 授業全体のまとめ  
【内容・方法 等】 「企業経営」の講義についてのまとめと感想。授業の要点と重要なポイントをレビューし、質問等にお答えします。  
【事前・事後学習課題】 「企業経営」の講義の全体を復習しておいてください。質問等を事前に準備しておいてください。
- 評価方法(基準)  
全体評価は、平常評価(35%)と学期末試験評価(65%)により行います。平常評価は、課題レポートまたは小テスト、授業ごとの感想レポートにより行い、学期末試験評価は、文章力向上、自己表現力向上の目的も兼ねて論述中心の試験を実施し評価します。また、レポート課題および学期末試験の設問は、到達目標に纏わる内容とし、その結果で達成評価を行います。
- 教材等  
教科書…特段、教科書の設定は行いません。授業は配布プリントとパワーポイントによるプレゼンテーションにより進めます。  
参考書…参考資料も、毎回の授業のテーマに沿って必要なものを配布します。また、授業の参考になる書籍、ビジネス雑誌、更にはインターネット情報を紹介し、授業の一助に供します。
- 学生へのメッセージ  
変化が激しい社会にあって、就職ということだけに目標を置くのではなく、経済活動の中でのビジネスのクリエートの重要性を理解いただきたいと思います。  
・ 毎回出席をとります〔連絡カード配付〕。遅刻をしないようにしてください。  
・ 座席は前から詰めて着席してください〔座席は指定しません〕。

教養科目

・ 授業中の私語は謹んでください〔真面目な受講者の弊害となる場合は退場戴く場合もあります〕。

**関連科目**  
経営、経済、組織、社会工学などに関連する授業などが、本授業の参考になり、理解を深めて戴く一助になります。また、金曜日4時限にも、同名称の科目がありますが、同一科目ではありません。

**担当者の研究室等**  
11号館6階(経営学部事務室、講師控え室)

心理学I Psychology I				
毛 新 華 (モウ シンカ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**  
心理学は、人間の行動を予測することを究極的な目標としている。私たちは、これまでに得られた心理学的知見を学ぶことで、自己と他者、そして自分の周囲を取り巻く社会を科学的な視点から見直すことができる。  
到達目標：以下の項目の理解を目標とする。  
1) 心理学という学問に対する理解 2) 情報を捉えるメカニズム 3) 自己を探求するための手がかり  
学科の学習・教育目標との対応：「A」

**授業方法と留意点**  
講義方式で適宜資料を配布する。講義中には、視聴覚教材やデモンストレーションなども取り入れる。また心理学的知見を実際に体感するため、心理実験や調査も行う予定にしているため、積極的に参加すること。

**科目学習の効果(資格)**  
講義を通して自己理解・他者理解を深め、自分と社会との関わりを考えるきっかけを得ることができる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

**第1回** 【授業テーマ】 イントロダクション  
【内容・方法 等】 授業概要、目的、内容、授業の進め方、授業のルール、評価基準について説明します。  
【事前・事後学習課題】 身の回りで起きているさまざまなことについて心理学的に考える習慣をつけましょう。

**第2回** 【授業テーマ】 心理学概論  
【内容・方法 等】 心理学の歴史、発展、学派、研究対象、研究手法、研究分野について概説します。  
【事前・事後学習課題】 心理学に対するこれまでのイメージと比較しながら、新たに認識した心理学を考えましょう。

**第3回** 【授業テーマ】 心と脳  
【内容・方法 等】 心と脳、脳と行動、脳の特徴・構造、部位の損傷と症状、脳波と自律系反応、睡眠と夢、記憶と脳、発達と脳について解説します。  
【事前・事後学習課題】 脳に関する写真・ビデオなどを図書館などで見つけ、授業内容を映像で理解してください。

**第4回** 【授業テーマ】 知覚のプロセス(1)  
【内容・方法 等】 感覚(視覚・聴覚・味覚・嗅覚・皮膚感覚)の種類と特性、感覚の役割・相互作用・基本特性について解説します。  
【事前・事後学習課題】 教科書の第2章を事前に予習しましょう。

**第5回** 【授業テーマ】 知覚のプロセス(2)  
【内容・方法 等】 知覚の体系化、知覚の恒常性、距離・奥行き、動きの知覚、知覚から認知へについて解説します。  
【事前・事後学習課題】 関連する映像資料を紹介するので、視聴してください。

**第6回** 【授業テーマ】 学習理論  
【内容・方法 等】 学習とは、学習の方法、古典的条件づけ、オペラント条件づけ、二つの条件付けの違いについて解説します。  
【事前・事後学習課題】 例を挙げながら、二つの条件付けの違いについてA4用紙にまとめて提出してください。

**第7回** 【授業テーマ】 心の構造  
【内容・方法 等】 精神分析理論、局所論、構造論、エディプス・コンプレックスについて解説します。  
【事前・事後学習課題】 教科書の第8章を事前に予習しましょう。

**第8回** 【授業テーマ】 パーソナリティ  
【内容・方法 等】 精神分析学とパーソナリティ、外見とパーソナリティ、類型論、特性論、血液型とパーソナリティについて解説します。  
【事前・事後学習課題】 教科書の第6章を読んで、要約をA4用紙にまとめて、提出してください。

**第9回** 【授業テーマ】 自己の形成  
【内容・方法 等】 自己概念の形成、他者の評価、自己知覚、

上方比較、下方比較について解説します。  
【事前・事後学習課題】 例を挙げながら、自己概念はどのように作り上げたかを説明するレポートを作成してください。

**第10回** 【授業テーマ】 自尊感情(1)  
【内容・方法 等】 自尊感情とは、自尊感情を脅かすもの(可能自己・理想自己・当為自己・セルフ・ディスクレパンシー)、ソシオメーター理論について解説します。  
【事前・事後学習課題】 自尊感情の心理テストを答え、配布する関係資料と照らし合わせ、自分の自尊心を測定します。

**第11回** 【授業テーマ】 自尊感情(2)  
【内容・方法 等】 自尊感情の維持と高揚(利己的帰属・セルフ・ハンディキャッピング・防衛的悲観主義・栄光浴)自尊感情の文化比較(自己高揚・自己卑下)、自尊感情の存在意義について解説します。  
【事前・事後学習課題】 紹介する文献を読んで、感想文をまとめて、提出してください。

**第12回** 【授業テーマ】 自己表現  
【内容・方法 等】 自己制御(客体的自覚状態・没個性化状態・公的自己・私的自己)、自己表現(自己開示・自己呈示)・ジョハリの窓について解説します。  
【事前・事後学習課題】 第7章の後半部分を事前に予習してください。

**第13回** 【授業テーマ】 印象形成  
【内容・方法 等】 中心特性と周辺特性説、初頭効果と新近効果説、ステレオタイプ、第一印象について解説します。  
【事前・事後学習課題】 紹介する関連文献リストから一冊を選び、読んでおきましょう。

**第14回** 【授業テーマ】 健康と適応  
【内容・方法 等】 心の健康と身体、ストレスと健康、心の健康と適応  
【事前・事後学習課題】 自分なりに、半期の内容からもっとも関心深いテーマを選び、レポートにまとめてください。

**第15回** 【授業テーマ】 まとめ  
【内容・方法 等】 授業全体のまとめ  
【事前・事後学習課題】 授業後、教科書およびこれまで配布したプリントに基づき、すべての内容を復習してください。

**評価方法(基準)**  
原則として出席率80%以上の学生のみを成績評価の対象とする。小レポート、学期末試験の結果を総合し、到達目標の理解度によって合否を判定する。  
【定期試験60%、レポート20%、小テスト20%】

**教材等**  
教科書…大坊郁夫編『わたしそしてわれわれ ミレニアムバージョン』北大路書房(¥2,500+税)  
参考書…講義中に適宜紹介する。

**学生へのメッセージ**  
心理学は、みなさんが想像しているよりもはるかに幅広い領域を扱っており、人間の社会生活の全てを研究対象としていると言っても過言ではありません。講義を通じ、自分を取り巻く社会と結びつけて考えることによって理解を深めて下さい。

**関連科目**  
「心理学II」も併せて履修することが望ましい。

**担当者の研究室等**  
11号館6階 経営学部事務室

心理学II Psychology II				
牧 野 幸 志 (マキノ コウシ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**  
心理学は、心と行動の科学であるといわれる。人間の心と行動との関係について、知覚、認知、教育、社会など多側面から考えていく。「心理と社会」では特に現代社会や社会情勢と人の行動との関わりについて解説していく。到達目標：1)社会が個人に与える影響を理解する。2)個人が社会に与える影響を理解する。3)社会の中のコミュニケーションについて理解を深める。学科の学習・教育目標との対応：「A」

**授業方法と留意点**  
授業担当者がパワーポイントによるプレゼンテーション形式で講義を行う。第1回授業で授業ルールなどについて説明するので必ず参加すること。

**科目学習の効果(資格)**  
近年の経済不況や就職難などの社会変化が個人と集団の心理や行動にどのような影響を及ぼすのかを理解し、それにどのように対応すべきかなどの能力を身につける。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

**第1回** 【授業テーマ】 ガイダンス・社会の中の心理とは？



	【内容・方法 等】 授業内容、授業方法について説明します。 社会と心理との関係
第2回	【事前・事後学習課題】 授業内容の復習 【授業テーマ】 社会と心理学 【内容・方法 等】 社会心理学の歴史と課題 【事前・事後学習課題】 教科書該当箇所の予習 授業内容の復習
第3回	【授業テーマ】 社会的認知と集団心理 【内容・方法 等】 原因帰属 【事前・事後学習課題】 教科書該当箇所の予習 授業内容の復習
第4回	【授業テーマ】 自己の社会化と動機づけ 【内容・方法 等】 自己知覚理論 【事前・事後学習課題】 教科書該当箇所の予習 授業内容の復習
第5回	【授業テーマ】 態度と態度変容 【内容・方法 等】 説得と態度変化 【事前・事後学習課題】 教科書該当箇所の予習 授業内容の復習
第6回	【授業テーマ】 対人行動 【内容・方法 等】 攻撃と援助行動 【事前・事後学習課題】 教科書該当箇所の予習 授業内容の復習
第7回	【授業テーマ】 社会の中の対人関係 【内容・方法 等】 印象形成、関係維持、関係崩壊 【事前・事後学習課題】 教科書該当箇所の予習 授業内容の復習
第8回	【授業テーマ】 対人関係と健康 【内容・方法 等】 ストレッサーとコーピング 【事前・事後学習課題】 教科書該当箇所の予習 授業内容の復習
第9回	【授業テーマ】 対人関係と幸福 【内容・方法 等】 ソーシャル・サポート 【事前・事後学習課題】 教科書該当箇所の予習 授業内容の復習
第10回	【授業テーマ】 社会的影響 【内容・方法 等】 同調と服従 【事前・事後学習課題】 教科書該当箇所の予習 授業内容の復習
第11回	【授業テーマ】 集団の影響 【内容・方法 等】 社会的促進と社会的手抜き 【事前・事後学習課題】 教科書該当箇所の予習 授業内容の復習
第12回	【授業テーマ】 集団過程 【内容・方法 等】 集団における意思決定 【事前・事後学習課題】 教科書該当箇所の予習 授業内容の復習
第13回	【授業テーマ】 集合と群衆 【内容・方法 等】 群衆行動の生起メカニズム 【事前・事後学習課題】 教科書該当箇所の予習 授業内容の復習
第14回	【授業テーマ】 流言と流行 【内容・方法 等】 噂の心理、流行の心理 【事前・事後学習課題】 教科書該当箇所の予習 授業内容の復習
第15回	【授業テーマ】 社会情勢と人間の心理／小テスト 【内容・方法 等】 社会問題の中での人間の心理／小テストの実施 【事前・事後学習課題】 ————
評価方法 (基準)	授業中に出す課題レポート(上限20%)、小テスト(80%)により判断します。
教材等	教科書…「ミニマムエッセンス社会心理学」和田実編著 北大路書房(1900円) 参考書…「コミュニケーション心理学」深田博己編著 北大路書房(2500円)
学生へのメッセージ	人は社会の中で生きています。人は集団に流されたり、社会に踊らされたりします。そのようなときにどのような心理が働いているのかを解説していきます。
関連科目	「人間力と心理」と関連する。「人間力と心理」を受講した後に本授業を受けて欲しい。
担当者の研究室等	11号館7階 牧野(幸)准教授室
備考	他人に迷惑となる行為(遅刻、私語、居眠り、内職、スマホ・携帯電話の使用など)を禁止します。

## 社会学 I Sociology I

金 政 芸 (キム ジョンウン)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

### 授業概要・目的・到達目標

本講義の目標は、私たちの生きる社会の仕組みを理解することである。社会の仕組みを知ること、自分の行動や自分の経験するさまざまな出来事の原因が何を理解することができる。本講義では、まず社会の仕組みを理解するための学問である社会学の概要と、家族、地域、国家、国際社会の構造とそれぞれの社会のかかえる諸問題について紹介する。  
学科の学習・教育目標との対応：[A]

### 授業方法と留意点

基本的には講義形式の授業がおこなわれる。講義では、理解を深めるために具体的な研究を紹介していく。

### 科目学習の効果 (資格)

日々の個人的な経験を、社会の構造やその変化から把握する能力を身につけることができる。

### 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- |      |  |
|------|--|
| 第1回  | 【授業テーマ】 講義を始めるにあたって<br>【内容・方法 等】 オリエンテーション<br>【事前・事後学習課題】 授業の流れについて理解する。                       |
| 第2回  | 【授業テーマ】 社会学とは何か I<br>【内容・方法 等】 社会学の定義と歴史について。<br>【事前・事後学習課題】 レジュメを読んで復習する。                     |
| 第3回  | 【授業テーマ】 社会学とは何か II<br>【内容・方法 等】 社会学の古典的研究の紹介。<br>【事前・事後学習課題】 レジュメを読んで復習する。                     |
| 第4回  | 【授業テーマ】 他者と自己<br>【内容・方法 等】 他者との関係のなかで形成される自己意識について。<br>【事前・事後学習課題】 レジュメを読んで復習する。               |
| 第5回  | 【授業テーマ】 集団と個人<br>【内容・方法 等】 単なる個人の集合体を越えた存在としての社会集団の特徴について。<br>【事前・事後学習課題】 レジュメを読んで復習する。        |
| 第6回  | 【授業テーマ】 家族の社会学 I<br>【内容・方法 等】 近代的家族の出現とその変容について。<br>【事前・事後学習課題】 レジュメを読んで復習する。                  |
| 第7回  | 【授業テーマ】 家族の社会学 II<br>【内容・方法 等】 現代の家族のかかえるさまざまな問題について。<br>【事前・事後学習課題】 レジュメを読んで復習する。             |
| 第8回  | 【授業テーマ】 地域の社会学 I<br>【内容・方法 等】 現代都市の特徴について。<br>【事前・事後学習課題】 レジュメを読んで復習する。                        |
| 第9回  | 【授業テーマ】 地域の社会学 II<br>【内容・方法 等】 現代の都市のかかえるさまざまな問題について。<br>【事前・事後学習課題】 レジュメを読んで復習する。             |
| 第10回 | 【授業テーマ】 ネーションとエスニシティ I<br>【内容・方法 等】 ネーションの概念整理と、その実在にかかわる諸議論について。<br>【事前・事後学習課題】 レジュメを読んで復習する。 |
| 第11回 | 【授業テーマ】 ネーションとエスニシティ II<br>【内容・方法 等】 移民とエスニック・マイノリティ、ナショナリズムについて。<br>【事前・事後学習課題】 レジュメを読んで復習する。 |
| 第12回 | 【授業テーマ】 グローバリゼーション<br>【内容・方法 等】 グローバリゼーションとは何か。<br>【事前・事後学習課題】 レジュメを読んで復習する。                   |
| 第13回 | 【授業テーマ】 階層と格差 I<br>【内容・方法 等】 階級と階層、そこに存在する格差という問題について。<br>【事前・事後学習課題】 レジュメを読んで復習する。            |
| 第14回 | 【授業テーマ】 階層と格差 II<br>【内容・方法 等】 格差はどのように再生産されるのか。<br>【事前・事後学習課題】 レジュメを読んで復習する。                   |
| 第15回 | 【授業テーマ】 講義を終えるにあたって<br>【内容・方法 等】 総括<br>【事前・事後学習課題】 レジュメを読んで復習する。                               |

### 評価方法 (基準)

授業態度20%、中間レポートおよび期末試験80%

### 教材等

教科書…レジュメを配布。  
参考書…授業中に適宜指示する。

### 学生へのメッセージ

馴染みのない理論や概念がたくさん出てきますが、講義に集中すれば十分に理解できると思います。紹介された理論を身近な経験に適用していけばより理解が深まるでしょう。

関連科目

担当者の研究室等

社会学 Sociology I				
谷口 裕久 (タニグチ ヤスヒサ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

人は文化のなかに生まれ、そこで社会を形成して生きる存在である。人は単独では生きてはゆけず、常に周囲に依存し影響を受けながら生きてゆく。この授業では、社会学の重厚な論題の中から、「社会の仕組み」を選び、それを身近な課題と結びつけることによって、わかりやすい授業の展開を志したい。授業の具体的な内容は授業計画を参照いただきたいが、社会における諸事象を各回のトピックとして取り上げ、解説を進めてゆく。授業は1回から3回程度で完結するオムニバス形式で行う。これらの諸課題の学習(受講とその後の復習など)を通じて、受講者諸項目の社会的な意味づけを理解させながら、社会全体への豊かな視点も養成できると考えている。学科の学習・教育目標との対応：[A]

授業方法と留意点

講義形式が中心。授業内容に即した映像を副次的に教材として利用することがある。積極的にノートをとることが肝要。

科目学習の効果(資格)

工学諸分野と協同すべき社会の諸問題をめぐり、社会学の枠組や考え方に則して、問題の理解と解決方法の考察を行うことができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 授業の進め方・「コモンズの悲劇」を考える。  
【内容・方法等】 「コモンズの悲劇」の事例から、共同参画する社会への認識を深める。  
【事前・事後学習課題】 「コモンズの悲劇」について説明できること。
- 第2回 【授業テーマ】 社会と文化  
【内容・方法等】 社会や文化に対する認識を深める。  
【事前・事後学習課題】 社会と文化に対する概念について説明できること。
- 第3回 【授業テーマ】 親とは誰か? 家族とは何か?  
【内容・方法等】 多様な親や家族の概念について教授する。  
【事前・事後学習課題】 親や家族の概念について説明できること。
- 第4回 【授業テーマ】 家族の区分  
【内容・方法等】 形態論だけではなく、生き方としての家族の区分について検討する。  
【事前・事後学習課題】 家族の多様性について理解を進めること。
- 第5回 【授業テーマ】 都市社会とは何か?  
【内容・方法等】 都市へ転換構造と都市をとりまく諸問題について考える。  
【事前・事後学習課題】 都市問題について一定の認識を持つこと。
- 第6回 【授業テーマ】 国民国家とは何か?  
【内容・方法等】 国民国家の概念やナショナリズムについて検討する。  
【事前・事後学習課題】 国民国家やナショナリズムについて説明ができること。
- 第7回 【授業テーマ】 「人種」概念の無効性  
【内容・方法等】 流通する「人種」概念と、その無効性について検討する。  
【事前・事後学習課題】 「人種」概念の無効性について、一定の説明をすることができること。
- 第8回 【授業テーマ】 「民族」とは何か?  
【内容・方法等】 日頃意識しない「民族」の概念について検討する。  
【事前・事後学習課題】 「民族」の概念について、具体的に検討できること。
- 第9回 【授業テーマ】 情報をめぐる不可思議  
【内容・方法等】 情報のありさまをめぐる問題について検討する。  
【事前・事後学習課題】 情報と消費の関係性について、意見を呈示することができる。
- 第10回 【授業テーマ】 IT化と社会  
【内容・方法等】 IT(Information Technology)化が進行する中での社会の動態について検討する。

【事前・事後学習課題】 IT化と社会について、関連性を見いだすことができる。

- 第11回 【授業テーマ】 「犯罪」とは何か?  
【内容・方法等】 「犯罪」とはどのような事象を指すのか検討し、その主体についても検討する。  
【事前・事後学習課題】 社会学的な「犯罪」の概念を呈示できること。
- 第12回 【授業テーマ】 安全とは何か?  
【内容・方法等】 社会における安全への取り組みや、安全に対する認識を深める。  
【事前・事後学習課題】 安全の考え方について、一定の認識を持てること。
- 第13回 【授業テーマ】 人間と誤謬  
【内容・方法等】 人は誤りを犯す動物だが、社会におけるその具体例を検討する。  
【事前・事後学習課題】 誤謬による事故の予防などについて、意見を呈示できること。
- 第14回 【授業テーマ】 遺伝子組み換えの論理と倫理  
【内容・方法等】 遺伝子組み換えの考え方とその倫理的側面について講じる。  
【事前・事後学習課題】 遺伝子組み換えの理論とその倫理的側面について、意見を呈示することができる。
- 第15回 【授業テーマ】 科学と技術の融合  
【内容・方法等】 科学(Science)とは何か、またそれとの技術的な融合は社会に何を生み出すのかについて考える。  
【事前・事後学習課題】 科学と技術の融合論について、一定の論理展開ができること。

評価方法(基準)

試験70%、授業参加度(質問・感想等の提出)30%の割合で総合的に評価する。

教材等

教科書…とくに使用しない。  
参考書…授業中に適宜指示する。

学生へのメッセージ

授業の内容の中に自分の将来に役に立つ知識を積極的に探そうと努力すること。授業中の私語と携帯電話の使用は厳禁である。パワーポイントのスライドを授業時に使用するため、積極的にノートをとることが肝要。

関連科目

なし。

担当者の研究室等

11号館6階、経営学部事務室

国際理解概論 International Cooperation				
田添 篤史 (タジエ アツシ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

第二次世界大戦以降、世界では貿易および多国籍企業の規模が拡大し、世界レベルの市場および競争もそれに伴って、拡張してきました。いまや、先進工業国に住んでいる私達は自分の家のなかで、世界中からの商品を手に入れることができるようになり、まさに世界の多くの国に広がっている巨大企業の急達の周りにあります。しかし、この現象は自然に、そして急に起きたものではありません。では、こうした国際産業はどのような特徴があり、どのように働いているのか。また、私達および他の国の人々の暮らしとどのような関係があるのか。この科目は、個別産業に焦点をあてながらグローバルなネットワークの形成とそのガバナンスの実態を明らかにし、現在のグローバル経済の現実を考察します。グローバル化をめぐる議論を理解することおよびグローバル化と日本との関係を理解することがこの授業の到達目標です。学科の学習・教育目標との対応：「A」

授業方法と留意点

主に講義形式で授業は行われますが、授業内容に対する学生の積極的な議論も期待しています。また、場合によっては授業内容に即した映像を副教材として利用します。講師の指示に従って、事前・事後学習をするのは学生の責任です。

科目学習の効果(資格)

日本の立場を国際的な視野から見ます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 産業、社会と、変動する世界  
【内容・方法等】 講座の全体的流れを認識し、経済および文化のグローバル化の実例について考えます。  
【事前・事後学習課題】 講師の指示に従って次回への展開。
- 第2回 【授業テーマ】 グローバル化とは何か  
【内容・方法等】 グローバル化の概念を考察します。



- 【事前・事後学習課題】** 前回の復習と、講師の指示に従って次回への展開。
- 第3回** **【授業テーマ】** グローバル化をめぐる理論（1）。  
**【内容・方法等】** グローバル化をめぐる理論を考察します。  
**【事前・事後学習課題】** 前回の復習と、講師の指示に従って次回への展開。
- 第4回** **【授業テーマ】** グローバル化をめぐる理論（2）  
**【内容・方法等】** グローバル化をめぐる理論を考察します。  
**【事前・事後学習課題】** 前回の復習と、講師の指示に従って次回への展開。
- 第5回** **【授業テーマ】** 経済のグローバル化  
**【内容・方法等】** 経済のグローバル化をめぐる議論を考察します。  
**【事前・事後学習課題】** 前回の復習と、講師の指示に従って次回への展開。
- 第6回** **【授業テーマ】** 自動車産業のグローバル化  
**【内容・方法等】** 産業のグローバル化において自動車産業の重要性を理解し、日本産業の位置づけについて考えます。  
**【事前・事後学習課題】** 前回の復習と、講師の指示に従って次回への展開。
- 第7回** **【授業テーマ】** 繊維産業・衣料産業のグローバル化（1）  
**【内容・方法等】** 国際繊維産業・衣服産業の現状を理解し、日本産業および日本市場の位置づけについて考えます。  
**【事前・事後学習課題】** 前回の復習と、講師の指示に従って次回への展開。
- 第8回** **【授業テーマ】** 繊維産業・衣料産業のグローバル化（2）  
**【内容・方法等】** 国際繊維産業・衣服産業の現状を理解し、日本産業および日本市場の位置づけについて考えます。  
**【事前・事後学習課題】** 前回の復習と、講師の指示に従って次回への展開。
- 第9回** **【授業テーマ】** グローバル化と環境破壊  
**【内容・方法等】** グローバル化と世界の環境問題との関係を考察します。  
**【事前・事後学習課題】** 前回の復習と、講師の指示に従って次回への展開。
- 第10回** **【授業テーマ】** 世界の労働とグローバル化（1）  
**【内容・方法等】** 国際労働の現状と、グローバル化の影響を考察します。  
**【事前・事後学習課題】** 前回の復習と、講師の指示に従って次回への展開。
- 第11回** **【授業テーマ】** 世界の労働とグローバル化（2）  
**【内容・方法等】** 国際労働の現状と、グローバル化の影響を考察します。  
**【事前・事後学習課題】** 前回の復習と、講師の指示に従って次回への展開。
- 第12回** **【授業テーマ】** 政治のグローバル化（1）  
**【内容・方法等】** 国際機関、政府やNPOによって世界市場における企業行動などのガバナンスの現状と可能性を考察します。  
**【事前・事後学習課題】** 前回の復習と、講師の指示に従って次回への展開。
- 第13回** **【授業テーマ】** 政治のグローバル化（2）  
**【内容・方法等】** 国際機関、政府やNPOによって世界市場における企業行動などのガバナンスの現状と可能性を考察します。  
**【事前・事後学習課題】** 前回の復習と、講師の指示に従って次回への展開。
- 第14回** **【授業テーマ】** 文化のグローバル化（1）  
**【内容・方法等】** 文化のグローバル化の現状および文化のグローバル化をめぐる議論を考察します。  
**【事前・事後学習課題】** 前回の復習と、講師の指示に従って次回への展開。
- 第15回** **【授業テーマ】** 文化のグローバル化（2）  
**まとめ**  
**【内容・方法等】** 文化のグローバル化の現状および文化のグローバル化をめぐる議論を考察します。  
全体を復習し、14回の授業のそれぞれの関連を考える上で、1回目の授業における課題をもう一度考察します。  
**【事前・事後学習課題】** 前回の復習。
- 評価方法（基準）**  
定期試験、課題と小テストを主とし、授業参加率・態度等を総合評価します。  
(定期試験 50%、課題30%、小テスト20%の割合で総合的に評価する。)
- 教材等**  
**教科書**…無し。  
**参考書**…デヴィッド・ヘルド（編）『グローバル化とは何か：文化・経済・政治』、京都：法律文化社、2002年。  
Peter Dicken (2010) "Global Shift". New York, London: The Guilford Press.
- 学生へのメッセージ**  
授業の内容を丸暗記するのではなく、積極的に考えて理解すること。  
授業中に私語などマナー違反がある場合は、退室を命じます。

## 関連科目

特にありません。

## 担当者の研究室等

非常勤講師ですので研究室はありません。その代わりに、授業中に質問の時間を設ける予定です。

## 健康論

Theory of Health

横山 喬之(ヨコヤマ タカユキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

## 授業概要・目的・到達目標

現代社会では、健康問題が最大の関心事である。特に生活習慣病は増加の一途をたどっている。この要因は食生活・運動・喫煙・飲酒・休養・ストレス等のライフスタイルに強く関連している。本講義では以上を踏まえて受講者が生涯にわたって自ら健康づくりを実践できる方途を具体的に論述する。(到達目標)  
①ライフスタイルの重要性について理解する。②生活習慣病について理解する。③健康づくりのための運動処方について理解する。④疾病について理解する。  
学科の学習・教育目標との対応：[A]

## 授業方法と留意点

講義形式で授業を進める。

## 科目学習の効果（資格）

本人が自覚して健康維持・増進を図ることの出来る能力を身につけ、生活の内容を豊かにすることを願う。

## 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** **【授業テーマ】** 健康論とは  
**【内容・方法等】** ・ガイダンス  
・現代の健康についての概念  
**【事前・事後学習課題】** ・筆記用具の準備
- 第2回** **【授業テーマ】** 薬物と健康  
**【内容・方法等】** ・違法薬物とは ・薬物中毒 ・薬物の内容・弊害  
**【事前・事後学習課題】** ・違法薬物に対する理解
- 第3回** **【授業テーマ】** 喫煙と健康  
**【内容・方法等】** ・煙草の種類 ・喫煙のリスク  
・喫煙の弊害  
**【事前・事後学習課題】** ・喫煙のリスク、健康への害に対する理解
- 第4回** **【授業テーマ】** 飲酒と健康  
**【内容・方法等】** ・飲酒と健康  
・飲酒の弊害  
**【事前・事後学習課題】** ・アルコールの知識を理解を深める
- 第5回** **【授業テーマ】** 思春期と性  
**【内容・方法等】** ・身体の変化  
・性とは  
**【事前・事後学習課題】** ・性に対する理解を深める
- 第6回** **【授業テーマ】** 妊娠・出産（前半）  
**【内容・方法等】** ・妊娠とは  
・妊娠初期について ・妊娠中期について  
**【事前・事後学習課題】** ・妊娠初期、中期の理解
- 第7回** **【授業テーマ】** 妊娠・出産（後半）  
**【内容・方法等】** ・妊娠後期について  
・産じょく期について  
**【事前・事後学習課題】** ・妊娠後期、産褥期の理解
- 第8回** **【授業テーマ】** 性感染症  
**【内容・方法等】** ・性感染症とは  
・現代の性感染症 ・予防方法  
**【事前・事後学習課題】** ・現代の性感染症の確認と理解
- 第9回** **【授業テーマ】** エイズ1  
**【内容・方法等】** ・エイズを知る  
・現代のエイズ状況  
**【事前・事後学習課題】** ・世界の現状を理解
- 第10回** **【授業テーマ】** エイズ2  
**【内容・方法等】** ・HIVとAIDS  
・感染経路  
**【事前・事後学習課題】** ・エイズの感染経路の確認と理解
- 第11回** **【授業テーマ】** エイズ3  
**【内容・方法等】** ・エイズの予防対策  
**【事前・事後学習課題】** ・エイズの予防の確認と理解
- 第12回** **【授業テーマ】** 応急手当①  
**【内容・方法等】** ・日常の応急手当  
**【事前・事後学習課題】** ・日常生活の応急処置の方法
- 第13回** **【授業テーマ】** 応急手当②  
**【内容・方法等】** ・救急処置法  
・救急処置の実際  
**【事前・事後学習課題】** ・事故などに関する応急処置の方法
- 第14回** **【授業テーマ】** 食事と睡眠・心身相関

**第15回** 【内容・方法等】 ・健康な食事と睡眠 ・心身の関係性  
 【事前・事後学習課題】 ・正しい食事、睡眠の確認と理解  
 【授業テーマ】 健康論総括（テスト）  
 【内容・方法等】 14回まで行った授業の内容に関してテストを行う  
 【事前・事後学習課題】 これまでの授業の復習

**評価方法（基準）**

出席率75%以上のものを試験資格者とする。遅刻は2回で1回の欠席と同等とみなす。（遅刻は授業開始から30分以内に入室したことをいう）

健康論総括(15回目)におけるテストを100%の割合で評価を行う。（ただし、上記の出席率を満たした者のみを評価対象者とする。）

**教材等**

教科書…教科書の指定はしない。

参考書…なし

**学生へのメッセージ**

質問等がある場合は、研究室あるいは総合体育館事務室に来て下さい。

**関連科目**

スポーツ科学実習Ⅰ・Ⅱ

生涯スポーツ実習

**担当者の研究室等**

総合体育館1階 横山講師室

**生涯スポーツ実習**

Lifetime Sports

河瀬 泰治 (カワセ ヤスハル)  
 藤林 真美 (フジバヤシ マミ)  
 内部 昭彦 (ウチベ アキヒコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	1

**授業概要・目的・到達目標**

スポーツ科学実習で習得した基礎知識をベースにより応用的な内容に発展させ、スポーツライフの形成の大切さを学び、スポーツ活動の楽しさや身体活動の必要性を自覚すると共に、生涯スポーツ参加への意識向上と自信を深めることを目的とする。

《到達目標》

- ①運動技術の向上
  - ②競技ルールの理解
  - ③学生相互のコミュニケーション能力の向上
- 学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**

【授業内容】

授業での開講種目は下記のとおりである。

前期 ①サッカー、②テニス、③ソフトボール、④バドミントン、⑤卓球

後期 ①バドミントン、②テニス、③サッカー、④卓球、  
 これら種目の他に、集中授業としてゴルフを開講しますが、  
 通年授業の生涯スポーツ実習との重複履修は出来ません。

※尚、各種目の人数が多すぎる場合や少なすぎる場合は、他の種目に移動、もしくは開講しないことがあります。また、第1回目の授業はガイダンスの他、各種目のコース分けを行なうので、必ず出席すること。何らかの事情で出席できない場合は、事前に体育館事務室まで連絡するように。

**科目学習の効果（資格）**

生活していくうえでの個人における基礎体力の養成、健康の保持・増進および運動技術の獲得である。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 ガイダンス  
 【内容・方法等】 ガイダンス（履修上の注意事項の説明）  
 コース種目分け  
 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第2回** 【授業テーマ】 各コース別実技  
 【内容・方法等】 競技の概要説明、基礎技術練習  
 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第3回** 【授業テーマ】 各コース別実技  
 【内容・方法等】 基礎技術練習  
 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第4回** 【授業テーマ】 各コース別実技  
 【内容・方法等】 審法、戦術の解説、攻防技術練習、ゲームの解説  
 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第5回** 【授業テーマ】 各コース別実技  
 【内容・方法等】 基礎技術練習・簡易試合、解説とゲーム  
 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第6回** 【授業テーマ】 各コース別実技  
 【内容・方法等】 基礎技術練習・簡易試合  
 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

- 第7回** 【授業テーマ】 各コース別実技  
 【内容・方法等】 基礎技術練習・簡易試合  
 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第8回** 【授業テーマ】 各コース別実技  
 【内容・方法等】 ゲーム（ブルーピンク・成績記録）  
 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第9回** 【授業テーマ】 各コース別実技  
 【内容・方法等】 ゲーム（ブルーピンク・成績記録）  
 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第10回** 【授業テーマ】 各コース別実技  
 【内容・方法等】 ゲーム（ブルーピンク・成績記録）  
 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第11回** 【授業テーマ】 各コース別実技  
 【内容・方法等】 ゲーム（ブルーピンク・成績記録）  
 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第12回** 【授業テーマ】 各コース別実技  
 【内容・方法等】 ゲーム（ブルーピンク・成績記録）  
 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第13回** 【授業テーマ】 各コース別実技  
 【内容・方法等】 ゲーム（ブルーピンク・成績記録）  
 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第14回** 【授業テーマ】 各コース別実技  
 【内容・方法等】 ゲーム（ブルーピンク・成績記録）  
 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第15回** 【授業テーマ】 各コース別実技  
 【内容・方法等】 ゲーム（ブルーピンク・成績記録）  
 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

**評価方法（基準）**

平常点50%、態度点25%、技能点25%として、総合評価する。

**教材等**

教科書…使用しない

参考書…使用しない

**学生へのメッセージ**

授業への質問などは授業前後の休憩時間または昼休みに総合体育館1Fスポーツ振興センター事務室にきてください。

**関連科目**

スポーツ科学実習Ⅰ・Ⅱ 健康論

**担当者の研究室等**

体育館1F 体育館事務室

**備考**

【準備物】

トレーニングウェア、スポーツシューズ（コースに適したもの）

**生涯スポーツ実習**

Lifetime Sports

河瀬 泰治 (カワセ ヤスハル)  
 近藤 潤 (コンドウ ジュン)  
 藤林 真美 (フジバヤシ マミ)  
 内部 昭彦 (ウチベ アキヒコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	1

**授業概要・目的・到達目標**

スポーツ科学実習で習得した基礎知識をベースにより応用的な内容に発展させ、スポーツライフの形成の大切さを学び、スポーツ活動の楽しさや身体活動の必要性を自覚すると共に、生涯スポーツ参加への意識向上と自信を深めることを目的とする。

《到達目標》

- ①運動技術の向上
  - ②競技ルールの理解
  - ③学生相互のコミュニケーション能力の向上
- 学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**

【授業内容】

授業での開講種目は下記のとおりである。

前期 ①サッカー、②テニス、③ソフトボール、④バドミントン、⑤卓球

後期 ①バドミントン、②テニス、③サッカー、④卓球、  
 これら種目の他に、集中授業としてゴルフを開講しますが、  
 通年授業の生涯スポーツ実習との重複履修は出来ません。

※尚、各種目の人数が多すぎる場合や少なすぎる場合は、他の種目に移動、もしくは開講しないことがあります。また、第1回目の授業はガイダンスの他、各種目のコース分けを行なうので、必ず出席すること。何らかの事情で出席できない場合は、事前に体育館事務室まで連絡するように。

**科目学習の効果（資格）**

生活していくうえでの個人における基礎体力の養成、健康の保持・増進および運動技術の獲得である。



毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス  
【内容・方法等】 ガイダンス（履修上の注意事項の説明）  
コース種目分け  
【事前・事後学習課題】 ルールの理解
- 第2回 【授業テーマ】 各コース別実技  
【内容・方法等】 競技の概要説明、基礎技術練習  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第3回 【授業テーマ】 各コース別実技  
【内容・方法等】 基礎技術練習  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第4回 【授業テーマ】 各コース別実技  
【内容・方法等】 審法、戦術の解説、攻防技術練習、ゲームの解説  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第5回 【授業テーマ】 各コース別実技  
【内容・方法等】 基礎技術練習・簡易試合、解説とゲーム  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第6回 【授業テーマ】 各コース別実技  
【内容・方法等】 基礎技術練習・簡易試合  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第7回 【授業テーマ】 各コース別実技  
【内容・方法等】 基礎技術練習・簡易試合  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第8回 【授業テーマ】 各コース別実技  
【内容・方法等】 ゲーム（ブルーピンク・成績記録）  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第9回 【授業テーマ】 各コース別実技  
【内容・方法等】 ゲーム（ブルーピンク・成績記録）  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第10回 【授業テーマ】 各コース別実技  
【内容・方法等】 ゲーム（ブルーピンク・成績記録）  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第11回 【授業テーマ】 各コース別実技  
【内容・方法等】 ゲーム（ブルーピンク・成績記録）  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第12回 【授業テーマ】 各コース別実技  
【内容・方法等】 ゲーム（ブルーピンク・成績記録）  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第13回 【授業テーマ】 各コース別実技  
【内容・方法等】 ゲーム（ブルーピンク・成績記録）  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第14回 【授業テーマ】 各コース別実技  
【内容・方法等】 ゲーム（ブルーピンク・成績記録）  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第15回 【授業テーマ】 各コース別実技  
【内容・方法等】 ゲーム（ブルーピンク・成績記録）  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 評価方法（基準）  
平常点50%、態度点25%、技能点25%として、総合評価する。
- 教材等  
教科書…使用しない  
参考書…使用しない
- 学生へのメッセージ  
授業への質問などは授業前後の休憩時間または昼休みに総合体育館1Fスポーツ振興センター事務室にきてください。
- 関連科目  
スポーツ科学実習Ⅰ・Ⅱ 健康論
- 担当者の研究室等  
体育館1F 体育館事務室
- 備考  
【準備物】  
トレーニングウェア、スポーツシューズ（コースに適したものの）

生涯スポーツ実習  
Lifetime Sports

近藤 潤 (コンドウ ジュン)  
菅生 貴之 (スゴウ タカユキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	1

授業概要・目的・到達目標

ゴルフというスポーツを通して生涯スポーツへの参加意識向上と自信を深めることを目的とする。  
《到達目標》  
運動技術の向上  
競技ルールの理解  
学生相互のコミュニケーション能力の向上

学科の学習・教育目標との対応：[A]

授業方法と留意点

事前ガイダンスと集中授業4日間合わせて5日間で行う。  
後期の生涯スポーツ実習が履修できること。  
5日間すべて受講できること。  
事前の申し込みが受け付けられることが必要。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

テーマ 学習内容 場所  
1回目：事前ガイダンス 目的、日程、準備する物、ゴルフについて 総合体育館  
2回目AM：ゴルフの基礎知識 ゴルフのルール・マナーについて 総合体育館  
PM：基礎技術 グリップ・スウィング・バター 多目的グラウンドおよび第1グラウンド  
3回目AM：基礎技術 打球練習場での練習 打球練習場  
PM：基礎技術 アプローチ、バター練習 第1グラウンド  
4回目AM：基礎技術 打球練習場での練習 打球練習場  
PM：基礎技術 アプローチ、バター練習 第1グラウンド  
5回目PM：応用編 ラウンド（9H） 京阪ゴルフ場

評価方法・評価基準

平常点50%、態度点25%、技能点25%として、総合評価する。

教材等

教科書…指定なし  
参考書…使用しない

備考

ラウンド時の服装は襟付きポロシャツ、スラックス（半ズボン場合はハイソックス着用）、運動靴（スパイク類は禁止）

インターンシップ  
Internship I

水野 武 (ミズノ タケシ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	イ	前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

インターンシップの目的は、実際の仕事現場の一員として業務を担当させていただくことで社会人の方々がどのような考え方で働かれているのか、特に①仕事の社会における役割 ②仕事の成果とは ③仕事の責任と充実感を肌で感じてもらうことです。  
インターンシップⅠでは、インターンシップへ意欲的に自信を持って参加できるようになることを目標とします。  
学科の学習と教育目標との対応：[A]

授業方法と留意点

グループワークやプレゼンテーションなどを行う参加型の授業です。  
実際のインターンシップにつながる講義ですので、能動的に、真摯に参加することを求めます。

科目学習の効果（資格）

インターンシップへ行く目的を理解し、準備ができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 インターンシップとは  
【内容・方法等】 授業オリエンテーション  
インターンシップとアルバイトの違い  
インターンシップの狙い  
【事前・事後学習課題】 インターンシップとはどのようなものかを調べておいて下さい。
- 第2回 【授業テーマ】 学びと社会のつながり  
【内容・方法等】 大学での学びは、社会とどうつながるのかを考える。  
【事前・事後学習課題】 自分の専攻分野と社会のかかわりを考えてください。
- 第3回 【授業テーマ】 実習参加企業について  
【内容・方法等】 産業の分類を知る。  
業種、内容、実施時期等、実習参加企業について知る。  
【事前・事後学習課題】 インターン受入企業リストに目を通して下さい。
- 第4回 【授業テーマ】 インターンシップの目的  
【内容・方法等】 社会人と学生の違いを知る。  
志望動機とインターンシップでの目標を設定する。  
【事前・事後学習課題】 授業内で提示した課題を実施して下さい。
- 第5回 【授業テーマ】 効果的なプレゼンテーションとは  
【内容・方法等】 効果的なプレゼンテーションの仕方、注意点などを知る。  
【事前・事後学習課題】 第4回目の課題について、プレゼンテーションの準備をして下さい。
- 第6回 【授業テーマ】 課題のプレゼンテーション  
【内容・方法等】 第4回目の課題をプレゼンテーションする。

- 【事前・事後学習課題】** 第4回目の課題について、プレゼンテーションの準備をして下さい。
- 第7回 【授業テーマ】** 社会人のマナー①  
**【内容・方法 等】** 社会人としての心構えを知る。  
**【事前・事後学習課題】** マナーが何故大切なのかを考えて下さい。
- 第8回 【授業テーマ】** 社会人のマナー②  
**【内容・方法 等】** 電話のかけ方、指示の受け方、ハウレンソウについて  
**【事前・事後学習課題】** 授業以降は丁寧な電話の受け答えを心がけてください。
- 第9回 【授業テーマ】** 社会人のマナー③  
**【内容・方法 等】** 御礼状の書き方、メールの書き方について  
**【事前・事後学習課題】** マナーの大切さを再度考えて下さい。
- 第10回 【授業テーマ】** 事前訪問について  
**【内容・方法 等】** 事前訪問のマナーと準備について  
**【事前・事後学習課題】** インターン先の企業のことをもう一度調べて下さい。
- 第11回 【授業テーマ】** コミュニケーションの基本  
**【内容・方法 等】** 聴く力、相手を尊重したコミュニケーションの方法について  
**【事前・事後学習課題】** 授業後は相手を尊重したコミュニケーションを意識してください。
- 第12回 【授業テーマ】** グループワーク①  
**【内容・方法 等】** 掲示された課題について、チームで情報を集約、検証、プレゼンテーションを行う。  
**【事前・事後学習課題】** グループ内の自分の役割を考えて下さい。
- 第13回 【授業テーマ】** グループワーク②  
**【内容・方法 等】** 掲示された課題について、チームで情報を集約、検証、プレゼンテーションを行う。  
**【事前・事後学習課題】** グループの最大の力を出すために、自分に何が出来るかを考え、プレゼンテーションの準備をして下さい。
- 第14回 【授業テーマ】** PDCAサイクル・トラブル対応  
**【内容・方法 等】** PDCAサイクルについて  
 トラブル対応について  
**【事前・事後学習課題】** PDCAとは何か、を調べて下さい。
- 第15回 【授業テーマ】** 振り返りとまとめ  
**【内容・方法 等】** 授業を振り返る。  
 インターンシップの目的を再考する。  
**【事前・事後学習課題】** インターンシップで何を身につけたいかをもう一度考えて下さい。

**評価方法 (基準)**  
 発表 (30%)、提出物 (30%)、授業態度 (40%) による総合評価とします。

**教材等**

教科書…必要に応じてレジュメを配布  
 参考書…必要に応じて推薦図書を提示

**学生へのメッセージ**

インターシップの流れ ※4月下旬にリスト公開→5月上旬に希望事業所の絞り込み→5月下旬に就職部から受け入れ可否の回答→6月末頃に事前訪問→8月上旬から実習 (予定)

**関連科目**

インターンシップⅡ (企業での就業体験実習) を希望する学生は、必ずこの科目を同時履修すること

**担当者の研究室等**

7号館3階 キャリア教育推進室

インターンシップⅡ Internship II				
水野 武 (ミズノ タケシ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	I	前期非終講	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

インターンシップの目的は、実際の仕事現場の一員として業務を担当させていただくことで社会人の方々がどのような考え方で働かれているのか、特に社会における仕事の役割、仕事の成果、仕事に対する責任と充実感を肌で感じてもらうことです。インターンシップⅡでは、インターンシップ実習の機会を最大限に活用し、自分や社会をより理解し、将来の選択肢や可能性を広げることを目標とします。学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**

事前指導→インターンシップ実習→事後指導  
 実習中は、大学の代表、そして実習先の一員としての意識を持って参加してください。

**科目学習の効果 (資格)**

就職活動や将来を考えるうえでの貴重な出会いや気づきを得る

ことができます。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】** 直前教育①  
 6月21日 (土) 3限目 (予定)  
**【内容・方法 等】** インターンシップの心構え  
 今後のスケジュールの確認  
**【事前・事後学習課題】** 社会人を意識したスーツ着用
- 第2回 【授業テーマ】** 直前教育②  
 6月21日 (土) 4限目 (予定)  
**【内容・方法 等】** 報告書の書き方、注意点/マナー・身だしなみの最終確認  
**【事前・事後学習課題】** マナーについて考えて下さい。
- 第3回 【授業テーマ】** 直前教育③  
 6月28日 (土) 3限目 (予定)  
**【内容・方法 等】** プレゼンテーション①  
**【事前・事後学習課題】** 他者に何かを伝える際に気を付けることを考えて下さい。
- 第4回 【授業テーマ】** 直前教育④  
 6月28日 (土) 4限目 (予定)  
**【内容・方法 等】** プレゼンテーション②  
**【事前・事後学習課題】** インターンシップで何を学びたいのかを考えて下さい。
- 第5回 【授業テーマ】** インターンシップ実習  
**【内容・方法 等】** 夏季休暇中に二週間以上  
**【事前・事後学習課題】** 実習中は毎日日誌をつけること。
- 第6回 【授業テーマ】** インターンシップ実習  
**【内容・方法 等】** 夏季休暇中に二週間以上  
**【事前・事後学習課題】** 事前に立てた目標を意識して参加してください。
- 第7回 【授業テーマ】** 体験報告書の作成・提出・指導  
**【内容・方法 等】** 報告書提出/ゼミ教員・インターンシップ担当教員における報告書のチェックと指導 (担当教員への提出と教務課へ電子データを提出)  
**【事前・事後学習課題】** 事前指導の通りに報告書を作成する。提出前に必ず推敲を行うこと。
- 第8回 【授業テーマ】** 事後指導①  
 9月27日 (土) 3限目 (予定)  
**【内容・方法 等】** 体験報告会に向けたプレゼン指導及び個人発表  
**【事前・事後学習課題】** 個人発表用のレジュメを準備し、プレゼンテーションができるようにして下さい。
- 第9回 【授業テーマ】** 事後指導②  
 9月27日 (土) 4限目 (予定)  
**【内容・方法 等】** 体験報告会に向けたプレゼン指導及び個人発表  
**【事前・事後学習課題】** 個人発表用のレジュメを準備し、プレゼンテーションができるようにして下さい。
- 第10回 【授業テーマ】** 事後指導③  
 10月18日 (土) 3限目 (予定)  
**【内容・方法 等】** 体験報告会に向けたプレゼン指導及び個人発表  
**【事前・事後学習課題】** 代表者はスライドを作成し、プレゼンテーションの準備をして下さい。
- 第11回 【授業テーマ】** 事後指導④  
 10月18日 (土) 4限目 (予定)  
**【内容・方法 等】** 体験報告会に向けたプレゼン指導及び個人発表  
**【事前・事後学習課題】** 代表者はスライドを作成し、プレゼンテーションの準備をして下さい。
- 第12回 【授業テーマ】** 事後指導⑤  
 10月25日 (土) 3限目 (予定)  
**【内容・方法 等】** インターンシップを振り返る (実習記録簿の提出)  
**【事前・事後学習課題】** 実習記録簿を見直して来てください。
- 第13回 【授業テーマ】** 事後指導⑥  
 10月25日 (土) 4限目 (予定)  
**【内容・方法 等】** インターンシップを振り返る  
**【事前・事後学習課題】** 実習記録簿を見直して来てください。
- 第14回 【授業テーマ】** 事後指導⑦  
 11月8日 (土) 1限目 (予定)  
**【内容・方法 等】** 全体報告会  
 学生代表者の発表  
**【事前・事後学習課題】** 学生代表者はパワーポイントで10分で報告ができるように準備してください。
- 第15回 【授業テーマ】** 事後指導⑧  
 11月8日 (土) 2限目 (予定)  
**【内容・方法 等】** 全体報告会  
 受け入れ企業管理者の講演とまとめ (予定)  
**【事前・事後学習課題】** 全員スーツ着用

**評価方法 (基準)**

企業による報告書：20%、体験報告書等報告書：40%、発表・授業態度：40%

**教材等**

教科書…必要に応じてレジュメ配布



参考書…必要に応じて推薦図書を提示  
**学生へのメッセージ**  
 インターンシップ I を必ず履修してください。  
 インターンシップ I の履修には、3月のガイダンスに出席し履修申し込み書を提出する必要があります。  
 履修希望者が多い場合は、選考することがあります。

**関連科目**  
 インターンシップ I  
**担当者の研究室等**  
 7号館3階 キャリア教育推進室

**教養特別講義I～V「社会と人権」**  
 Human rights and Society

太田 義器 (オオタ ヨシキ)  
 有馬 善一 (アリマ センイチ)  
 林田 敏子 (ハヤシダ トシコ)  
 古川 行男 (フルカワ ユキオ)  
 松島 裕一 (マツシマ ユウイチ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

**【授業概要・目的】**  
 本科目は、人間が人間として尊重されるということの意味を、具体的な生活や行動と関わらせて考えること、またそのような思索の成果を実際の生活や行動に反映させることを目的とし、そのための知識や見方・考え方を受講生に提示する。

本年度は、太田(政治哲学)、古川(判事経験者)、有馬(倫理学)、林田(西洋史)、松島(法哲学)を専門する教員が、それぞれ3回ずつ授業を行う。

**【到達目標】**  
 本授業を履修した学生は、次の項目について一定水準に達することが期待されます。

- ① 社会と人権にかかわる事柄について政治哲学的観点から説明できる
- ② 社会と人権にかかわる事柄について裁判事例の観点から説明できる
- ③ 社会と人権にかかわる事柄について倫理学的観点から説明できる
- ④ 社会と人権にかかわる事柄について西洋史的観点から説明できる
- ⑤ 社会と人権にかかわる事柄について法哲学的観点から説明できる
- ⑥ 社会と人権にかかわる事柄について、具体的な自分の生活と行動の場面に即して考えることができる

学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**

(有馬担当) 板書・配付資料による講義形式。

**科目学習の効果(資格)**

人権問題について、印象論ではなく、正確な知識に基づいた理解を得ることができる。

**毎回の授業テーマ・内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】** 「社会と人権について考える」ことを考える  
**【内容・方法 等】** 担当者:太田  
 シラバス内容の確認(10分)  
 社会と人権について履修生がどのような考え方をもっているのかの確認(20分)  
 「社会と人権について考える」ことを考える ための話題提供(40分)  
 質疑およびミニッツペーパー(20分)  
**【事前・事後学習課題】 【事後学習】**  
 Web上のプレ・アンケートをしてもらいます。  
 結果については、担当教員5名で共有します。
- 第2回 【授業テーマ】** 正義とは何か？  
**【内容・方法 等】** 担当者:松島  
 「人権」という考え方が明確に意識されるようになるのは近代以降ですが、古典古代にもその思想的萌芽が見られます。この回の講義では古代ギリシアにさかのぼって、人間社会における「正しさ(正義)」とは何かについて考えてみます。  
**【事前・事後学習課題】 【事後学習】**  
 「正義」にかんする具体的な設問を提示しますので、授業中にその問題について皆で議論し、後日レポートを提出してください。
- 第3回 【授業テーマ】** 自由とは何か？  
**【内容・方法 等】** 担当者:松島  
 日本国憲法にはさまざまな自由権が規定されていますが、そもそも「自由」とは何でしょうか？ J・S・ミルやI・バ

ーリンらの議論を手掛かりにしながら、人権概念の根幹をなす「自由」というものの本質について考えてみます。

- 【事前・事後学習課題】 【事後学習】**  
 「自由」にかんする具体的な設問を提示しますので、授業中にその問題について皆で議論し、後日レポートを提出してください。
- 第4回 【授業テーマ】** 平等とは何か？  
**【内容・方法 等】** 担当者:松島  
 「自由」と並び、「平等」は人権概念の根幹をなす重要な概念ですが、そもそも平等とは何なのでしょう？ J・ロールズやR・ドゥオーキンらの議論を手がかりにして、平等の本質について考えてみたいと思います。  
**【事前・事後学習課題】 【事後学習】**  
 「平等」にかんする具体的な設問を提示しますので、授業中にその問題について皆で議論し、後日レポートを提出してください。
- 第5回 【授業テーマ】** 人工妊娠中絶の是非をめぐって(1)  
**【内容・方法 等】** 担当者:有馬  
 ・人工妊娠中絶をめぐる「プロ・ライフ」(中絶反対派)と「プロ・チョイス」(中絶擁護派)の論争とその社会的背景について解説をする。  
 ・トムソンの論文について解説をした上で、トムソンの主張について周囲の学生とディスカッションをする。  
**【事前・事後学習課題】** トムソンの主張についての自分の考えをまとめる。
- 第6回 【授業テーマ】** 人工妊娠中絶の是非をめぐって(2)  
**【内容・方法 等】** 担当者:有馬  
 ・前回のディスカッションのまとめ。  
 ・パーソン論と人工妊娠中絶問題とのつながりを説明する。  
 ・トゥーリの論文について解説をした上で、トゥーリの主張についてディスカッションをする。  
**【事前・事後学習課題】** トゥーリの主張について自分の考えをまとめる。
- 第7回 【授業テーマ】** 安楽死をめぐって  
**【内容・方法 等】** 担当者:有馬  
 ・前回のディスカッションのまとめ  
 ・「死ぬ権利」に対するオランダやベルギーの考え方を紹介する。また、日本における「尊厳死」の問題について解説をする。  
 ・安楽死の是非についてディスカッションをする。  
**【事前・事後学習課題】** 安楽死について自分の考えをまとめる。
- 第8回 【授業テーマ】** 正義と政治:対テロ戦争は、本当に正義の戦争なのか  
**【内容・方法 等】** 担当者:太田  
 対テロ戦争についての履修生の考えの確認(10分)  
 「正しい戦争」という考え方の説明(30分)  
 「正しい戦争」という考え方を聞いて、何を考えたか、履修生の考えの確認(10分)  
 米国が主導している「正しい戦争」の現実についての説明(20分)  
 質疑およびミニッツペーパー(20分)  
**【事前・事後学習課題】 【事後学習】**  
 これまでの授業についての確認のwebアンケートに答えてもらいます。
- 第9回 【授業テーマ】** 憲法と基本的人権  
**【内容・方法 等】** 担当者:古川  
 総論、基本的人権と公共の福祉  
**【事前・事後学習課題】** 自分の基本的人権と他人の基本的人権との関係をどのように考えるか  
 最近のニュースなどで基本的人権が問題となったケースにつき話し合う。
- 第10回 【授業テーマ】** 憲法における自由権  
**【内容・方法 等】** 担当者:古川  
 精神的自由権、経済的自由権、人身の自由についての具体的な憲法の規定  
 それぞれの自由権の歴史的な流れ。愚弟的な内容  
**【事前・事後学習課題】** それぞれの自由権について各自はどのように考えるのか。
- 第11回 【授業テーマ】** 社会権、参政権、その他  
**【内容・方法 等】** 担当者:古川  
 社会的、経済的弱者を守るための人権にはどのようなものがあるか。  
 国民主権と参政権  
 一般的な幸福追求権  
**【事前・事後学習課題】** この3回の授業で自分として考えたことをまとめる。
- 第12回 【授業テーマ】** 女性と人権  
**【内容・方法 等】** 担当者:林田  
 ・歴史学と「人権」  
 ・人権概念の歴史的生成過程～アメリカ独立宣言を中心に～  
 ・もう一つのフランス革命～オランプ・ドゥ・グージュの「女性の人権宣言」～  
**【事前・事後学習課題】 【事前学習】**

教養科目

「女性と人権」という言葉から連想するものを書き出してくる。

**第13回 【授業テーマ】** 女性は戦争をどう「戦った」か  
**【内容・方法 等】** 担当者：林田  
 ・犠牲者としての女性  
 ・戦いを鼓舞する女性  
 ・「戦う」女性～募兵運動、兵器製造、従軍～  
 ・女性兵士をめぐる

**【事前・事後学習課題】 【事後学習】**  
 「戦争があぶりだすジェンダー問題」についてまとめる。

**第14回 【授業テーマ】** 「ジェンダー・フリー」の罨  
**【内容・方法 等】** 担当者：林田  
 セクシュアル・ハラスメント、ドメスティック・バイオレンスから女性専用車両にいたるまで、身近にあるジェンダー問題を通して、ジェンダー・フリーへ向けた取り組みが抱える問題について考える（ディスカッションもしくは、小発表形式）。

**【事前・事後学習課題】 【事後学習】**  
 ディスカッション（もしくは小発表）の内容を踏まえて、自分の考えをまとめる。

**第15回 【授業テーマ】** 総括  
**【内容・方法 等】** 担当者：太田  
 履修生全員に「社会と人権」について考えたことを20秒でまとめて発言してもらいます。  
 履修人数によりますが、一人ひとりに太田が10秒でコメントします。

**【事前・事後学習課題】 【事前学習】**  
 発言した内容を中心としたレポートを提出してもらい、それを太田担当回の評価資料とします。

**評価方法（基準）**  
 5名の担当者が課す課題を100点満点で評価し、その平均点で評価します。（5つの課題それぞれの比重は20%）  
 それぞれの担当者の評価方法については、授業計画で確認ください。

**教材等**  
**教科書**…とくになし。必要に応じてプリントを配付する。  
**参考書**…とくになし。

**学生へのメッセージ**  
 教室に来て、座って聞いているだけでも、もちろんためになります。それだけではなく、自分で考えてもらうための作業をたくさん行います。

**関連科目**  
 法学などのさまざまな科目

**担当者の研究室等**  
 太田(7号館4階)  
 古川(11号館10階)  
 有馬(11号館7階)  
 林田(7号館4階)  
 松島(11号館9階)

**備考**  
 有馬担当分 参考図書 加藤・飯田編 『バイオエシックスの基礎』、東海大学出版会

**教養特別講義I～V 「役立つ金融知力」**

Useful Financial Literacy

陸川 富盛 (リクカワ ヨシモリ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

自ら考え判断し行動する「賢い経済主体」となるためには、先ずは市場経済や契約社会の仕組みを実感として理解し、様々なリスクや不確実性に果敢に立ち向かっていく必要があります。経済や法律そして金融に関する正しい知識を得てそれらを日常的に活用していくことは、実は単に金銭トラブルの回避に役立つだけでなく、より良い人生や社会の実現に欠かせないのです。

本講義の目標は、人生のさまざまな局面で的確に決断し行動できるよう、金融知識を活用する実践的な金融インテリジェンスの基本を身に着けることです。

学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**

教科書を使用した講義形式を中心に、先ずは経済主体としての視点で、社会の仕組みと様々な課題や対処法を認識します。更に、それらを統合的に活用する金融インテリジェンスの基礎を学び応用します。

**科目学習の効果（資格）**

経済生活やビジネスライフに必要な意思決定を適宜適切に行えるよう、金融知識を活用する実践的な金融インテリジェンスの基本を身に着けます。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】** イントロダクション  
**【内容・方法 等】** 「金融知力の必要性」  
**【事前・事後学習課題】** テキスト<P4～15>  
 ・私たちの暮らしと経済  
 ・戦後の社会発展  
 ・パラダイムシフト  
 ・変革の必要性
- 第2回 【授業テーマ】** 金融・経済の基礎知識①  
**【内容・方法 等】** 「国際経済と国家財政」  
**【事前・事後学習課題】** テキスト<P38～49>  
 ・国際経済  
 ・国家の財政
- 第3回 【授業テーマ】** 金融・経済の基礎知識②  
**【内容・方法 等】** 「市場経済と金融の役割」  
**【事前・事後学習課題】** テキスト<P16～29>  
 ・金融の役割  
 ・市場経済のしくみと意義  
 ・金融の役割と銀行
- 第4回 【授業テーマ】** 法律の基礎知識  
**【内容・方法 等】** 「契約の基本」  
**【事前・事後学習課題】** テキスト<P147～149・152～159>  
 ・契約社会Ⅰ  
 ・ローン・クレジット  
 ・契約社会Ⅱ
- 第5回 【授業テーマ】** リスクと向き合う①  
**【内容・方法 等】** 「リスクマネジメント」  
**【事前・事後学習課題】** テキスト<P74～81・150～152・159～161>  
 ・リスクマネジメント  
 ・契約社会Ⅲ
- 第6回 【授業テーマ】** リスクと向き合う②  
**【内容・方法 等】** 「リタイアメント」  
**【事前・事後学習課題】** テキスト<P82～91>  
 ・年金制度  
 ・老後生活資金
- 第7回 【授業テーマ】** 投資の基礎知識  
**【内容・方法 等】** 「投資とは何か」  
**【事前・事後学習課題】** テキスト<P92～98>  
 ・投資とは  
 ・投資意思決定プロセス
- 第8回 【授業テーマ】** 経済活動と金融市場  
**【内容・方法 等】** 「景気・株価」  
**【事前・事後学習課題】** テキスト<P30～37・50～53>  
 景気  
 景気と株価
- 第9回 【授業テーマ】** 金融商品の基礎知識①  
**【内容・方法 等】** 「代表的な金融商品（株式等）」  
**【事前・事後学習課題】** テキスト<P118～129>  
 ・株式  
 ・投資信託  
 ・外貨建て商品  
 ・保険商品  
 ・デリバティブ
- 第10回 【授業テーマ】** 金融商品の基礎知識②  
**【内容・方法 等】** 「代表的な金融商品（債券他）」  
**【事前・事後学習課題】** テキスト<P111～118>  
 ・預貯金  
 ・信託  
 ・債券
- 第11回 【授業テーマ】** 金融商品の基礎知識③  
**【内容・方法 等】** 「金融市場と金融商品の性格」  
**【事前・事後学習課題】** テキスト<P99～111>  
 ・直接金融と間接金融  
 ・金融商品の性格
- 第12回 【授業テーマ】** 投資のリスク管理  
**【内容・方法 等】** 「資産分散と時間分散」  
**【事前・事後学習課題】** テキスト<P130～146>  
 ・分散投資  
 ・時間分散  
 ・長期投資
- 第13回 【授業テーマ】** ライフプランニング①  
**【内容・方法 等】** 「ライフプランニング表」  
**【事前・事後学習課題】** テキスト<P54～63>  
 ・ライフプランニング
- 第14回 【授業テーマ】** ライフプランニング②  
**【内容・方法 等】** 「ライフイベントごとの課題」  
**【事前・事後学習課題】** テキスト<P64～73>  
 ・キャッシュフロー表の見直し  
 ・ライフイベントごとの課題
- 第15回 【授業テーマ】** 試験（レポート提出）  
**【内容・方法 等】** 課題レポート提出  
 試験  
**【事前・事後学習課題】** 講義で得た金融インテリジェンスの応



用  
**評価方法 (基準)**  
 課題レポートを50%、試験を20%、平常点を30%とし、本科目への取り組み姿勢や理解度等を総合的に評価します。

**教材等**  
**教科書**…『今日から役に立つ、経済の読み方と投資の基礎』  
 発行：特定非営利活動法人 金融知力普及協会  
 (必須。授業では毎回この教科書を使用します。)  
**参考書**…特定ものは指定しません

**学生へのメッセージ**  
 ・受講内容の復習を行い、身近な経済・時事問題などに興味や疑問を持って考えること。  
 ・最終回までに表計算ソフト「エクセル」(自習。講義では教えません。)で簡易な表を作成できること。  
 本講義でより高い効果を得るには、受講内容を復習し自分自身で深く考え調査した上で、友人たちと議論してみることが役立ちます。

**関連科目**  
 民法、会社法、経済学、国際経済、経営学、経営戦略 など  
**担当者の研究室等**  
 11号館1階(教務課)

**備考**  
 この授業は、SMBCH日興証券グループによる「寄附講座」です。

<b>教養特別講義I～V「地域連携教育活動I」</b> Community-Based Education Support Activities 浅野 英一 (アサノ エイチ) 浦野 崇央 (ウラノ タカオ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**  
 本授業はサービスマスターリングの授業であり、実践型学習プログラムである。大学近隣の幼稚園・小学校・中学校で教育現場の教育補助、課外活動を幅広く体験し、自己の適正を把握する機会を持ち、人間的成長や社会意識の向上を目指す。活動内容は、授業運営補助、「総合的な学習」の補助、学校行事運営補助、クラブ・サークル活動の補助、図書室運営の補助、放課後学習の補助などを組み合わせ年間を通じた活動を大学授業の空き時間を利用して週1回90分行う。  
 学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**  
 原則として、履修申請が可能な学生は、本年1月に行なわれた特別事前履修相談会で受け入れ校の校長・教頭・園長との相談結果によって受入れ許可を得た学生で、「地域連携教育活動I」を初めて履修する学生を対象とする。

**科目学習の効果 (資格)**  
 活動を通して責任の自覚と人間的成熟を促し、人柄や隠れていた素質を引き出す手段とする。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回 【授業テーマ】 事前教育-1 (授業説明を4月10日第6時限目1134教室で行います。必ず出席してください。)  
 【内容・方法等】 活動についての心構え、内容の徹底周知、年間活動計画作成準備  
 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ作成
- 第2回 【授業テーマ】 事前教育-2  
 【内容・方法等】 マナー講座・小中学校の教育現場について(学外講師を含む)  
 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ作成
- 第3回 【授業テーマ】 事前教育-3  
 【内容・方法等】 「守秘義務」の意味とその内容について(教育委員会からの学外講師)  
 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ作成
- 第4回 【授業テーマ】 活動準備  
 【内容・方法等】 受け入れ校と協議し、年間活動計画を作成する  
 【事前・事後学習課題】 年間計画(案)の作成
- 第5回 【授業テーマ】 活動-1  
 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動開始  
 活動業務日報・活動時間票の提出  
 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第6回 【授業テーマ】 活動-2  
 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
 活動業務日報・活動時間票の提出  
 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第7回 【授業テーマ】 活動-3  
 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
 活動業務日報・活動時間票の提出  
 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成

- 第8回 【授業テーマ】 活動-4  
 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
 活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書①の提出  
 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書の作成
- 第9回 【授業テーマ】 活動-5  
 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
 活動業務日報・活動時間票の提出  
 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第10回 【授業テーマ】 活動-6  
 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
 活動業務日報・活動時間票の提出  
 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第11回 【授業テーマ】 活動-7  
 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
 活動業務日報・活動時間票の提出  
 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第12回 【授業テーマ】 活動-8  
 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
 活動業務日報・活動時間票の提出  
 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成発表準備
- 第13回 【授業テーマ】 活動-9  
 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動、活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書②の提出  
 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書の作成
- 第14回 【授業テーマ】 活動-10  
 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
 活動業務日報・活動時間票の提出  
 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第15回 【授業テーマ】 活動-11  
 【内容・方法等】 活動業務日報・活動時間票の作成  
 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第16回 【授業テーマ】 活動-12  
 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
 活動業務日報・活動時間票の提出  
 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第17回 【授業テーマ】 活動-13  
 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
 活動業務日報・活動時間票の提出  
 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第18回 【授業テーマ】 活動-14  
 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
 活動業務日報・活動時間票の提出  
 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第19回 【授業テーマ】 活動-15  
 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
 活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書③の提出  
 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書の作成
- 第20回 【授業テーマ】 活動-16  
 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
 活動業務日報・活動時間票の提出  
 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第21回 【授業テーマ】 活動-17  
 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
 活動業務日報・活動時間票の提出  
 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第22回 【授業テーマ】 活動-18  
 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
 活動業務日報・活動時間票の提出  
 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第23回 【授業テーマ】 活動-19  
 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
 活動業務日報・活動時間票の提出  
 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第24回 【授業テーマ】 活動-20  
 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
 活動業務日報・活動時間票の提出  
 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第25回 【授業テーマ】 活動-21  
 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
 活動業務日報・活動時間票の提出  
 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第26回 【授業テーマ】 活動-22  
 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
 活動業務日報・活動時間票の提出  
 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第27回 【授業テーマ】 活動-23  
 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
 活動業務日報・活動時間票の提出  
 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第28回 【授業テーマ】 活動-24

教養科目

**【内容・方法 等】** 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出

**【事前・事後学習課題】** 活動業務日報・活動時間票の作成

**第29回 【授業テーマ】** 活動-2 5  
**【内容・方法 等】** 受け入れ校にて活動、活動業務日報・活動時間票

**【事前・事後学習課題】** 活動業務日報・活動時間票の作成

**第30回 【授業テーマ】** 活動-2 6・最終報告会

**評価方法 (基準)**  
①年間活動計画書 ②活動業務日報・活動時間数(出席数)票 ③活動進捗状況報告書 ④最終活動報告書の全てを提出し、発表会で活動報告した場合のみ、それらを総合的に判断して評価する。

**教材等**  
**教科書**…使用しない  
**参考書**…適宜紹介する

**学生へのメッセージ**  
大学の授業と授業の合間を有効利用して、大学近隣の幼稚園、小・中学校の教育現場の教師をサポートしながら、責任感・忍耐力・協調性・創造性を養うことで、自分のかけがえのない財産形成を行ってください。

**関連科目**  
教職課程を履修していない学生でもこの科目を履修することができる。

**担当者の研究室等**  
7号館5階 (浅野研究室)  
7号館4階 (浦野研究室)

**備考**  
授業説明を4月10日第6時限目1134教室で行います。必ず出席してください。

**教養特別講義I~V「地域連携教育活動II」**  
Community-Based Education Support ActivitiesII

**浅野 英一 (アサノ エイイチ)**  
**浦野 崇央 (ウラノ タカオ)**

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		集中	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**  
本授業はサービスマナーの授業であり、実践型学習プログラムである。大学近隣の幼稚園・小学校・中学校で教育現場の教育補助、課外活動を幅広く体験し、自己の適正を把握する機会を持ち、人間的成長や社会意識の向上を目指す。活動内容は、授業運営補助、「総合的な学習」の補助、学校行事運営補助、クラブ・サークル活動の補助、図書室運営の補助、放課後学習の補助などを組み合わせ年間を通じた活動を大学授業の空き時間を利用して週1回90分行う。  
学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**  
原則として、履修申請が可能な学生は、本年1月に行われた特別事前履修相談会で受け入れ校の校長・教頭・園長との相談結果によって受け入れ許可を得た学生で、昨年度「地域連携教育活動I」を履修した学生のみが登録できる。

**科目学習の効果 (資格)**  
活動を通して責任の自覚と人間的成熟を促し、人柄や隠れていた素質を引き出す手段とする。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

**第1回 【授業テーマ】** 事前教育-1 (授業説明を4月10日第6時限目1134教室で行います。必ず出席してください)  
**【内容・方法 等】** 活動についての心構え、内容の徹底周知、年間活動計画作成準備  
**【事前・事後学習課題】** 授業内容のまとめ作成

**第2回 【授業テーマ】** 事前教育-2  
**【内容・方法 等】** マナー講座・小中学校の教育現場について(学外講師を含む)  
**【事前・事後学習課題】** 授業内容のまとめ作成

**第3回 【授業テーマ】** 事前教育-3  
**【内容・方法 等】** 「守秘義務」の意味とその内容について(教育委員会からの学外講師)  
**【事前・事後学習課題】** 授業内容のまとめ作成

**第4回 【授業テーマ】** 活動準備  
**【内容・方法 等】** 受け入れ校と協議し、年間活動計画を作成する  
**【事前・事後学習課題】** 年間計画(案)の作成

**第5回 【授業テーマ】** 活動-1  
**【内容・方法 等】** 受け入れ校にて活動開始  
活動業務日報・活動時間票の提出  
**【事前・事後学習課題】** 活動業務日報・活動時間票の作成

**第6回 【授業テーマ】** 活動-2  
**【内容・方法 等】** 受け入れ校にて活動

活動業務日報・活動時間票の提出

**【事前・事後学習課題】** 活動業務日報・活動時間票の作成

**第7回 【授業テーマ】** 活動-3  
**【内容・方法 等】** 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出  
**【事前・事後学習課題】** 活動業務日報・活動時間票の作成

**第8回 【授業テーマ】** 活動-4  
**【内容・方法 等】** 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書①の提出  
**【事前・事後学習課題】** 活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書の作成

**第9回 【授業テーマ】** 活動-5  
**【内容・方法 等】** 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出  
**【事前・事後学習課題】** 活動業務日報・活動時間票の作成

**第10回 【授業テーマ】** 活動-6  
**【内容・方法 等】** 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出  
**【事前・事後学習課題】** 活動業務日報・活動時間票の作成

**第11回 【授業テーマ】** 活動-7  
**【内容・方法 等】** 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出  
**【事前・事後学習課題】** 活動業務日報・活動時間票の作成

**第12回 【授業テーマ】** 活動-8  
**【内容・方法 等】** 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出  
**【事前・事後学習課題】** 活動業務日報・活動時間票の作成発表準備

**第13回 【授業テーマ】** 活動-9  
**【内容・方法 等】** 受け入れ校にて活動、活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書②の提出  
**【事前・事後学習課題】** 活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書の作成

**第14回 【授業テーマ】** 活動-10  
**【内容・方法 等】** 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出  
**【事前・事後学習課題】** 活動業務日報・活動時間票の作成

**第15回 【授業テーマ】** 活動-11  
**【内容・方法 等】** 活動業務日報・活動時間票の作成  
**【事前・事後学習課題】** 活動業務日報・活動時間票の作成

**第16回 【授業テーマ】** 活動-12  
**【内容・方法 等】** 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出  
**【事前・事後学習課題】** 活動業務日報・活動時間票の作成

**第17回 【授業テーマ】** 活動-13  
**【内容・方法 等】** 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出  
**【事前・事後学習課題】** 活動業務日報・活動時間票の作成

**第18回 【授業テーマ】** 活動-14  
**【内容・方法 等】** 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出  
**【事前・事後学習課題】** 活動業務日報・活動時間票の作成

**第19回 【授業テーマ】** 活動-15  
**【内容・方法 等】** 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書③の提出  
**【事前・事後学習課題】** 活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書の作成

**第20回 【授業テーマ】** 活動-16  
**【内容・方法 等】** 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出  
**【事前・事後学習課題】** 活動業務日報・活動時間票の作成

**第21回 【授業テーマ】** 活動-17  
**【内容・方法 等】** 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出  
**【事前・事後学習課題】** 活動業務日報・活動時間票の作成

**第22回 【授業テーマ】** 活動-18  
**【内容・方法 等】** 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出  
**【事前・事後学習課題】** 活動業務日報・活動時間票の作成

**第23回 【授業テーマ】** 活動-19  
**【内容・方法 等】** 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出  
**【事前・事後学習課題】** 活動業務日報・活動時間票の作成

**第24回 【授業テーマ】** 活動-20  
**【内容・方法 等】** 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出  
**【事前・事後学習課題】** 活動業務日報・活動時間票の作成

**第25回 【授業テーマ】** 活動-21  
**【内容・方法 等】** 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出  
**【事前・事後学習課題】** 活動業務日報・活動時間票の作成

**第26回 【授業テーマ】** 活動-22  
**【内容・方法 等】** 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出



- 第27回** 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成  
【授業テーマ】 活動－2 3  
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第28回** 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成  
【授業テーマ】 活動－2 4  
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第29回** 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成  
【授業テーマ】 活動－2 5  
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動、活動業務日報・活動時間票
- 第30回** 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成  
【授業テーマ】 活動－2 6・最終報告会
- 評価方法 (基準)**  
①年間活動計画書 ②活動業務日報・活動時間数(出席数)票 ③活動進捗状況報告書 ④最終活動報告書の全てを提出し、発表会で活動報告した場合のみ、それらを総合的に判断して評価する。
- 教材等**  
教科書…使用しない  
参考書…適宜紹介する
- 学生へのメッセージ**  
大学の授業と授業の合間を有効利用して、大学近隣の幼稚園、小・中学校の教育現場の教師をサポートしながら、責任感・忍耐力・協調性・創造力を養うことで、自分のかけがえのない財産形成を行ってください。
- 関連科目**  
教職課程を履修していない学生でもこの科目を履修することができる。
- 担当者の研究室等**  
7号館5階 (浅野研究室)  
7号館4階 (浦野研究室)
- 備考**  
授業説明を4月10日第6時限目1134教室で行います。必ず出席してください。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「キャリアデザイン(BASIC)」 Career Planning I(Basic)				
津 村 英 二 (ツムラ エイジ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

- 授業概要・目的・到達目標**  
社会に出て活躍するために大学時代に何をなすべきなのか、早い段階で目的意識を持ち、4年間のキャンパスライフを有意義に送るための授業です。  
この講義を通して、自己理解を深める、コミュニケーション力がアップする、社会(企業)の変化を知る、大学生活および人生設計ができるようになる、ことを到達目標とします。  
学科の学習・教育目標との対応:「A」
- 授業方法と留意点**  
講義だけでなくグループワークなどを織り交ぜて進行しますので積極的な態度で受講して下さい。
- 科目学習の効果(資格)**  
社会と自分の接点を考えるきっかけとなります。
- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回** 【授業テーマ】 フレッシュな自分を確認しよう  
【内容・方法 等】 ・キャリアデザインとは?何故必要なのか?  
【事前・事後学習課題】 自分にとって“キャリアデザイン”とは何か?を考えておいて下さい
- 第2回** 【授業テーマ】 摂大学  
【内容・方法 等】 ・摂南大学の建学の精神と教育理念を理解する・授業の活用術を知る・学生生活において“目標とするもの”を考える  
【事前・事後学習課題】 テキストP11～P17を熟読して下さい。
- 第3回** 【授業テーマ】 社会は君を待っている  
【内容・方法 等】 ・進路についてのイメージづくり・20代の内に身につけたい力を知る・未来予想図を描く  
【事前・事後学習課題】 テキストP19～P26を熟読して下さい。
- 第4回** 【授業テーマ】 社会で活躍するOB・OG  
【内容・方法 等】 ・進路の多様性(進学(院・専門学校)、資格、公務員、企業、海外等)を知る  
【事前・事後学習課題】 卒業後の進路について考えておいて下さい。  
テキストP39～P44を熟読して下さい。
- 第5回** 【授業テーマ】 グループ課題の設定  
【内容・方法 等】 与えられた課題をグループで取り組む  
【事前・事後学習課題】 チームの中で「自分はどんな役割を果たしたいか」を考えておいて下さい

- 第6回** 【授業テーマ】 社会の仕組み  
【内容・方法 等】 ・GDPから見る社会の仕組み・税金の種類と役割・業種/職種を知る
- 第7回** 【事前・事後学習課題】 テキストP27～P37を熟読して下さい。  
【授業テーマ】 お金の話  
【内容・方法 等】 ・正社員とフリーターの違いを考える  
【事前・事後学習課題】 自分が“欲しいモノを3つ”考えておいて下さい。  
テキストP53～P57を熟読して下さい。
- 第8回** 【授業テーマ】 自己分析から自分づくりへ①  
【内容・方法 等】 ・自分の関心事柄を知る・性格、適性、能力を考える・自分の大事にしているモノ(価値観)を整理する  
【事前・事後学習課題】 自分の長所や短所について考え、周囲の人にも聞いておいて下さい。  
テキストP59～P69を熟読して下さい。
- 第9回** 【授業テーマ】 自己分析から自分づくりへ②  
【内容・方法 等】 ・キャリア理論を知り、自分の関心事、性格、適性や能力の喚起へと繋げる  
【事前・事後学習課題】 テキストP59～P69を熟読して下さい。
- 第10回** 【授業テーマ】 スケジュールリング術  
【内容・方法 等】 ・社会人基礎力を理解する・PDCAサイクルを身につける・問題解決の思考法を身につける  
【事前・事後学習課題】 テキストに目を通して下さい。  
テキストP79～P88を熟読して下さい。
- 第11回** 【授業テーマ】 グループ課題のプレゼンテーション  
【内容・方法 等】 ・グループで取り組んだ内容をプレゼンテーションしていただきます  
【事前・事後学習課題】 プレゼンテーションの準備を行ってください
- 第12回** 【授業テーマ】 グループワークに取り組む  
【内容・方法 等】 グループで課題に取り組み  
【事前・事後学習課題】 グループでプランを作成してください
- 第13回** 【授業テーマ】 グループ課題のプレゼンテーション  
【内容・方法 等】 グループごとにプレゼンテーションを行う  
【事前・事後学習課題】 プレゼンテーションの準備を行ってください
- 第14回** 【授業テーマ】 グループ活動の振り返り  
【内容・方法 等】 グループ活動の振り返りから「コミュニケーション、ホスピタリティ、マナー」等を再認識する  
【事前・事後学習課題】 グループ活動の経緯を振り返っておいて下さい
- 第15回** 【授業テーマ】 未来予想図/講義のおさらい  
【内容・方法 等】 ・大学1年生の夏休みから何を始めるか?を考え、グループ内で発表する  
【事前・事後学習課題】 夏休み以降の大学生活の目標を考えておいて下さい

**評価方法 (基準)**  
平常点(30%)、グループ活動(20%)、レポート(50%)で総合評価をします。

- 教材等**  
教科書…キャリアデザインⅠ  
参考書…必要に応じて授業内でレジュメを配布します
- 学生へのメッセージ**  
自分の将来を考える授業ですので、能動的に参加して下さい。
- 関連科目**  
キャリアデザインⅡ、インターンシップⅠ・Ⅱ
- 担当者の研究室等**  
3号館4階 キャリア教育推進室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「青少年育成ファシリテーター養成講座」 Facilitator Training Program				
浅 野 英 一 (アサノ エイイチ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

- 授業概要・目的・到達目標**  
本授業は、サービスマニエールの授業であり、青少年育成ファシリテーターとして、知識・野外活動の方法を習得し実習を通して学びと成長を得ることができる実践型学習プログラムである。実践は単なる擬似的体験ではなく、人々のために役立つという現実的な体験を得ることを目的とし、到達目標として自己の振り返りと自己発見、責任感、価値観・技能や知識の獲得、リスクマネジメント、社会問題の理解を果たす体験を同時に果たすことができるものとする。活動受入機関は、寝屋川市内の小学校、寝屋川市教育委員会関連団体、共学センター、交野市役所、門真市役所、すさみ町役場、寝屋川青年会議所等の主催・共催事業。  
学科の学習・教育目標との対応:「A」
- 授業方法と留意点**

大学の授業後や、授業の無い日を利用して学外活動を行います。週に1度、90分の活動が基本ですが、夏休みなど長期の休み期間中に集中して活動することも可能です。

**科目学習の効果（資格）**

実習や活動を通して責任の自覚と人間的成熟を促し、人柄や隠れていた素質を引き出す手段とする。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 事前教育-1（授業説明を4月15日第6時限目1134教室で行います。必ず出席してください。）  
【内容・方法 等】 活動についての心構え、授業内容の徹底周知、ファシリテーターについて  
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する「活動についての心構え」
- 第2回** 【授業テーマ】 事前教育-2  
【内容・方法 等】 守秘義務：活動に伴って知った情報を漏らしてはならない義務を学ぶ  
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する「守秘義務について」
- 第3回** 【授業テーマ】 事前教育-3  
【内容・方法 等】 安全管理スキル：活動に伴って発生しうる事故を未然に防ぐ方法を学ぶ  
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する「安全管理スキルについて」
- 第4回** 【授業テーマ】 事前教育-4  
【内容・方法 等】 救命救護スキル：命の大切さ、命を助ける方法、AEDの使用法を学ぶ  
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する「救命救護スキルについて」
- 第5回** 【授業テーマ】 事前教育-5  
【内容・方法 等】 安全対策スキル：安全。衛生管理、危険予知、責任について学ぶ  
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する「安全対策スキルについて」
- 第6回** 【授業テーマ】 事前教育-6  
【内容・方法 等】 コミュニケーションスキル①：対象者理解、人とのかわり方を学ぶ  
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する「人とのかわり方について」
- 第7回** 【授業テーマ】 事前教育-7  
【内容・方法 等】 コミュニケーションスキル②：報告、連絡、相談（ホウ・レン・ソウ）の重要性を学ぶ  
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する「報告、連絡、相談について」
- 第8回** 【授業テーマ】 事前教育-8  
【内容・方法 等】 コミュニケーションスキル③：アイスブレーキング手法を学ぶ  
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する「アイスブレーキング手法について」
- 第9回** 【授業テーマ】 事前教育-9  
【内容・方法 等】 コミュニケーションスキル④：指導者のあるべき姿、リーダーシップの取り方  
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する「指導者のあるべき姿、リーダーシップの取り方について」
- 第10回** 【授業テーマ】 事前教育-10  
【内容・方法 等】 活動プログラミング・スキル：課題設定・企画立案・実施・評価方法  
【事前・事後学習課題】 活動計画（案）を作成する
- 第11回** 【授業テーマ】 実践活動-1  
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践①  
【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
- 第12回** 【授業テーマ】 実践活動-2  
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践②  
【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
- 第13回** 【授業テーマ】 実践活動-3  
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践③  
【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
- 第14回** 【授業テーマ】 実践活動-4  
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践④  
【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
- 第15回** 【授業テーマ】 実践活動-5  
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑤  
【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
- 第16回** 【授業テーマ】 実践活動-6  
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑥  
【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
- 第17回** 【授業テーマ】 実践活動-7  
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑦

- 第18回** 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成  
【授業テーマ】 実践活動-8  
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑧
- 第19回** 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成  
【授業テーマ】 実践活動-9  
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑨
- 第20回** 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成  
【授業テーマ】 実践活動-10  
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑩
- 第21回** 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成  
【授業テーマ】 実践活動-11  
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑪
- 第22回** 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成  
【授業テーマ】 実践活動-12  
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑫
- 第23回** 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成  
【授業テーマ】 実践活動-13  
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑬
- 第24回** 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成  
【授業テーマ】 実践活動-14  
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑭
- 第25回** 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成  
【授業テーマ】 実践活動-15  
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑮
- 第26回** 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成  
【授業テーマ】 実践活動-16  
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑯
- 第27回** 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成  
【授業テーマ】 実践活動-17  
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑰
- 第28回** 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成  
【授業テーマ】 実践活動-18  
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑱
- 第29回** 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成  
【授業テーマ】 実践活動-19  
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑲
- 第30回** 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成  
【授業テーマ】 最終報告（後期分）

**評価方法（基準）**  
①参加日数、②実習報告書、③最終報告書、④受入機関からの調査、以上の4点を総合的に判断して評価する。

**教材等**  
教科書…使用しない  
参考書…適宜紹介する

**学生へのメッセージ**  
青少年育成活動を通して、責任感・忍耐力・協調性・創造力を養うことで、自分のかけがえのない財産形成を行ってください。

**担当者の研究室等**  
7号館5階（浅野研究室）

**備考**  
授業説明を4月15日第6時限目1134教室で行います。必ず出席してください。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「就職実践基礎」 Preparation Program for Employment Examination				
松田 剛典（マツダ タケノリ） 亀田 峻宣（カメダ タカノブ） 西座 由紀（ニシザ ユキ）				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**  
就職活動時の筆記試験対策（算数・数学）について学び、筆記試験を通過する実力をつけることを目標とする授業です。この講義では、3回生で実際の出題レベルの対策を行うために必要な、算数・数学の基礎を固めるための授業です。就職活動では、筆記試験で算数・数学に苦勞する学生がとても多いので、早



めに対策をしておきましょう。算数・数学が苦手な学生や、大学に入って（もしくはそれ以前から）算数・数学に触れていない学生は特にお勧めします。  
学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**

授業は実践形式で行います。問題を解き、解説するという流れになります。  
就職活動の筆記試験を通過する実力をつけることが目的です。講義に集中して参加し、毎回の講義問題や教科書の復習を行うことが必要になります。

**科目学習の効果（資格）**

就職活動に必要な数学力のうち、特に基礎的な部分を身につける

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 テスト  
【内容・方法等】 実力確認テスト  
【事前・事後学習課題】 シラバス熟読
- 第2回 【授業テーマ】 数と計算  
【内容・方法等】 四則演算・小数・分数  
【事前・事後学習課題】 四則演算を復習しておくこと
- 第3回 【授業テーマ】 方程式  
【内容・方法等】 方程式  
【事前・事後学習課題】 方程式を復習しておくこと
- 第4回 【授業テーマ】 速度算  
【内容・方法等】 速度の基礎  
【事前・事後学習課題】 文章題による速度算について復習しておくこと
- 第5回 【授業テーマ】 割合  
【内容・方法等】 割合の基礎・濃度算  
【事前・事後学習課題】 文章題による割合について復習しておくこと
- 第6回 【授業テーマ】 分数問題  
【内容・方法等】 仕事算・分割払い  
【事前・事後学習課題】 文章題による仕事算・分割払いについて復習しておくこと
- 第7回 【授業テーマ】 金銭問題  
【内容・方法等】 損益算  
【事前・事後学習課題】 文章題による損益算について復習しておくこと
- 第8回 【授業テーマ】 場合の数・確率  
【内容・方法等】 場合の数・確率  
【事前・事後学習課題】 文章題による場合の数・確率を復習しておくこと
- 第9回 【授業テーマ】 テスト  
【内容・方法等】 中間テスト  
【事前・事後学習課題】 2～8回目の範囲を事前に勉強しておくこと
- 第10回 【授業テーマ】 集合・領域  
【内容・方法等】 集合の基礎・領域  
【事前・事後学習課題】 集合・領域を復習しておくこと
- 第11回 【授業テーマ】 表の読み取り  
【内容・方法等】 表の読み取り  
【事前・事後学習課題】 表の読み取り問題を復習しておくこと
- 第12回 【授業テーマ】 論理  
【内容・方法等】 命題・推論①  
【事前・事後学習課題】 命題について復習しておくこと
- 第13回 【授業テーマ】 論理  
【内容・方法等】 推論②  
【事前・事後学習課題】 推論について復習しておくこと
- 第14回 【授業テーマ】 総復習  
【内容・方法等】 総復習①  
【事前・事後学習課題】 全ての範囲を事前に勉強しておくこと
- 第15回 【授業テーマ】 テスト  
【内容・方法等】 最終テスト  
【事前・事後学習課題】 全ての範囲を事前に勉強しておくこと

**評価方法（基準）**

小テスト40%、テスト（中間・期末）40%、授業態度10%、Smart SPI10%の割合で評価する。

**教材等**

教科書…オリジナル教材を使用します。  
また適宜Smart SPIの活用を指示します。  
参考書…算数・数学に関する本を読んでおくことと参考になります。  
（例：「小学校6年間の算数が6時間でわかる本」PHP研究所）

**学生へのメッセージ**

7～8割の企業が就職活動で筆記試験を課すと言われています。早めの対策しておくこと、受けることのできる会社が広がります。その一方、毎年多くの3回生が秋・冬から筆記試験対策を始め、他の就職活動が忙しく時間を勉強できないままです。早めに対策をしておきましょう。  
受講する以上は、講義に集中し、毎回復習して確実に問題を解けるようになってください。

**関連科目**

キャリアデザインⅡ、インターンシップⅠ・Ⅱ

**担当者の研究室等**

7号館3階 キャリア教育推進室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「就職実践基礎」 Preparation Program for Employment Examination				
松田 剛典 (マツダ タケノリ) 亀田 峻宣 (カメダ タカノブ) 西座 由紀 (ニシザ ユキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

就職活動時の筆記試験対策（算数・数学）について学び、筆記試験を通過する実力をつけることを目標とする授業です。筆記試験で特によく使われるSPI非言語分野の全ての範囲を学習し、実際に出题された際に書き方がすぐに思い出せるように練習します。実践レベルの問題を解きますので、就職活動の準備の一環として受講をお勧めします。

学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**

授業は実践形式で行います。問題を解き、解説するという流れになります。  
就職活動の筆記試験を通過する実力をつけることが目的です。講義に集中して参加し、毎回の講義問題や教科書の復習を行うことが必要になります。

**科目学習の効果（資格）**

就職活動に必要な数学力を身につける

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 テスト  
【内容・方法等】 実力確認テスト  
【事前・事後学習課題】 シラバス熟読
- 第2回 【授業テーマ】 数と計算  
【内容・方法等】 四則演算・小数・分数  
【事前・事後学習課題】 四則演算を復習しておくこと
- 第3回 【授業テーマ】 方程式  
【内容・方法等】 方程式  
【事前・事後学習課題】 方程式を復習しておくこと
- 第4回 【授業テーマ】 速度算  
【内容・方法等】 速度の基礎  
【事前・事後学習課題】 文章題による速度算について復習しておくこと
- 第5回 【授業テーマ】 割合  
【内容・方法等】 割合の基礎・濃度算  
【事前・事後学習課題】 文章題による割合について復習しておくこと
- 第6回 【授業テーマ】 分数問題  
【内容・方法等】 仕事算・分割払い  
【事前・事後学習課題】 文章題による仕事算・分割払いについて復習しておくこと
- 第7回 【授業テーマ】 金銭問題  
【内容・方法等】 損益算  
【事前・事後学習課題】 文章題による損益算について復習しておくこと
- 第8回 【授業テーマ】 場合の数・確率  
【内容・方法等】 場合の数・確率  
【事前・事後学習課題】 文章題による場合の数・確率を復習しておくこと
- 第9回 【授業テーマ】 テスト  
【内容・方法等】 中間テスト  
【事前・事後学習課題】 2～8回目の範囲を事前に勉強しておくこと
- 第10回 【授業テーマ】 集合・領域  
【内容・方法等】 集合の基礎・領域  
【事前・事後学習課題】 集合・領域を復習しておくこと
- 第11回 【授業テーマ】 表の読み取り  
【内容・方法等】 表の読み取り  
【事前・事後学習課題】 表の読み取り問題を復習しておくこと
- 第12回 【授業テーマ】 論理  
【内容・方法等】 命題・推論①  
【事前・事後学習課題】 命題について復習しておくこと
- 第13回 【授業テーマ】 論理  
【内容・方法等】 推論②  
【事前・事後学習課題】 推論について復習しておくこと
- 第14回 【授業テーマ】 総復習  
【内容・方法等】 総復習①  
【事前・事後学習課題】 全ての範囲を事前に勉強しておくこと
- 第15回 【授業テーマ】 テスト  
【内容・方法等】 最終テスト  
【事前・事後学習課題】 全ての範囲を事前に勉強しておくこと

教養科目

評価方法 (基準)

小テスト40%、テスト (中間・期末) 40%、授業態度10%、Smart SPI10%の割合で評価する。

教材等

教科書...オリジナル教材を使用します。
また適宜Smart SPIの活用を指示します。
参考書...その他SPIや玉手箱関連の問題集

学生へのメッセージ

7~8割の企業が就職活動で筆記試験を課すと言われています。
早めの対策しておく、受けることのできる会社が広がります。
その一方、3回生の秋・冬から筆記試験対策を始めたものの、他の活動や行事が忙しく対策が出来ていないこともあります。
早めに対策をしておきましょう。
受講する以上は、講義に集中し、毎回復習して確実に問題を解けるようになってください。

関連科目

コミュニケーション能力開発

担当者の研究室等

7号館3階 キャリア教育推進室

教養特別講義 I~V 「キャリアデザインII (ADVANCE)」
Career Planning II (Advanced)

石井三恵 (イシイ ミエ)

Table with 5 columns: 配当年次, クラス, 学期, 履修区分, 単位数. Row 1: 2, , 後期, 選択, 2

授業概要・目的・到達目標

将来、社会で活躍できる人になるために、1回生時からの成長を加速させます。そのために授業では社会を起点に物事を考え、自らの活かし方、伸ばすべきポイントについて考えて頂きます。

授業の到達目標は将来、何になりたいか、そのために何をすべきかを言えるようになることです。
学科の学習・教育目標との対応: 「A」

授業方法と留意点

講義だけでなくグループワークや個人で考えるワークを織り交ぜて進行しますので能動的な態度で受講して下さい。

科目学習の効果 (資格)

来るべき就職活動に向けて自分は何を伸ばさなければならないのか?等を考えられるようになります

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法 等】 ・講義の目的・内容の解説
・評価の方法
【事前・事後学習課題】 大学生生活1年目で経験したことを思い出して書いて下さい
第2回 【授業テーマ】 就活体験①
【内容・方法 等】 ・特性と心がけ、自己PRの組み立て方を学ぶ
【事前・事後学習課題】 キャリアデザインIIのテキストP33~P41を熟読して下さい
第3回 【授業テーマ】 就活体験②
【内容・方法 等】 ・学生生活を振り返る
・講師より学生生活で自分を高めるための提案
【事前・事後学習課題】 キャリアデザインIIのテキストP42~P44を熟読して下さい
第4回 【授業テーマ】 自分を高める①
【内容・方法 等】 ・今までの習慣を見直し自分を高めることを考える
【事前・事後学習課題】 講義を踏まえ、これからの大学生生活内で何に取り組むかを考えて下さい
第5回 【授業テーマ】 自分を高める②
【内容・方法 等】 ・リーダーシップ開発
・リーダーのタイプを知る
・リーダーシップコミュニケーションを学ぶ
【事前・事後学習課題】 講義の内容を日常生活で実践して下さい
第6回 【授業テーマ】 自分を高める③
【内容・方法 等】 ・講義4、5の内容を日常生活で実践し、報告プレゼンテーションを行う
【事前・事後学習課題】 プレゼンテーションの準備をして下さい
第7回 【授業テーマ】 社会を知る①
【内容・方法 等】 ・なぜ仕事をするのか?
・仕事観について考える
・仕事の成果とは他者への貢献であることを学ぶ
【事前・事後学習課題】 キャリアデザインIIテキストのP9~P17を熟読して下さい。
第8回 【授業テーマ】 社会を知る②
【内容・方法 等】 ・人生のイベントを考える

- ・他者受容力を磨く
・人生のイベントにかかる費用を考える

- 【事前・事後学習課題】 キャリアデザインIIのテキストP45~P55を熟読して下さい。
第9回 【授業テーマ】 社会を知る③
【内容・方法 等】 ・講義⑦課題プレゼンテーション
【事前・事後学習課題】 プレゼンテーションの準備をして下さい
第10回 【授業テーマ】 社会を知る④
【内容・方法 等】 ・業種・職種概念を理解する
・川上~川下の概念の理解
・付加価値について考える
【事前・事後学習課題】 キャリアデザインIIのテキストP59~P79を熟読して下さい
第11回 【授業テーマ】 社会を知る⑤
【内容・方法 等】 ・視点/視座/視野の使い方事例を知る
・会社・業種・職種の発見の仕方を学ぶ
【事前・事後学習課題】 キャリアデザインIIのテキストP59~P79を熟読して下さい
第12回 【授業テーマ】 社会を知る⑥
【内容・方法 等】 ・ニッポンの課題について考える
・未来の働き方を考える
【事前・事後学習課題】 キャリアデザインIIのテキストP55を熟読して下さい
第13回 【授業テーマ】 社会を知る⑦
【内容・方法 等】 ・グループプレゼンテーション
【事前・事後学習課題】 グループにおける役割を考慮して下さい
【授業テーマ】 おさらい①
【内容・方法 等】 ・講義②~③より自分がどれだけ成長したのかを確認する
【事前・事後学習課題】 ここまでの講義を振り返って下さい
【授業テーマ】 おさらい②
【内容・方法 等】 講義のおさらいと期末レポートの振り返り
【事前・事後学習課題】 未提出レポート等がないか確認して下さい

評価方法 (基準)

授業態度30%、グループワーク20%、レポート50%で総合評価します。

教材等

教科書...キャリアデザインII (授業内で配布)
参考書...必要に応じて推薦図書を提示

学生へのメッセージ

来るべき、就職活動、そして卒業後の自分自身のために積極的に参加して下さい。

関連科目

キャリアデザインI・III、インターンシップI・II

担当者の研究室等

7号館3階 キャリア教育推進室

教養特別講義 I~V 「ビジネスマナー」

Business Manners

石井三恵 (イシイ ミエ)

Table with 5 columns: 配当年次, クラス, 学期, 履修区分, 単位数. Row 1: 3, , 後期, 選択, 2

授業概要・目的・到達目標

授業概要: マナーとは何か、社会とはどういうところか、社会人になるには何が必要かが、体験を通して理解できる。
目的: 社会生活におけるマナーの重要性を理解し、社会人になる心の準備をすることを目的とする。
到達目標: 社会人になるために必要な態度を理解し、学んだマナーを就職活動や社会で実践できることを目標とする。
学科の学習・教育目標との対応: 「A」

授業方法と留意点

ロールプレイやグループワークを多く取り入れるため、学生の積極的な参加が求められる。

科目学習の効果 (資格)

就職活動でも社会に出ても、必須のビジネスマナーが身に付く。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ビジネスマナーとは何か
【内容・方法 等】 授業のオリエンテーション
ビジネスマナーの必要性
ビジネスにおける最低限のルール
【事前・事後学習課題】 ビジネスマナーで大切な事を考えておいて下さい。
第2回 【授業テーマ】 第一印象
【内容・方法 等】 第一印象の重要性
第一印象をよくする方法
【事前・事後学習課題】 今後考えられる初対面のシーンを考えて下さい。



- 第3回** 【授業テーマ】身だしなみ  
【内容・方法等】身だしなみと態度  
【事前・事後学習課題】身だしなみが何故大切なのかを考えて下さい。
- 第4回** 【授業テーマ】言葉づかい  
【内容・方法等】敬語の仕組みと使い方  
【事前・事後学習課題】尊敬語と謙譲語について調べてきてください。
- 第5回** 【授業テーマ】電子メールのマナー  
【内容・方法等】電子メールのルールと書き方  
【事前・事後学習課題】メールを送る時に気をつけている事を考えてきてください。
- 第6回** 【授業テーマ】ビジネス文書のマナー  
【内容・方法等】ビジネス文書の書き方  
【事前・事後学習課題】日常でどんな文書を見たことがあるか考えてください。
- 第7回** 【授業テーマ】電話のマナー  
【内容・方法等】電話の受け方とかけ方  
【事前・事後学習課題】電話をかけるときに気をつける事を考えて下さい。
- 第8回** 【授業テーマ】訪問のマナー  
【内容・方法等】訪問のマナーと接遇  
【事前・事後学習課題】自分が訪問を受けた時にどんな人が印象に残るのかを考えて下さい。
- 第9回** 【授業テーマ】会社説明会でのマナー  
【内容・方法等】会社説明会で何をすればいいのか  
【事前・事後学習課題】会社説明会でのマナーについて、疑問点を挙げて来て下さい。
- 第10回** 【授業テーマ】名刺交換のマナー  
【内容・方法等】名刺交換の仕方  
【事前・事後学習課題】名刺の役割について考えてください。
- 第11回** 【授業テーマ】指示の受け方  
【内容・方法等】指示の受け方  
【事前・事後学習課題】自分が人に指示した経験を思い出してください。
- 第12回** 【授業テーマ】ハウレンソウ  
【内容・方法等】報告・連絡・相談の仕方  
【事前・事後学習課題】報告と連絡の違いを考えて来て下さい。
- 第13回** 【授業テーマ】グループディスカッションのマナー  
【内容・方法等】グループディスカッションの特徴  
グループディスカッションの注意点  
【事前・事後学習課題】これまでを振り返って、グループにおける自分の役割を考えてください。
- 第14回** 【授業テーマ】面接のマナー  
【内容・方法等】面接の種類と面接官の狙いについて  
面接での基本的な振る舞い方  
【事前・事後学習課題】面接でのマナーについて、疑問点を挙げて来て下さい。
- 第15回** 【授業テーマ】振り返りとまとめ  
【内容・方法等】授業の振り返り・まとめ  
【事前・事後学習課題】未提出のレポート等がないか確認をして下さい。

**評価方法(基準)**  
平常点30%、グループ貢献度20%、レポート50%で総合評価する。

**教材等**  
教科書…レジュメ配布  
参考書…必要に応じて参考図書を紹介

**学生へのメッセージ**  
マナーを身に付けることは社会人に仲間入りする第一歩です。何のためにそれをするのかを考え、積極的に参加してください。また、必要になってすぐできるものではありません。日頃から実践するように意識してください。

**関連科目**  
キャリアデザインⅠ・Ⅱ、インターンシップⅠ・Ⅱ

**担当者の研究室等**  
3号館4階 キャリア教育推進室

<b>教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学とこの地域を学ぶー北河内学ー」</b> Introduction to University and Kitakawachi Region <b>福田市朗(フクダ イチロウ)</b>				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**  
【授業概要】学部共通の入門科目として、摂南大学と大学が立地する「北河内地域」の地歴・環境・文化・産業や同地域内にある地方自治体の現状と課題、また、同地域に関係する各分野で活躍している団体や機関の人びとの活動を広範囲にわたって紹介する。【目的】摂南大学の学生として大学や地域に愛着を持

てるようになり、学生生活の中で自分自身を見つける機会とする。また、地域貢献活動や地域社会での実践教育の動機付けとする。  
【到達目標】摂南大学と北河内地域についての理解を深め、地域の一員としての意識向上と地域貢献活動への参画意識向上が図れる。  
学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**  
摂南大学地域連携センター関係教員のほか、北河内地域(寝屋川市・枚方市・交野市・門真市)に関係する各分野で活躍している団体や機関の人びとが学外講師として参画し、オムニバス(リレー)形式による講義を行う。各時間内に質疑応答の時間を設け、毎回、時間内に小レポートを提出。

**科目学習の効果(資格)**  
自分自身が学ぶ摂南大学の歴史を知り、また、地域で活躍する人びとの人生観に触れ、大学と地域に愛着を持ち学生生活の中で自分自身を見つける機会となり地域貢献活動への関心が高まり活動への動機付けが図られる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】摂南大学とこの地域を学ぶ「北河内学」  
【内容・方法等】本講義のねらいと学び方について解説した後、摂南大学と本学を設置する常翔学園の歴史を紹介し、併せて摂南大学の教育の理念を紹介する。また、本学と地域社会との関わり合いについての概要を説明する。  
【事前・事後学習課題】事後学習：摂南大学の自校史集やホームページ、図書館を活用して、大学の歴史や教育の理念などについて理解を深めること。
- 第2回** 【授業テーマ】北河内の地歴と文化を学ぶ(1)  
【内容・方法等】北河内地域の地理・歴史や文化について講義する。地元の研究家が講義を担当する。  
【事前・事後学習課題】事後学習：北河内地域の全域と7つの市の特色を、各市のホームページなどを活用して調べ、北河内に関する理解を深めること。
- 第3回** 【授業テーマ】北河内の地歴と文化を学ぶ(2)  
【内容・方法等】淀川とその流域の北河内地域の地理・歴史や文化について講義する。地元の研究家が講義を担当する。  
【事前・事後学習課題】事後学習：講義で学習した内容をもとに、図書館を活用するなど淀川とその流域の地理・歴史や文化について理解を深めること。
- 第4回** 【授業テーマ】北河内の地歴と文化を学ぶ(3)  
【内容・方法等】都市(寝屋川市)と地方(和歌山県すさみ町)の連携をはかる取り組みを紹介し、両者が共存共栄するための考え方と具体的な施策について地元の方が解説する。  
【事前・事後学習課題】事後学習：寝屋川市と協定を結んでいる和歌山県すさみ町との協働事業について、それぞれのホームページを参照し、調べてみる。
- 第5回** 【授業テーマ】北河内のすがたを知る(1)寝屋川市  
【内容・方法等】寝屋川市のすがたの現状と課題、本学の学生に対する期待について講義する。市役所の幹部が講義を担当する。  
【事前・事後学習課題】事後学習：講義で学習した内容をもとに、ホームページで自分の住む街と寝屋川市を見比べるほか、図書館を活用するなど寝屋川市の現状と課題について理解を深めること。
- 第6回** 【授業テーマ】北河内のすがたを知る(2)枚方市  
【内容・方法等】枚方市のすがたの現状と課題、本学の学生に対する期待について講義する。市役所の幹部が講義を担当する。  
【事前・事後学習課題】事後学習：講義で学習した内容をもとに、ホームページで自分の住む街と枚方市を見比べるほか、図書館を活用するなど枚方市の現状と課題について理解を深めること。
- 第7回** 【授業テーマ】北河内のすがたを知る(3)交野市  
【内容・方法等】交野市のすがたの現状と課題、本学の学生に対する期待について講義する。市役所の幹部が講義を担当する。  
【事前・事後学習課題】事後学習：講義で学習した内容をもとに、ホームページで自分の住む街と交野市を見比べるほか、図書館を活用するなど交野市の現状と課題について理解を深めること。
- 第8回** 【授業テーマ】北河内のすがたを知る(4)門真市  
【内容・方法等】門真市のすがたの現状と課題、本学の学生に対する期待について講義する。市役所の幹部が講義を担当する。  
【事前・事後学習課題】事後学習：講義で学習した内容をもとに、ホームページで自分の住む街と門真市を見比べるほか、図書館を活用するなど門真市の現状と課題について理解を深めること。
- 第9回** 【授業テーマ】北河内で活躍する人びとや団体を知る(1)  
【内容・方法等】本学との交流関係が深い各種の団体・機関などの方が、地元での活動や本学学生に期待する活動内容について講義する。  
【事前・事後学習課題】事後学習：講義で学習した内容をもとに、団体・機関のホームページや図書館を活用するなどし

- て活動を再確認し理解を深めること。
- 第10回** 【授業テーマ】 北河内で活躍する人びとや団体を知る（2）  
 【内容・方法等】 本学との交流関係が深い各種の団体・機関の方が、地元での活動や本学学生に期待する活動内容について講義する。  
 【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、団体・機関のホームページや図書館を活用するなどして活動を再確認し理解を深めること。
- 第11回** 【授業テーマ】 北河内で活躍する人びとや団体を知る（3）  
 【内容・方法等】 本学との交流関係が深い各種の団体・機関の方が、地元での活動や本学学生に期待する活動内容について講義する。  
 【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、団体・機関のホームページや図書館を活用するなどして活動を再確認し理解を深めること。
- 第12回** 【授業テーマ】 北河内で活躍する人びとや団体を知る（4）  
 【内容・方法等】 本学との交流関係が深い各種の団体・機関の方が、地元での活動や本学学生に期待する活動内容について講義する。  
 【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、団体・機関のホームページや図書館を活用するなどして活動を再確認し理解を深めること。
- 第13回** 【授業テーマ】 北河内で活躍する人びとや団体を知る（5）  
 【内容・方法等】 本学との交流関係が深い各種の団体・機関の方が、地元での活動や本学学生に期待する活動内容について講義する。  
 【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、団体・機関のホームページや図書館を活用するなどして活動を再確認し理解を深めること。
- 第14回** 【授業テーマ】 北河内で活躍する人びとや団体を知る（6）  
 【内容・方法等】 本学との交流関係が深い各種の団体・機関の方が、地元での活動や本学学生に期待する活動内容について講義する。  
 【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、団体・機関のホームページや図書館を活用するなどして活動を再確認し理解を深めること。
- 第15回** 【授業テーマ】 北河内の産業を知る  
 【内容・方法等】 北河内地域での産業活動の具体例について講義する。地元の北大阪商工会議所や寝屋川市工業会の役員が講義を担当する。  
 【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、関係するホームページや図書館を活用するなどして産業活動を再確認し理解を深めること。

**評価方法（基準）**

毎回の講義の最後に行う小テスト・レポート（75%）に加えて、講義全体に関して課せられるレポート課題（25%）を総合して評価する。

**教材等**

教科書…必要に応じてハンドアウト（プリントされた講義資料）を配付する。

参考書…摂南大学の自校史集。  
 毎回の講義ごとに適切な書籍を指示するので、興味がある内容のものを購入して読んでほしい。

**学生へのメッセージ**

毎回必ず出席してください。地域で活躍されている各分野のいろいろな人の話を聞くことで、摂南大学と地域が密接につながっていること、そして自分もこの地域とのつながりを大切にすることの意義がわかるようになり、自信を持って本学での勉学に励むことができるようになります。

なお、本講義は地域で活躍されている方々の協力のもとに行われます。講師に対する礼を逸することなく、私語を慎み、遅刻しないように心がけてください。

**関連科目**

地理、歴史、文化、経済、産業などに関する教養科目

**担当者の研究室等**

11号館7階 福田教授室

**備考**

学外講師の事情により、授業計画の順序を変更することがあります。  
 学外講師の関係者が聴講することがあります。  
 また、授業の様子をカメラ・ビデオで撮影することがあります。

**教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「健康科学」**  
 Health Science

藤林真美 (フジバヤシ マミ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

我が国では、交通手段の発達や家事の自動化等により身体活動

量が著しく低下しており、さらに食生活の欧米化等も影響して、生活習慣病にかかる人口は増加の一途をたどっている。一方で、うつ病等にかかる人口も激増しており、メンタルヘルスの保持増進も重要課題となっている。  
 本講義では、学生諸君が在学中のみならず生涯にわたり心身の健康を維持・増進するため、健康に関して科学的な裏付けに基づいた知識を幅広く身につけ、講義内容を実践できる能力を身につけることを目的とする。

学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**

レジュメを配布する。

**科目学習の効果（資格）**

健康に関する基礎知識を理解し、実生活に応用することができる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 オリエンテーション  
 【内容・方法等】 日本人の健康に関する現状を把握し、本講義の意義について述べる。  
 【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第2回** 【授業テーマ】 健康づくりの三本柱  
 【内容・方法等】 健康づくりのための三本柱とされている「運動」「栄養」「休養」と、その相互作用について解説する。学生諸君は自身の生活について振り返り、改善すべき点があるか検討する。  
 【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第3回** 【授業テーマ】 身体の生理機能  
 【内容・方法等】 食べたものはどこへいくか？吸った酸素はどこでどんな作用をするか？生体の生理について復習する。  
 【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第4回** 【授業テーマ】 運動トレーニングが肥満対策になる所以  
 【内容・方法等】 メタボリック症候群の定義、その温床にある内臓肥満について解説する。また肥満、糖尿病、脂質異常症など生活習慣病について解説し、その予防になぜ運動トレーニングが効果的なのか、最新の知見と関連させて解説する。  
 【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第5回** 【授業テーマ】 運動トレーニングで何が変わるか？  
 【内容・方法等】 運動トレーニングにより、筋力増強、持久力向上、骨代謝、エネルギー代謝などが改善される。それらのメカニズムについて解説する。  
 【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第6回** 【授業テーマ】 どんな運動（種類・時間・頻度）が健康によいのか？  
 【内容・方法等】 第5回で解説した運動トレーニングの効果は、運動方法によってその作用が異なる。肥満解消、筋力増大、骨の増強など目的に応じたトレーニング方法について解説する。  
 【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第7回** 【授業テーマ】 基礎栄養学  
 【内容・方法等】 各栄養素の種類や機能について解説する。日ごろの食生活を振り返り、改善すべき点があるか否か検討する。  
 【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第8回** 【授業テーマ】 食生活と健康  
 【内容・方法等】 前回の内容を踏まえ、望ましい食事について「食事バランスガイド」に基づいて解説する。  
 【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第9回** 【授業テーマ】 ダイエット計画  
 【内容・方法等】 近年、性別や年齢による身体の見え方や中身（体重や体脂肪率など）の違いが明らかになっている。この違いを理解したうえで、望ましいダイエット方法について解説する。  
 【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第10回** 【授業テーマ】 女性の健康・男性の健康  
 【内容・方法等】 性別による身体的特徴と性ホルモンの作用、さらに男女それぞれの加齢変化も踏まえて解説する。  
 【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第11回** 【授業テーマ】 ストレスマネジメント  
 【内容・方法等】 近年増加しているうつ病について概説し、うつ病やメンタルヘルス、ストレス対策として運動が有効なのか、最新の知見を紹介しながら解説する。また他の精神障害についても概説する。  
 【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第12回** 【授業テーマ】 睡眠  
 【内容・方法等】 睡眠がどのような役割を果たしているか解説する。日ごろの睡眠について振り返り、改善すべき点があるか否か検討する。  
 【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第13回** 【授業テーマ】 アルコールと喫煙、薬物、性感染症  
 【内容・方法等】 アルコールやタバコ、薬物が身体にどのような影響を及ぼすか解説する。またHIVなど性感染症についても解説する。  
 【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第14回** 【授業テーマ】 高齢者の介護予防と運動



【内容・方法等】 わが国は超高齢化社会となり、今後さらに高齢者人口が増大することが見込まれている。運動がなぜ介護予防に効果的なのか、解剖学・生理学の立場から解説する。

【事前・事後学習課題】 配布資料

第15回 【授業テーマ】 総括  
【内容・方法等】 本講義の総括と、健康に関する諸問題について考える。  
【事前・事後学習課題】 配布資料

評価方法（基準）  
期末試験50%、レポート30%、授業態度20%の割合で評価する。

教材等  
教科書…特に指定しない  
参考書…スポーツサイエンス入門、田口貞善編著、丸善

学生へのメッセージ  
皆さんが将来、知的職業人として社会で活躍するためには、まず心身の健康の保持増進が大切です。健康科学の基本を理解して、心身のセルフマネジメントができるようになることを希求します。

関連科目  
スポーツ科学実習Ⅰ・Ⅱ、生涯スポーツ実習

担当者の研究室等  
総合体育館1階 藤林研究室

### 教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「マーケティングと歴史」 Marketing and History

武居 奈緒子 (タケスエ ナオコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

#### 授業概要・目的・到達目標

この講義では、マーケティングを歴史的に考察することを目的としています。特にマーケティングの発想を踏まえ、呉服商の経営活動について説明していきます。  
学科の学習・教育目標との対応：[A]

#### 授業方法と留意点

講義形式を基本としますが、実態分析にも力を入れます。

#### 科目学習の効果（資格）

マーケティング的発想で社会を見る眼が養えます。

#### 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス  
【内容・方法等】 マーケティングについて解説していきます。  
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第2回 【授業テーマ】 製品政策  
【内容・方法等】 ヒット商品はどのようにして作られるのかについて考えます。  
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第3回 【授業テーマ】 価格政策  
【内容・方法等】 価格の設定方法について考えます。  
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第4回 【授業テーマ】 流通チャネル政策  
【内容・方法等】 商品はどのような経路をたどって販売されるのかについて考えます。  
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第5回 【授業テーマ】 販売促進政策  
【内容・方法等】 商品のアピールの仕方について考えます。  
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第6回 【授業テーマ】 マーケティングのSTPアプローチ  
【内容・方法等】 市場細分化について考えます。  
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第7回 【授業テーマ】 消費行動  
【内容・方法等】 消費者の購買意思決定過程について考えます。  
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第8回 【授業テーマ】 マーケティングの歴史的研究と三井越後屋  
【内容・方法等】 マーケティングにおける歴史的研究と三井越後屋の商法について説明していきます。  
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第9回 【授業テーマ】 呉服商の流通機構  
【内容・方法等】 呉服商の流通機構について、概説していきます。  
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。

- 【授業テーマ】 越後屋の仕入機構（1）  
【内容・方法等】 三井越後屋の絹の仕入機構について、説明していきます。  
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第11回 【授業テーマ】 越後屋の仕入機構（2）  
【内容・方法等】 三井越後屋の木綿の仕入機構について、説明していきます。  
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第12回 【授業テーマ】 いたう松坂屋、大丸屋の仕入機構  
【内容・方法等】 いたう松坂屋や大丸屋の仕入機構について、概説していきます。  
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第13回 【授業テーマ】 呉服商から百貨店へ  
【内容・方法等】 呉服商から百貨店への変遷について概説します。  
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第14回 【授業テーマ】 百貨店業態の成立  
【内容・方法等】 百貨店について、説明していきます。  
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ  
【内容・方法等】 全体のまとめをします。  
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。

#### 評価方法（基準）

期末テストの成績70%、授業内課題30%

#### 教材等

教科書…講義時に指示します。  
参考書…その都度、指示します。

#### 学生へのメッセージ

授業で提示される問題・課題に真摯に取り組みましよう。

#### 関連科目

マーケティング論

#### 担当者の研究室等

武居教授室

### 教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「武道論」 Theory of Budo

横山 喬之 (ヨコヤマ タカユキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

#### 授業概要・目的・到達目標

「武道とは何か」「なぜ今武道なのか」等、現代における武道の特性などを概説し、現状と課題について検討していく。また、武道の特性が理解でき、日本人の行動様式やものの考え方についても知ることができることを一般的な目標とする。  
学科の学習・教育目標との対応：[A]

#### 授業方法と留意点

講義形式で授業を進める。

#### 科目学習の効果（資格）

武道の特性を理解することができる。また、伝統的な行動様式を学ぶ中から現代にない思考力が育まれることを期待する。

#### 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス  
【内容・方法等】 授業内容の説明と武道について  
【事前・事後学習課題】 武道について調べてくる
- 第2回 【授業テーマ】 武道とは何か  
【内容・方法等】 武道の意味や言語について概説する  
【事前・事後学習課題】 武道にはどのような種目があるのか調べる
- 第3回 【授業テーマ】 武道と武術について  
【内容・方法等】 武道と武術の違いについて  
【事前・事後学習課題】 武芸十八般について調べてくる
- 第4回 【授業テーマ】 武道（柔道）  
【内容・方法等】 柔道について  
【事前・事後学習課題】 柔道について調べ内容をまとめる
- 第5回 【授業テーマ】 武道（剣道）  
【内容・方法等】 剣道について調べ内容をまとめる  
【事前・事後学習課題】 剣道について調べ内容をまとめる
- 第6回 【授業テーマ】 武道（弓道・相撲）  
【内容・方法等】 弓道・相撲について  
【事前・事後学習課題】 弓道・相撲について調べ内容をまとめる
- 第7回 【授業テーマ】 武道（空手・合気道）

- 【内容・方法等】 空手・合気道について  
【事前・事後学習課題】 空手・合気道について調べ内容をまとめる
- 第8回 【授業テーマ】 武道から見る日本人の道徳心①  
【内容・方法等】 武道とは何か  
【事前・事後学習課題】 著者・著作にいたる背景を調べまとめる
- 第9回 【授業テーマ】 武道から見る日本人の道徳心②  
【内容・方法等】 武道の道徳心について  
【事前・事後学習課題】 武士はどのような道徳を持ち生活していたか調べまとめる
- 第10回 【授業テーマ】 武道から見る日本人の道徳心③  
【内容・方法等】 武道の道徳心について  
【事前・事後学習課題】 武士はどのような道徳を持ち生活していたか調べまとめる
- 第11回 【授業テーマ】 武道と修行  
【内容・方法等】 武道における修行について  
【事前・事後学習課題】 修行とは何かを調べまとめる
- 第12回 【授業テーマ】 武道の国際化  
【内容・方法等】 武道の国際化について  
【事前・事後学習課題】 武道がどのように世界に普及したか調べまとめる
- 第13回 【授業テーマ】 武道の身体技法①  
【内容・方法等】 武道特有の身体技法について  
【事前・事後学習課題】 武道の身体技法とは何か調べまとめる
- 第14回 【授業テーマ】 武道の身体技法②  
【内容・方法等】 実際の身体技法を行う（総合体育館）  
【事前・事後学習課題】 武道の身体技法とは何か調べまとめる
- 第15回 【授業テーマ】 武道論総括（テスト）  
【内容・方法等】 14回まで行った授業の内容に関してテストを行う  
【事前・事後学習課題】 これまでの授業の復習

評価方法（基準）

出席率75%以上のものを試験資格者とする。遅刻は2回で1回の欠席と同等とみなす。（遅刻は授業開始から30分以内に入室したことをいう）  
武道論総括(15回目)におけるテストを100%の割合で評価を行う。（ただし、上記の出席率を満たした者のみを評価対象者とする。）

教材等

教科書…特に指定はしない。  
参考書…中村民雄 『今、なぜ武道か』 日本武道館 2007  
藤堂良明 『柔道の歴史と文化』 不味堂出版 2007  
村田直樹 『柔道の国際化《その歴史と課題》』 日本武道館 2012  
『嘉納治五郎』 筑波大学出版会 2011

学生へのメッセージ

質問等がある場合には、横山講師室に来てください。

関連科目

スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ  
生涯スポーツ実習  
健康論  
保健論

担当者の研究室等

総合体育館1F横山講師室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクト」  
Project Based Learning!

本多友常(ホンタ トモツネ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

和歌山県すさみ町旧古座街道沿に位置する佐本地区集落一帯をコンパクトヴィレッジとして捉え、集落環境を特徴付けている文化的景観要素を収集し、過疎高齢化集落とその周辺域の優れた文化的景観を守りつつ、未来に向けて持続可能な社会的・空間的環境整備の可能性を探索する。

授業方法と留意点

地域資産である景観構成要素の探索とそれに引き続く実測、情報収集、コミュニティ活動参加を通して、住民との交流、話し合いを進めていく。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

すさみ町佐本地区を中心とした、集落空間の魅力（地域資産としての景観要素）発見に向けた調査・探索を行う。その後集落内の住民の方々に訪問し、自分たち学生の中から見て不思議なこと、面白いことについて教えていただき、昔の暮らしや今の生活、伝承や史跡などさまざまな事柄を記録する。また集落生活の課題について、住民との交流ワークショップ、集落コミュニティ活動参加を介して地域資産の持続性について意見交換と考察を行い、文化的景観の持続性にむけた課題発見

能力の向上を目指す。

評価方法・評価基準

フィールドノートのまとめ30%  
ヒアリング内容のまとめ30%  
発表40%

教材等

教科書…なし  
参考書…すさみ町誌編さん委員会「すさみ町誌 上巻」昭和53年8月10日  
すさみ町誌編さん委員会「すさみ町誌 下巻」昭和53年8月10日  
すさみ町役場 地域未来課「広報すさみ」  
大己小学校育友会「谷間の光 大己小学校沿革」(1971年)、  
佐本小学校百周年事業実行委員会「創立百周年記念誌  
学び舎の思い出」昭和54年3月1日  
石垣が語る風土と文化－屋敷構えとしての石垣  
紀伊統風土記

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクト」  
Project Based Learning!

鳥居 祐介(トリイ ユウスケ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

＜寝屋川市と米国ニューポートニューズ市の姉妹都市交流支援プロジェクト＞を企画、運営するPBL授業です。NPO法人寝屋川市国際交流協会(NIEFA)とタイアップして、寝屋川市と姉妹都市提携関係にある米国ニューポートニューズ市との市民レベルの国際交流を支援し、市の国際化と経済振興に貢献することがプロジェクト全体の目標です。2014年度は、NIEFAが運営するイベント「新天地in Neyagawa」におけるニューポートニューズ市の学生マーチングバンド招聘公演を成功させることがプロジェクトの中心となる予定です。  
・地域の非営利団体、自治体、企業、そして大学の相互連携について学び、社会人に相応しいコミュニケーション能力を身につけることが全履修者に共通の目標です。また各自の業務を通じて、アメリカ合衆国に関する知識や実践的な英語コミュニケーション能力を高めたり、イベント運営や広告営業の実地経験を積むことも目標にします。  
学科の学習・教育目標との対応：[A]

授業方法と留意点

・年度を通じて定期ミーティングを行い、NIEFAスタッフの方々の協力を得ながら活動します。特に忙しくなるのは米国ニューポートニューズ市からの訪問団が来日する10月の前後になります。  
・多様な関心分野、得意分野を持った学生の履修を期待しています。たとえば、  
(1) 国際交流に関心があり、日本語を話せない外国人を相手に物怖じせず、簡単な英語でコミュニケーションがとれる人、またはとれるように努力する意欲のある人。訪問団の世話や案内をする人が必要です。  
(2) アメリカ合衆国の一つの都市について詳しく学ぶことに興味のある人。翻訳に興味のある人。ニューポートニューズ市について学んで日本語で情報発信したり、寝屋川市のことを先方に英語で発信する人が必要です。  
(3) イベントの企画運営や広告営業を経験し、社会人として働く力を高めたい人。履修者には「新天地」イベント全体を成功に導くスタッフとしての役割も期待されています。教室を離れて仕事の現場に飛び込む行動力のある人が必要です。  
(4) ウェブ制作やプレゼン資料作成、チラシ、ポスター等印刷物のデザインに興味のある人。情報発信のための技能を持った人が来てくれると助かります。  
(5) 協調性があるだけでなく、リーダーシップもとれる人。PBLは、学生が主体となって進めるものです。教員は、英語および翻訳の指導や事務処理についてのアドバイスをしますが、NIEFAスタッフから現場の要望を聞いて具体的な活動の中身を考え、実行し、フィードバックを受けて改善していくのは受講生の皆さん自身です。細かいプロジェクトごとにリーダーを決め、連絡を取り合いながらチームで動き、活動内容を定期的に教員に報告してもらいます。  
以上、どれか一つでも当てはまる人はぜひ履修を検討してください。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

4月～5月中に数回のミーティングをNIEFAスタッフを交えて行い、いくつかの優先すべき活動内容を決めてそれぞれリーダーを選出し、活動に入ります。ニューポートニューズ市からバンドを含む訪問団が来日し、イベントが行われるのは10月です。



それ以降は活動報告をまとめ、情報発信する作業が中心になります。

**評価方法・評価基準**  
月ごとの活動報告や、活動現場での取り組み姿勢をみて総合的に評価する。

**教材等**  
教科書…プリント教材  
参考書…授業中に指示する

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクト」 Project Based Learning!				
紙 博 文 (カミ ヒロフミ) 岩 坪 加 紋 (イワツボ カモン)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**  
映画製作（一摂南大学と地域連携）  
タイトル：「空へ」  
目的は、20分～30分の短編映画を製作することである。ストーリー（案）を学生諸君で吟味して、それを基に学生が下記の作業を主体的に担う。  
脚本、演出、出演、撮影、編集、音楽・作曲・演奏、効果、美術、ロケハンティング等、また、各公的機関、企業との交渉が必要であり、映画製作を通してそのための資質も磨かれる。短編映画ではあるが、かなりの作業量が求められたためその覚悟が必要である。  
学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**  
打ち合わせ、確認、交渉、各連絡等、チームワーク、フットワーク、スマートさ、スピードさが求められる。

**授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題**  
各自に与えられた役割分担をすみやかにこなすこと。映画製作は総合芸術であるからひとつひとつの作業を確認しておかねば前には進まないことに留意されたい。

**評価方法・評価基準**  
どれだけ真剣にチームワークよく取り組めたか、努力したかで評価する。

**教材等**  
教科書…なし  
参考書…なし

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクト」 Project Based Learning!				
牧 野 幸 志 (マキノ コウシ) 久 保 貞 也 (クボ サダヤ) 山 本 圭 三 (ヤマモト ケイゾウ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**  
調査分析に基づいて、地域産業の発展の可能性や地域住民の需要を科学的に明らかにする。その上で、地域を起点とした事業計画を立案し、その実現に向けて、地域内外の企業・団体や国内外の協力団体との交渉、および、コンテストなどへの参加を行う。そして、得られた経営資源を基に事業を実施し、それによってどのような変化、影響をもたらせたかを分析し、今後の活動について考える。  
学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**  
「地域！」  
これまでのPBLプロジェクトで集めたアンケートデータや自治体などから提供されるデータ、および、このプロジェクトで企画するアンケート調査などを用いて、地域の期待や要望を浮かび上げさせる。そのために、統計解析の理論とソフトウェアの利用技術を習得し、実践的な分析能力を身につける。  
「事業！」  
地域を起点として、地域ブランドの普及や既存製品、技術の新しい組み合わせ、または、ITの活用などによる学生視点のビジネスモデルと事業計画を策定する。そして、ビジネスプランコンテストへの応募や、公的団体、民間団体などへプレゼンテーションを行い、事業計画のブラッシュアップと経営資源の獲得を目指す。  
「変化！」  
上記の活動を通じて得られた経営資源の制約下で、事業計画を

再編して、事業の実施に着手する。具体的には、地域プロモーションサイトの構築、ICTによるモールの実験、今後の展開に向けた調査・研究などが考えられる。これらの活動を通して、自分たちの活動が地域や世界にどのようなインパクトを与えられるか、また同時に、自分たちの学びの姿勢や考え方がどのように変化したかについて振り返る。

**授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題**  
テーマ：地域！事業！変化！  
- 地域を起点に事業を起こし、世界と自分に変化をもたらす-  
内容：  
(1) 市場分析のためのデータ解析技術の習得  
(2) 地域に関するデータの収集・整理  
(3) データ分析の実践  
(4) 企画提案に関する技法の習得  
(5) ビジネスモデルの策定  
(6) 事業計画のプレゼンテーション  
(7) 事業実施のための資源獲得  
(8) 実施結果の分析

方法：月2、3回程度、平日の午後以降に行う（授業時間の空きで調整）。また、その他に講演会や見学会などを年2、3回予定している（開催は土曜日や特別教育期間など）。主な活動場所は、情報処理室、教員の研究室、ゼミ室、および、地域の公共施設などである。

**評価方法・評価基準**  
参加による気づき、活動への姿勢、成果などを総合的に評価する

**教材等**  
教科書…特になし  
参考書…適宜指定する（プロジェクト予算などで購入）

**備考**  
履修については、昨年度までのPBLプロジェクトやゼミ活動、課外活動などで地域での活動経験を有する学生を想定しています。卒業研究や調査実習を見据えた参加希望も歓迎します。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクト」 Project Based Learning!				
石 田 裕 子 (イシダ ユウコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**  
概要：寝屋川市立池の里市民交流センターでの子どもたちへの環境学習支援に、学生が企画・実施担当として関わることで、市民ボランティアと子どもをつなぐ架け橋となることを目指す。5年目の今回は、天若湖アートプロジェクトに参加し、天然アユ復活をモチーフとした淀川水系の流域連携活動を行う。  
学科の学習・教育目標：[A]

目的：池の里市民交流センターの活動に関わり、子どもへの環境学習支援を行う。天若湖アートプロジェクトへの参加を中心に、淀川水系での流域連携を向上させる。

達成目標：地域の子どもたちの環境学習支援プログラムの企画・実践の手法を体得する。また、流域連携活動を通じて、淀川水系を中心とした環境保全と河川管理について問題を理解するとともに、その解決策について考察する。特に、淀川水系での天然アユ復活を題材に学習を進める。プロジェクト全体を通して、世代を超えた人々と交流することでコミュニケーション力を学び、自分たちで企画・実践する力を身につける。

**授業方法と留意点**  
連携内容・方法：池の里市民交流センターでは、環境学習支援の補助から始め、学生たち自身による企画と実践を行う。天若湖アートプロジェクト実行委員会に所属し、淀川水系内の市民団体や行政機関と連携し、活動を実施する。

**授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題**  
授業テーマ：寝屋川市における環境学習支援と淀川水系を中心とした流域連携プロジェクト

内容：  
1. 寝屋川市立池の里市民交流センターにおける環境学習支援  
2. 水辺再生を中心とした環境学習の実施  
3. 淀川水系を中心とした流域連携イベントの企画・実践  
4. 天若湖アートプロジェクトにおけるイベントの企画・実践  
5. 天然アユ復活プロジェクトの学習  
6. いい川・いい川づくりワークショップでの発表

方法：授業のうち半分（月1回）は原則として平常授業期間内の土曜日2・3限に行い、主として午前中は学内のゼミ室において、石田が資料を用いて講義をし、午後は池の里市民交流センターにおける自然体験学習室の活動に参加して、地域ボランティアおよび子どもたちと接して、必要な知識・技術を習得する。9月と12月に予定している子ども教室において、自分たちで企画した環境学習プログラムを実施する。他の半分（月1回）は、学外の流域連携イベントに参加し、流域問題について学習する。特に、

天若湖アートプロジェクトを中心に、淀川水系での流域連携を行う。学外発表の場として、近畿水環境交流会（7月）、天若湖アートプロジェクト（8月）、いい川・いい川づくりワークショップ（9-11月）を予定し、各活動段階における成果発表を行い、自己評価および外部評価を受けることで活動内容を振り返り、次の活動に向けてステップアップを図る。作業の実施に当たっては、理工学部都市環境工学科生態環境学研究室、および文化会エコシビル部の協力を得る。天若湖アートプロジェクト実行委員会より外部講師を招き、事前学習を行う。また、本学園OBである、大阪理化学株式会社社長、前田富久見氏の指導も受ける予定である。授業および活動スケジュールは、学校行事等の関係で受講者と相談の上、変更することがある。

事前事後学習課題：内容ごとに参考資料を配布するので、熟読しておくこと。また、前期・後期末にレポートを作成し、年度末にプレゼンテーションを課す。

**評価方法・評価基準**

授業（イベントを含む）に積極的に参加し、水辺環境の再生および流域連携活動に加わること。（60%）  
水辺再生・流域連携の意義を正しく理解し、それを他者に伝えられること。（40%）

**教材等**

教科書…特になし  
参考書…特になし

**教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクトⅠ」**  
Project Based LearningⅠ

橋本正治（ハシモト マサハル）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

テーマ：過疎地域におけるグリーンエネルギー活用プロジェクト

概要・目的：グリーンエネルギーを利用した過疎地域自立活性化に利用出来るマイクロ水力発電装置や太陽光利用温水設備などを過疎地域（和歌山県すさみ町）の住民・行政に提案し、試作した装置の稼働実験を行い、過疎地域における生活環境の改善について評価を行う（継続テーマ）。本年度はこれまでの活動で得た成果をもとに災害時にも対応できる生活支援装置・設備（移設可能なトイレや厨房設備）の開発を行う。

学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**

学内活動：通年 週1回程度ミーティングを行いグループごとに活動内容を報告する

現地での活動に向けて装置（ボイラやパーナーなど）や電気機器（ソーラー照明）の製作

現地活動：年5回程度 週末および夏期休業期間など  
基本的にバスで移動のため交通費不要。食費のみ必要。

**授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題**

授業計画：

4月：テーマの情報共有（昨年度までの成果の説明）と本年度の目的に沿った開発プロジェクトのテーマ設定

5月：現地調査とテーマの修正と具体的な開発設備・機器の決定  
大学にて概念設計、詳細設計、工程設計、必要素材の調達、加工を行う。

大型装置・設備については現地で加工組み立て

7月：現地で加工、施工、組み立て開始

8月：装置・設備の完成

試作装置・設備による実験評価

9月：実験結果の考察と改良

改良した装置について評価実験・考察

11月：現地あるいは大学で再実験

実験結果の考察と改良

2月3月：最終実地評価と報告

**評価方法・評価基準**

活動への参加が最低限の条件となる

活動状況、活動結果、プレゼンなどで評価する

**教材等**

教科書…なし  
参考書…なし

**教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクトⅠ」**  
Project Based LearningⅠ

一色美博（イツシキ ヨシヒロ）  
小川直樹（オガワ ナオキ）  
丸山隆三（マルヤマ リュウゾウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

[授業概要・目的]

ミニ鉄道プロジェクトとして、レール幅3.5、5インチのミニ鉄道を製作し、運転会などの運営を行う。

蒸気機関車、電気機関車や客車の製作に加えて、軌道、鉄橋、駅舎なども製作し、イベント会場や小学校などで運転会を催す。また、運転会では製作過程や駆動原理などの展示も加え、参加者のものづくりへの関心を高める。

[到達目標]

蒸気機関車や鉄道施設などの製作を通して、ものづくりの技術を能動的に習得する。

学科の学習・教育到達目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**

週1回のミーティングでプロジェクトの企画、運営、製作についての計画や進捗状況の報告を行います。加えて、皆さんが決定する時間割にしたがってテクノセンターで製作や技術の習得を行います。

この科目では、能動的に活動できる能力を培うことが大きな狙いです。与えられた課題に対して全貌を把握した上で計画を作り、その計画を確実に実行する姿勢を学んでください。与えられた環境、条件のもとで、工夫して自立的に課題を達成できる能力は社会人として必須の力です。この授業で「指示待ち」から「自ら行動する」姿勢を学んでください。

**授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題**

本年度はレール幅5インチの蒸気機関車の製作を継続するとともに運行イベントの企画・運営を行う。

1. 教員の指導の下に目標と計画を作る。
2. 計画に従って、技術指導を受けながら蒸気機関車、鉄道施設を製作する。
3. 計画からの遅れには対策を講じる。
4. 製作時に利用する金属材料、工作機械、工作方法などについては図書館で調べ知識を確かなものとする。
5. 運行イベントの企画・運営を計画し、実施する。
6. 計画、進捗状況、調査結果等をミーティングで報告する。

**評価方法・評価基準**

プロジェクトの実施計画や進捗状況の把握程度、プロジェクト推進に対する貢献度および製作技術習得時の能動的態度について、ミーティングでの報告や作業時の態度で評価する。

**教材等**

教科書…なし  
参考書…なし

**教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクトⅠ」**  
Project Based LearningⅠ

浅野英一（アサノ エイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

①調査：地域で予定されているプロジェクトを調査し、実現可能を探る。

②企画：具体案を立て、評価（実現可能性、コスト、実施期間、有効性）を行い、詳細な実施計画を立てる。

③関連する団体に企画をプレゼンテーションし、プロジェクトの妥当性を評価する。

④実施：実施計画に従いプロジェクトを実施する。途中に実施状況を関連機関に報告し計画の修正を行う

⑤結果報告：プロジェクトの終了時に関連機関に実施結果と次年度以降でのプロジェクトの展開について報告を行う。

学科の学習・教育目標との対応：「A」

**授業方法と留意点**

プロジェクトの実施地は、和歌山県西牟婁郡すさみ町です。活動にかかる交通手段は、バスを大学でチャーターして移動します。宿泊は、摂南大学すさみ町活動拠点（廃校になった小学校の校舎）を使うため宿泊費用は発生しません。プロジェクト実施については、調査状況に基づき事前に学内で協議して現地活動を行います。

**授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題**

すさみ町の過疎地域活性について、①農業分野のキャベツ・ブ



プロジェクト、②畜産分野のイノブタソーセージ・プロジェクト、③観光分野の自然体験学習型キャンプの3つを同時に行います。

**評価方法・評価基準**  
レポート、参加態度を総合的に評価する。

**教材等**

教科書…特に無し。  
参考書…特に無し。

**備考**

履修登録をする前に、必ず、活動内容を問い合わせ、相談してから履修して下さい。問い合わせ・相談をせずに履修登録をした場合、登録を取り消すことがありますので注意してください。

**教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクト」**  
Project Based LearningⅠ

黒澤 敏朗 (クロザワ トシロウ)  
山本 圭三 (ヤマモト ケイソウ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

目的：「交野市の活性化」のプランを創ります。  
概要：休耕田を利用した「そば」栽培の体験などをもとに、交野市の特産品を企画・提案します。  
到達目標：独自の計画案作成のプロセスを通じて、多くの人々とのコミュニケーションや、各自のもつ知識の活用ができるようになることです。  
学科の学習・教育目標との対応：工学部[A], 理工学部 [II]

**授業方法と留意点**

1. 連携先の関係者・グループとの意見交換を通じて、課題を明確にします。
2. 交野市の住民へのヒアリングとアンケート調査を行います。
3. 他の地域の活性化プロジェクトの現状を調査します。
4. 独自の特産品を企画し、イベントなどで試作したものを公開し、市民からの評価を受けます。

**授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題**

1. 集団意思決定のための技術の習得  
KJ法をはじめとする各種の意思決定、創造性開発の技法の演習を授業期間中に学内で行います。
2. アンケート調査の方法の習得  
経営情報学科で開講する「市場調査」に関わる科目を受講します（他学科の学生も同様）。
3. 農業産品とその加工、販売方法（6次産業化）に関する知識の習得  
夏休みを利用して、先進的な地域・プロジェクトの見学を行い、知識の拡大を図ります。
4. 地域特産品に関する知識・情報の収集  
先進的な地域の特産品の調査を行います。

**評価方法・評価基準**

グループ作業が中心となるため、個人ごとの評価は簡単ではありませんが、諸活動への「参加度（回数、活動意欲、結果への貢献度、など）」をもとに評価します。

**教材等**

教科書…とくに指定しません。  
参考書…入門書として役立つ、新書などを紹介します。

**備考**

毎週金曜日に定例のミーティングを行います。テーマの性質上、それ以外にも土曜日と日曜日の数日を使用して活動します。

**教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクト」**  
Project Based LearningⅠ

久保 貞也 (クボ サダヤ)  
針尾 大嗣 (ハリオ ダイジ)  
牧野 幸志 (マキノ コウシ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

大学との関係がある自治体、公的団体に直接出向き、自分の感覚を使って地域を感じとる。  
地域について見聞きし、調べ、そこで行われている活動を通じて、その地域が抱える課題やチャンスを見出す。そして、その課題解決へのチャレンジやチャンスを活かして地域と自分が共に発展する活動について考える。  
学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**

「地域に行く」

摂南大学の卒業生が勤務している自治体や、連携協定を結んでいる自治体・公的団体への見学会を行い、魅力ある地域資源や取り組みなどを体験的に学ぶ。また、複数の地域を訪れることで、地域間の差異や共通部分の存在を実感する。

「地域を知る」

関連団体から講演者を招き、地域社会における課題や解決に向けた取り組みの実態を知る。また、地域で開催されているイベントへの参加や自主的な調査活動を通じて、地域の現状について理解を深める。

「地域と自分について考える」

このプロジェクトで気づいた課題と発見したり創りだしたチャンスを活かして、学生主体の取り組みを提案する。地域の中で学生が貢献できる役割を見つけたり、学生が地域の中で有益な学びが行える場を創りだすことを目指す。

**授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題**

テーマ：地域^3+自分  
- 「地域」に行き、「地域」を知り、そして、「地域」と「自分」について考える -  
内容：

- (1) 大阪府内、京都府内、滋賀県内などの市町村への訪問
- (2) 地域ブランドや特産品の収集
- (3) 自治体の地域活性化担当者による講演
- (4) 地域のNPOやボランティア団体、起業家などによる講演
- (5) 地域イベントへの参加（春、夏、秋、冬を通じて行う）
- (6) 地域イベントの企画（学生主体の企画・運営の提案、新規イベントの創出）
- (7) 地域と学生との関わりについての分析・考察
- (8) 今後に向けての企画・提案

方法：月2、3回程度、平日の午後以降に行う（授業時間の空きで調整）。また、その他に講演会や見学会などを年2、3回予定している（開催は土曜日や特別教育期間など）。主な活動場所は、情報処理室、教員の研究室、ゼミ室、および、地域の公共施設などである。

**評価方法・評価基準**

参加による気づき、活動への姿勢、成果などを総合的に評価する

**教材等**

教科書…特になし  
参考書…適宜指定する（プロジェクト予算などで購入）

**備考**

地域の実践的な課題解決を目指すため、各学部のさまざまな知識と意欲ある学生の参加を求めています。

**教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクト」**  
Project Based LearningⅠ

佐井 英子 (サイ ヒデコ)  
栢木 紀哉 (カヤキ ノリヤ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

摂南大学近隣の小学生を対象に、北大阪商工会議所青年部と共同で、「子供株式会社プロジェクト」を実施する。このプロジェクトでは、子供達が、起業・会社経営の体験を通じて社会や経済・経営の仕組みを学ぶことを目的としているが、同時に学生も小学生の指導を通して、自ら考え、解決する能力、すなわち、マネジメント能力、コミュニケーション能力、指導力、行動力、協調性、責任感や市役所や商工会議所等との折衝力及び交渉力の実践力を培うことを目標とする。

学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**

北大阪商工会議所青年部との共同により、交野市、寝屋川市、枚方市の小学生を対象に子供株式会社を設立し、商工会議所のイベントに参加する。主に小学生に対する指導は学生が担当し、実践のためのイベントの会場提供・設定等は、商工会議所が主体となるが、小学生への指導等、一部の作業は学生が責任をもって担当するので、セミナーやイベントには、必ず出席すること。また、実際の経営、生産の現場を体感するために、上記3市の会社見学会を実施する。

**授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題**

授業テーマ：子供株式会社の設立と経営  
内容：

- I 経営、マネジメント、経営戦術、会計等に関する基礎的な知識を学ぶ。
- II 実際の経営、生産の現場を体感するために、会社見学会を実施する。
- III 小学生に指導する。
  1. 小学生と友達になろう

2. 株式会社って何だろう
  3. 株式会社をつくらう
  4. 商売って何だろう。儲けってなんだろう
  5. 経営計画をたてよう
  6. マーケティングをしよう
  7. 商品企画書の作成しよう
  8. 銀行にお金を借りよう
  9. 実際に販売してみよう
  10. 帳簿をつけて決算書をつくらう
    11. 税金を納めよう
    12. 決算書を作成しよう
    13. 経営報告会をしよう。どの会社が一番儲かったのかな。
- 講義方法：子供達に指導する前に、まず自分たちで上記のテーマを演習形式で学習し、その後グループに分かれ小学生に対して指導する。
- 事前事後学習課題：上記テーマ、イベントの結果報告等レポートを作成、提出する。

**評価方法・評価基準**

授業（イベントを含む）に必ず参加すること。  
 会社の設立、経営、決算報告等の一連のプロセスを理解し、小学生に対してきちんと説明できる知識を修得すること。  
 小学生が理解できるような説明、会話ができるプレゼン能力を修得すること  
 日常接することのない保護者の方や商工会議所青年部の会員の方々と協同することにより社交性、協調性を修得することができたかを評価します。

**教材等**

教科書…特になし  
 参考書…必要に応じ適宜指定します。

**教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクト」**  
 Project Based Learning!

八木 紀一郎 (ヤギ キイチロウ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

北河内における近郊ツーリズムの開発-交野のみのを関西のふるさとにしよう  
 狩り暮らし柵機津女に宿借らむ天の川原に我は来にけり 在原業平  
 またや見む交野のみのの桜狩り花の雪散る春のあけぼの 藤原俊成  
 観光地のイメージの希薄な北河内地域でも、生駒山系の西部山麓に位置する交野市は、緑豊かな森林と古墳時代に遡る史跡をもつ地域である。同市から現在の枚方・香里園みいたる丘陵は、「交野が原」「交野のみ野」とよばれる古来からの禁猟地で、平安時代の大宮人が風情を訪ねる地域であった。この授業では、交野市の行政・NGO・住民と協力し、この地域の観光資源を調査・開発して関西人の近郊ツーリズム（日帰りないし1泊）の対象地として盛り上げる。  
 学生にとっての到達目標：観光企画の基本を学ぶとともに、現地の人・組織と協力して企画をたて実践する実行力を身につける。  
 学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**

\*交野市の行政・商工団体・観光協会・「おりひめ大学」と連携して、同市周辺の観光資源を調査し、それを活用したツアーの企画、観光宣伝媒体の作成、イベントへの協力にあたる。  
 \*参加者は、同市の市民学習会である「おりひめ大学」の学生とみなされ、同市の住民・関係者と協働することになる。最小限の礼儀と責任感をもって参加してください。  
 \*参加者は協働作業用のネットワークに加わるとともに、各自PBL用の専用ファイルで資料と活動成果を保存してください。  
 \*イベント時に、観光ニーズをさぐるためのアンケートを実施します。  
 \*週1回は打ち合わせ会をおこないます。

**授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題**

5月連休時 第1回交野合宿（1泊2日） 現地調査、班編成、協力者との調整  
 6月 企画スケジュールの決定 交野市・北河内・エコツアーの勉強会  
 7月 枚方市・交野市の七夕祭りに参加・協力  
 8月 天の川星まつり協力、アンケート実施  
 9-11月 秋の近郊ツーリズム企画  
 観光絵葉書、ポスター、パンフレット作成  
 12月 かのキャンパスなどのイベントに協力  
 1-2月 学内最終発表会  
 学外コンペ参加  
 担当者のホームページ[http://www.setsunan.ac.jp/~k-yagi/99\\_](http://www.setsunan.ac.jp/~k-yagi/99_)

blank005.htmlを参照してください。

**評価方法・評価基準**

活動への実質的参加を前提にした地域と観光への認識の深まり、活動におけるリーダーシップ、協調性、創意工夫、責任感（6割）、年度末の総括レポート（4割）

**教材等**

教科書…安藤明之『初めてでもできる社会調査・アンケート調査とデータ解析（第2版）』日本評論社、本体2500円＋税 ISBN978-4-535-58623-1

**教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクト」**  
 Project Based Learning!

富岡 直美 (トミオカ ナオミ)  
 水野 武 (ミズノ タケシ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

●授業概要： 様々な人との交流を通して自らを取り巻く社会についての理解を深め、課題を発見し、解決策を考える。また、自主的に活動をし、実際に社会貢献をすることで、自律的職業人を目指す。  
 ●目的： 社会で活躍できる人になるために、社会貢献活動を通して自分自身をより理解するとともに、新たな可能性を見出す。  
 ●到達目標： 役割意識や自己効力感を育むために、仲間と協働しながら社会に貢献する喜びを体験する。  
 学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**

- ①絵本や紙芝居について学ぶ。（外部講師）
- ②読み聞かせや紙芝居を練習する。
- ③社会と接するためのマナーについて学ぶ。
- ④学生同士のピアラーニング。

**授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題**

●テーマ： 紙芝居ボランティアを通じた社会貢献  
 ●内容： 寝屋川市の子供たちが抱える課題を解決するための紙芝居を作成し小学校で上演活動をする。寝屋川市内の小学校を訪問し、課題の聞き取り調査や紙芝居の読み聞かせ活動を実施する。  
 ●方法：（毎週1回ミーティング、および適宜、小学校での読み聞かせ活動）  
 1. 昨年度からの紙芝居の読み聞かせ活動を継続させる。  
 2. 昨年度からの紙芝居を広めるための営業活動をする。  
 3. 新規紙芝居の作製にむけ、調査、企画、作成、営業などを行う。  
 4. 自らの活動振り返りを行い、改善する。  
 5. 仮想企業を立ち上げ、見積書などを外部団体に評価いただくことで、本活動の社会的価値を計る。  
 他に、地域や企業様とのコラボレーション、新たな商品開発など、参加学生のアイデアを取り入れ、様々な社会貢献の方法を模索します。

**評価方法・評価基準**

参加態度・貢献度合（50%）、役割遂行度合（30%）、報告書（20%）による総合評価

**教材等**

参考書…余郷裕次（2010）『絵本のひみつ』南日本新聞社

**備考**

●活動は、役割を分担し自主的に運営するため、学部に関係なくそれぞれの得意分野を発揮できる。  
 ●絵本や紙芝居について（構成、読み聞かせなど）、専門的な知識を身につけることができるため、表現力（プレゼン能力）の向上が期待される。

**教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「身近な犯罪から自分、家族、まちを守る」**  
 No Name

中沼 丈晃 (ナカヌマ タケアキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

私は、地域における防犯を研究し、自分自身も、研究室の学生とともに、青パト（青色回転灯をつけた自主防犯パトロールカー）で毎日、子どもの見守り活動を行っている。そうした研究者として、普段一番接する学生に、犯罪の実態を知ってもらい、少しの注意と手間で犯罪から身を守ることをわかってほしくて、この講義を開講することとした。加えて、それほど気負わ



なくても、防犯ボランティアとして社会貢献できる方法があることも紹介したいと考えている。  
 学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**

とにかく実際の事件を取り上げて、加害者の視点、被害者の視野、発生した場所・時間の特徴、警察や行政、学校、ボランティアの動きを具体的に説明する。そして、いま推奨されている防犯対策を紹介する。警察の防犯実務者や、活躍する防犯ボランティア団体の世話役の方をお招きしたインタビュー講義も交えていく。

**科目学習の効果（資格）**

各自が自分で、家庭で防犯対策をして、犯罪から身を守るようになってもらうのが第一である。防犯ボランティア参加の動機づけにもなるだろう。職業では、当然、警察官の仕事の視点がわかる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 昨年起きた犯罪はどのような特徴があったのか？  
 【内容・方法 等】 昨年起きた具体的な犯罪例を取り上げて、どのような人・物が、どういう理由でねらわれているのか探る。  
 【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地域の防犯状況を見てみる。
- 第2回** 【授業テーマ】 犯罪にはどのような種類があり、どうやって数えるのか？  
 【内容・方法 等】 刑法上は同じ窃盗でも、ひったくり、自転車盗、車上ねらいなどさまざまな手口がある。1件の窃盗でも、起きた数、警察に届けられた数、検挙された数がある。こうした手口の分け方や数の数え方を説明する。  
 【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地域の防犯状況を見てみる。
- 第3回** 【授業テーマ】 犯罪はなぜ起こるのか？どうやって減らすのか？  
 【内容・方法 等】 悪い人がいるから犯罪が起こるのか、すぎがある人がいるから犯罪が起こるのか、犯罪が起きやすい場所・時間があるから犯罪が起こるのか、それぞれの理屈を確かめてみる。  
 【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地域の防犯状況を見てみる。
- 第4回** 【授業テーマ】 大阪の治安はどのくらい悪いのか？どのように防犯対策を進めているのか？  
 【内容・方法 等】 大阪府は、他の都道府県に比べてどのような犯罪が多いのか、人口の多さを考慮するとどうなのか説明する。「オール大阪」で街頭犯罪ワースト1を返上する取り組みを紹介する。  
 【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地域の防犯状況を見てみる。
- 第5回** 【授業テーマ】 街頭犯罪ーひったくり、自転車盗、車上・部品ねらいを中心に  
 【内容・方法 等】 一番身近な街頭犯罪について、どういう人・物が、どういった状況でねらわれているのか、どういう人が犯罪を行っているのか説明する。ついで、ひったくり防止カバー、シリンダー錠などの防犯対策の効果について紹介する。  
 【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地域の防犯状況を見てみる。
- 第6回** 【授業テーマ】 住宅への空き巣、忍び込み、居空き  
 【内容・方法 等】 泥棒は、空き巣に入る家をどのように物色し、どうやって侵入し、何を盗んでいくのか解説する。最近の防犯住宅、防犯マンションの取り組みを紹介する。  
 【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地域の防犯状況を見てみる。
- 第7回** 【授業テーマ】 性犯罪ー街頭での強制わいせつ、痴漢、公然わいせつ  
 【内容・方法 等】 大阪府は性犯罪が深刻な自治体である。犯罪者は、どんな人・場所をねらって性犯罪に及ぶのか説明する。女性の学生が今日からすべき防犯対策を紹介する。  
 【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地域の防犯状況を見てみる。
- 第8回** 【授業テーマ】 子どもをねらった犯罪  
 【内容・方法 等】 子どもに対する犯罪について、過去に大きな社会問題になった殺傷事件から、日常的に起きているわいせつ、声かけ、つきまといまで、実態を具体的に説明する。そして、子どもの安全を守るために各地で行われている取り組みを紹介する。  
 【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地域の防犯状況を見てみる。

- 第9回** 【授業テーマ】 ストーカー、DV（配偶者からの暴力）  
 【内容・方法 等】 ストーカーやDVは、個人間の問題に関わるので、対応の判断が難しい。しかし、大きな事件につながれば、対応の遅さ、まずさが批判されやすい。過去の事件の経緯を紹介して、深刻な問題への展開を防ぐために現在行われている対策を説明する。  
 【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地域の防犯状況を見てみる。
- 第10回** 【授業テーマ】 詐欺ー高齢者をねらった振り込め、オレオレ、リフォーム詐欺など  
 【内容・方法 等】 昨年、急激に増え、手口が次々と変わる高齢者をねらった詐欺を取り上げる。背景にどのような組織があるのか、どうして防犯が難しいのか、実例に即して説明する。若い私たちにできる協力も紹介する。  
 【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地域の防犯状況を見てみる。
- 第11回** 【授業テーマ】 サイバー犯罪ー子どもや学生が巻き込まれるネット犯罪  
 【内容・方法 等】 子どもが巻き込まれる出会い系サイトやネットゲームでのなりすまし、大学生も被害を受けている偽サイトでのショッピング詐欺、ネットバンクでのID、パスワード盗難など、身近なサイバー犯罪を取り上げる。  
 【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地域の防犯状況を見てみる。
- 第12回** 【授業テーマ】 違法ドラッグの実態と対策  
 【内容・方法 等】 違法ドラッグについて、その危険性、販売の実態、取締の方法を紹介する。  
 【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地域の防犯状況を見てみる。
- 第13回** 【授業テーマ】 防犯カメラの普及と効果  
 【内容・方法 等】 急速に普及した防犯カメラについて、普及の背景と経緯、技術の進歩、個人情報・プライバシーとの関係、防犯効果の考え方を説明する。  
 【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地域の防犯状況を見てみる。
- 第14回** 【授業テーマ】 防犯ボランティアの活動  
 【内容・方法 等】 近年の犯罪対策の最大の特徴は、民間のボランティア団体の活性化である。地域での子ども見守り隊、青パト活動、学生防犯ボランティアなど、最近の各地、各世代の防犯ボランティアの活動を紹介します。  
 【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地域の防犯状況を見てみる。
- 第15回** 【授業テーマ】 警察官の仕事の実際  
 【内容・方法 等】 犯罪が起きれば捜査し検挙する。犯罪が起きないように市民や企業に防犯をうながす。それを職業とする警察官の仕事の実際を紹介する。  
 【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地域の防犯状況を見てみる。

**評価方法（基準）**  
 定期試験60%、講義毎回の確認ペーパー30%、受講態度（投げかける質問に対する発言など）10%で総合的に評価する。

**教材等**  
 教科書…指定しない。  
 参考書…講義で紹介する。

**学生へのメッセージ**  
 勉強以前に、自分、家族、まちを身近な犯罪から守るために、ぜひこの講義を受講してほしいと願っている。そして、できることからでよいので、講義で知った防犯対策をしてもらいたい。警察官志望者には、近年、警察でも人気の仕事になりつつある防犯の実務がわかるという意味で、興味を持ってもらえると思う。

**関連科目**  
 法学部「刑事政策」「経済刑法」「少年法」  
**担当者の研究室等**  
 11号館9階 中沼研究室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「英語での数学活用例」				
No Name				
		戸村 芳 (トムラ カオル)		
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標



自然科学も社会科学も言語で記述して推論します。数学も人工言語です。数学言語表記は英語と日本語の両方の特徴を備えています。このことを知り、数学嫌いからの脱出を目的とします。テキストと講義担当者の発信内容の概略を理解できることを到達目標とします。

**授業方法と留意点**

非native speaker of Englishの担当者の英語会話と日本語で授業します。英語会話部分については、その内容を活字にして配布または投影します。担当者と受講生のやりとりとして、毎回提出物（非テスト）を書いてもらい次週には朱筆でひとりひとりに応答します。この返却物も保管しておいて定期試験で持参参照してください。

**科目学習の効果（資格）**

文理両方の多くの資格の活用で効果があると信じます。資格を伴わない、これからの（国際的）社会活動で、大学以前の数学、英語学力も効果大であると実感していただけると存じます。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 言語（英語、日本語）と数学表示  
(2+3)×4 と 2↑(二) 3+(タシテ) 4×(カケル)など  
【内容・方法等】 テキストp1-p9 14  
【事前・事後学習課題】 Appendix p122 1 つめから 11 こめまでの問題を考えておいてください。
- 第2回 【授業テーマ】 数学はつじつまあわせ（指数計算の例、exp(x)の定義など）  
【内容・方法等】 テキストp9/5-p16 13, pp110,118  
【事前・事後学習課題】 Appendix p122 12 こめから p123 5 こめまでの問題を考えておいてください
- 第3回 【授業テーマ】 中途半端なネイピア定数eを知れば数学はこわくない  
逆関数 1/x から e など  
【内容・方法等】 テキストp16/4-p25, pp110,118  
【事前・事後学習課題】 Appendix p123 6 こめから p124 4 つめまでの問題を考えておいてください
- 第4回 【授業テーマ】 統計、確率、感性（心理学）、電子雲グラフ、など  
【内容・方法等】 テキストp26-p36 17  
【事前・事後学習課題】 Appendix p124 5 つめから 126 1 つめまでの問題を考えておいてください
- 第5回 【授業テーマ】 測れない母集団平均の信頼区間推定  
【内容・方法等】 テキストp36/18-p40/9  
【事前・事後学習課題】 Appendix p126 2 つめから 7 つめの問題を考えておいてください
- 第6回 【授業テーマ】 分子、DNA、モルルス信号のシステムなどのエントロピーという概念  
【内容・方法等】 テキストp40/10-p54  
【事前・事後学習課題】 Appendix p126 8 つめから p129 3 つめまでの問題を考えておいてください
- 第7回 【授業テーマ】 つるかめ算の延長でpH計算など  
【内容・方法等】 テキストp55-p64/10  
【事前・事後学習課題】 Appendix p129 4 つめから p130 8 つめまでの問題を考えておいてください
- 第8回 【授業テーマ】 1700年ごろの日本人の業績 行列計算で直接測定できないKaの推定、混成軌道の作成で分子の説明  
【内容・方法等】 テキストp64/11-p69  
【事前・事後学習課題】 Appendix p130 9 つめから p131 7 つめまでの問題を考えておいてください
- 第9回 【授業テーマ】 人体の数学モデル pH分配説、あてはめ式の有意確率など  
【内容・方法等】 テキストp70-p84  
【事前・事後学習課題】 Appendix p131 8 つめから p133 5 つめまでの問題を考えておいてください
- 第10回 【授業テーマ】 みえない化学反応説明の数学モデル  
【内容・方法等】 テキストp85-p91/15  
【事前・事後学習課題】 Appendix p123 6 つめから p134 7 つめまでの問題を考えておいてください
- 第11回 【授業テーマ】 測定値のグラフでの表示（直線表示）、物質収支式で人体モデル  
【内容・方法等】 テキストp91/16-p98  
【事前・事後学習課題】 Appendix p134 8 つめから p135 9 つめまでの問題を考えておいてください
- 第12回 【授業テーマ】 現象（反応速度）記述の連立微分方程式の近似解法（解の先取り）  
【内容・方法等】 テキストp99-p106  
【事前・事後学習課題】 Appendix p135 10 こめから p136 6 つめまでの問題を考えておいてください
- 第13回 【授業テーマ】 量子化学Shoredinger微分方程式のラプラス変換による簡単な代数的な解法の紹介  
【内容・方法等】 テキストp107-p112/11  
【事前・事後学習課題】 Appendix p136 7 つめから p137 8 つめまでの問題を考えておいてください
- 第14回 【授業テーマ】 人体モデル（コンパートメントモデル）での薬物投与に対する血中薬物濃度変化の推定のラプラス変換での簡単な代数的解法の紹介

- 【内容・方法等】 テキストp112/2-p116/11
  - 【事前・事後学習課題】 Appendix p137 9 つめから p138 4 つめまでの問題を考えておいてください
- 第15回 【授業テーマ】 拡散のノイエスホイトニー式、点滴投与での血中濃度変化のラプラス変換での簡単な代数的解法の紹介  
(a+b)2=a2+2ab+b2 knows best の種明かし  
【内容・方法等】 テキストp116/2-p121  
【事前・事後学習課題】 Appendix p138 5 つめ以降の問題を覚えておいてください

**評価方法（基準）**

毎回の提出物の評価点合計を70点満点、テキストと返却された自分の提出物参照許可の定期試験を30点満点として、合計60点以上を合格とします。定期試験不受験は成績評価できません。

**教材等**

教科書…Mathematical models & Pharmaceutical Sciences (a+b)2=a2+2ab+b2 knows best, Kaoru Tomura,PhD. in Eng.(Osaka Univ.),戸村芳単著 Industrial Publishing & Consulting Inc., ISBN 978-4-901493-62-8 (-13.0), ¥1200

参考書…指定はありませんが、配布プリントも活用してください。

**学生へのメッセージ**

これまでに修得なさった、数学、英語については、生理的に嫌悪なさる方もいるかと思えます。これらを違った観点から眺めて数学、英語は大切であることを感じてください。私は英語の専門ではありません。お詫びします。しかし、義務教育の英語だけで多くの方々が英語で発言しています。私もできます。みなさんもできます。良い意味で（大学らしい）楽しい授業にしたいと存じます。よろしく願います。

**関連科目**

あつかう分野は「物理化学」関連が多いですが、感性心理学などの関連も紹介します。

**担当者の研究室等**

枚方学舎 1号館2階 phone:072-866-3152 tomura@pharm.setsunan.ac.jp

**備考**

授業方法と留意点に記載した提出・返却物による、やりとり、を大切にします。

教養科目

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「芸術の鑑賞」				
No Name				
太田 義器 (オオタ ヨシキ)				
樋口 友紀 (ヒグチ ユキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

【授業概要】  
音楽、絵画、彫刻、陶芸、詩歌。芸術と一言で言っても、その範囲は広い。「芸術とは何か」と大上段から議論をするのではなく、芸術に親しむことを目指して、さまざまな芸術ジャンルの鑑賞の仕方をそれぞれのジャンルのプロに教えてもらい、また実際に、クラシック音楽、絵画、陶芸、日本の伝統芸能、演劇、書道などの演奏会や展覧会などに行つて鑑賞してもらおう。  
これまで芸術鑑賞に関心はあったけれども経験はないという人でも、芸術鑑賞を始められるように、芸術の楽しみ方について、初級レベルから説明します。たとえば、演奏会のチケットはどこで手に入ればいいのか、行くときの服装はどうしたらいいのか、など経験のない人が感じる不安や疑問など、あるいはそれぞれの芸術ジャンルの楽しみ方のポイントは何か、などについてわかりやすくお話いただきます。

教室での授業は8回、鑑賞は3回。

【目的】  
芸術の鑑賞を通じた人間性の陶冶

【到達目標】  
芸術を鑑賞できるようになる

【到達目標】  
芸術を鑑賞できるようになる

【到達目標】  
芸術を鑑賞できるようになる

【到達目標】  
芸術を鑑賞できるようになる

**授業方法と留意点**

授業の曜日時間は決まっていますが、どの日に何が取り上げられるかは、未定です。詳細については、前期中に発表します。鑑賞に行く際にかかる費用については、履修生の自己負担になります。(無料の音楽会等についての情報提供をする予定です。)

**科目学習の効果（資格）**

芸術を鑑賞し、人間性の涵養につながる

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 イントロダクション  
【内容・方法等】 この授業の進め方、スケジュール、評価方法についての説明  
【事前・事後学習課題】 【事後学習】「これまでの芸術鑑賞経験」



- をまとめて提出してもらいます。
- 第2回** 【授業テーマ】 専門家が教える芸術鑑賞(1)  
 【内容・方法等】 音楽、絵画、彫刻、陶芸、書道、日本の伝統芸能などの専門家が、毎回交代で、その芸術の楽しみ方がどのようなものか、初級者にもわかるように説明します。  
 具体的な分野と授業日は、前期中に発表します。  
 【事前・事後学習課題】 それぞれの専門家が指定する内容の事前事後学習があります。  
 詳細は、第一回目の授業で発表します。
- 第3回** 【授業テーマ】 専門家が教える芸術鑑賞(2)  
 【内容・方法等】 音楽、絵画、彫刻、陶芸、書道、日本の伝統芸能などの専門家が、毎回交代で、その芸術の楽しみ方がどのようなものか、初級者にもわかるように説明します。  
 具体的な分野と授業日は、前期中に発表します。  
 【事前・事後学習課題】 それぞれの専門家が指定する内容の事前事後学習があります。  
 詳細は、第一回目の授業で発表します。
- 第4回** 【授業テーマ】 専門家が教える芸術鑑賞(3)  
 【内容・方法等】 音楽、絵画、彫刻、陶芸、書道、日本の伝統芸能などの専門家が、毎回交代で、その芸術の楽しみ方がどのようなものか、初級者にもわかるように説明します。  
 具体的な分野と授業日は、前期中に発表します。  
 【事前・事後学習課題】 それぞれの専門家が指定する内容の事前事後学習があります。  
 詳細は、第一回目の授業で発表します。
- 第5回** 【授業テーマ】 専門家が教える芸術鑑賞(4)  
 【内容・方法等】 音楽、絵画、彫刻、陶芸、書道、日本の伝統芸能などの専門家が、毎回交代で、その芸術の楽しみ方がどのようなものか、初級者にもわかるように説明します。  
 具体的な分野と授業日は、前期中に発表します。  
 【事前・事後学習課題】 それぞれの専門家が指定する内容の事前事後学習があります。  
 詳細は、第一回目の授業で発表します。
- 第6回** 【授業テーマ】 専門家が教える芸術鑑賞(5)  
 【内容・方法等】 音楽、絵画、彫刻、陶芸、書道、日本の伝統芸能などの専門家が、毎回交代で、その芸術の楽しみ方がどのようなものか、初級者にもわかるように説明します。  
 具体的な分野と授業日は、前期中に発表します。  
 【事前・事後学習課題】 それぞれの専門家が指定する内容の事前事後学習があります。  
 詳細は、第一回目の授業で発表します。
- 第7回** 【授業テーマ】 専門家が教える芸術鑑賞(6)  
 【内容・方法等】 音楽、絵画、彫刻、陶芸、書道、日本の伝統芸能などの専門家が、毎回交代で、その芸術の楽しみ方がどのようなものか、初級者にもわかるように説明します。  
 具体的な分野と授業日は、前期中に発表します。  
 【事前・事後学習課題】 それぞれの専門家が指定する内容の事前事後学習があります。  
 詳細は、第一回目の授業で発表します。
- 第8回** 【授業テーマ】 専門家が教える芸術鑑賞(7)  
 【内容・方法等】 音楽、絵画、彫刻、陶芸、書道、日本の伝統芸能などの専門家が、毎回交代で、その芸術の楽しみ方がどのようなものか、初級者にもわかるように説明します。  
 具体的な分野と授業日は、前期中に発表します。  
 【事前・事後学習課題】 それぞれの専門家が指定する内容の事前事後学習があります。  
 詳細は、第一回目の授業で発表します。
- 第9回** 【授業テーマ】 芸術鑑賞体験①  
 【内容・方法等】 2014年内に3回、音楽会や展覧会などに実際に出かけて、芸術鑑賞体験をしてください。  
 鑑賞に行く日は、2014年度後期授業期間内の12月まで、いつでもかまいません。  
 鑑賞に行ったことがわかるように、パンフレットや写真などをレポートに添付してもらいます。  
 【事前・事後学習課題】 【事後学習】 2014年内に芸術鑑賞レポートを3回分提出してください
- 第10回** 【授業テーマ】 芸術鑑賞体験②  
 【内容・方法等】 2014年内に3回、音楽会や展覧会などに実際に出かけて、芸術鑑賞体験をしてください。  
 鑑賞に行く日は、2014年度後期授業期間内の12月まで、いつでもかまいません。  
 鑑賞に行ったことがわかるように、パンフレットや写真などをレポートに添付してもらいます。  
 【事前・事後学習課題】 【事後学習】 2014年内に芸術鑑賞レポートを3回分提出してください
- 第11回** 【授業テーマ】 芸術鑑賞体験③  
 【内容・方法等】 2014年内に3回、音楽会や展覧会などに実

- 際に出かけて、芸術鑑賞体験をしてください。  
 鑑賞に行く日は、2014年度後期授業期間内の12月まで、いつでもかまいません。  
 鑑賞に行ったことがわかるように、パンフレットや写真などをレポートに添付してもらいます。  
 【事前・事後学習課題】 【事後学習】 2014年内に芸術鑑賞レポートを3回分提出してください
- 第12回** 【授業テーマ】 芸術鑑賞体験②  
 【内容・方法等】 2014年内に3回、音楽会や展覧会などに実際に出かけて、芸術鑑賞体験をしてください。  
 鑑賞に行く日は、2014年度後期授業期間内の12月まで、いつでもかまいません。  
 鑑賞に行ったことがわかるように、パンフレットや写真などをレポートに添付してもらいます。  
 【事前・事後学習課題】 【事後学習】 2014年内に芸術鑑賞レポートを3回分提出してください
- 第13回** 【授業テーマ】 芸術鑑賞体験③  
 【内容・方法等】 2014年内に3回、音楽会や展覧会などに実際に出かけて、芸術鑑賞体験をしてください。  
 鑑賞に行く日は、2014年度後期授業期間内の12月まで、いつでもかまいません。  
 鑑賞に行ったことがわかるように、パンフレットや写真などをレポートに添付してもらいます。  
 【事前・事後学習課題】 【事後学習】 2014年内に芸術鑑賞レポートを3回分提出してください
- 第14回** 【授業テーマ】 芸術鑑賞体験③  
 【内容・方法等】 2014年内に3回、音楽会や展覧会などに実際に出かけて、芸術鑑賞体験をしてください。  
 鑑賞に行く日は、2014年度後期授業期間内の12月まで、いつでもかまいません。  
 鑑賞に行ったことがわかるように、パンフレットや写真などをレポートに添付してもらいます。  
 【事前・事後学習課題】 2014年内に芸術鑑賞レポートを3回分提出してください
- 第15回** 【授業テーマ】 総括  
 【内容・方法等】 この授業を通して学んだことについて情報交換をします。  
 【事前・事後学習課題】 【事前学習】「芸術鑑賞を体験して」というテーマで、授業全体の振り返りを報告してもらいますので、その準備をしてきてください。
- 評価方法(基準)**  
 鑑賞には3回行ってもらいます。  
 レポート(100%)で評価します。
- 教材等**  
 教科書…特になし  
 参考書…特になし
- 学生へのメッセージ**  
 2014年度から始まる新しい授業です。  
 ぜひ楽しみに来てください。
- 関連科目**  
 特になし
- 担当者の研究室等**  
 太田(7号館4階)  
 樋口(11号館7階)

**教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「チームビルディング」**  
 No Name

水野 武 (ミズノ タケシ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

- 授業概要・目的・到達目標**  
 成熟社会においては個人の力を集合させてプロジェクトを作り上げる「チームビルディングの思考や技術」を学ぶことが重要です。  
 本科目はチームビルディングの理論を学び、様々なアクティビティを通してチームに貢献する方法を考えられるようになるための授業です。  
 2 回生以降に摂南大学PBLプロジェクトを履修する際にも役立ちます。  
 学科の学習・教育目標との対応：[A]
- 授業方法と留意点**  
 講義は受講生によるアクティビティ・プレゼンテーション・シミュレーションソフトを活用したワークなどを織り交ぜて進めます。
- 科目学習の効果(資格)**  
 チームで物事を進める際の基礎知識が身につきます。
- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**  
**第1回** 【授業テーマ】 オリエンテーション  
 【内容・方法等】 ・講義の進め方

- ・なぜチームが必要なのかを知る
- ・チームビルディングとは何かを理解する
- 【事前・事後学習課題】 本科目のシラバスを精読してください
- 【授業テーマ】 チームビルディングとは何か
- 【内容・方法等】 ・第一回チーム分けとアクティビティ
  - ・チームビルディングの理論を学ぶ
  - ・チームビルディングのための技術を知る
- 【事前・事後学習課題】 チームにどのように貢献できるかを考えてください
- 第3回 【授業テーマ】 チームビルディング体験
- 【内容・方法等】 ・ペーパータワーワーク（予定）
  - ・チームの10カ条
 などに取り組み、チームビルディングを体験する
- 【事前・事後学習課題】 チームでの取り組みを振り返ってください
- 第4回 【授業テーマ】 シミュレーションソフトを活用したディスカッション①
- 【内容・方法等】 シミュレーションソフトを活用して情報の読み取りと活用、合意形成を学ぶ
- 【事前・事後学習課題】 配布資料を精読してください
- 第5回 【授業テーマ】 シミュレーションソフトを活用したディスカッション②
- 【内容・方法等】 シミュレーションソフトを活用して情報の読み取りと活用、合意形成を学ぶ
- 【事前・事後学習課題】 配布資料を精読してください
- 第6回 【授業テーマ】 シミュレーションソフトを活用したディスカッション③
- 【内容・方法等】 シミュレーションソフトを活用して情報の読み取りと活用、合意形成を学ぶ
- 【事前・事後学習課題】 配布資料を精読してください
- 第7回 【授業テーマ】 ビジネス記事を活用したディスカッション①
- 【内容・方法等】 記事を活用して情報の読み取りと活用、自分ならどうするかを考える
- 【事前・事後学習課題】 チームでのディスカッションを振り返ってください
- 第8回 【授業テーマ】 ビジネス記事を活用したディスカッション②
- 【内容・方法等】 記事を活用して情報の読み取りと活用、自分ならどうするかを考える
- 【事前・事後学習課題】 チームでのディスカッションを振り返ってください
- 第9回 【授業テーマ】 チームでプロジェクトを企画する
- 【内容・方法等】 ・第二回チーム分けとアクティビティ
  - ・チームでプロジェクトを企画する
- 【事前・事後学習課題】 チームにどのように貢献できるかを考えてください
- 第10回 【授業テーマ】 摂南大学PBLプロジェクトの紹介
- 【内容・方法等】 本学で開講されている摂南大学PBLプロジェクトの紹介
- 【事前・事後学習課題】 興味を持ったプロジェクトについて調べてください
- 第11回 【授業テーマ】 摂南大学PBLプロジェクトの紹介
- 【内容・方法等】 本学で開講されている摂南大学PBLプロジェクトの紹介
- 【事前・事後学習課題】 興味を持ったプロジェクトについて調べてください
- 第12回 【授業テーマ】 工程管理を意識したチームビルディング
- 【内容・方法等】 ビジネスゲームを題材にリソースとコスト、工程管理を意識したワークに取り組む
- 【事前・事後学習課題】 工程管理に関して調べて下さい
- 第13回 【授業テーマ】 プロジェクトのプレゼンテーション
- 【内容・方法等】 第9回目の課題の報告プレゼンテーション
- 【事前・事後学習課題】 プレゼンテーションの際に留意することを考えて下さい
- 第14回 【授業テーマ】 チーム力を上げる
- 【内容・方法等】 ・メンバーの力でチーム全体の力を上げる方法を考える
- 【事前・事後学習課題】 講義後日常生活で活かせるような箇所を実践してください
- 第15回 【授業テーマ】 講義のまとめと振り返り
- 【内容・方法等】 講義のおさらいと振り返りを行う
- 【事前・事後学習課題】 提出物などの出し忘れがないか確認してください
- 評価方法（基準）  
チームでの提出物30%、ワーク後の振り返りシート20%、授業態度20%、最終レポート30%で総合的に評価します。
- 教材等  
教科書…教科書…講義の中で必要に応じてレジュメを配布します。  
参考書…参考書…授業中に適宜、指示します。
- 学生へのメッセージ  
ワークやアクティビティが中心となる授業です。主体性を持って講義に挑んでください。
- 関連科目  
キャリアデザインⅠ・Ⅱ、摂南大学PBLプロジェクト

担当者の研究室等  
7号館3階 キャリア教育推進室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「ものづくりインターンシップ基礎」 No Name				
伊藤 譲 (イトウ ユズル)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

これから就職活動を始める学生（大学3年）を対象に、社会人として必要とされる規律やマナー、製造業など企業で働く上での基礎知識、課題を発見して解決する方法などを習得することを目的とする。履修後には、社会人・企業人としての役割および責任、仕事への情熱、創造的態度、自己の能力向上意欲が喚起されることを期待する。到達目標は、次のとおりである。  
 (1)社会人としてのマナーを身につける。(2)仕事の基本に関する知識を修得する。(3)環境問題/意識についての体験をする。(4)企業における品質問題を体験する。(5)原価管理の基礎知識を修得する。(6)PDCAサイクルによる課題解決を体験する。  
 学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**

パナソニック（株）より講師を招き、社会人・企業人としての基礎である知識と心がまえについて、パナソニック（株）の新入社員研修の方式に従い、講義に加えて具体事例演習を通じて体得させる。摂大教員も教室に常駐し、授業の補助と成績評価を分担する。授業は挨拶に始まり、挨拶で終わるので遅刻は厳禁です。なお、1～5回目までは120分授業（途中5分程度の休憩）とする。

**科目学習の効果（資格）**

社会が学生に何を求めているのかを体得し、職業意識を高め、自発的に能力向上を行えるようになる。就職後ただちに、社会人・企業人としての適切な行動が取れるようになる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 企業・製造業・仕事の基本とは①  
4月10日（木）  
【内容・方法等】 社会人としてのマナー、仕事に取組む基本姿勢の習得、および5S・安全・環境教育を通じて、社会人としての基礎知識を習得する  
【事前・事後学習課題】 企業・製造業・仕事の基本①の講義終了後、レポートを提出のこと（書式は別途）
- 第2回 【授業テーマ】 企業・製造業・仕事の基本とは②  
4月17日（木）  
【内容・方法等】 社会人としてのマナー、仕事に取組む基本姿勢の習得、および5S・安全・環境教育を通じて、社会人としての基礎知識を習得する  
【事前・事後学習課題】 ---
- 第3回 【授業テーマ】 企業・製造業・仕事の基本とは③  
4月24日（木）  
【内容・方法等】 社会人としてのマナー、仕事に取組む基本姿勢の習得、および5S・安全・環境教育を通じて、社会人としての基礎知識を習得する  
【事前・事後学習課題】 企業・製造業・仕事の基本②～③の講義終了後、レポートを提出のこと（書式は別途）
- 第4回 【授業テーマ】 企業・製造業・仕事の基本とは④  
5月8日（木）  
【内容・方法等】 社会人としてのマナー、仕事に取組む基本姿勢の習得、および5S・安全・環境教育を通じて、社会人としての基礎知識を習得する  
【事前・事後学習課題】 ---
- 第5回 【授業テーマ】 企業・製造業・仕事の基本とは⑤  
5月15日（木）  
【内容・方法等】 社会人としてのマナー、仕事に取組む基本姿勢の習得、および5S・安全・環境教育を通じて、社会人としての基礎知識を習得する  
【事前・事後学習課題】 企業・製造業・仕事の基本④～⑤の講義終了後、レポートを提出のこと（書式は別途）
- 第6回 【授業テーマ】 品質教育①  
5月22日（木）  
【内容・方法等】 企業活動の命運をにぎる品質問題について、品質管理の基礎からQC7つ道具の活用・具体実習等により、品質の重要性を体得する（座学と実習）  
【事前・事後学習課題】 ---
- 第7回 【授業テーマ】 品質教育②  
5月29日（木）  
【内容・方法等】 企業活動の命運をにぎる品質問題について、品質管理の基礎からQC7つ道具の活用・具体実習等により、品質の重要性を体得する（座学と実習）  
【事前・事後学習課題】 ---
- 第8回 【授業テーマ】 品質教育③



6月5日(木)  
**【内容・方法等】** 企業活動の命運をにぎる品質問題について、品質管理の基礎からQC7つ道具の活用・具体実習等により、品質の重要性を体得する(座学と実習)  
**【事前・事後学習課題】** 品質教育①～③の講義終了後、レポートを提出する(書式は別途)

**第9回 【授業テーマ】** 原価・コスト教育①  
 6月12日(木)  
**【内容・方法等】** 企業活動の根幹を成す原価についての基礎概念と原価管理の基礎知識を習得する  
**【事前・事後学習課題】** ---

**第10回 【授業テーマ】** 原価・コスト教育②  
 6月19日(木)  
**【内容・方法等】** 企業活動の根幹を成す原価についての基礎概念と原価管理の基礎知識を習得する  
**【事前・事後学習課題】** ---

**第11回 【授業テーマ】** 原価・コスト教育③  
 6月26日(木)  
**【内容・方法等】** 企業活動の根幹を成す原価についての基礎概念と原価管理の基礎知識を習得する  
**【事前・事後学習課題】** 原価・コスト教育①～③の講義終了後、レポートを提出する(書式は別途)

**第12回 【授業テーマ】** 課題解決教育①  
 7月3日(木)  
**【内容・方法等】** PDCAサイクルを回すことの重要性の習得により、課題形成力・問題解決力を強化する  
**【事前・事後学習課題】** ---

**第13回 【授業テーマ】** 課題解決教育②  
 7月10日(木)  
**【内容・方法等】** PDCAサイクルを回すことの重要性の習得により、課題形成力・問題解決力を強化する  
**【事前・事後学習課題】** ---

**第14回 【授業テーマ】** 課題解決教育③  
 7月17日(木)  
**【内容・方法等】** PDCAサイクルを回すことの重要性の習得により、課題形成力・問題解決力を強化する  
**【事前・事後学習課題】** 課題解決教育①～③の講義終了後、レポートを提出すること(書式は別途)  
 また、14回目までの講義を総括して、最終回での質問事項を考えておくこと

**第15回 【授業テーマ】** 全体討議・質疑応答  
 7月24日(木)  
**【内容・方法等】** 14回の講義を総括しての討議・質疑応答を実施する  
**【事前・事後学習課題】** 最終報告として受講レポートを提出する。

**評価方法(基準)**  
 課題レポート(6回)と受講レポート50%、授業姿勢(積極性)20%、全体討議(プレゼンテーション)10%、期末試験20%とした総合評価を行う。

**教材等**  
**教科書**…資料を配布する。  
**参考書**…なし

**学生へのメッセージ**  
 日本を代表する企業であるパナソニック(株)と共同で実施する研修を受講して、社会と企業は学生に何を求めているのかを知り、職業人としての基礎知識を身につけ、社会人になるための意識転換をしましょう。この科目を履修する学生は、この科目と「ものづくりインターンシップ実践」または「ものづくり海外インターンシップ」を同時に受講することが前提です。

**関連科目**  
 『ものづくりインターンシップ実践』または『ものづくり海外インターンシップ』を履修する学生は、必ずこの科目を履修すること。

**担当者の研究室等**  
 1号館3階 伊藤教授室

**備考**  
**【担当者】**  
 摂南大学：榊講師、白鳥講師、加嶋准教授、川野教授、横田講師、奥野教授、田中講師  
 パナソニック講師：佐藤哲志、山下秀行、福田祥一、高岡清

のづくりインターンシップ基礎』で学んだ内容をパナソニックのモノづくり現場で具体実習・実践することにより、更なる理解を進め、習得して自らの強みとすることを目的とする。  
 到達目標は以下のとおりである。  
 (1)生産革新・改善を体験する。(2)製造業の成り立ち・仕組みを体験する。(3)チームワーク・QC D問題を体験する。(4)パナソニックの工場を見学する。(5)研修成果を発表する。  
 学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**  
 『ものづくりインターンシップ基礎』で学んだ内容を体験するため、パナソニック(株)人材開発カンパニーで、計7日間の宿泊実習を行なう。また、事前指導として『ものづくりインターンシップ基礎』のまとめを行い、事後指導として実習で得られた成果の定着をはかるためにプレゼンテーションによる報告を行う。

**授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題**  
**直前指導**  
 ・1回目 インターンシップIのまとめ、インターンシップIIの準備 7/10(木) 6限目  
 ・2回目 インターンシップI全体討議プレゼンテーション指導 7/17(木) 6限目  
**宿泊実習(パナソニック人材開発カンパニー)**  
 ・1～3日目  
**【授業テーマ】**  
 生産革新演習  
**【内容・方法等】**  
 1個流しセル生産のロールプレイを通じて、生産革新実践・方法等を体得する。(グループ演習)  
**【事前・事後学習課題】**  
 演習終了後、レポートを提出のこと  
 ・4～5日目  
**【授業テーマ】**  
 モノづくりシュミレーション演習  
**【内容・方法等】**  
 四角錐製作を通じて、製造業の成り立ち・しくみを習得(設計→生産)し、目標達成のためのチームワーク・QC D問題意識の重要性を体得する。(グループ演習)  
**【事前・事後学習】**  
 演習終了後、レポートを提出のこと  
 ・6日目  
**【授業テーマ】**  
 工場見学  
**【内容・方法等】**  
 パナソニックのモノづくりを工場見学を通じて体得する。(2工場)  
**【事前・事後学習課題】**  
 見学終了後、レポートを提出のこと  
 ・7日目  
**【授業テーマ】**  
 研修成果報告会  
**【内容・方法等】**  
 研修成果報告会の実施。(グループ単位)  
**【事前・事後学習課題】**  
 グループ単位でプレゼン資料をまとめておくこと  
**実習中指導**  
 ・8月30日(土) 2～5限目 プレゼンテーション指導  
**実習後指導**  
 ・1回目 体験報告書の添削指導  
 ・2回目 研修成果報告会(2回目)に向けたプレゼンテーション指導  
 ・3回目 研修成果報告会(2回目)に向けたプレゼンテーション指導  
 ・4回目 研修成果報告会(2回目)  
 ・5回目 全体報告会 学生代表者の発表・質疑  
 ・6回目 全体報告会 企業管理者の講演と講評

**評価方法・評価基準**  
 実習成果40%、研修成果報告会(2回)20%、実習最終レポート10%、体験報告書10%、実習・授業態度20%とした総合評価を行なう。

**教材等**  
**教科書**…資料を配布する  
**参考書**…なし

**備考**  
**【注意事項】**  
 期間：2014年 8月25日(月)～8月29日(金)、9月1日(月)～9月2日(火) パナソニック(株)人材開発カンパニーでの宿泊研修です。8月30日(土)には摂大でプレゼン資料を作成します。その間、パナソニック(株)社員の朝礼、ランニングにも参加します。ジーンズ、スリッパは禁止。ランニングできる履物、着替えが必要です。学生負担金・食費等は別途徴収します。  
**【担当者】**  
 摂南大学：榊講師、白鳥講師、加嶋准教授、川野教授、横田講師、奥野教授、田中講師  
 パナソニック講師：佐藤哲志、高岡清、熊本義久

**教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「ものづくりインターンシップ実践」**  
 No Name

伊藤 譲(イトウ ユズル)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		集中	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**  
 『ものづくりインターンシップ基礎』の実践コースである。『も

## 教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「ものづくり海外インターンシップ」

No Name

川野 常夫 (カワノ ツネオ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		集中	選択	2

### 授業概要・目的・到達目標

日本の企業がますますグローバル化する中で、国際的視野と素養を身に付けた人材はますます必要となる。本科目は、「ものづくり海外インターンシップ」と呼び、世界展開をしている「ものづくり企業」の海外工場において具体的に実習体験をすることにより、グローバル企業の現状を理解するとともに、自らの視野と経験を広げることを目的とする。研修先はとりわけ東南アジアの企業とする。到達目標は以下のとおりである。(1)グローバル企業の現状が理解できる。(2)海外でのものづくりの工程を体験できる。(3)チームワークを体験できる。(4)国際的視野を広げられる。(5)研修成果が発表できる。

学科の学習・教育目標との対応：[A]

### 授業方法と留意点

東南アジアは、フィリピンとタイを予定している。受講者はいずれかを選択し、どちらかの企業において、本学の夏休み中に往復を含めて計10日間(予定)の現場実習を行う。事前指導として実施企業や語学(英語)について予習を行い、事後指導として実習で得られた成果の定着をはかる。「ものづくり企業」での研修であるが、専門知識は特に必要としないので、参加学生は専門分野も、文系・理系も問わない。また男女も問わない。実習先の受け入れ人数に制限があるため、希望者多数の場合は理工学部インターンシップ委員会において選定する。

### 授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

直前指導

- ・1回目 海外実習の準備 7/10(木) 6限目
- ・2回目 全体報告会に向けたプレゼンテーション指導 7/17(木) 6限目
- ・3回目 海外で実習するための事前指導

海外実習

・1～2日目

【授業テーマ】移動、オリエンテーション

【内容・方法等】研修先企業の概要、オリエンテーション、語学(英語)研修など

【事前・事後学習課題】実習終了後、レポートを提出のこと

・3日目

【授業テーマ】企画・設計部門実習

【内容・方法等】ものづくり工程の川上である企画・設計部門において、その役割、重要性などを体得する。(グループ演習)

【事前・事後学習】実習終了後、レポートを提出のこと

・4～5日目

【授業テーマ】工場見学会、交流会

【内容・方法等】関連工場の見学、現地従業員との交流会に参加する。交流会では、英語によるコミュニケーションを行う。

【事前・事後学習課題】交流会終了後、レポートを提出のこと

・6～8日目

【授業テーマ】加工部門、組立部門、検査・品質管理・出荷部門実習

【内容・方法等】ものづくり工程の中流、下流である製造、組立、検査部門について、その役割、重要性などを体得する。(グループ演習)

【事前・事後学習課題】実習終了後、レポートを提出のこと

・9～10日目

【授業テーマ】研修成果報告会、移動

【内容・方法等】グループ単位でPPTでプレゼン

【事前・事後学習課題】実習終了後、最終レポートを提出のこと

実習後指導

・1回目 最終レポート(体験報告書)の添削指導

・2回目 研修成果報告会(2回目)に向けたプレゼンテーション指導

・3回目 全体報告会 学生代表者の発表・質疑

・4回目 全体報告会 企業管理者の講演と講評

### 評価方法・評価基準

実習成果40%、研修成果報告会(2回)20%、実習最終レポート10%、体験報告書10%、実習・授業態度20%として評価を行う。

### 教材等

教科書…必要時にプリント等を配布する。

参考書…内永ゆか子：日本企業が欲しが「グローバル人材」の必須スキル、朝日新聞出版(2011/9/7)

### 備考

【注意事項】研修予定期間：2014年8月中旬(研修先の都合により変更する場合があります。)

航空運賃、宿泊費、保険代などは自己負担となります。

【共同担当者】白鳥講師



**教師論**  
Teacher Education

朝日素明 (アサヒ モトアキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	教免取得上 必修	2

**授業概要・目的・到達目標**

教職に関する理解を深め、自己の適性を見つめ直し、最終的に教職をめざすことについて主体的な進路選択を行うための判断材料を提供します。学生は、「教職の意義とは何か」「教師の役割や責任は何か」「教師の職務とはどのようなものか」「教師として生きるとはどのようなことか」などについて基礎的な知識を獲得し、「自分は教師に向いているのか」「自分はどのような教師をめざすのか」などの意思決定ができるようになります。

**授業方法と留意点**

講義を中心に、グループワーク等も織り交ぜて授業を進めます。また適宜、レポートを課します。「未来ポートフォリオ」を通じて資料配布、課題・レポートの提示・提出、ディスカッションをします。「事前・事後学習課題」はすべて事前課題です。事後課題については別途、指示します。

**科目学習の効果（資格）**

教員免許取得上必修  
【免許法施行規則に定める科目区分】  
科目：教職の意義等に関する科目  
各科目に含める必要事項：教職の意義及び教員の役割・教員の職務内容（研修、勤務及び身分保障等を含む）・進路選択に資する各種の機会の提供等

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション  
教職への道  
【内容・方法等】 科目概要・「未来ポートフォリオ」の使用について説明  
自らの学校・生徒体験、心に残る教師等についてのふりかえり  
教職課程の履修動機  
教師になることの意味  
【事前・事後学習課題】 「未来ポートフォリオのリマインダ設定」  
本科目のシラバスの熟読
- 第2回 【授業テーマ】 教職の成立とその意義  
【内容・方法等】 公教育の成立  
教職の誕生  
戦前の教員養成  
【事前・事後学習課題】 テキスト第1章
- 第3回 【授業テーマ】 教師教育と教職の専門性（1）  
【内容・方法等】 教員への道  
戦後教員養成の原則と制度  
教員免許制度の確立  
【事前・事後学習課題】 テキスト第10章
- 第4回 【授業テーマ】 教師教育と教職の専門性（2）  
【内容・方法等】 教員免許制度の新たな展開  
教員採用の動向と採用試験  
【事前・事後学習課題】 テキスト第4章・第12章
- 第5回 【授業テーマ】 教師教育と教職の専門性（3）  
【内容・方法等】 教員の研修の意義  
教員の研修の種類と体系  
【事前・事後学習課題】 テキスト第3章
- 第6回 【授業テーマ】 教師教育と教職の専門性（4）  
【内容・方法等】 法定研修  
教員の自己研修  
【事前・事後学習課題】 教員研修体系に関する配布資料  
テキスト第11章
- 第7回 【授業テーマ】 さまざまな教師像（1）  
【内容・方法等】 戦前・戦後の教師像  
憧れの教師  
【事前・事後学習課題】 テキスト第2章・終章
- 第8回 【授業テーマ】 さまざまな教師像（2）  
【内容・方法等】 「不良教師」（文献・映像に基づく教師像の探究）  
【事前・事後学習課題】 「不良教師」に関する配布資料
- 第9回 【授業テーマ】 さまざまな教師像（3）  
【内容・方法等】 「熱血教師」（文献・映像に基づく教師像の探究）  
【事前・事後学習課題】 「熱血教師」に関する配布資料
- 第10回 【授業テーマ】 さまざまな教師像（4）  
【内容・方法等】 「人間教師」（文献・映像に基づく教師像の探究）  
【事前・事後学習課題】 「人間教師」に関する配布資料
- 第11回 【授業テーマ】 さまざまな教師像（5）  
【内容・方法等】 「プロ教師」（文献・映像に基づく教師像

- の探究）  
【事前・事後学習課題】 「プロ教師」に関する配布資料  
【授業テーマ】 教員の役割・職務（1）  
【内容・方法等】 教室における指導者の視点からみた教員の役割・職務  
【事前・事後学習課題】 テキスト第5章・第8章
- 第13回 【授業テーマ】 教員の役割・職務（2）  
【内容・方法等】 学校組織の構成員の視点からみた教員の役割・職務  
【事前・事後学習課題】 テキスト第7章  
教職員の構成と校務分掌に関する配布資料
- 第14回 【授業テーマ】 教員の役割・職務（3）  
【内容・方法等】 教員の任用と身分  
教員の勤務と身分保障  
教員の勤務条件  
【事前・事後学習課題】 教員の任用・勤務等に関する配布資料
- 第15回 【授業テーマ】 教員の役割・職務（4）  
【内容・方法等】 教員のメンタルヘルス、バーンアウト  
教育改革と教員  
【事前・事後学習課題】 テキスト第9章
- 評価方法（基準）  
定期試験を実施します。その他、レポートの内容、受講に係る積極的態度も成績判定の資料とします。

**教材等**

教科書…佐島群巳・小池俊夫『新版 教職論』学文社（1,600円＋税）

参考書…授業中に適宜、指示します。

**学生へのメッセージ**

教職について考えることは教育について考えることであり、「教え」「学び」「育ち」を含む「生き方」について考えることになります。教養をもとに、広い視野で物事を捉える習慣を身につけましょう。  
遅刻・早退等は厳禁です。教師を目指す者としての資質が問われます。

**関連科目**

教職科目全般、とりわけ「教育原理」「教育経営論」「教育課程論」「教育方法論」「生徒指導論」に関連する事柄を含みます。

**担当者の研究室等**

7号館3階 朝日研究室

**備考**

「未来ポートフォリオ」のリマインダを、すべてを受信するよう設定し、情報を確実に受け取ることができるようにしておきましょう。

**教育原理**

Educational Principles

村田俊明 (ムラタ トシアキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	教免取得上 必修	2

**授業概要・目的・到達目標**

人間形成は、自立を促すプロセスである。人間の発達は誕生と同時に始まるが、保護と養育、しつけと教育という意図的な営為のうちに、教育の意義が認められる。もし教育がなされなければ、どうなるかは野性児の記録が示す通りであり、教育によつてのみ人間になれるのである。人間にとっての教育の必要性和可能性について検討していく。また、教育がめざすものは何か。のぞましい人間とはどのような人間かなどについて考えていく。その他教育がめざしてきた人間像や教育基本法などについて考えていく。

**授業方法と留意点**

初めて教育学を学ぶ教職履修学生に、教育の諸原理を講述する形で進めるが、可能な限り、受講生の意見や感想、あるいは質問に答えていきたい。

**科目学習の効果（資格）**

（1）高等学校教諭1種免許状 （2）中学校教諭1種免許状の取得 （3）学芸員資格の取得に必要です。  
【免許法施行規則に定める科目区分】  
科目：教育の基礎理論に関する科目  
各項目に含める必要事項：教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 教育とは何かを考える  
【内容・方法等】 （1）オリエンテーション-教職課程と履修動機- （2）教育の意味-自らの経験に学ぶ- （3）「学ぶ」立場から「教える」立場へ  
【事前・事後学習課題】 予習：自分にとって「教育とは何か」について考えておく。
- 第2回 【授業テーマ】 人間形成のしくみを考える

教職科目

- 【内容・方法 等】** (1) 教育の必要性と可能性 (2) 野生児の記録
- 【事前・事後学習課題】** 予習：もし教育を受けることがなかったなら、どのようになるかについて考え、まとめておく。
- 第3回 【授業テーマ】** 人間形成のしくみを考える
- 【内容・方法 等】** (1) 教育・教化・形成 (2) 人間形成と発達課題 (3) からだと心の教育 (4) ことばと文化の学習
- 【事前・事後学習課題】** 予習：現代の発達課題について考え、まとめる。
- 第4回 【授業テーマ】** わが国における教育としつけを考える
- 【内容・方法 等】** (1) 子どもの社会化 (2) しつけと教育
- 【事前・事後学習課題】** 予習：しつけのいまと昔についてまとめておく。
- 第5回 【授業テーマ】** 教育の思想－教育はどう考えられてきたか－(1)
- 【内容・方法 等】** ソクラテスの産婆術とソフィストの講演、暗記と体罰の教育、コメニウスの感覚主義的教育と「世界図絵」について知る。
- 【事前・事後学習課題】** 予習：教科書「教育の思想－教育はどう考えられてきたか－」を読んでおく。
- 第6回 【授業テーマ】** 教育の思想－教育はどう考えられてきたか－(2)
- 【内容・方法 等】** ロック、ルソー、ペスタロッチ、フレーベルからデューイに至る教育思想の系譜をたどり、近代教育思想の礎となった教育思想家に学ぶ。
- 【事前・事後学習課題】** 復習：近代の教育思想と教育思想家の業績をまとめる。
- 第7回 【授業テーマ】** 教育の思想－わが国の近代化と教育の関係を学ぶ。
- 【内容・方法 等】** 福沢諭吉と「学問のすすめ」、森有礼と「学校令」、澤柳政太郎と開智学校など、わが国教育の近代化につくした教育家の思想と業績を知る。
- 【事前・事後学習課題】** 復習：近代の教育思想と教育思想家について感想をまとめ提出する。
- 第8回 【授業テーマ】** 教育の理念と目的について考える (1)
- 【内容・方法 等】** (1) 「学制」と「被仰出書」 (2) 教育勅語
- 【事前・事後学習課題】** 予習：予習：わが国近代教育の理念を確認する。
- 第9回 【授業テーマ】** 教育の理念と目的について考える (2)
- 【内容・方法 等】** (1) 憲法の教育規定 (2) 教育基本法を学ぶ－旧法・新法の比較を通して－ (3) 学校教育法と教育の機会均等
- 【事前・事後学習課題】** 予習：現行教育基本法の内容を確認する。
- 第10回 【授業テーマ】** 学校の歴史的な意味と課題を考える
- 【内容・方法 等】** (1) 学校とは何か (2) 学校の発達 (3) 学校教育の展開と二つの歴史のエポック
- 【事前・事後学習課題】** 予習：学校制度の発展について、何が分かったかをまとめる。
- 第11回 【授業テーマ】** 教育の再生と学校改革
- 【内容・方法 等】** (1) 教育改革の系譜 (2) 自律的学校の創造 (3) 「生きる力」と学力向上
- 【事前・事後学習課題】** 予習：現代学校改革の課題についてレポートする。
- 第12回 【授業テーマ】** 「教えること」と「学ぶこと」について考える
- 【内容・方法 等】** (1) 教える・学ぶの成立条件 (2) 「学ぶ力」と「生きる力」
- 【事前・事後学習課題】** 予習：「教えること」と「学ぶこと」についての体験をまとめておく。
- 第13回 【授業テーマ】** 授業とは何かを考える
- 【内容・方法 等】** (1) 授業をつくる (2) 授業と教材 (3) 授業の形態と技術 (4) 授業と評価 (5) 教育評価の意味を考える
- 【事前・事後学習課題】** 予習：理想的な授業の条件についてまとめておく。
- 第14回 【授業テーマ】** 教師のしごとについて考える
- 【内容・方法 等】** (1) 教師のしごと (2) 子どもとの信頼関係 (3) 教育公務員としての教師 (4) 教師の成長と同僚
- 【事前・事後学習課題】** 予習：教師のしごとにとって大事なことは何であるかをまとめておく。
- 第15回 【授業テーマ】** 討論と反省
- 【内容・方法 等】** 討論 教育原理を学んで得た新たな知見について
- 【事前・事後学習課題】** 復習：二年度以降の教育学学習の課題を明確にする。
- 評価方法 (基準)**  
定期試験成績、レポートの成績による総合評価を行う。
- 教材等**  
教科書…村田俊明 橋本はる美『教育探求の基礎』(税務経理協

会)、2012年、2800円(本体)  
**参考書**…J.A.L.シング『狼に育てられた子』(福村出版) 1470円  
 平沢茂編著『教育の方法と技術』(図書文化) 2000円  
 小林恵『「学習指導要領」の現在』(学文社) 2800円

**学生へのメッセージ**

- ①自分の学習体験等を思い出してほしい。
- ②教育関係の新聞報道等に常に関心を持ってほしい。
- ③講義中に紹介する本も読んでほしい。

**関連科目**

「教育原理」「教育社会学」「道徳教育の研究」「教育心理学」「生徒指導論」「教育相談」「教育経営論」「教育実習Ⅰ」「教職実践演習」「各教科教育法」

**担当者の研究室等**

7号館3階(村田研究室)

教育心理学 Educational Psychology				
吉田 佐治子 (ヨシダ サチコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	教免取得上 必修	2

**授業概要・目的・到達目標**

学校での教育活動において、教師の果たす役割は大きい。学習の質を高めるために、教師が学習者を理解し、様々な形で援助していくためにはどうすればよいのか、それを考えていくにあたって必要な、基本的な知識を身につけることを目標とし、特に、認知的な側面に焦点を当てて議論していく。具体的には、教育について考える際に、ある意味基本となる「発達と学習」、学習者が主体的に学ぶための「学習意欲」、個人差の理解、障害の理解と特別支援教育について考える「個に応じた教育」を中心とする。また、学校を学習の場としてとらえたときの「人間関係」についてもふれることとする。

**授業方法と留意点**

講義形式で行う。

**科目学習の効果 (資格)**

教員免許状取得上必修。免許法施行規則に定められた「教育の基礎理論に関する科目」6単位のうち2単位を充足。  
 【免許法施行規則に定める科目区分】  
 科目：教育の基礎理論に関する科目  
 各科目に含める必要事項：幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む)。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】** 発達と教育と心理学と  
**【内容・方法 等】** 教育に対して心理学ができること、発達と教育  
**【事前・事後学習課題】** \_\_\_\_\_
- 第2回 【授業テーマ】** 教育を支える認知発達1  
**【内容・方法 等】** 思考(1)……人間の思考の特徴  
**【事前・事後学習課題】** テキスト第8章、第9章を読む
- 第3回 【授業テーマ】** 教育を支える認知発達2  
**【内容・方法 等】** 思考(2)……思考の発達、メタ認知  
**【事前・事後学習課題】** テキスト第7章の1、第8章、第9章を読む
- 第4回 【授業テーマ】** 教育を支える認知発達3  
**【内容・方法 等】** 言語(1)……言語の機能、言語の発達  
**【事前・事後学習課題】** テキスト第9章の2、第11章を読む
- 第5回 【授業テーマ】** 教育を支える認知発達4  
**【内容・方法 等】** 言語(2)……文章理解  
**【事前・事後学習課題】** テキスト第11章を読む
- 第6回 【授業テーマ】** 教育を支える認知発達5  
**【内容・方法 等】** 記憶(1)……記憶のメカニズム  
**【事前・事後学習課題】** テキスト第4章、第5章を読む
- 第7回 【授業テーマ】** 教育を支える認知発達6  
**【内容・方法 等】** 記憶(2)……記憶の発達  
**【事前・事後学習課題】** テキスト第4章、第5章を読む
- 第8回 【授業テーマ】** こどもの学び1  
**【内容・方法 等】** 様々な学習(1)……学習とは何か、古典的条件づけ  
**【事前・事後学習課題】** テキスト第1章を読む
- 第9回 【授業テーマ】** こどもの学び2  
**【内容・方法 等】** 様々な学習(2)……道具的条件付け、観察学習  
**【事前・事後学習課題】** テキスト第1章を読む
- 第10回 【授業テーマ】** 学習を支える動機づけ1  
**【内容・方法 等】** 意欲とは何か……動機づけ過程、期待×価値理論、学習性無力感  
**【事前・事後学習課題】** テキスト第2章、第3章を読む
- 第11回 【授業テーマ】** 学習を支える動機づけ2



**第12回** 【内容・方法等】さまざまな学習意欲(1)……外発的動機づけ  
【事前・事後学習課題】 テキスト第2章、第3章を読む  
【授業テーマ】 学習を支える動機づけ3

**第13回** 【内容・方法等】さまざまな学習意欲(2)……内発的動機づけ  
【事前・事後学習課題】 テキスト第2章、第3章を読む  
【授業テーマ】 学習を支える動機づけ4  
【内容・方法等】 学習意欲を育むために……報酬と罰、評価、目標、教師の対応  
【事前・事後学習課題】 テキスト第0章の2、第2章、第3章を読む

**第14回** 【授業テーマ】 個に応じた教育1  
【内容・方法等】 個人差の理解と教育……ATI、学習方略  
【事前・事後学習課題】 テキスト第0章の3、第6章を読む

**第15回** 【授業テーマ】 個に応じた教育2  
【内容・方法等】 「障害」の理解と特別支援教育  
【事前・事後学習課題】 テキスト第13章を読む

評価方法(基準)  
小テスト30% 期末試験70%

教材等  
教科書…「絶対役立つ教育心理学～実践の理論、理論を実践～」  
藤田哲也(編著) ミネルヴァ書房(2800円)  
参考書…授業の中で随時紹介する。

学生へのメッセージ  
これまで受けてきた教育を思い出してください。また心理学の用語の中には、日常的に遣われているのとやや異なる意味で用いられるものがあることに留意してください。

関連科目  
心理学  
担当者の研究室等  
7号館3階(吉田研究室)

教育社会学 Sociology of Education				
村田俊明(ムラタ トシアキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	教免取得上 選択必修	2

#### 授業概要・目的・到達目標

教育社会学は、社会的事実としての教育の営みを社会的に研究する方法学である。講義は、主に教科書の内容に沿って、基本的概念や予備知識について講述する「基礎」とデータ分析を中心に行う「応用」から構成する。教育社会学が方法学であるといっても、具体的研究対象・内容とは密接に関連するものであるから、教育の人間形成作用・社会化機能を縦軸に据え、教育社会学の多様な研究対象・内容のうち、現代教育制度改革・学校改革問題、わが国の教員集団と教員問題などを取り上げ、文科省の教員統計調査データ等を拠りに分析・検討し、教育社会学の見方と方法を学ぶ。

#### 授業方法と留意点

教育社会学の講義は、まず教科書の内容に沿って基本的概念や予備知識について講述する。受講生には意見発表等を求めるので、教科書を予習し、各章の問題点や意見を明らかにしておく。「基礎」「応用」とも、個人あるいはグループでデータを分析し、その結果について発表する。なお、パソコンを活用してデータの検索や分析を行う。

#### 科目学習の効果(資格)

(1) 高等学校教諭1種免許状 (2) 中学校教諭1種免許状の取得に必要です。

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：教育の基礎理論に関する科目

各科目に含める必要事項：教育に関する社会的、制度的又は経営的事項

#### 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

**第1回** 【授業テーマ】 基礎 教育社会学とは何か  
【内容・方法等】 (1) 教育社会学の課題と方法を知る  
(2) 教育社会学と社会化研究の意味を知る  
【事前・事後学習課題】 事前課題：教科書(1-教育社会学とは)「14-教育社会学の技法」を読んでくる。

**第2回** 【授業テーマ】 基礎 現代社会と学校  
【内容・方法等】 (1) 学校教育の拡大と学校化の病理を考える  
(2) 教育の機会均等の実現-「量」から「質」への転換-  
(3) 社会化環境としての分節型社会の特徴を理解する  
【事前・事後学習課題】 事前課題：教科書(6-学校制度の社会学)を読んで、問題点をまとめてくる。

**第3回** 【授業テーマ】 基礎 階層・学歴・職業  
【内容・方法等】 (1) 高等教育の発展段階論-ユニバーサル段階の教育課題について考える-  
(2) 学歴社会を考える-学校の社会化、選抜・配分、正当

化機能を考える-

**第4回** 【事前・事後学習課題】 事前課題：教科書(「10-学校の社会的機能」「11-高等教育の社会学」「12-階層・学歴・職業」)を読んで、問題点をまとめてくる。  
【授業テーマ】 基礎 学校空間と教育的知識  
【内容・方法等】 カリキュラム・教育的知識と社会化環境としての学校空間の意味を考える  
【事前・事後学習課題】 事前課題：教科書(「7-教室空間・学校空間と教育過程」「8-カリキュラムと教育的知識」「9-学校の組織と文化」)を読んで、問題点をまとめてくる。

**第5回** 【授業テーマ】 基礎 現代社会の変貌と教育  
【内容・方法等】 高度情報社会の教育と社会化について考える  
【事前・事後学習課題】 事前課題：教科書(「3-社会化環境の構造変容」)を読んで、問題点をまとめてくる。

**第6回** 【授業テーマ】 基礎 教育改革の動向と課題  
【内容・方法等】 わが国の教育改革がめざしてきたもの、世紀転換期における教育改革動向と課題について知る  
【事前・事後学習課題】 事前：教科書(13-教育改革と学習社会)を読んで、問題点をまとめてくる。

**第7回** 【授業テーマ】 応用 教育改革の動向と課題(1)  
【内容・方法等】 教育制度改革・学校改革について考える-学力テストと「脱ゆとり」に焦点をあてて-  
【事前・事後学習課題】 事前課題：文部科学省のホームページなどを参照して、何が問題となっているかを調べておく。事後課題：配布データから、わかったことをレポートする。

**第8回** 【授業テーマ】 応用 教育改革の動向と課題(2)  
【内容・方法等】 教育制度改革・学校改革について考える-学校教育制度の改革に焦点をあてて-  
【事前・事後学習課題】 事前課題：文部科学省のホームページなどを参照して、何が問題となっているかを調べておく。事後課題：配布データから、わかったことをレポートする。

**第9回** 【授業テーマ】 応用 教育改革の動向と課題(3)  
【内容・方法等】 教育制度改革・学校改革について考える-教育委員会改革に焦点をあてて-  
【事前・事後学習課題】 事前課題：文部科学省のホームページなどを参照して、何が問題となっているかを調べておく。事後課題：配布データから、わかったことをレポートする。

**第10回** 【授業テーマ】 応用 教員問題を検証する(1)  
【内容・方法等】 (1) 教員問題の系譜と現在を知る  
(2) 日本の教師集団を検討する-都道府県別・学校種別・年齢別・性別・職位別教員構成の分析を通して-  
【事前・事後学習課題】 事後課題：配布データから、わかったことをレポートする。

**第11回** 【授業テーマ】 応用 教員問題を検証する(2)  
【内容・方法等】 (3) 求められる教師と教員養成、教員の需給関係、教員養成と教員採用を考える  
【事前・事後学習課題】 事後課題 配布データからわかったことをレポートする。

**第12回** 【授業テーマ】 応用 教員問題を検証する(3)  
【内容・方法等】 (4) 学校改善と学校評価を考える-学校管理職調査データから-  
【事前・事後学習課題】 事後課題 配布データからわかったことをレポートする。

**第13回** 【授業テーマ】 応用 教員問題を検証する(4)  
【内容・方法等】 (5) 学校評価の事例研究-A中学校の学校教育点検・評価の実際を検討する-  
【事前・事後学習課題】 事後課題 配布データからわかったことをレポートする。

**第14回** 【授業テーマ】 応用 教員問題を検証する(5)  
【内容・方法等】 (6) 教員評価を考える-学校管理職調査データから-  
【事前・事後学習課題】 事後課題 配布データからわかったことをレポートする。

**第15回** 【授業テーマ】 全体検討 学校・教師をめぐる諸問題と教育社会学研究について  
【内容・方法等】 まとめ 学校・教師をめぐる諸問題の構造的関連性を理解し、残された課題を明らかにする。  
【事前・事後学習課題】 事後課題 「基礎・応用」を通じて関心をもったこと・わかったこと、新たに発見した課題をレポートをまとめる。

評価方法(基準)  
定期試験成績、課題発表、レポートの成績による評価を行う。

教材等  
教科書…天野郁夫、藤田英典、荻谷剛彦『改訂版 教育社会学』(放送大学教育振興会)、2010年、2200円(本体)  
参考書…文部科学省『学校教員統計調査報告書(平成22・25年度)』国立印刷局、6000円  
小林恵『学習指導要領の現在』(学文社)2800円  
村田俊明『学校経営研究のポリフォニー』(税務経理協会)、2013年、1800円

学生へのメッセージ  
文部科学省のホームページ、新聞等の教育関係の報道に関心を

持つ。レポートの提出、発表を求める。

関連科目

「教育原理」「教育社会学」「道德教育の研究」「教育心理学」「生徒指導論」「教育相談」「教育経営論」「教育実習Ⅰ」「教職実践演習」「各教科教育法」

担当者の研究室等

7号館3階(村田研究室)

備考

共同担当者 橋本はる美

教育経営論

Studies of Educational Administration

朝日素明(アサヒ モトアキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	教免取得上 選択必修	2

授業概要・目的・到達目標

本科目では、公教育システムに関してなじみの深い事例を参照し、そこから政策や法制、機構、理論や論争、現実や実態を明らかにし、検討していきます。これを通して、私たちにとってはあたりまえで意識することもないような、学校教育を中心とした公教育システムのしくみやはたらきについて理解します。具体的には、例えば「何をどう教えるのか」という内容的・技術的な事柄も、実はさまざまな制度やその運用の仕方などによって決められている様子がわかります。

授業方法と留意点

プレゼンテーションソフトを用いた講義のほか、テキスト・資料の事前学習に基づくディスカッション(LTD: Learning Through Discussion)等のグループワークも織り交ぜて授業を進めます。事前学習は必須です。「未来ポートフォリオ」を通して資料配布、課題・レポートの提示・提出のほか、ディスカッションもします。「事前・事後学習課題」はすべて事前学習課題です。事後学習課題については別途、指示します。

科目学習の効果(資格)

教員免許取得上選択必修であり、可能な限り修得することが望ましい科目  
【免許法施行規則に定める科目区分】  
科目：教育の基礎理論に関する科目  
各科目に含める必要事項：教育に関する社会的、制度的又は経営的事項

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション  
公教育とは  
【内容・方法等】 授業概要、方法としてのLTD、「未来ポートフォリオ」の使用について説明  
公教育の成立前史  
教育における「公」と「私」  
【事前・事後学習課題】 「未来ポートフォリオ」のリマインダを設定しておく。
- 第2回 【授業テーマ】 教育権の構造  
【内容・方法等】 「教育をする権利」「教育を受ける権利」「学習する権利」  
教育権論争について簡単なグループワーク  
【事前・事後学習課題】 テキスト第3章1節を読んでくる。
- 第3回 【授業テーマ】 教育を受ける権利の保障  
【内容・方法等】 教育の制度原理  
「義務制」「無償制」にかかわって簡単なグループワーク  
【事前・事後学習課題】 テキスト第3章2節を読んでくる。
- 第4回 【授業テーマ】 学校体系のしくみ  
【内容・方法等】 段階性、系統性  
学校体系の類型  
学校の種類と設置者  
【事前・事後学習課題】 テキスト第7章1・2節を読んでくる。
- 第5回 【授業テーマ】 学校体系の現代的課題  
【内容・方法等】 選別・分離と接続・統合  
「選抜・選別」について簡単なグループワーク  
【事前・事後学習課題】 テキスト第3章3節を読んでくる。  
学校の機能に関する配布資料を読んでくる。
- 第6回 【授業テーマ】 教育条件整備の法制度と新しい動向  
【内容・方法等】 公教育を支える諸条件とは  
条件整備はどのようになされるか  
学校の「適正規模」「適正配置」にかかわって簡単なグループワーク  
【事前・事後学習課題】 テキスト第7章2・3節を読んでくる。  
学校統廃合に関する配布資料を読んでくる。
- 第7回 【授業テーマ】 学校の組織管理  
【内容・方法等】 教職員配置と組織編制  
【事前・事後学習課題】 テキスト第4章1・2節を読んでくる。

- 第8回 【授業テーマ】 学校経営の新しい動向  
【内容・方法等】 「開かれた学校」  
学校評議員制度、学校運営協議会制度  
地域運営学校について簡単なグループワーク  
【事前・事後学習課題】 テキスト第4章3・4節を読んでくる。  
コミュニティスクールまたは学校参加に関する配布資料を読んでくる。
  - 第9回 【授業テーマ】 教育課程経営  
【内容・方法等】 学習指導要領の性質と特徴の変遷  
学力論争と教育評価論  
学力低下論争をめぐって簡単なグループワーク  
【事前・事後学習課題】 テキスト第10章1・2節を読んでくる。  
学力低下論争に関する配布資料を読んでくる。
  - 第10回 【授業テーマ】 教科書制度と指導行政  
【内容・方法等】 教科書検定  
教科書採択  
制度をめぐって簡単なグループワーク  
【事前・事後学習課題】 テキスト第10章3・4節を読んでくる。  
教科書検定または教科書採択制度に関する配布資料を読んでくる。
  - 第11回 【授業テーマ】 社会教育行政  
【内容・方法等】 社会教育と生涯学習  
社会教育の理念と展開  
【事前・事後学習課題】 テキスト第8章1・2節を読んでくる。
  - 第12回 【授業テーマ】 生涯学習社会への移行と生涯学習振興  
【内容・方法等】 社会教育行政の運営原則  
社会教育の諸制度  
社会教育不要論をめぐって簡単なグループワーク  
【事前・事後学習課題】 テキスト第8章3・4節を読んでくる。  
社会教育不要論に関する配布資料を読んでくる。
  - 第13回 【授業テーマ】 教育行政のはたらきと地方教育行政組織  
【内容・方法等】 教育行政の原則  
教育委員会のしくみとはたらき  
教育委員会制度論の新動向に関して簡単なグループワーク  
【事前・事後学習課題】 テキスト第2章1節を読んでくる。  
教育委員会制度の動向に関する配布資料を読んでくる。
  - 第14回 【授業テーマ】 国の教育行政と地方との関係  
【内容・方法等】 国の教育行政を動かす組織のしくみとはたらき  
教育行政関係の新しい動向  
【事前・事後学習課題】 テキスト第2章2・3節を読んでくる。
  - 第15回 【授業テーマ】 教育費と教育財政  
【内容・方法等】 教育財政の考え方  
国・地方の教育費と教育財政  
義務教育費国庫負担制度とその改革  
学校財務  
【事前・事後学習課題】 テキスト第6章を読んでくる。
- 評価方法(基準)  
定期試験60%、レポート30%、受講に係る積極的態度10%の割合で総合的に評価します。定期試験を受験しなかった場合は成績評価をしません。
- 教材等  
教科書…勝野正章・藤本典裕『教育行政学 改訂版』学文社(1,800円+税)  
参考書…授業中に適宜、指示します。
- 学生へのメッセージ  
教員採用試験で頻出の教育法規については授業中に折に触れ解説しますが、採用試験ではそれを基本としてさらに幅広い知識、深い理解と応用力が要求されます。本科目は採用試験対策のための講義ではありませんので、各自が自主的に採用試験受験準備に取り組んでください。  
遅刻・早退等は厳禁です。専門職業人・教師としての資質が問われます。
- 関連科目  
教職科目全般、とりわけ「教育原理」「教育社会学」「教師論」「教育課程論」に関連する事項を含みます。
- 担当者の研究室等  
7号館3階 朝日研究室
- 備考  
「未来ポートフォリオ」のリマインダを、すべてを受信するよう設定し、情報を確実に受け取ることができるようにしておきましょう。



## 教育課程論

Studies of Curriculum Development

大野 順子 (オオノ ジュンコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	教免取得上 必修	2

### 授業概要・目的・到達目標

(1) 教育課程(カリキュラム)とは何かについて考える。教育課程(カリキュラム)はどのような目的から、どのような内容で編成されていったかについての歴史的経緯を考察する。また、同時に学校システムとの関わりから、その意義や役割を理解する。  
(2) わが国における学習指導要領の変遷や戦前・戦後のカリキュラムの実践的開発を知ると共に、これからのカリキュラム開発の課題について考える。

### 授業方法と留意点

テキストを中心にプリント教材等を用いた講義を中心に授業を進めるが、状況によっては学生主体の発表(プレゼン)を行うなど、学生皆さんの授業への主体的な参加が求められる。各自が取得する免許教科の中学校・高等学校の教科書を複数概観することが望ましい。

### 科目学習の効果(資格)

教員免許(中学校・高等学校)取得上必修科目である。

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目: 教育課程及び指導法に関する科目

各科目に含める必要事項: 教育課程の意義及び編成の方法

### 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 教育課程とは何か/オリエンテーション  
【内容・方法等】 ・学校教育の持つ機能について  
【事前・事後学習課題】 課題: シラバスに挙げているテキストの該当する分を読んでおくこと。
- 第2回** 【授業テーマ】 日本における教育課程の歴史の変遷  
【内容・方法等】 ・戦前から戦後(経験主義~系統主義: 高度経済成長期)の教育課程変遷について  
【事前・事後学習課題】 課題: テキストの該当する部分と授業(第1回目)で配布する資料に目を通しておくこと。
- 第3回** 【授業テーマ】 日本における教育課程の歴史の変遷  
【内容・方法等】 ・1970年代以降、「ゆとり」への標榜から「生きる力」、そして現在までの教育課程変遷について  
【事前・事後学習課題】 課題: テキストの該当する部分と授業(第1回目)で配布する資料に目を通しておくこと。
- 第4回** 【授業テーマ】 教育課程(カリキュラム)の概念と構造、および教育課程編成について  
【内容・方法等】 ・その編成要素(内部要因と外部要因)について  
【事前・事後学習課題】 課題: シラバスに挙げているいずれかのテキストの該当する分を読んでおくこと。
- 第5回** 【授業テーマ】 教育評価  
【内容・方法等】 ・発達段階にふさわしい評価の方法とその特質  
【事前・事後学習課題】 課題: 事前に配布した資料を読んでおくこと。
- 第6回** 【授業テーマ】 『総合的な学習の時間』について  
【内容・方法等】 ・導入の背景とそのねらいについて(学生グループによる発表を予定)  
【事前・事後学習課題】 課題: 本時テーマについて調べてくる(A4一枚程度、詳細は授業で伝える)。
- 第7回** 【授業テーマ】 学校化された社会  
【内容・方法等】 ・「隠れたカリキュラム」について(学生グループによる発表を予定)  
【事前・事後学習課題】 課題: 本時テーマについて調べてくる(A4一枚程度、詳細は授業で伝える)。
- 第8回** 【授業テーマ】 新しい教育課程 その1  
【内容・方法等】 ・「キャリア教育」について(学生グループによる発表を予定)  
【事前・事後学習課題】 課題: 本時テーマについて調べてくる(A4一枚程度、詳細は授業で伝える)。
- 第9回** 【授業テーマ】 新しい教育課程 その2  
【内容・方法等】 ・「人権教育/平和教育」について(学生グループによる発表を予定)  
【事前・事後学習課題】 課題: 本時テーマについて調べてくる(A4一枚程度、詳細は授業で伝える)。
- 第10回** 【授業テーマ】 新しい教育課程 その3  
【内容・方法等】 ・「シティズンシップ」教育とは(学生グループによる発表を予定)  
【事前・事後学習課題】 課題: 本時テーマについて調べてくる(A4一枚程度、詳細は授業で伝える)。
- 第11回** 【授業テーマ】 教育課程と教育改革 その1  
【内容・方法等】 ・特色のある学校づくり=小中編(学生グループによる発表を予定)  
【事前・事後学習課題】 課題: 本時テーマについて調べてくる(A4一枚程度、詳細は授業で伝える)。

- 第12回** 【授業テーマ】 教育課程と教育改革 その2  
【内容・方法等】 ・特色のある学校づくり=高校編(学生グループによる発表を予定)  
【事前・事後学習課題】 課題: 本時テーマについて調べてくる(A4一枚程度、詳細は授業で伝える)。
- 第13回** 【授業テーマ】 教育課程と教育格差 その1  
【内容・方法等】 ・学力格差と学力低下問題(学生グループによる発表を予定)  
【事前・事後学習課題】 課題: 本時テーマについて調べてくる(A4一枚程度、詳細は授業で伝える)。
- 第14回** 【授業テーマ】 教育課程と教育格差 その2  
【内容・方法等】 ・教育格差に抗する学校の取り組み(学生グループによる発表を予定)  
【事前・事後学習課題】 課題: 本時テーマについて調べてくる(A4一枚程度、詳細は授業で伝える)。
- 第15回** 【授業テーマ】 総括: 教育課程をめぐる諸問題  
【内容・方法等】 海外の学校教育課程の動向と国内の問題(例: 外国人児童生徒問題)  
【事前・事後学習課題】 課題: 事前に配布した資料を読んでおくこと。

### 評価方法(基準)

定期試験、レポート及び授業態度や授業への貢献度(発表を含む)など総合的に評価を行う。

### 教材等

教科書…田中耕治・水原克敏・三石初雄・西岡加名恵[著] 『新しい時代の教育課程 第3版』 有斐閣アルマ、2011年  
参考書…その他、授業時に適宜紹介する。

### 学生へのメッセージ

教職科目の特質をよく理解し、実践的理解を深めることが大切である。そのため、各自の中学校・高等学校での体験をふりかえり、学ぶことの視点に立った、計画的学習を考えること。また「教育実習」を視野に入れた授業計画を考えることが重要。

### 関連科目

教職科目全般と関連がある。他の教職科目と重なる所や特徴点を整理していくことが重要。

### 担当者の研究室等

7号館3階(大野研究室)

### 備考

2009年度以前入学生は、(高校)教免取得上選択

## 工業科教育法

Engineering Education

倉田 光雄 (クラタ ミツオ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	「工業」教免 取得上必修	4

### 授業概要・目的・到達目標

前期では、工業教育の意義・目標や教育関連法規、歴史と現状などについて説明します。目的は工業高等学校における技術教育を行うための必要な基礎的知識を修得する事です。後期では、学習指導の実践について、学習指導計画の作成から授業の進め方と成績評価、授業改善について学び、進路指導や学校運営についても学びます。到達目標は工業高等学校における技術教育を行うための必要な基礎的知識を修得することが目標です。

### 授業方法と留意点

教科書中心で行い、随時にプリントの配布、教材掲示装置、プロジェクターも使用します。

### 科目学習の効果(資格)

工業高等学校の教員1種免許を得るために必要です。

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目: 教育課程及び指導法に関する科目

各科目に含める必要事項: 各教科の指導法

### 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 工業教育の意義・歴史・法令関係<工業教育の意義・役割・目標・内容>  
【内容・方法等】 工業教育の役割について、適正年齢などにに基づき説明する。  
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第2回** 【授業テーマ】 工業教育の意義・歴史・法令関係<工業教育の意義・役割・目標・内容>  
【内容・方法等】 工業教育の目標やその内容を取り扱う。  
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第3回** 【授業テーマ】 工業教育の意義・歴史・法令関係<教育関係法令>  
【内容・方法等】 教育関係法令の種類と法令のおもな部分を取り扱う。  
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第4回** 【授業テーマ】 工業教育の意義・歴史・法令関係<工業高校発展の歴史と現状>

- 【内容・方法等】日本の工業高校発展の明治以来の歴史と現在の状況について取り扱う。  
**【事前・事後学習課題】** 教科書による予習  
**【授業テーマ】** 工業教育の意義・歴史・法令関係<工業高校発展の歴史と現状>  
**【内容・方法等】** 数種類の工業高校発展の具体例を挙げて歴史について考える。  
**【事前・事後学習課題】** 教科書による予習  
**【授業テーマ】** 外国の技術・工業教育の紹介  
**【内容・方法等】** 外国の技術・工業教育の具体例を紹介する。  
**【事前・事後学習課題】** 教科書による予習  
**【授業テーマ】** 教科・工業の内容関係<教科・工業の共通科目>  
**【内容・方法等】** 教科・工業の共通科目の考え方とねらいについて説明する。  
**【事前・事後学習課題】** 教科書による予習  
**【授業テーマ】** 教科・工業の内容関係<教科・工業の共通科目>  
**【内容・方法等】** 教科・工業の共通科目の課題研究について説明する。  
**【事前・事後学習課題】** 教科書による予習  
**【授業テーマ】** 教科・工業の内容関係<専門学校などの工業教育について>  
**【内容・方法等】** 専門学校などの工業教育の内容について説明する。  
**【事前・事後学習課題】** 教科書による予習  
**【授業テーマ】** 教科・工業の内容関係<工業科の主な学課の実験・実習の内容紹介>  
**【内容・方法等】** 工業科の主な学科の実験・実習を紹介する。  
**【事前・事後学習課題】** 教科書による予習  
**【授業テーマ】** 教科・工業の内容関係<工業科の主な学科の実験・実習の内容紹介>  
**【内容・方法等】** 工業科の主な学科の実験・実習について説明する。  
**【事前・事後学習課題】** 教科書による予習  
**【授業テーマ】** 教科・工業の内容関係<実践的工業教育>  
**【内容・方法等】** 就業体験学習の指導計画、就業資格について説明する。  
**【事前・事後学習課題】** 教科書による予習  
**【授業テーマ】** 教科・工業の内容関係<実践的工業教育>  
**【内容・方法等】** 実践的工業教育の活動計画・実際・展開などについて具体例を紹介する。  
**【事前・事後学習課題】** 教科書による予習  
**【授業テーマ】** 教育課程・授業設計・教育評価・教育実習関係<教育課程の編成から単元の計画まで>  
**【内容・方法等】** 教育課程の意義・目標・役割などについて説明する。  
**【事前・事後学習課題】** 教科書による予習  
**【授業テーマ】** 教育課程・授業設計・教育評価・教育実習関係<教育課程の編成から単元計画までの手順や配慮事項について説明する。>  
**【内容・方法等】** 授業構造や学習指導案について説明する。  
**【事前・事後学習課題】** 教科書による予習  
**【授業テーマ】** "教育課程・授業設計・教育評価・教育実習関係<授業設計、学習指導案、授業改善および教育実習>"  
**【内容・方法等】** 授業改善および教育実習について説明する。  
**【事前・事後学習課題】** 教科書による予習  
**【授業テーマ】** 教育課程・授業設計・教育評価・教育実習関係<教育評価>  
**【内容・方法等】** 新しい学力観に基づく教育評価などについて説明する。  
**【事前・事後学習課題】** 教科書による予習  
**【授業テーマ】** 教育課程・授業設計・教育評価・教育実習関係<教育評価>  
**【内容・方法等】** 評価・認定の実例を説明する。  
**【事前・事後学習課題】** 教科書による予習  
**【授業テーマ】** 学習理論関係<学習と授業理論>  
**【内容・方法等】** 学習と授業理論の歴史的展開を説明する。  
**【事前・事後学習課題】** 教科書による予習  
**【授業テーマ】** 学習理論関係<学習と授業理論>  
**【内容・方法等】** 授業の方法や形態について説明する。  
**【事前・事後学習課題】** 教科書による予習  
**【授業テーマ】** 学習理論関係<自作教具の勧め>  
**【内容・方法等】** 教具の種類と具体例について説明する。  
**【事前・事後学習課題】** 教科書による予習  
**【授業テーマ】** 模擬授業と評価および意見交換(導入を中心に)  
**【内容・方法等】** 模擬授業と評価および意見交換(導入を中心に)  
**【事前・事後学習課題】** 教科書による予習  
**【授業テーマ】** 模擬授業と評価および意見交換(展開を中心に)

- 【内容・方法等】模擬授業と評価および意見交換(展開を中心に)  
**【事前・事後学習課題】** 教科書による予習  
**【授業テーマ】** 模擬授業と評価および意見交換(まとめ)  
**【内容・方法等】** 模擬授業と評価および意見交換(まとめ)  
**【事前・事後学習課題】** 教科書による予習  
**【授業テーマ】** 進路指導・学校運営・工業高校の展望<工業教育と進路指導>  
**【内容・方法等】** 工業教育と進路指導を説明する。  
**【事前・事後学習課題】** 教科書による予習  
**【授業テーマ】** 進路指導・学校運営・工業高校の展望<工業教育と進路指導>  
**【内容・方法等】** 工業教育と進路指導の具体例を紹介する。  
**【事前・事後学習課題】** 教科書による予習  
**【授業テーマ】** 進路指導・学校運営・工業高校の展望<学校運営と教員研修>  
**【内容・方法等】** 学校運営と教育力向上への取り組み。  
**【事前・事後学習課題】** 教科書による予習  
**【授業テーマ】** 進路指導・学校運営・工業高校の展望<工業高校の展望>  
**【内容・方法等】** 工業教育の現状と今後の発展について取り扱う。  
**【事前・事後学習課題】** 教科書による予習  
**【授業テーマ】** 創造性教育課題研究  
**評価方法(基準)**  
 臨時試験成績とレポート評価(40%)、および、小テストなどの平常点(60%)により評価する。

教材等

教科書…"「新しい観点と実践に基づく 工業科教育法の研究」、池森慈、佐藤弘幸、中村豊久、実教出版、2006年、(2,000円税別)"  
 参考書…参考資料等 高等学校学習指導要領解説・工業編

学生へのメッセージ

工業科教育関係に必要な科目です。

関連科目

特になし

担当者の研究室等

1号館3階 倉田教授室

備考

なし

道徳教育の研究

Studies of Moral Education

村田俊明(ムラタ トシアキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	教免取得上 必修(中免のみ)	2

授業概要・目的・到達目標

道徳教育は、報酬と罰を上手にやれば、それで済むというものではない。一定の価値を伴う行動様式と生活態度を子どもの中に育む営みである。道徳教育の歴史を学び、わが国において道徳教育がどう展開されてきたかを知る。また子どもの道徳性はいかに発達するか。なぜいま道徳教育が必要なのか。学習指導要領「道徳」の内容を授業で、どう展開するかを考え、「道徳」の授業構想及びシナリオづくりを行う。今日の中学生に、教師として「気づいてほしいこと・考えてほしいこと」は何かという「ねらい」をもった授業を構想することができ、その「ねらい」にふさわしい教材選択と教材研究をすることができる。

授業方法と留意点

教科書に基づいて道徳教育の歴史や道徳性の発達等について講述するほか、DVD等を視聴し、道徳教育のあり方について考え、理解を深める。さらに受講生による「道徳」の授業構想を発表し、検討する。

科目学習の効果(資格)

中学校教諭1種免許状の取得に必要です。

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：教育課程及び指導法に関する科目

各項目に含める必要事項：道徳の指導法

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】道徳教育と人間形成  
**【内容・方法等】** (1)道徳教育がめざすもの(2)道徳教育の現状と課題 (3)なぜ、いま道徳教育なのか-DVD「崩壊?日本人のモラル-」視聴 (4)「道徳」の特別教科化を考える  
**【事前・事後学習課題】** 予習:教科書「まえがき」「第3章」  
 第2回 【授業テーマ】道徳教育の歴史-明治期-  
**【内容・方法等】** (1)学制と「修身科」(2)「教学聖旨」



- 「教育議」論争(3)教育勅語の成立と修身科教育
- 【事前・事後学習課題】 予習：教科書(9頁～14頁)
- 【授業テーマ】 道徳教育の歴史-大正・昭和前期-
- 【内容・方法等】 (1)大正新教育と修身科 (2)総力戦体制下の教育と修身科
- 【事前・事後学習課題】 予習：教科書(14～19頁)
- 【授業テーマ】 道徳教育の歴史-戦後から現在-
- 【内容・方法等】 (1)修身科の廃止と教育勅語の取り扱い (2)社会科と新しい道徳教育 (3)道徳教育の振興と特設道徳
- 【事前・事後学習課題】 予習：教科書(19頁～38頁)
- 【授業テーマ】 学校道徳教育の計画・運営・実施について
- 【内容・方法等】 (1)「道徳」の実施状況について (2)「道徳」の時間と指導計画 (3)各教科・特別活動・総合的学習の時間との関係 (4)道徳教育推進教師の役割
- 【事前・事後学習課題】 予習：出身中学校における「道徳教育計画」をHP等で調べておく。
- 【授業テーマ】 学習指導要領「道徳」の目的と内容
- 【内容・方法等】 (1)学習指導要領「道徳」の目的 (2)「道徳」の内容分析 (3)指導上の留意点
- 【事前・事後学習課題】 予習：配付資料の課題をしておく。教科書135頁～149頁を読んでおく。
- 【授業テーマ】 道徳性の発達と教育方法
- 【内容・方法等】 (1)他律道徳から自律道徳へ (2)ピアジェとコールバークの発達段階論 (3)道徳的葛藤とシチュエーションの創造 (4)モラルジレンマの授業
- 【事前・事後学習課題】 予習：教科書(39頁～76頁)
- 【授業テーマ】 子どもの実態と道徳の授業
- 【内容・方法等】 (1)子どもの価値意識-「実態調査」から (2)道徳の授業と教材 (3)道徳教育の方法と技術
- 【事前・事後学習課題】 予習：配付Excel Dataの検討及び教科書(77頁～99頁)を読んでおく。
- 【授業テーマ】 道徳授業の創造と特別授業
- 【内容・方法等】 (1)実感ある「道徳」授業の創造 (2)DVD視聴「特別授業 差別を知る-カナダのある小学校の試み」
- 【事前・事後学習課題】 DVD視聴の感想文提出
- 【授業テーマ】 「道徳」授業の構想(1)
- 【内容・方法等】 (1)「道徳」授業の構想・シナリオづくり 教材「スタート台のわたし」 (2)学生による指導案の発表と検討
- 【事前・事後学習課題】 予習：配布教材に基づいた指導案の作成
- 【授業テーマ】 「道徳」授業の構想(2)
- 【内容・方法等】 (1)「道徳」授業の構想・シナリオづくり 教材「じいちゃん長生きして」 (2)学生による指導案の発表と検討
- 【事前・事後学習課題】 予習：配付資料に基づいた指導案の作成
- 【授業テーマ】 「道徳」授業の構想(3)
- 【内容・方法等】 (1)「道徳」授業の構想・シナリオづくり 教材「アイバンク」 (2)学生による指導案の発表と検討
- 【事前・事後学習課題】 予習：配付資料に基づいた指導案の作成
- 【授業テーマ】 「道徳」授業の構想(4)
- 【内容・方法等】 (1)「道徳」授業の構想・シナリオづくり 教材「蜘蛛の糸」 (2)学生による指導案の発表と検討
- 【事前・事後学習課題】 予習：配付資料に基づいた指導案の作成
- 【授業テーマ】 「道徳」授業の構想(5)
- 【内容・方法等】 (1)「道徳」授業の構想・シナリオづくり 教材「はくの名前呼んで」 (2)学生による指導案の発表と検討
- 【事前・事後学習課題】 予習：配付資料に基づいた指導案の作成
- 【授業テーマ】 討論 「現代に生きる子どもたちに考えてほしいこと・気づいてほしいことをめぐって」
- 【内容・方法等】 (1)意見発表「道徳教育の研究を学んで」 (2)道徳教材「100万回生きたねこ」とおして (3)質疑応答と課題の発見
- 【事前・事後学習課題】 討論資料の作成・準備
- 評価方法(基準)  
定期試験成績、レポートの成績による評価を行う。
- 教材等  
教科書…柴田義松編著『道徳の指導』(学文社)、1800円(本体)  
文部科学省『中学校学習指導要領 平成20年、国立印刷局、232円(本体)』  
参考書…L. コールバーク、永野重史監訳『道徳性の形成』新曜社
- 学生へのメッセージ  
中学校時代の「道徳」の時間における学習体験を思いおこすと

よい。道徳の教材を取り扱うが、その教材をよく読み、中学生に何を伝えたらよいかを考えてほしい。

関連科目

教職科目全般と関連があるので、これまで学習した内容について、復習し整理しておくことが大切である。

担当者の研究室等

7号館3階(村田研究室)

備考

共同担当者 橋本はる美

特別活動論

Extra-Curricular Activities

大野 順子(オノ ジュンコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	教免取得上 必修	2

授業概要・目的・到達目標

(1)人間関係の希薄化が指摘される社会にあって、子ども達の社会力不足が学校教育の大きな課題の一つになっている。そのことから発達に沿った集団体験活動を目的とする特別活動は益々その重要さが増してきている。具体的には、学級(ホームルーム)活動、生徒会活動、学校行事の3本柱それぞれの特質、内容、指導課題について考えていく。(2)中学校、高等学校の特別活動について、具体的事例を交えてグループ・ワークを行う。また、学校におけるガイダンス機能の充実のため、カウンセリング・マインドとは何かについて考える。

授業方法と留意点

テキストやプリント教材等を中心に進めていく予定であるが、プレゼンテーションの力やまとめる力をつけるため、レポート作成や各自の中学校・高等学校時代の経験発表なども積極的に行う。よって、学生皆さんの主体的な授業への参加が求められる。

科目学習の効果(資格)

教員免許(中学校・高等学校)取得上必修科目である。

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：教育課程及び指導法に関する科目

各科目に含める必要事項：特別活動の指導法

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 特別活動とは何か  
【内容・方法等】 ・学校教育、および子どもたちを取り巻く現状と課題  
【事前・事後学習課題】 課題：テキスト、および配布資料(授業で配布)を読む(詳細は授業で指示する)。
- 第2回 【授業テーマ】 特別活動の意義と目標  
【内容・方法等】 ・特別活動の教育的意義について  
【事前・事後学習課題】 課題：テキストの該当箇所を読んでおくこと。
- 第3回 【授業テーマ】 特別活動の特質と活動内容  
【内容・方法等】 ・特別活動が担う部分とは～その特質と活動内容について  
【事前・事後学習課題】 課題：テキスト、および配布資料(授業で事前に配布予定)を読んでおくこと。
- 第4回 【授業テーマ】 学級会活動・生徒会活動・学校行事の目標と内容  
【内容・方法等】 ・学級会(ホームルーム)活動の意義と目標、およびその指導計画  
【事前・事後学習課題】 課題：テキスト、および配布資料(授業で事前に配布予定)を読んでおくこと。
- 第5回 【授業テーマ】 学級会活動・生徒会活動・学校行事の目標と内容  
【内容・方法等】 ・生徒会活動の意義と目標、およびその指導計画  
【事前・事後学習課題】 課題：テキスト、および配布資料(授業で事前に配布予定)を読んでおくこと。
- 第6回 【授業テーマ】 学級会活動・生徒会活動・学校行事の目標と内容  
【内容・方法等】 ・学校行事の意義と目標、およびその指導計画  
【事前・事後学習課題】 課題：テキスト、および配布資料(授業で事前に配布予定)を読んでおくこと。
- 第7回 【授業テーマ】 特別活動における学校行事とボランティア活動  
【内容・方法等】 ・学校教育における儀礼的行事・文化的行事・体育的行事・集団的行事等のねらいと具体的な取り組み  
【事前・事後学習課題】 課題：テキスト、および配布資料(授業で事前に配布予定)を読んでおくこと。
- 第8回 【授業テーマ】 特別活動における学校行事とボランティア活動  
【内容・方法等】 ・部活動について～そのねらいと教育的意

義

- 【事前・事後学習課題】** 課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。
- 第9回 【授業テーマ】** 特別活動における学校行事とボランティア活動  
**【内容・方法 等】** ・ボランティア活動を含めた社会奉仕活動のねらいや効果と期待  
**【事前・事後学習課題】** 課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。
- 第10回 【授業テーマ】** 特別活動の指導計画と配慮事項  
**【内容・方法 等】** ・特別活動の全体計画と各活動・学校行事の年間指導計画について  
**【事前・事後学習課題】** 課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。
- 第11回 【授業テーマ】** 特別活動の指導計画と留意事項  
**【内容・方法 等】** ・グループワークを行い、特別活動の指導計画を作成する際のポイントをまとめ、発表する。  
**【事前・事後学習課題】** 課題：第10回までの授業内容を各自まとめてくる。
- 第12回 【授業テーマ】** 特別活動の効果について  
**【内容・方法 等】** ・特別活動を単なる「経験」に終わらせないための取り組みとしてのふりかえり（自己省察）と経験の共有、そして教師の役割について考える。  
**【事前・事後学習課題】** 課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。
- 第13回 【授業テーマ】** 特別活動の課題とこれから  
**【内容・方法 等】** ・中央教育審議会答申と特別活動の課題  
**【事前・事後学習課題】** 課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。
- 第14回 【授業テーマ】** 特別活動の新たな動向  
**【内容・方法 等】** ・教科教育との連環をめざして  
**【事前・事後学習課題】** 課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。
- 第15回 【授業テーマ】** 特別活動の新たな展開  
**【内容・方法 等】** ・地域社会と学校教育～連携と協同  
**【事前・事後学習課題】** 課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。

**評価方法（基準）**

定期試験、レポート等及び授業態度、授業内での発表（プレゼン）等によって総合的に評価を行う。

**教材等**

**教科書**…テキスト『中学校学習指導要領解説 特別活動編』文部科学省(115円)サブテキスト『高等学校学習指導要領解説 特別活動編』文部科学省 (210円)  
**参考書**…白井慎他著『新特別活動—文化と自治の力を育てるために—』学文社  
 その他、授業時に適宜紹介する。

**学生へのメッセージ**

教職科目の特質をよく理解し、実践的理解を深めること。特に生徒の話を「聞くこと（傾聴）」への理解が大切である。そのため、自身の中学校・高等学校での体験を踏まえ、具体的に理解し、「教育実習」を視野に入れていくことが望まれる。

**関連科目**

全教職科目と関連するが、特に「教育課程論」、「生徒指導論」、「教師論」、「教育心理学」などと関連して理解することが大切である。

**担当者の研究室等**

7号館3階(大野研究室)

**教育方法論**

Studies of Educational Method

深川 八郎(フカガワ ハチロウ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	教免取得上 必修	2

**授業概要・目的・到達目標**

(1) 学校教育の中心は日々の授業活動である。そのことを踏まえ、「授業とは何か」「学びとは何か」を問い直し、授業というものを基本から考え、捉えることが大切である。(2) そのために、教育方法の歴史的な考察、特に日本の戦後教育の歩みを辿り、その目的と方法を考えていく。また、現在の教育方法の課題となっている情報機器・視聴覚教材を活用した授業の原理、構成、方法について学ぶ。

**授業方法と留意点**

"テキストを中心にプリント、視聴覚教材等を用いた講義方式で進める。また、各自の中学校・高等学校時代の経験発表などにより理解を深める。"

**科目学習の効果（資格）**

教員免許（中学校・高等学校）取得上必修科目である。  
**【免許法施行規則に定める科目区分】**

科目：教育課程及び指導法に関する科目

各項目に含める必要事項：教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】** 教育方法と教育実践  
**【内容・方法 等】** ・「学ぶこと」と「教えること」を見つめ直すことから、授業や学習の原理について考える・授業のガイダンス。  
**【事前・事後学習課題】** 課題 大阪府教委資料「学校現場が求める教師像」をまとめる
- 第2回 【授業テーマ】** 教育方法と学びの指導  
**【内容・方法 等】** ・「学力とは何か」を問い直し、そのことから、学びと学力を考察する。その上に立って、授業のあり方を考えていく。  
**【事前・事後学習課題】** 課題 志水宏吉著『学力を考える』岩波新書を読んでおく
- 第3回 【授業テーマ】** 教育方法論の歴史(欧米の教育史を中心に)  
**【内容・方法 等】** ・近代以前の教育方法  
**【事前・事後学習課題】** 課題 テキストpp7-8
- 第4回 【授業テーマ】** 教育方法論の歴史(欧米の教育史を中心に)  
**【内容・方法 等】** ・中世の教会と大学の教育  
 ・宗教革命と印刷術の発明  
**【事前・事後学習課題】** 課題 テキストpp8-9
- 第5回 【授業テーマ】** 教育方法論の歴史(欧米の教育史を中心に)  
**【内容・方法 等】** ・教育学の成立—コメニウス  
**【事前・事後学習課題】** 課題 テキストpp10-12
- 第6回 【授業テーマ】** 教育方法論の歴史(欧米の教育史を中心に)  
**【内容・方法 等】** ・合自然の教育学—ペスタロッチ  
**【事前・事後学習課題】** 課題 テキストpp12-14
- 第7回 【授業テーマ】** 教育方法論の歴史(欧米の教育史を中心に)  
**【内容・方法 等】** ・国民国家の教育学—ヘルバルトとヘルバルト主義  
**【事前・事後学習課題】** 課題 テキストpp14-18
- 第8回 【授業テーマ】** 教育方法論の歴史(欧米の教育史を中心に)  
**【内容・方法 等】** ・子ども中心の教育と学びの共同体—デューイ  
**【事前・事後学習課題】** 課題 テキストpp18-20
- 第9回 【授業テーマ】** 教育方法論の歴史(欧米の教育史を中心に)  
**【内容・方法 等】** ・効率主義の教育学—ボビットとチャーターズ  
**【事前・事後学習課題】** 課題 テキストpp20-22
- 第10回 【授業テーマ】** 日本の授業と授業研究(日本教育史を中心に)  
**【内容・方法 等】** ・授業の成立と制度化  
 ・戦後の新教育  
**【事前・事後学習課題】** 課題 テキストpp33-35  
 課題 テキストpp38-40
- 第11回 【授業テーマ】** 授業の構想と計画(1)  
**【内容・方法 等】** ・構想と計画の基本的視点  
 ・指導案と教材研究  
 ・教育における情報機器の活用  
**【事前・事後学習課題】** 課題 指導案の作成(1)
- 第12回 【授業テーマ】** 授業の構想と計画(2)  
**【内容・方法 等】** ・授業と教授メディア  
 ・コンピューターの利用(情報機器とその教材活用)  
**【事前・事後学習課題】** 課題 指導案の作成(2)
- 第13回 【授業テーマ】** 授業の構想と計画(3)  
**【内容・方法 等】** ・コンピュータを活用した授業デザイン  
 ・授業改善の評価と方法  
**【事前・事後学習課題】** 課題 コンピュータを活用した授業評価の集計と活用のまとめ
- 第14回 【授業テーマ】** 日本の授業と授業研究(戦後教育における校内研修を中心に)  
**【内容・方法 等】** ・授業研究と教職研修  
**【事前・事後学習課題】** 課題 テキストpp40-46
- 第15回 【授業テーマ】** 教職の専門性とは何か  
**【内容・方法 等】** ・教師像の探究と実践的見識をめぐって  
**【事前・事後学習課題】** 課題 テキストpp135-157

**評価方法（基準）**

定期試験、レポート等によって総合評価を行う。

**教材等**

**教科書**…「教育方法論」佐藤 学著 岩波書店 (2060円)  
**参考書**…「教育の方法・技術」松平信久 横須賀薫編 教育出版(2000円)  
 その他授業時に、適宜紹介する。

**学生へのメッセージ**

教師を目指す第一歩は、自己体験を通じて、「学ぶとは何か」を自分で捉え直すことが大切である。そのことを通じて、「教えるとは何か」に向けたイメージ化に近づくことが出来る。「教育実習」を視野に入れた具体的な授業構想やそのための研究と思考の努力が大切である。

**関連科目**

教職科目全般と関連がある。特に、「教師論」「教育原理」などと関連し理解することが大切である。



担当者の研究室等  
7号館3階(深川研究室)

**生徒指導論 (進路指導を含む)**  
Studies of Guidance and Counseling

朝日素明 (アサヒ モトアキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	教免取得上 必修	2

**授業概要・目的・到達目標**

生徒指導、進路指導は、学校教育をすすめるうえで重要な役割を占めています。非行、いじめ、不登校、学級崩壊、受験競争、進路のミスマッチなど、生徒指導・進路指導上の諸問題については、その解決の重要性が認識されています。本科目をとおして学生は、このような生徒指導、進路指導の意義や指導の方法に関する基本的な事柄について必要最低限の知識を獲得します。

**授業方法と留意点**

プレゼンテーションソフトを用いて講義をしたうえで、内容をめぐってディスカッション等も織り交ぜて授業を進めます。また時折、レポートを課します。  
「未来ポートフォリオ」を通じて資料配布、課題・レポートの提示・提出、ディスカッションをします。  
「事前・事後学習課題」はすべて事前課題です。事後課題については別途、指示します。

**科目学習の効果 (資格)**

教員免許取得上必修  
【免許法施行規則に定める科目区分】  
科目：生徒指導、教育相談及び進路指導に関する科目  
各科目に含める必要事項：生徒指導の理論及び方法、進路指導の理論及び方法

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション  
生徒指導の目標と意義  
【内容・方法等】 科目概要・「未来ポートフォリオ」の使用について説明  
自分の生徒指導上の体験のふりかえり  
生徒指導の目標と意義  
【事前・事後学習課題】 「未来ポートフォリオ」のリマインダ設定  
テキストpp.3-10
- 第2回 【授業テーマ】 生徒指導の実践  
【内容・方法等】 生徒指導の実践課題と領域  
【事前・事後学習課題】 テキストpp.10-24
- 第3回 【授業テーマ】 生徒指導の理論 (1)  
【内容・方法等】 理論の重要性  
発達に関する理論  
【事前・事後学習課題】 テキストpp.32-39
- 第4回 【授業テーマ】 生徒指導の理論 (2)  
【内容・方法等】 生徒指導における治療的支援に関する理論  
相談理論など  
【事前・事後学習課題】 テキストpp.39-42
- 第5回 【授業テーマ】 生徒理解の進め方 (1)  
【内容・方法等】 生徒理解の意義と目的  
【事前・事後学習課題】 テキストpp.43-46
- 第6回 【授業テーマ】 生徒理解の進め方 (2)  
【内容・方法等】 生徒理解の方法  
生徒の自己理解の支援  
【事前・事後学習課題】 テキストpp.46-56
- 第7回 【授業テーマ】 生徒理解の進め方 (3)  
【内容・方法等】 教師の生徒認知のありよう  
【事前・事後学習課題】 テキストpp.56-61
- 第8回 【授業テーマ】 中間試験  
【内容・方法等】 これまでの授業内容についての試験  
【事前・事後学習課題】 前回までの復習
- 第9回 【授業テーマ】 学級経営の進め方 (1)  
【内容・方法等】 学級経営の意義  
学級集団の役割・機能  
【事前・事後学習課題】 テキストpp.63-68
- 第10回 【授業テーマ】 学級経営の進め方 (2)  
【内容・方法等】 学級集団の力学  
学級経営の方法  
【事前・事後学習課題】 テキストpp.68-74
- 第11回 【授業テーマ】 学級経営の進め方 (3)  
【内容・方法等】 教師のリーダーシップ  
【事前・事後学習課題】 テキストpp.74-79
- 第12回 【授業テーマ】 生徒指導上の諸問題の理解と対応  
【内容・方法等】 生徒指導上の諸問題とは  
最近の諸問題の動向  
諸問題にどう対応するか

- 第13回 【事前・事後学習課題】 生徒指導上の諸問題に関する配布資料  
【授業テーマ】 進路指導の意義と課題  
【内容・方法等】 進路指導の意義と課題  
進路指導に関する諸理論
- 第14回 【事前・事後学習課題】 テキストpp.135-159  
【授業テーマ】 勤労観・職業観の形成と変容  
【内容・方法等】 青少年の勤労観・職業観  
勤労観・職業観の形成と変容
- 第15回 【事前・事後学習課題】 テキストpp.176-195  
【授業テーマ】 学校教育における進路指導の実践展開  
【内容・方法等】 進路指導における「ガイダンスの機能」  
進路指導実践の展開モデル  
【事前・事後学習課題】 テキストpp.215-234

**評価方法 (基準)**

中間試験、定期試験の得点の他、レポートの内容、受講に係る積極的態度により、総合的に成績を判定します。定期試験を受験しなかった場合、成績判定はしません。

**教材等**

教科書…高橋超・石井眞治・熊谷信順『生徒指導・進路指導』ミネルヴァ書房 (2,500円+税)  
参考書…授業中に適宜、指示します。

**学生へのメッセージ**

生徒指導、進路指導を学ぶ原資になる自らの体験は大事です。さらに自らの体験を対象化して考える習慣をつけましょう。そのために、基礎的な知識をしっかりと身につけてください。授業への遅刻、無断欠席・早退等は厳禁です。生徒指導を行う者とする者としての適格性が問われます。

**関連科目**

教職科目全般、とりわけ「教育原理」「教師論」「教育心理学」「特別活動の理論と方法」「教育経営論」に関連する事柄を含みます。

**担当者の研究室等**

7号館3階 朝日研究室

**備考**

「未来ポートフォリオ」のリマインダを、すべてを受信するように設定し、情報を確実に受け取ることができるようにしましょう。

教職科目

**教育相談 (カウンセリングの基礎を含む)**  
School Counseling

吉田 佐治子 (ヨシダ サチコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	教免取得上 必修	2

**授業概要・目的・到達目標**

教育相談の考え方や進め方についての理解を深め、生徒が成長する過程に生じるさまざまな課題や問題に対処するための援助の考え方や実際、カウンセリングの基礎知識と教育相談の技法を身につけることを目標とする。学校における教育相談に焦点を当て、教師が行う教育相談活動の基本的な考え方や教育相談に必要なスキルを身につけるために、教育相談のもつ今日的な意義を解説し、カウンセリングの基礎知識およびその実践的な手法を紹介する。併せて、「問題」に悩む児童・生徒への実践的な取り組み方を考える。

**授業方法と留意点**

講義と演習を組み合わせで行う。

**科目学習の効果 (資格)**

教員免許取得上必修、免許法施行規則に定められた「生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目」4単位のうち2単位を充足。

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目  
各科目に含める必要事項：教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。) の理論及び方法

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 イントロダクション  
【内容・方法等】 授業内容、授業の進め方、評価基準等について  
【事前・事後学習課題】
- 第2回 【授業テーマ】 カウンセリングの基礎  
【内容・方法等】 カウンセリングの基本的な考え方や教師としての立場、カウンセリングマインド  
【事前・事後学習課題】 テキスト第1章、第2章を読む
- 第3回 【授業テーマ】 グループ発表の準備  
【内容・方法等】 グループワーク  
【事前・事後学習課題】
- 第4回 【授業テーマ】 学校教育相談の全体像  
【内容・方法等】 校内での役割分担と協力体制、専門機関との連携とその方法  
【事前・事後学習課題】 テキスト第12章、第13章を読む
- 第5回 【授業テーマ】 学校におけるカウンセリング活動1

- 【内容・方法等】 カウンセリング活動のいろいろ(1)……治療的カウンセリング活動、予防的カウンセリング活動  
**【事前・事後学習課題】** テキスト第10章を読む  
**第6回** 【授業テーマ】 学校におけるカウンセリング活動2  
**【内容・方法等】** カウンセリング活動のいろいろ(2)……開発的カウンセリング活動  
**【事前・事後学習課題】** テキスト第10章を読む  
**第7回** 【授業テーマ】 パーソナリティ理解  
**【内容・方法等】** パーソナリティを理解するために、パーソナリティ理解をゆがめるもの  
**【事前・事後学習課題】** \_\_\_\_\_  
**第8回** 【授業テーマ】 問題の理解と対応1  
**【内容・方法等】** 問題とは何か、その原因・背景と対応、適応過程  
**【事前・事後学習課題】** テキスト第3章を読む  
**第9回** 【授業テーマ】 問題の理解と対応2  
**【内容・方法等】** ストレス、欲求不満、葛藤  
**【事前・事後学習課題】** テキスト第3章、第4章を読む  
**第10回** 【授業テーマ】 心の発達と危機  
**【内容・方法等】** 認知の発達、自己意識の発達、道徳性の発達、仲間関係の発達  
**【事前・事後学習課題】** 教育心理学の復習  
**第11回** 【授業テーマ】 相談援助活動の実際1  
**【内容・方法等】** 不登校……その理解と対応（学生グループ発表）  
**【事前・事後学習課題】** テキスト第5章を読む  
**第12回** 【授業テーマ】 相談援助活動の実際2  
**【内容・方法等】** いじめ……その理解と対応（学生グループ発表）  
**【事前・事後学習課題】** テキスト第6章を読む  
**第13回** 【授業テーマ】 相談援助活動の実際3  
**【内容・方法等】** 学級崩壊・授業崩壊……その理解と対応（学生グループ発表）  
**【事前・事後学習課題】** テキスト第7章を読む  
**第14回** 【授業テーマ】 相談援助活動の実際4  
**【内容・方法等】** 反社会的行動……その理解と対応（学生グループ発表）  
**【事前・事後学習課題】** テキスト第8章を読む  
**第15回** 【授業テーマ】 教員のメンタル・ヘルス  
**【内容・方法等】** 教員自身が健康であるために、教員への対応  
**【事前・事後学習課題】** テキスト第14章を読む  
**評価方法（基準）**  
 グループ発表50% 期末試験50%  
**教材等**  
**教科書**…「学校教育相談」丸藤太郎・菅野信夫（編著）ミネルヴァ書房（2200円）  
**参考書**…授業の中で随時紹介する。  
**学生へのメッセージ**  
 これまでの学校での「困った」経験を思い出してみてください。  
**関連科目**  
 教育方法論、生徒指導論、教育心理学、教育社会学など。  
**担当者の研究室等**  
 7号館3階（吉田研究室）

**教育実習I**

Teaching Practice I

吉田 佐治子 (ヨシダ サチコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	教免取得上 必修	1

**授業概要・目的・到達目標**

- (1) 教育実習校における実習（教育実習ⅡまたはⅢ）に必要な教育実践の基本を理解し、教科指導、生徒指導等の実際について有効な指導計画を立案し、授業が効果的に展開できるようにする。(2) 教育実習の実際についての情報を提供する。また、受講者は課題の報告・発表を行う。これらに基づき討議する。(3) 教育実習の現状と課題についての認識を深めるとともに、教育実習生としての基本的心がまえについての理解を深める。

**授業方法と留意点**

演習形式で行う。

**科目学習の効果（資格）**

教員免許状取得上必修、免許法施行規則に定められた「教育実習」5単位あるいは3単位のうち1単位を充足。

【免許法施行規則に定める科目区分】

教育実習

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 教育実習の意義  
**【内容・方法等】** 教育実習の目的と意義、免許制度の概要に

ついて

- 【事前・事後学習課題】** 授業時に指示する  
**第2回** 【授業テーマ】 教育実習の内容と形態等  
**【内容・方法等】** 事前準備の必要性、教育実習の心がまえと教育実習の基本となる事項について  
**【事前・事後学習課題】** 授業時に指示する  
**第3回** 【授業テーマ】 実習中の勤務の要領  
**【内容・方法等】** 学校の日、一週間の流れ、学校の組織と運営の概要について  
**【事前・事後学習課題】** 授業時に指示する  
**第4回** 【授業テーマ】 授業の記録と評価  
**【内容・方法等】** 授業と授業研究、評価の観点について  
**【事前・事後学習課題】** 授業時に指示する  
**第5回** 【授業テーマ】 授業の方法と技術  
**【内容・方法等】** 学習指導と教材研究について  
**【事前・事後学習課題】** 授業時に指示する  
**第6回** 【授業テーマ】 学習指導案の作成（1）  
**【内容・方法等】** 授業の準備と配慮事項、学習指導案の書き方、教科指導の学習指導案の作成、板書計画  
**【事前・事後学習課題】** 授業時に指示する  
**第7回** 【授業テーマ】 学習指導案の作成（2）  
**【内容・方法等】** 学級（ホームルーム）活動等の指導案について。授業の評価とその観点  
**【事前・事後学習課題】** 授業時に指示する  
**第8回** 【授業テーマ】 授業分析  
**【内容・方法等】** 授業分析の意義と方法について  
**【事前・事後学習課題】** 授業時に指示する  
**第9回** 【授業テーマ】 模擬授業（1）  
**【内容・方法等】** 作成した学習指導案に沿った模擬授業、意見交換  
**【事前・事後学習課題】** 授業時に指示する  
**第10回** 【授業テーマ】 模擬授業（2）  
**【内容・方法等】** 作成した学習指導案に沿った模擬授業、意見交換  
**【事前・事後学習課題】** 授業時に指示する  
**第11回** 【授業テーマ】 模擬授業（3）  
**【内容・方法等】** 作成した学習指導案に沿った模擬授業、意見交換  
**【事前・事後学習課題】** 授業時に指示する  
**第12回** 【授業テーマ】 模擬授業（4）  
**【内容・方法等】** 作成した学習指導案に沿った模擬授業、意見交換  
**【事前・事後学習課題】** 授業時に指示する  
**第13回** 【授業テーマ】 学校における人権教育  
**【内容・方法等】** 人権教育の現状と課題について、学校保健と安全指導について  
**【事前・事後学習課題】** 授業時に指示する  
**第14回** 【授業テーマ】 特別支援教育の現状と課題  
**【内容・方法等】** 障害の種類と配慮事項、障害児理解と交流教育について  
**【事前・事後学習課題】** 授業時に指示する  
**第15回** 【授業テーマ】 まとめ  
**【内容・方法等】** \_\_\_\_\_  
**【事前・事後学習課題】** \_\_\_\_\_  
**評価方法（基準）**  
 課題の提出状況とその内容、模擬授業、期末レポート等によって総合評価を行う。  
**教材等**  
**教科書**…特に指定しない。  
**参考書**…授業の中で随時紹介する。  
**学生へのメッセージ**  
 教育実習は、これまで学んできたことの総まとめです。よい実習ができるように、十分に準備してください。  
**関連科目**  
 これまで学んだすべての科目  
**担当者の研究室等**  
 7号館3階（吉田研究室）

**教育実習II B**

Teaching Practice II B

吉田 佐治子 (ヨシダ サチコ)  
 村田 俊明 (ムラタ トシアキ)  
 朝日 素明 (アサヒ モトアキ)  
 大野 順子 (オノ ジュンコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	教免取得上 選択必修	2

**授業概要・目的・到達目標**



「教育実習ⅡB」は、2週間以上の実習を行うもので、授業研究を主体とした実習である。(1)教育実習校において、教科、特別活動、生徒指導などの実習を行う。大学において事前及び事後の指導を行う。(2)事前指導では、教育実習講義と個別指導を行う。(3)教育実習は所定期間内に実習校の指導教諭の下で行う。(4)事後指導では、教育実習体験報告及び反省を行い、指導のまとめとして、総括を行う。

これらにより学生は、学校教育の実情を理解し、教職に対する自らの適性に気づき、適切な進路を選択できるようになる。

**授業方法と留意点**

(1)教育実習校での実習を行う。(2)大学での事前・事後指導は「教育実習Ⅱ」「教育実習Ⅲ」と合同で行う。(3)事前指導等への積極的参加をもって実習を許可する。実習を許可されない場合があることに留意すること。

**科目学習の効果(資格)**

教員免許取得上選択必修  
【免許法施行規則に定める科目区分】  
教育実習

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 教育実習特別個人指導(4月)  
【内容・方法等】 教育実習予定者のうち、教育実習の履修に特に努力を要すると判断される履修者について行う。  
【事前・事後学習課題】 個別の呼び出しに速やかに応じること
- 第2回 【授業テーマ】 教育実習事前指導(4月～5月)  
【内容・方法等】 教育実習上の心がまえ・諸注意  
教育実習ビデオの視聴  
先輩教師の体験談  
教師の仕事と責任について講義・討論
- 第3回 【事前・事後学習課題】 申請書類等の記入・提出  
【授業テーマ】 教育実習個人指導(4月～5月)  
【内容・方法等】 教科書、教材、指導案の作成などについて、個別の質問にこたえ指導する。  
【事前・事後学習課題】 教材・学習指導案を作成して提出(必要な者のみ)
- 第4回 【授業テーマ】 前期教育実習開始(5月～6月)  
【内容・方法等】 実習校において授業を行ったり、クラブ活動の指導を担当するなど、教育活動に携わる。  
実習中、本学教員による訪問指導を行う。  
【事前・事後学習課題】 教材研究、学習指導案作成
- 第5回 【授業テーマ】 教育実習体験発表会(6月～7月)  
【内容・方法等】 教育実習終了後、体験発表を行う。発表方法の詳細は、掲示による。  
【事前・事後学習課題】 体験発表要旨の提出  
使用教科書・作成教材・学習指導案の写しの提出
- 第6回 【授業テーマ】 後期教育実習開始(9月～10月)  
【内容・方法等】 後期教育実習予定者の実習を行う。実習中、本学教員による訪問指導を行う。  
【事前・事後学習課題】 教材研究、学習指導案作成
- 第7回 【授業テーマ】 教育実習体験発表会(10月)  
【内容・方法等】 後期教育実習生について、体験発表を行う。  
発表方法の詳細については、掲示による。  
【事前・事後学習課題】 体験発表要旨の提出  
使用教科書・作成教材・学習指導案の写しの提出
- 第8回 【授業テーマ】 教育実習総括講義(10月)  
【内容・方法等】 教育実習のまとめとして、その意義を確認する。  
【事前・事後学習課題】 教育実習記録の提出
- 第9回 【授業テーマ】 教育実践指導(1月～3月)  
【内容・方法等】 教員採用選考試験合格者に対する指導を行う。  
【事前・事後学習課題】 指示された課題
- 第10回 【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法等】 \_\_\_\_\_  
【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_
- 第11回 【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法等】 \_\_\_\_\_  
【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_
- 第12回 【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法等】 \_\_\_\_\_  
【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_
- 第13回 【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法等】 \_\_\_\_\_  
【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_
- 第14回 【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法等】 \_\_\_\_\_  
【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_
- 第15回 【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法等】 \_\_\_\_\_  
【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_
- 第16回 【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法等】 \_\_\_\_\_  
【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_
- 第17回 【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法等】 \_\_\_\_\_

- 第18回 【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_  
【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法等】 \_\_\_\_\_
- 第19回 【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_  
【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法等】 \_\_\_\_\_
- 第20回 【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_  
【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法等】 \_\_\_\_\_
- 第21回 【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_  
【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法等】 \_\_\_\_\_
- 第22回 【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_  
【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法等】 \_\_\_\_\_
- 第23回 【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_  
【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法等】 \_\_\_\_\_
- 第24回 【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_  
【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法等】 \_\_\_\_\_
- 第25回 【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_  
【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法等】 \_\_\_\_\_
- 第26回 【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_  
【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法等】 \_\_\_\_\_
- 第27回 【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_  
【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法等】 \_\_\_\_\_
- 第28回 【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_  
【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法等】 \_\_\_\_\_
- 第29回 【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_  
【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法等】 \_\_\_\_\_
- 第30回 【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_  
【授業テーマ】 \_\_\_\_\_

**評価方法(基準)**  
事前指導ならびに事後指導への積極的参加、事後指導における体験発表、実習校での実習成績、及び各種提出物による総合評価を行う。いずれか不十分なものがある場合は、単位を認定しない。

**教材等**

教科書… 摂南大学『教育実習記録』  
参考書… 中学校・高等学校『学習指導要領』およびその『解説』  
ほか

**学生へのメッセージ**

『学生便覧』『教職課程履修ガイド』を必読、その指示を十分に理解しておくこと。

**関連科目**

教職関連科目全般

**担当者の研究室等**

7号館3階

**備考**

(1)中学校教諭一種免許状の場合、「教育実習ⅡA」「教育実習ⅡB」「教育実習Ⅲ」から4単位以上、高校教諭一種免許状の場合、「教育実習ⅡB」「教育実習Ⅲ」から2単位以上修得することが必要。(2)中学校教諭免許状取得希望者には、別途、介護等体験が義務化されている。

教職科目

教育実習Ⅲ Teaching Practice III				
		吉田 佐治子 (ヨシダ サチコ)		
		村田 俊明 (ムラタ トシアキ)		
		朝日 素明 (アサヒ モトアキ)		
		大野 順子 (オオノ ジュンコ)		
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	教員取得上 選択必修	4

**授業概要・目的・到達目標**

「教育実習Ⅲ」では、教育実習校において4週間以上の実習を行う。(1)教育実習校において、教科、特別活動、生徒指導などの実習を行う。大学において事前及び事後の指導を行う。(2)事前指導では、教育実習講義と個別指導を行う。(3)教育実習は所定期間内に実習校の指導教諭の下で行う。(4)事後指導では、教育実習体験報告及び反省を行い、指導のまとめとして、総括を行う。

これらにより学生は、学校教育の実情を理解し、教職に対する自らの適性に気づき、適切な進路を選択できるようになる。

**授業方法と留意点**

(1) 教育実習校での実習を行う。(2) 大学での事前・事後指導は「教育実習Ⅱ」「教育実習ⅡB」と合同で行う。(3) 事前指導等への積極的参加をもって実習を許可する。実習を許可されない場合があることに留意すること。

**科目学習の効果(資格)**

教員免許取得上選択必修

【免許法施行規則に定める科目区分】

教育実習

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 教育実習特別個人指導(4月)  
【内容・方法等】 教育実習予定者のうち、教育実習の履修に特に努力を要すると判断される履修者について行う。  
【事前・事後学習課題】 個別の呼び出しに速やかに応じること
- 第2回 【授業テーマ】 教育実習事前指導(4月～5月)  
【内容・方法等】 教育実習上の心がまえ・諸注意  
教育実習ビデオの視聴  
先輩教師の体験談  
教師の仕事と責任について講義・討論  
【事前・事後学習課題】 申請書類等の記入・提出
- 第3回 【授業テーマ】 教育実習個人指導(4月～5月)  
【内容・方法等】 教科書、教材、指導案の作成などについて、個別の質問にこたえ指導する。  
【事前・事後学習課題】 教材・学習指導案を作成して提出(必要な者のみ)
- 第4回 【授業テーマ】 前期教育実習開始(5月～6月)  
【内容・方法等】 実習校において授業を行ったり、クラブ活動の指導を担当するなど、教育活動に携わる。  
実習中、本学教員による訪問指導を行う。  
【事前・事後学習課題】 教材研究、学習指導案作成
- 第5回 【授業テーマ】 教育実習体験発表会(6月～7月)  
【内容・方法等】 教育実習終了後、体験発表を行う。発表方法の詳細は、掲示による。  
【事前・事後学習課題】 体験発表要旨の提出  
使用教科書・作成教材・学習指導案の写しの提出
- 第6回 【授業テーマ】 後期教育実習開始(9月～10月)  
【内容・方法等】 後期教育実習予定者の実習を行う。実習中、本学教員による訪問指導を行う。  
【事前・事後学習課題】 教材研究、学習指導案作成
- 第7回 【授業テーマ】 教育実習体験発表会(10月)  
【内容・方法等】 後期教育実習生について、体験発表を行う。発表方法の詳細については、掲示による。  
【事前・事後学習課題】 体験発表要旨の提出  
使用教科書・作成教材・学習指導案の写しの提出
- 第8回 【授業テーマ】 教育実習総括講義(10月)  
【内容・方法等】 教育実習のまとめとして、その意義を確認する。  
【事前・事後学習課題】 教育実習記録の提出
- 第9回 【授業テーマ】 教育実践指導(1月～3月)  
【内容・方法等】 教員採用選考試験合格者に対する指導を行う。  
【事前・事後学習課題】 指示された課題
- 第10回 【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法等】 \_\_\_\_\_  
【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_
- 第11回 【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法等】 \_\_\_\_\_  
【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_
- 第12回 【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法等】 \_\_\_\_\_  
【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_
- 第13回 【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法等】 \_\_\_\_\_  
【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_
- 第14回 【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法等】 \_\_\_\_\_  
【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_
- 第15回 【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法等】 \_\_\_\_\_  
【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_
- 第16回 【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法等】 \_\_\_\_\_  
【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_
- 第17回 【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法等】 \_\_\_\_\_  
【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_
- 第18回 【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法等】 \_\_\_\_\_  
【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_
- 第19回 【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法等】 \_\_\_\_\_  
【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_

- 第20回 【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法等】 \_\_\_\_\_  
【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_
- 第21回 【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法等】 \_\_\_\_\_  
【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_
- 第22回 【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法等】 \_\_\_\_\_  
【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_
- 第23回 【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法等】 \_\_\_\_\_  
【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_
- 第24回 【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法等】 \_\_\_\_\_  
【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_
- 第25回 【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法等】 \_\_\_\_\_  
【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_
- 第26回 【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法等】 \_\_\_\_\_  
【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_
- 第27回 【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法等】 \_\_\_\_\_  
【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_
- 第28回 【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法等】 \_\_\_\_\_  
【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_
- 第29回 【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法等】 \_\_\_\_\_  
【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_
- 第30回 【授業テーマ】 \_\_\_\_\_

**評価方法(基準)**  
事前指導ならびに事後指導への積極的参加、事後指導における体験発表、実習校での実習成績、及び各種提出物による総合評価を行う。いずれか不十分なものがある場合は、単位を認定しない。

**教材等**

教科書… 摂南大学『教育実習記録』  
参考書… 中学校・高等学校『学習指導要領』およびその『解説』ほか

**学生へのメッセージ**

『学生便覧』『教職課程履修ガイド』を必読、その指示を十分に理解しておくこと。

**関連科目**

教職関連科目全般

**担当者の研究室等**

7号館3階

**備考**

中学校教諭免許状取得希望者には、別途、介護等体験が義務化されている。

**数学科教育法I**

Method of Mathematics Teaching I

寺本 恵昭(テラモト ヨシアキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	「数学」教員取得上必修	2

**授業概要・目的・到達目標**

数学科教育法Iでは、高等学校数学科教員を目指す学生の意識を高め、実際に教育を担当できうるための基礎的な実践能力の育成をめざす。「カリキュラム・教育目標・目的・方法・内容・評価・教授及び学習に関する理論」をとらえ、数学教育における教育の方法や技術の修得に重点を置く。また、問題発見力と解決のための「情報活用法」を体得するべく、グループ学習を重視し、マイクロティーチング・プレゼンテーションをとおして「教えるもの」と「学ぶもの」の相互の立場を経験し、自己の教育観・教育力の基礎的基盤の確立を目指す。

**授業方法と留意点**

グループ学習・活動で実施する。自らが発見した課題に積極的に取り組むことにより学ぶ「メタ学習」を根本におく。レポートの提出を求める。ビデオ、教材提示装置等視聴覚器材を用いて講義を進める。

**科目学習の効果(資格)**

「創造型人材育成教育(数学教育)を実践しうる教育者」となるための基礎・基本の確立ができる。(高等学校一種免許(数学))

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 本授業のねらいと展開  
【内容・方法等】 本教科科目の内容、特徴、学び方、ガイダンス、



- 全体の展望、学習の進め方
- 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第2回 【授業テーマ】 教育と評価(1)  
【内容・方法等】 「評価」観の変遷から新しい「学力」観におけるメタ認知・メタ学習における評価について考える。
- 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第3回 【授業テーマ】 教育と評価(2)  
【内容・方法等】 教育における指導と評価を一体化させる方法を考え、「教育改善のための評価法」に統合する。
- 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第4回 【授業テーマ】 数学教育の目的と目標  
【内容・方法等】 教授の概念を学び、教授論の歴史的展開から教授メディアの発展及び学習理論について学ぶ。
- 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第5回 【授業テーマ】 新しい学力観  
【内容・方法等】 数学的な見方・考え方に関わる教授法に関する知識を、学習理論に結びつけ、新しい「学力」観について考える。
- 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第6回 【授業テーマ】 生きる力(1)  
【内容・方法等】 近接校種等の総合的な学習の時間における教育のあり方を学び、先進的な実践校の内容と、その分析をおこなう。
- 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第7回 【授業テーマ】 生きる力(2)  
【内容・方法等】 教授法・学習理論をメタ学習・数学教育の観点から教育の現場で役立つとする。
- 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第8回 【授業テーマ】 学級崩壊・学力崩壊  
【内容・方法等】 近接校種の教育の現場の状況を知り、各自の目指す校種に至るまでの現状を知る。特に小学校低学年における学級崩壊の実状を考察して、各自の教育観をたてる。
- 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第9回 【授業テーマ】 学習指導要領(1)  
【内容・方法等】 学習指導要領制定の経緯、変遷の経過に、それぞれの時代の求められた教育観がいかに反映されたかを学ぶ。
- 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第10回 【授業テーマ】 学習指導要領(2)  
【内容・方法等】 高等学校の学習指導要領について学び、その目標や内容について知り、教科書の分析法や、授業・指導の組織化の方法について学ぶ。
- 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第11回 【授業テーマ】 数学科教授計画  
【内容・方法等】 授業の設計法を体系的に学ぶ。目標の分析法や、授業・指導の組織化の方法について学び、その知識を援用して学習指導案にまとめる。
- 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第12回 【授業テーマ】 マイクロティーチングの方法  
【内容・方法等】 教育機器と教授メディア、教授メディアの発展と現状、チャート・カード・OHPなどの活用
- 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第13回 【授業テーマ】 マイクロティーチング(プレゼンテーション)・グループ学習(1)  
【内容・方法等】 各自の求める数学教育について、「15分間のマイクロティーチング」にまとめ、実践する。
- 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第14回 【授業テーマ】 マイクロティーチング(プレゼンテーション)・グループ学習(2)  
【内容・方法等】 グループ員各々のマイクロティーチングを「学ぶもの立場」、「同僚(教えるもの)としての立場」で相互評価し、「教えるもの」としての自己評価を加えて総合的にまとめる。
- 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第15回 【授業テーマ】 マイクロティーチング(プレゼンテーション)・グループ学習(3)  
【内容・方法等】 マイクロティーチングの相互評価と自己評価の発表と検討により、自己の教育力・評価力育成のための方法を体得する。
- 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 評価方法(基準)  
バズ式セッションを中心に展開(グループ員との連携が必須・特に欠席時)。マイクロティーチング(模擬授業)は必須。レポートの提出を求める。マイクロティーチングと評価のまとめで50%、レポートと日常学習状況(出席状況を含む)の評価が50%とする。
- 教材等  
教科書…中学校学習指導要領解説-数学編、高等学校学習指導要領解説-総則編、高等学校学習指導要領解説-数学編・理数編各200円程度
- 学生へのメッセージ  
将来教員をめざす学生の切磋琢磨の場として、プレゼンテーション能力の育成をはかり、グループを中心に、新しい教材開発

など積極的な活動を求める。

関連科目

本科目を学ぶまでに開講されている他の教職関連科目、一般教養科目を予め履修しておくことが望ましい。

担当者の研究室等

3号館3階

数学科教育法II

Method of Mathematics Teaching II

小林 俊 公(コバヤシ トシマサ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	「数学」教免 取得上必修	2

授業概要・目的・到達目標

数学科教育法 II では、高等学校数学科教員を目指す学生が実際に教育を担当できるようにするための基盤となる実践力の育成をめざす。数学科教育法 I でまとめあげた各自の「教える立場に立ったときの心構え・知識」と、体験したマイクロティーチングを礎にして、生きる力を知的な側面から支える「確かな学力」を育成し、生徒の学習意欲をたかめ、自ら学び自ら考える力を育成できるプロジェクトをたて、教育コースウェアを研究・開発し、バズ式セッション・グループ活動・他者評価・自己評価、相互評価などで実践的な学びを展開する。学科の学習・教育目標との対応：[D]

授業方法と留意点

学ぶ意欲を維持し自分で課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題解決し、プレゼンテーションする資質や能力の涵養

科目学習の効果(資格)

「創造型人材育成教育(数学教育)を実践しうる教育者」となるための基盤力が涵養できる。(高等学校一種免許(数学))

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：教育課程及び指導法に関する科目

各科目に含める必要事項：各教科の指導法

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 本授業のねらいと展開  
【内容・方法等】 本教科科目の内容、特徴、学び方、ガイダンス、全体の展望、学習の進め方
- 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第2回 【授業テーマ】 生きる力と確かな学力、学力観(1)  
【内容・方法等】 高等学校教科「数学」や専門教科「理数」において、生徒の学習意欲をたかめ、生きる力を支える「確かな学力」について考える。
- 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第3回 【授業テーマ】 生きる力と確かな学力、学力観(2)  
【内容・方法等】 「生徒が数学的な見方・考え方が好きだと思ふこと」とは、また「授業以外に学ぶ習慣を体得できる種々の方策」とはについて考える。
- 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第4回 【授業テーマ】 生きる力と確かな学力、学力観(3)  
【内容・方法等】 「生活の中での数学の有効性を体験し論理的に考える態度の育成」とは、また「人やものに関わる力をたかめるための体験」とはどのようなものであるかを考える。
- 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第5回 【授業テーマ】 生きる力と確かな学力、学力観(4)  
【内容・方法等】 身近な事象から、どのような数学的知識がひきだされているか具体例を挙げ、数学的思考の構成過程を振り返って、当初の事象にどのように活用されているかを考える。
- 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第6回 【授業テーマ】 高等学校の数学教育開発プロジェクト(1)  
【内容・方法等】 高等学校普通教科数学「I・II・III、A、B、C、数学活用」や専門科目「理数」の各々について、その理念と意義及び目標・内容について理解する。
- 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第7回 【授業テーマ】 高等学校の数学教育開発プロジェクト(2)  
【内容・方法等】 理解の過程で各自が持った問題意識でテーマをたて「自分が求める数学教育」を設定し、各自のたてた学力観から教授モデルや評価のあり方についてさらに考えをすすめる。
- 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第8回 【授業テーマ】 高等学校の数学教育開発プロジェクト(3)  
【内容・方法等】 自ら学び自ら考える力や表現力を身につけさせることができる「各自のおこないたい教育コースウェア」を開発するプロジェクトを考察する。
- 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第9回 【授業テーマ】 高等学校の数学教育開発プロジェクト(4)

【内容・方法等】教育目標・目的、内容・方法、評価について考え、教育課程、年間指導計画、単元計画、本時の学習についての学習指導案・学習指導細案・ワークシート・板書計画・評価法をまとめ上げる。

- 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第10回 【授業テーマ】 バズ式セッション、模擬授業・評価(1)  
【内容・方法等】 グループ活動として、各自の開発した教育コースウェアについてバズ式セッションで討議する。
- 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第11回 【授業テーマ】 バズ式セッション、模擬授業・評価(2)  
【内容・方法等】 討議の結果をフィードバックして各自の考えた教育コースウェアを修正し、「50分間の模擬授業」をおこなう。
- 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第12回 【授業テーマ】 バズ式セッション、模擬授業・評価(3)  
【内容・方法等】 各自の考えた「評価規準」「評価基準」「ルーブリック」等で評価をおこない、観点別評価を実践する。
- 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第13回 【授業テーマ】 バズ式セッション、模擬授業・評価(4)  
【内容・方法等】 実践により各々のプロジェクト型問題解決学習を完結し、ひとりひとりの「Plan-Do-Check-Actionのサイクル」をシステムティックに組み上げる。
- 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第14回 【授業テーマ】 バズ式セッション、模擬授業・評価(5)  
【内容・方法等】 教育者としての基盤を確立し、自己の教育力(授業改善力・評価力等)育成のための方法を体得する。
- 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ  
【内容・方法等】 高等学校教科「数学」の学習指導要領について体系的な知識を身につけ、「生きる力」や「確かな学力」について考えをまとめ、各自の「学力観」を立てる。

評価方法(基準)

マイクロティーチング(模擬授業)は必須。授業への参画(受講態度、平常点)、課題提出、課題解決の経過等の日常学習状況の評価が50%、マイクロティーチングと評価のまとめで50%とする。

教材等

教科書…中学校学習指導要領解説-数学編、高等学校学習指導要領解説-総則編、数学編・理数編各200円程度  
参考書…「観点別評価実践事例集」図書文化(2415円)

学生へのメッセージ

生徒の自己実現を支援する高等学校数学科の教員を目指すという目的意識を持ち、常に問題を発見し問題解決・課題解決に情熱を傾け、日々の課題を着実に解決し、自ら継続的に問題(課題)解決のための取り組みを日常的におこなう学生の受講を希望する。

関連科目

本科目を学ぶまでに数学科教育法Ⅰを履修すること。他の教職関連科目、一般教養科目なども予め履修しておくことが望ましい。

担当者の研究室等

3号館3階 数学研究室

数学科教育法Ⅲ

Method of Mathematics Teaching III

大西慶一(オオニシ ケイイチ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	「数学」教免 取得上必修 (中免のみ)	2

授業概要・目的・到達目標

数学科教育法Ⅲでは、中学校数学科教員を目指す学生の意識を高め、実際に教育を担当できようための基礎的な実践能力の育成をめざす。中学生の実態を捉え、「カリキュラム・教育目標・目的・方法・内容・評価・教授及び学習に関する理論」に関する知識を展開し、数学教育における教育の方法や技術の修得に重点を置く。また、問題発見力と解決のための「情報活用法」を体得するべく、グループ学習を重視し、マイクロティーチング・プレゼンテーションをとおして「教えるもの」と「学ぶもの」の相互の立場を経験し、自己の教育観・教育力の基礎的基盤の確立を目指す。また、校種間の連携として小学校・高等学校の指導要領についてもふ。学科の学習・教育目標との対応：[C]

授業方法と留意点

グループ学習・活動で実施する。自らが発見した課題に積極的に取り組むことにより学ぶ「メタ学習」を根本におく。レポートの提出を求める。ビデオ、教材提示装置等視聴覚器材を用いて講義を進める。

科目学習の効果(資格)

「創造型人材育成教育(数学教育)を実践しうる教育者」となる

るための基礎・基本の確立ができる。(中学校一種免許(数学))

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：教育課程及び指導法に関する科目  
各科目に含める必要事項：各教科の指導法

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 本授業のねらいと展開  
【内容・方法等】 本教科科目の内容、特徴、学び方、全体の展望、学習の進め方
- 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第2回 【授業テーマ】 中学校数学教育の歴史(1)  
【内容・方法等】 中学校運営全体の中で、数学教育体制がどのように始められ変遷してきたか学ぶ。
- 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第3回 【授業テーマ】 中学校数学教育の歴史(2)  
【内容・方法等】 中学校数学教育でなにが教えられてきたか、教科内容の取捨選択がいかに行われてきたかを学ぶ。
- 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第4回 【授業テーマ】 算数教育から数学教育へ(1)  
【内容・方法等】 小学校算数教育の内容の変遷を通じて、小中の算数数学教育の連携がどのように考えられてきたか学ぶ。
- 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第5回 【授業テーマ】 算数教育から数学教育へ(2)  
【内容・方法等】 現行算数教育と数学教育の間にどのような問題があるのか、その課題といかに改善すべきか考える。
- 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第6回 【授業テーマ】 数学教育の目的と目標  
【内容・方法等】 教授の概念を学び、教授論の歴史的展開から教授メディアの発展及び学習理論について学ぶ。
- 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第7回 【授業テーマ】 学級崩壊・学力崩壊  
【内容・方法等】 近接校種の教育の現場の状況を知り、各自の目指す校種に至るまでの現状を知る。特に小学校低学年における学級崩壊の実状を考察して、各自の教育観をたてる。
- 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第8回 【授業テーマ】 生きる力(1)  
【内容・方法等】 近接校種等の総合的な学習の時間における教育のあり方を学び、先進的な実践校の内容と、その分析をおこなう。
- 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第9回 【授業テーマ】 生きる力(2)  
【内容・方法等】 教授法・学習理論をメタ学習・数学教育の観点から教育の現場で役立つ力とする。
- 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第10回 【授業テーマ】 学習指導要領  
【内容・方法等】 中学校の学習指導要領について学び、その目標や内容について知り、教科書の分析法や、授業・指導の組織化の方法について学ぶ。
- 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第11回 【授業テーマ】 数学科教授計画  
【内容・方法等】 授業の設計法を体系的に学ぶ。目標の分析法や、授業・指導の組織化の方法について学び、その知識を援用して学習指導案にまとめる。
- 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第12回 【授業テーマ】 マイクロティーチングの方法  
【内容・方法等】 教育機器と教授メディア、教授メディアの発展と現状、チャート・カード・OHPなどの活用
- 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第13回 【授業テーマ】 マイクロティーチング(プレゼンテーション)・グループ学習(1)  
【内容・方法等】 各自の求める数学教育について、「15分間のマイクロティーチング」にまとめ、実践する。
- 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第14回 【授業テーマ】 マイクロティーチング(プレゼンテーション)・グループ学習(2)  
【内容・方法等】 グループ員各々のマイクロティーチングを「学ぶものの立場」、「同僚(教えるもの)としての立場」で相互評価し、「教えるもの」としての自己評価を加えて総合的にまとめる。
- 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第15回 【授業テーマ】 マイクロティーチング(プレゼンテーション)・グループ学習(3)  
【内容・方法等】 マイクロティーチングの相互評価と自己評価の発表と検討により、自己の教育力・評価力育成のための方法を体得する。
- 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 評価方法(基準)  
バズ式セッションを中心に展開(グループ員との連携が必須・特に欠席時)。マイクロティーチング(模擬授業)は必須。レポートの提出を求める。マイクロティーチングと評価のまとめで50%、レポートと日常学習状況(出席状況を含む)の評価が50%とする。
- 教材等



教科書…「中学校数学の教材開発・授業プラン1年」学事出版2520円、中学校学習指導要領解説－数学編、小学校学習指導要領解説－算数編、高等学校学習指導要領－数学編 各200円程度  
 参考書…「中学数学の教材開発・授業プラン2年」学事出版2520円程度

**学生へのメッセージ**

将来教員をめざす学生の切磋琢磨の場として、プレゼンテーション能力の育成をはかり、グループを中心に、新しい教材開発など積極的な活動を求める。

**関連科目**

本科目を学ぶまでに開講されている他の教職関連科目、一般教養科目を予め履修しておくことが望ましい。

**担当者の研究室等**

当該講義内での対応が中心となります。

数学科教育法Ⅳ Method of Mathematics Teaching IV 大西慶一(オオニシ ケイチ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	「数学」教免取得上必修(中免のみ)	2

**授業概要・目的・到達目標**

数学科教育法Ⅳでは、中学校数学科教員を目指す学生が実際に教育を担当できるようにするための基盤となる実践力の育成をめざす。数学科教育法Ⅰ、Ⅱ、Ⅲでまとめあげた各自の「教える立場に立ったときの心構え・知識」と、体験したマイクロティーチングを礎にして、生きる力を知的な側面から支える「確かな学力」を育成するための教育コースウェアを研究・開発する。バズ式セッション・グループ活動を学習形態に取り入れ、生徒の学習意欲をたかめ、自ら学び自ら考える力を育てるという課題を持ってプロジェクトをたてる。各自がたてた課題解決プロジェクトを互いに他者評価し、自己評価して実践的な学びを展開する。学科の学習・教育目標との対応：[C]

**授業方法と留意点**

学ぶ意欲を維持し自分で課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題解決し、プレゼンテーションする資質や能力の涵養

**科目学習の効果(資格)**

「創造型人材育成教育(数学教育)を実践しうる教育者」となるための基盤力が涵養できる。(中学校一種免許(数学))  
 【免許法施行規則に定める科目区分】  
 科目：教育課程及び指導法に関する科目  
 各科目に含める必要事項：各教科の指導法

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 本授業のねらいと展開  
【内容・方法等】 本教科科目の内容、特徴、学び方、全体の展望、学習の進め方  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第2回 【授業テーマ】 生きる力と確かな学力、学力観(1)  
【内容・方法等】 中学校教科「数学」において、生徒の学習意欲をたかめ、生きる力を支える「確かな学力」について考える。  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第3回 【授業テーマ】 生きる力と確かな学力、学力観(2)  
【内容・方法等】 「生徒が数学的な見方・考え方が好きだと思ふこと」とは、また「授業以外に学ぶ習慣を体得できる種々の方策」とはについて考える。  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第4回 【授業テーマ】 生きる力と確かな学力、学力観(3)  
【内容・方法等】 「生活の中での数学の有効性を体験し論理的に考える態度の育成」とは、また「人やものと関わる力をたかめるための体験」とはどのようなものであるかを考える。  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第5回 【授業テーマ】 中学校の数学教育開発プロジェクト(1)  
【内容・方法等】 教育目標・目的、内容・方法、評価について考え、教育課程、年間指導計画、単元計画、本時の学習についての学習指導案・学習指導細案・ワークシート・板書計画・評価法をまとめ上げる。  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第6回 【授業テーマ】 中学校の数学教育開発プロジェクト(2)  
【内容・方法等】 理解の過程で各自が持った問題意識でテーマをたて「自分が求める数学教育」を設定し、各自のたてた学力観から教授モデルや評価のあり方についてさらに考えをすすめる。  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第7回 【授業テーマ】 中学校の数学教育開発プロジェクト(3)

- 第8回 【内容・方法等】 第1学年での数学教科について、その理念と意義及び目標・内容について理解する。  
【事前・事後学習課題】 課題レポート  
【授業テーマ】 中学校の数学教育開発プロジェクト(4)  
【内容・方法等】 第2学年での数学教科について、その理念と意義及び目標・内容について理解する。  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第9回 【授業テーマ】 中学校の数学教育開発プロジェクト(5)  
【内容・方法等】 第3学年での数学教科について、その理念と意義及び目標・内容について理解する。  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第10回 【授業テーマ】 バズ式セッション、模擬授業・評価(1)  
【内容・方法等】 グループ活動として、各自の開発した教育コースウェアについてバズ式セッションで討議する。  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第11回 【授業テーマ】 バズ式セッション、模擬授業・評価(2)  
【内容・方法等】 討議の結果をフィードバックして各自の考えた教育コースウェアを修正し、「50分間の模擬授業」をおこなう。  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第12回 【授業テーマ】 バズ式セッション、模擬授業・評価(3)  
【内容・方法等】 各自の考えた「評価規準」「評価基準」「ルーブリック」等で評価をおこない、観点別評価を実践する。  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第13回 【授業テーマ】 バズ式セッション、模擬授業・評価(4)  
【内容・方法等】 実践により各々のプロジェクト型問題解決学習を完結し、ひとりひとりの「Plan-Do-Check-Actionのサイクル」をシステムティックに組み上げる。  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第14回 【授業テーマ】 バズ式セッション、模擬授業・評価(5)  
【内容・方法等】 教育者としての基盤を確立し、自己の教育力(授業改善力・評価力等)育成のための方法を体得する。  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ  
【内容・方法等】 高等学校教科「数学」の学習指導要領について体系的な知識を身につけ、「生きる力」や「確かな学力」について考えをまとめ、各自の「学力観」を立てる。  
【事前・事後学習課題】 課題レポート

**評価方法(基準)**

バズ式セッションを中心に展開(グループ員との連携が必須・特に欠席時)。マイクロティーチング(模擬授業)は必須。レポートの提出を求める。マイクロティーチングと評価のまとめで50%、レポートと日常学習状況(出席状況を含む)の評価が50%とする。

**教材等**

教科書…「中学校数学の教材開発・授業プラン2年」学事出版2520円、中学校学習指導要領解説－数学編、小学校学習指導要領解説－算数、高等学校学習指導要領－数学編 各200円程度  
 参考書…「中学数学の教材開発・授業プラン1年」学事出版2520円程度

**学生へのメッセージ**

生徒の自己実現を支援する中学校数学科の教員を目指すという目的意識を持ち、常に問題を発見し、問題解決・課題解決に情熱を傾け、日々の課題を着実に解決し、自ら継続的に問題(課題)解決のための取り組みを日常的におこなう学生の受講を希望する。

**関連科目**

本科目を学ぶまでに数学科教育法Ⅲを履修すること。他の教職関連科目、一般教養科目なども予め履修しておくことが望ましい。

**担当者の研究室等**

当該講義内での対応が中心となります。

教職実践演習(中・高) Practicum in Prospective Teachers				
			吉田 佐治子(ヨシダ サチコ)	
			村田 俊明(ムラタ トシアキ)	
			朝日 素明(アサヒ モトアキ)	
			大野 順子(オノ ジュンコ)	
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		後期	教免取得上必修	2

**授業概要・目的・到達目標**

○教育実習を終え、各自の問題点を明確化しながら今後の自らの実践課題をグループワーク等を通して再認識し、教員としての適性や実践的な力量について確認する。  
 ○中学・高校での現場体験学習を基に、現職・元教員、教育委員会指導主事等と研究交流し、生徒理解を通して生徒指導・進路指導ができることを確認する。

教職科目

○教科に関する科目の担当者や科目の指導主事・現職教員と連携協議し、専門科目・教職科目の学習を深め、授業実践ができることを確認する。  
○教員としての適性や力量、特に「授業を創造する意欲と能力」「対人関係能力と社会性・協調性」「使命感・責任感」「学校教育活動におけるリーダーシップ」等を有していることを確認する。

**授業方法と留意点**

○教職課程の専任教員4名による全体指導と、各専任教員毎のグループ学習を中心に進める。1グループは15～20名。さらに、長年の実践経験を有する教員から実践を通して見えてくる学校現場の諸課題を知り、自己の実習経験と重ねる中で、新たな課題を探り、かつ全体でも共有していく。  
○大学の教科に関する科目の担当者・指導主事・現職教員と連絡協議し、教科指導・生徒指導・進路指導等ができることを確認していく。

**科目学習の効果(資格)**

○教職実践演習は、当該演習を履修する者の教科に関する科目及び教職に関する科目(教職実践演習を除く。)の履修状況を踏まえ、教員として必要な知識技能を修得したことを確認するもの。  
○2013年度から4年次後期の教職課程の必修科目。免許資格取得と同時に即学校現場で生かせる実践力を身に付けることが求められる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 **【授業テーマ】** 「教職実践演習」のガイダンス  
**【内容・方法 等】** ・科目の目的、内容方法についての確認  
・各自の教育実習後の課題についての確認  
・3回以降のグループ学習の各課題の確認  
**【事前・事後学習課題】** ・教育実習ノートの点検と再確認
- 第2回 **【授業テーマ】** 専攻科目に於ける実践上の課題  
**【内容・方法 等】** ・専攻科目ごとに分かれ、その科目の専門分野に関する個々の課題について教科担当教員が指導。  
**【事前・事後学習課題】** ・専攻教科における分野ごとの課題を整理
- 第3回 **【授業テーマ】** 専攻科目に於ける実践上の課題  
**【内容・方法 等】** ・専攻科目ごとに分かれ、その科目の専門分野と実践上の課題について、教科担当教員が指導。その上で、研究交流する。  
**【事前・事後学習課題】** ・専攻教科における分野ごとの課題を整理
- 第4回 **【授業テーマ】** 生徒指導・進路指導(中学校現場での実地学習)  
**【内容・方法 等】** 地元市教委との連携協力を基に、中学校現場を全体で参観し、生徒指導・進路指導上の実践課題を知る。  
**【事前・事後学習課題】** 中学生における集団づくりと個別指導(生徒指導・進路指導のあり方)についてレポートにまとめる
- 第5回 **【授業テーマ】** 生徒指導・進路指導(中学校現場での実地学習)  
**【内容・方法 等】** 地元市教委との連携協力を基に、中学校現場をグループ毎に参観し、生徒指導上の実践課題を知る。その上で、「生徒理解」を目指した研究協議を行う。  
**【事前・事後学習課題】** 中学生における集団づくりと個別指導(生徒指導のあり方)についてレポートにまとめる
- 第6回 **【授業テーマ】** 生徒指導・進路指導(中学校現場での実地学習)  
**【内容・方法 等】** 地元市教委との連携協力を基に、中学校現場をグループ毎に参観し、進路指導上の実践課題を知る。その上で研究協議を行う。  
**【事前・事後学習課題】** 中学生における集団づくりと個別指導(進路指導のあり方)についてレポートにまとめる
- 第7回 **【授業テーマ】** 教育格差：子どもの貧困と学力格差  
**【内容・方法 等】** 近年の経済状況が子どもたちの生活、学力にどのような影響をもたらしているのか。また、その結果子どもたちのあいだで広がったとされる教育格差は何を意味するのかについて講義、およびディスカッションを通して理解する。そして、こうした社会状況に学校教育は、教師はどのように対応していく必要があるのかについても議論する。  
**【事前・事後学習課題】** 第一回目の授業で配布する資料を読み、A4サイズの用紙1枚(1200字程度)にその要約と感想を書き、講義当日に持参する。
- 第8回 **【授業テーマ】** 学校の中のマイノリティ：外国にルーツをもつ子どもたち  
**【内容・方法 等】** 1990年代以降、日本の入国管理政策の転換により、多くの外国人が家族とともに渡日するようになった。それに伴い多くの外国人の子どもたちは日本の学校へ通うことになったが、彼らは日本語の問題や日本特有の学校文化など様々な問題に直面することとなった。ここでは外国にルーツをもつ子どもたちの視点から日本の学校教育制度について講義、およびディスカッションを通して考えていく。  
**【事前・事後学習課題】** 第一回目の授業で配布する資料を読み、A4サイズの用紙1枚(1200字程度)にその要約と感想を書き、講義当日に持参する。
- 第9回 **【授業テーマ】** カウンセリングマインドと生徒対応  
**【内容・方法 等】** カウンセリングの技法を生徒への対応、保護者への対応に応用する

(ロールプレイ)

- 第10回 **【事前・事後学習課題】** (事前) カウンセリングマインドについての復習  
(事後) 小レポート  
**【授業テーマ】** 「自分」を知る  
**【内容・方法 等】** 教育職における「自己を知る」ことの重要性を知り、そのための1方法としてのエゴグラム作成を行う  
**【事前・事後学習課題】** (事前) 「自分」について考える  
(事後) 小レポート
  - 第11回 **【授業テーマ】** いじめの現状  
**【内容・方法 等】** 問題行動のなかから特に「いじめ」を取り上げ、その多様性、メカニズム、深刻さを理解する。配布資料の事前学習に基づき、グループワークを行う。  
**【事前・事後学習課題】** (事前) 配布資料の熟読  
(事後) 小レポートの提出
  - 第12回 **【授業テーマ】** いじめ問題への取り組み  
**【内容・方法 等】** 日常の些細な出来事がどのように「いじめ」に発展するのか、教師がいじめを見抜くのはどうして困難なのかを考える。配布資料の事前学習に基づき、グループワークを行う。  
**【事前・事後学習課題】** (事前) 配布資料の熟読  
(事後) 小レポートの提出
  - 第13回 **【授業テーマ】** 教育実習と「道徳」の授業について一課題の確認  
**【内容・方法 等】** 教育実習体験発表レジュメ等に基づく発表と討論  
—教育実習における「道徳」指導について考えたことを話し合う—  
**【事前・事後学習課題】** 事前：教育実習における「道徳」指導についての経験をまとめてくる。  
事後：話し合いから学んだことをまとめる。
  - 第14回 **【授業テーマ】** 「道徳」の模擬授業と授業検討  
—「道徳」授業のポイント確認—  
**【内容・方法 等】** 受講生による模擬授業と全体討論を通して、「道徳」の授業を検討する。  
**【事前・事後学習課題】** 事前：代表者による模擬授業(30分)の実施準備を行う。  
事後：模擬授業の検討・評価を通して、「道徳」の授業観をもつ。
  - 第15回 **【授業テーマ】** 授業改革と人権教育(元校長との研究交流) 総括レポートの作成  
**【内容・方法 等】** ・学力格差克服へ向けた中学校の授業実践に学ぶ  
・大阪の人権教育は如何に進められてきたかについて知る  
・中・高等学校が抱えている教育課題を踏まえ、自らの今後の課題をまとめる。  
**【事前・事後学習課題】** レポート作成
- 評価方法(基準)**  
教職教室教員4名によるグループ学習が中心となる。それ故、それぞれのグループでのレポート評価を総合評価する。
- 教材等**  
**教科書**…「教育実習記録」(摂南大学)  
教育実習で使用した各教科書・教材  
**参考書**…資料等は授業中に適宜配布
- 学生へのメッセージ**  
教育実習を終えた時点で各自が自らの実習を省察すること。その中で、問題点を見出し、諸課題を自ら設定し、この科目を軸にしなが、全体講義やグループワークを通して課題克服を目指しながら、さらなる実践的力を身に付けること。
- 関連科目**  
全ての教職課程必修科目、取得予定免許状に関わる各教科毎の必修科目
- 担当者の研究室等**  
教職教室(7号館3階)  
吉田佐治子、村田俊明、朝日素明、大野順子

職業指導 Vocational Guidance				
		水野 武(ミズノ タケシ)		
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	教免取得上 必修	4

**授業概要・目的・到達目標**  
職業教育や進路指導においては、職業構造や職種・業種内容について学んだり資格取得や技能訓練などを促進したりするばかりでなく、社会や産業構造の変化の中で自分はいかに生きていくかという「生き方の設計」について学ぶことが重要です。本科目を通して学生は、キャリア教育の理論と実践について理解



を深めるとともに、経済社会・産業界の変化と職業指導に与える影響などについて知見を広め、「生き方の設計」の指導者としての資質能力の基礎を身につけます。

#### 授業方法と留意点

講義と受講生による報告・討議を織り交ぜて進めます。講義では都度課題を提示し、その内容を元に受講者間で話し合いを行って頂きます。尚、遅刻等は厳禁です。

#### 科目学習の効果（資格）

工業科における職業指導に関する基礎知識が身に付く

#### 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション  
【内容・方法 等】 授業概要の説明、職業の定義、職業指導の概念整理  
【事前・事後学習課題】 本科目のシラバスを熟読
- 第2回 【授業テーマ】 職業指導の基礎理論  
【内容・方法 等】 職業指導における基本的な考え方、手法  
【事前・事後学習課題】 職業指導に関する資料を熟読
- 第3回 【授業テーマ】 職業指導の歴史①  
【内容・方法 等】 アメリカ・ヨーロッパを中心に職業指導の経緯を知る  
【事前・事後学習課題】 欧米の職業指導に関する資料を熟読
- 第4回 【授業テーマ】 日本の産業構造の変化  
【内容・方法 等】 日本の産業、雇用事情の変化を知る  
【事前・事後学習課題】 日本の産業史に関する資料を熟読
- 第5回 【授業テーマ】 職業指導の歴史②  
【内容・方法 等】 日本の戦後の教育改革について  
【事前・事後学習課題】 日本の戦後の教育改革についての資料を熟読
- 第6回 【授業テーマ】 日本型雇用と職業指導  
【内容・方法 等】 日本における雇用システムの変容と職業指導の関わり  
【事前・事後学習課題】 日本型雇用の見直しについて考える
- 第7回 【授業テーマ】 新規高卒就職システム  
【内容・方法 等】 新規高卒労働市場の変容と現状  
【事前・事後学習課題】 高卒労働市場に関する資料を熟読
- 第8回 【授業テーマ】 高等学校における職業指導  
【内容・方法 等】 各種学校における職業指導の在り方について  
【事前・事後学習課題】 職業指導の事例を調査
- 第9回 【授業テーマ】 「労働すること」を考える  
【内容・方法 等】 仕事をする事の意義を考える  
【事前・事後学習課題】 授業後は自らの労働観を持つようにする
- 第10回 【授業テーマ】 職業指導の領域  
【内容・方法 等】 学校、家庭、地域コミュニティ、公的機関等職業指導がなされる「場」について考える  
【事前・事後学習課題】 職業指導領域に関する資料を熟読
- 第11回 【授業テーマ】 キャリア教育の基礎理論①  
【内容・方法 等】 キャリアデザインにおける基礎理論を知る  
【事前・事後学習課題】 キャリアデザイン理論についての資料を熟読
- 第12回 【授業テーマ】 キャリア教育の基礎理論②  
【内容・方法 等】 キャリアデザインにおける基礎理論を知る  
【事前・事後学習課題】 キャリアデザイン理論についての資料を熟読
- 第13回 【授業テーマ】 授業内容立案  
【内容・方法 等】 高校生向けの職業指導・キャリア教育に関する授業内容を立案する  
【事前・事後学習課題】 模擬授業の準備をする
- 第14回 【授業テーマ】 模擬授業①  
【内容・方法 等】 講義13で立案した内容で模擬授業を実施  
【事前・事後学習課題】 模擬授業の準備をする
- 第15回 【授業テーマ】 講義の振り返り  
【内容・方法 等】 講義の振り返り、前期の中間レポートの提出  
【事前・事後学習課題】 前期の中間レポートの準備
- 第16回 【授業テーマ】 オリエンテーション  
【内容・方法 等】 後期授業概要の説明  
【事前・事後学習課題】
- 第17回 【授業テーマ】 商業教育と職業指導  
【内容・方法 等】 商業高校における職業指導について  
【事前・事後学習課題】 商業高校の職業指導事例に関する資料を熟読
- 第18回 【授業テーマ】 工業教育と職業指導  
【内容・方法 等】 工業高校における職業指導について  
【事前・事後学習課題】 工業高校の職業指導事例に関する資料を熟読
- 第19回 【授業テーマ】 人権教育としての職業指導  
【内容・方法 等】 職業指導の国際基準、ハンディキャップがある生徒への職業指導  
【事前・事後学習課題】 提示する資料を熟読
- 第20回 【授業テーマ】 フリーターとニートについて  
【内容・方法 等】 グループ（またはペア）でフリーター・ニ

ート対策を考える

【事前・事後学習課題】 フリーター・ニート問題に関する資料を熟読し、発表できるよう準備

- 第21回 【授業テーマ】 職業適性とは何か？  
【内容・方法 等】 職業適性、各種アセスメントについて  
【事前・事後学習課題】 自らの適性の活かし方を考える
- 第22回 【授業テーマ】 高校生の就業力について  
【内容・方法 等】 新規高卒卒者が求められる就業力について  
【事前・事後学習課題】 就業力育成のための企画を考える
- 第23回 【授業テーマ】 職業指導・キャリア教育の実例①  
【内容・方法 等】 地方も含めた職業指導の事例紹介  
【事前・事後学習課題】 配布資料を精読
- 第24回 【授業テーマ】 職業指導・キャリア教育の実例②  
【内容・方法 等】 地方も含めた職業指導の事例紹介  
【事前・事後学習課題】 配布資料を精読
- 第25回 【授業テーマ】 就業力向上企画を立案①  
【内容・方法 等】 高校生の就業力向上のための企画・授業を考える  
【事前・事後学習課題】 企画立案にあたっての事前情報を収集すること
- 第26回 【授業テーマ】 就業力向上企画を立案②  
【内容・方法 等】 25回目で考えた内容を発表する  
【事前・事後学習課題】 発表の準備
- 第27回 【授業テーマ】 未来の働き方を考える  
【内容・方法 等】 日本の課題、それにより想像される未来においての働き方を考える  
【事前・事後学習課題】 配布資料を精読
- 第28回 【授業テーマ】 キャリアカウンセリング理論①  
【内容・方法 等】 自己概念・環境との相互作用・学習理論からのアプローチ  
【事前・事後学習課題】 配布資料を精読
- 第29回 【授業テーマ】 キャリアカウンセリング理論②  
【内容・方法 等】 カウンセリングマインドを知る  
【事前・事後学習課題】 配布資料を資料を熟読
- 第30回 【授業テーマ】 まとめ/講義の振り返り

#### 評価方法（基準）

講義内での課題、提出物、レポート、授業への積極的参加、レポートの提出状況およびその内容、報告や討議の内容も加味して、成績を判定します。また、前期最終時に中間レポートを実施します。

#### 教材等

教科書…講義の中で必要に応じてレジュメ配布をします。

参考書…『ノンキャリア教育としての職業指導』ナカニシヤ出版（斎藤武雄・佐々木英一・田中喜美・依田有弘）  
ほか、授業中に適宜、指示します。

#### 学生へのメッセージ

「職業指導」について学ぶとともに、自らの勤労観・職業観を養い、経済社会・産業界の状況に対応して自らの進路を切り開いていってください。特に後期は就職活動と並行しての受講となるので、自らの経験と照らし合わせながら、高校生に対する指導について考えてみてください。

#### 関連科目

教職科目全般。特に「生徒指導論」に関連する事柄を含みます。また「特別活動論」にも近接します。

#### 担当者の研究室等

7号館3階（キャリア教育推進室）